

7. エゴノクチ遺跡

第1節 遺跡の概要と調査の概要

1. 遺跡の概要

本遺跡は大分県中央部の日出町大字南端エゴノクチに所在し、別府湾の西方約4.5kmにある火山性台地上にある。遺跡は大分と長崎とを結ぶ高速道路である大分自動車道と日出ジャンクションとの分岐点にあり、調査地区は大分自動車道の北側に隣接している。

遺跡は自衛隊十字原演習場の北のはずれにあり、調査区の標高は395m～412mである。地形は北東向きの斜面上にあり、調査区の東側には杉林が続いている。次第に傾斜を強めて調査区から東に300mほどで別の平坦な面となる。遺跡からは東方に別府湾・国東半島南部一帯・四国が望める。遺跡の周囲には南西から北東に向かって小川が流れ、その左側には遺跡より約100m高い台地の急斜面が壁をなしている。南西に向かって約1.5kmは本遺跡と連続面をなす丘陵が次第に高まりながら続き、別府市街の背後に屏風のように連なる伽藍岳（1045m）・内山（1275m）・鶴見岳（1374m）等の北端部にぶつかっている。

大分自動車道の建設に先立って、本遺跡の東南約1kmに松ノ木台遺跡（縄文早期・中期、未報告）、さらに250m先に十字原第1遺跡（縄文早期・後期、弥生中期）が調査されている。調査区の南側に接して東西方向に九州横断道路（第1図に黒丸の列として範囲を図示）が走っているが、この部分は最高地点で本遺跡よりも20m以上高くなっている。これに比べ本遺跡は一段下に位置している。

2. 調査の概要

調査区は中央部を上幅12m前後の深い水路で断ち切られていた。調査前の現状は水路を境に東側は杉林、西側は自衛隊演習場の草地であった。ただし、東部には地表面ではっきり分かる溝（中央部）やその東側に斜面を削って造った造成面があった。

調査は平成2年（1990年）10月15日に開始した。初めは樹木の伐採・撤去が終わっただけの状態だったため、まず重機により表土剥ぎを西部から始め、ほぼ全域の剥ぎ取りが終わったのは11月の中旬だった。ただし、水路の北地区に設置した西部の土置場下部は調査できなかった。本遺跡では後述のように厚い火山灰層があり、その内表土下の5枚の層がそれぞれ時期の異なる遺物包含層となっていた。保存状態の良好な包含層は層厚1m以上あり、近世・中世・弥生時代・縄文時代・旧石器時代の遺物が出土した。

現地ではすぐ周辺で工事が同時進行的に行なわれていた。遺跡が大規模であったため短期間に調査を終えることができず、次第に部分的に調査を終えたところから工事側にひきわたして

いく状態となった。それは深掘り工事の必要な橋脚部、北側に流路を変更した調査区北端の水路の順であり、基本的にその他の部分は盛り土された。現地での調査が終わったのは平成3年(1991年)11月12日、調査面積は8.960m²である。

3. 調査の経過

平成2(1990)年

10月15日	西部より重機で表土剥ぎ。	2月12日	賀川教授・熊本大学甲元眞之助教授来跡。
16日	拠点より器材搬入。遺構検出作業。		
11月16日	西側より地形図作成。	3月6日	京都文化博物館鈴木忠司氏来跡。
26日	西部より移植コテで発掘開始。	4月10日	10号集石実測。
12月5日	西部の西北を工事に渡す。	7月3日	東部地区東端トレンチ調査開始。
12月17日	文化庁岡村道推氏来跡。	7月18日	遺物を資料室へ搬送。

平成3(1991)年

1月22日	西部の一部を工事に渡す。		
1月16日	別府大学賀川光夫教授来跡。	20日	日出町内の小学校教師約20人見学。
28日	奈文研松沢亜生氏来跡。	9月9日	中央部の水路埋設工事開始。
2月1日	水路の東の検出作業開始。	26日	台風19号でプレハブ大破。
		11月8日	発掘終了。
		12日	遺物・器材搬出。

第2節 検出した遺構と遺物

1. 基本層序

本遺跡は広い扇状の丘陵上にあり、基盤は火砕流堆積物でその上に火山灰層が堆積している。調査の対象にしたのは次の8枚の層のうち、1～7層の火山灰層である。調査区の南部の谷に望んだ斜面は風雨による流失のために表土下にすぐ4層が現われる状態だった。しかし、残存した層の堆積状態を見ると、谷に向かって傾斜するようなことはなく水平に堆積していた。現状の浅い谷地形は比較的に新しい時期に形成されたようである。

- 1層 表土。黒色土。現代から中世までの遺物が出土する。部分的に中世の遺物を包含する暗褐色の土層や暗褐色土の埋土をもつ柱穴があったが、これを1'層とする。
- 2層 黄褐色土。弥生時代、古墳時代、縄文時代の前・中・後期の遺物・遺構が出土する。
- 3層 オレンジ色を呈するアカホヤ火山灰。1枚の単純層として存在する場所は少なく、大部分は上下の層の間に漸移層としてブロック状に残る。噴出場所は種子島南方の海底にある

鬼界カルデラで、約6,000年前のもの。3層の状態が明瞭でないため2層と4層との判別が困難な調査区が特に2C区を中心にあった。

4層 暗褐色土。縄文時代早期の遺物・遺構が出土する。

5層 黒色土。4層と区別できなかった場所が多い。本文では現地での記録を優先し、4層と5層の遺物・遺構を区別して述べることもあるが、客観的には正確とは言えない。

6層 以下は旧石器時代相当層。黒茶褐色の硬い土層。

7層 黒褐色の硬い粘土層。いわゆる黒色帯。

8層 黄色土。硬い粘土質の層。

2. 縄文時代の遺構

本遺跡で検出した遺構には、集石遺構・配石遺構・陥し穴・土坑・遺物集積（デポ）がある。なお、工事側との調整の結果、建築物を造る場所の調査を先行させたため、部分的には下層の調査が他地区の上層より先行した場所もあり、全体としては遺構の番号は上層から下層への順番にはなっていない。

集石遺構（第6図～18図）

エゴノクチ遺跡では37基の集石遺構を検出した。その層位毎の内訳は、2層13基・4層7基・5層15基・6層2基である。

● 2層（第6～9図：1・10～14・17・22・25・31・32・34a・34b号集石）

1号集石（第7図）：8B区で検出した。斜面に沿って全体に散漫な出土状態で、大型2・小型18個の礫が分布していた。

10号集石（第7図）：17F区にある。18個の石を1ヶ所に集めただけといった感じの集石である。

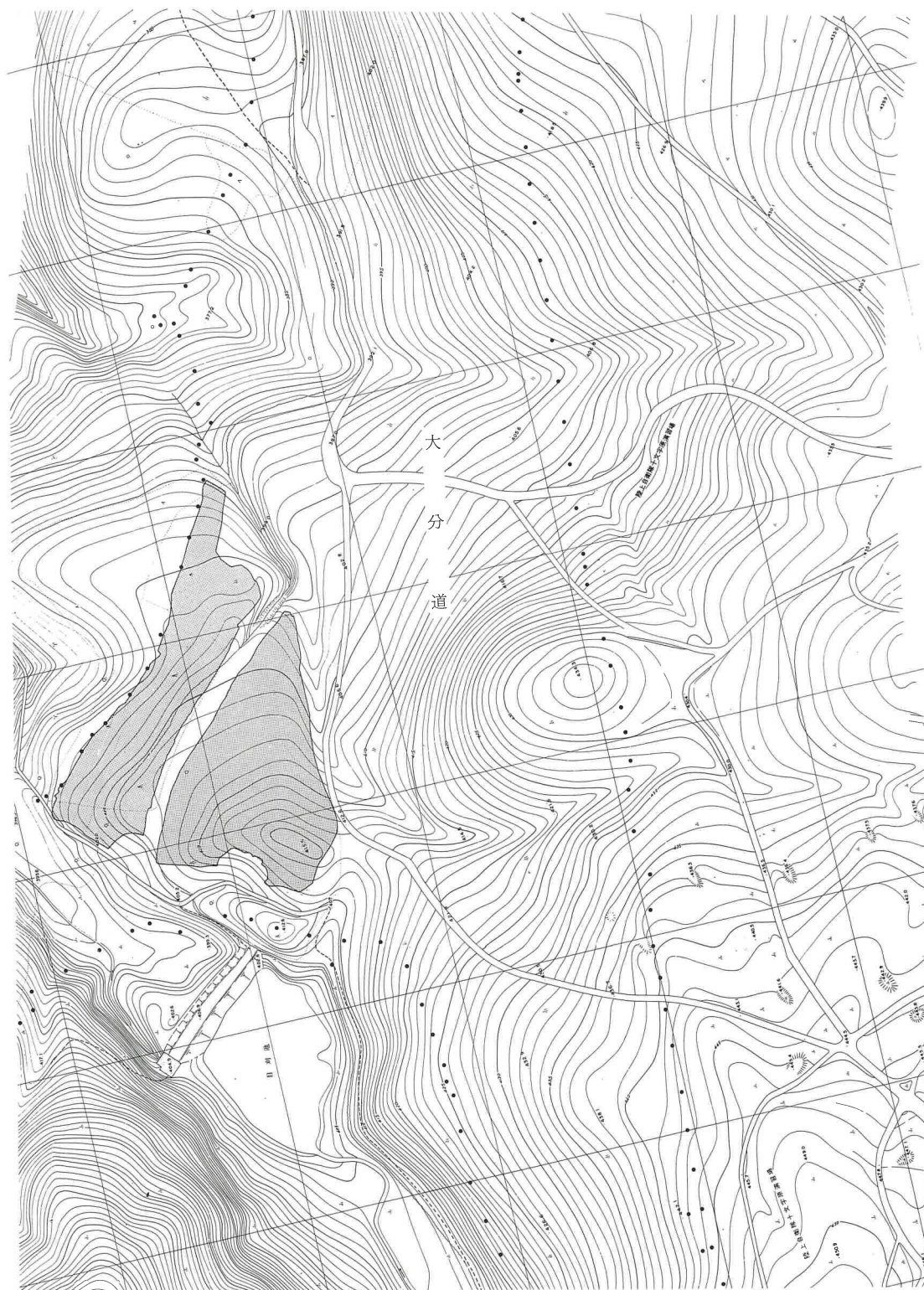
11号集石（第7図）：16F区にある。叩石（第138図6）・礫器核を含む大小の礫が48個散乱していた。

12号集石（第7図）：11L区出土。55cm×45cmほどの範囲内に39個の礫が集中し、周辺に大小の礫が数個分布していた。集中部の中心には厚い平石を2個据えている。網目を入れたのが叩石である。

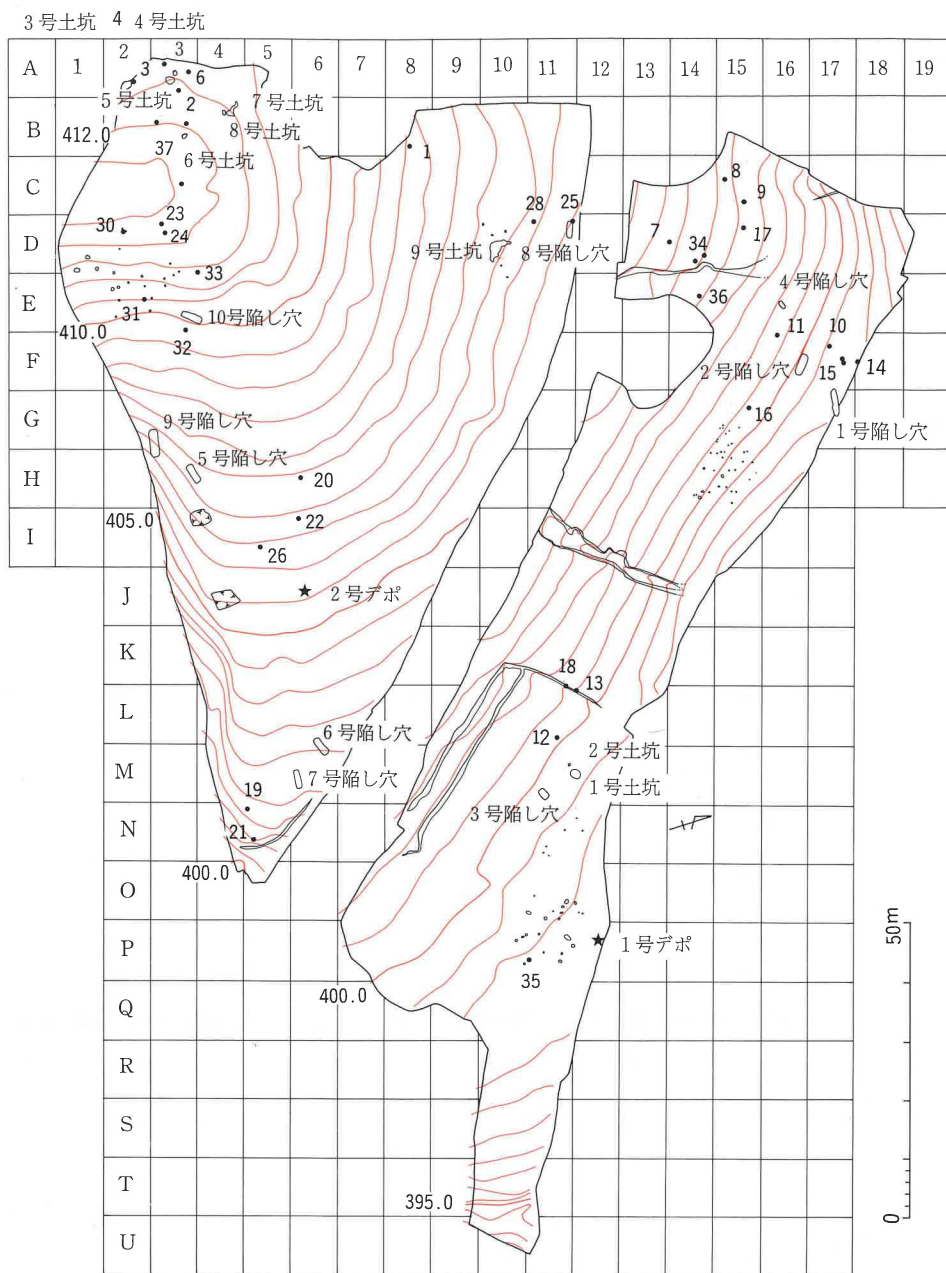
13号集石（第7図）：12L区の2層下部より出土した。比較的大きな礫7個を狭く積んだ分の近くに小型の礫15個が散らばる。

14号集石（第9図）：17F区の北端にある。45個の小型の礫が中央部で重なるものをもって分布した。

17号集石（第9図）：15D区にある。27個の小型の礫がまばらに集中したものである。



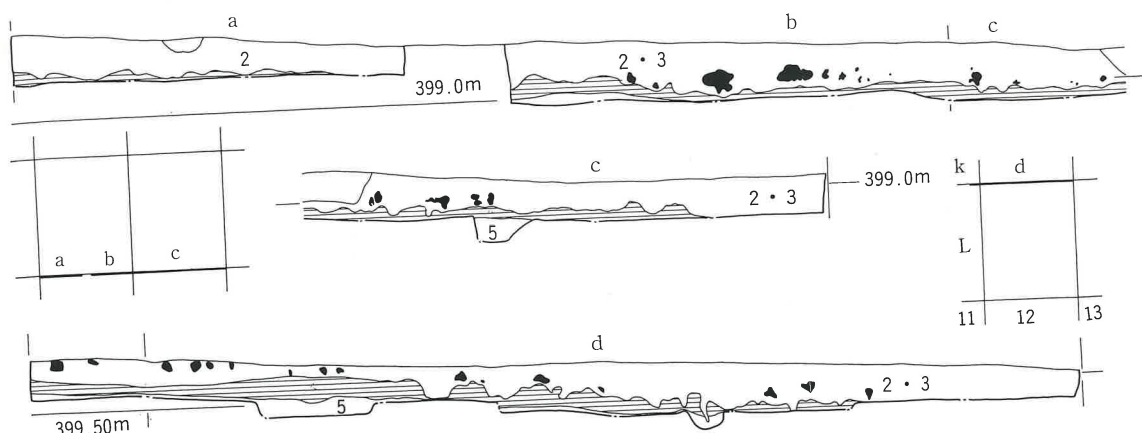
第1図 エゴノクチ遺跡周辺地形図



22号集石（第9図）：6 I 区出土。ほぼ同じ大きさの11個の礫がまとまっていた。

25号集石（第8図）：11～12D区にある。平たい石を主体に10個が密接して敷き詰められていた。

南北方向の断面は皿状になる。



第3図 土層図

31号集石(第8図): 2 E区出土。15個の礫が径70cmの範囲に平面的に出土した。

32号集石(第8図): 3 E~F区にある。長さ10cm前後の礫36個が直径2 m位の範囲にまばらに分布する。

34号集石(第9図): 14D区にある。この周辺では後期の土器が集中して出土しており、これに伴う遺構であろう。本集石は南北2ヶ所に分かれているとも見え、a・bの2基としている。aは58個の礫が集中した部分でめんてきにはすべて同一平面上に乗る。この面の延長上にbがあり、平たい石の片側に同レベルで10個の礫を配している。

● 4層 (第10~13図: 4・6・8・15a・15b・21・26号集石)

4号集石(第11図): 3 A区にある。196個の礫が雑然と集積されていた。大部分は直径240cm位の中に入り、塞ノ神式土器片(第65図6)が出土した。集石内で礫の接合例が1つあり、すぐ近くでの例1もある。

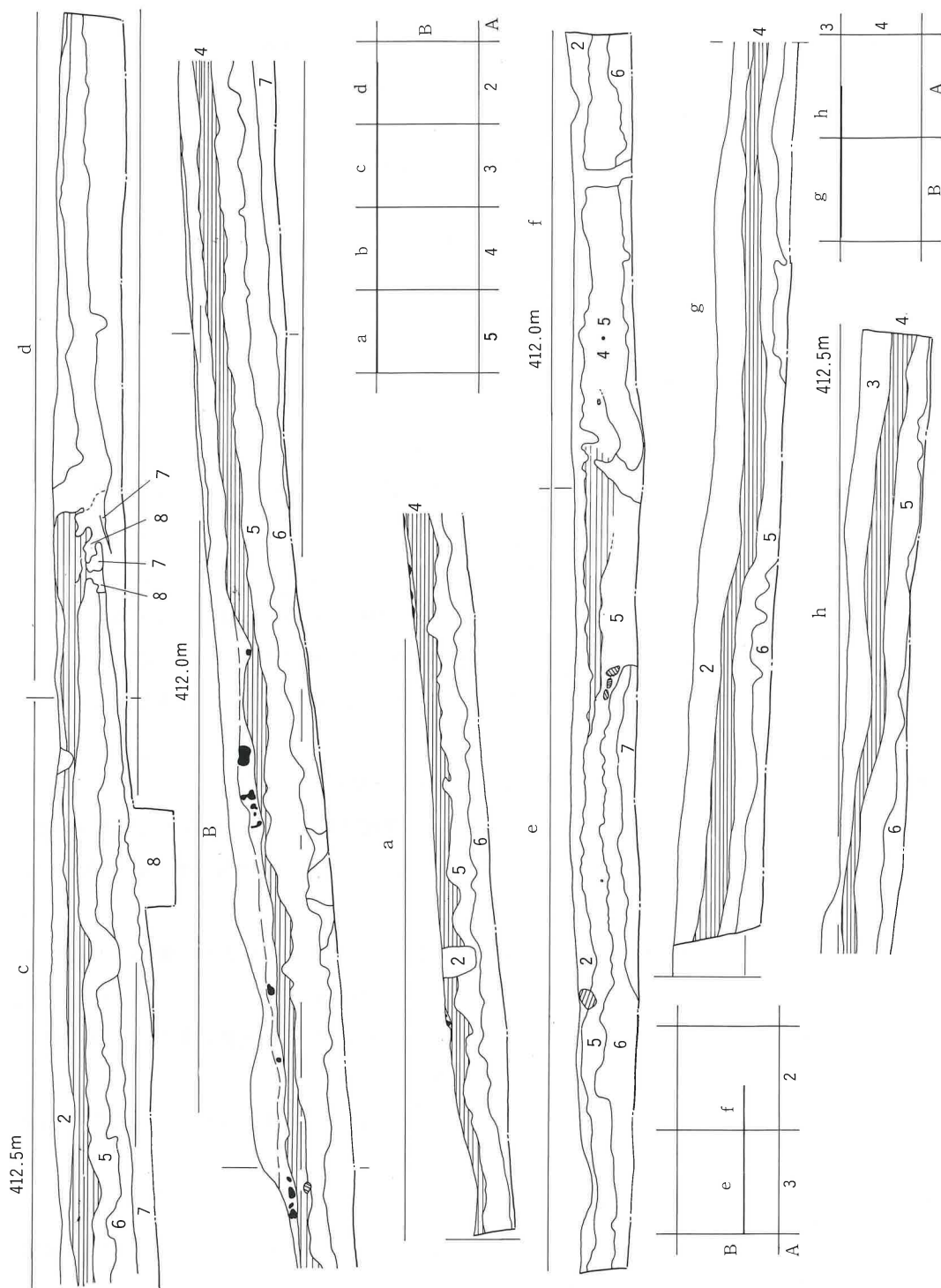
6号集石(第11図): 2 B区の風倒木痕内の4層から出土した。本来の位置から動かされているが、11個の礫がまとまるので集石の痕跡かも知れない。

8号集石(第11図): 15C区にある。87個の礫よりなる。下部に平石を皿状に並べ、上部に中小の礫を重ねている。上部のほうに叩石が1点含まれていた。

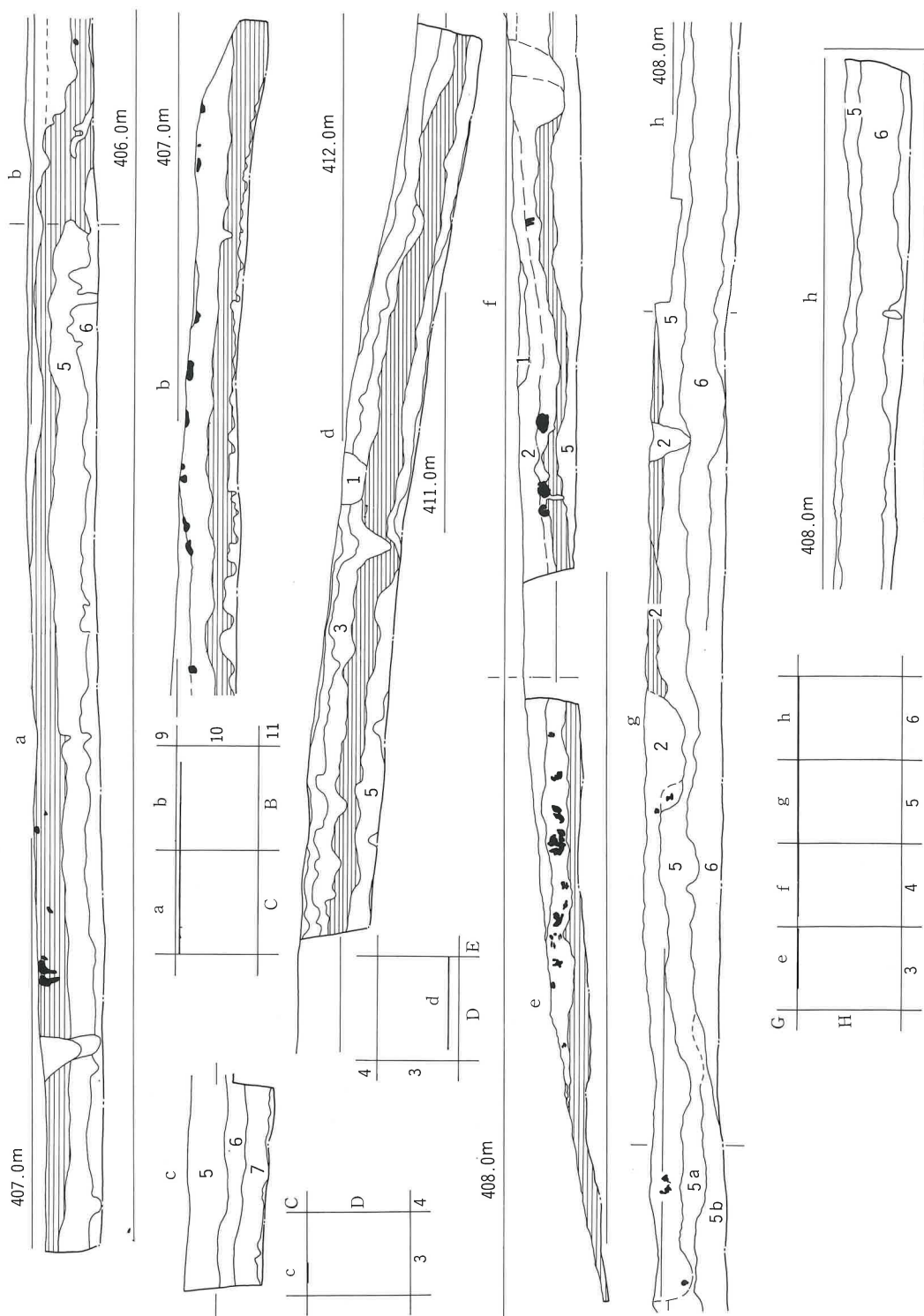
15a・b集石(第12図): 17F区にある。70cm×80cmの範囲に小型の礫が分布していたが、10cmの間隔をおいて13個(東側a)と15個(西側b)の集中部がある。

21号集石(第12図): 5 N区で検出した。浅い土坑の内部に10数個の礫が入っていた。

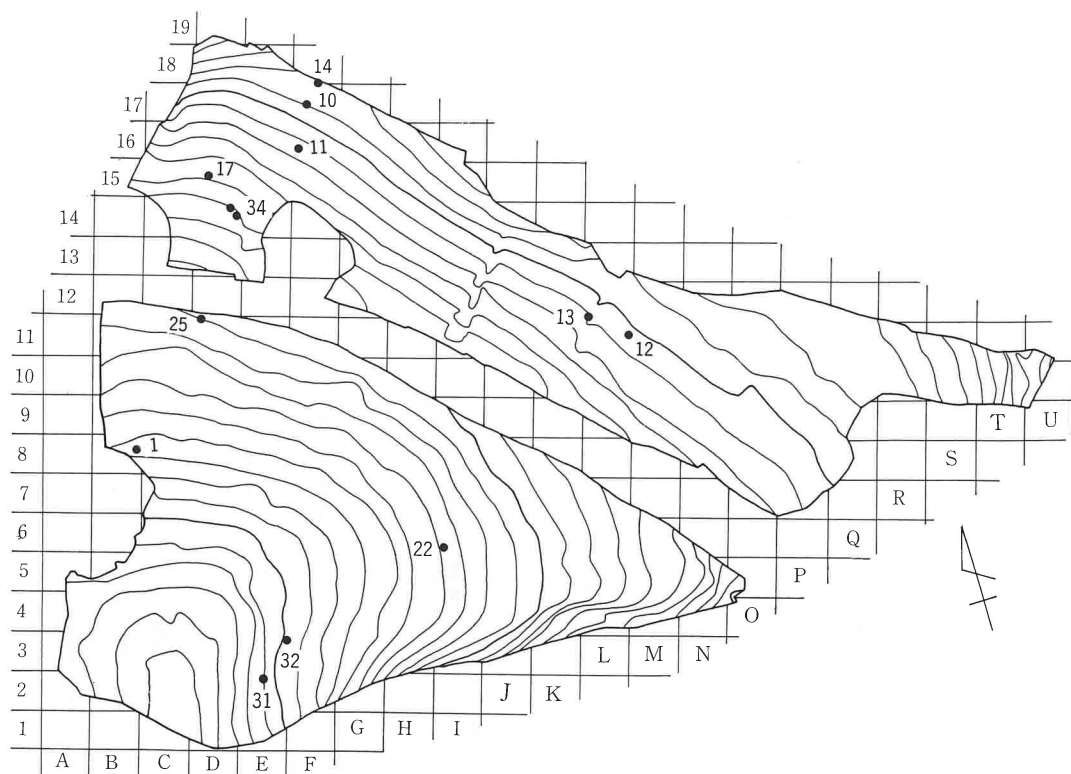
26号集石(第12図): 5 I区で長さ175cmの間に66個の礫が出土したものである。平面的には南部の帯状に分布する部分とその他に分かれる。



第4图 土 層 图



第5图 土层图



第6図 2層の集石遺構の分布

● 5層 (第13～18図：2・3・7・9・16・18～20・23・24・28～30・33・36号集石)

2号集石(第17図)：3A区に出土。43個の礫が平面的に集まる。この中に叩石2点が含まれていた。3点の石は同一個体で接合した薄い板状の石材だが、完形にはならない。

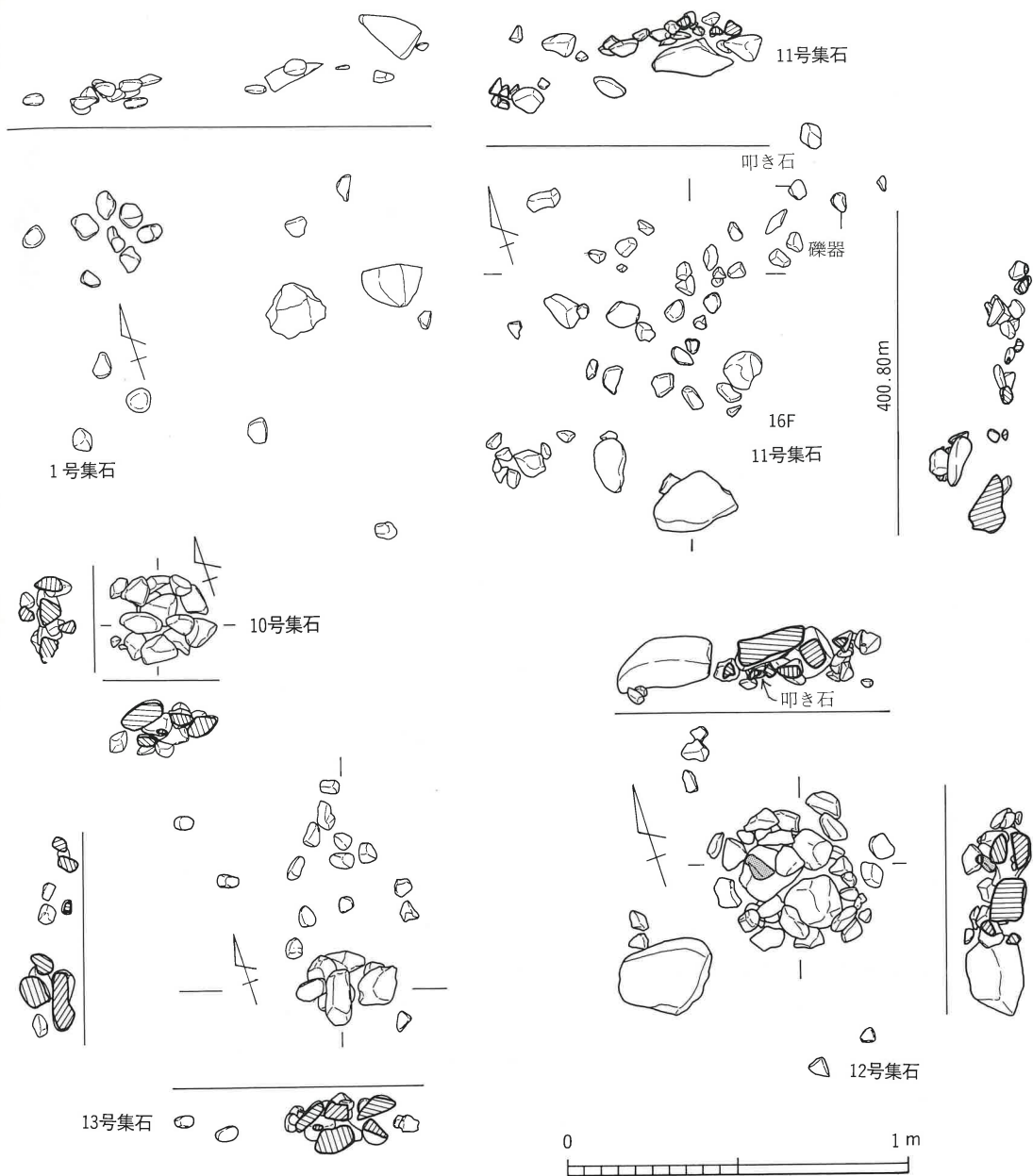
13号集石(第17図)：2A区にある。西側は現道によって破壊され、南側では中世の土坑が集石を壊した可能性がある。28個の礫が2段重ねの状態で出土した。網目を入れた2点の石は同一個体で接合した円礫で、完形にはならない。破面は摩滅している。

27号集石(第17図)：13～14D区出土。10個の小型の礫のまとまりの上に一部重なって大型の平たい石が水平にかぶさっている。

9号集石(第17図)：15C区から出土した。150cm×130cmの範囲に、両側に平石を置き中央に大小の礫を積み重ねている。

16号集石(第17図)：15G区にある。下部の中心に18cm×10cm程度の平たい石を置き、皿状になるよう周辺に小型の礫を配している。その内部に5・6個の礫を入れている。

18号集石(第16図)：11K～L区に出土。240cm×200cmの範囲に65点の礫が分布し、この中で西部寄りには20個前後の礫が平面的に集中していた。18号集石の北東部から叩石が1点出土した(第149図11)。



第7図 2層の集石

19号集石(第18図)：11P区に出土。長さ30cm強の平石1の他は小型の礫ばかりで、全体の西南部には8個が集中する。

20号集石(第15図)：6H区にある。土坑の南部に石皿があり、周辺に13個の石が分布した。土坑の内部には黄褐色土が埋土としてあるので、この土坑はアカホヤ火山灰層よりも上の層から掘り込まれたものであろう。



第8図 2層の集石

23号集石・24号集石 (第14図)：3 D区の270cm×180cmほどの範囲内に礫が集中していたが、部分的に見れば西側は平たい石を中心に一つのまとまりがあり(23号)、東側は集中部とそれを取り巻く散漫な分布(24号)があった。図中の黒は塞ノ神B式土器(第65図1～5)である。23号の傍に叩石が出土した(第13図)。

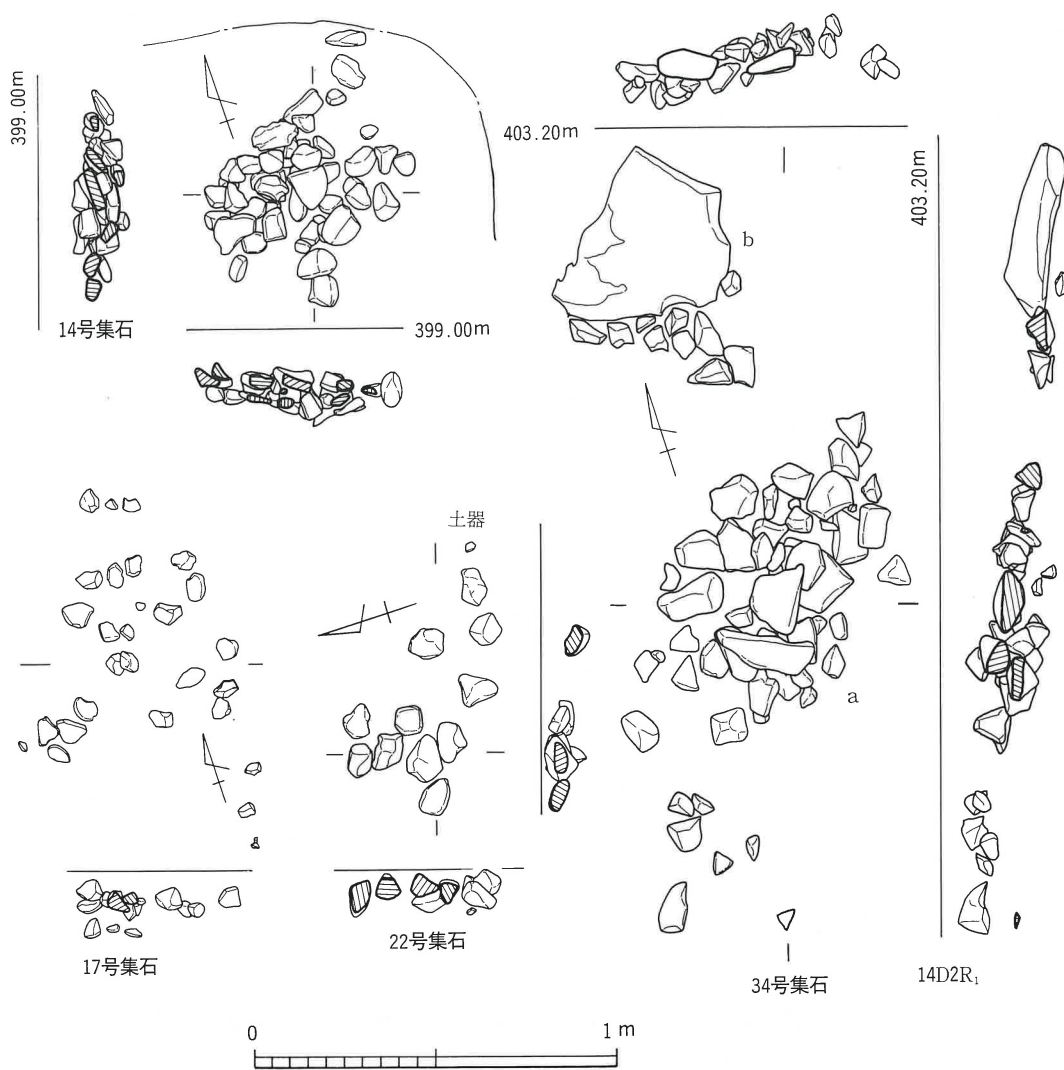
28号集石 (第15図)：11D区にある。290cm×190cmほどの範囲に広がる集石で、134個の石よりなり、地形の傾斜にしたがって南北方向に傾斜している。底には比較的平坦な礫を用いて皿状部をつくり、内部の中心部に30個弱の礫が入っている。内部で7点の接合礫があり、約10m北側の2層の礫破片との接合例1もある(第165図)。

29号集石(第18図)：3 C区にある。54cm×57cmの範囲に20個の礫が分布する。比較的大型のものが皿状に並び、小型のもの3個がその内部におさまるように出土した。

30号集石(第18図)：2 D区出土。集石の下部の中央には平たい石が1個据えられ、周りにも比較的大きな石が3・4個集まり、その周辺に小型のものがとりまいていた。これらが作る皿状の凹の中に20個弱の小型礫がやや浮いたように存在した。南東部の同じ高さの外側に土器片が散在していた。これらは早期の土器の底部である。

33号集石(第18図)：3 D区にある。15個の礫が地形の傾斜に沿って雑然と置かれた状態で出土した。

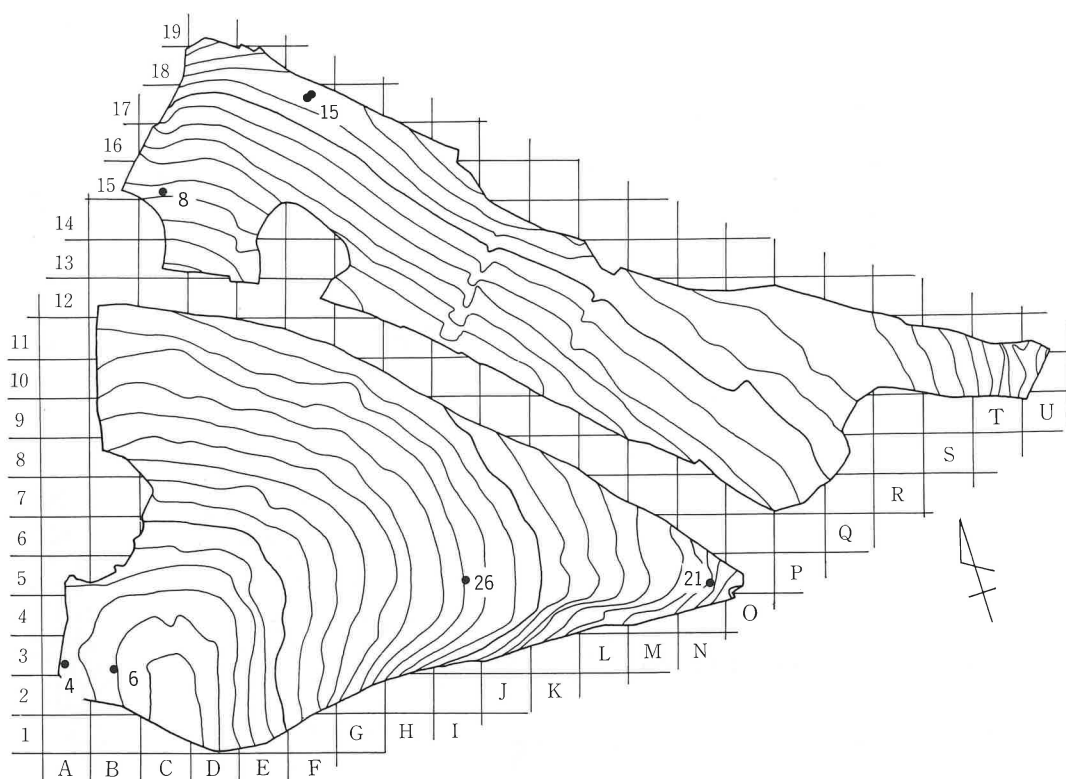
36号集石(第18図)：16D区にある。地形にあわせて北側に緩く傾斜している。網目を被せたものは焼けて赤変している(旧17号集石。番号がダブったので36号に変更)。



第9図 2層の集石

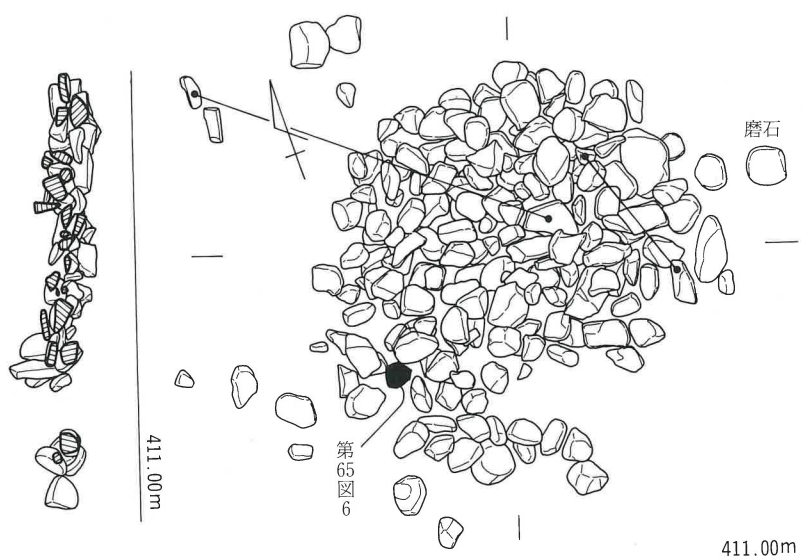
配石遺構 (第19図・折り込み)

調査区南西部はもっとも標高の高い場所だが、やや北西に下がった位置で大小の礫が集中して出土した。上部は4層に入っているが、掘下げの進行と共に大部分5層に入ることが分かり5層の時期に作られたことが分かった。平面的分布範囲は東西・南北とも約11mだが、北部は道路が通っているため削りとられており、本来は少なくとも2、3m程度広がったであろう。石の分布状態にはまばらなところと密なところがある。また、大多数の石は地上に寝かせた状態だが、中には立った状態の石(図では網かけをしている)も認められた。特に熱せられ変色した石は認められなかった。際立って石が集中する部分を記述の都合上1～4配石とする。

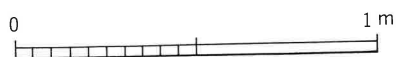


第10図 4層の集石遺構の分布

- 1号配石：4 A・4 B・5 A・5 B区の交点のすぐ北にある。径約1.3mの範囲に立石9個が取り巻き、内部に縦横80cmほどの空間がある。内部の上のほうには大きめの石が数個あり、その下に小型の石だけが面的にまとまって出土した（図の外側の円内に大きな石の下に隠れている石を図示している。）これらの周囲にも大型の石の分布が見られる。周囲の石が原位置を保つのか、散乱したものなのかは不明である。
- 2号配石：1号の北西に隣接して石の集中した部分である。中心部に2ヶ所石の空白域があり、その周囲は比較的小型の石が分布し、さらに外側に大型の石が取り巻く。大型石の中、内側にある2個は立石である。
- 3号配石：1号の南西部には石の空白域があり、その向こうに大小の石が南北方向に細長く分布する部分である。周辺にも散漫に石が分布していた。
- 4号配石：3号配石の北側にある比較的小数の石よりなる集中部である。これが他の配石と同じ意味をもっていたかどうかは疑問も残る。この程度の集中部は1号・2号との間にも存在する。



4号集石



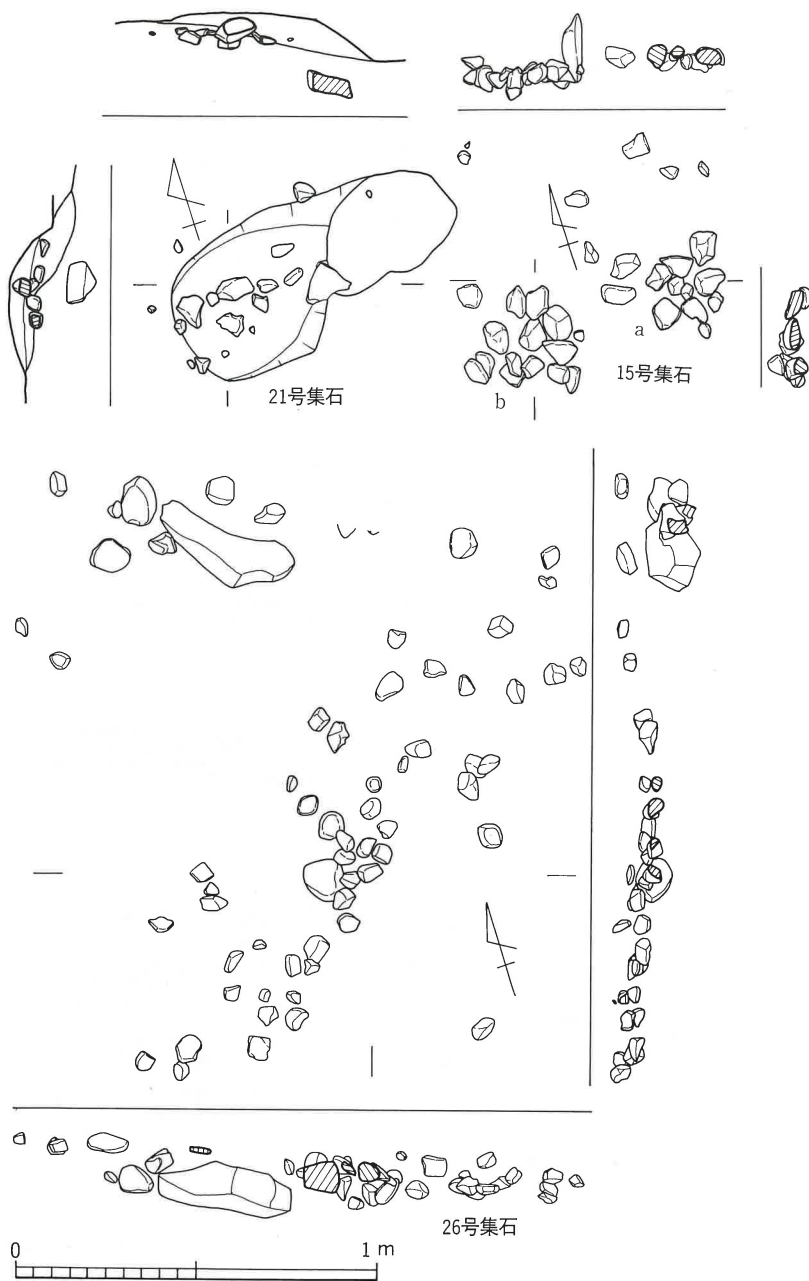
8号集石

叩き石

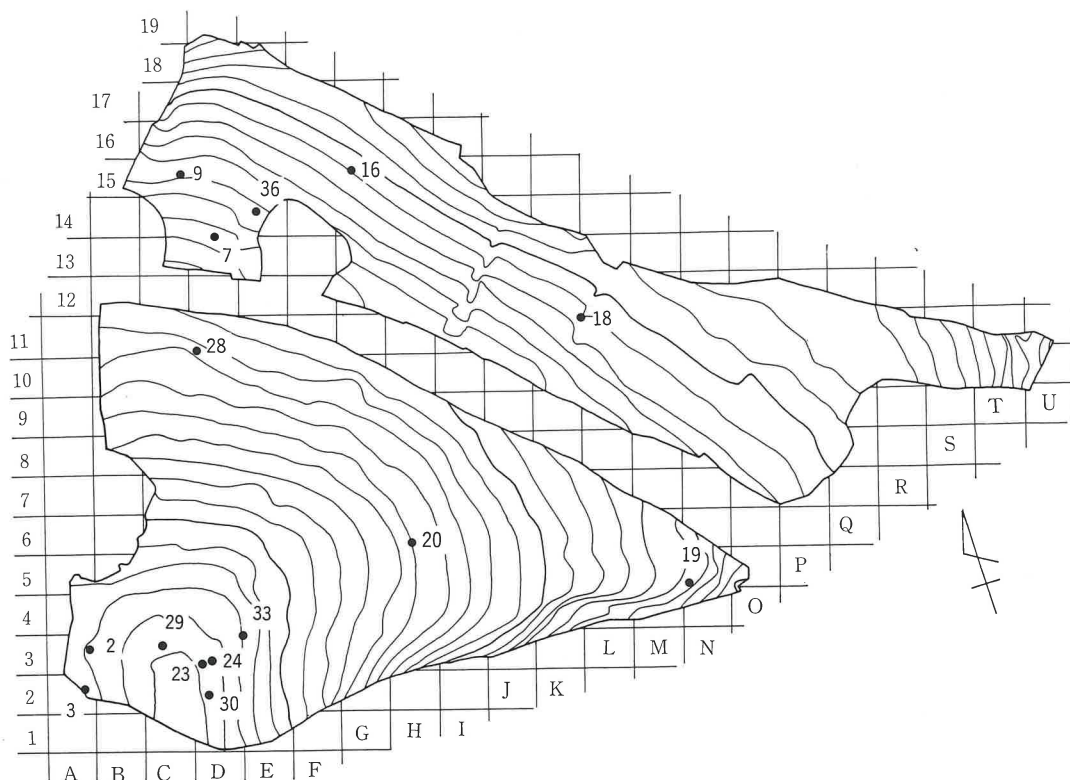
6号集石

(8号集石下部)

第11図 4層の集石



第12図 4層の集石



第13図 5層の集石遺構の分布

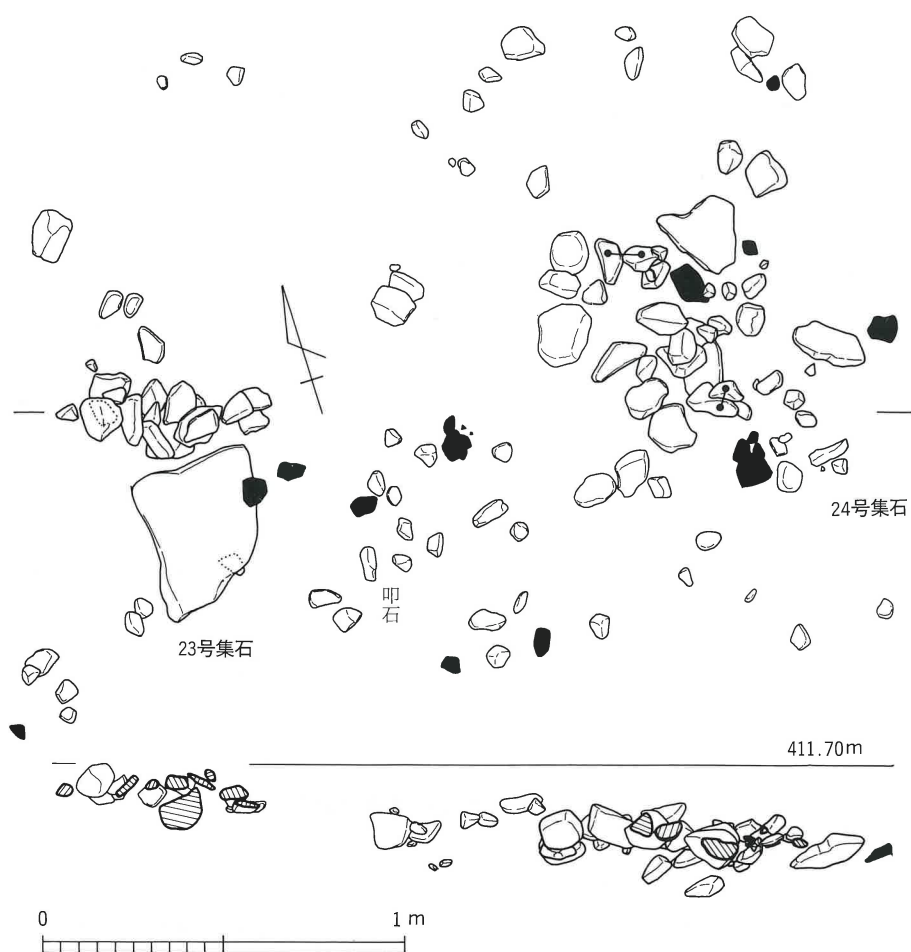
陥し穴 (第15～25図)

陥し穴の所属時期は縄文早期よりも新しいことは層位的に分かるが、詳しくは不明である。縄文時代よりも新しいものが大部分かもしれないが、一括してここで扱う。内部より遺物が出土したのは2号陥し穴と8号陥し穴だけである。

1号陥し穴(第20図)：17F～G区にある。調査区の北端にある。現存の2層上面から掘り込まれている。平面はいびつな楕円形で、底は最大幅30cmと狭い。底に2個の浅い穴がある。長さ226cm・幅63cm・底までの深さ95cmである。

2号陥し穴(第20図)：16F区にある。表土下のアカホヤ火山灰層上面で検出した。長さ185cm・幅72cm・底までの深さ96cm。底面には3個の穴が並び、中央部で狭まっている。陥し穴内部から姫島産ガラス質安山岩の剥片1点が出土した。

3号陥し穴(第21図)：11M区の表土直下の4層上面で検出した。埋土上部は他の場所で中世の遺物を包含していた層(柱穴埋土や水路東側の中央周辺の平坦面に暗褐色の中世遺物の包含層が存在した)に類似している。埋土の観察から、この穴は中世を含んだ現代に近い頃のものであると推測する。3号陥し穴付近は傾斜の緩やかな平坦面が広がり、気をつけて探したが周辺には他の陥し穴は分布しない。本遺構は

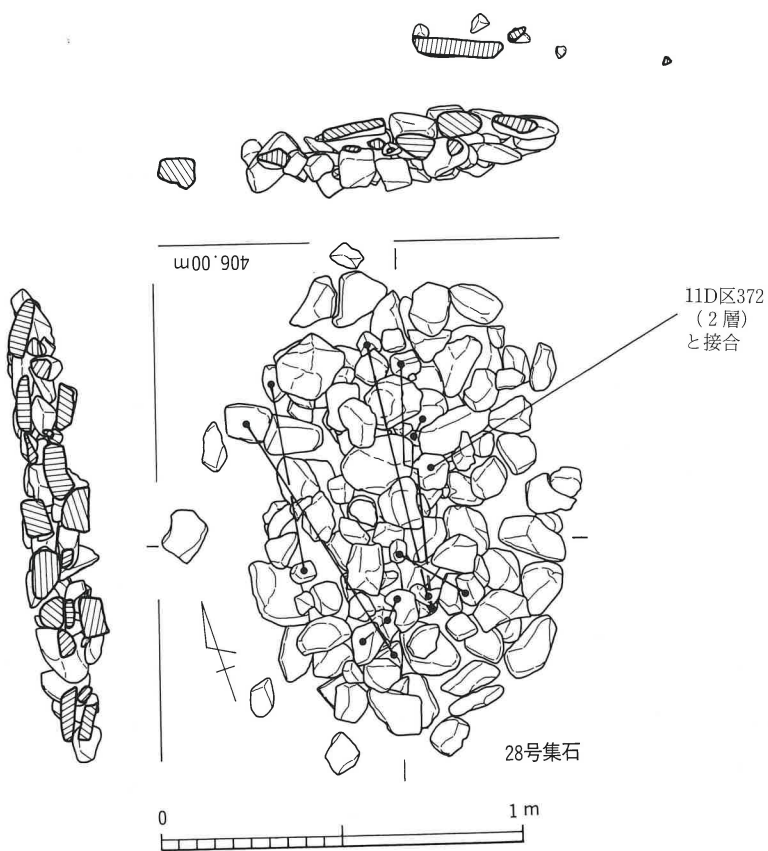
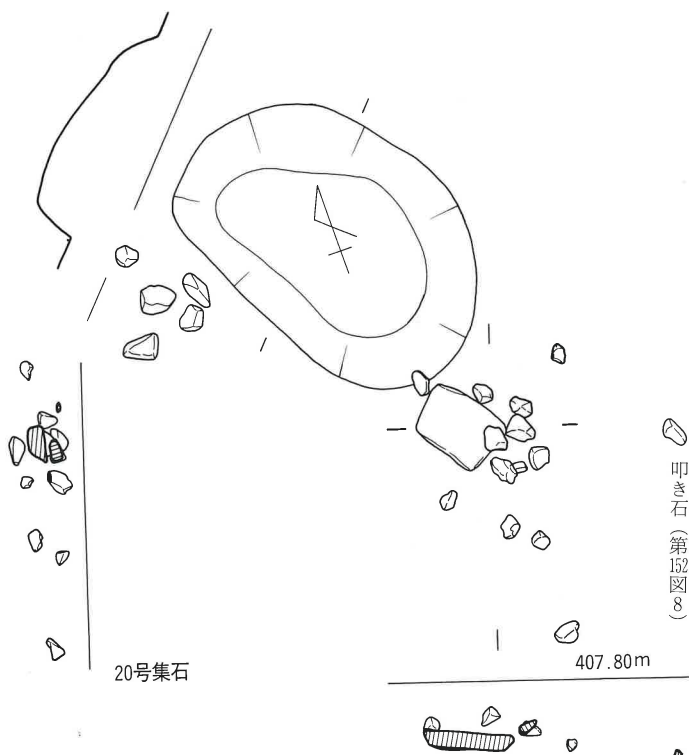


第14図 5層の集石

南側の壁以外は本来の上部が流れ去り形を失っている。底面には十字形に6個の小さい穴が掘り込まれている。現状の規模は長さ217cm（復元値201cm）・幅109cm（復元値・85cm）・底面までの深さ106cmである。

4号陥し穴（第21図）：16E区にある。表土下がアカホヤである面で検出した。長さ140cm・幅61cm・底面までは108cmである。底面は6層に達し、1列3個の穴が並んでいる。

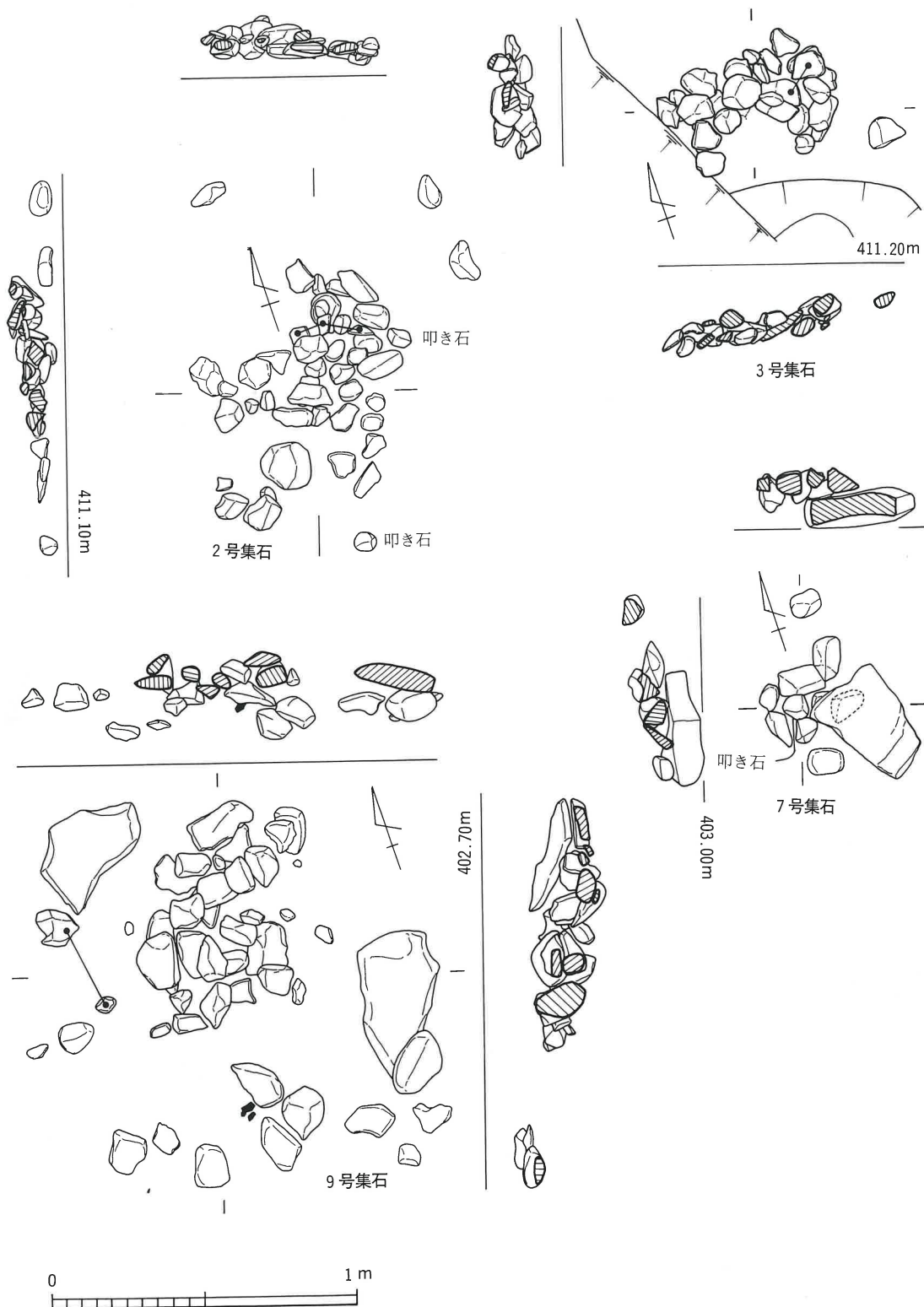
5号陥し穴（第21図）：3・4H区にある。上部の埋土が2層に似ているため、一部が3層の上面に達したとき発見した。遺構の土層断面は2層の上面までつづいている。平面形は長方形で上部は本来の形が流失している。底面に1列に4個の小さい穴が並び平面形中央部でやや狭くなる。上部の流失により変形した部分を除いた長さは壁の中位で最大となり187cm、幅は東側で59cm、検出面から底面までの深さは120cmである。



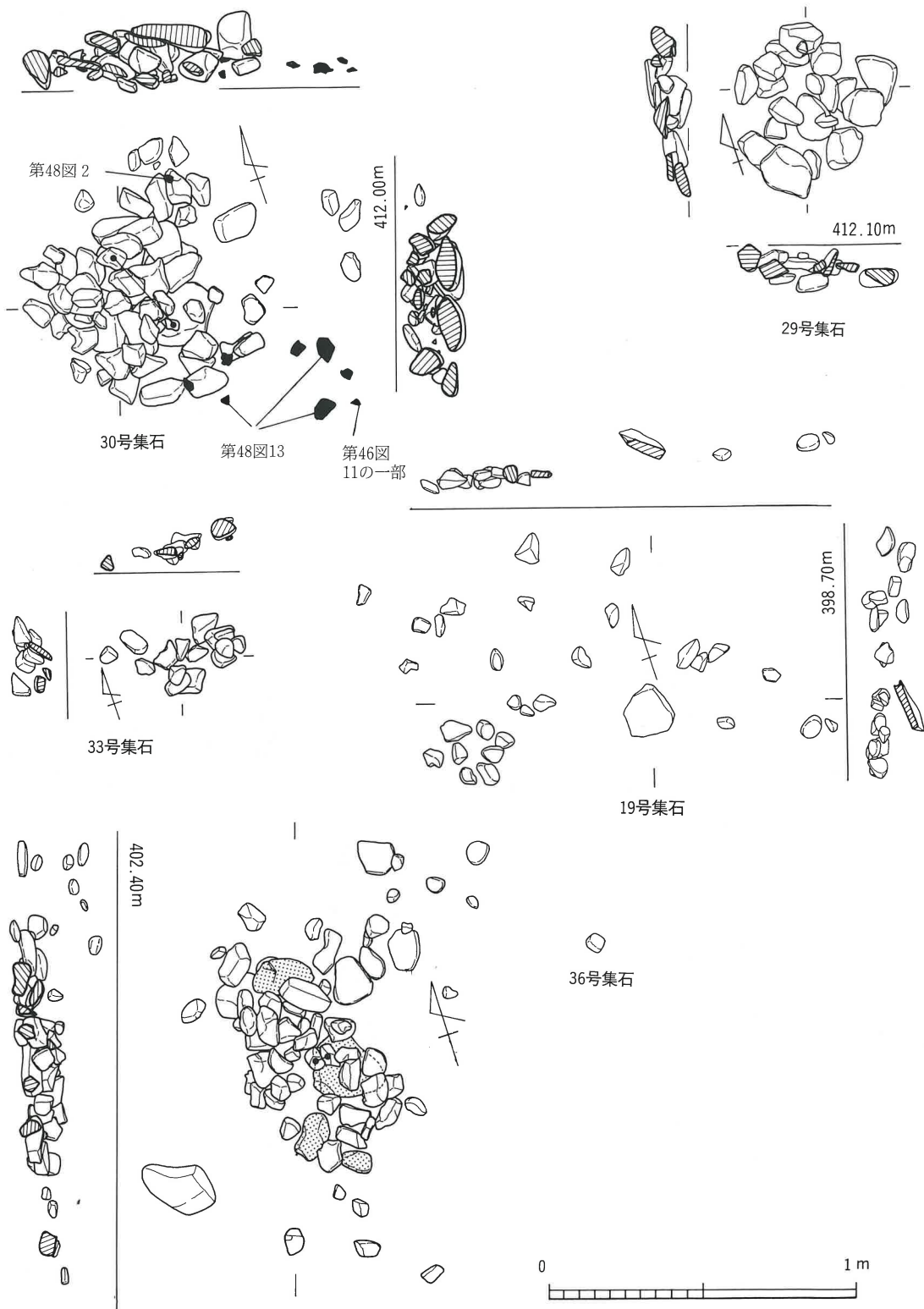
第15図 5層の集石



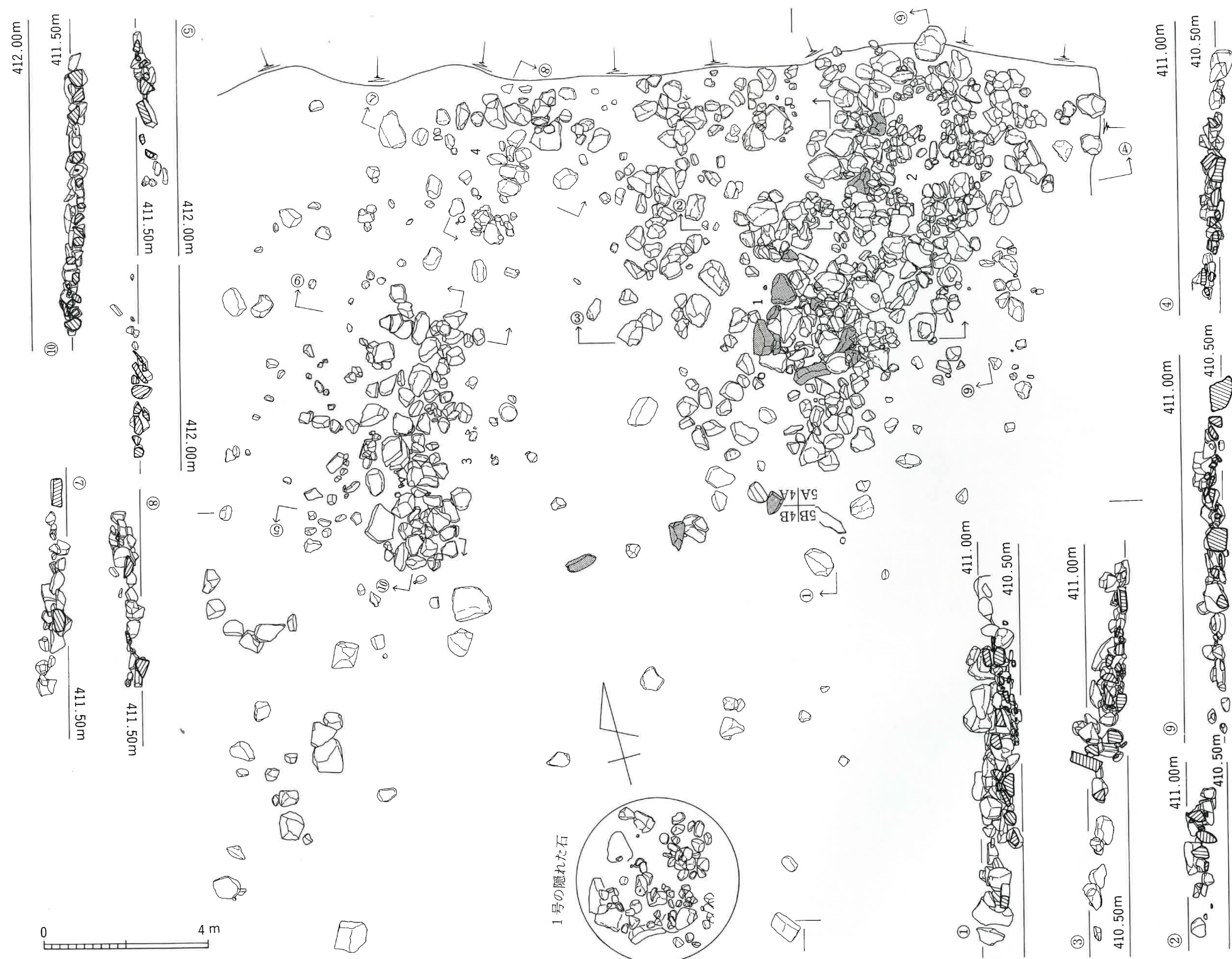
第16図 5層の集石

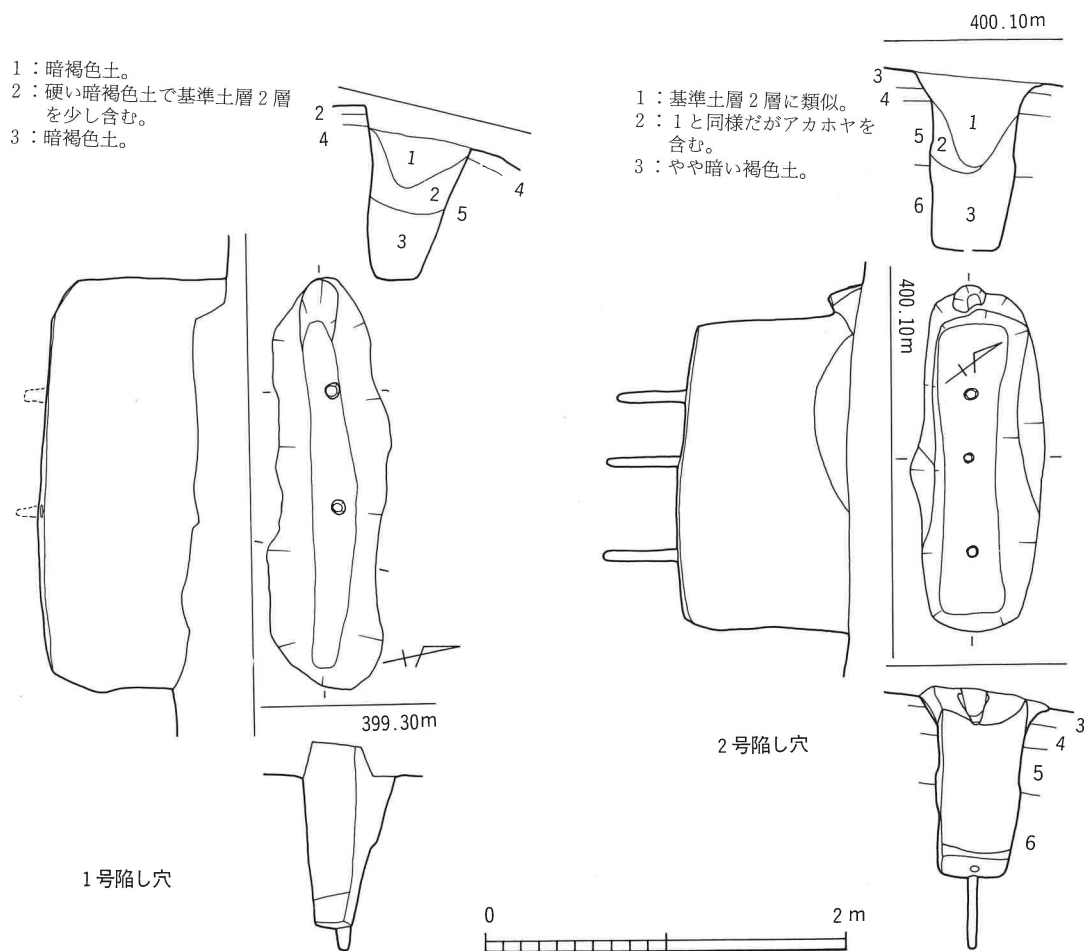


第17図 5層の集石



第18図 5層の集石

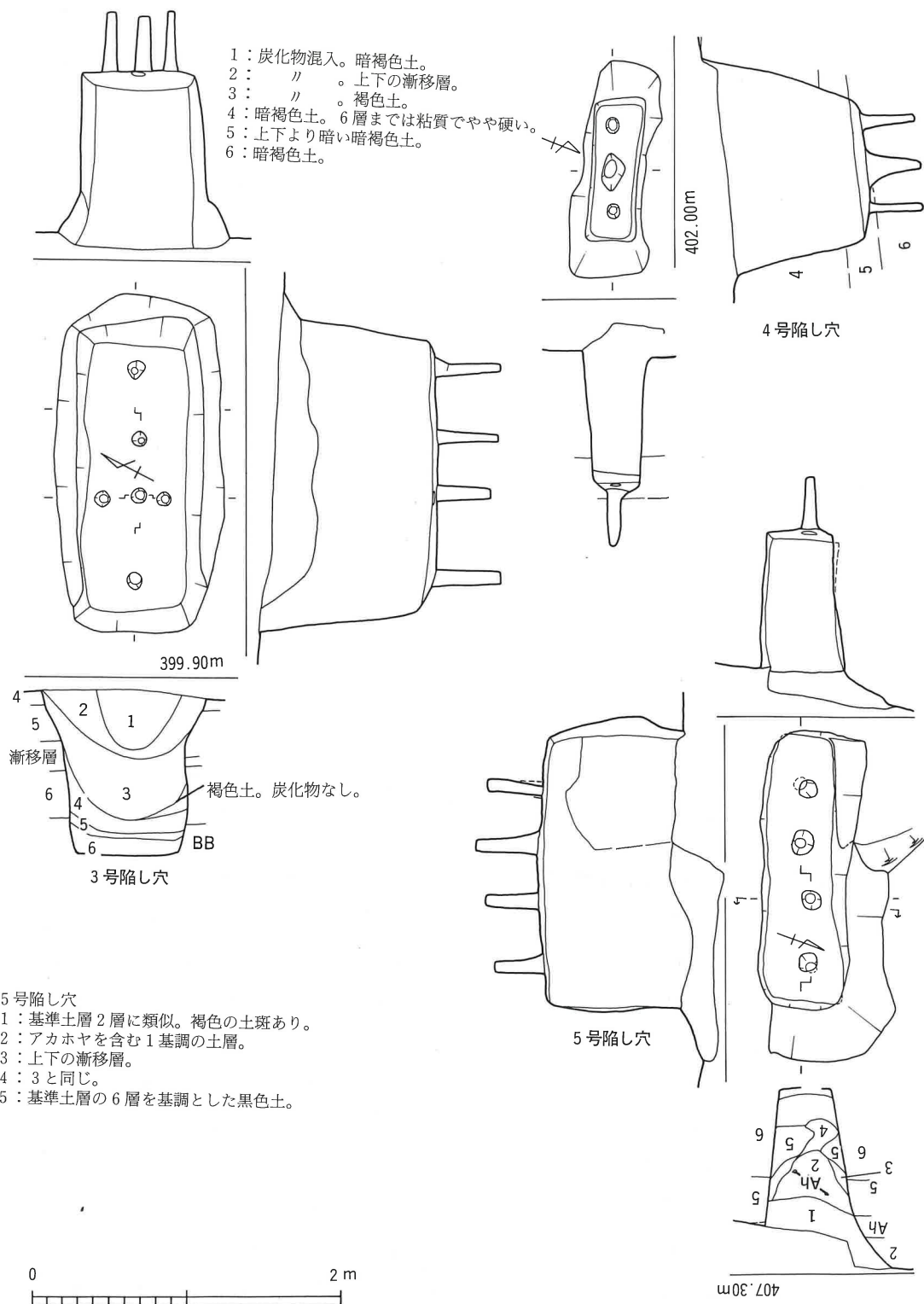




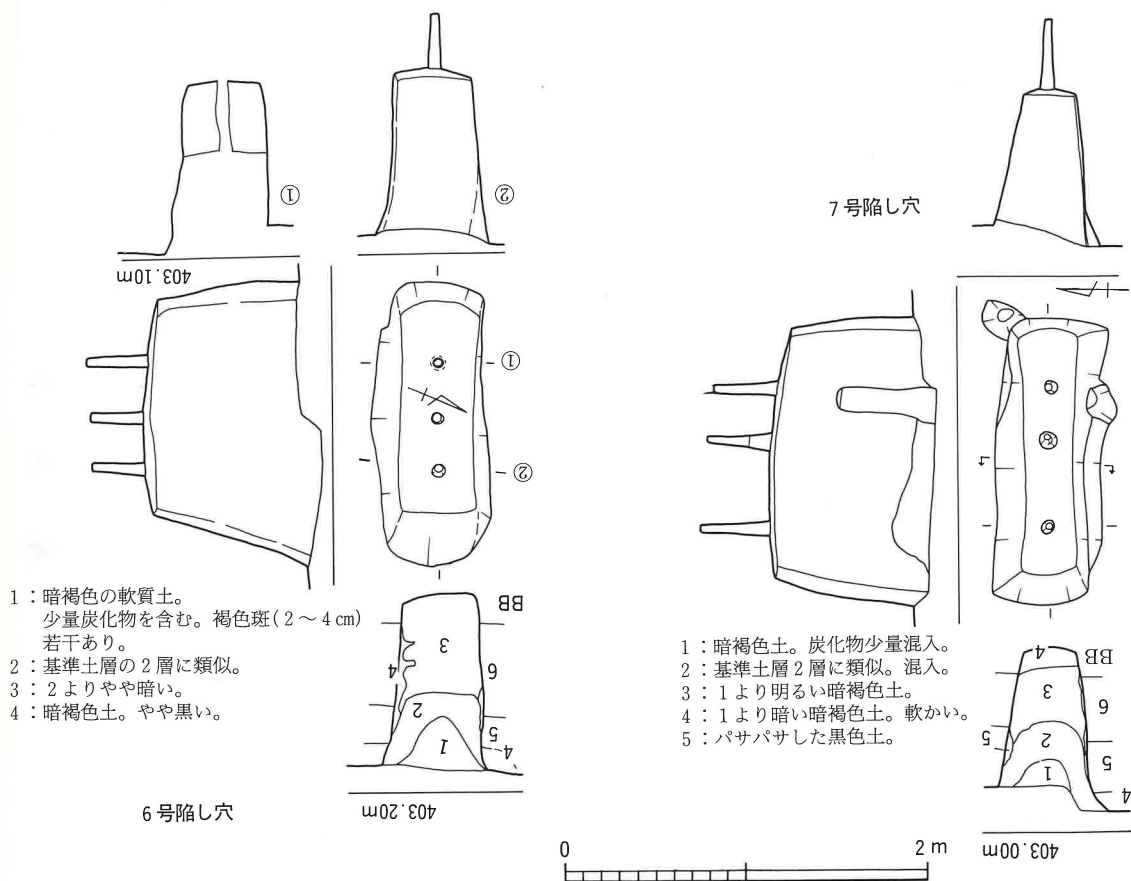
第20図 エゴノクチ遺跡の陥し穴

6 号陥し穴(第22図) : 6 L~M区にある。4 層上面で検出した。埋土の 2 層が遺跡の標準土層の 2 層に類似し、埋土 1 が中世の包含層に似ているのでこの遺構は中世かそれより新しい時期に掘られたものであろう。断面②の位置で土層図をとろうと西半分を掘り下げる途中、断面①の位置で埋土の半分くらいまで下がった時にポツカリと径 7 cm 前後の空洞が開いた(平面図の破線および断面図)。底まで掘り下げると真下の底面に小さい穴があった。これを含め 3 個の穴が底に並んでいたが、その後縦方向に削りながら横に進んだが同様のものはなかった。長さ 156cm・幅 63cm・底までの深さ 98cm。底面は長方形で中央部で狭くなる。

7 号陥し穴(第22図) : 6 M区にある。表土下の 4 層で検出し、底面は黒色帯に掘り込まれている。長さ 157cm・幅 57cm・底面までの深さ 89cm。底面は長方形でやや中央で狭まり、長軸に 1 列 3 個の穴が並ぶ。



第21図 エゴノクチ遺跡の陥し穴

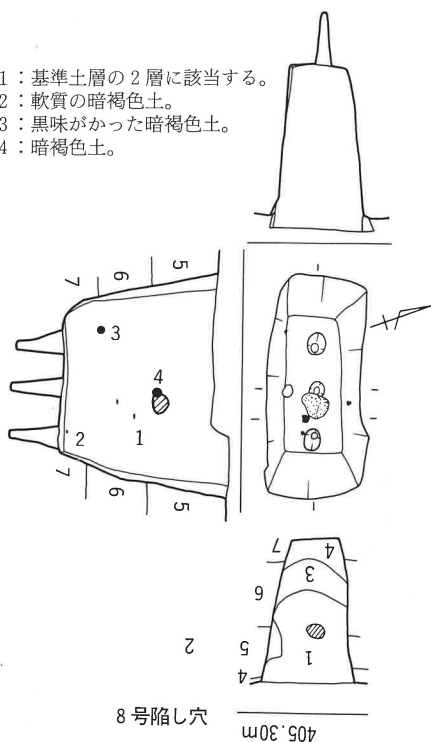


第22図 エゴノクチ遺跡の陥し穴

8号陥し穴(第23図) : 11D区の4層上面で検出した。この付近は表土下がすぐ4層で、4層の最大層厚は18cmである。上面の長さ245cm・幅110cm・底面までの深さ185cm。底に1列に径20cm前後で深さ26cmの穴が3個並ぶ。埋土の途中に礫が1個出土した。中程から下部に土器片5点が出土し、そのうち2点が土師器(第24図3・4)、残りが二枚貝条痕の縄文土器(同1・2)であった。3は上部で外湾し頸部にかかる胴上部の破片で、4は外面は刷毛目調整後ナデ消し、内面は刷毛目調整後ヘラナデしている。5は10C・11C区出土のこれらと同一の個体片である。古墳時代初め頃の土器である。

9号陥し穴(第23図) : 3G~H区に位置する。表土下の5層上面で検出した。埋土の堆積状態からみてアカホヤ火山灰の降灰よりも遅れた時期に属するものであることは明らかである。底面には長軸に沿って3個の穴が並んでいたが、平面図の横に図示したようにこれらの穴には中心付近にそれぞれさらに小さな円い3~5個の変色部が

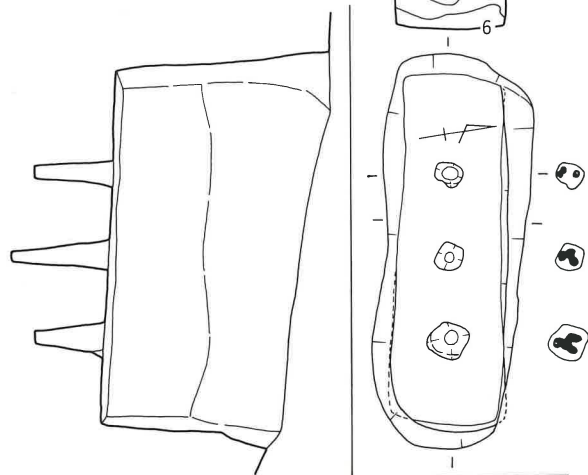
- 1: 基準土層の2層に該当する。
2: 軟質の暗褐色土。
3: 黒味があった暗褐色土。
4: 暗褐色土。



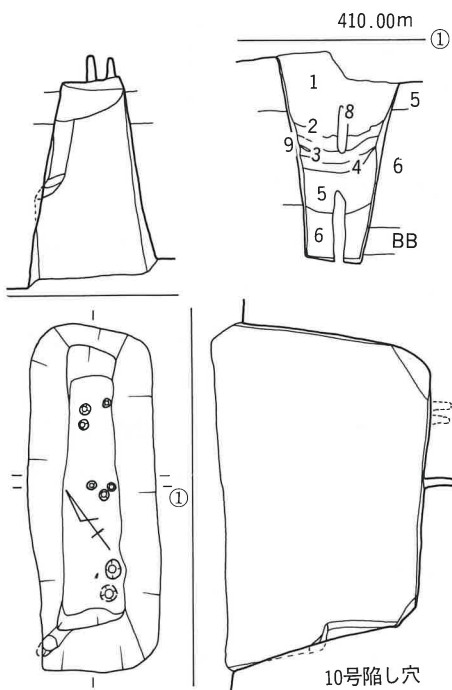
8号陥し穴

405.30m

- 1: 基準土層2層に類似。
2: 1に似、アカホヤ混入。
3: 基準土層4層に類似し、アカホヤを混入。
4: 黄褐色土。
5: 3に似るが、アカホヤは少ない。
6: 軟質の黄褐色土。



9号陥し穴

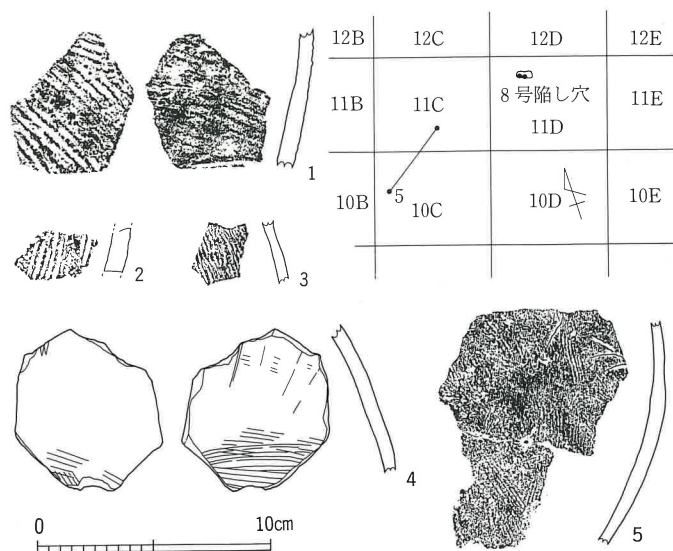


10号陥し穴

- 1: 基準土層2層に類似。
2: // 4 //。アカホヤ混入。
3: 黄褐色粘質土。
4: 基準土層5層に類似。
5: 茶褐色軟質土。
6: 黒褐色粘質土。
7: 黄褐色硬質土。
8: 暗褐色土。



第23図 エゴノクチ遺跡の陥し穴



第24図 8号陥し穴出土土器（1～4）と同一個体（5）の分布状態

あった。この部分は茶褐色の土でフカフカに柔らかかった。周辺の埋土はローム層を利用し黄色ローム混じりの硬い土であった。一つの穴に3～5本の棒立てたものであろう。

10号陥し穴(第23図)：3～4 E区にある。表土下の5層上面で検出した。①で土層断面をとったところ、遺構中央部に底面から84cm上まで縦方向に続く幅5～6cmの土層を確認し、その下に穴が位置していた。空中に突き出た棒の長さは最低限84cmはあったということである。これを含め底には3ヶ所に分かれて8個の穴がある。平面系は長方形で、長さ190cm・幅70cm・底までの深さ122cmである。

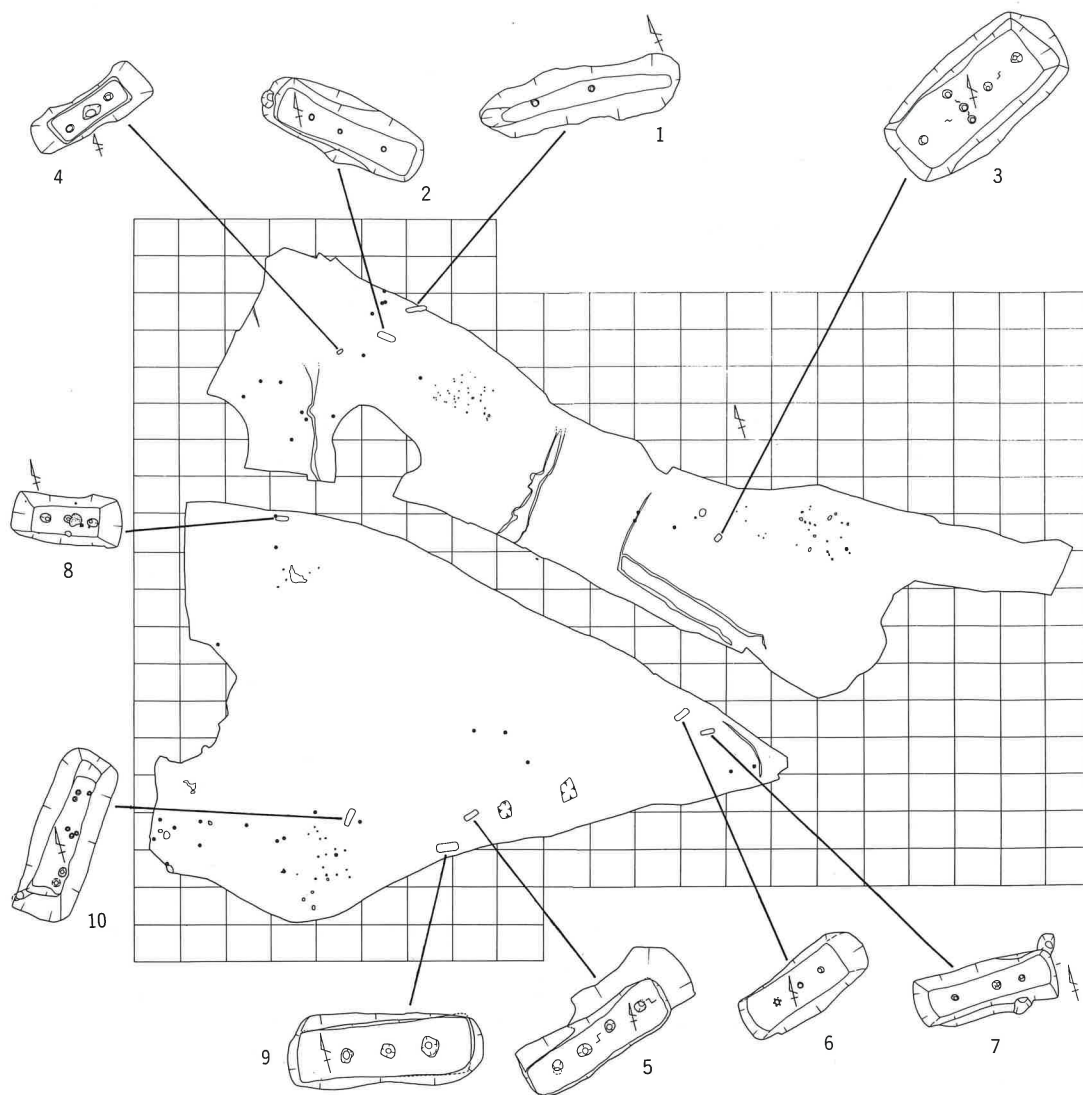
土 坑 (第26～27図 1～8)

1号土坑：11～12M区の4層で検出した。埋土は2層に類似する。平面は167cm×149cmの規模で深さ49cm。中央に向かってだんだん深くなっていく。

2号土坑：11M区にあり、1号土坑の西側にある。57cm×48cmの平面形で、2層に類似の埋土をもつ。

4号土坑：3 A区にある。平面は短い楕円形で上面は93cm×80cm。東側は柱穴状で74cmと深く、浅い西側の最深部は27cmである。埋土は黒褐色土である。

5号土坑：3 A区の4号土坑のすぐ東側にある。5号は6層上面で検出したが、埋土の上部にアカホヤ火山灰が混じり、下層の土も埋土になっている。黒曜石を混入した轟式土器が埋土の上部から出土した(第88図2)。



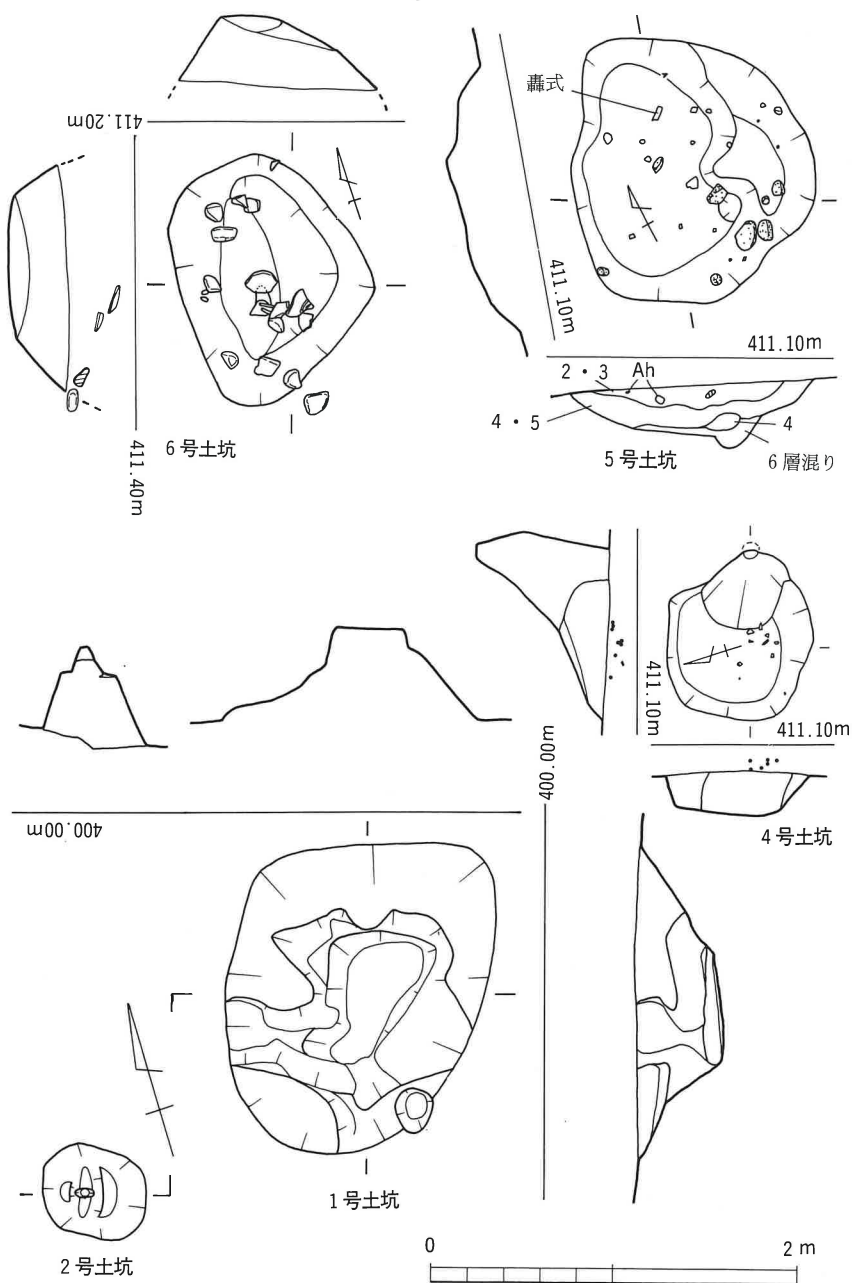
第25図 陥し穴の分布状態

6号土坑：3 B区の6層上面で検出したが、内部から縄文後期の阿高系土器が出土した（第12図6～8）。

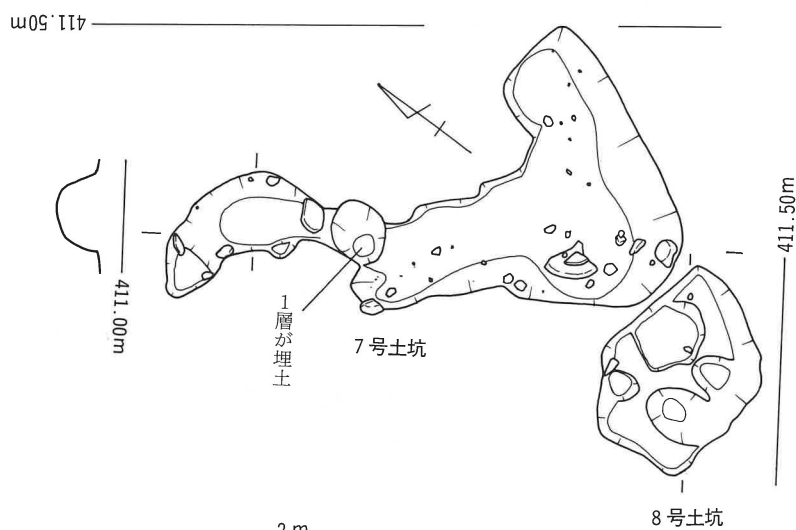
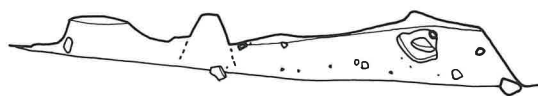
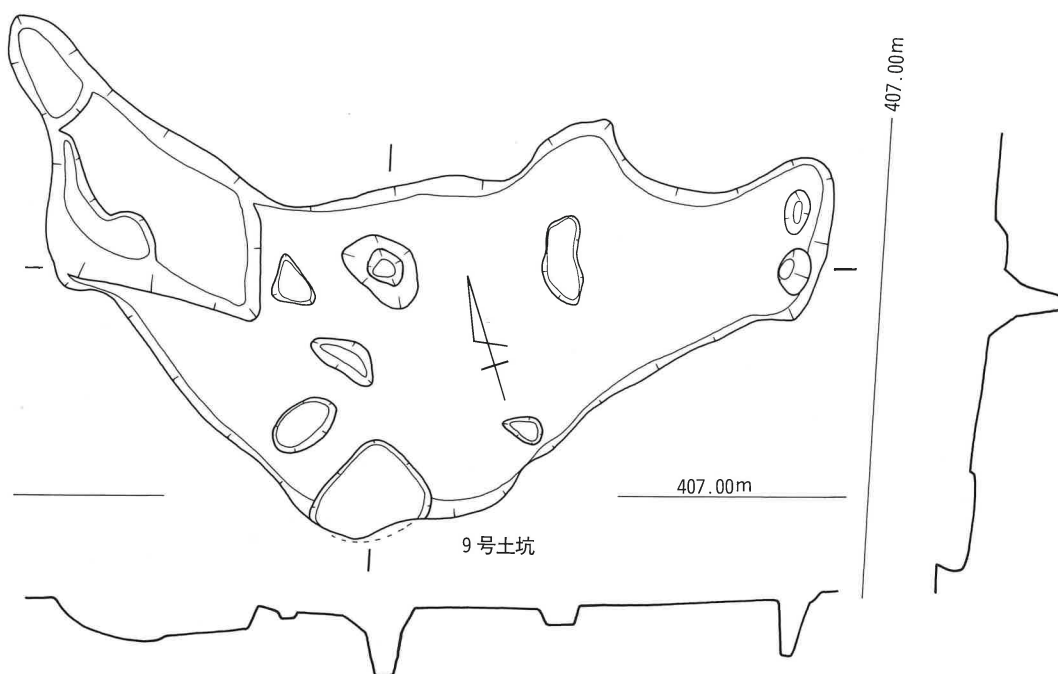
7号土坑：4 B区で検出した埋土が2層の土坑である。別に1層からの掘り込みが重複する。

8号土坑：4 B区で検出した埋土が2層の土坑である。

9号土坑：10D区の3層上面で検出した浅い不整形の土坑。



第26図 土坑



第27図 土坑

3. 縄文時代の土器

同一個体毎に分布図と共に説明してゆく。

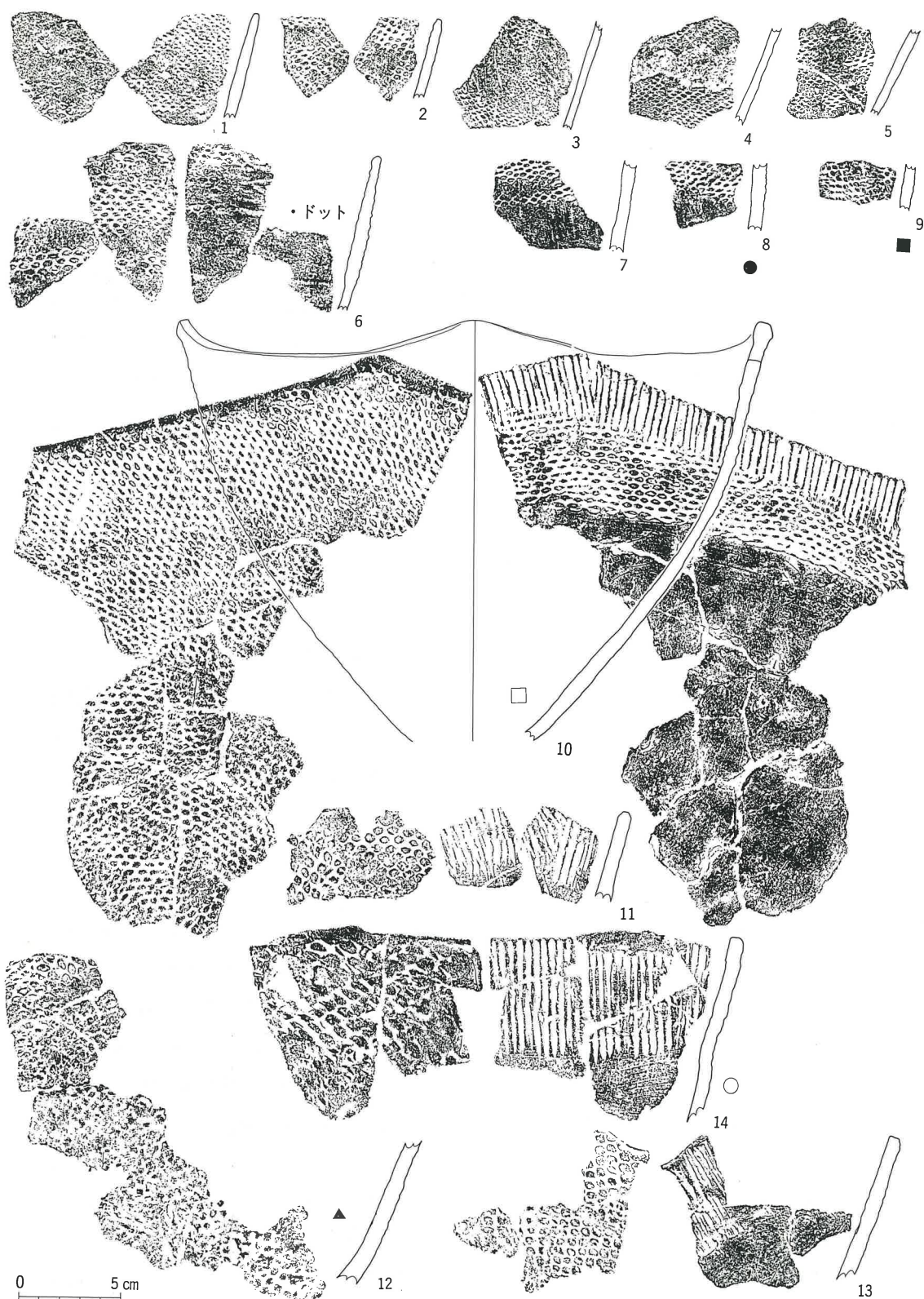
楕円押型文土器(第31～45図)

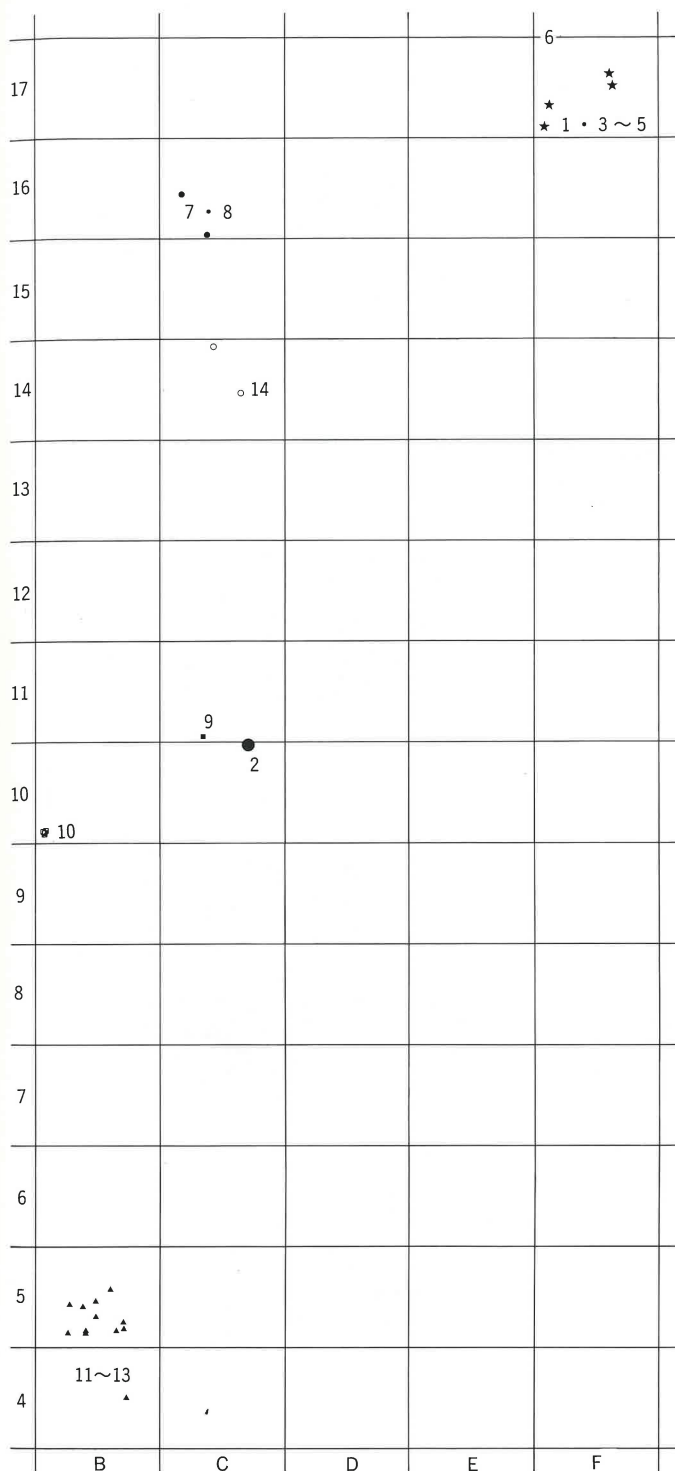
第28図 1・3～5 (★) は17F区出土。内外両面に小粒の楕円文を水平方向に回転施文している。2 (大●) は10C区から出土した。横方向の施文。6 (小●) は18F区出土。内面上部と外面に小粒の押型文を横方向に施文している。原体の長さは約3.5cm、楕円文は11段以上。7・8 (●) は16C区から出土した同一個体 (以下、列記する場合は同一個体である。)。横方向に小粒の押型文を施文し無文部を残す。土器の厚みは6mm前後である。9 (■) は11C区より出土。10 (□) は10B区出土。波状口縁をなし外面は斜方向の施文。内面は楕円文施文後に上部に沈線状に回転施文。原体は*単位で直径は*cm。口径29.4cm・推定高さ約22cm。11～13 (▲) は5B区を中心に4B区からも出土。波状口縁をなす。内面には、向かって左から右の方向に原体を転がして沈線状の文様を付けている。原体の長さは5.0cm前後である。原体は口縁では波状口縁に沿って転がる。14 (○) は14C区出土。内面の沈線状文様の原体の長さは約5.5cm。

第30図 1 は10D・11DE区出土。胎土にチャートと石英を少量含む。押型文は内面・口唇・外面に施してある。外面のは横あるいは斜め方向に施文している。内面はナデ。口径28.0cm。2 は2E区出土。3 (×) は3D区出土。内面はナデ。内面上部と外面に押型文施文。4 (☆) は3C区出土。5 (●) は4B・7D・8C・8D区出土。内面はナデ。口唇にも楕円文を付けている。口径28.4cm。6・7 は11D区を中心に10・13D区にも分布した。楕円文は口縁部は両面とも横方向の、胴部では斜方向の施文である。8 (★) は6G区出土。内面はナデ仕上げ、外面も押型文がナデにより消えた部分が多い。9 は3A区出土。内面は押型文施文後に横方向のヘラナデ。

第31図 1 は3B区を中心に2B・3C・3E区から出土した。内面は上端に押型文、その他はヘラナデ、外面は縦方向の施文。口径27.6cm。2 は5C区出土。内面上部には指による右がりの凹線を引いた後に押型文を加える。3 は3D区出土。内面はナデ調整しヘラによる沈線引き、外面は斜方向に楕円文。口径は19.8cm。4・5 は3D～F・4B・6D区出土。内面には2度引きした沈線をもち、押型文は縦方向に施文。原体は2単位で直径6.4cm。6 は2A・2D区出土。7～9 は2B・3DE・4B・5B・6E区出土。内面には押型文原体 (長さ約5cm) を斜方向に転がして沈線文を描く。10 は2D区出土。黒曜石を少量含む。内面には短沈線を2段施文している。

第33図 1 (小ドットで示す) は3D区を中心に2C・3EF・4D・5A区より出土した。内面は横方向のナデで上端と口唇にも押型文を施文している。口径38.7cm。



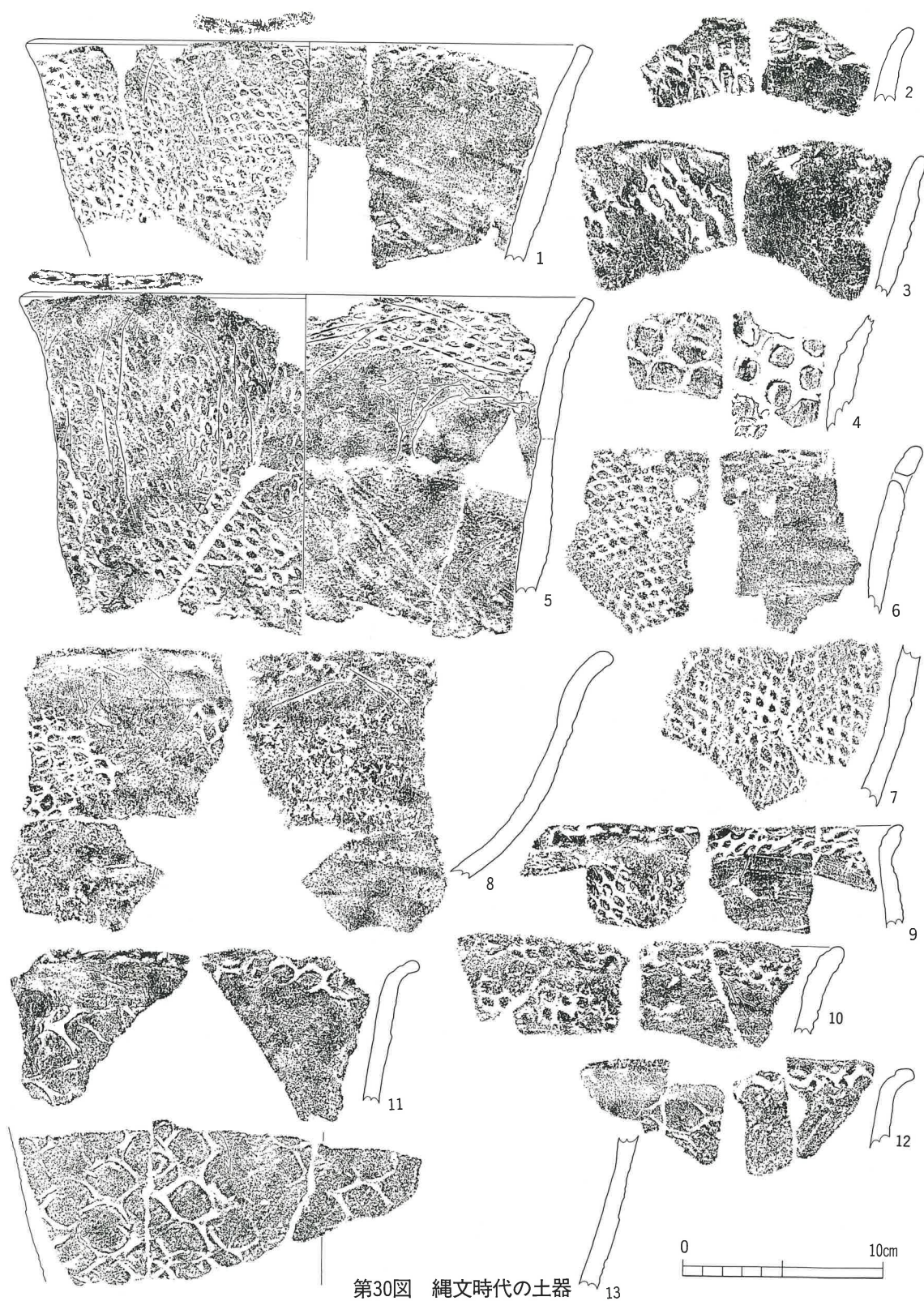


第29図

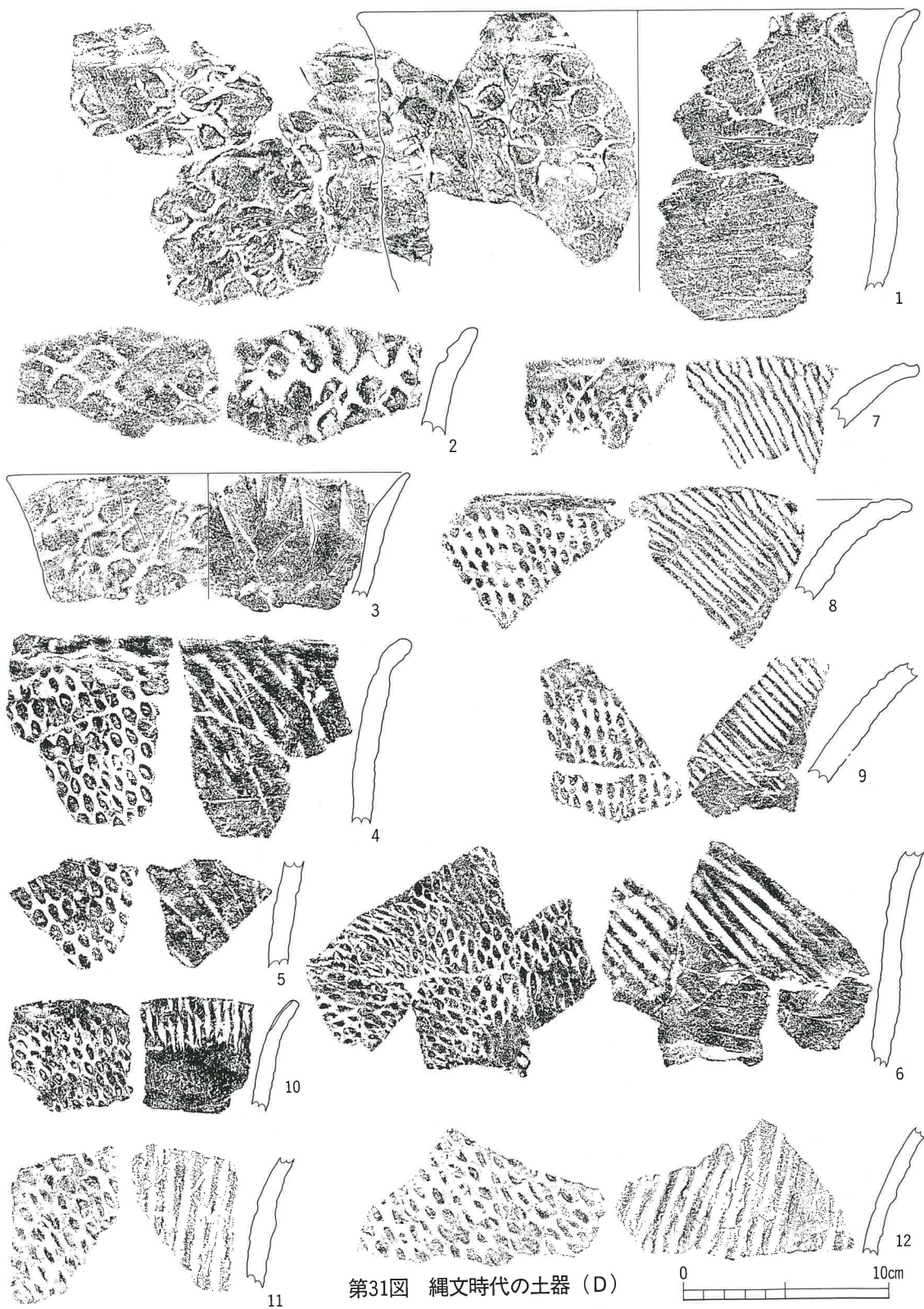
小楕円＋内面原体

第34図 1 は 2 B 出土。内面の凹線は指頭によるらしい。2 は 2 B 区出土。押型文原体を斜方向に転がして施文している。3 は 2 C・2 D・3 B・3 G 区出土。内面の凹線は 3 度引いて施文している。外面上部は押型文施文後ナデ消している。4 は 3 D 区出土。内面も押型文である。5～8 は 3 A B・4 A B・5 B 区出土。内面は沈線状の回転施文。9～11 は 3 F・4 B・5 B・5 E・5 F・7 F 区出土。内面には太い凹線を 3 度引き、外面には楕円文を斜方向に施文している。12・13 は 3 D・3 E・4 E 区出土。内面はナデの後に棒状のもので沈線を引く。14 は 3 E 区出土。内面の凹線はこの破片では 4 度引いている。

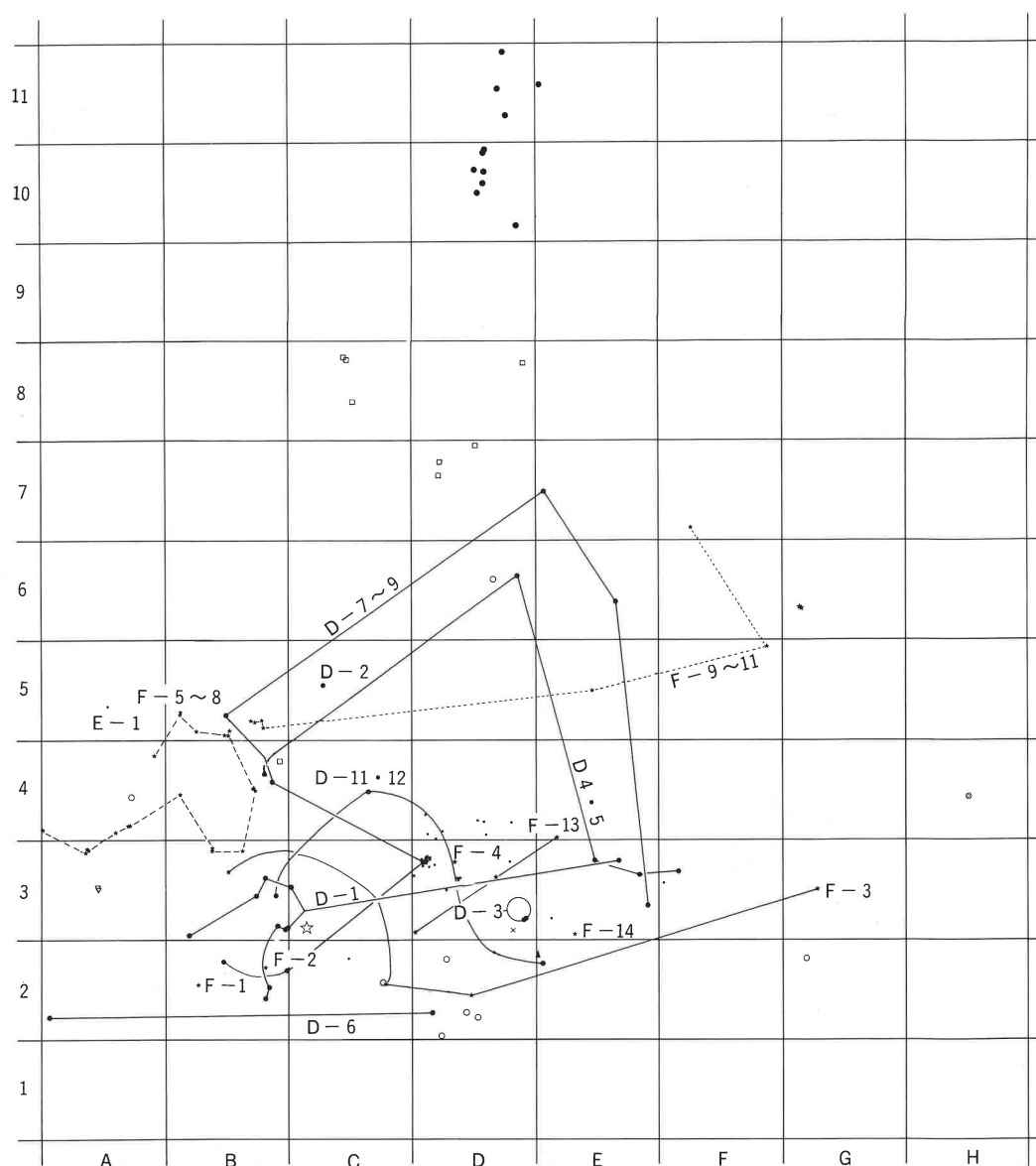
第35図 1 は 3 C 区出土。内面上部には指ナデ状の凹線文をもつ。2 は 6 D 区出土。内面には沈線を引いている。3・4 は 3 F・3 G・7 E 区出土。内面ナデ。5・6 は 16 C 区出土。内面の凹線は押型原体によるもので破片には 2 段認められる。外面は無文のようにも見えるが、大型の楕円文がこれより下にあるかもしれない。7 は 17 F 区を中心に 5 I 区に 1 点分布した。内面は指頭による短い凹線をつけ外面は無文。内面下端にヘラ削りがある他はナデ。8 は 1 D 区出土。口縁端部は水平近く折れ曲がり、内面上部とそこに続く下部に沈線文を加えている。9～11 は 13～15 D・16 C 区出土。内面の沈線



第30図 縄文時代の土器



第31図 縄文時代の土器 (D)



第32図

は押型文である。12・13は2 D・3 D E・5 C D・6 C区出土。内面の凹線は2度引きしている。

第36図 1は7 C区出土。内面の凹線は2回引いている。2は4 B・5 B区出土。内面には左下方向への沈線文が長さ7 cmほど引かれ外面にはほぼ横方向に楕円文がある。3・4は17 F区出土。5・6は17 F区出土。内面はナデで、外面は小粒の楕円文を無文空白部をおいて横方向に施文している。原体は11段で長さ約2.4 cm。7は2 D区出土。内面には指ナデによる浅い凹線文があり、外面には大粒の楕円文がある。外面には煤が付着している。8～10は3 B・3 C区出土。8の内面には二枚貝条痕が残る。他はナデ消している。9の中央左寄りと右下には山形

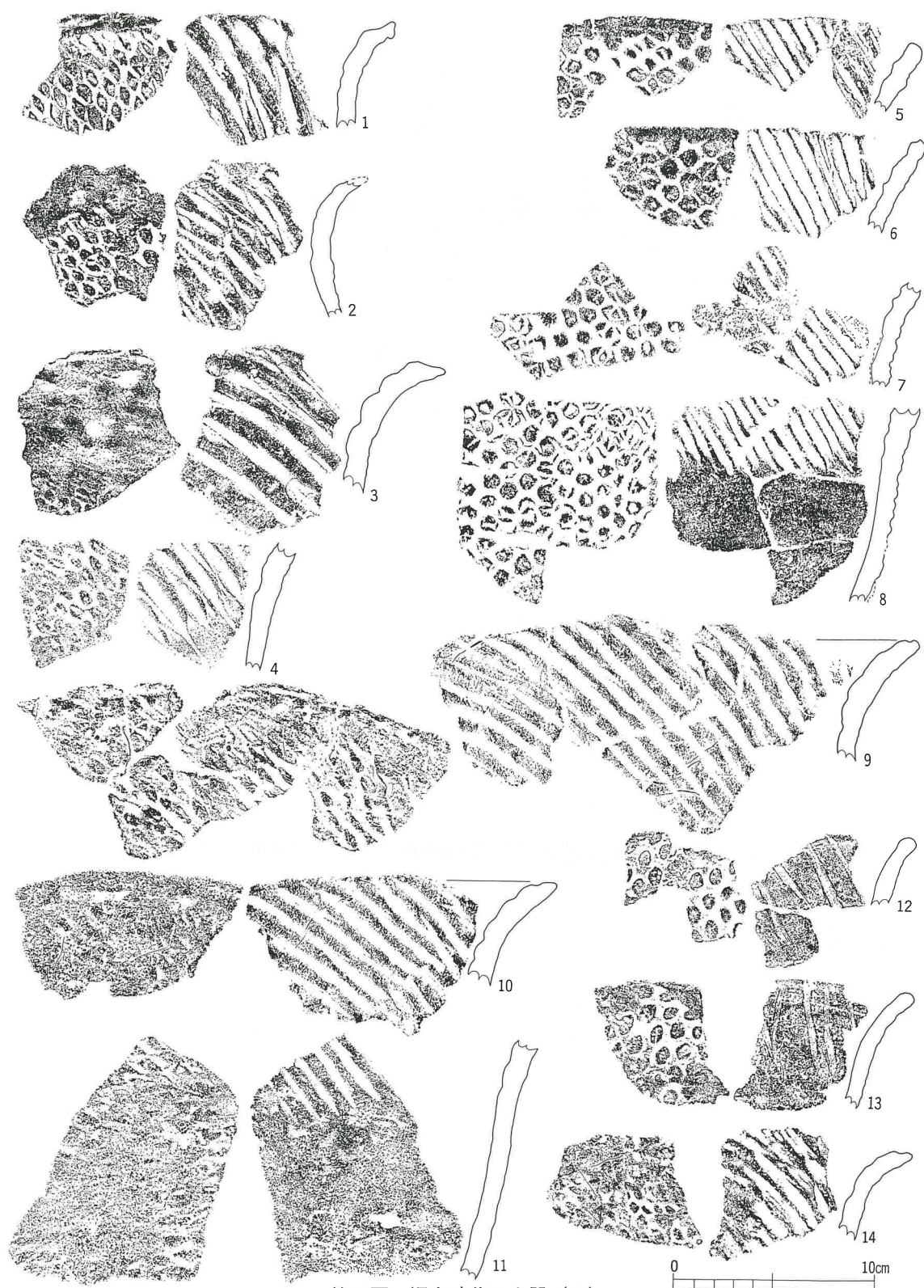


第33図 縄文時代の土器 (E)

文も施文されている。11～12は4 H・5 H・5 J・6 F～J・7 I区出土。楕円文は縦方向に施文。上部は複数の凹線が横走するがこれも押型文らしい。13は10号集石と16C区から1点づつ出土した。文様は大粒の楕円文らしい。14は6 D区出土。内面はヘラ磨き。15は2 D区の30号集石から3点出土した。16は4 E区出土。内面ナデ。外面には大粒の楕円文と木の葉の圧痕がつく。

第38図 1は2 D・3 C～E・4 G・5 E区出土。内面はナデ。外面は縦方向の施文。2 (△)は3 C・3 D・4 C・4 D・6 D区出土。内面はナデ、外面は縦方向の押型文。3～5は2 C・3 B～E区出土。内面は粗いナデ。外面は縦から斜方向の押型文。6 (小★)期は2 D・3 B・4 C・4 D区出土。内面はナデ。

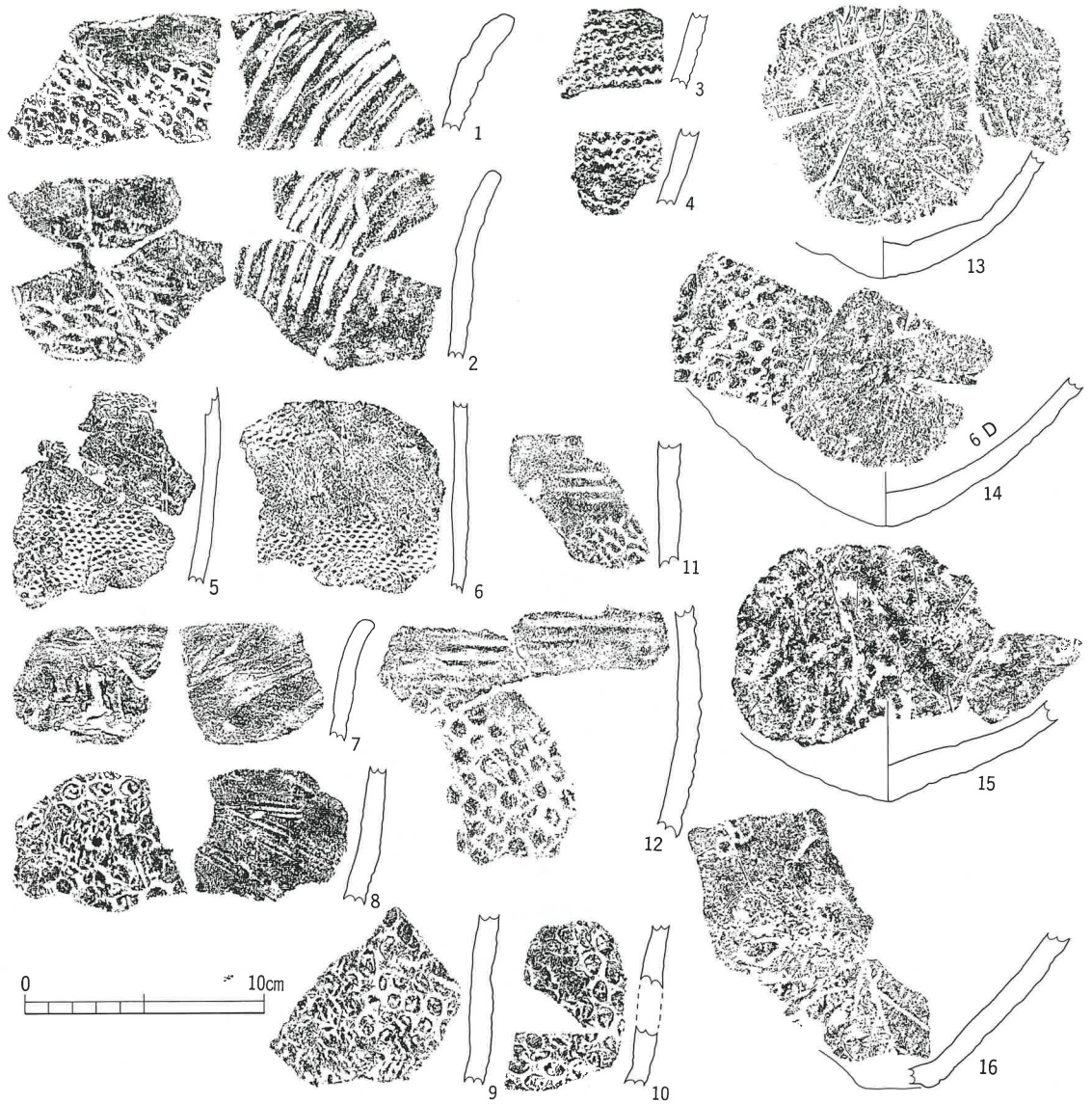
第39図 1～5 (●)は3 A・4 A～D・5 A B区出土。内面ナデ。施文は原体を縦に回転して行っている。6は4 D区出土。口縁部周辺はナデ。7・8 (□)は3 B・3 D区出土。7の内面は上端を除いて横方向のヘラ削りで8はナデ。9～11 (▼)は3 E区出土。内面ナデ。縦方向に押型文を施文。12 (▲)は2 D・3 E (表土)・6 D区出土。内面はナデ。13～15 (☆)は3 B・3 E・3 G・4 A・4 B・4 D・5 B区出土。16・17 (■)は2 B・3 E区出土。16には認められないが、17は押型文施文後に上部から粘土をナデ付けられて楕円文が下に隠れている。内面ナデ。18は5 F区出土。胎土に大粒の石英を含む。押型文は縦方向に施文。19 (×)は3 D区出土。20 (◎)は6 E区出土。内面はナデ。押型文原体の長さは4.9cm、楕円は8段ある。21は4 B・5 C・6 D区出土。内面ナデ。22 (★)は3 C・4 A区出土。内面横方向ナデ。



第34図 縄文時代の土器 (F)



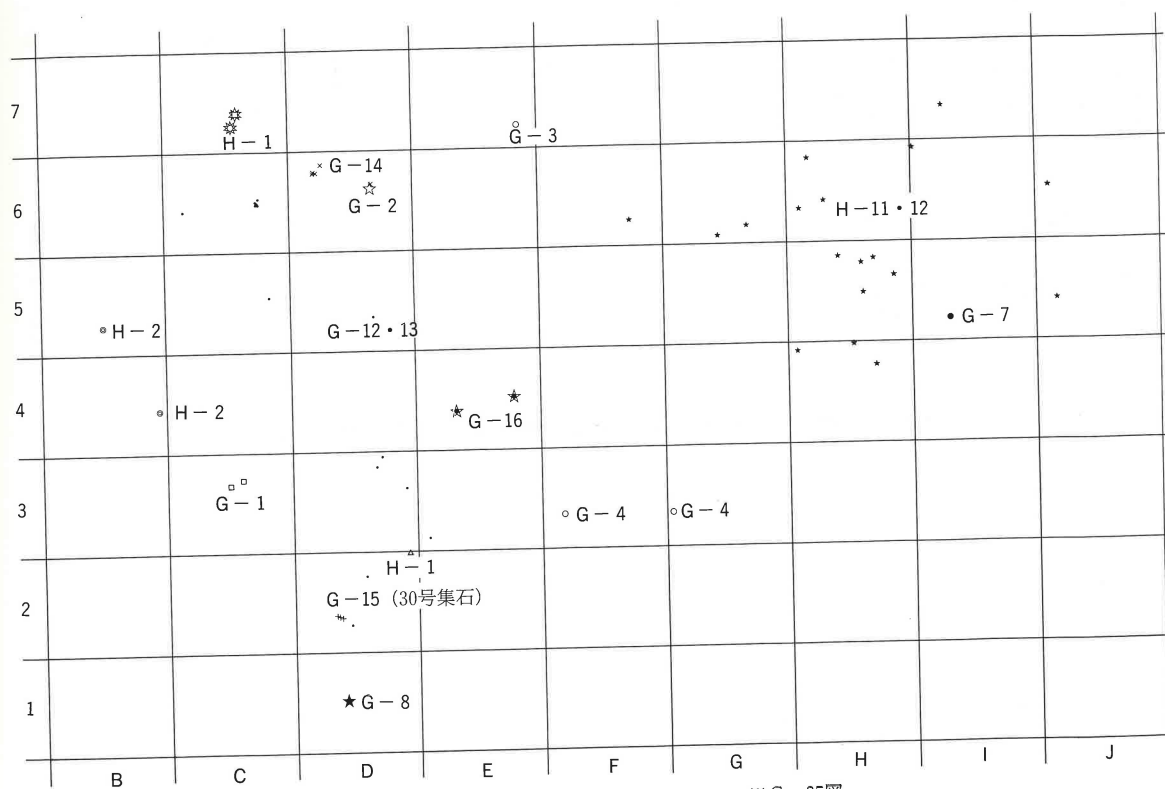
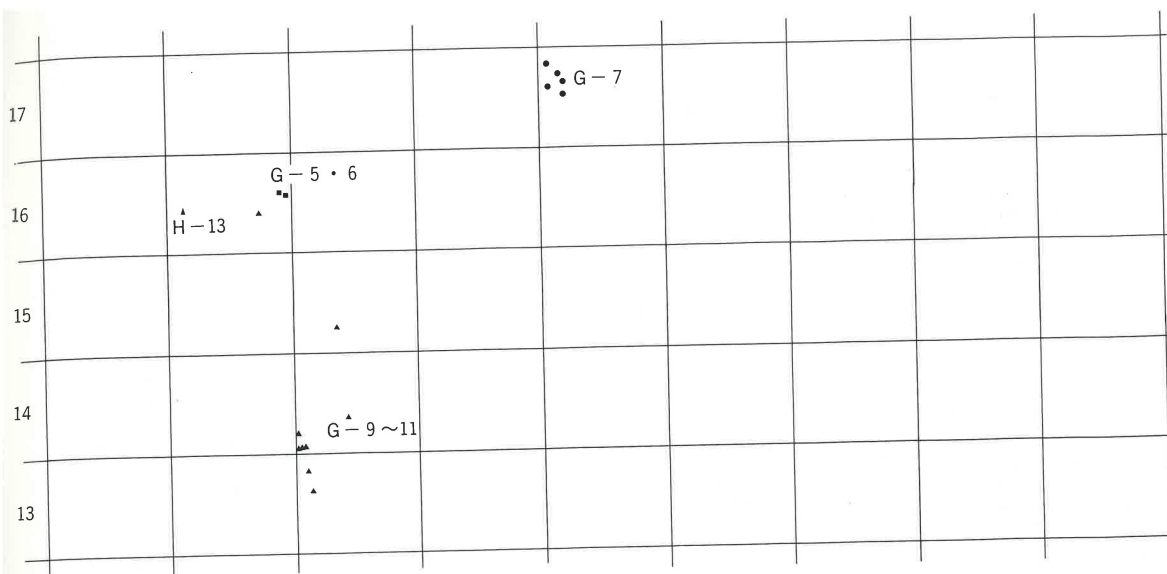
第35図 縄文時代の土器 (G)



第36図 縄文時代の土器 (H)

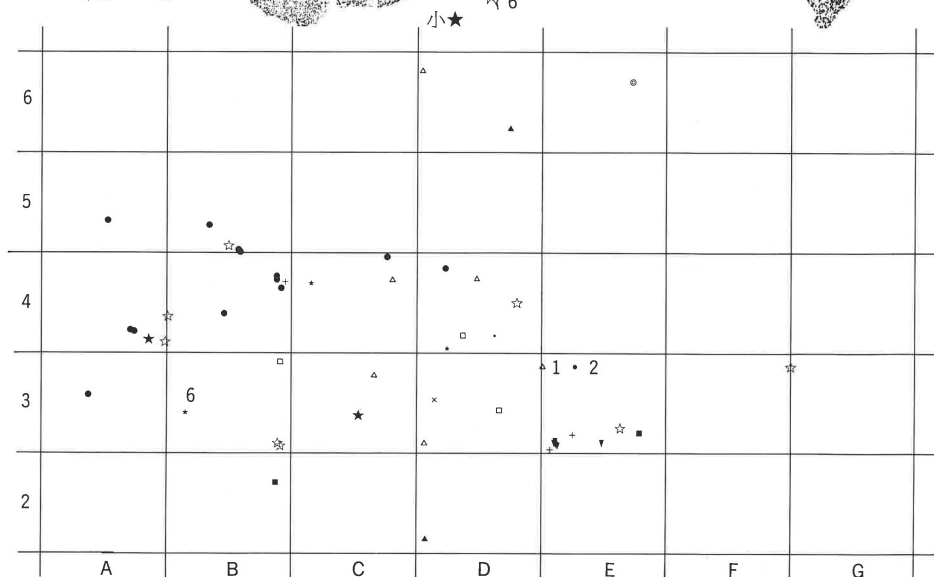
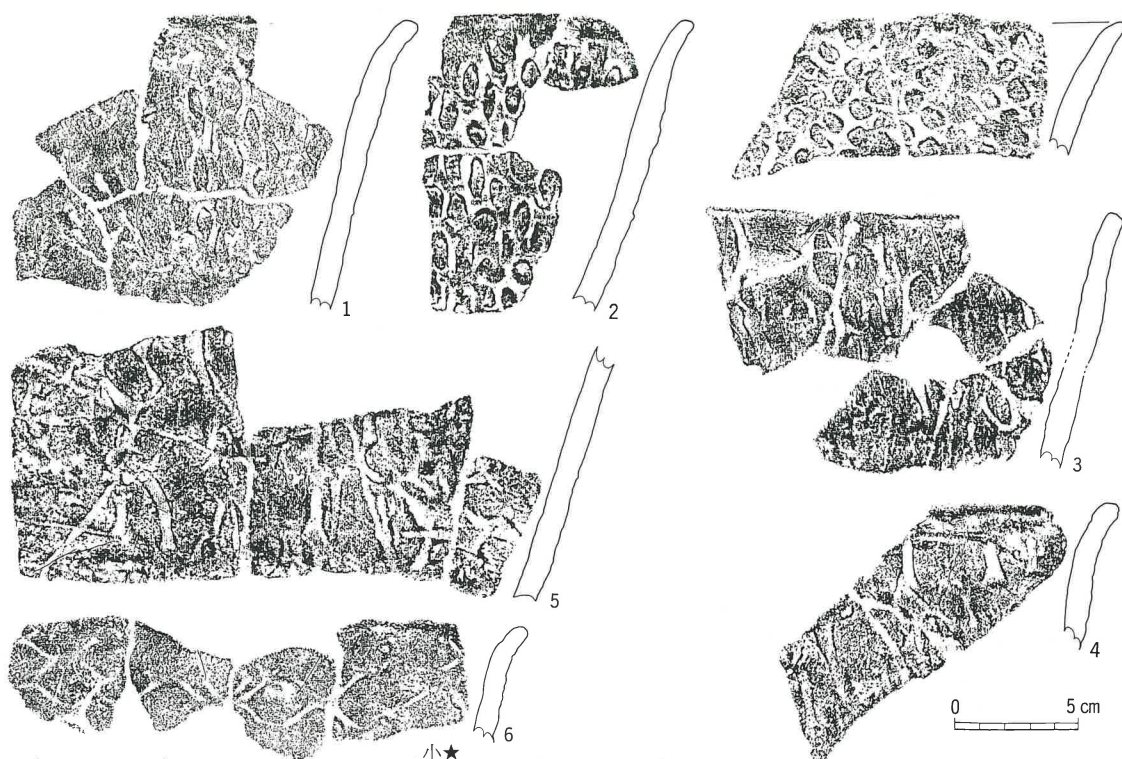
口径23.8cm。23・24 (+) は3 E区出土。内面から外面上部はナデ。

第40図 1・2 (○) は11D区出土。楕円文が内面上部と外面にある。口縁部付近では横方向に、下部では斜方向に施文する。3・4 (中★) は10B・10C・11B区出土。内面から外側上部はナデ。5 (小●) は11B・11D区出土。内面ナデ、押型文は斜方向。6・7 (△) は10D・13C・13D・14C・14D・15C・16D・16E区に分布した。外面に斜方向に施文する。8は10D区出土。9・10 (▲) は14C・14D・15C・15D・16E区出土。内面はナデ、外面の押型文はナデ消されている。11 (大●) は15C区出土。これも口縁付近の押型文がナデ消されている。

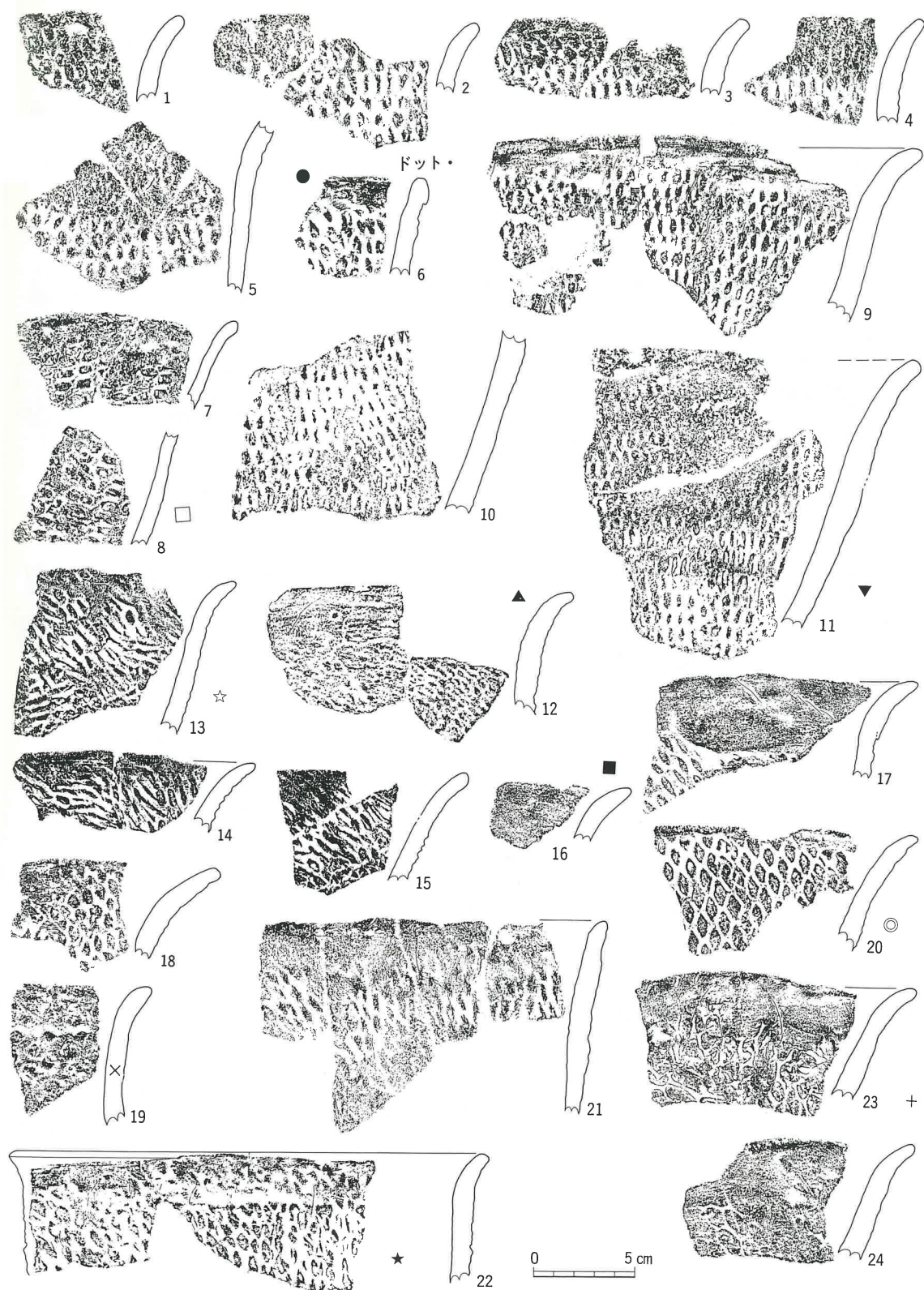


第37図

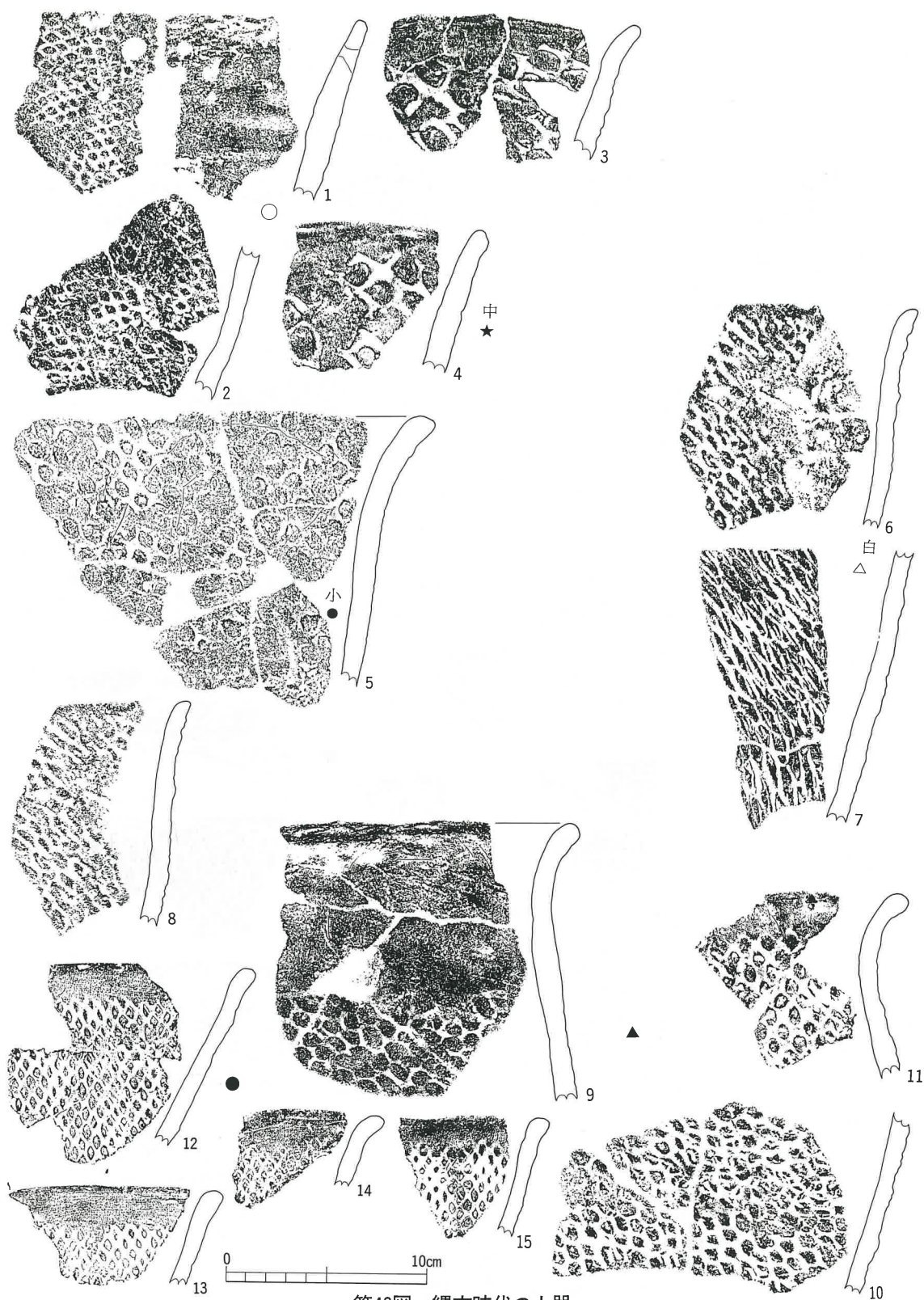
※ G = 35図
H = 36図



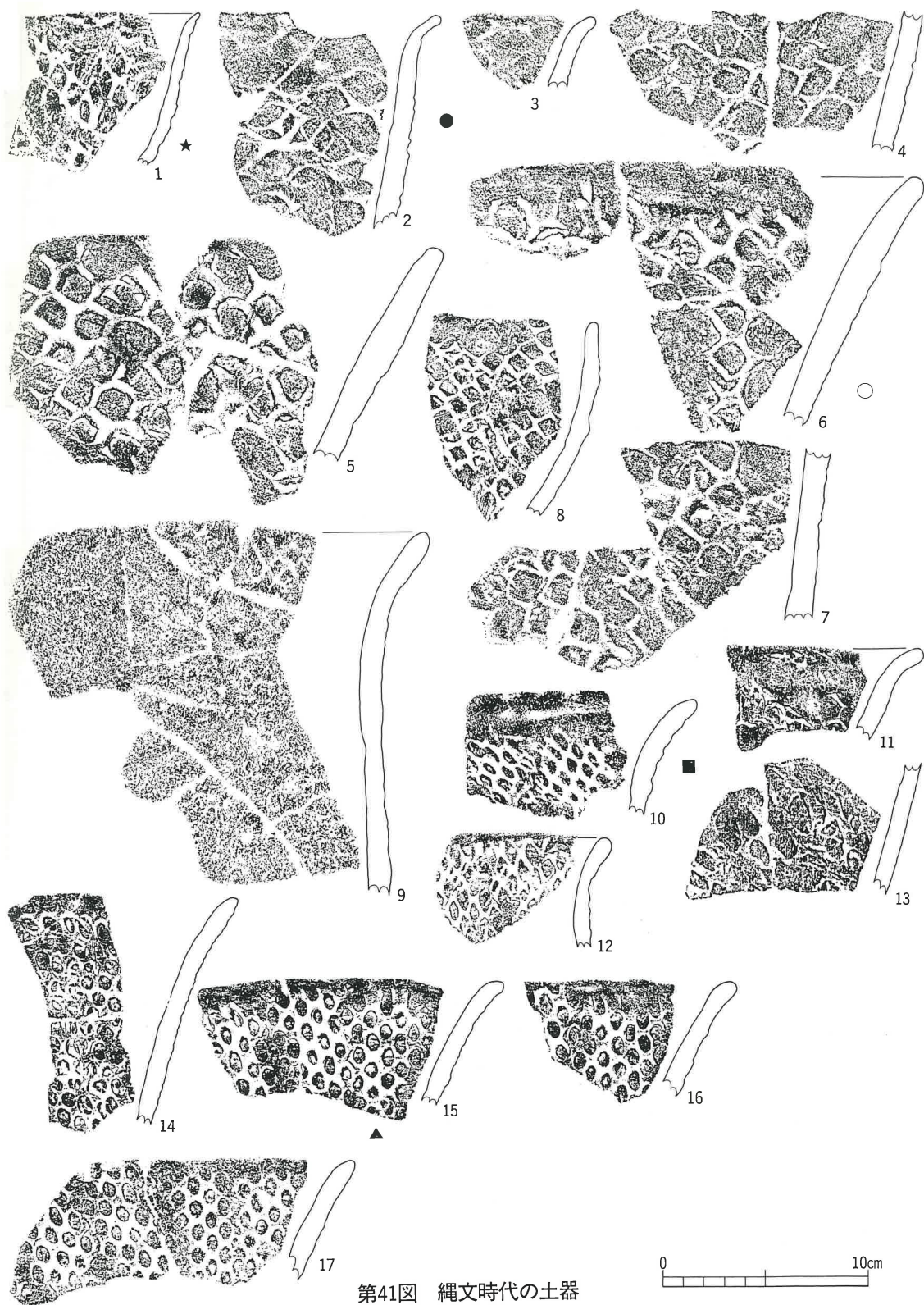
第38図 縄文時代の土器



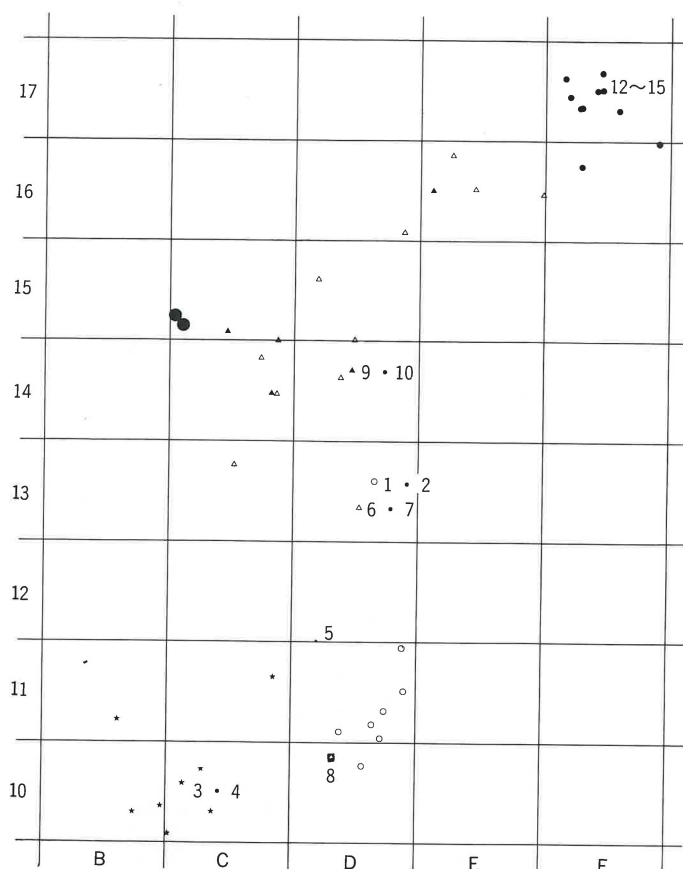
第39図 縄文時代の土器



第40図 縄文時代の土器



第41図 縄文時代の土器

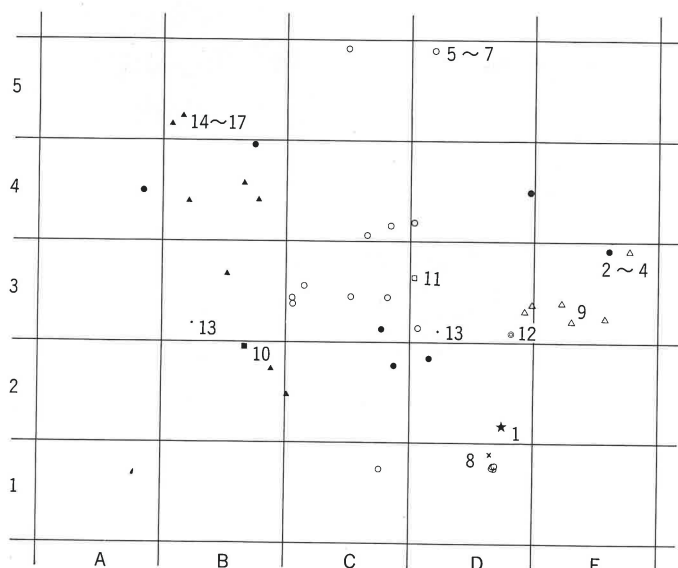


12~15は17 F区を中心に16 F区からも出土した。原体を縦方向に転がし内面から外面上部はナデて、文様を消している。

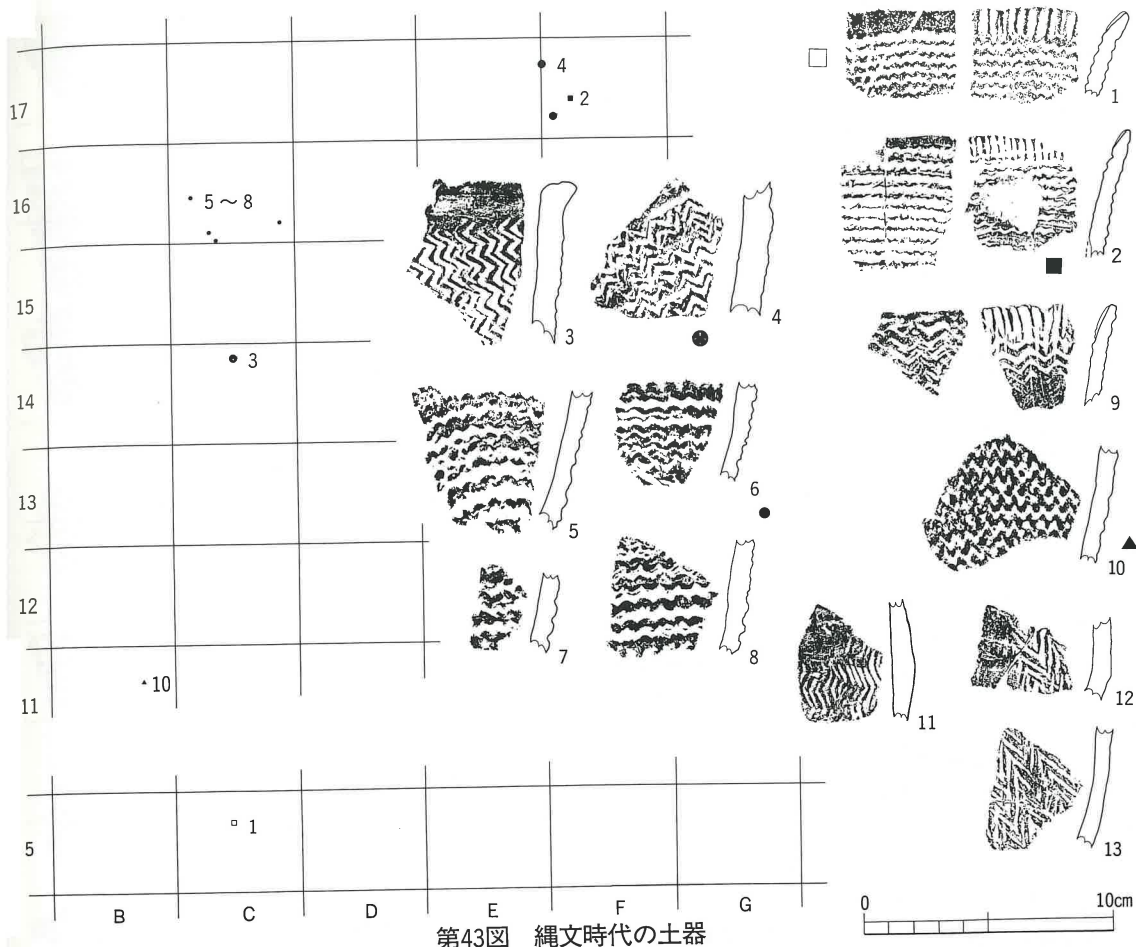
第41図 1 (★) は1 D・2 D区で各1点が出土した。施文は縦方向。2~4 (●) 2 C・2 D・3 C・3 E・4 A・4 B・4 D区出土。内面ナデ。5~7 (○) は3 C区を中心に1 C・1 D・3 D・4 C・4 D・5 C・5 D区にも分布した。(24号集石33は胴下部の小片である。) 器厚は1.5cm前後と厚い。大粒の楕円部を斜方向に施文し、内面はナデ。8 (×) は1 D区出土。斜方向の施文。内面の中程にコゲ付着。9 (△) は3 D・3 E区出土。内面はナデ。押型文は口縁部付近では縦方向の施文。以下は不詳。10 (■) は2 B区出土。外面上部の押型文はナデ消し。11 (□) は3 D区出土。内面ナデ。押型文も部分的に消えている。12は3 D区出土。内面はナデ。13 (・) は3 B・3 D区出土。14~17 (▲) 2~5 B・2 C区に分布した。施文原体は長さ3.6cmにわたり5段の楕円文を2単位 (2個の楕円が反復して現れるということ) もつ。原体の復元直径は8.4mm。

山形押型文土器 (第43~45図)

第43図 1 (□) は5 C区出土。山形文を両面とも横方向に施文している。内面はその後、縦方向の押型文を加えている。外面上端には幅1cmの無文部がある。原体は6段(以上)で長さ2.8



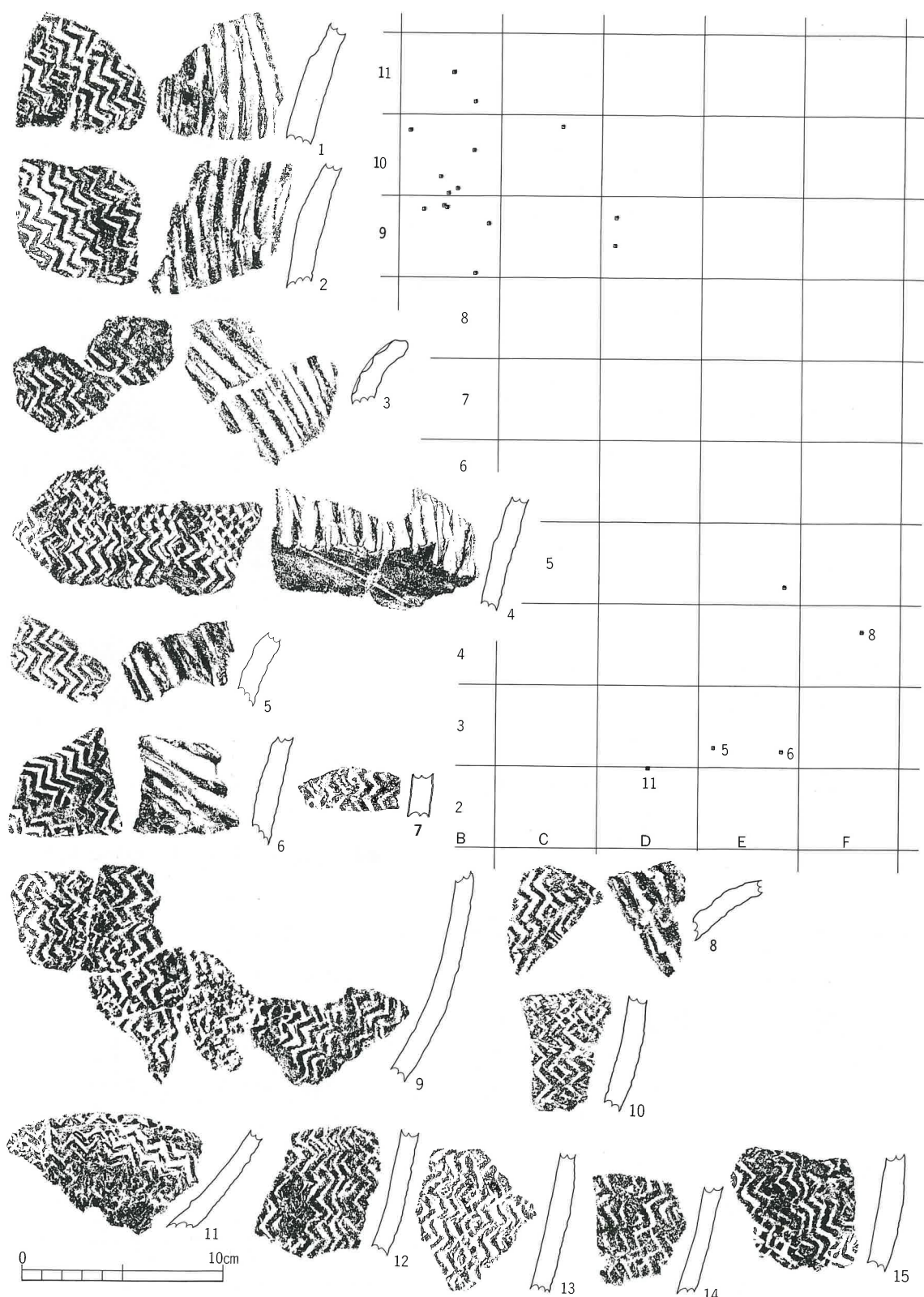
第42図



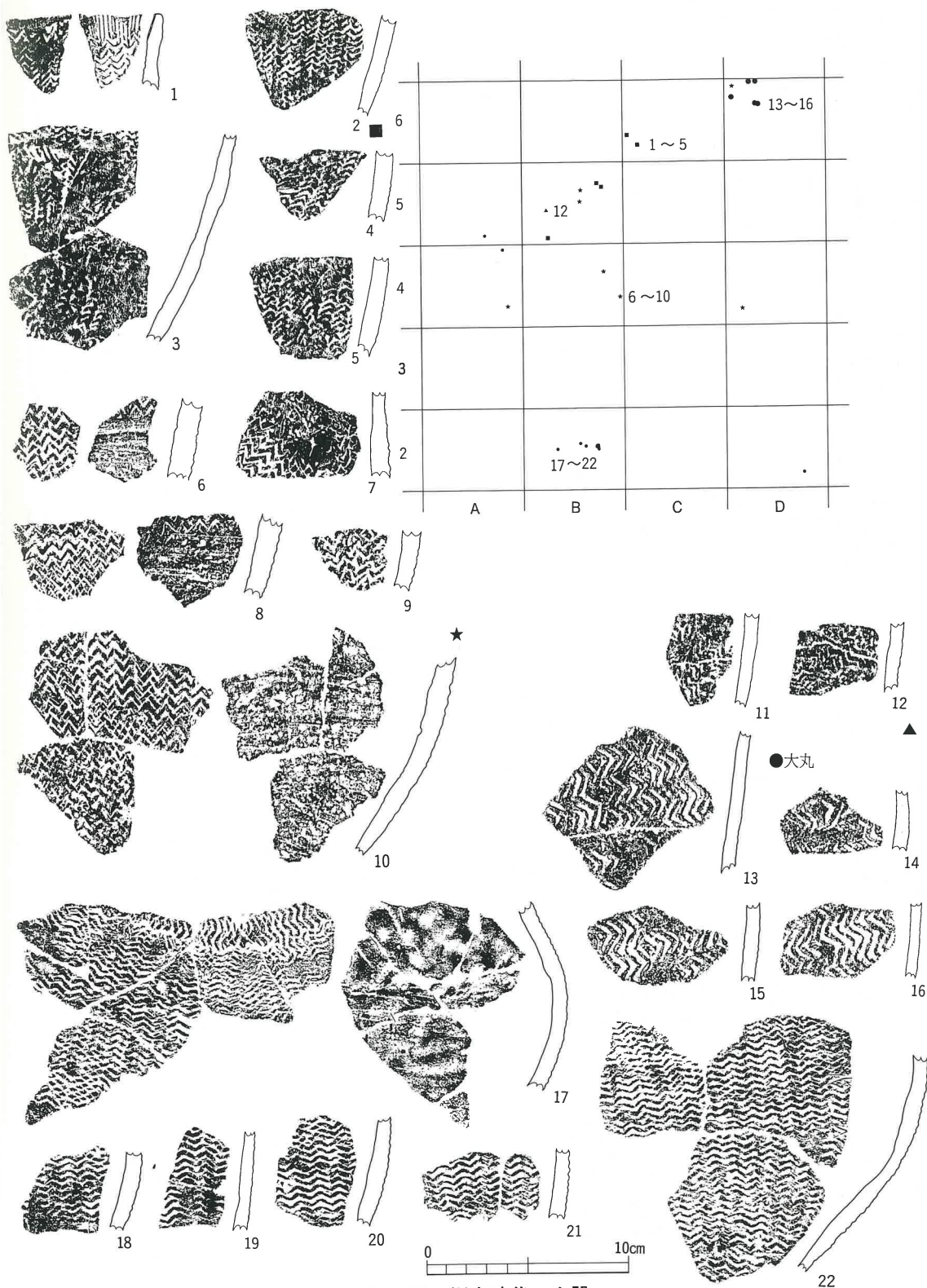
第43図 縄文時代の土器

cm (以上)。2 (■) は17F区出土。1と同様の文様構成で口縁上端には幅0.5cmの無文部がある。原体は6段 (以上) で長さ2.7cm (以上)。3・4 (●) は14C・17F区出土。原体は5段 (以上) で2単位の山形文をもち、長さ2.7cm以上で直径6.4mmである。口縁付近ではナデ消され、内面も横方向のナデ。5～8 (・) は16C区出土。原体は5段 (以上) で2単位の山形文をもち、長さ3.6cm以上で直径4.5mmである。すべて横方向に施文している。内面ナデ。9は5E区出土。1・2類似の文様構成だが口縁上端の無文帯はない。原体は5段 (以上)、長さ2.3cm (以上) である。10 (▲) は11B区出土。原体は5段 (以上) の山形文で、長さ3cm以上である。横方向に施文している。内面ナデ。12・13は16・17D区表土層出土。内面ナデ。11は5G区出土。内面は平滑で外面には縦方向に施文している。原体は7段 (以上) で長さ1.8cm (以上) の山形文である。

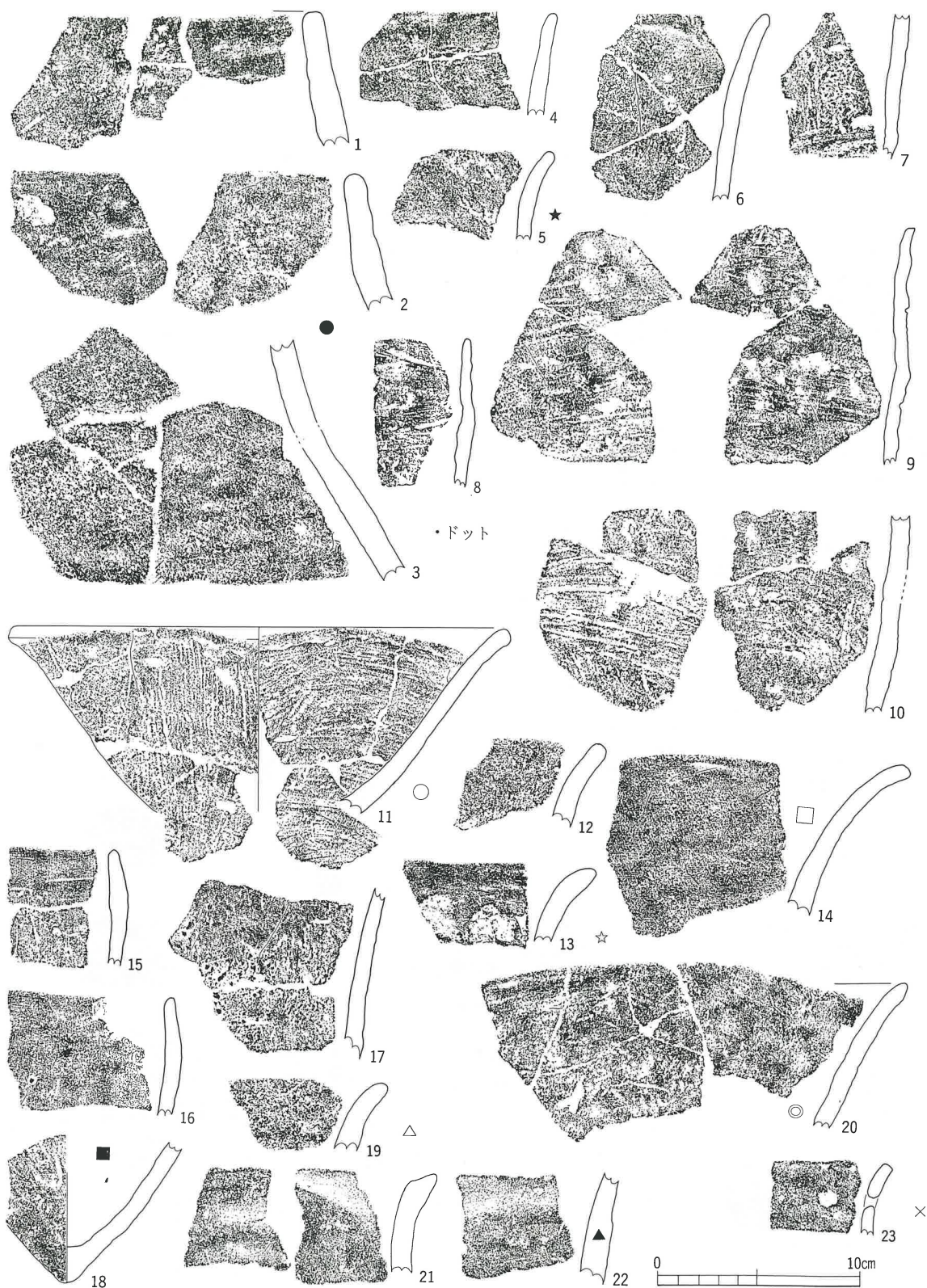
第44図 1～15は10B区付近に分布の中心があるが、この他3E区周辺にも少し分布した。口縁部が緩やかに外湾するもので、内面には沈線状の押型文を施し、外面は山形文を口縁から胴部は縦方向に、底部は横方向に施文している。山形文の原体は10段ないし11段で長さは約6.5cm、



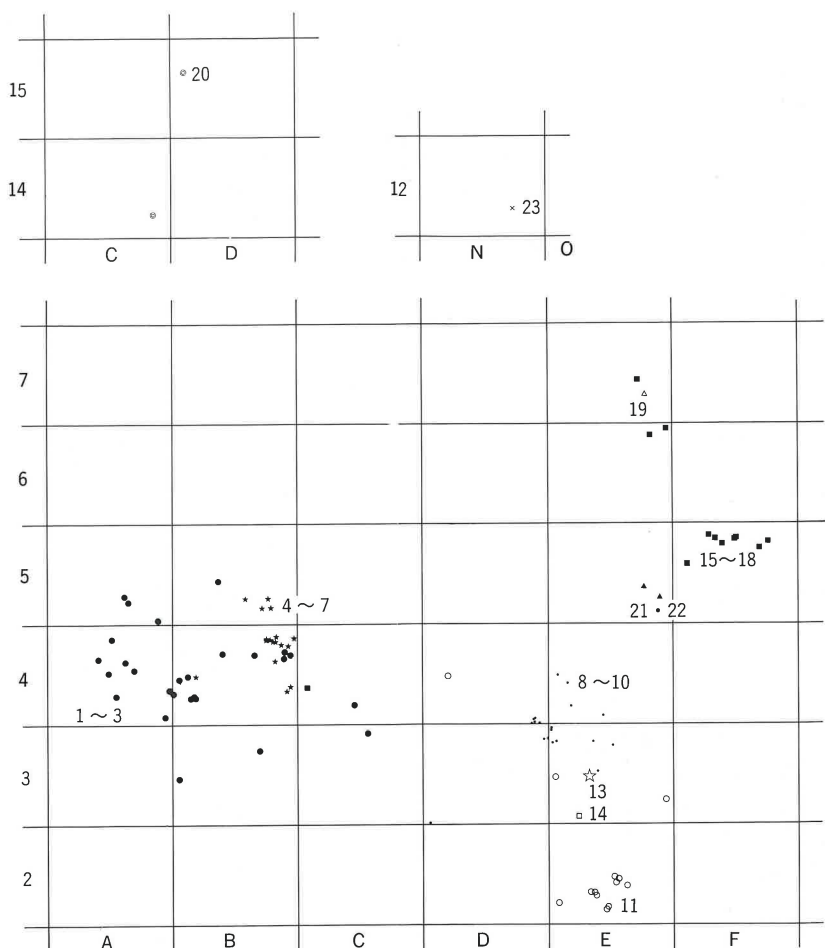
第44図 縄文時代の土器



第45図 縄文時代の土器



第46図 縄文時代の土器

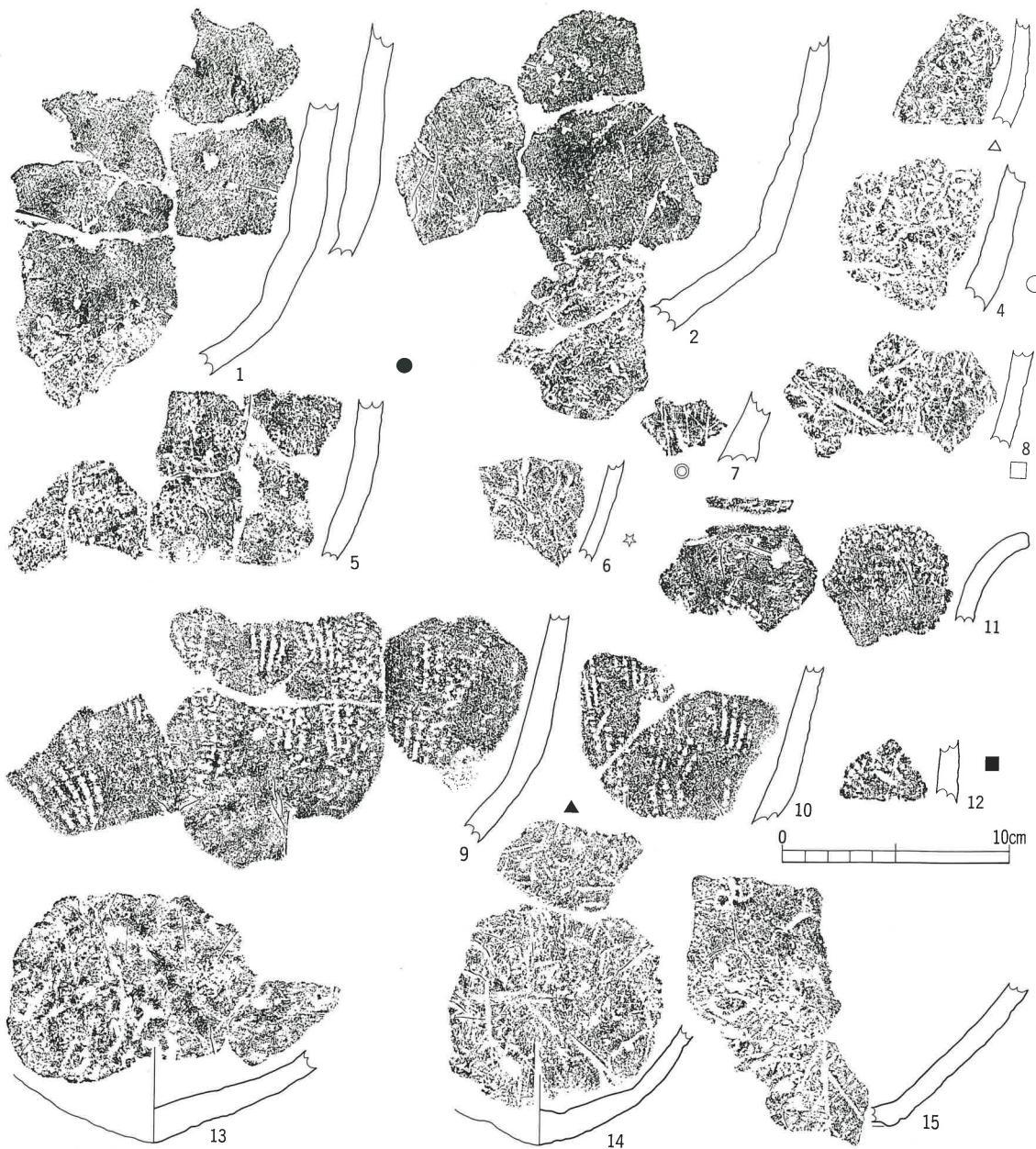


第47図

2 単位、原体直径8.6mmである。

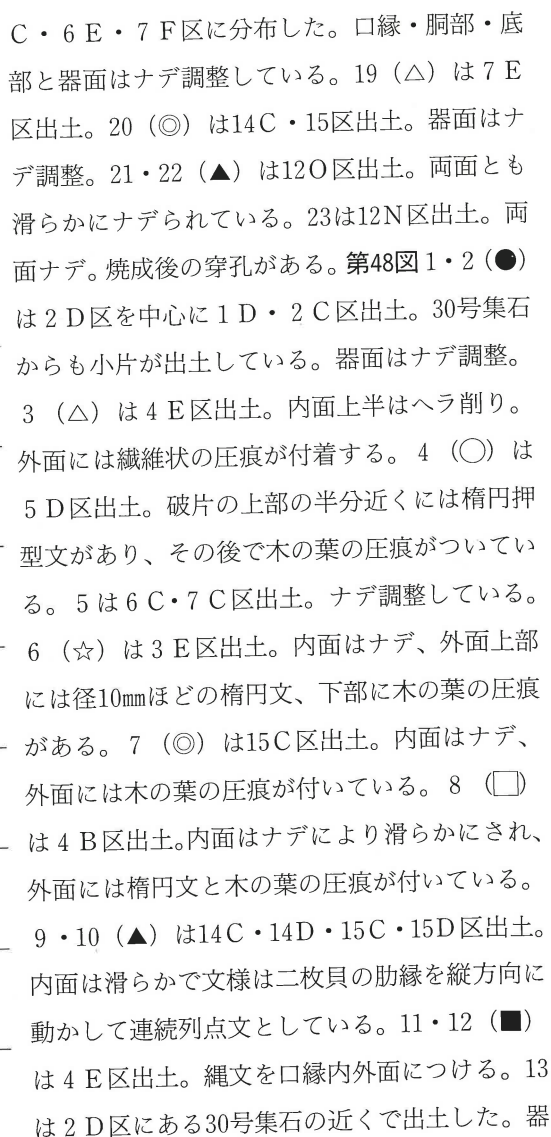
第45図 1～5 (■) は 5 A・5 B・6 C 区出土。両面とも形の崩れた山形文を施文しており、器面は内面は 3 がヘラ削り、他がナデである。山形文は製作時に消滅気味の部分が多い。6～10 (★) は 4 A・4 B・4 D・5 B・6 D 区出土。内面調整は 9 がナデ、他は横方向のヘラ削りのままである。6・8・10 は内面上部に山形文が付いている。原体は 7 段（以上）で 2 単位、長さは 4.2cm、直径は 6.5mm である。11・12 (▲) は 5 A・5 B 区出土。内面はナデ。山形文が不定方向に施されている。13～16 (大●) は 6 D 区出土。13 は内面ヘラ削りの後横方向のナデ、他の土器もナデ調整である。押型文はほぼ縦方向に施文している。原体は 7 段（以上）で長さ 3.7cm（以上）である。17～22 (●) は 2 B 区を中心に 2 D・4 A・5 A 区に分布した。壺形土器であろう。内面はナデ、外面の山形文は肩部は縦方向、それ以下は横方向に施文している。原体は 10 段（以上）で 2 単位、長さ 3.7cm（以上）、直径 6.2mm である。

第46図 1～3 (●) は 3 A～C・4 A～C・5 A B・7 C 区から出土し、図示したもの以外



第48図 縄文時代の土器

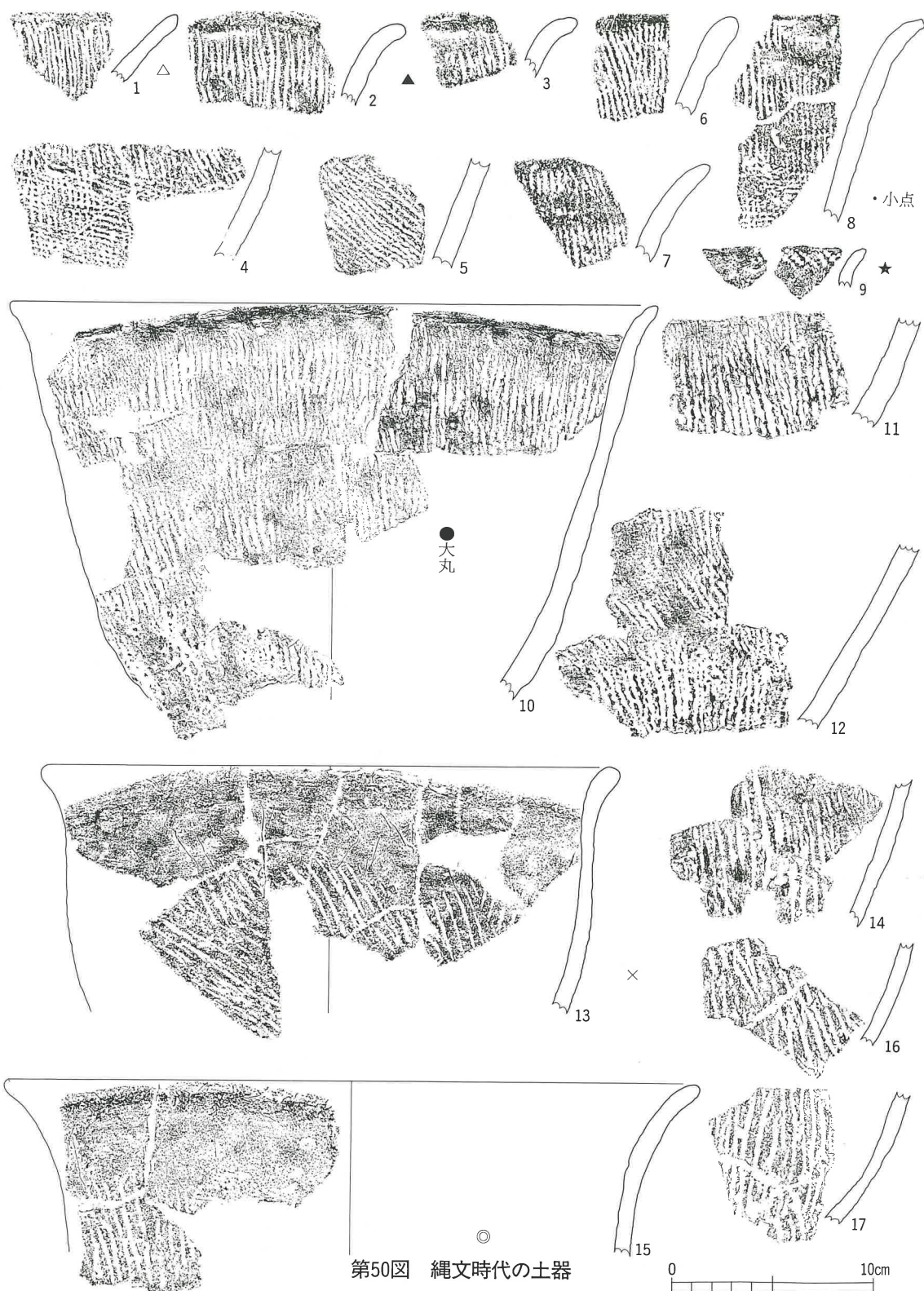
に沢山の破片がある。器面はナデ仕上げ。口縁が内傾する。4～7は4B・5B区の比較的狭い範囲から出土した。両面ナデ調整。8～10（・）は3E区を中心に3D・4D・4E区に分布した。器面は二枚貝条痕を軽くナデている。11は2D区を中心に3D・4C区と30号集石から出土した。内面の調整は二枚貝条痕の後ナデ、外面は縦方向の粗いナデ。口径25.0cm。12は3E区出土。19と同一個体か。13（☆）は3E区出土。両面ナデ調整。外面下半は剝落が多いが楕円文があるらしい。14（□）は3E区出土。両面ナデ。15～18（■）は5F区を中心に4

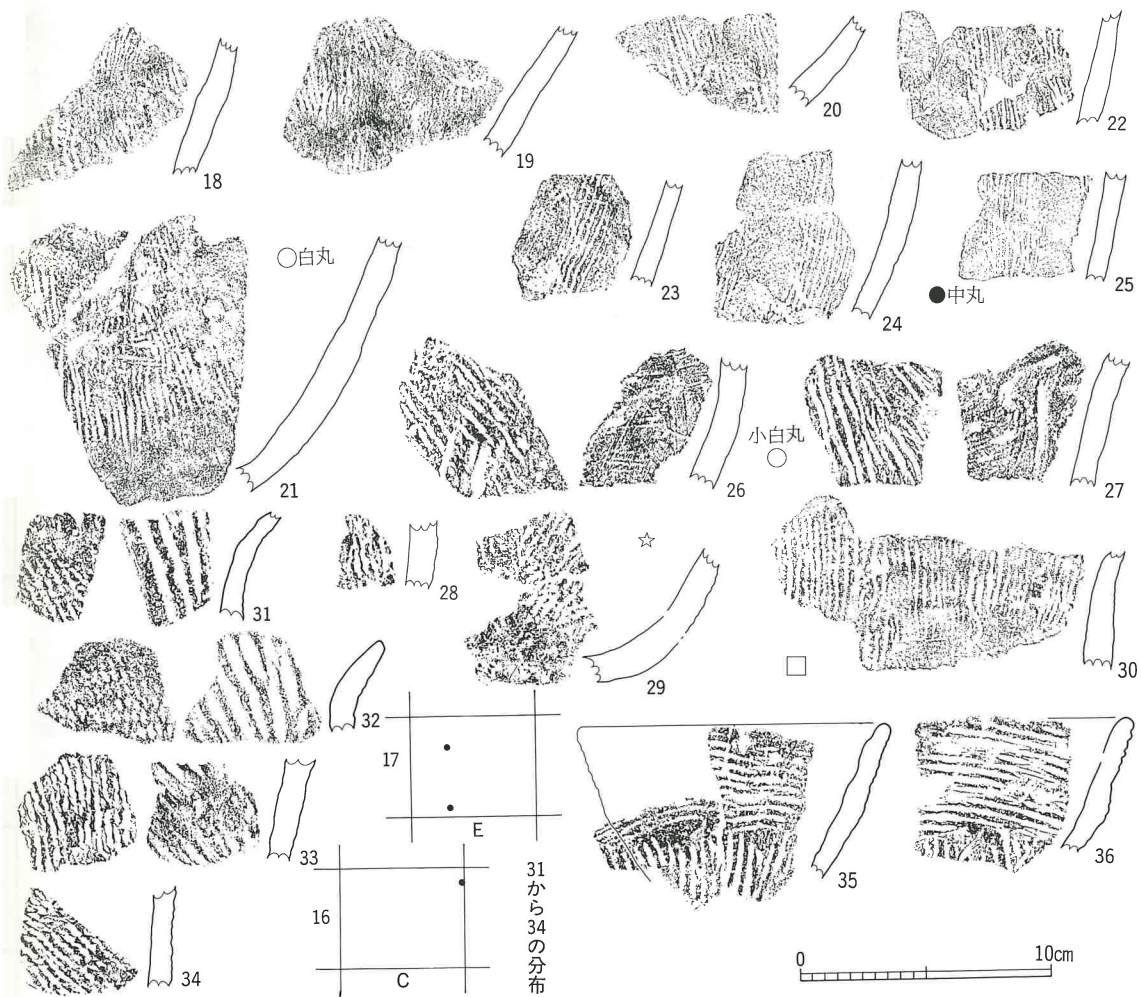


第49図

面はナデ調整。14は16C区出土。15は4E区出土。内面はナデ、外底面周辺はガサつき木の葉の圧痕が付いている。

第50図 1 (△) は 3 D 区出土。内面から口縁上端までナデ、その下は捺糸文。2・3 (▲) は 5・6 D 区出土。調整は 1 に類似する。4～8 (・) は 2 C 区を中心に、1 C・2 B・3 B・3 C・3 E・3 G・4 C・5 B・5 D・6 C・7 C・7 E 区に分布した。内面は横方向のナデ、外面に L の縄文を加えている。9 (★) は 4 C 区出土。内面の上端と外面下端に縄文がある。10～12 (●) は 4 B 区を中心に 2 D・3 A～3 C・3 E・4 A・5 B・5 D 区より出土した。内面は横方向のナデで外面は L R の捺糸文。口径は 32.0cm。13・14 (×) は 7 E 区出土。内面から外面上部までナデ、胴部は R の捺糸文。15 (◎) は 5 H・6 H・6 I・7 J 区出土。内面





第51図 縄文時代の土器

から外面上部までナデ、胴部はRの撚糸文。16・17は6H・6J区出土で、13等の同一個体の可能性がある。

第51図18～21は2D区を中心に、1C・2B・2E・3E・5B・5G・7E区出土。器面は両面とも横方向ナデの後に外面に撚糸文。22～25（中●）は6I・6J区出土。内面は横方向のナデ、外面はLの撚糸文。26・27（小さい）○は1D・3E区出土。内面は二枚貝条痕の後ナデ。28・29（☆）は2D区の30号集石から3点出土した。内面はナデ、外面は撚糸文。30（□）は1C・区出土。31～34は16C・17E区出土。31～33は口縁部とその周辺である。内面には沈線文を2段施している。外面は縄文。35・36は4E・6D・7F区より出土した。内面はナデ、外面は撚糸文を施文。口径12.6cm。

第53図1～3は11C区を中心に10B・14D・15D区から出土した。内面はナデ、内面の上端部と外面にはRLの撚糸文を加えている。4・5は16E区出土。内面は初め二枚貝条痕で後、

横方向ナデ、外面はRの捺糸文。

6～10 (▲) は14C区を中心に
5D・11C・13C・13D・14D・
15C・16D区に分布した。内面
は横方向のナデ、外面にはナデ
調整後に捺糸文を縦・斜め方向
に重複して施文している。口縁
に補修孔1がある。口径32.2cm。
11・12は11N (2点)・11O (1
点) 区出土。内面は縦方向のナ
デ、外面は捺糸文。13は16E区
出土。

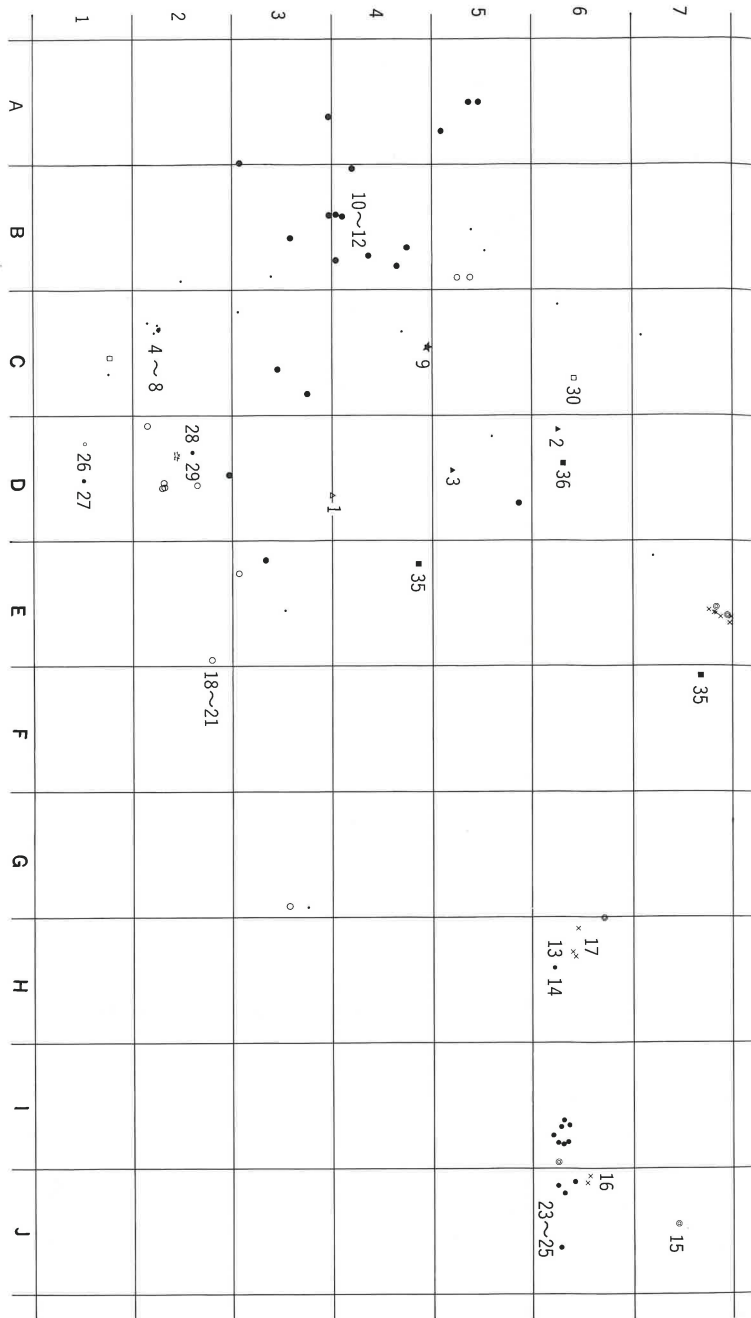
手向山式土器 (第54図 1
～19・第57図 2)

5個体ある。1～10は6D区
を中心に分布した。外面は押型
文の後で凹線文、内面はナデ調
整。11～13は4AB区に分布し、
内面は二枚貝条痕調整で外面は
稜線の丸い凹線文。14は2D区
出土。胴部屈折部とそれ以下に
山型文、上半は凹線文。15は3
B区出土。外面は沈線文、内面
は山型文。16・17・第57図 2は
7D区出土。沈線と列点で施文
し内外面共ナデ調整。壺形土器
であろう。18・19は2B区出土。
両面とも細密な条痕調整。

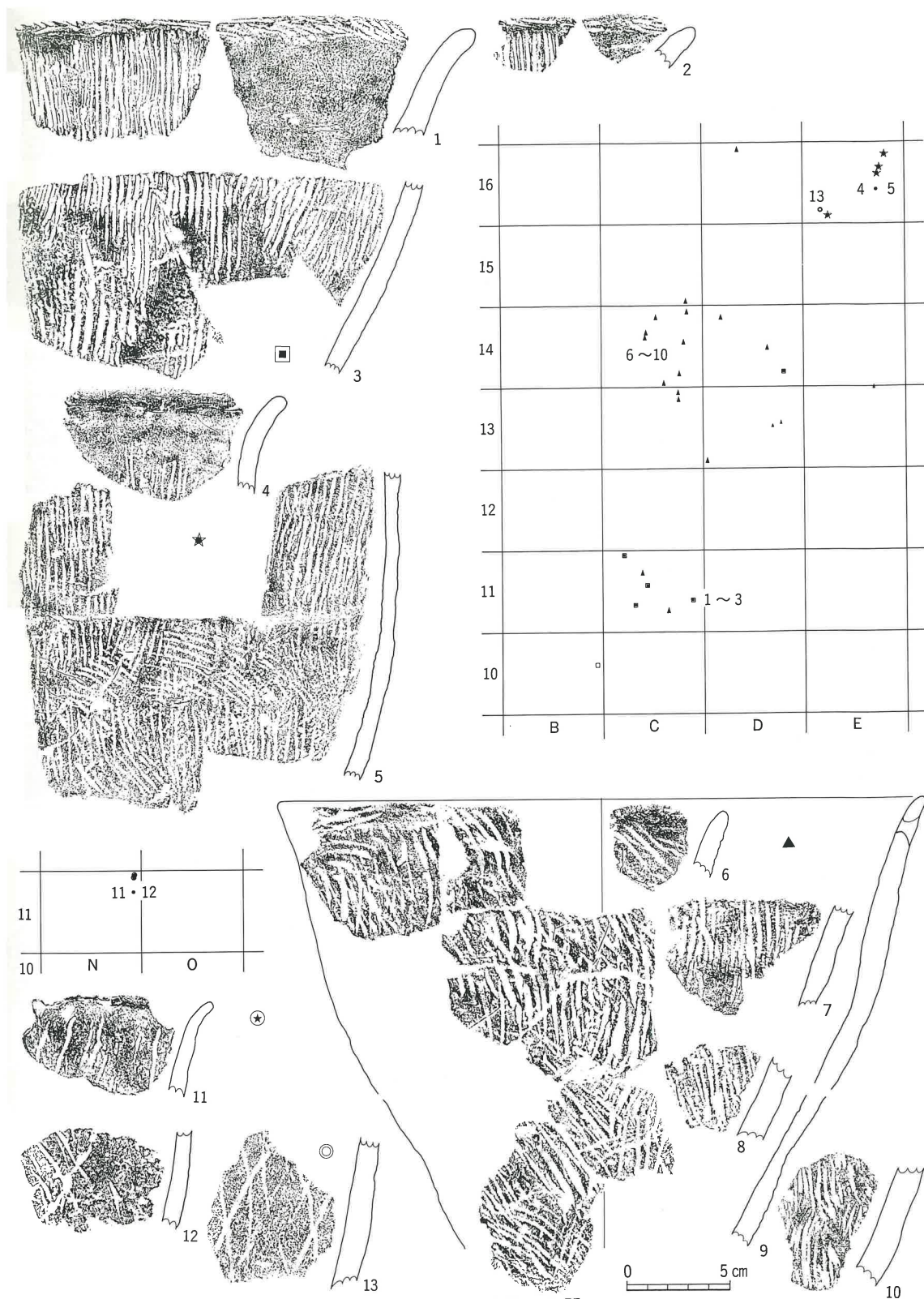
平樽式土器 (第55図 1～29・
第56図 1～24・第57図 1・3
～12)

27個体ある。若干数だが減少するかもしれない。

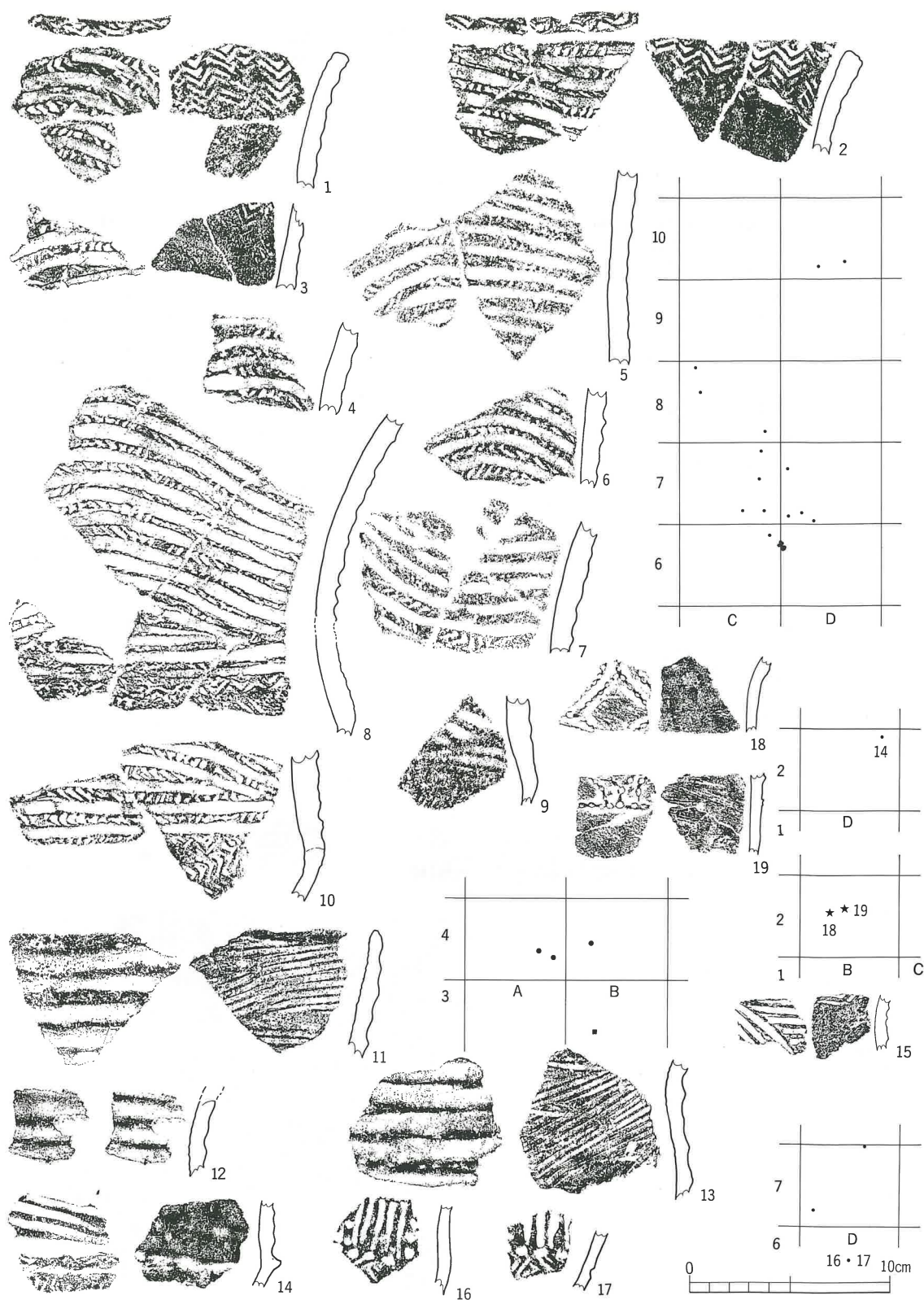
第58図 1～12は12P区を中心に出土した。口縁部から胴上部は沈線と刻目突帯で文様を構成



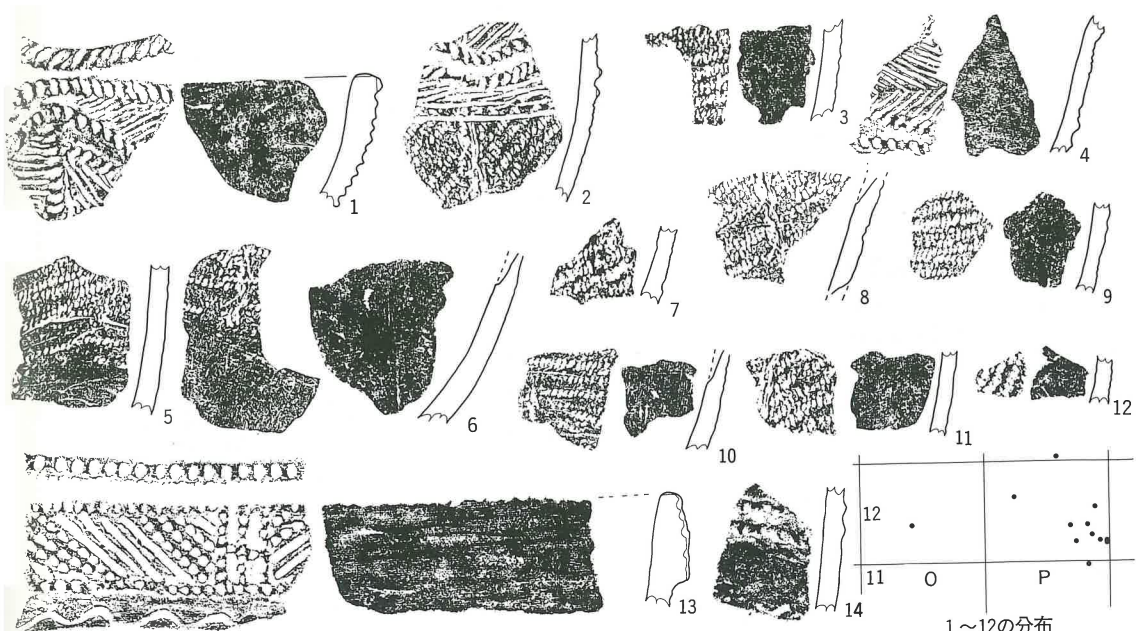
第52図



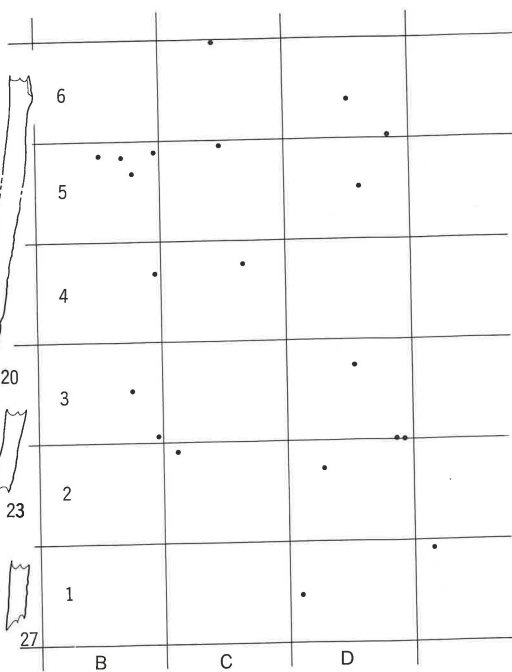
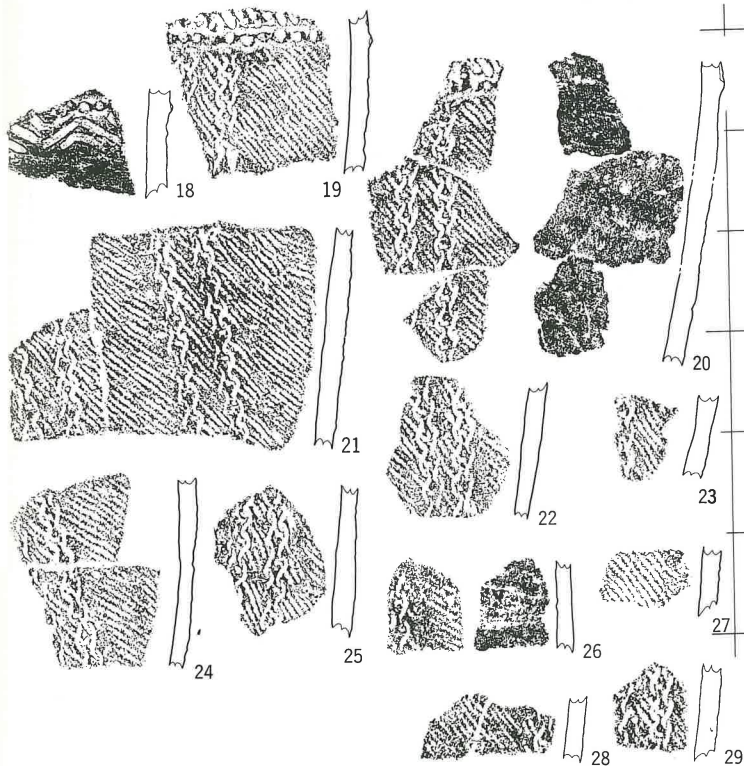
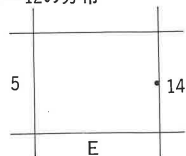
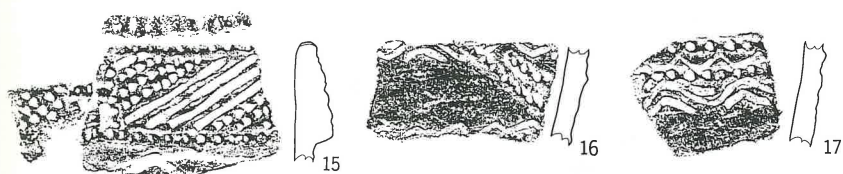
第53図 縄文時代の土器



第54図 縄文時代の土器



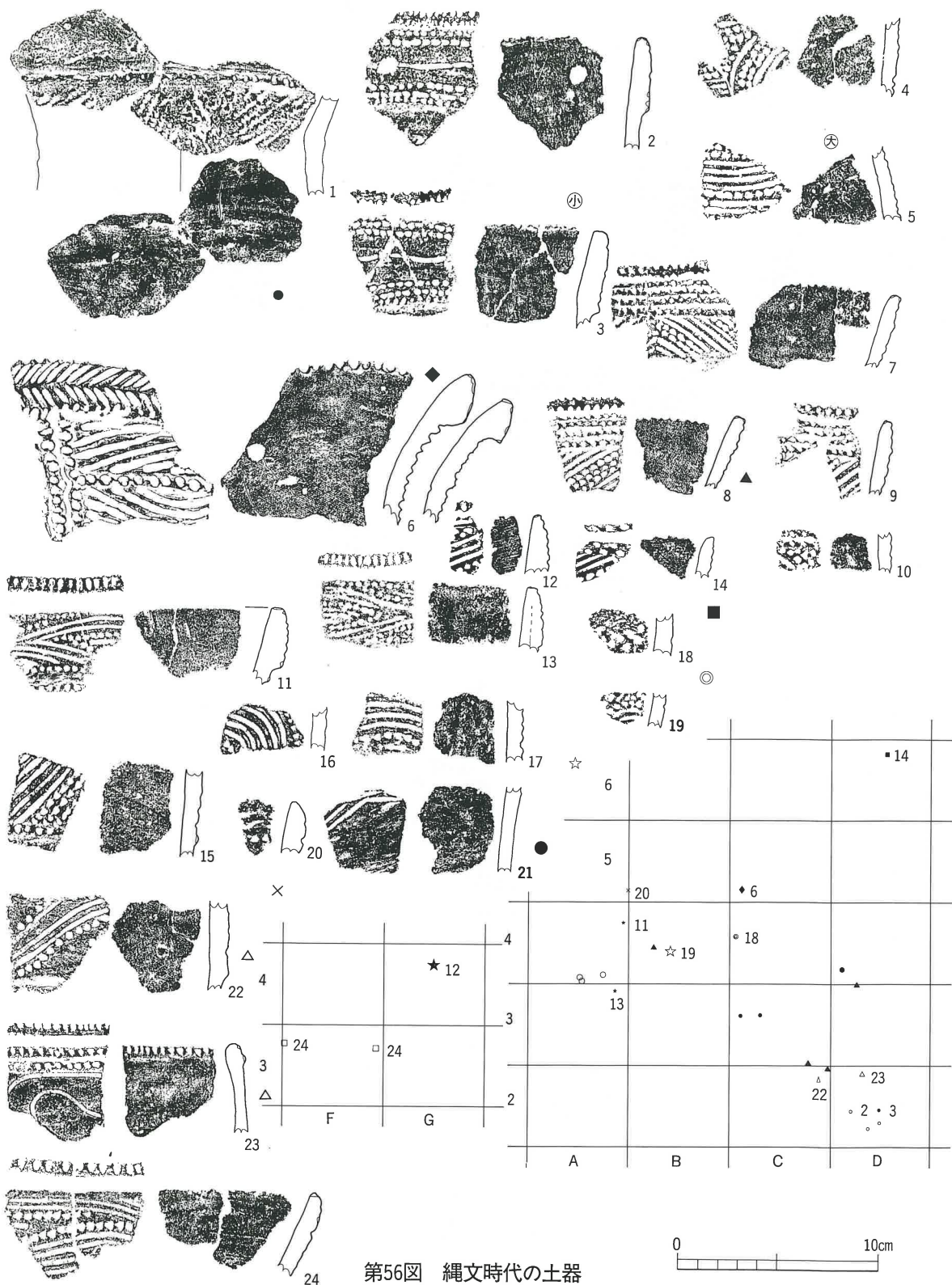
1～12の分布

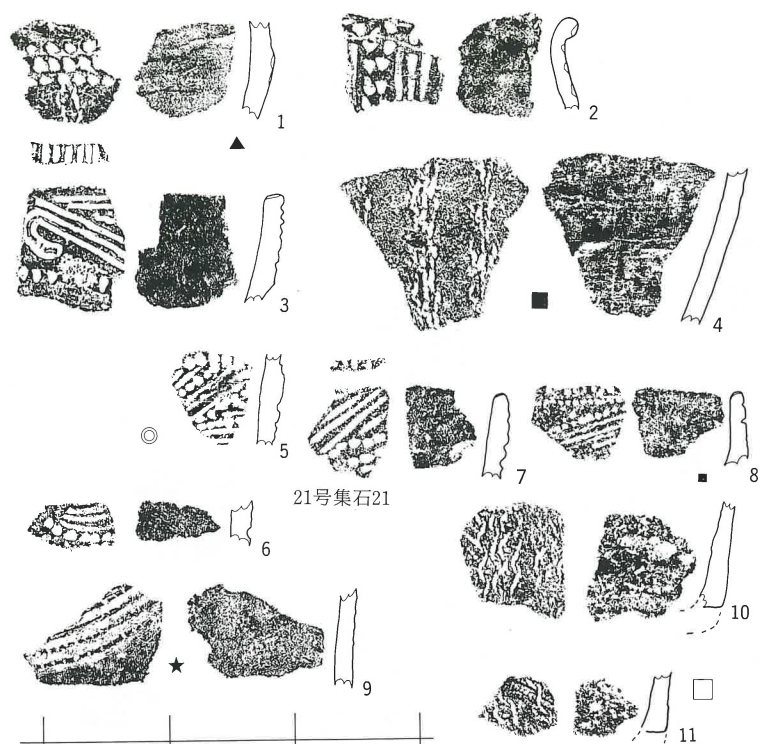


13～29の分布

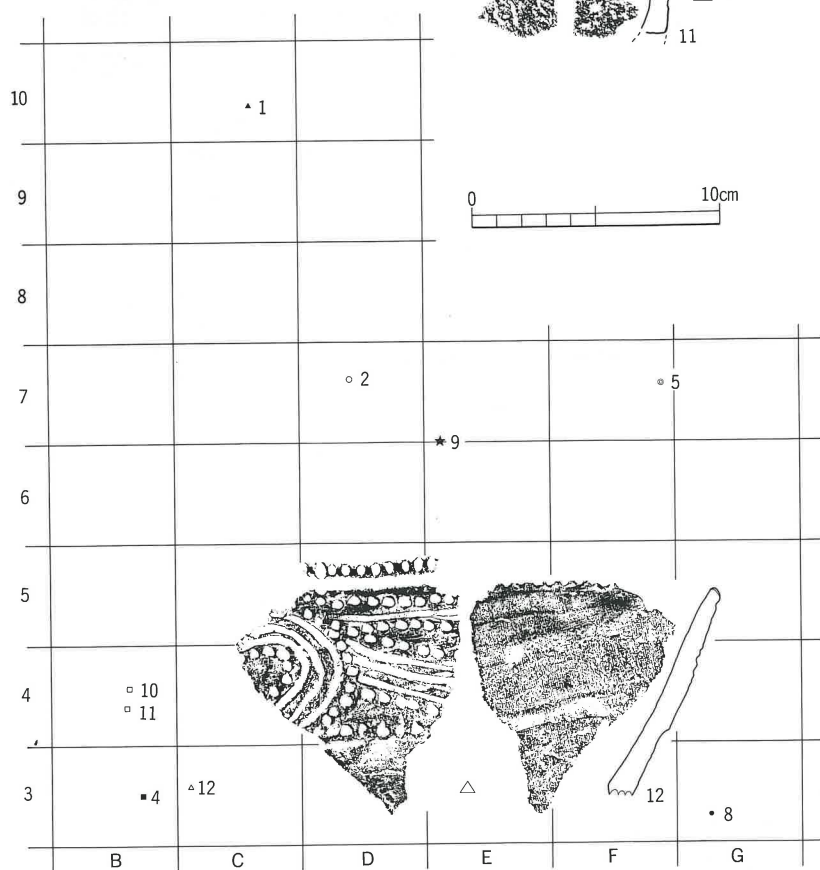


第55図 縄文時代の土器

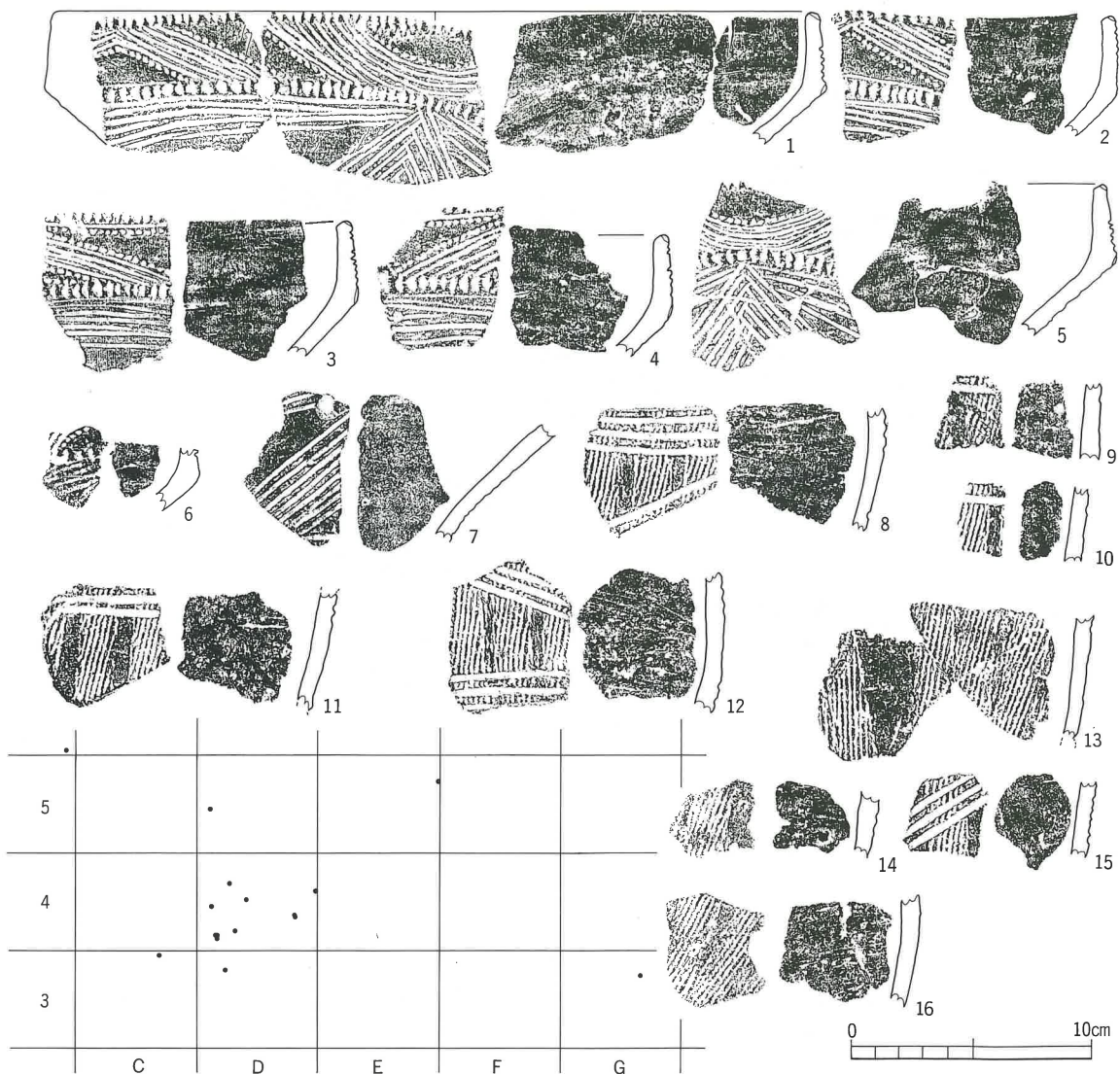




21号集石21



第57図 縄文時代の土器

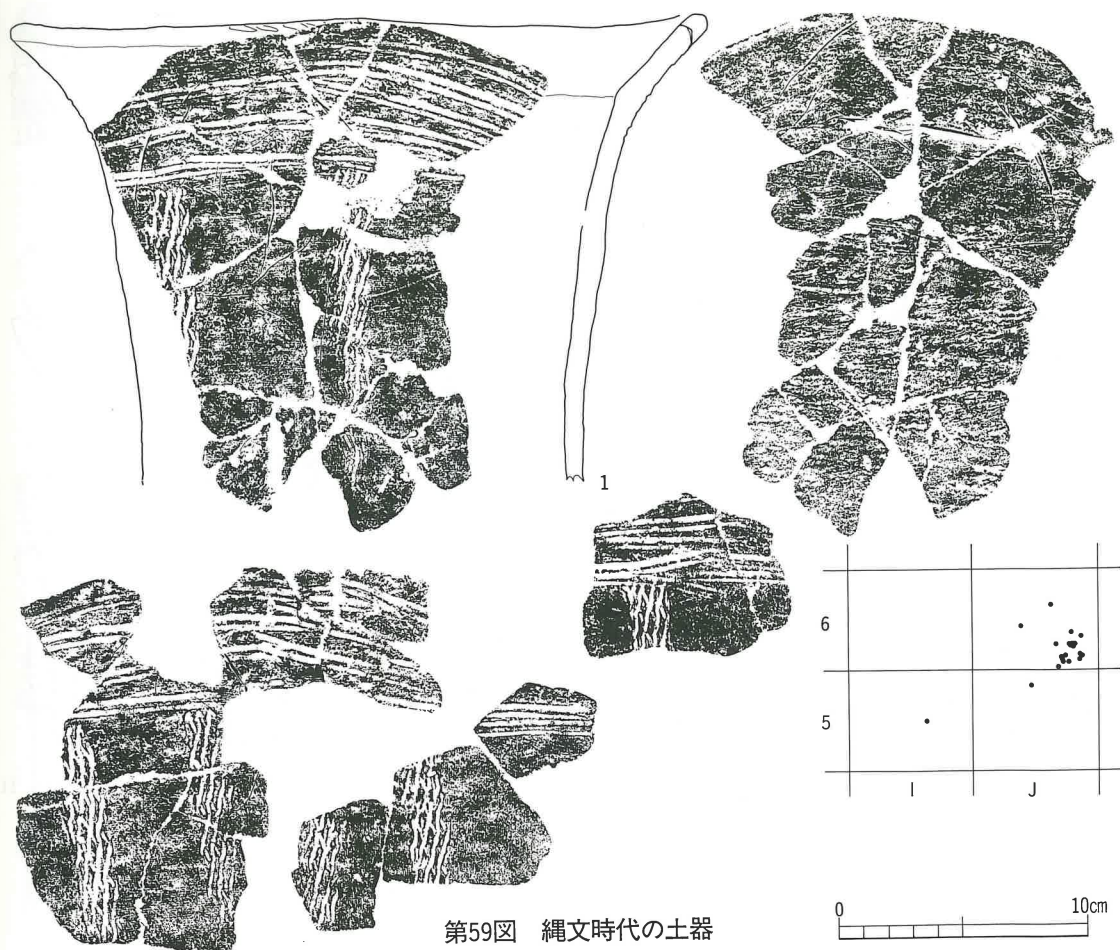


第58図 縄文時代の土器

し、底部付近より上には結節縄文を施している。同13~29は1~6・B~E区に散漫に分布した。同部にはRL（再検討）の原体を1cmほどの間隔で2ヵ所結んだもので施文しているらしい。第59図の同一個体は1、2、3、4・5、6、7~10、11~13、14、15~17で、18~24までは各々1個体である。これらは2~6・A~G区に分布した。第60図では10・11が同一個体である他、1、3から9、12は各々1個体である。1と4は結節部だけの回転施文である。

塞ノ神式土器（第58~67図）

19個体ある。第58図は4D区を中心に出土した同一個体である。幅1.7cmほどの撚糸文が縦位に施文するが、幅狭の無文部を残す破片と撚糸文が密接し幅広の無文部を残す破片とがある。第62図は3J区を中心に出土した。波状口縁の径は27.9cmで、口縁部は半裁竹管文、胴部は格

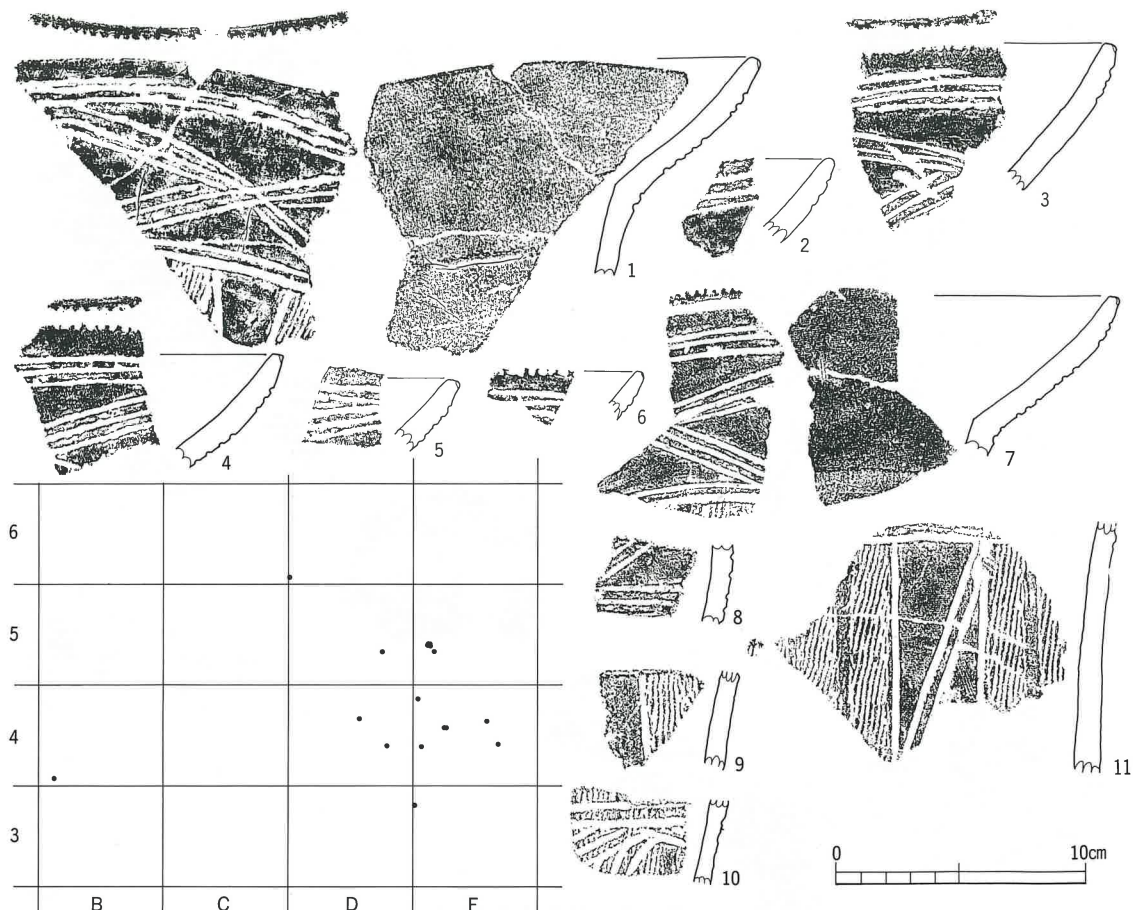


第59図 縄文時代の土器

子状撚糸文である。第60図は4 E区付近に分布した同一個体である。口縁部文は沈線よりなり胴部は幅1.7cmほどの撚糸文と沈線を組み合わせている。第61図には5個体を図示した。1～4は4 J区を中心に出土した。5～11は撚糸文施文後に両側を区画したもので3 E・4 D・6 C区に分布した。12～26は撚糸文を連続的に並列した部分と無文部とに分かれ、撚糸は縦位の列点で区画している。3～5・A～E区に分布した。第60図同様A式aからbへの過渡的資料である。27・28は1 C・4 I区出土の沈線文をもつ口縁部である。29～33は貝殻条痕文の胴部片で、5 F区付近に出土した。第62図は11 D区を中心に北斜面に細長く分布した。口唇部から頸部外面まで貝殻縁を利用した刺突列があり、胴部はその条痕文である。胴部内面はヘラ削りで他はナデ調整している。口径41.7cm。

第63図は11 D区付近に出土した。頸部の沈線を境に上下に貝殻による文様を描く。口径38.3cm。

第64図には7個体ある。1～3は3～5 B区出土で低部から直線的に口縁に至るらしい。文様は沈線よりなり線は右上がり新しい。4・5の分布は第66図に示す。貝殻条痕により口縁



第60図 縄文時代の土器

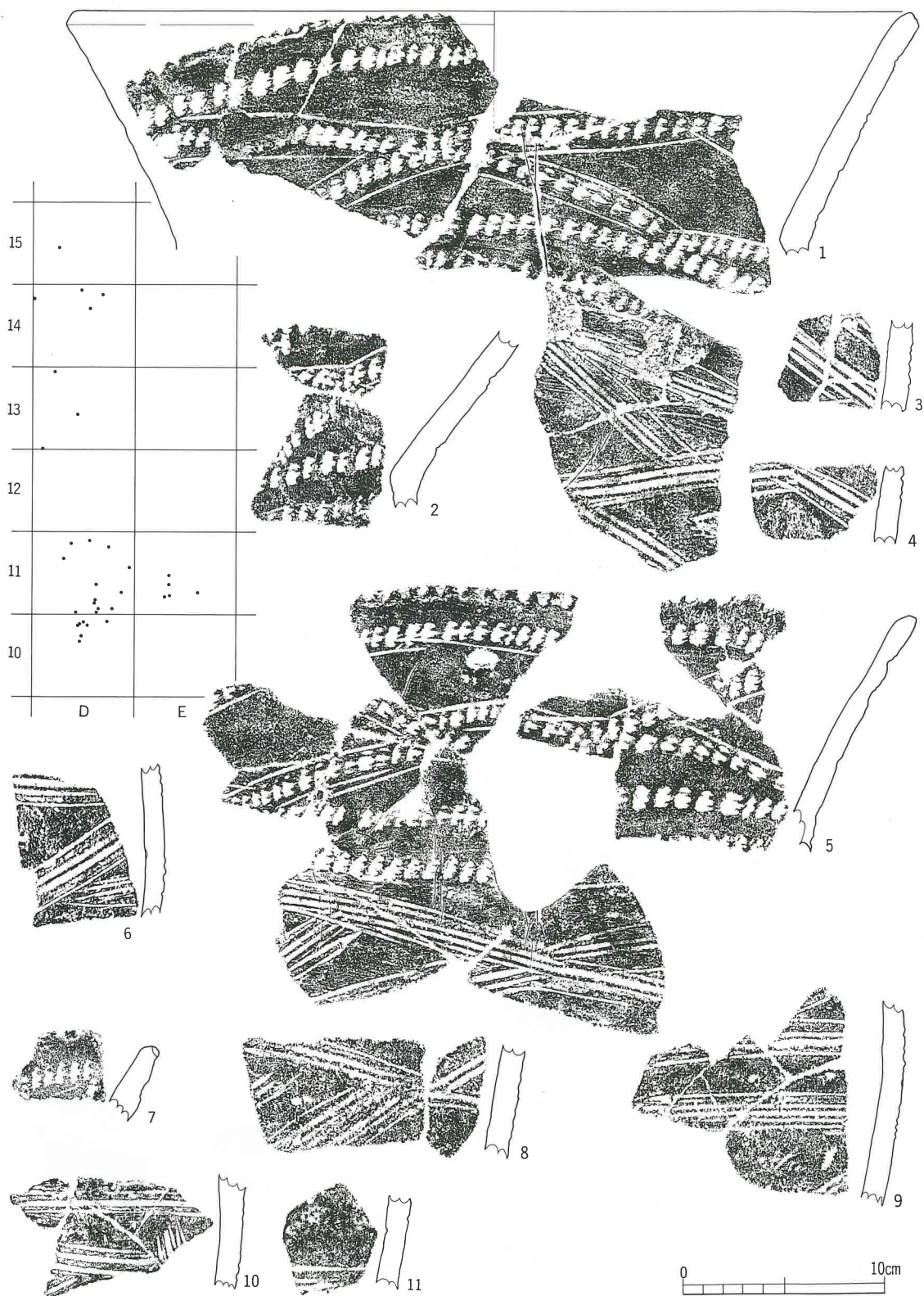
は格子に胴部は斜方向に施文されている。6・7は3E・5D区に出土した。文様は口唇と頸部に刺突列をもつ。口径は17.2cm。8～12は口縁部が緩やかに外湾するもので、沈線は右上がりの線が新しい。石英を多く含む。5C・6C・8B区（大黒丸）に分布した。13～16は4D・4E・5E区（▲）に分布した。口縁には貝殻による刺突列と右上がり新しい格子状の沈線文、胴部には貝殻条痕文がある。17は4D区出土。18～20は3C・5A区他で出土した。器形は口縁が緩やかに外湾し調整はナデ、文様は沈線文。石英を多く含む。

第65図は1～6と7～9の2個体あり、前者は3D区を中心に分布し24号集石からも出土した。調整はナデ主体だが口縁外面には二枚貝条痕が残る。口径30.6cm。後者は5H・K区に分布。最大径24.8cm。口縁の沈線文様は横→右下がり→左下がりの順に施文する。上端と斜線下に列点文あり。貝殻条痕地をナデ消している。

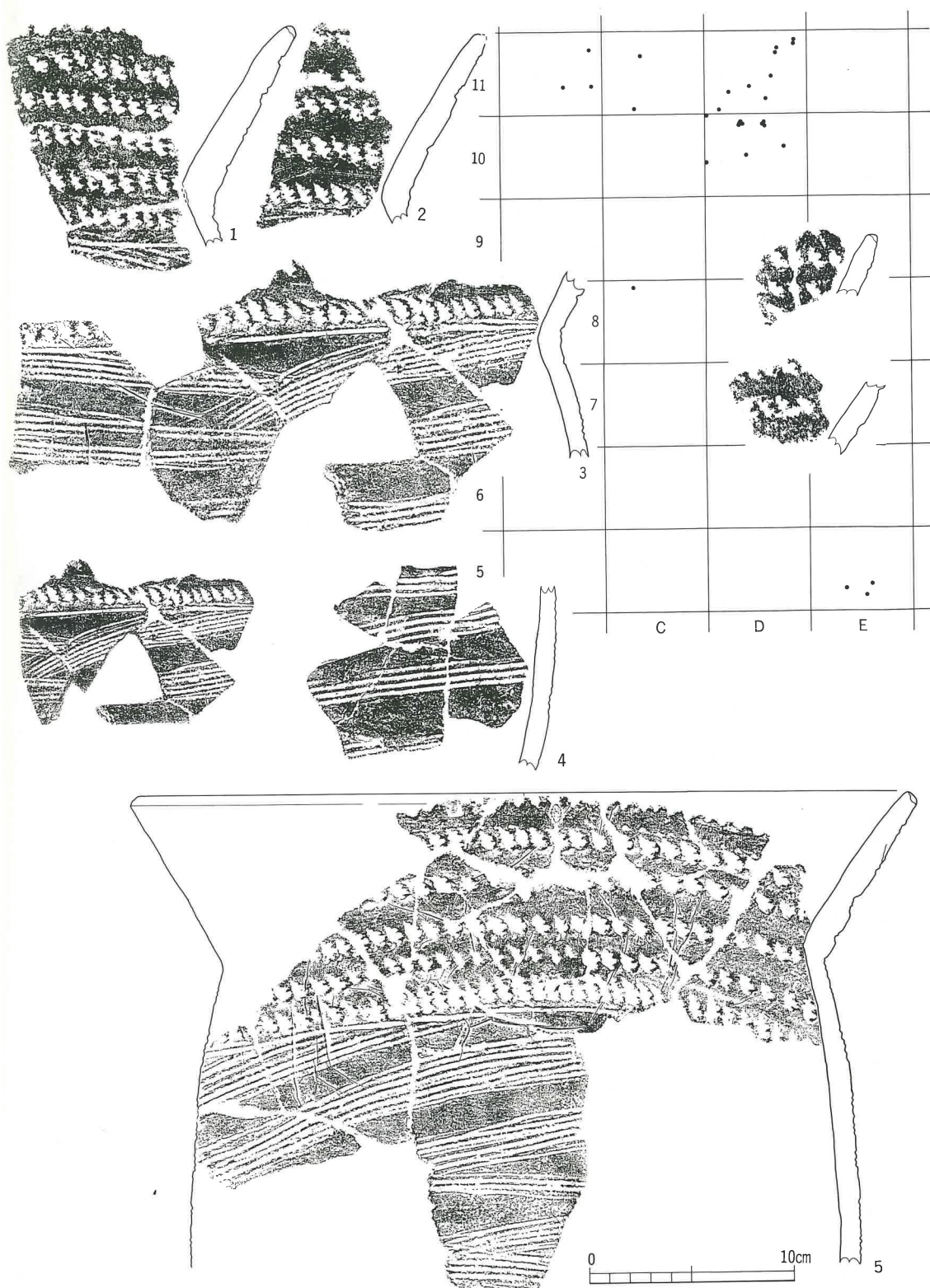
第66・67図は12M区出土。内面はヘラ削りを横方向に行い上部はナデ、外面は二枚貝条痕の後にナデ。外面に粘土紐を貼り付けた後、それらの空白部に貝による沈線文を加え、口縁部上端付近には刻目が巡らすが、初め口唇部上面から外側へ、次に口縁上端へと施文位置が変動し、



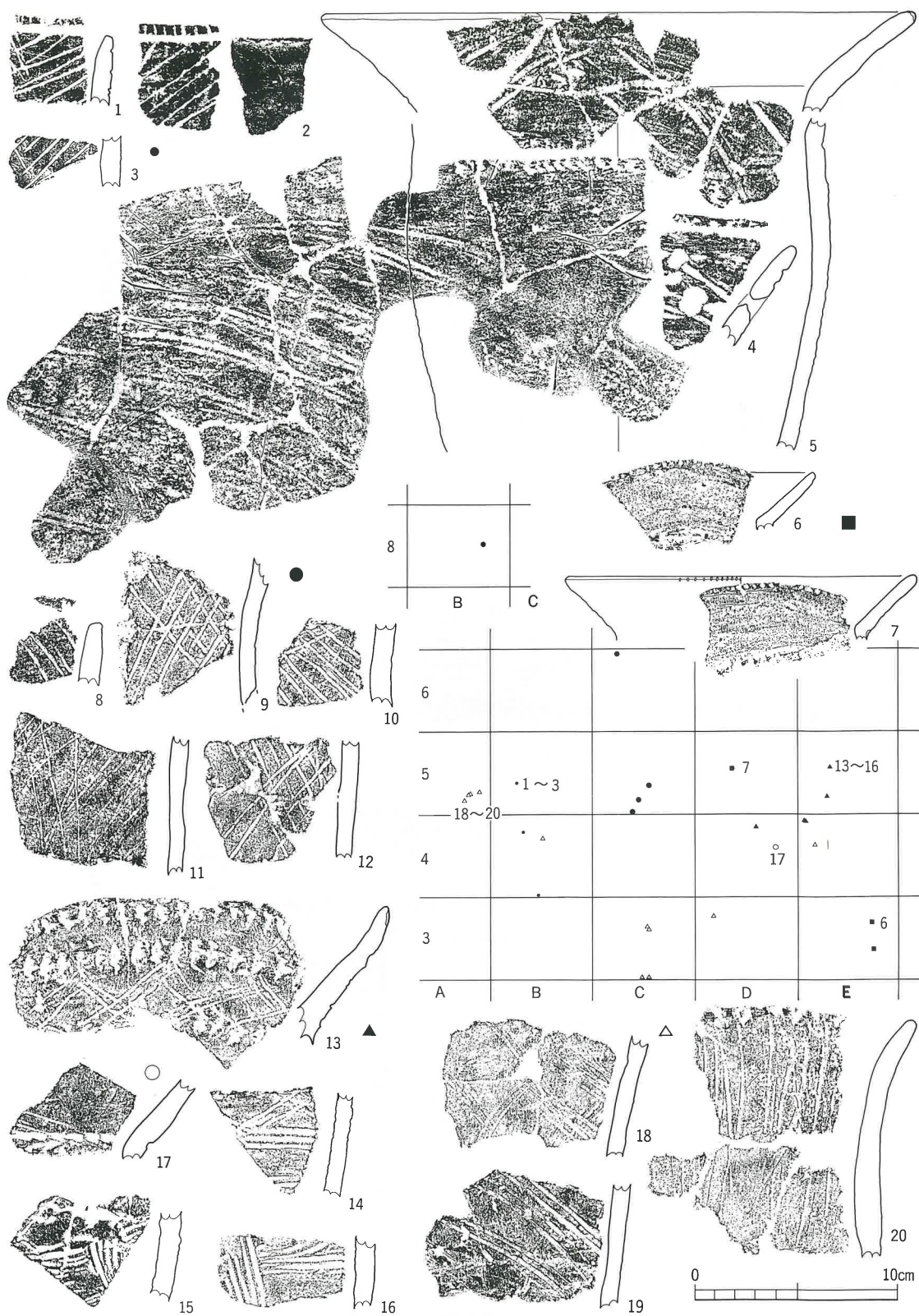
第61図 縄文時代の土器



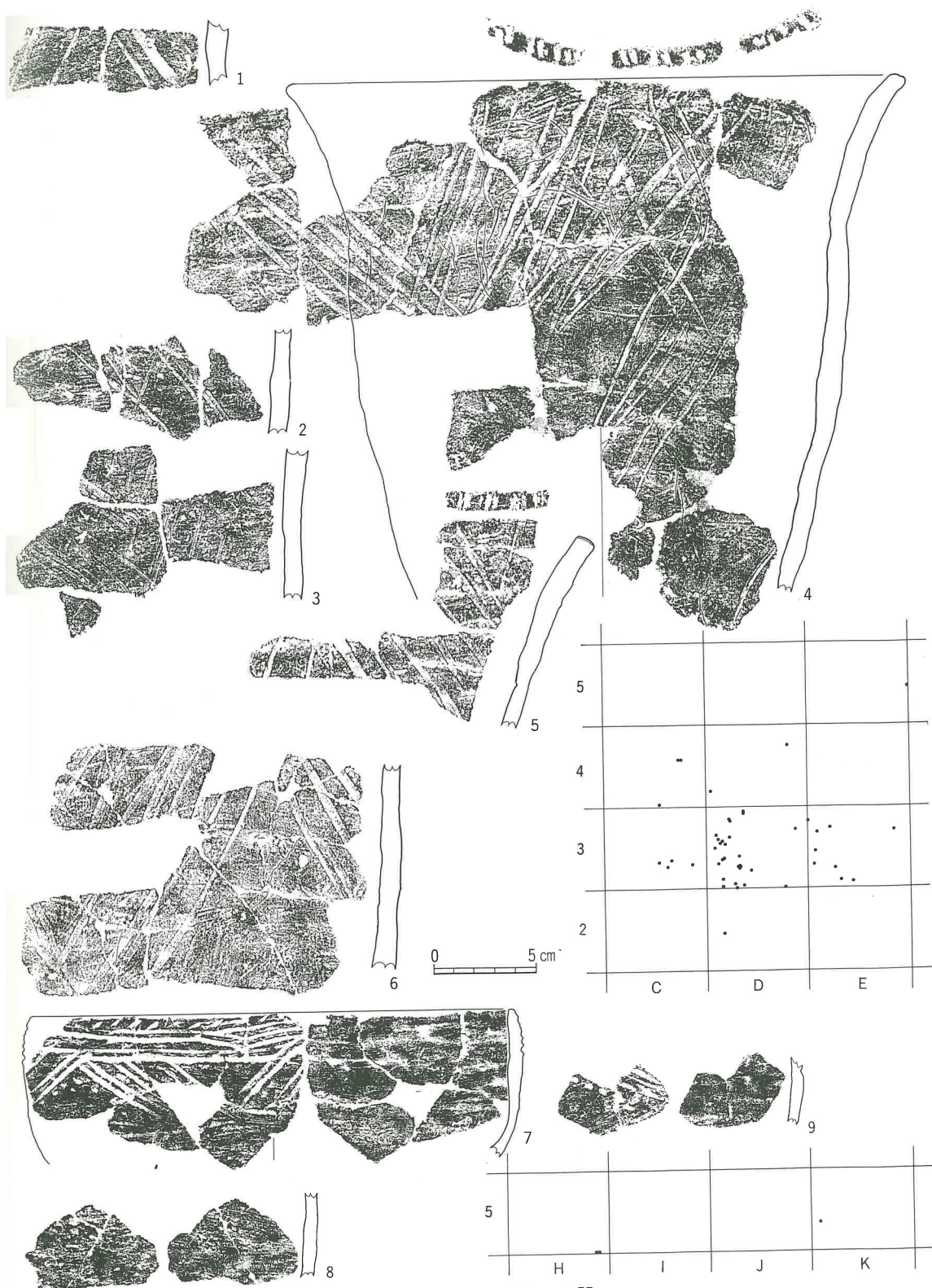
第62図 縄文時代の土器



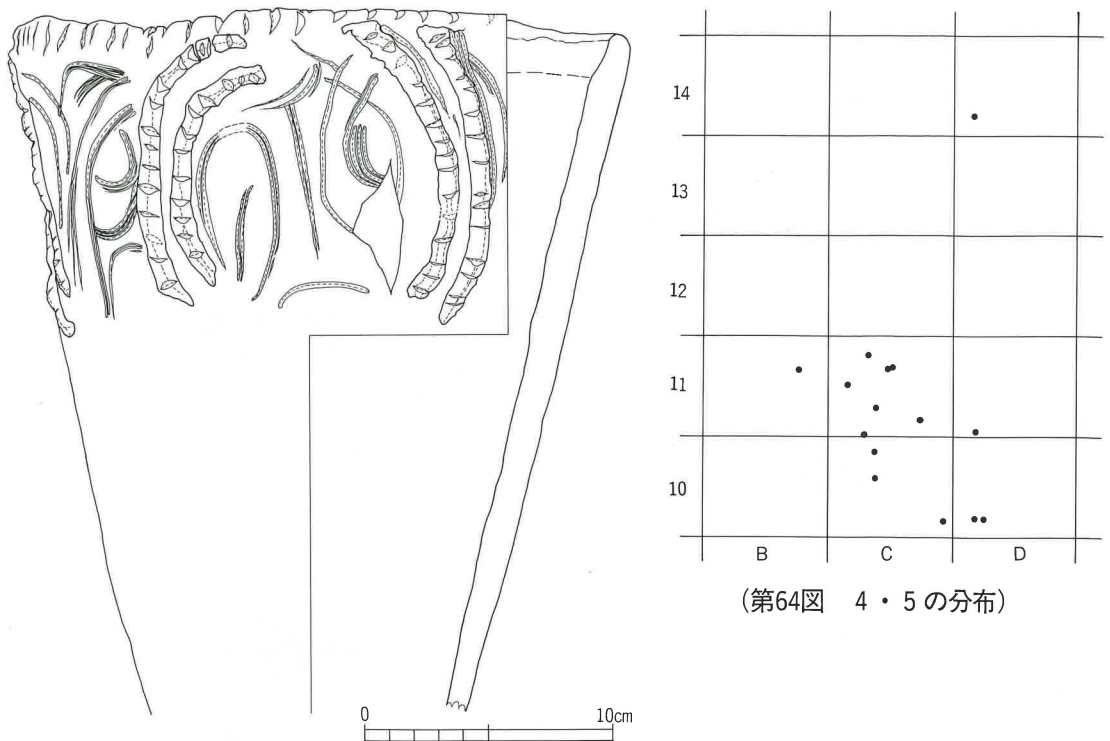
第63図 縄文時代の土器



第64図 縄文時代の土器



第65図 縄文時代の土器



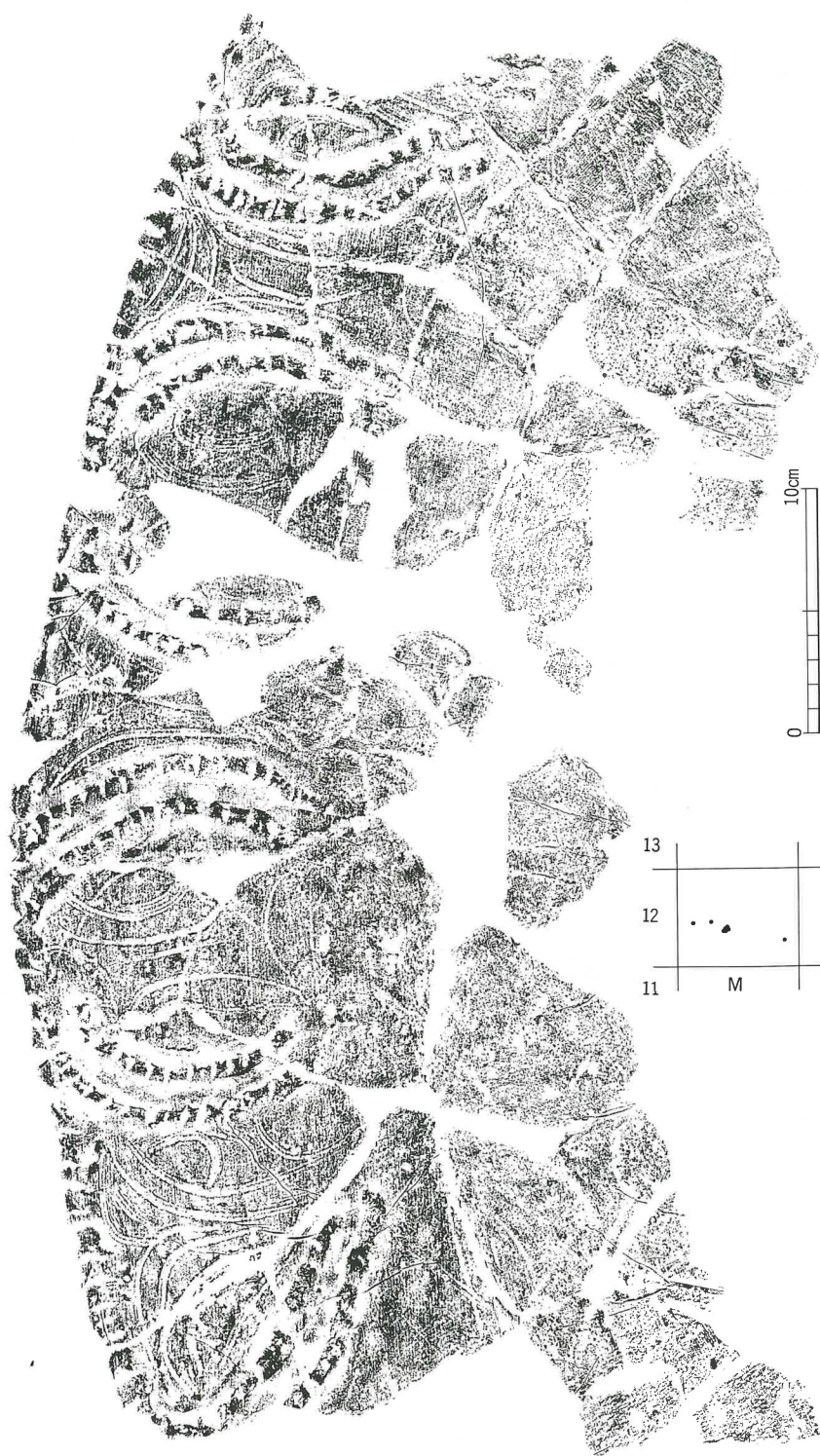
第66図 縄文時代の土器

開始部と終了部は約7cm重複している。全形は円筒形で直線的に外に開いている。口径24.8cm。
1～3条刻目（突帯）文土器（第68～70図・分布図は第72図）

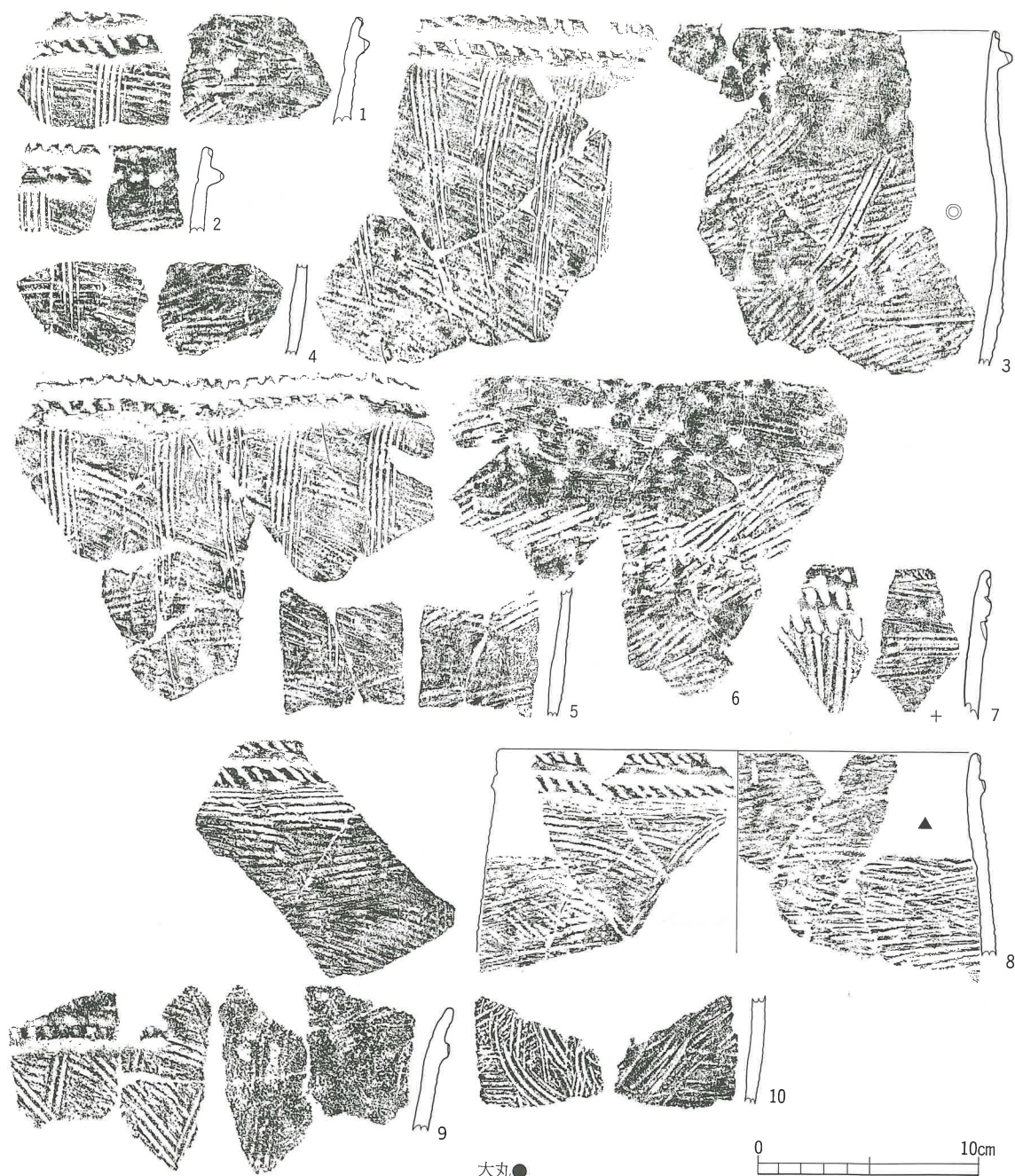
本遺跡では3層（アカホヤ火山灰層）が調査区全体に体積していたわけではないため、石器の取扱の項では特に顕著のように厳密には分層できず、その遺物がアカホヤ火山灰層の上にあるのか下にあるのかに関して完全無欠ではない。ここに示す刻目（突帯）を口縁周辺に1～3条巡らす土器の所属層についても同様だが、大部分はアカホヤ火山灰より以前ととらえた。

第68図には4個体を図示した。1～6（◎）は6H区出土。器面は両面とも条痕調整で、外面は突帯を貼り付けた後で縦方向の条痕を加え文様としている。7（+）は5D区アカホヤ下層の他4B区2層からも出土。口唇に貝殻縁による刻目をもつ。外面は斜方向の条痕の後縦位の条痕を加えている。8（▲）は6J区を中心に5J区からも出土した。口径22.0cm。9・19（●）は2C・3E区出土。条痕調整後外面は斜方向の条痕を加えている。

第69図11・12は5E・6C区を中心に3A区の5号土坑（1点）・5D・6D区出土。器面には条痕が残されているが、外面は横方向の条痕調整の上から斜方向の文様の条痕を加えている。刻目はヘラ状具で刺突している。11の突帯下に焼成後の穿孔1があり、胴部中程の拓影の切れた部分にもある。最大径30.4cm。13・14（・）は2G区出土。器面は条痕のままで外面には異方向の条痕を加えている。15～18（■）は5G区を中心に2D・4A・4I・5A区から出土

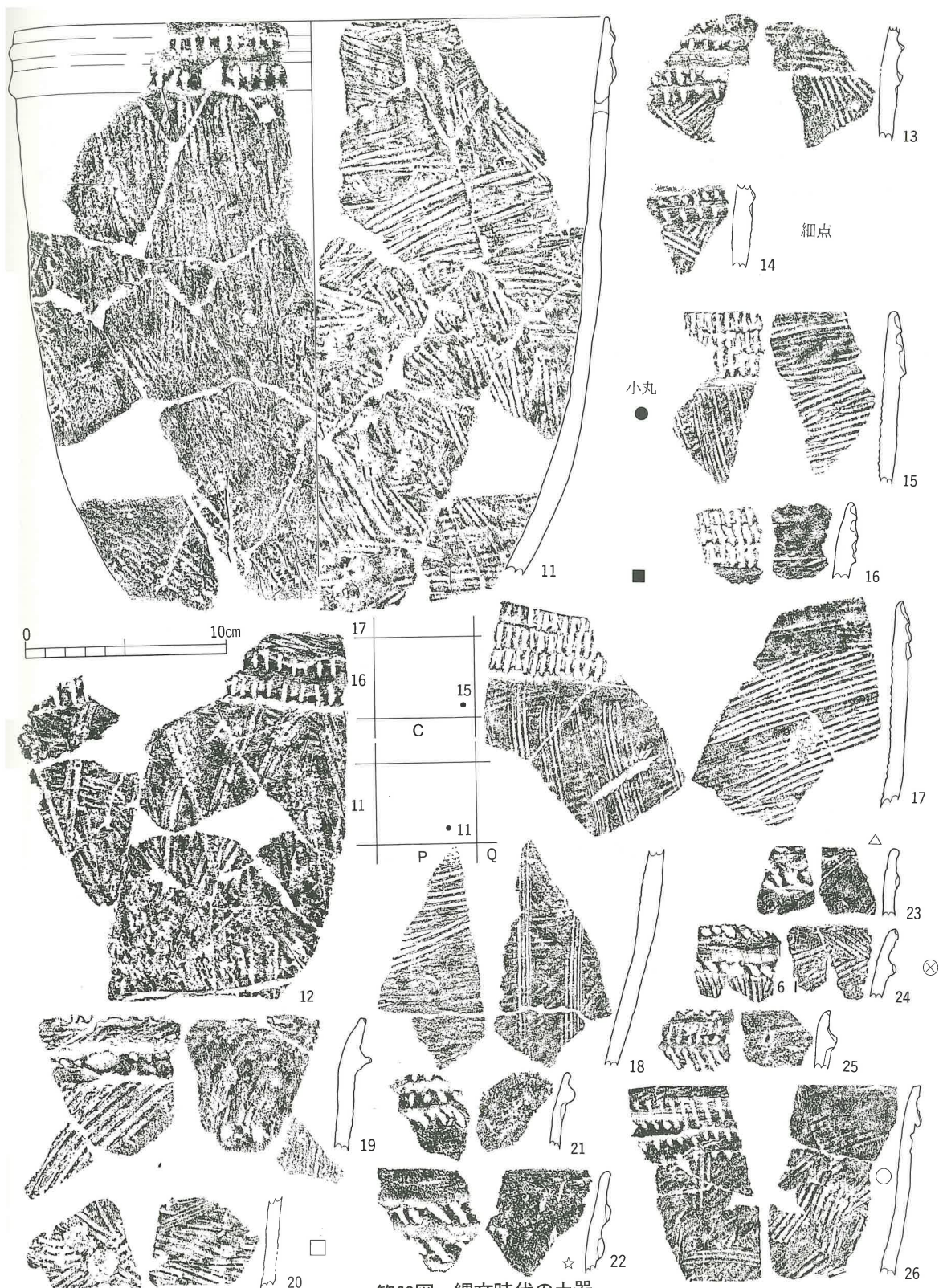


第67図 縄文時代の土器

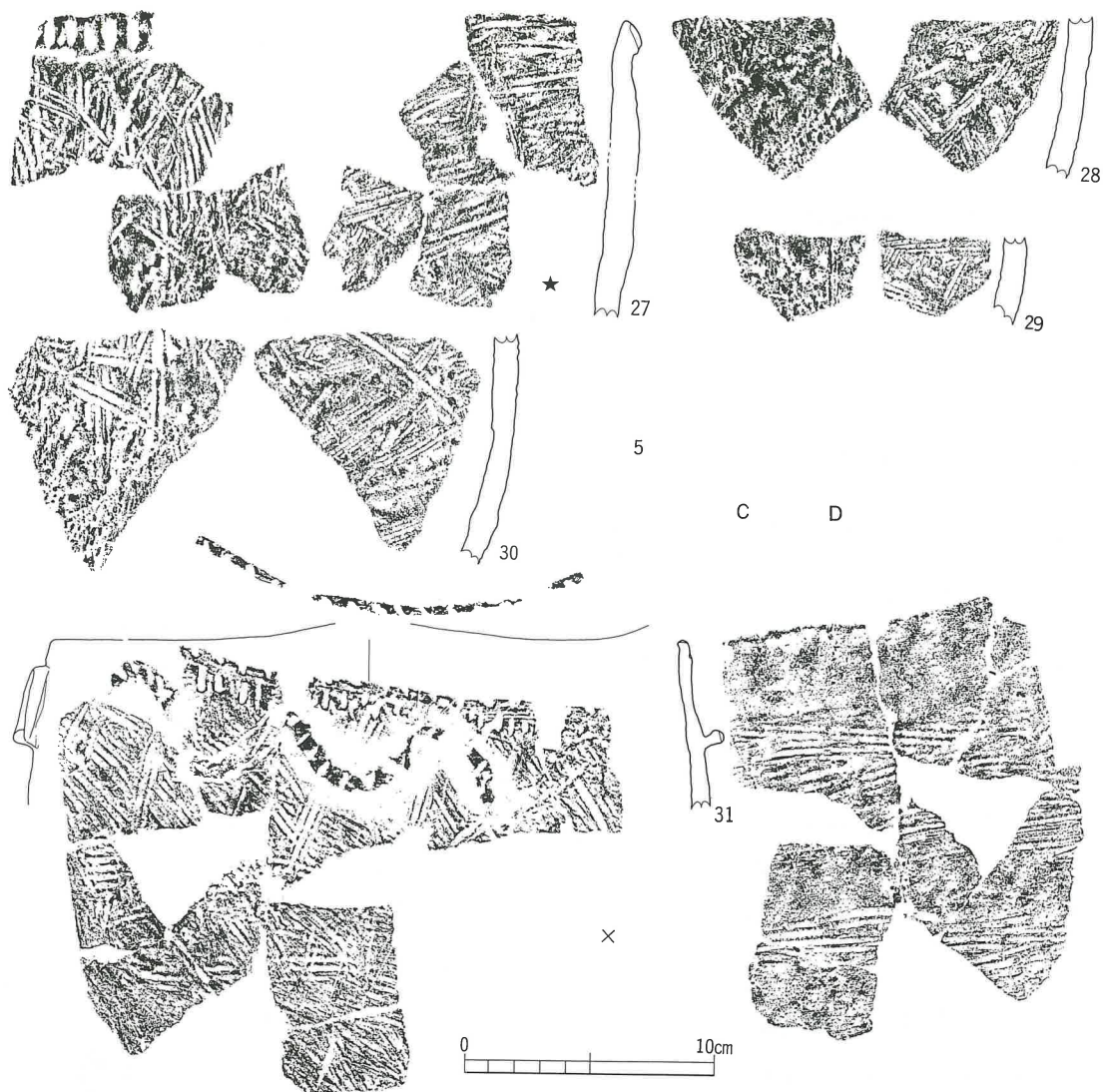


第68図 縄文時代の土器

した。条痕調整は右上がり方向で、その後外面には縦方向の条痕を文様として加えている。刻目は上から下に向かって押さえ付けるように加えている。波条口縁になる。19・20 (□) は3



第69図 縄文時代の土器



第70図 縄文時代の土器

C・4B・4C区の2層(2点)と4・5層(3点)で出土。21は11P区出土。22は8G区出土。石英を含む。23(△)は3E区出土。両面とも右上がりの条痕の後にナデ。24は6I区、25は16C区出土。内面粗い横ナデ。26(○)は5B区出土。一部ナデる他、条痕のままである。

第70図には2個体を図示。27~30(★)は5C区出土。器壁は厚く粗雑。内外面とも条痕調整し口縁上端に刻み目をもつ。31(×)は8E・9E区出土。口径25.8cm。条痕調整後突帯を貼り付け(図の右側では剥落している。)口縁上端に棒条具による刺突列がある。外面は縦方向の条痕を加えている。

鎌石橋式土器(第71・73図)

一個体の破片である2 D・4 Bを中心に分布する。内外両共二枚貝調整で、文様は外面は棒状具により上端は横方向に、下部は斜方向に施文している。口縁の厚さは1.2cm前後である。口縁上端から口唇外側にかけて刻んでいる。

甕 1 式土器(第74図 3)

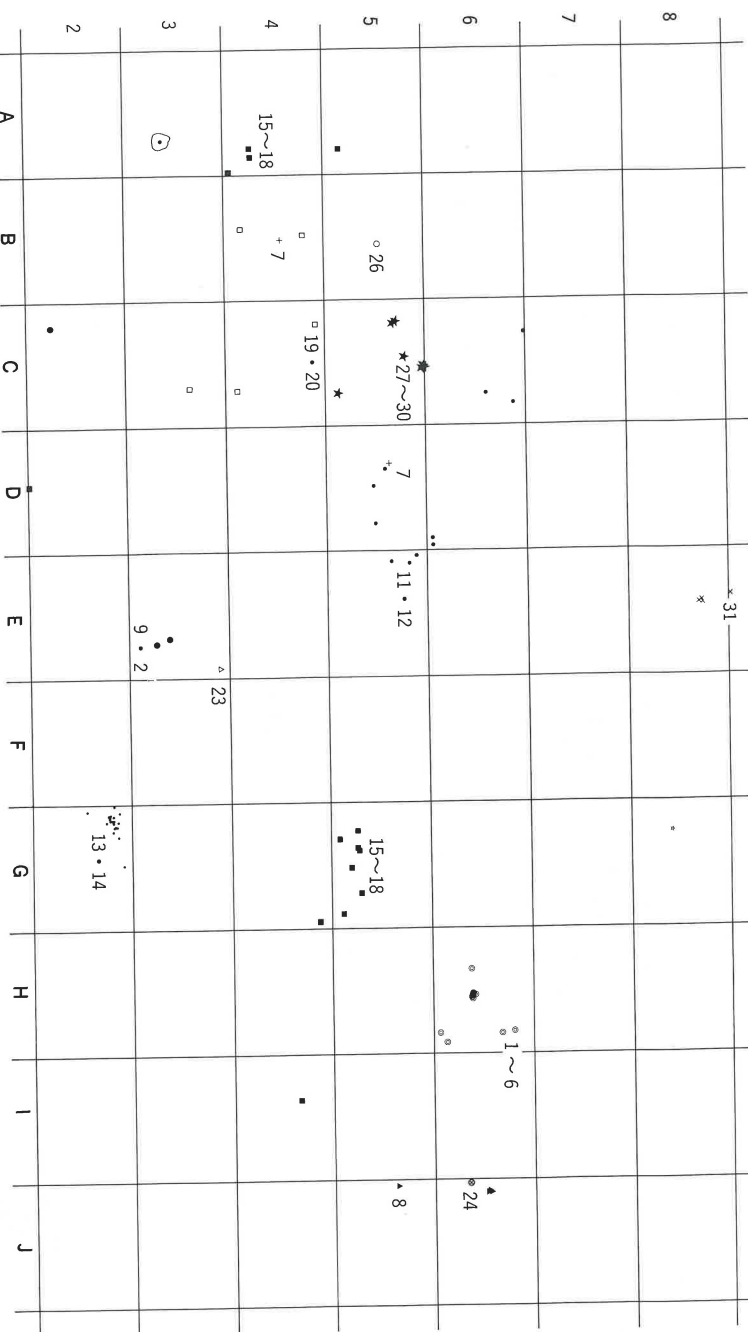
16 E・16 F区出土。器面調整は両面共二枚貝状痕で、その後胴上部は横方向に、下部は縦方向に細ヘラで引き搔いて施文している。最大径は13.5cm。

甕 2 式土器(第74図 3 以外・第75図 1～7)

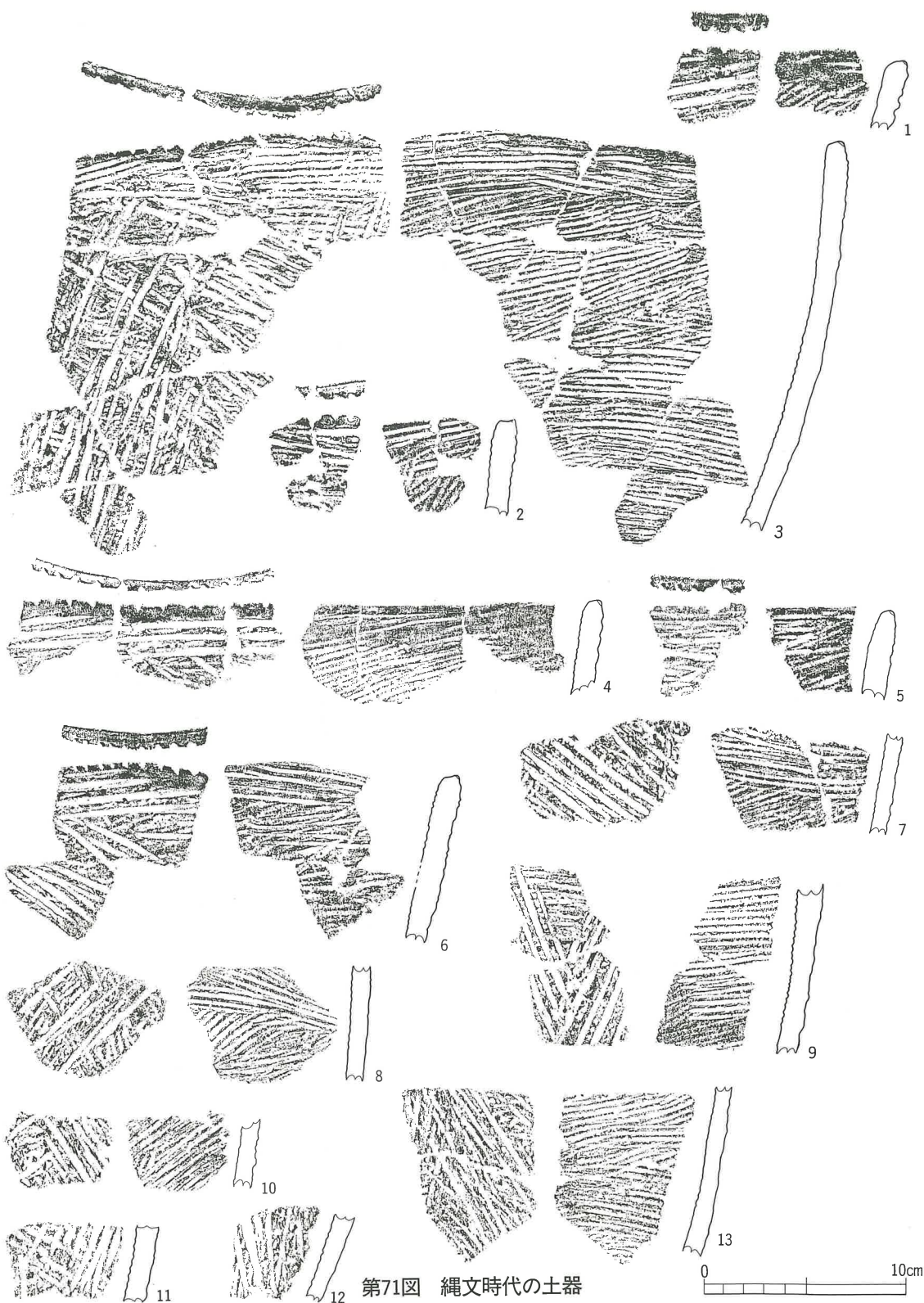
第74図 1・2・4～7は16 D・E区出土。内面の調整は横・斜方向にヘラナデした後、部分的に二枚貝条痕。外面は同条痕。文様は長さ3cm前後の粘土紐を貼り付け施文。口径21.2cm。8～14は12 Pを中心に出土。二枚貝調整の後、内面上端をヘラナデし外面に短い粘土紐を縦位に貼り付けている。下半外面には斜方向の条痕が加わる。

第75図 1～4は4 A・5 A

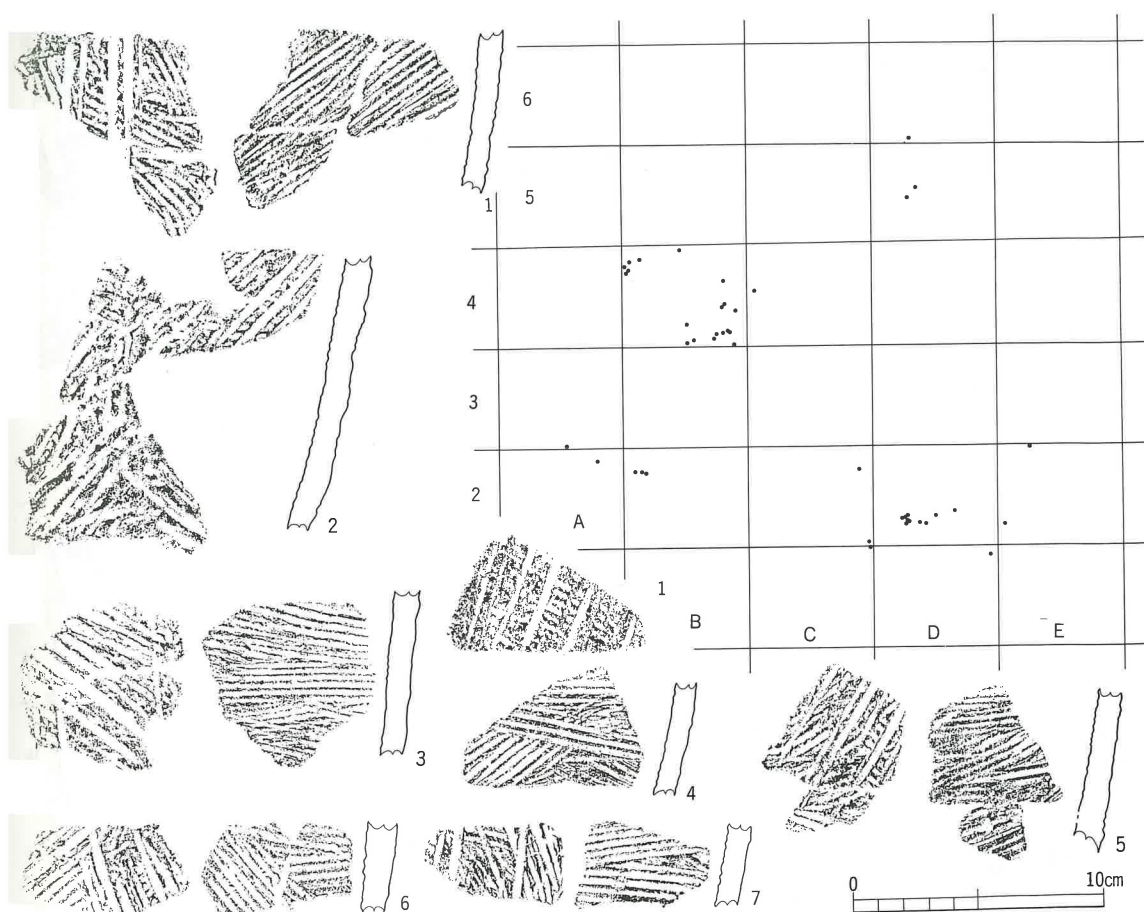
区出土。両面貝殻調整後短い粘土紐貼り付け。5は外面ナデ、内面は下部の平滑な所以外は横方向のヘラ削り。4 B区1層出土。6・7は条痕調整後短い粘土紐を貼り付けている。



第72図



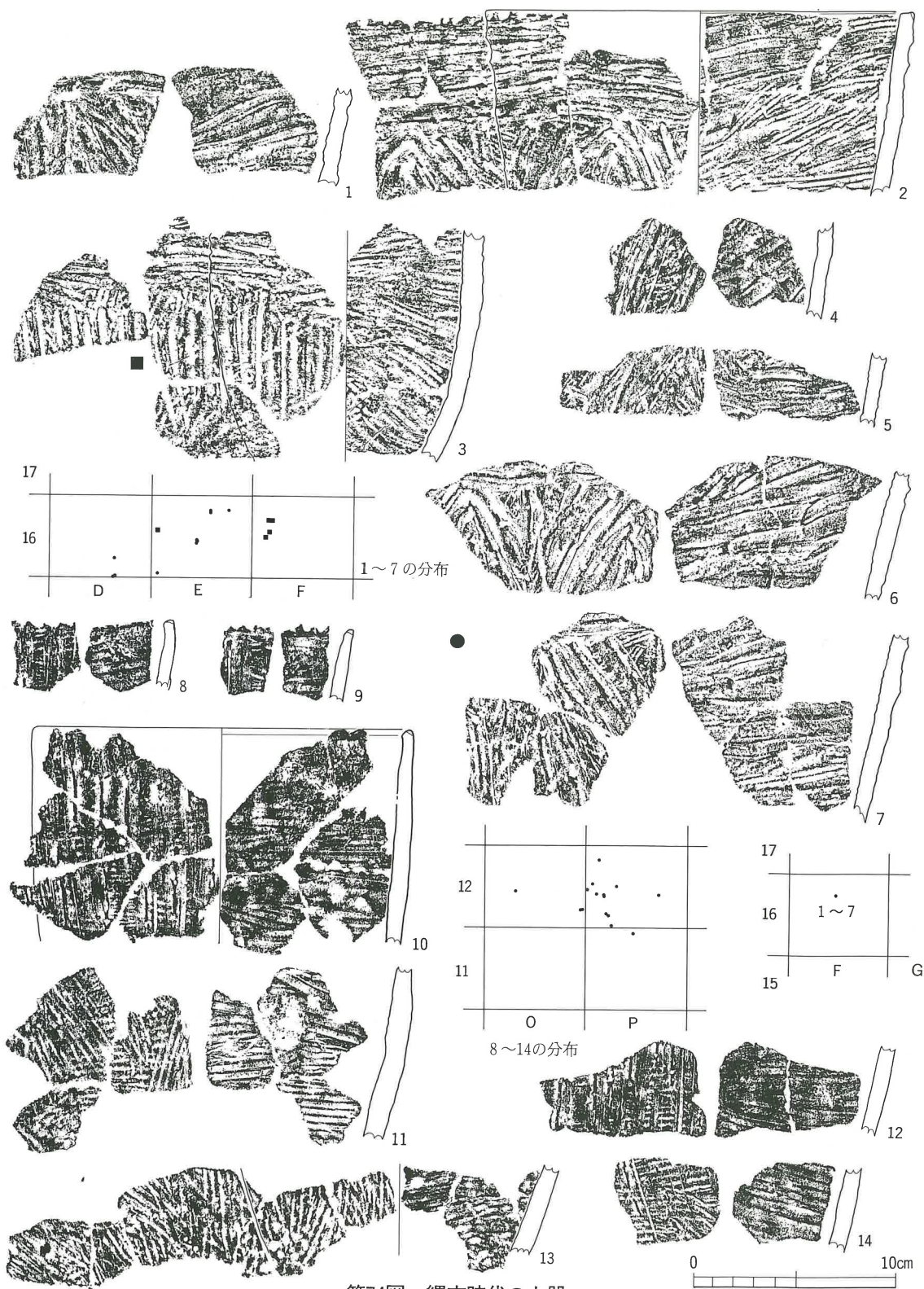
第71図 縄文時代の土器



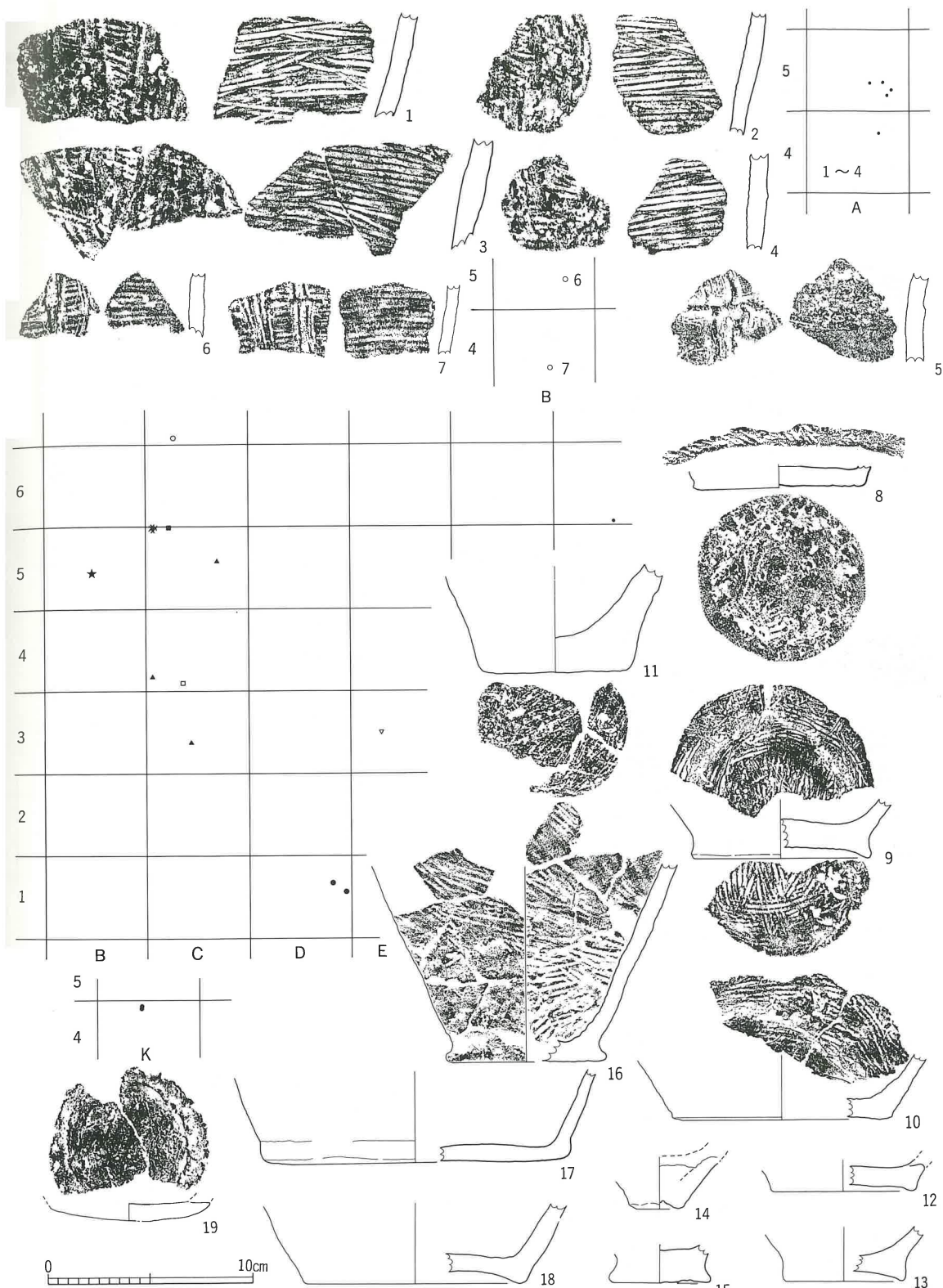
第73図 縄文時代の土器

底部（第75図 8～19）

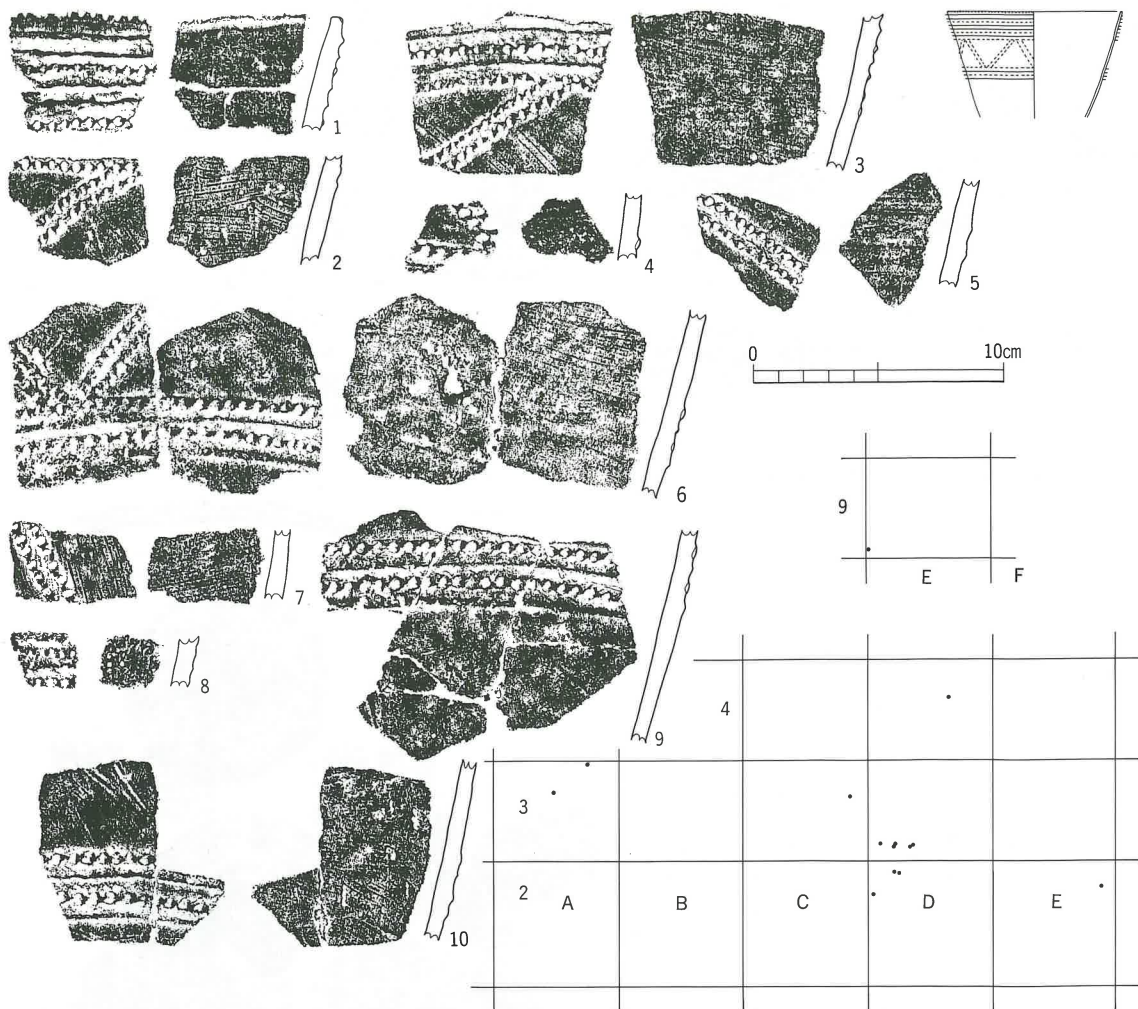
早期末頃のもの在这里扱う。8は外面二枚貝調整、底面は同条痕後ナデ。底部内面ナデ。9は底部は両面とも貝殻条痕、外面は下部はナデ、上部は左上がりの条痕。10はナデ、外面は後ナデ。11は内面は条痕、他はヘラ削り。12・13・15・17・18・19はナデ調整。16は全面条痕。10の底面と14の外面下部から底面外側には白色で灰状の付着物がある。この時期には類例を見かける。



第74図 縄文時代の土器



第75図 縄文時代の土器

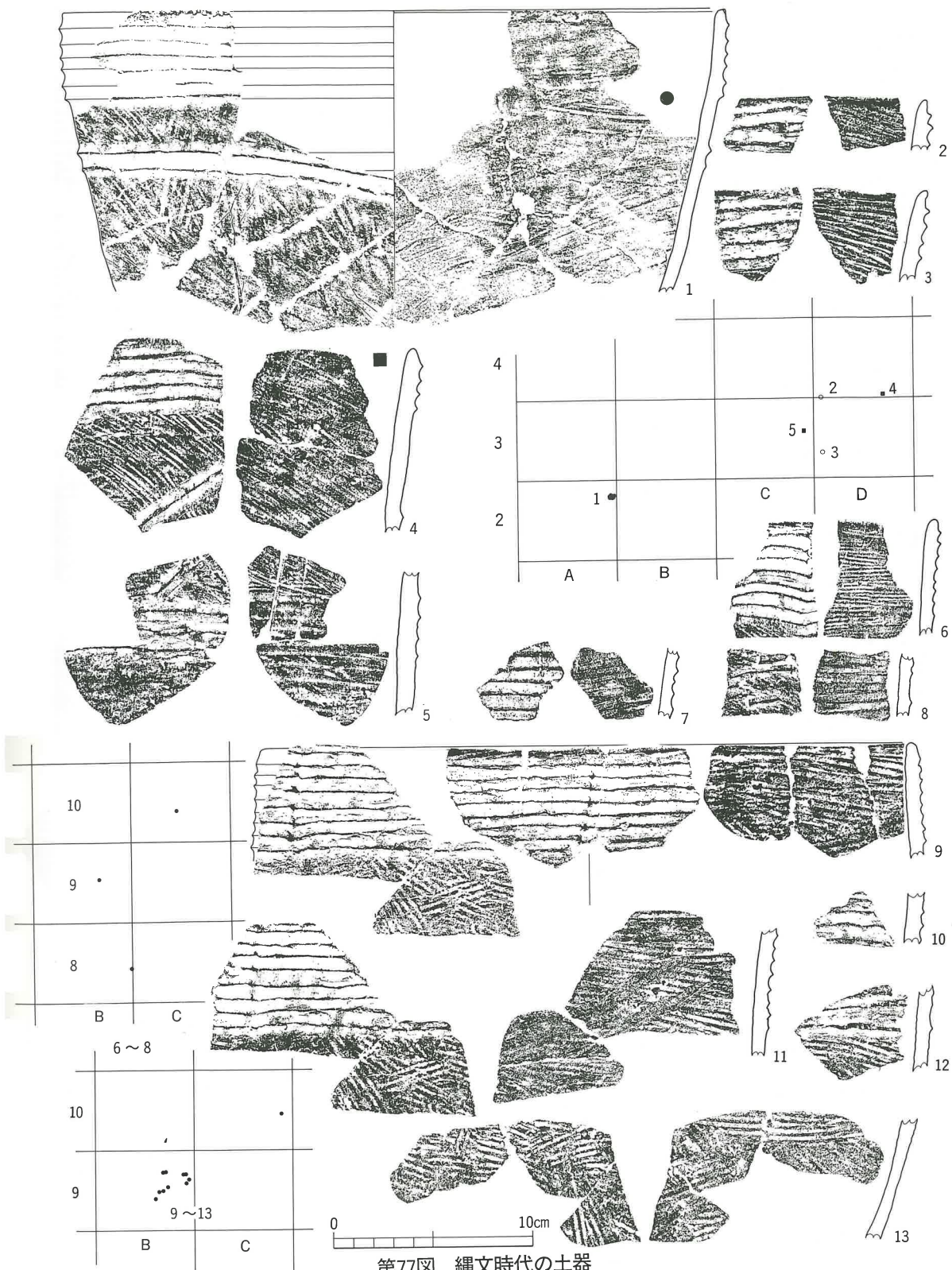


第76図 縄文時代の土器

甗 3 ～ 5 式土器（第76～91・95～98）

第76図の土器は3 D区を中心に分布していた。全形が分かる程接合しないので図の右上に模式図を示す。1・2式に似て口唇外側に刻み目があり、口縁上部に8条、下部に4条の（刻目突帯）突帯を配しこの間を2条の刻目突帯で結ぶ。突帯はミミズバネ状ではないが、以上の特徴から甗3式に比定する。器面の調整は浅い整った二枚目条痕の後にナデ消した部分が多い。

第77図には5個体を示す。1は口径33.5cm、器面調整はヘラナデ的な二枚貝条痕。2 A区出土。2・3は3・4 D区出土。4・5は3 C・3 D・4 D区出土。上下の4条、3条の突帯間を1条突帯で埋める。5内面の縦線は傷。少量の黒曜石を混入している。6～8は9 B区と周辺出土。上部に8条の突帯をもちまとまって波状文をなす。8は部分的に剝落している。9～13は主に9 B区で出土。口縁に8条突帯をもつが、上下方向の同じ位置の突帯をつまんでいる12から





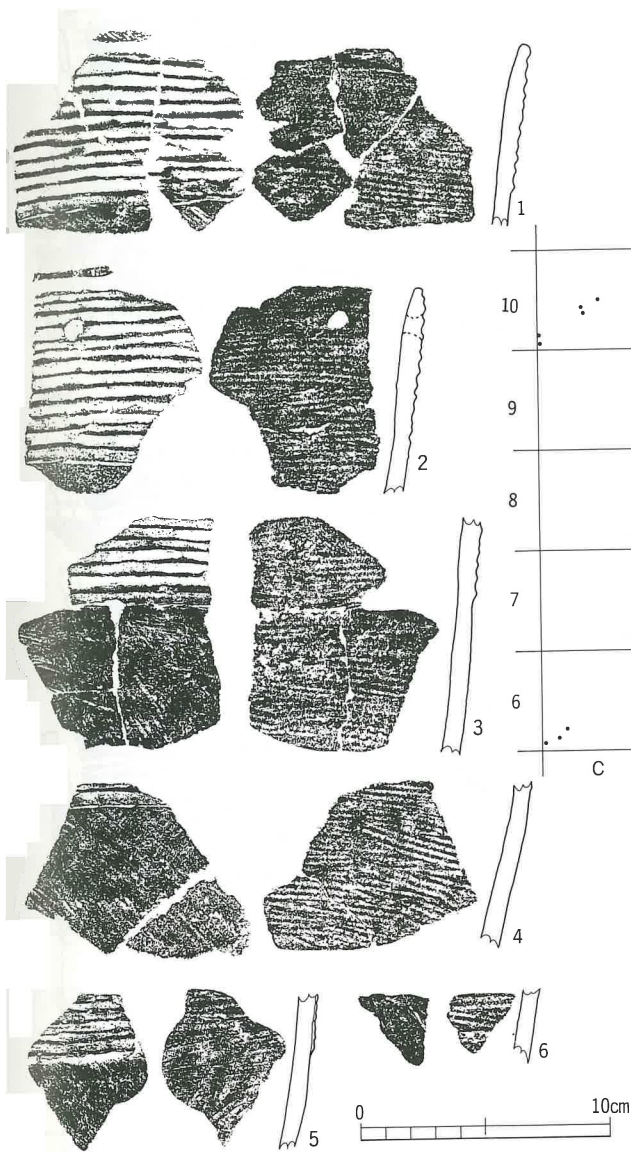
第78図 縄文時代の土器

胴部にも3条以上の突帯をもつらしい。

第78図は2D区付近に出土した。口径53.0cm。両面とも通常の条痕で整形後、外面と内面上部を細密な貝殻条痕でナデ消している。外面の3ヶ所に横位の突帯、条数は上から $3 \cdot 2 \cdot 2 + a$ をもち、口縁上端から下段の突帯のすぐ上まで4ヶ所2条の刻目突帯が下る（いびつなため不詳）。貼り付け後、上中の突帯間に沈線文を加えている。

第79図1～6は同一個体である。6C・10C区に分布する。突帯部は5のように帯状に何段か粘土を貼り、一段につき3条前後の浅い突帯に仕上げ、1は11～12条、2は13～14条となる。口唇には二枚貝による刻みがある。

第80図1～15は10個体に分かれる。1・2は2・3A区で出土。内面は細密な粗い条痕、外面はナデ消し。4条突帯。3は3C区出土。ナデ調整。4は5D区出土。ナデ調整。5は5B区出土。内面は条痕。外面はナデ消し。口唇に貝殻の刻み。6・7は4・5A区出土。ナデ調整。5条突帯。8は4C・D区出土。両面ナデ調整で最大径24.7cm。9・10は同一個体か。9は5・6C区、10は4D区出土。内面はヘラナデ。11・12は4E区出土。両面浅い条痕で6条突帯。13は1D区出土で1個体で1片のみ。14は4A区出土。両面ナデ、内面はヘラ削りの。13は1D区出土で1個体で1片のみ。14は4A区出土、内面ヘラ削り。15は5B区出



第79図 縄文時代の土器

11は上端の突帯が剥げているので、結局3条となる。全て口縁部であろう。13は6D区出土。上下に5条・2条の突帯をもつ。内面はヘラ削り的、外面は細密な条痕の後ナデ。14は4C区出土。黒曜石を少量混入。ナデ調整。15は11B区出土。円形の浮文と列点文をもつ。

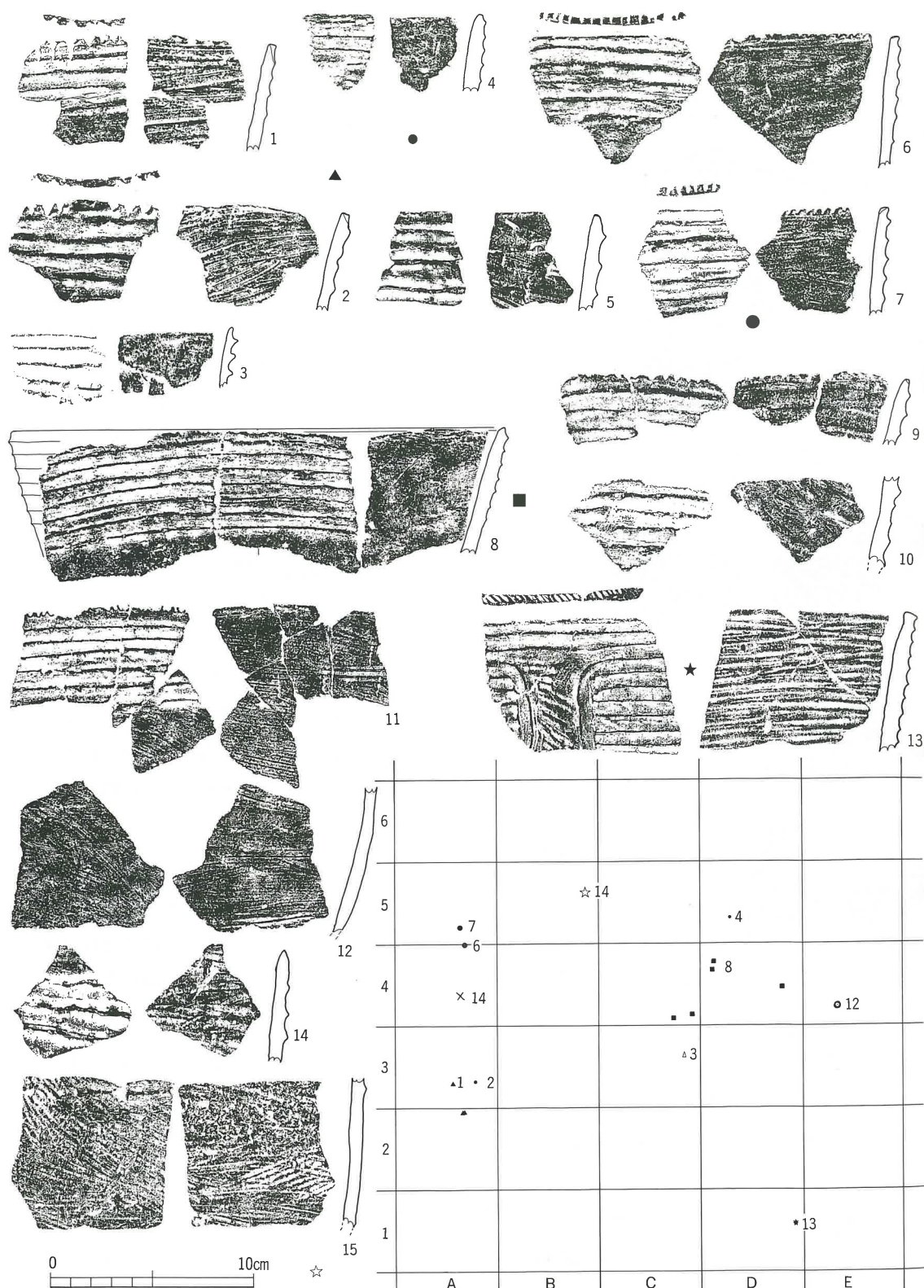
第83図1～4は同一個体である。5B区付近で出土した。内面は細密な貝殻条痕、外面はナデ。5条の突帯をもつ浅鉢である。

第85図には4個体を図示(分布図は第89図)。1～3(○)は3A区を中心に4B～D区も出土。口径24.9cm。両面ナデ調整で突帯数は上から5・1・2。4(●)は4C・D区を中心に出土した。両面共ナデ整形で口径は34.0cm。突帯は上から6・1・3となる。5は3C・4D

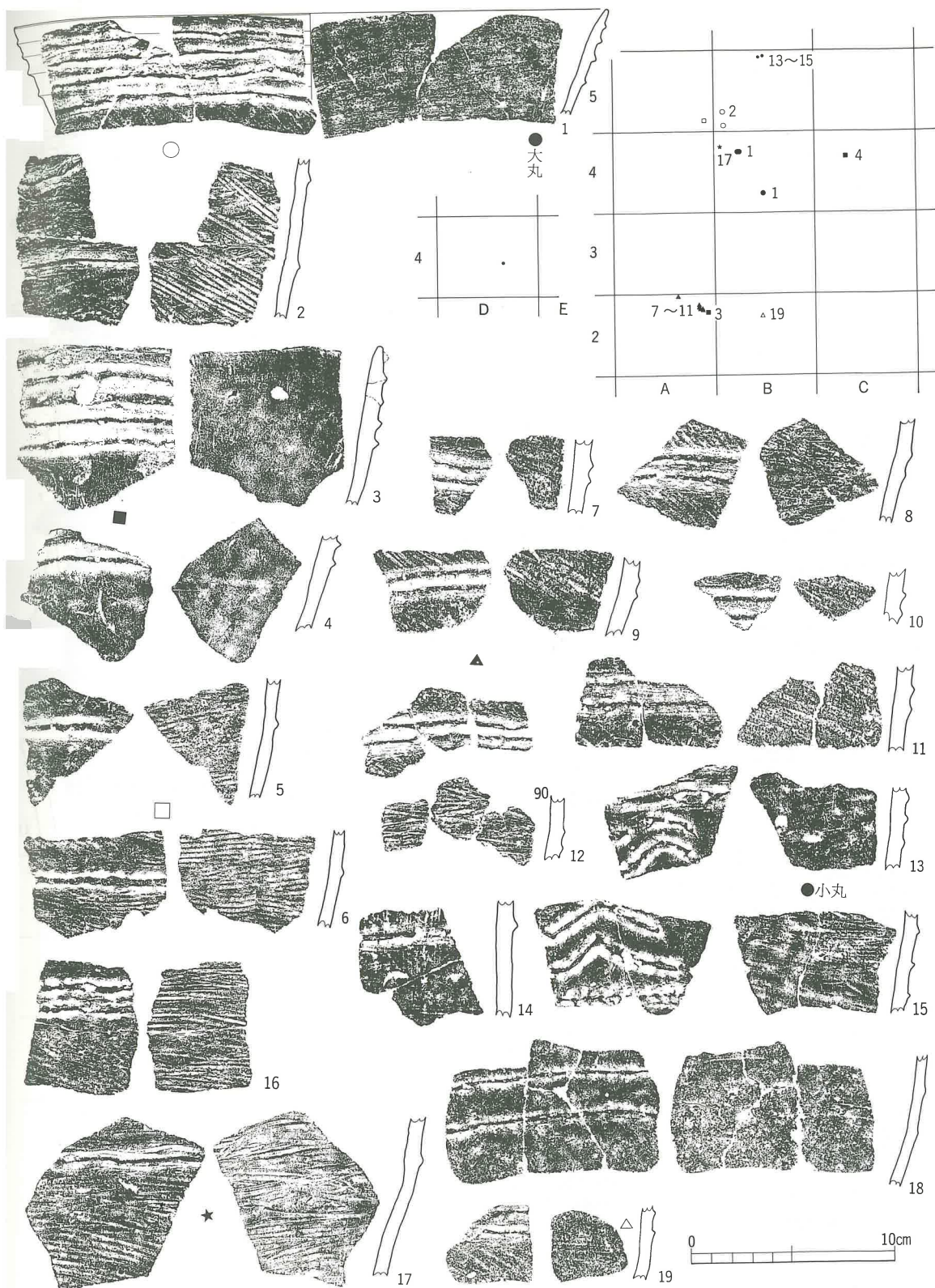
土。破片の上下に突帯1条があり、上の突帯は左右を剥落している。

第81図には10個体を図示した。1は4B区出土。口径29.6cm。器面はナデ仕上げ。2は5B区出土。外面はナデで、上より波状・水平・波状(下端)の突帯をもつ。3・4は2A・4C区出土。両面横方向のナデ。焼成後の穿孔がある。5・6は3C(分布図未記入)・5A区出土。7～12は2A区出土。胴下半の突帯部分。13～15は5B区出土。両面共横方向の条痕調整後ナデ。16は4A区出土。17は4B区出土。18は4D区出土。両面ナデ調整。19は2B区出土。

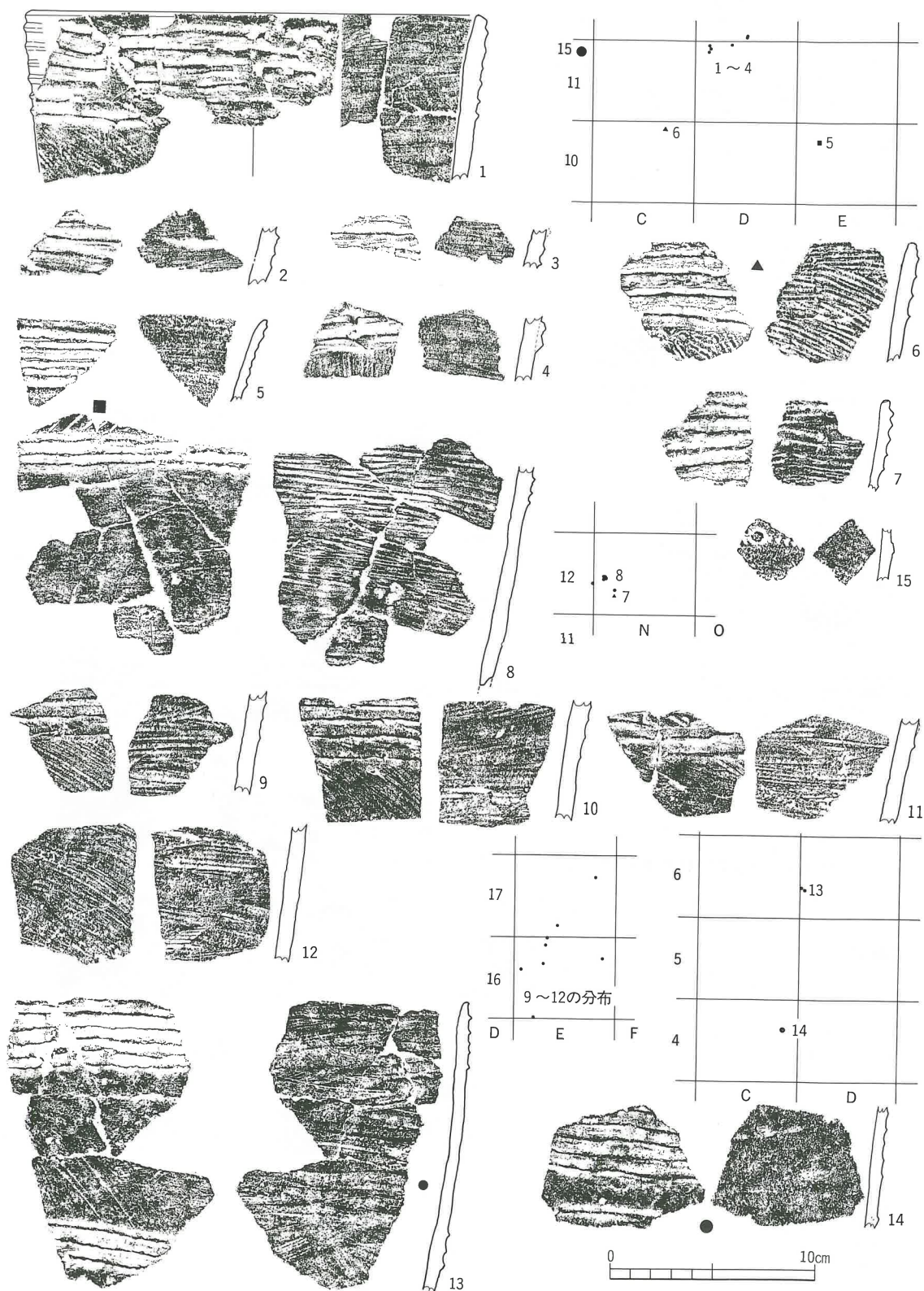
第82図には8個体ある。1～4は11D区出土。4は重複により上から下の順に突帯を貼り付けたことが分かる。口径22.9cm。5は10E区出土。粘土の重複により突帯は上から下に順に貼り付けたことが分かる。6は10C区出土。口唇に刻目をもつ。7は12N区出土。口唇にヘラによる刻目あり。8は12N区出土。外面はナデで突帯の上片に沈線を引く。9～12は16E・17E区出土。



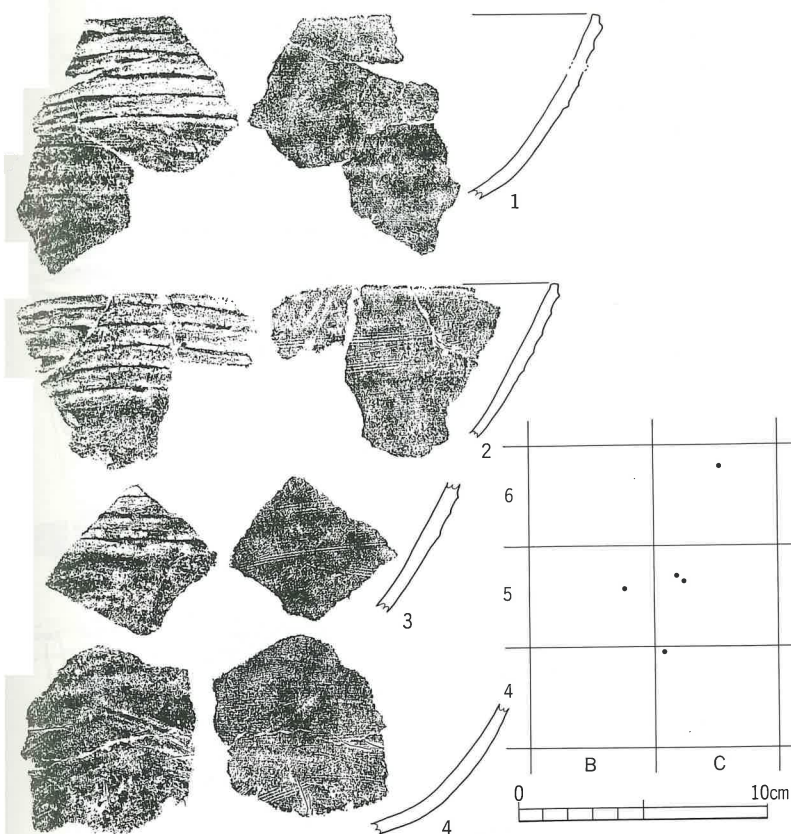
第80図 縄文時代の土器



第81図 縄文時代の土器



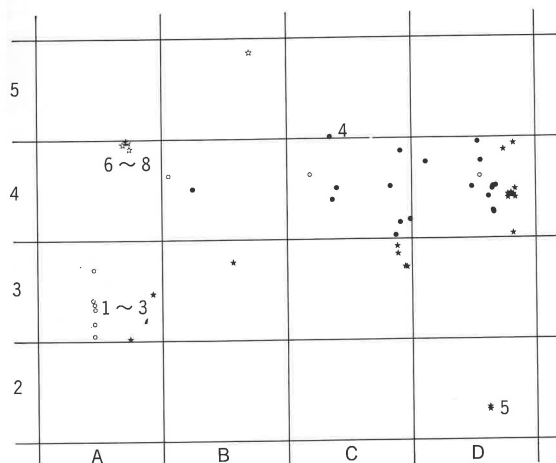
第82図 縄文時代の土器



第83図 縄文時代の土器

出土。外面はナデでスス付着。14～16・15・16D区と2点の18D区表土出土品。両面条痕調整後に外面はナデ。最大径17.1cm。

第87図には黒曜石を胎土に含む5個体を図示した。必ずしも全て別個体ではなかろう。器面の仕上げは全てナデ。1は5B区、2は5号土坑、3は4B区、4は3C区、5は3A区出土。



第84図

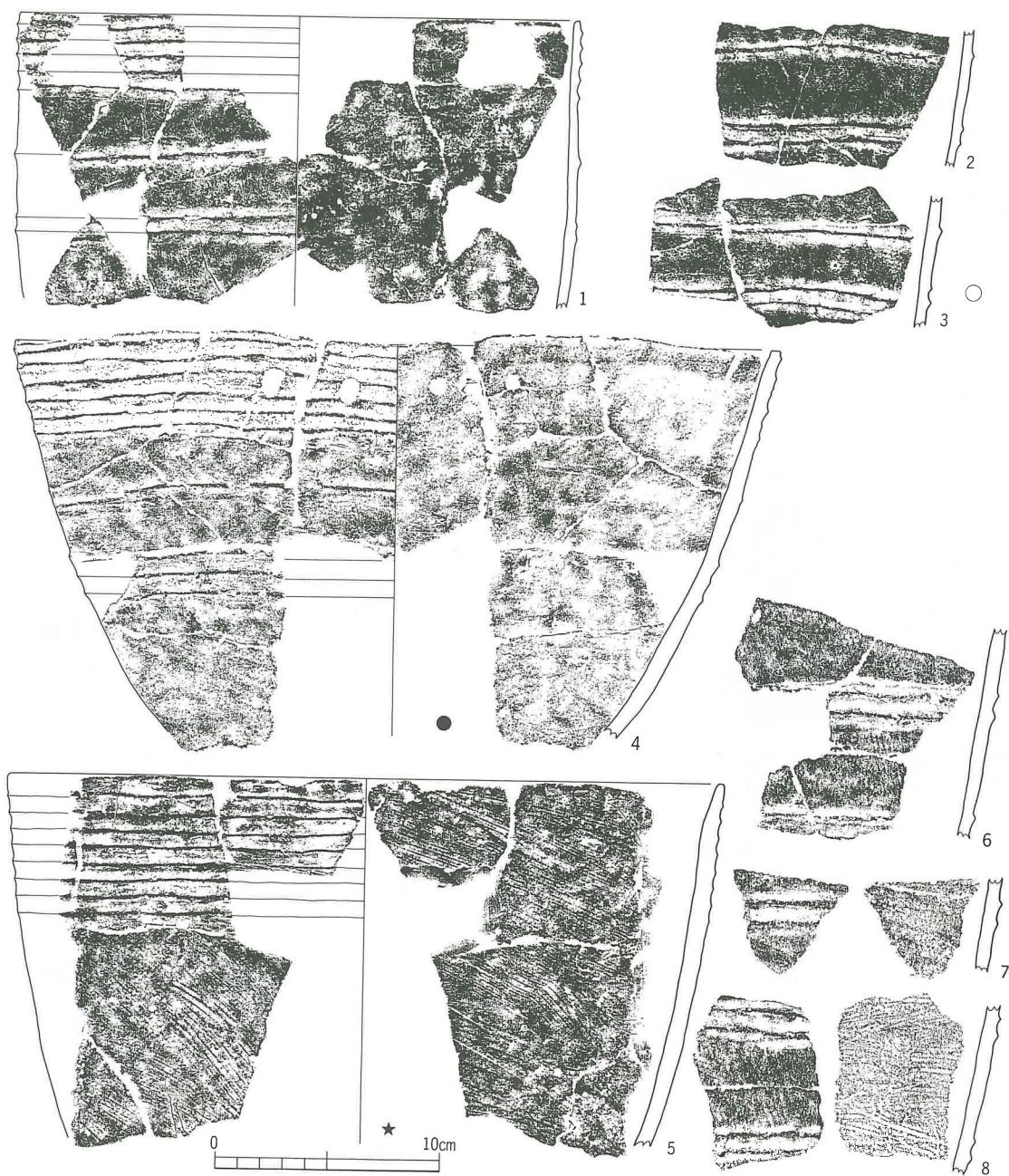
区等に出土(★)。口径31.8cm。両面共斜め方向の浅い整った条痕。6～8(☆)は4A・5B区出土。ナデ調整。

第86図には8個体を図示1～3は16D区出土。最大径24.8cm。外面はナデ仕上げ。4～6は13・15D区・11P区出土。口径26.1cm。外面はナデ仕上げ。7は17D区出土。下手な作風で条痕の方向が他と異なる。8は16D区出土。全面ナデ調整。9・10は15E区出土。外面はナデ。11・12(★)は16E区出土。破片の上下は不詳。11の内面に条痕がある他はナデ。13は15G区

内面はヘラナデ。

第88図には黒曜石を混入した2個体を図示。1～8は3A区を主体に2A・3C区に少量出土した。器面はナデ仕上げで内面はヘラナデ。9・10は15B区他に分布。特に黒曜石の量が多い。外面は横方向の後、斜めの条痕。

第89図には5個体を図示。1・2は同一個体。1は17E区出土、2は18D区表土層。内面上部から外はナデ。3は2D区出土。ナデ

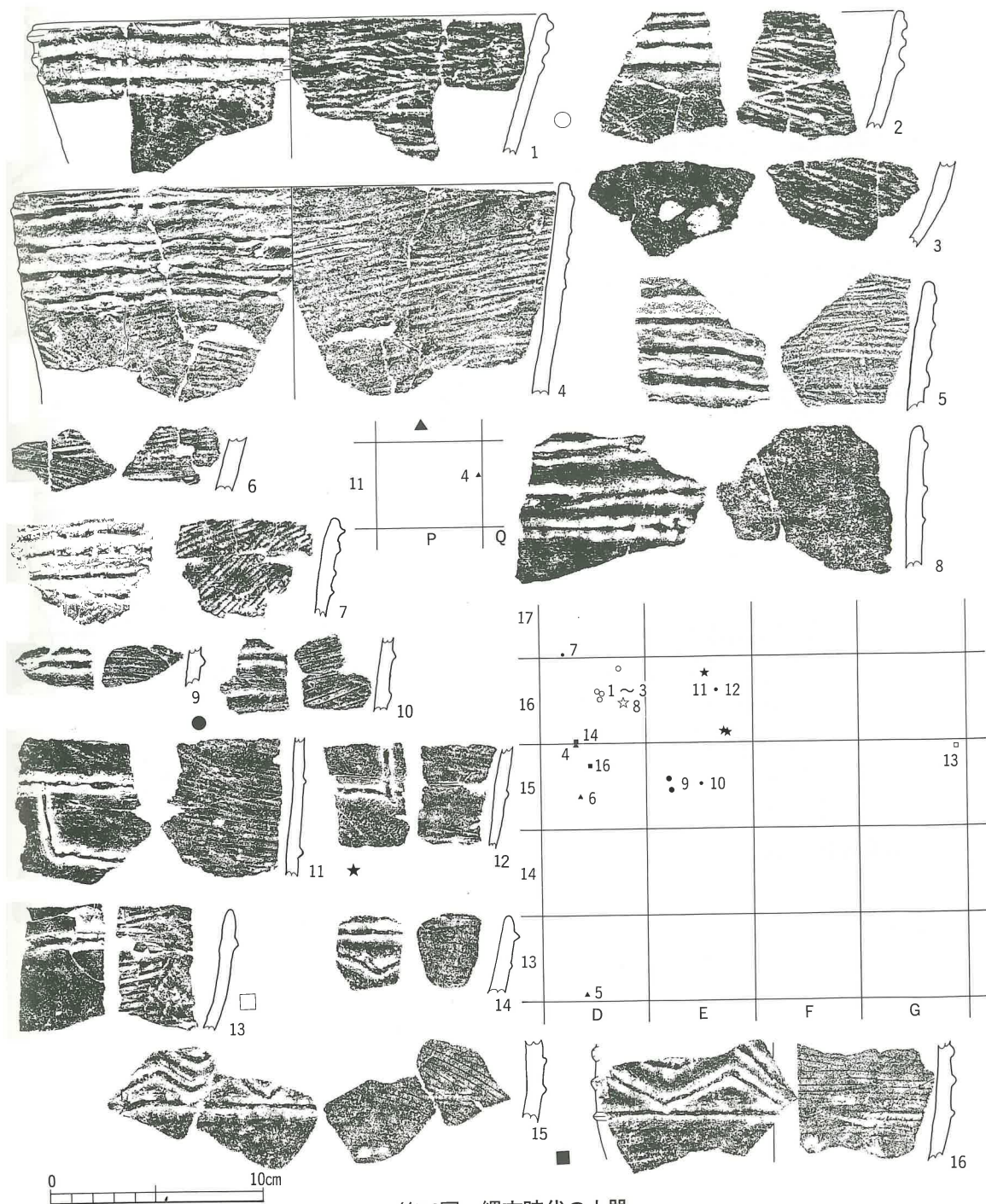


第85図 縄文時代の土器

仕上げ。4・5は4B区出土。黒曜石を少量混入。5の左上には波条突帯の一部がある。6・7は4G区周辺出土。口径27.5cm。刻目は貝殻使用。8は5C区出土。内面は細い条痕風ヘラ削りとナデ。外面ナデ。下端の突帯下につまむ跡の跡がつく。

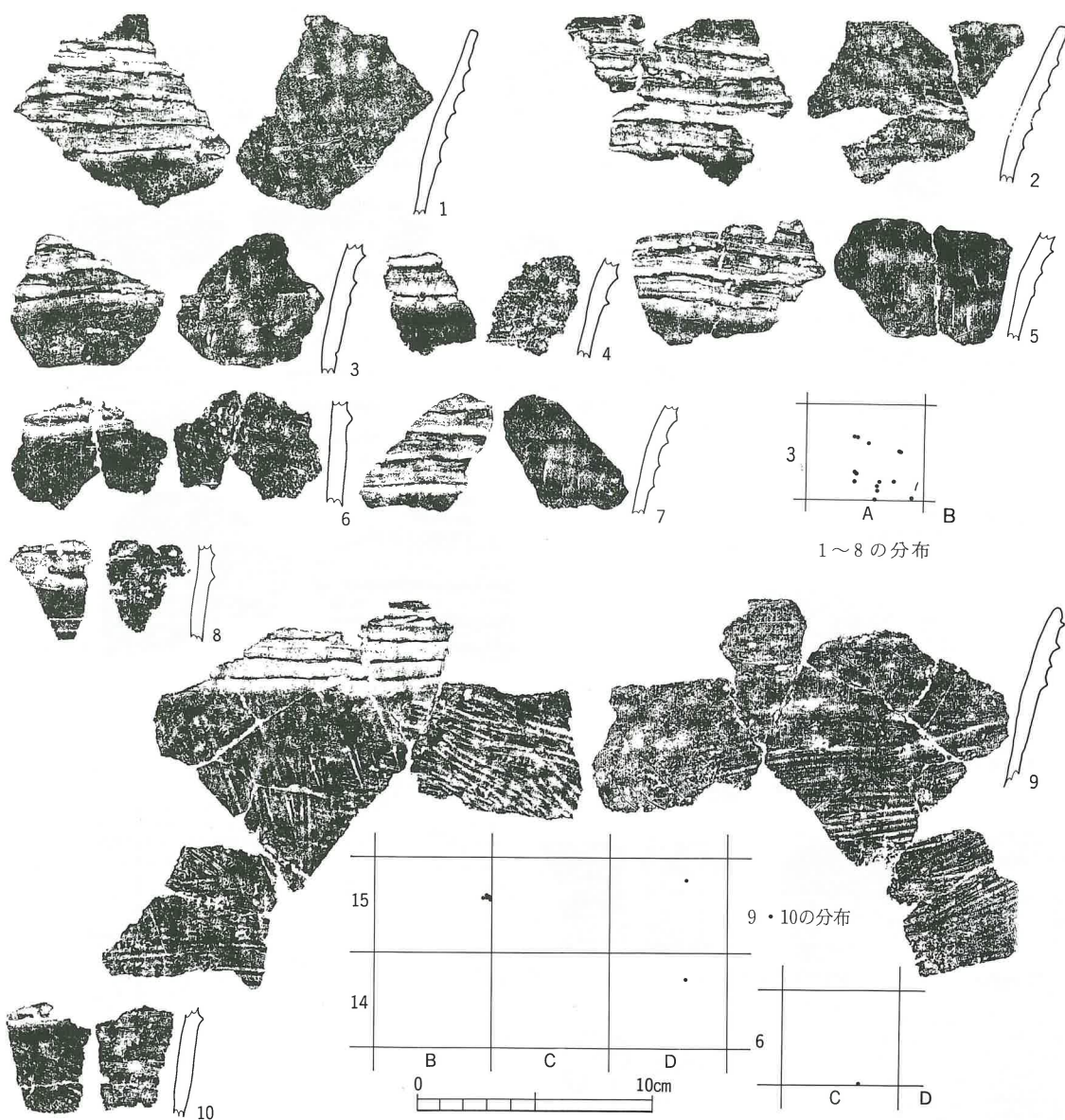
第90図1～10は1D区を中心に分布する。11～13は14・15D区を中心に分布する。貝殻肋縁を口唇に直角にあてて刻む。14～16は14・15D・17F区出土。刻みは11以下と同様である。

第91図には5個体を図示。1は2B・11C区出土。2・3は2B区出土。条痕調整だけの無

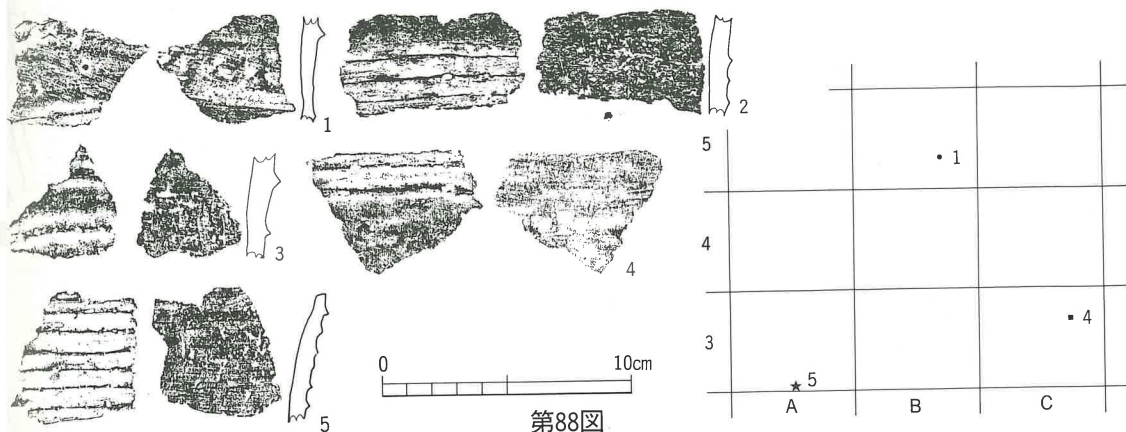


第86図 縄文時代の土器

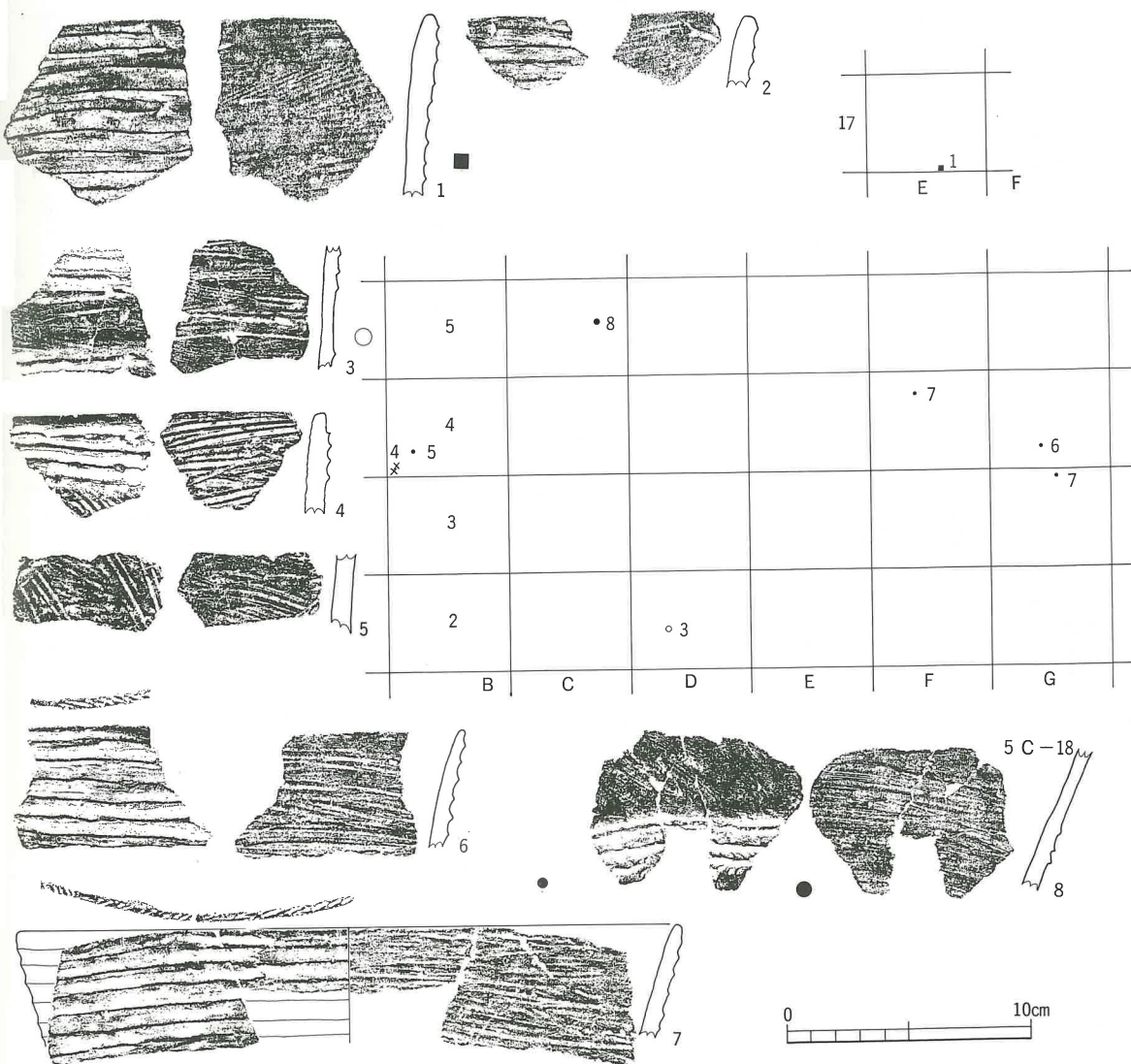
文土器であろう。4～8は10B区出土。無文土器。9は8C区より出土した据え置いた状態の完全に一周する底部。10は12H区で出土。



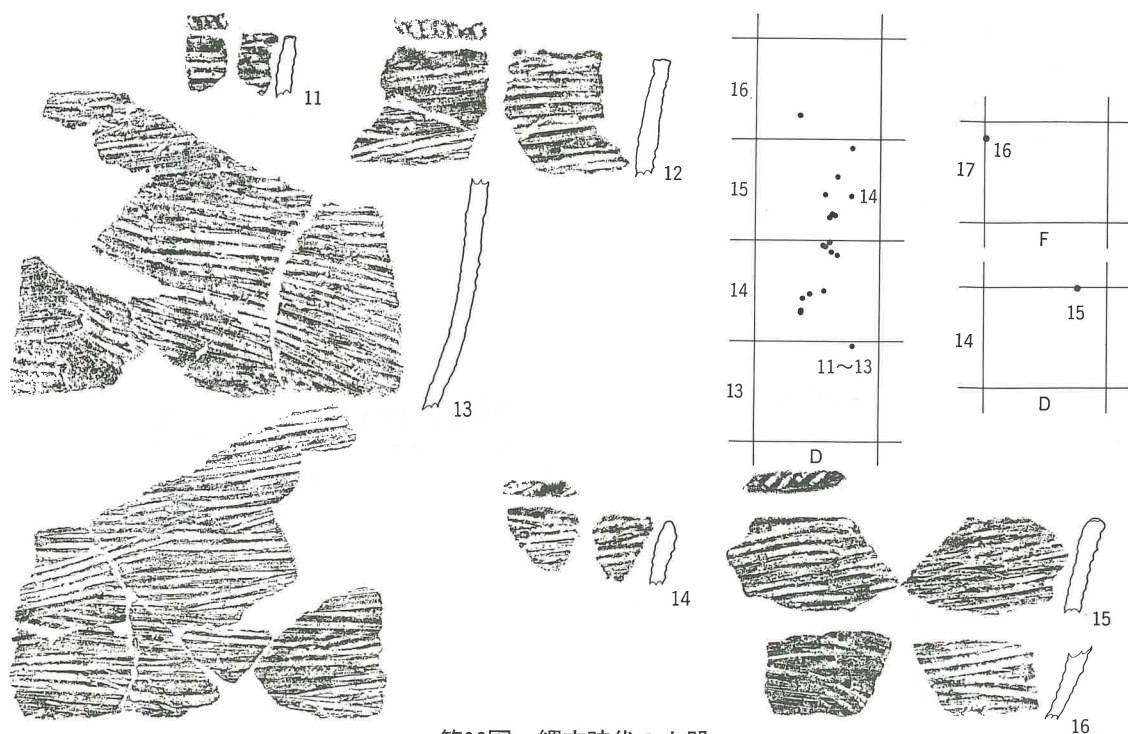
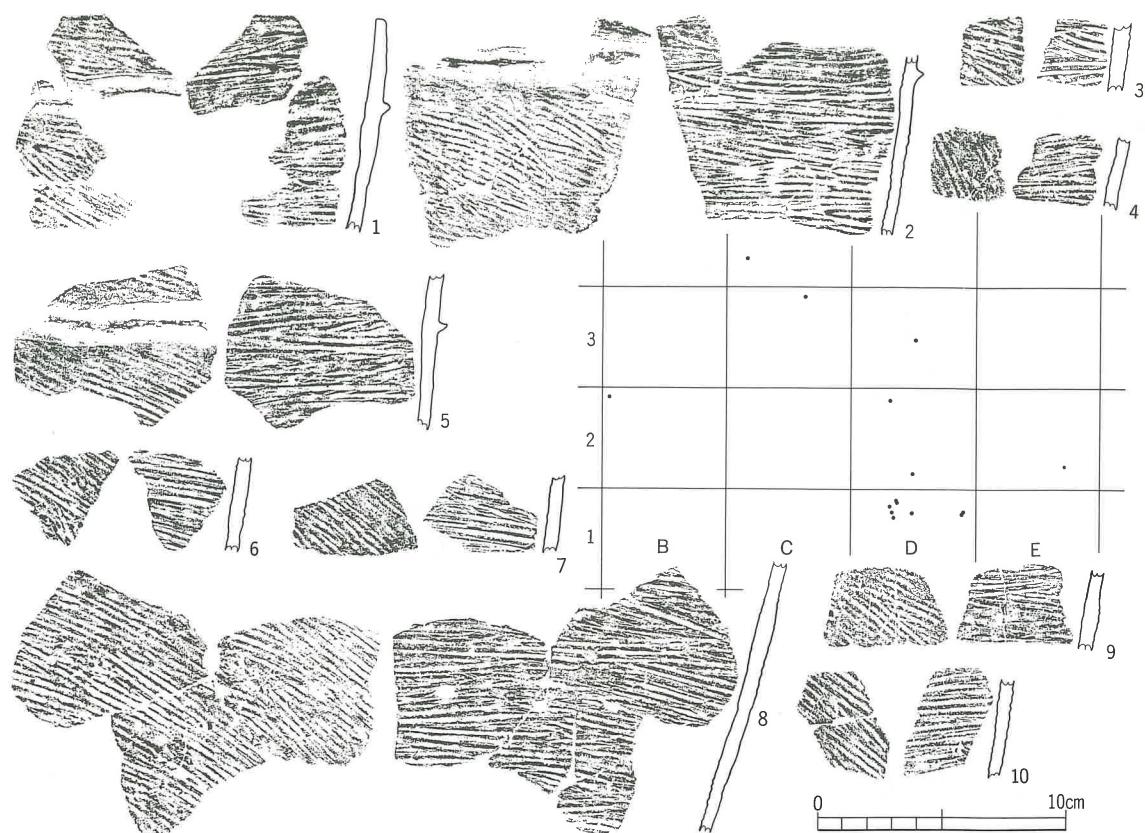
第87図 縄文時代の土器



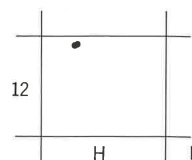
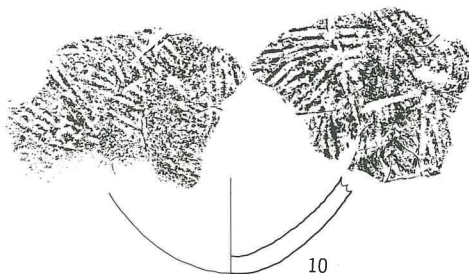
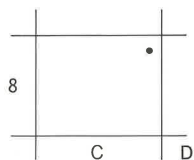
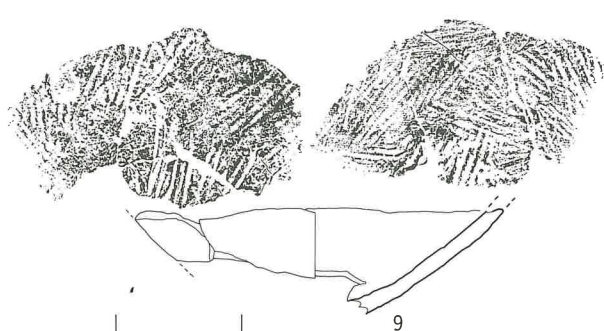
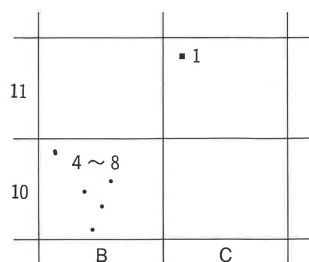
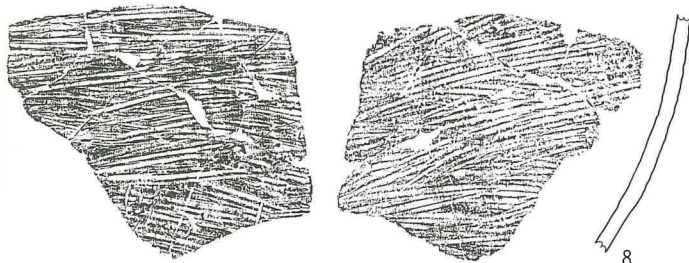
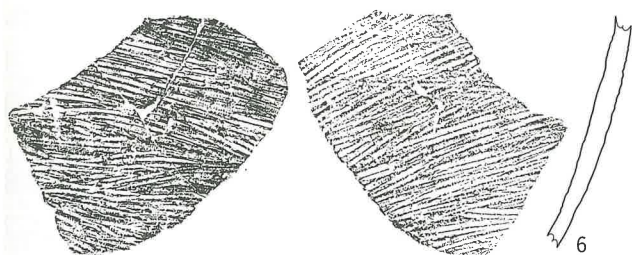
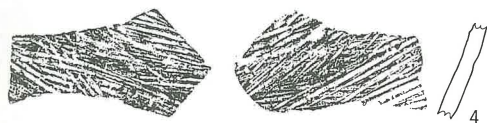
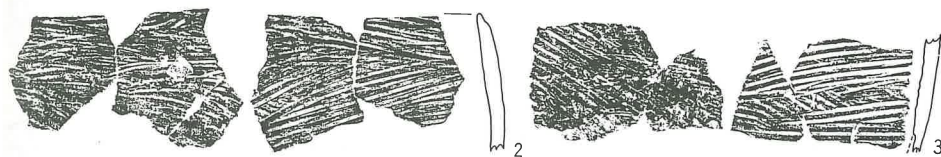
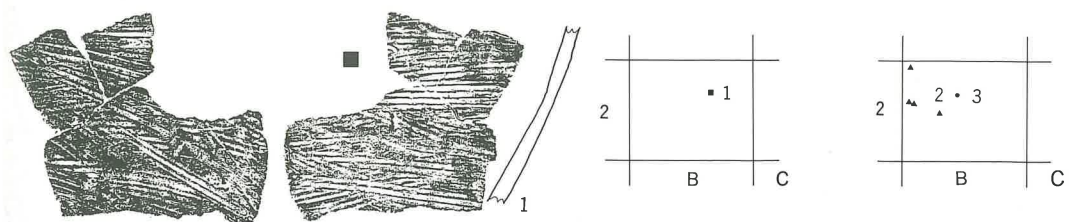
第88図



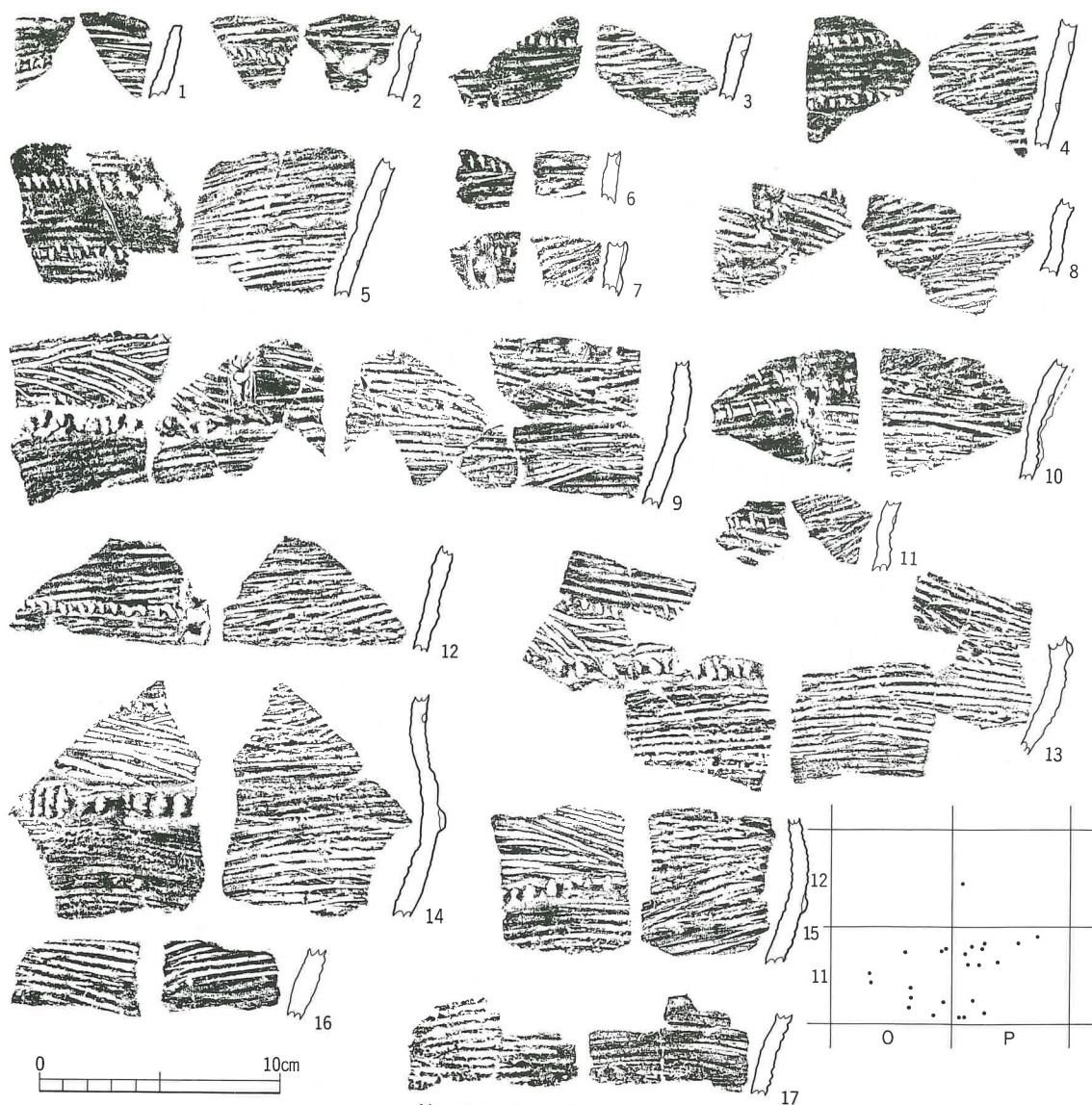
第89図 縄文時代の土器



第90図 縄文時代の土器



第91図 縄文時代の土器



第92図 縄文時代の土器

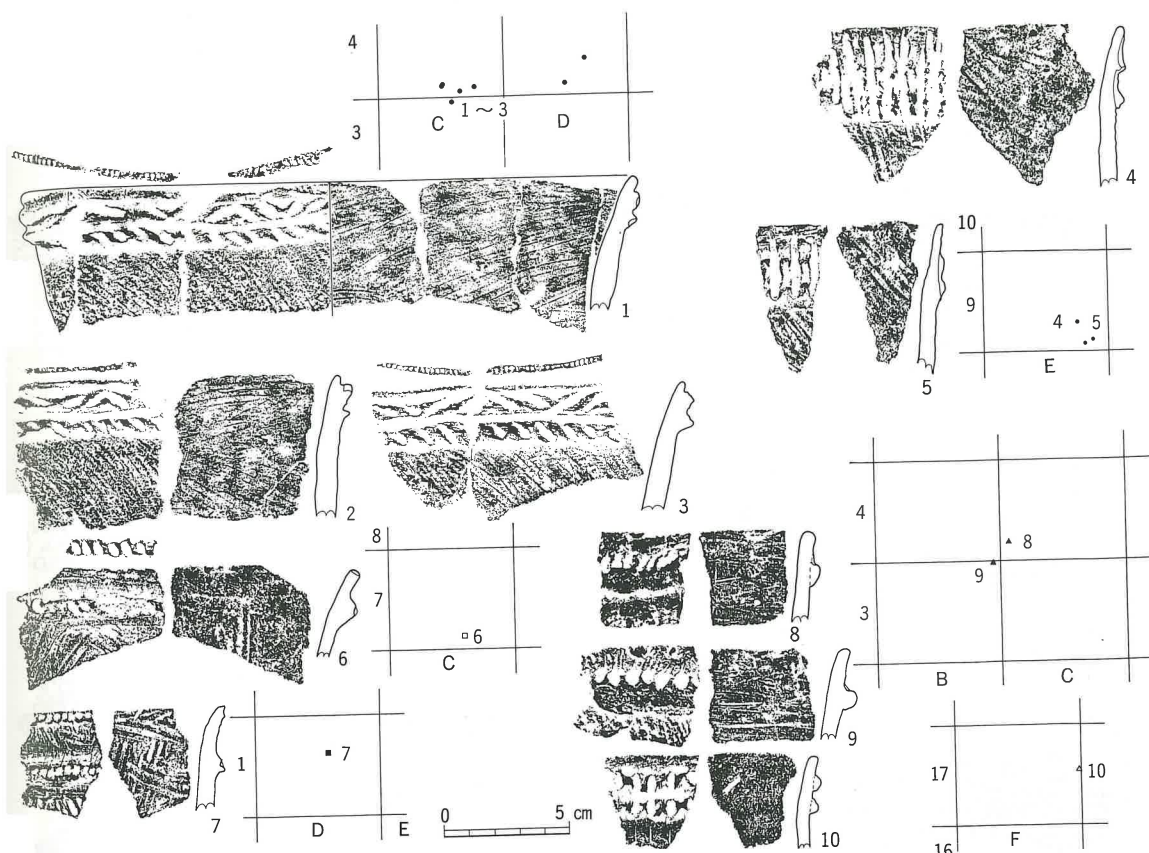
山陰系突帯文土器（第78図13・第92図1～17）

第78図は1D区出土。条痕調整後上部に突帯を3条貼りつけ、次に下位の6条をあらかじめ区切って貼り、最後に曲線の粘土紐を加える。上から3つ目は曲線間に残る。

第96図は1個体である。口唇には刻み目がなく、口縁から頸部に3条以上の列点文をもち胴上部には沈線文、胴最大部には横位の刻み目突帯がありそこから口縁に縦位の刻み目突帯をもつ。11O・11P区に殆ど集中した。

その他の条痕文土器

第93図には6個体を図示した。1～3は3C・4C・4D区の2層出土。器面は浅い条痕の

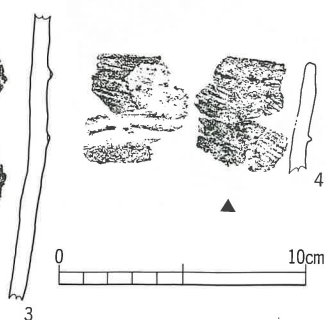
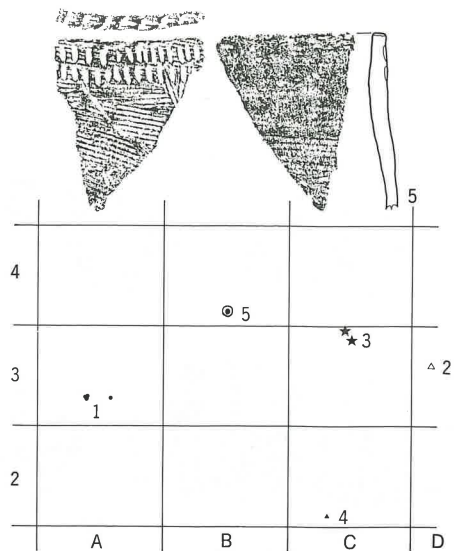
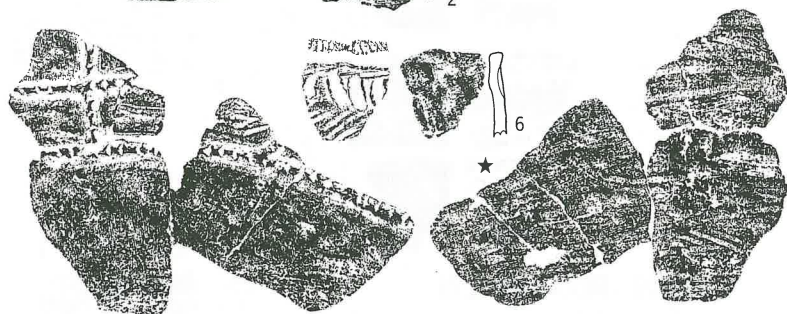
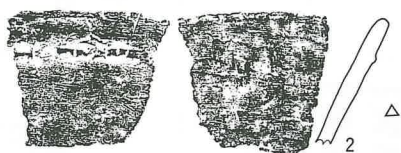
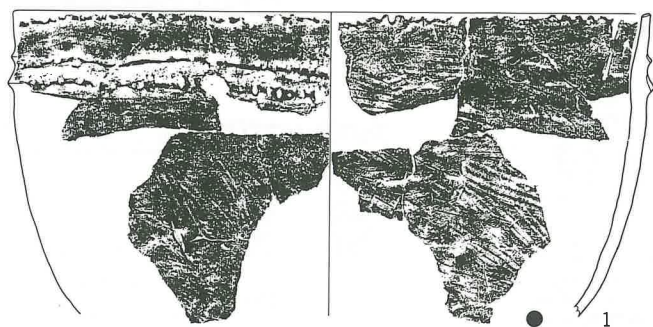


第93図 縄文時代の土器

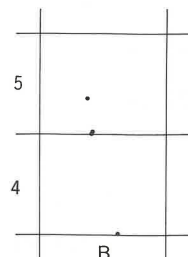
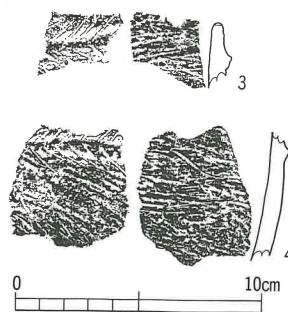
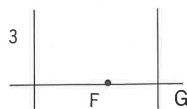
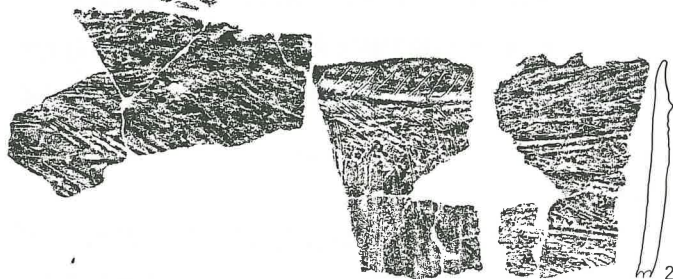
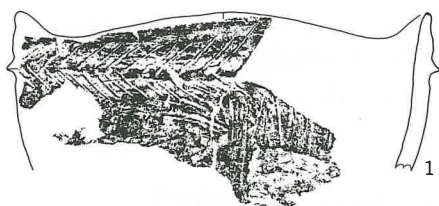
ままで口径24.8cm。4・5は9 E区の2層出土。胎土に石英と金色の雲母を含む。2条の突帯に棒状具で刻む。6は7 C区2層出土。内面だけ条痕の後ナデ消している。7は1 D区の2～5層(現地でこのようにしか層を把握できなかった場合、こう記す。)出土。条痕調整のままだが突帯貼り付け時に上下をナデつけている。8・9は3 B・4 C区の2層出土。細い条痕調整で、断面半円形の突帯を付けそれに口唇方向から断面円形の棒で刺突文をつけている。10は17 F区の2～5層出土。器面はナデにより平滑に仕上がる。突帯を刻む際に上下に撫でるようにするため下位にも跡がついている。

轟5式土器(沈線文)と併行する土器

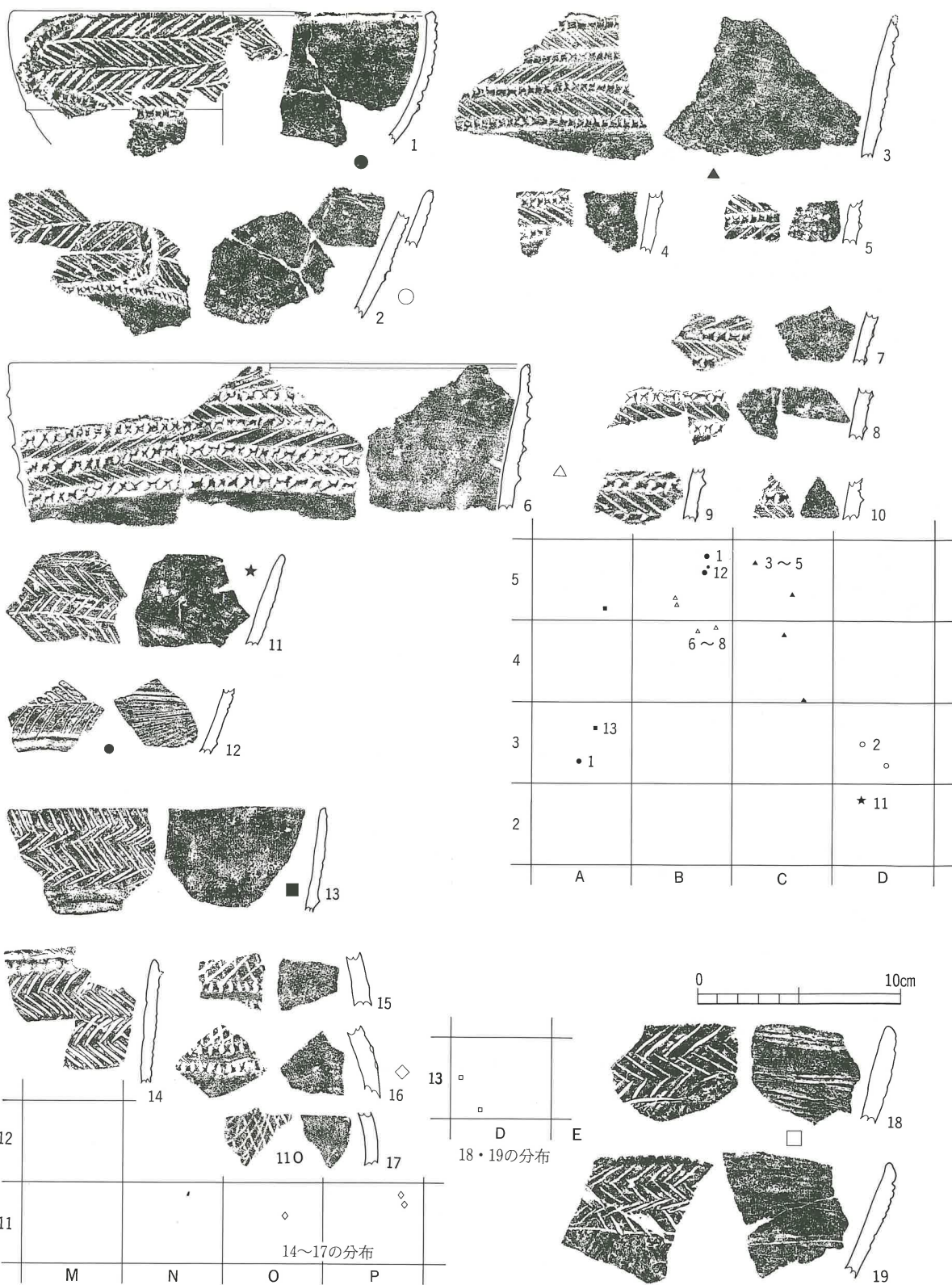
第94図には6個体を図示。1は3 A区出土。条痕の後、ナデ。突帯と口唇にヘラ刻み。口径25.5cm。2は3 D区出土。内面はヘラナデ、外面はナデ。3は3・4 C区出土。器面は条痕の後ナデ。4は2 C区出土。黒曜石を多量混入する。条痕の後内面上部から外はナデ。5は4 B区出土。石英・金色の雲母を胎土に含む。口唇には貝殻肋縁による刻目、口縁外側にはヘラに



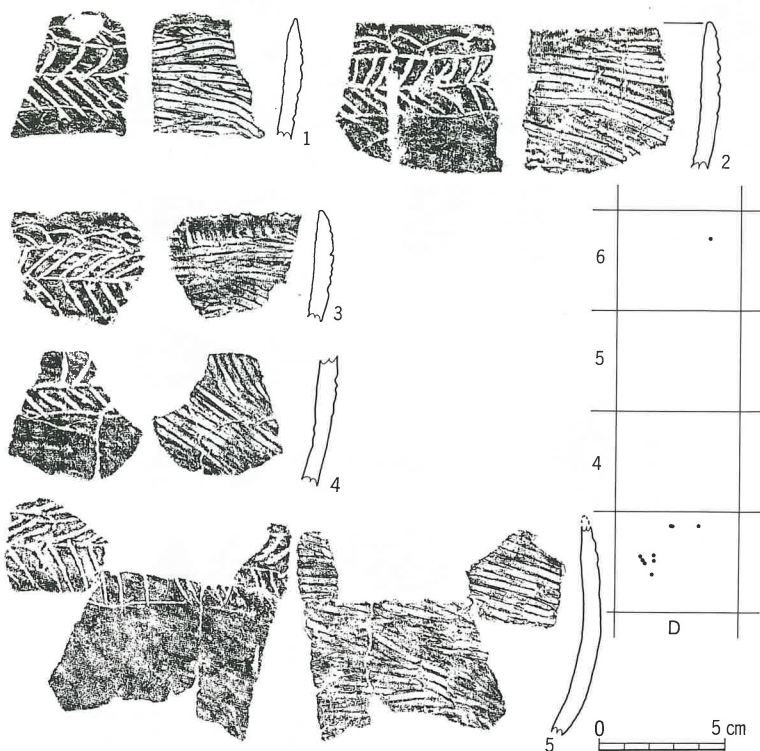
第94図 縄文時代の土器



第95図 縄文時代の土器



第96図 縄文時代の土器



第97図 縄文時代の土器

よる刺突列がある。6は7C区出土。口唇には貝による刻目、外側には棒状具でこすったような列点文がある。

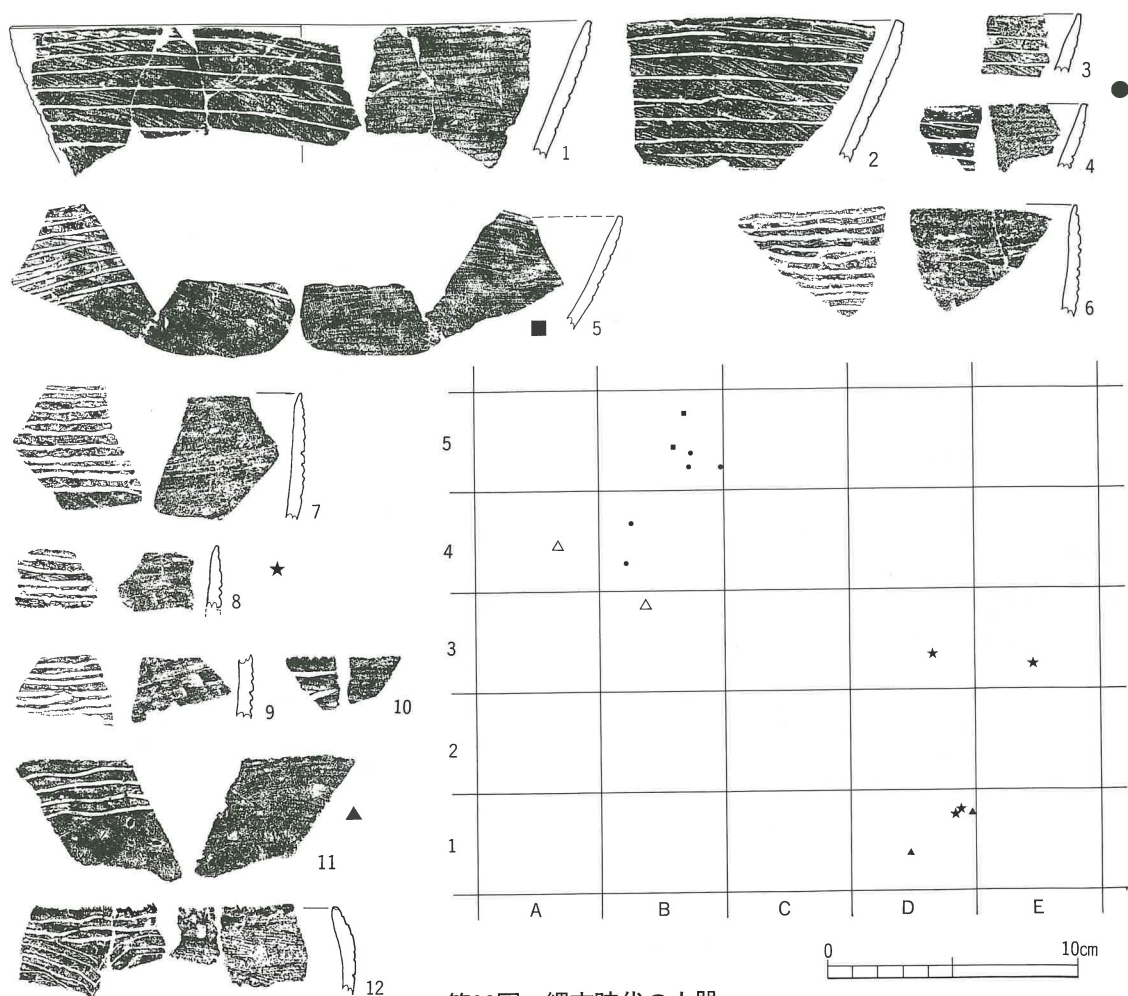
第95図1～4は5B区を中心4B・5C区に1点ずつ出土した同一個体。最大径17.4cm。内外面とも条痕の後ナデ。突帯を貼り付けて沈線文を加えている。口唇には刻目がある。1の1片は4層出土。5は3F区2層出土。両面共他と同様二枚貝条痕調整。口唇・突帯・突帯下位に個別に刻目を加えている。

第96図には10個体を図示した。1は5B区と3A区出土の浅鉢で器面はナデ仕上げ。施文

順序は、①横方向の沈線②右上がりの線③左上がりの線④刻目突帯である。2は3D区出土。ナデ仕上げ施文順は、1と同じ。3～5・9・10(▲)は4・5C区と4D区(1点未記入)出土。3の上端には口唇の刻目が認められる。ナデ仕上げで突帯貼り付け後に沈線を加えている。6～8は4・5B区出土。器面はナデ仕上げ。口径26.0cm。施文の順は3等と同じ。11は2D区出土。施文順は①横方向の線②その下の線③①の上の線④上の右下がりの線⑤右上がりの線である。12は5B区出土。内面は条痕、外面はナデ。施文順は、①突帯②横方向の線③斜線である。13は3～5A区(4A区1点未記入)出土。14は12M区出土。別個体だがどちらも沈線は上から下に向かって順に施文し、器面は条痕をナデ消している。15～17は11O・P区出土。表面は白褐色だが内部は黒色で、胎土に1mm以下の白色砂粒を含む。18・19は13D区出土。器面は条痕ナデ。施文順は上から下へ。口唇に貝殻肋縁による刻目あり。

第97図は3D区を中心に6D区でも1点出土した。外面はナデ。施文は①横方向の線②斜線③波線の順。

第98図には5個体を図示した。1～4は4B・5B区出土。浅い条痕調整で、沈線数は2では下端のを加えて9本である。口径23.4cm。5は5B区出土。刷毛状の二枚貝条痕。6～9は1D・3D・3E区出土。器面は条痕調整後ナデ仕上げ。外面には上から下の順に引いた10本の沈線がある。10・11は1D区出土。浅い条痕調整後ナデ。口唇に刻目。12(△)は3B・4

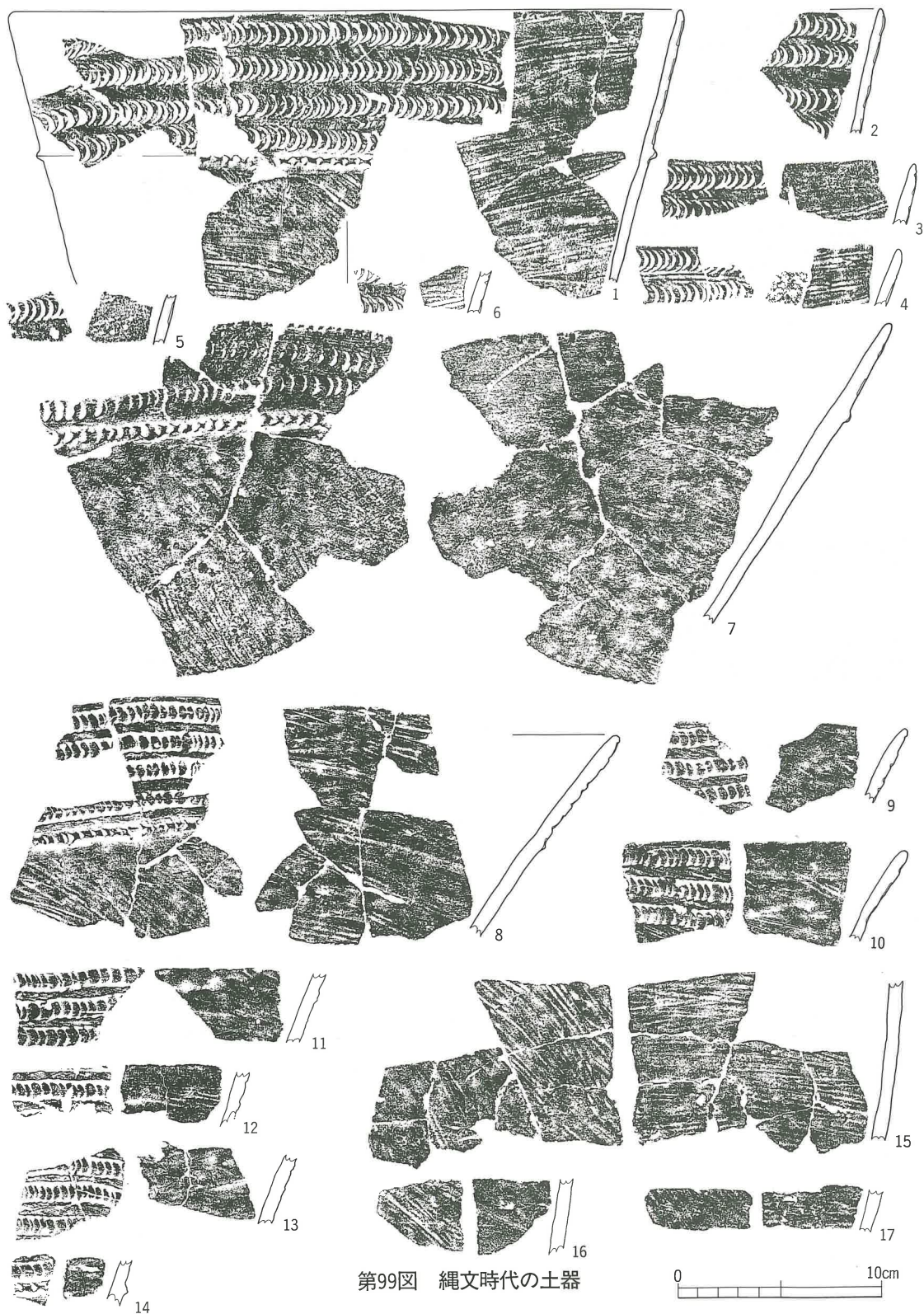


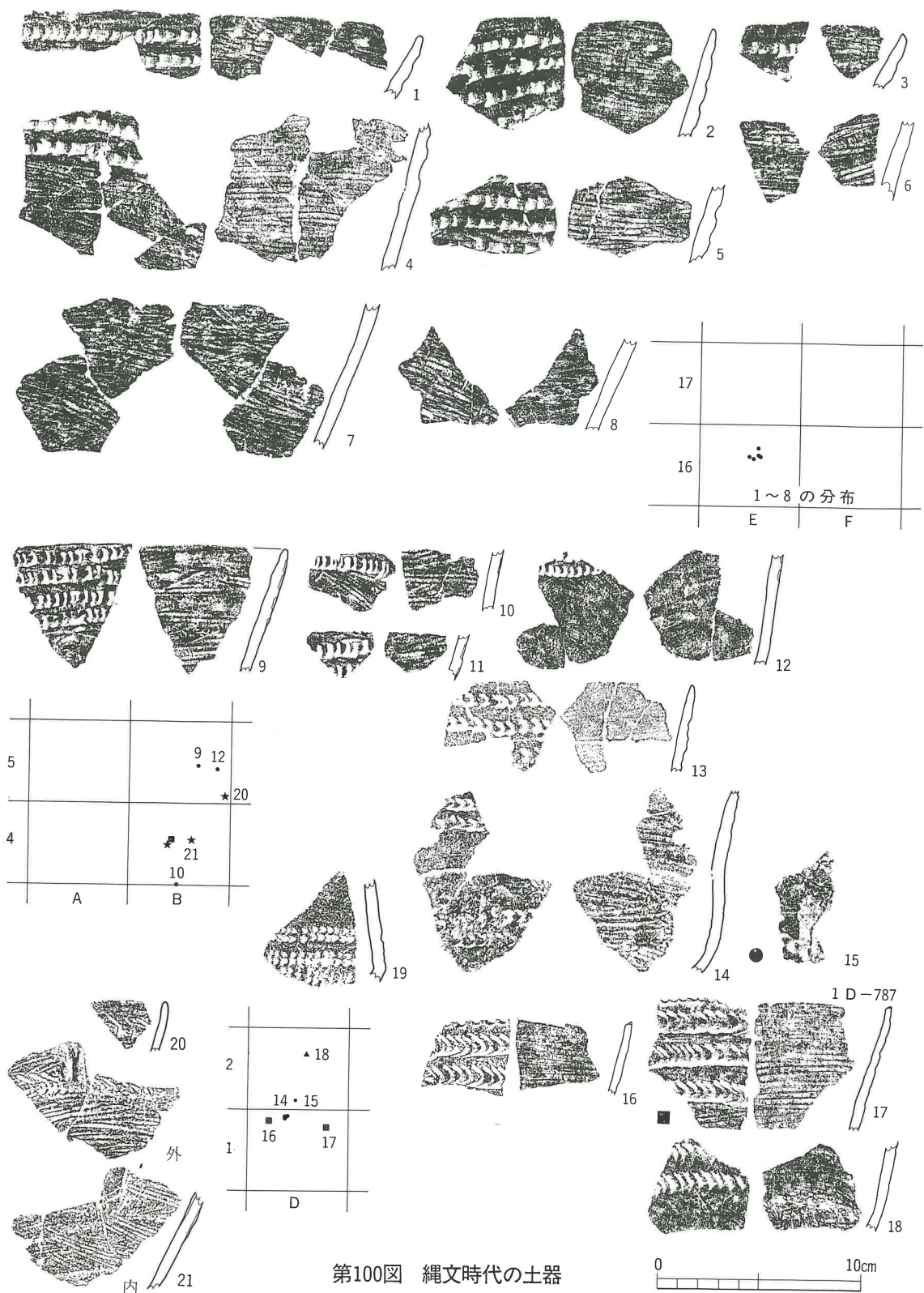
第98図 縄文時代の土器

A区出土。器面はやや細い条痕調整後外面をナデ、口唇は貝の放射肋縁で突いて刻む。沈線には2種の太さがある。

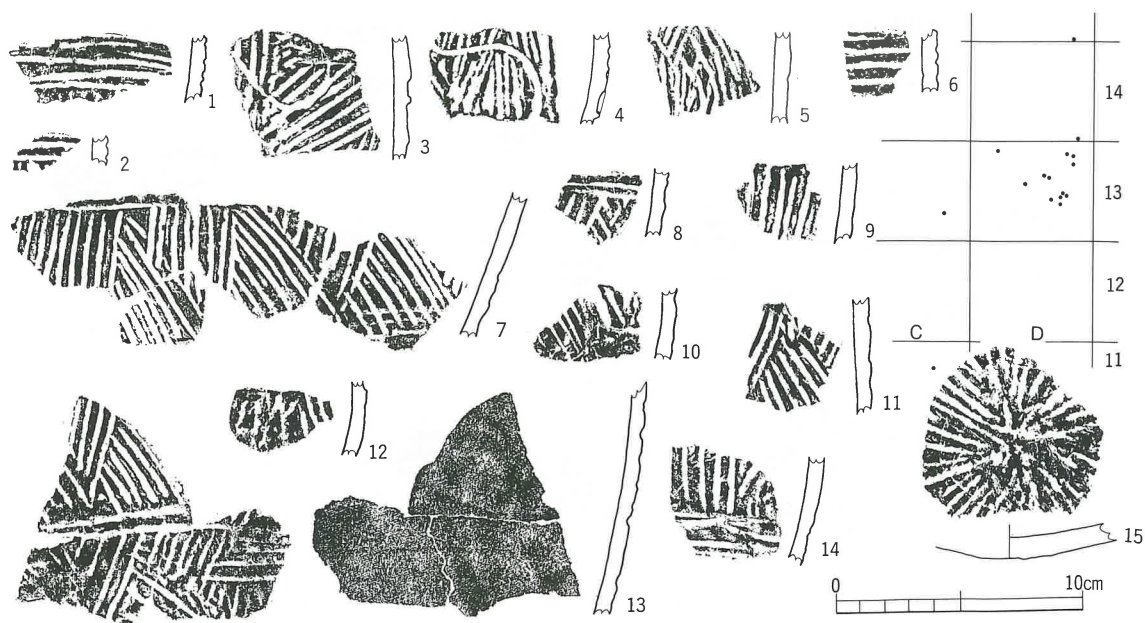
第99図には3個体ある。1～6は1D・3F・4B～D区出土。器面は口唇周辺をナデる以外は浅い条痕調整のままである。口縁外面に4段の逆C字形爪形文列、その下に刻目突帯がある。口径33.0cm。7は1D区出土。胎土に金色の雲母を含む。器面は条痕調整後ナデ。文様は口唇外側に刻目、下に2列の逆C字形爪形文、その下に刻目突帯文である。8～17は2D区を中心に2E・3D区にも分布した。器面は条痕の後、ナデ。口縁外面に押引文が4段あり、下端に突帯を貼り付け刻目をつけている。

第102図1は5B区出土。器面は細い刷毛状の条痕調整、施文、次にそれ以外をナデ。口唇に赤色の着色がある。口縁に逆Cの字状の列点文が3段あり、その下に刻み目突帯1条が巡る。口径24.1cm。2は3C区出土。破片の上下は不明。内面は二枚貝条痕。図では上に爪形文1列





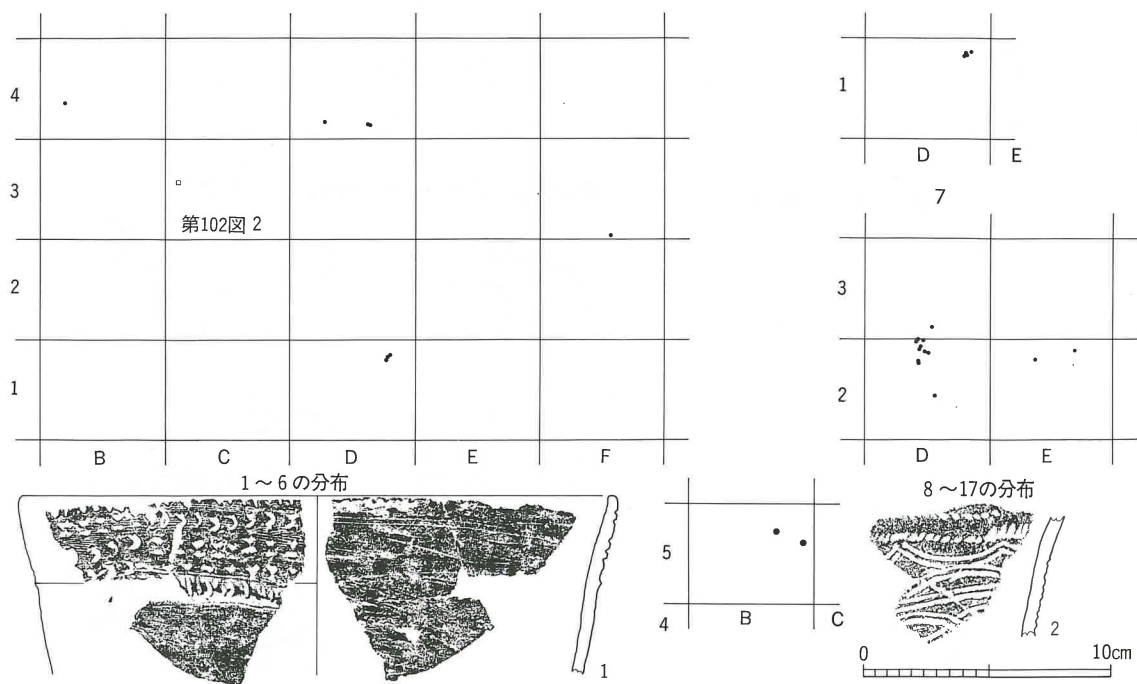
第100図 縄文時代の土器



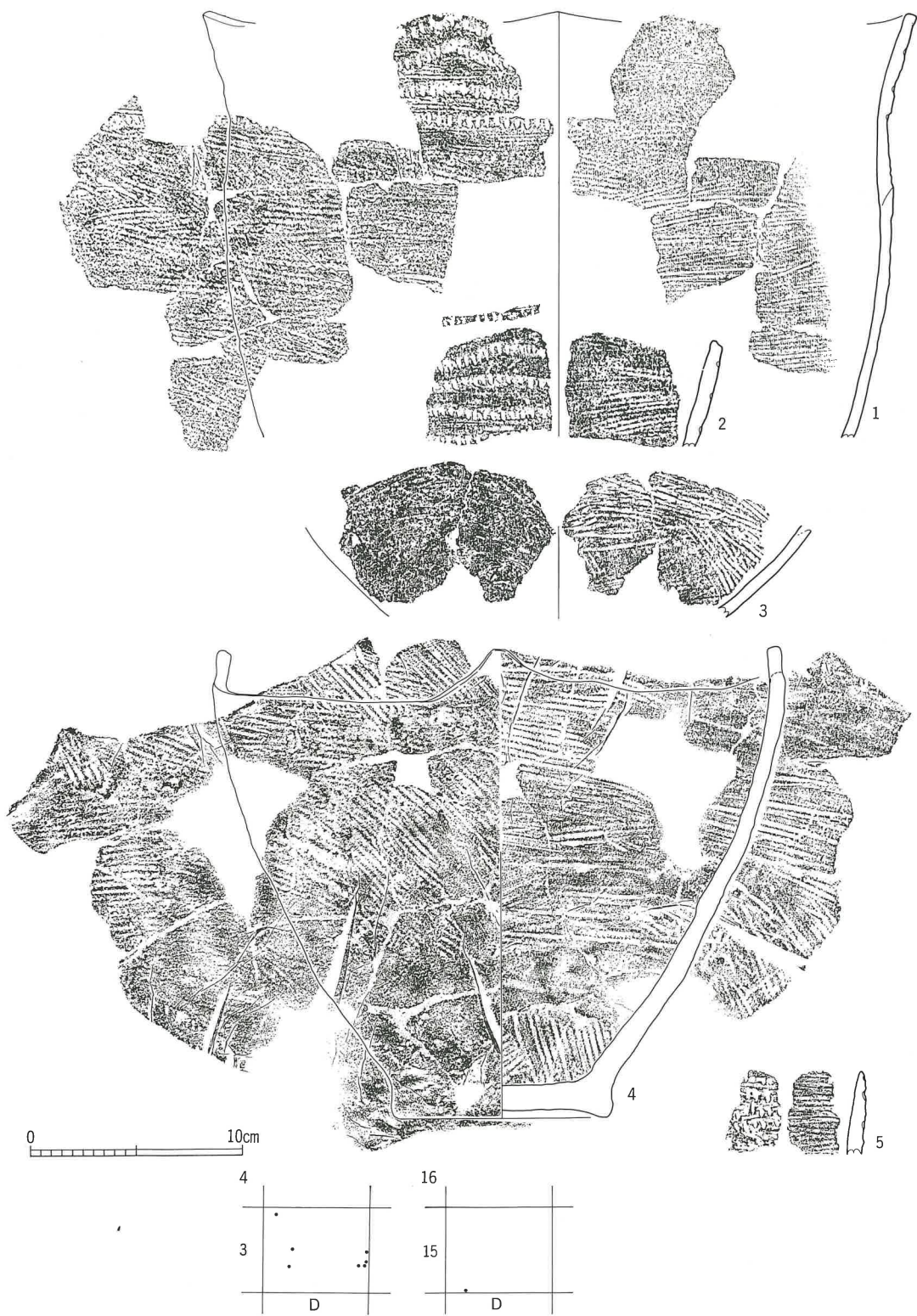
第101図 縄文時代の土器

がありその下に2条1単位の沈線で轟式終末頃によくあるような波状文を描く。

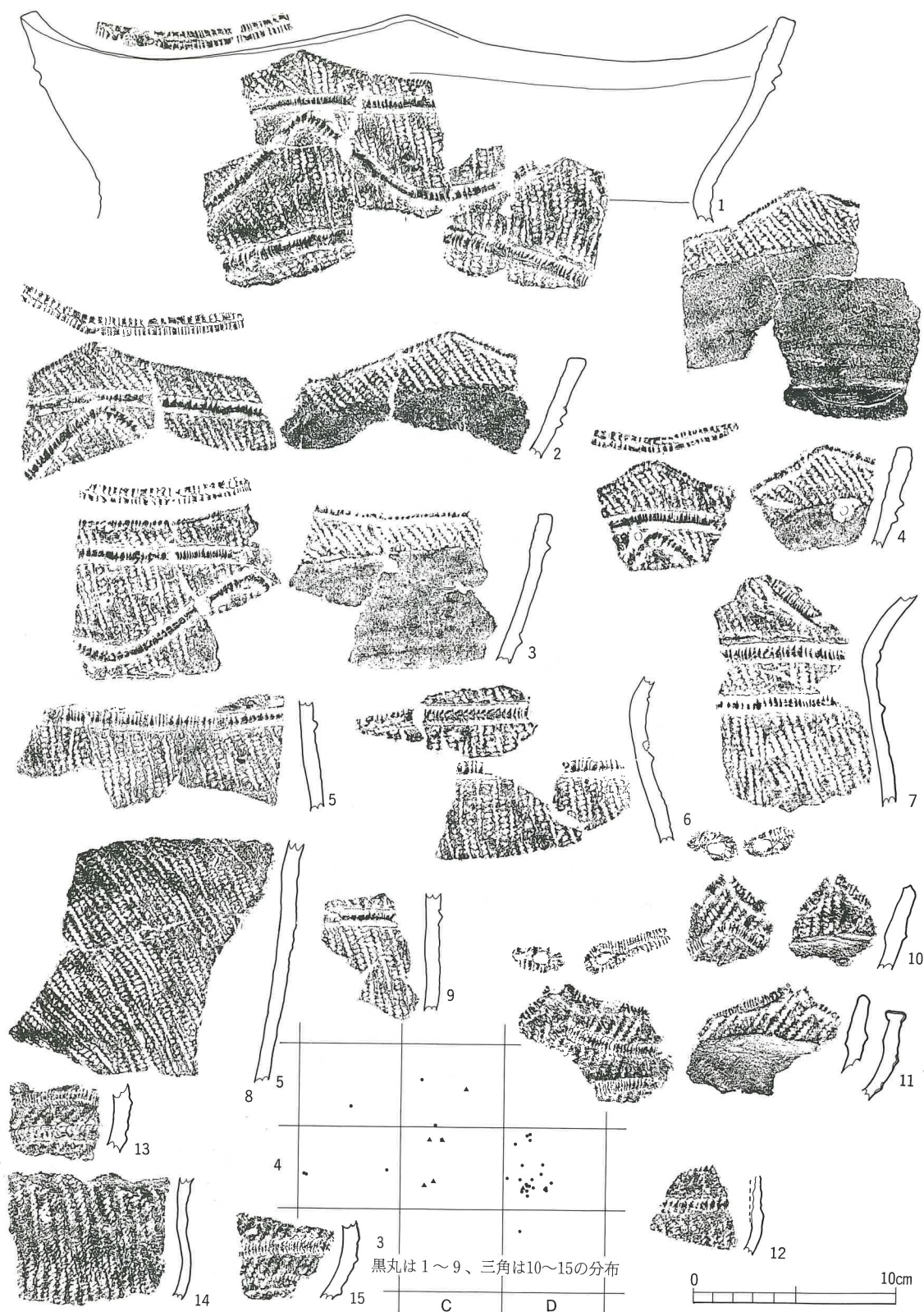
第100図は5個体である。1～8は16E区出土。大半の器面は条痕のままで外面にはD字形押引文を4列確認できる。9～12は5A・4B・5B区出土。条痕調整後ナデ、特に12（5B）



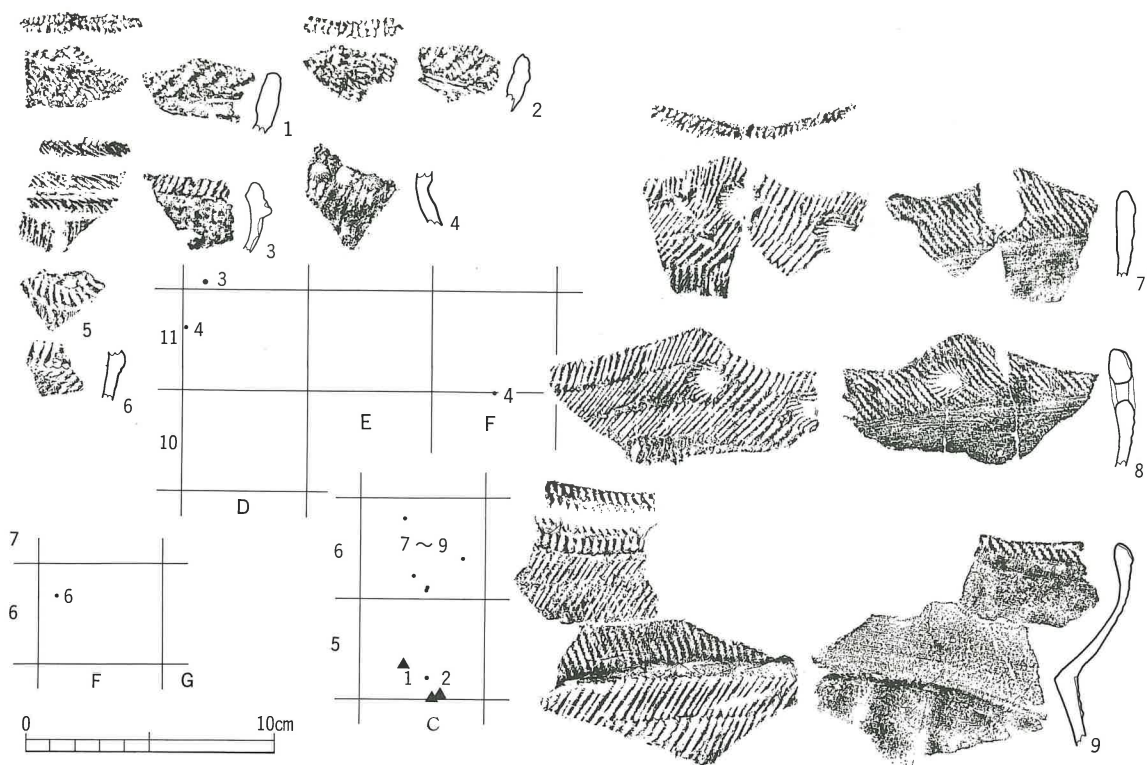
第102図 縄文時代の土器



第103図 縄文時代の土器



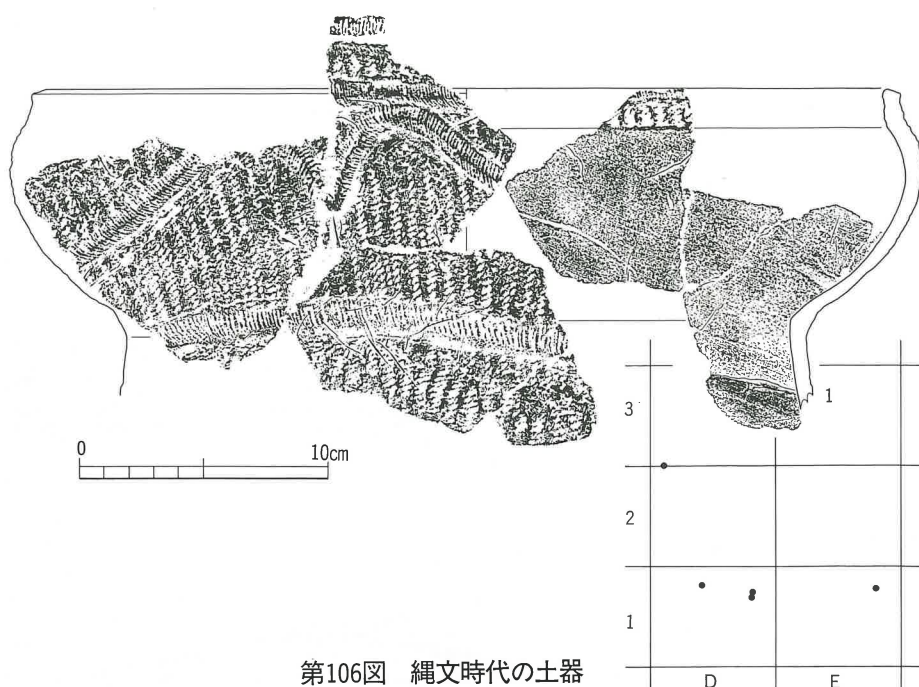
第104図 縄文時代の土器



第105図 縄文時代の土器

は良くナデでいる。逆C字形文が他のものよりやや小さく、別個体の可能性もある。13～15は1 D区出土。14は上部に3列(上列は下端のみ残る。)、下部に2列の逆C字形爪形文をもつ。上部左端に焼成後の穿孔あり。16・17(■)は1 D区出土。口唇外側に刻目、下に3列の逆C字形爪形文を押引状につける。18(▲)は2 D区出土。器面は先に条痕調整したらしく後にナデ。外面に2段の爪形文列をもつ。19は5 C区出土。角閃石・長石をやや多く含む通常の地元産土器と変わらない。器面はナデ調整。胴の屈曲部を含む破片で、屈曲部より上に2列、下に1列、二枚貝の肋縁を2単位に加工したもので列点文をつけている。*****20・21(★)は4 B区(2点)・5 B区(1点)で出土。両面とも条痕調整で、逆Cの字状の爪形文がつく。21の中央上部には細長い粘土紐を上下方向になだらかに貼りつけている。

第106図1～3は4 D区を中心に3 D・4 C・5 C区に分布した。両面とも二枚貝条痕調整で内面上部はややナデ。胴最大径の位置で明瞭な接合面があるので、この部分まで作って一時製作を中断したらしい。口縁は波状をなし、4条の列点文が巡る。金色の雲母を含む。口径33.7cm。5は11N区出土。4は3 B・D区を主体に15D区にも分布した。口径27.2cm、底径10.5cm、高さ22.0cm。波頂部は4個らしく両面とも条痕調整そのまま、波頂部には文様的に条痕を入れている。



第106図 縄文時代の土器

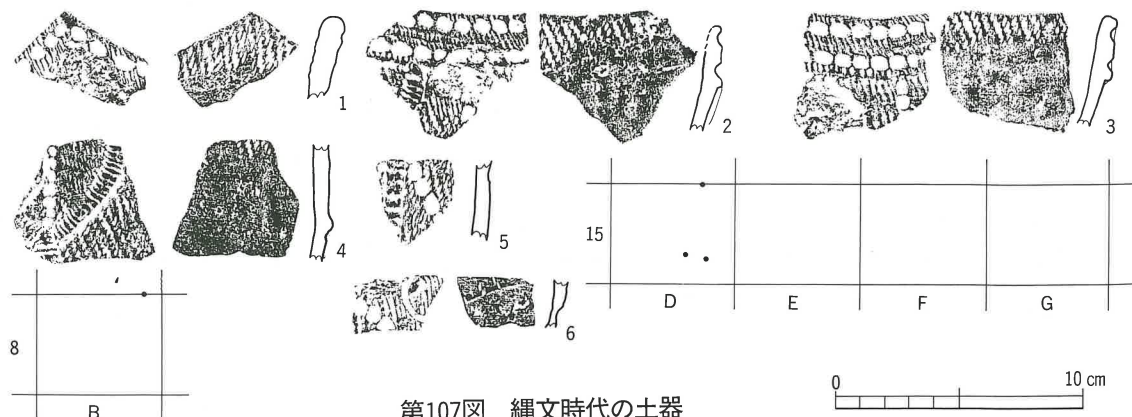
曾畑式土器 (第101図 1～15)

1 個体分しかない。13D 区を中心に、11C・13C・14D・15D 区より出土した。器面は平滑。本遺跡の通常の胎土の同じく角閃石と斜長石を含み、滑石は含まない。施文順は 7 では横方向の線が先行する。

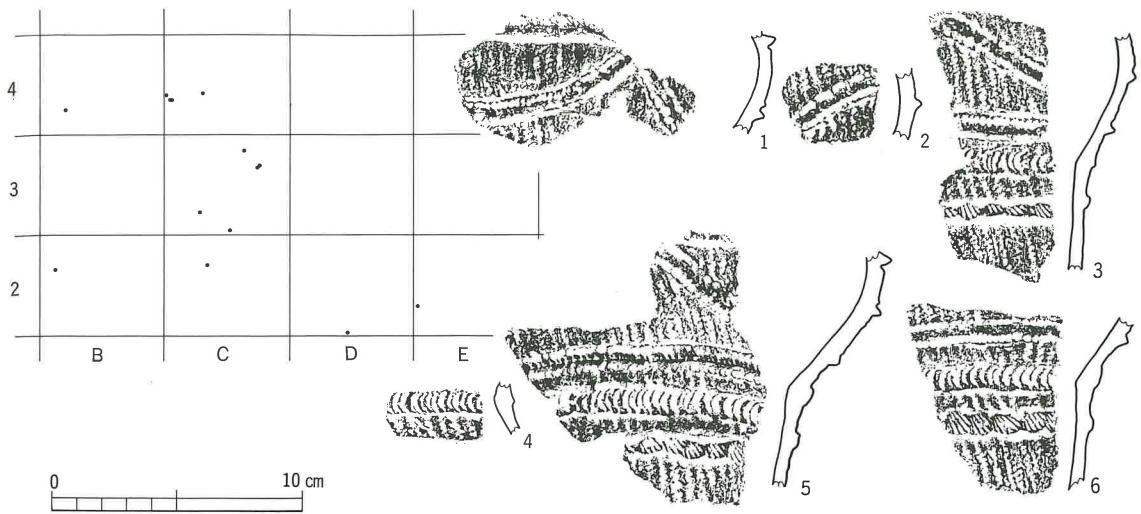
前期末～中期の瀬戸内系土器 (第104～125)

大歳山式土器 (第104図 1～9)

1～9 (●) は 4D 区を中心に出土した。内面は縄文施文後にヘラで横方向にナデ、外面は突胎貼り付け後に C 字形の爪形文を器面に向かって左から右に連続的に施文している。口唇面には 2 条の爪形文列がある。その内側のものは内側に向かって左から右に、外側のものは外側



第107図 縄文時代の土器



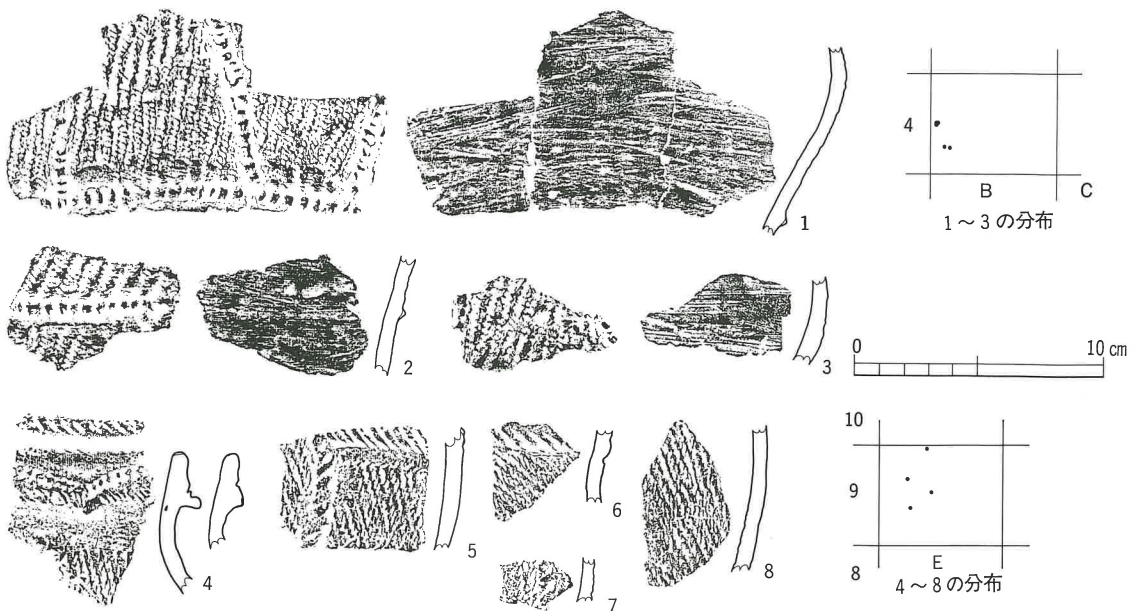
第108図 縄文時代の土器

に向かって左から右に施文している。胎土に石英をやや多く含む。

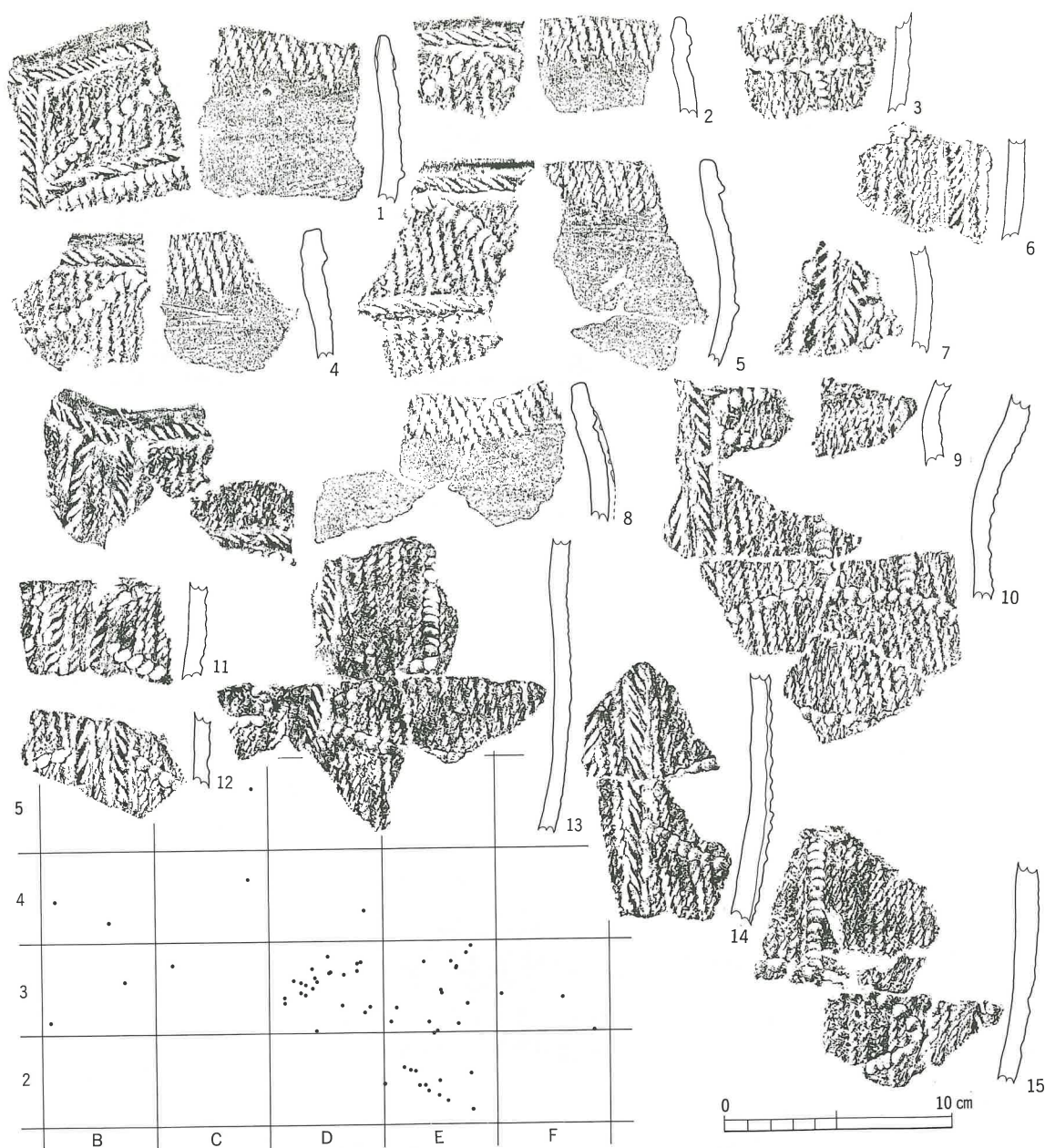
大歳山式～鷹島式土器（第104図10～15）

4 C区を中心に分布した。胎土に金色の雲母と石英を少し含む。内面は縄文施文後へラナデし平滑である。口唇には先の縄文施文後に粘土紐を貼り付け1～9の方向で刻んでいる。外面には粘土紐の上からC字形の爪形をつけている。全ての破片の外面に煤が付着している。

船元Ⅰ式土器（第109～111図）

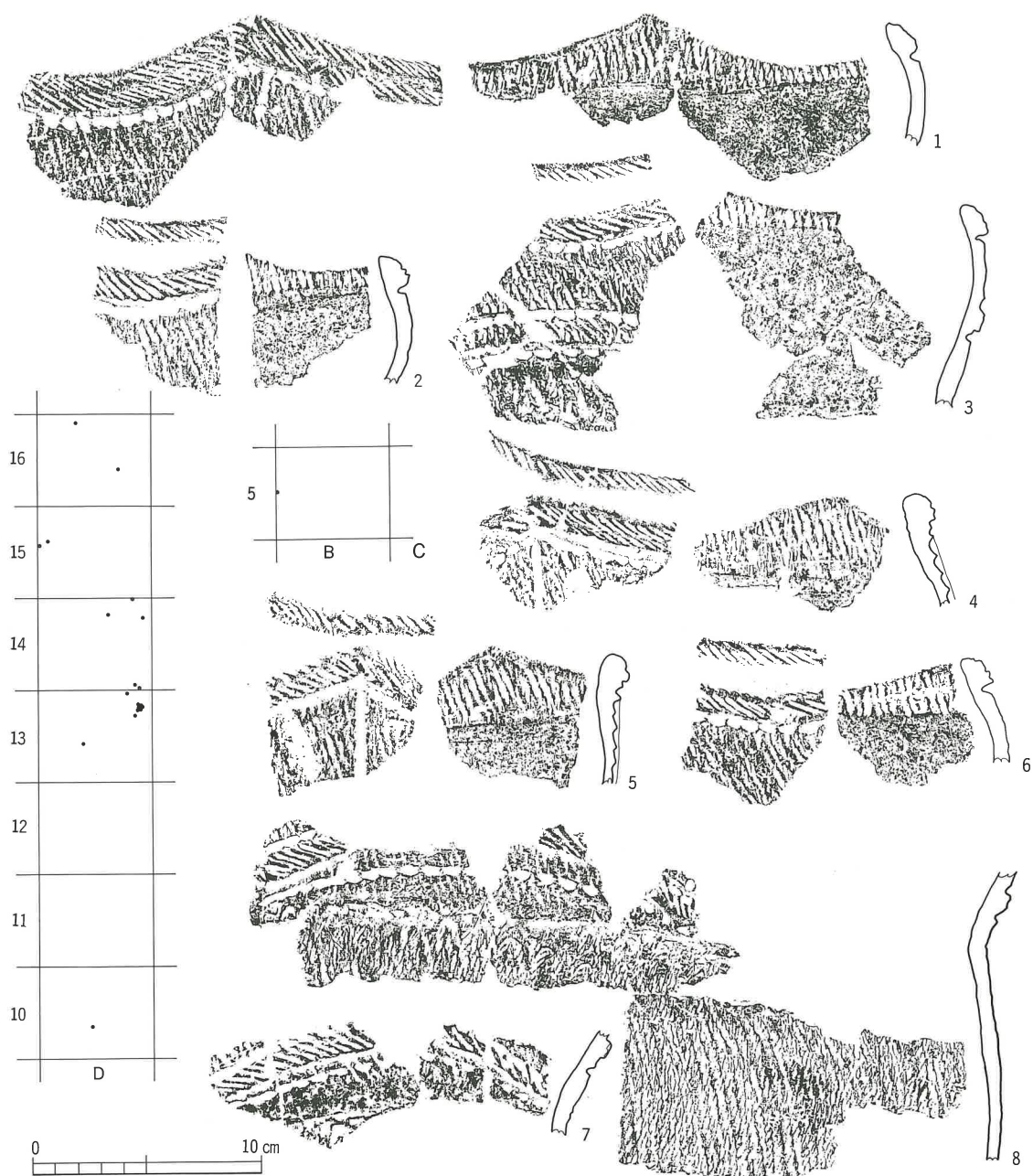


第109図 縄文時代の土器



第110図 縄文時代の土器

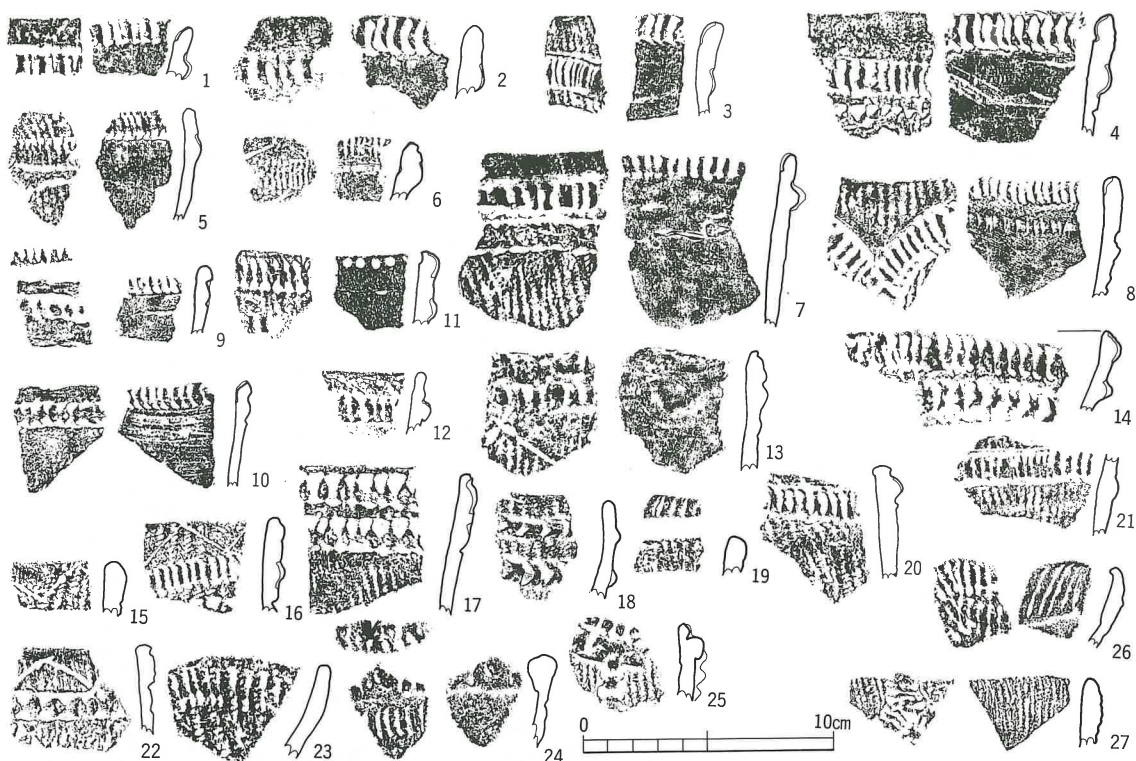
第109図 1・2 (▲) は5 C区出土。口縁を厚くした波状口縁部で、口唇面に半割した竹管状具による刻み目を2列つけている。3は12C区出土。石英他の砂粒を多量に含み、内面は縄文施文後ナデ、外面は縄文施文後突帯を貼り、半割具による竹管文で斜めに傾いた爪形文を施している。4は10F区出土。内面ナデ。外面は撚糸文の後に二枚貝の放射肋を押しつけている。金色の雲母を多量含む。5・6は6 F区出土。7～9 (●) は6 C区で出土した。胎土に石英を含む。内面は平滑なナデ、外面は縄文施文後に長さ約2 cmのヘラで斜行の刻目列を加えてい



第111図 縄文時代の土器

る。7・8の口縁が高くなった部分の下には焼成前の穿孔があり、両面とも二枚目の肋縁で縁どっている。

第106図は1D・1E・3D区出土。内面は磨きのなナデ、外面は縄文施文後粘土紐を貼り付けて細長いC字形の爪形文を加えている。頸部にも粘土紐を貼り爪形文を付けている。口唇には第107図1～9のやの方で2度にわたって爪形文列を施文しているが、口唇面が狭いのでほと



第112図 縄文時代の土器

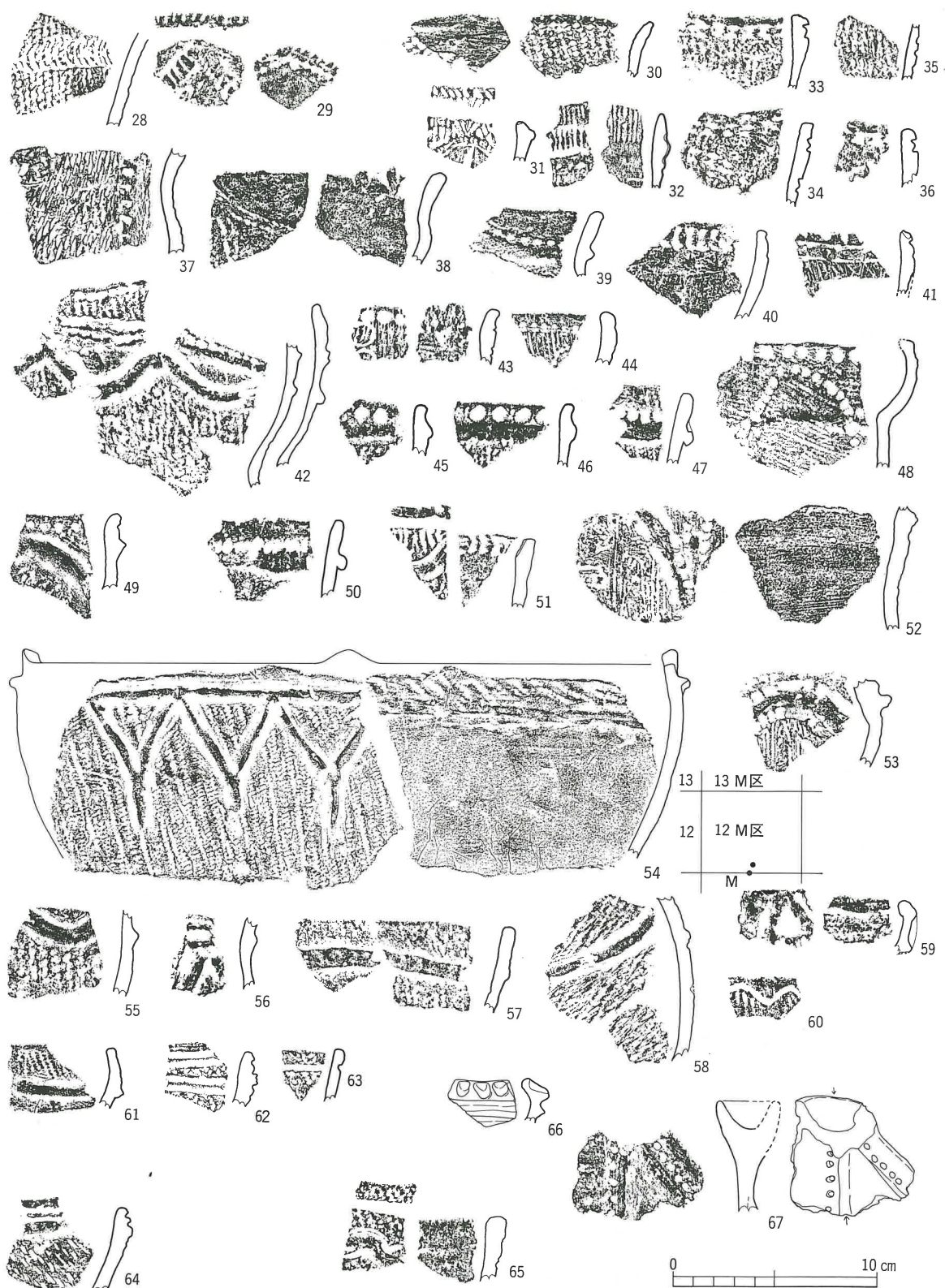
んど重複している。胎土に石英ではない白色の細砂粒と長石を多量混入している。

第107図は15D区3点を最多に8B・15F・15G区で各1点出土した。口唇は無文。両面に縄文を施文し、粘土紐を貼った後被せるようにC字形の爪形文を加えている。口縁部には直線的な爪形文を密接して施し、口縁下端に同様の刻みを短く付けて口縁部を一段厚くしている。その後円形で中凹みの列点文を2段並べている。石英の細粒を多量混入している。

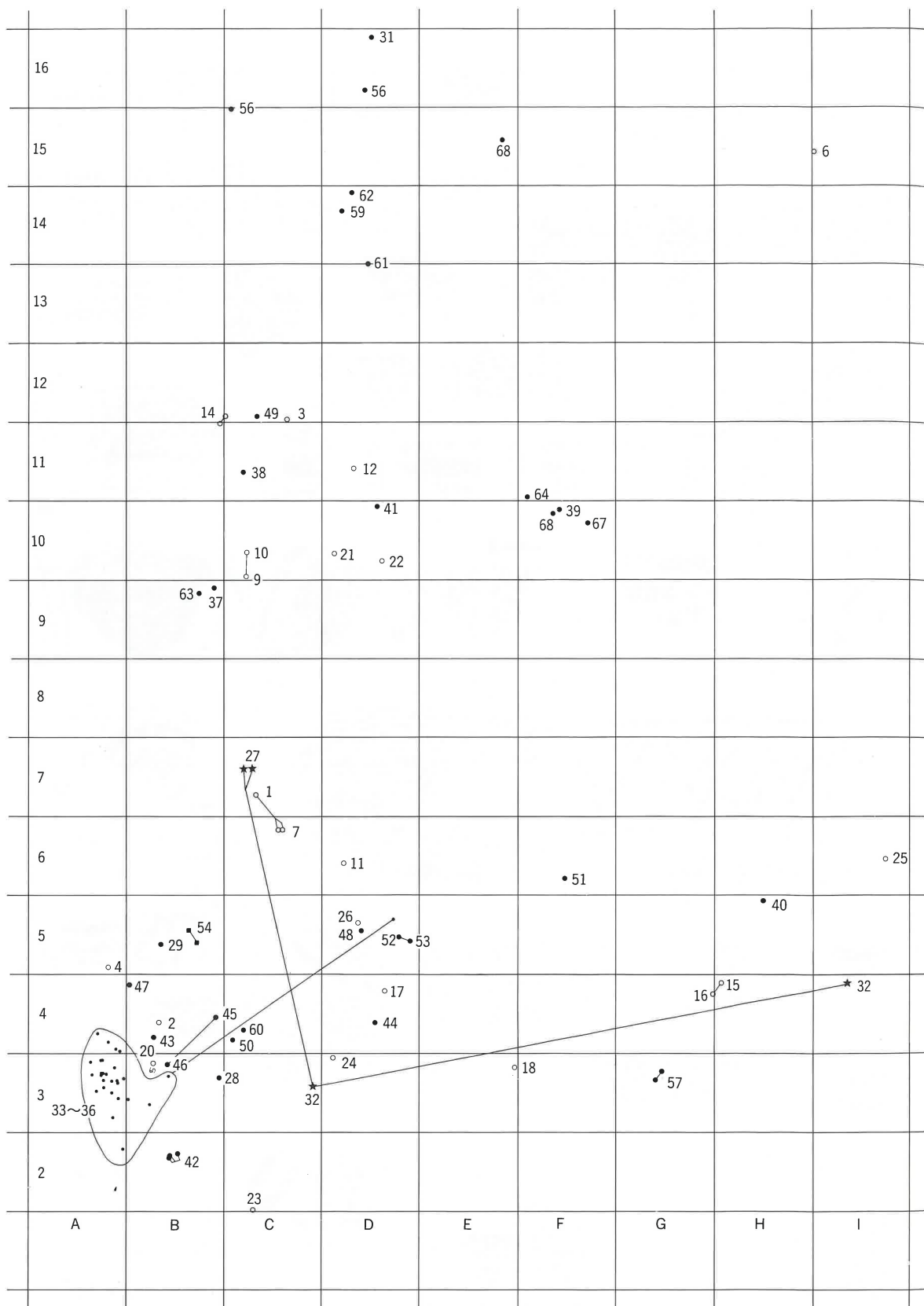
第108図は同一個体で、2B～E・3C・4B・4C区出土。縄文の上に突帯を貼り付け、その上に竹管による押引文やC字形列点文を加え、また二枚貝の背を押しつけている。内面はナデ。

第110図は同一個体で同図分布図のように2E・3D・3E区を中心に分布している。胎土に大粒の石英を多量に含む。内面はナデ。口縁は波状をなす。施文順はまず粘土紐を貼り刻目をつけ、次に縄文地の部分にはヘラを斜めに押しつけたような半円形のC字形列点文をつける。これは横方向の孤線が先行し縦線は後になる。

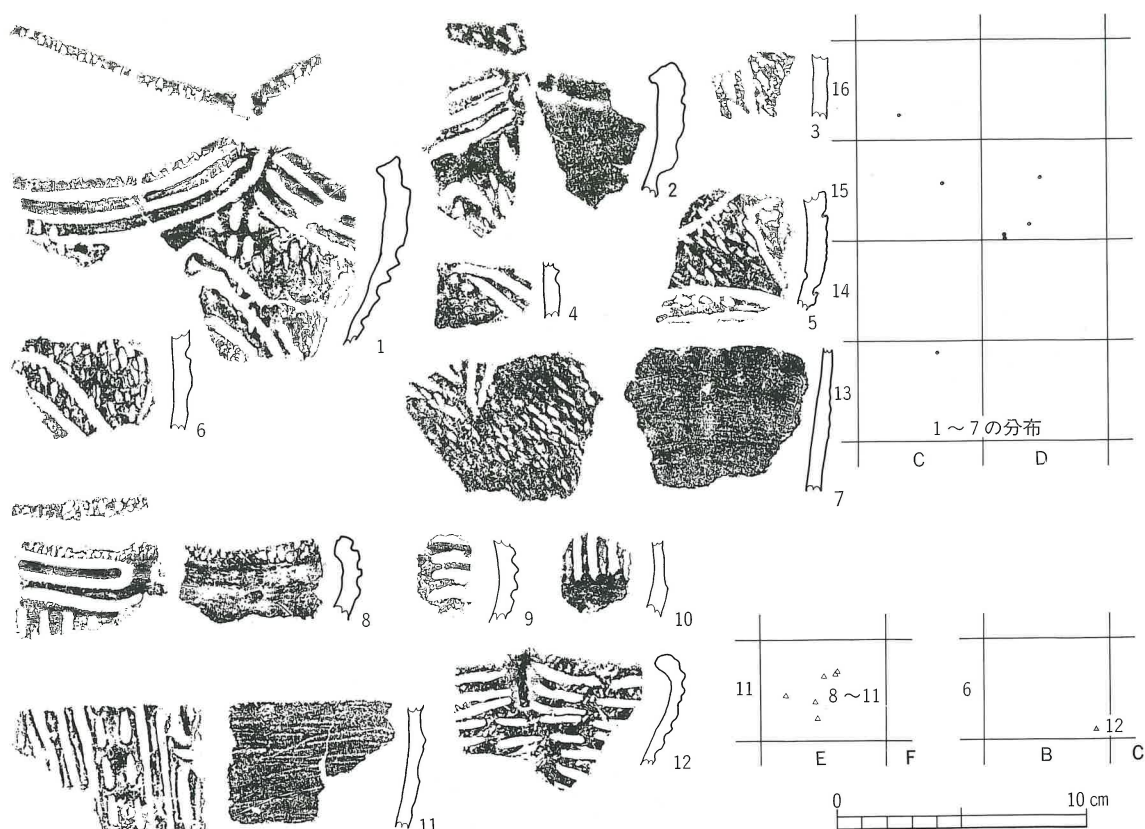
第109図1～3は4B区出土。内面は二枚貝条痕の後、ナデ消し、外面は突帯の上からC字形の爪形文を連続的に押しつけている。石英粒を少し含む。4～8は9E区出土。摩滅した砂粒を多量に含む。器面はナデ。口縁外側やや下部は厚みをもって巡り、半割した竹管状具による直線的な刻み目が入る(5・6も)。その上方に2単位の刺突具による列点文が巡る。口唇に刻



第113図 縄文時代の土器



第114図



第115図 縄文時代の土器

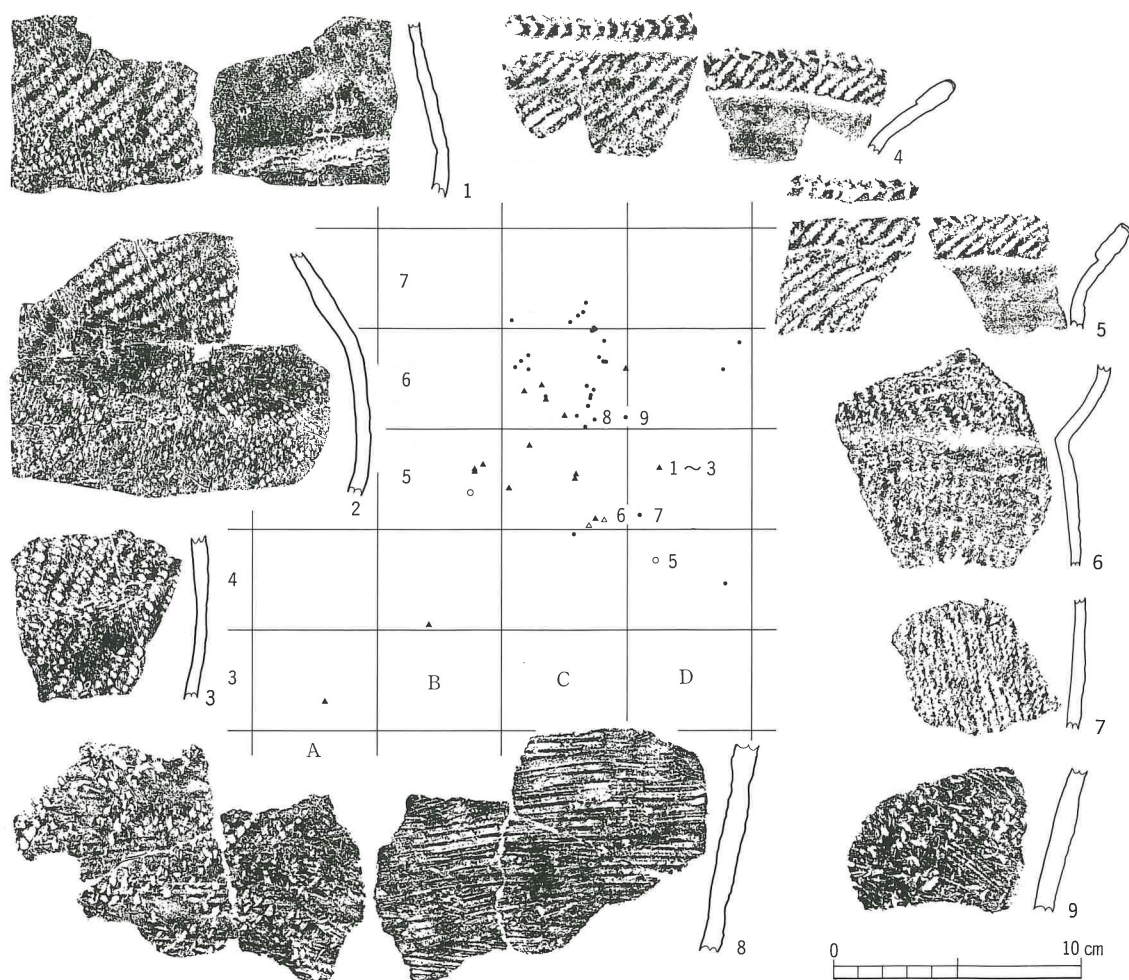
み目をもつ。

第111図は同一個体で、13D・14D区を中心に分布した。石英及び砂粒を多量に混入している。内面はナデ。波状口縁をなす。口縁上端には粘土紐を貼り付け、上からヘラで刻んでいる。口縁から頸部には横方向の列点文を巡らせ、波頂部から下方に縦に間隔の狭い列点文を描く。

船元Ⅱ・Ⅲ式土器

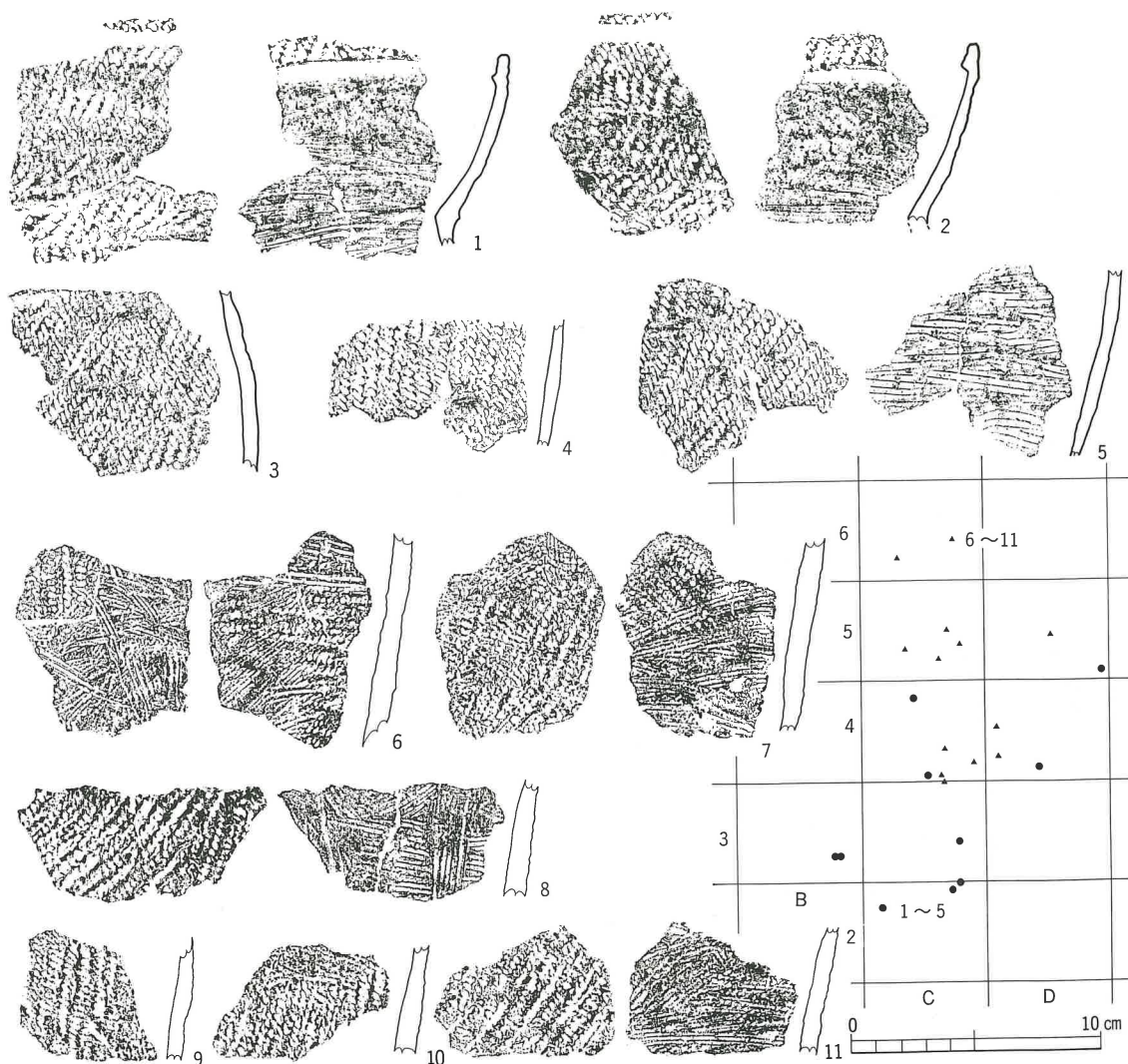
第112図（1～27）

2は4B区出土。石英を含む。外面は縄文→突帯→爪形文の順に施文している。3は11C区出土。石英・金色の雲母。内面はナデ。縄文施文後粘土紐をつけ爪形文。4は5A区出土。特徴は3に類似。5は8D区出土。6は15I区出土。石英・金色の雲母を含む。内面はナデ、爪形文。外面は縄文→爪形文→端部に沈線文。1・7は6C区出土。内面ナデ。突帯下は4に類似。石英・金色の雲母。8は12N区出土。特徴は3等に類似。9は10C区出土。内面ナデ。文様は爪形文だけ。石英・金色の雲母。10は10C区出土。内面はヘラ削り状のナデ。外面は縄文→爪形文。金色の雲母を少し含む。11は6D区出土。内面は平滑で上端に円形の刺突。外面は縄文後に突帯と爪形文を加えている。12は11D区出土。内面ナデ。外面は縄文→突帯→粘土紐



第116図 縄文時代の土器

の下端に及ばない爪形文。石英・金色の雲母。13は9 C区出土。内面ナデ。外面は縄文施文後に突帯を貼り爪形文を加えている。突帯下には爪形文を切って左下がり→右下がりの沈線文。口縁端にも爪形の下半分をつけるが口唇に対するナデのため消され気味。石英・金色の雲母。14は11 B区出土。石英を混入する。内面ナデ。文様は爪形文のみ。15・16は4 H区出土。内面は平滑なナデ。縄文の後にヘラによる鋭い沈線の鋸歯文をもつ。粘土紐にほぼ垂直の半裁竹管状具による列点文をつけている。石英を含む。17は4 D区出土。内面平滑。石英・金色の雲母。突帯を付けずに爪形文を施文している。18は3 F区出土。19は15 D区出土。20は3 B区出土。内面ナデ、外面は縄文施文後に粘土紐を置き、爪形文を押しつけている21は9 B区出土。縄文→突帯→爪形文。22は10 D区出土。内面ナデ。外面は爪形文を施文後沈線を加えている。破片の下部にも波状をなすらしい爪形文がある。23は2 C区出土。波状口縁をなす。内面は平滑で外面は縄文→1列の縦長爪形文。24は3 D区出土。25は6 I区出土。26は5 D区出土。内面は

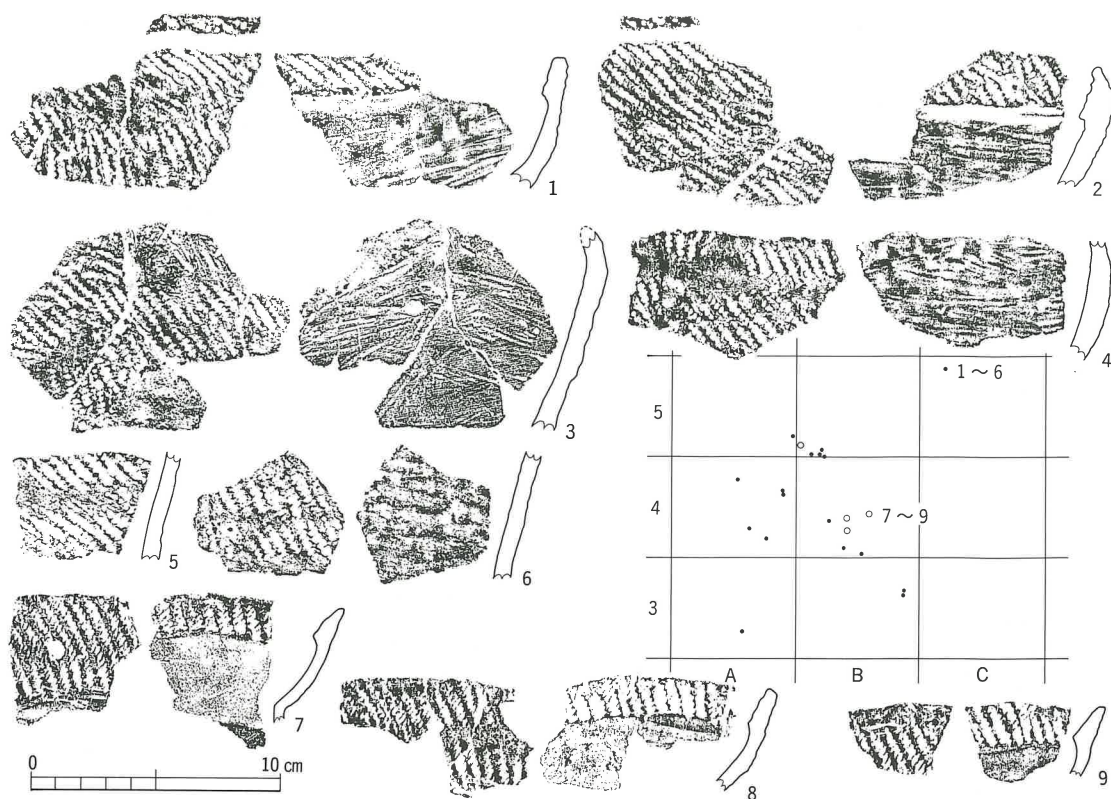


第117図 縄文時代の土器

粘土を貼り付けて厚みを加えた後にナデ、文様は爪形文のみ。27は7 C区出土。

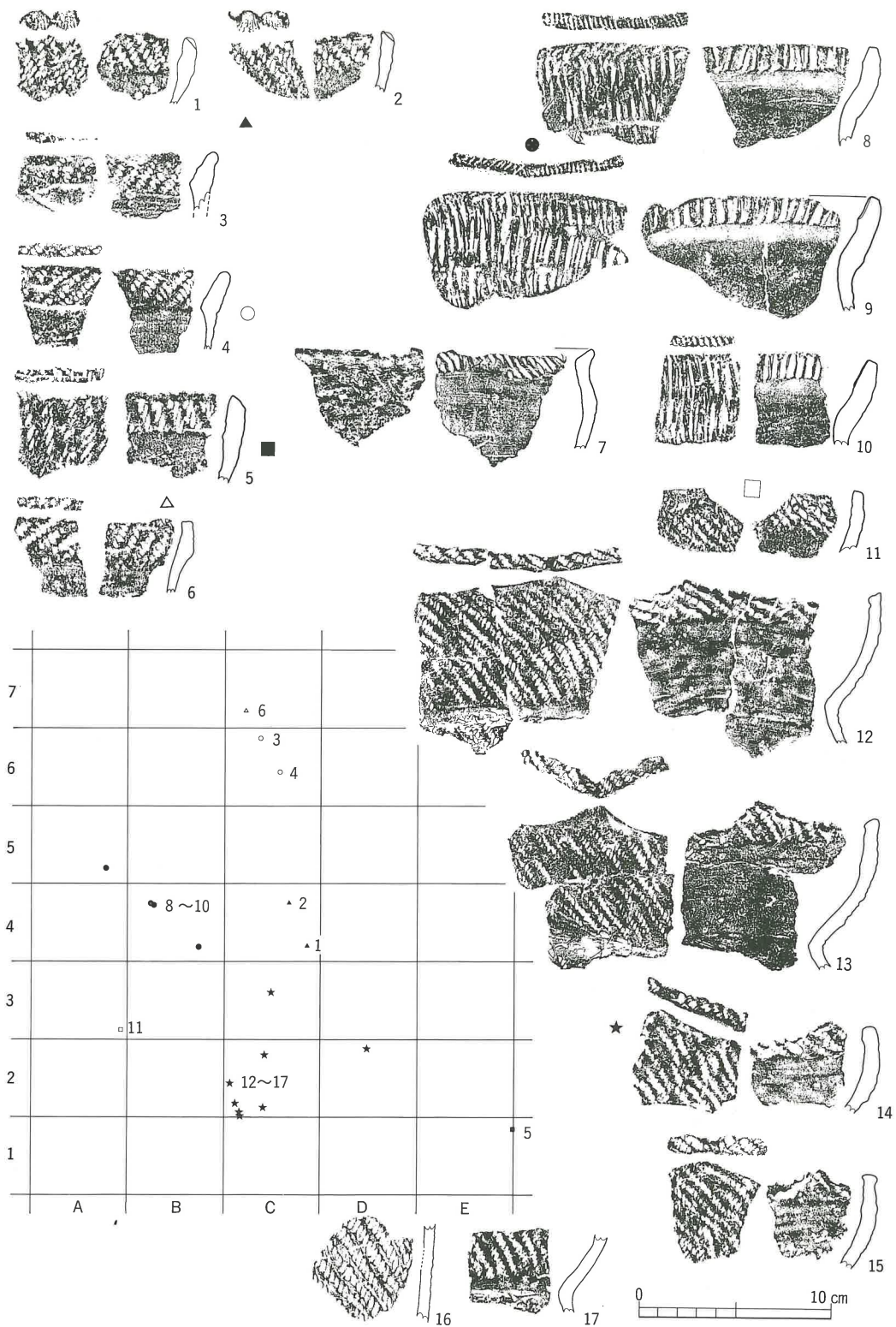
第113図 (28~65)

28は3 B区出土。内面ナデ。石英・金色の雲母を含む。外面は縄文→C字状の爪形文列。29は5 B・17 C区出土。30は表採。内面は縄文。外面はナデ後幅の狭い半割竹管文。石英。31は16 D区出土。32は7 C区出土。金色の雲母と石英を含む。内面はナデ。上端に縄文をつけ、外面は縄文地文の上に突帯→爪形文列、その下に爪型文の上端だけが見える。33~36は3 A区を中心に2 A・3 B・4 A・5 D区に分布した。石英・茶色の砂粒を多量に混入しがざついた外面が特徴的で、同一個体の認定が容易である。内面は平滑で、外面には縄文施文後に引っ掻いたような2列の爪形文列がある。34は口縁に平行な上の列と左下に弧を描く列とがある。37は9 B出土。ナデの後にへう磨きし外面の粘土紐には二枚貝の肋縁を用いたような刺突がある。

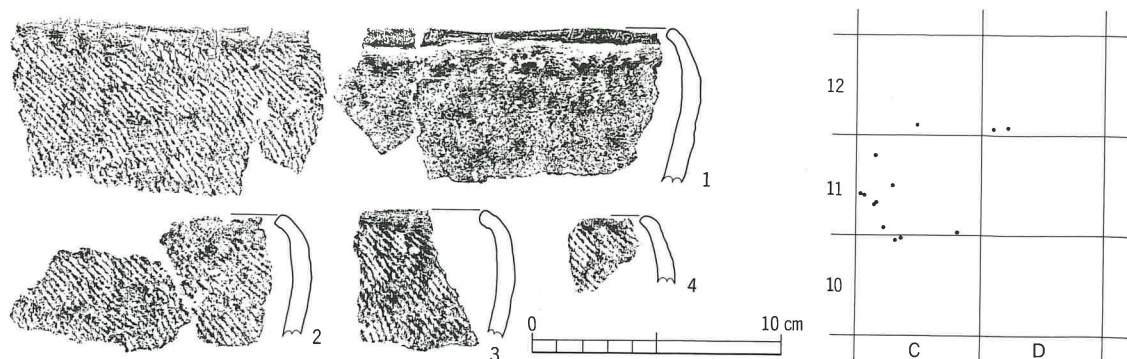


第118図 縄文時代の土器

38は11C区出土。石英と特に金色の雲母を多量に含む。ナデ調整で外面に爪形文を押し引き状に付けている。口縁上部に短い粘土紐を二つくっつけ内面に向かってナデている。39は10F区出土。石英を多量混入。ナデ調整。外面に突帯を貼り上側に刺突列をつける。40は5H区出土。石英多量。両面ナデ調整。41は10D区出土。内面ナデ。外面の地文は条痕風。半割した竹管を13~15mm間隔で押し引いている。42は2B区出土。波状口縁をなし内面はナデ、胎土に石英を多量、金色の雲母を少量混入している。外面は縄文施文後粘土紐を付け、口縁寄りに竹管状のもので列点文をつける。口縁端にも同様の列点文が巡る。その部分の下にある粘土紐だけは真上からも列点文を加えている。43は4B区出土。内面上部には縄文、外面は縦方向の刷毛状痕を地文とし口縁端には丸い凹点列、破片の左半分には竹管状の刺突文。石英を多量に含む。44は4D区出土。ナデ調整。外面地文は撚糸文か？その後円形の刺突文を押し引き状に加えている。45は4B区、46は3B区出土の同一個体。ナデ調整。外面は縄文施文後粘土紐を貼り付け口縁端との間に二枚貝の基部を押し付けた列点文をもつ。48は5D区出土。内面はナデ、外面は縄文施文後に列点文を加えている。石英を含む。49は内面ナデ、外面は縄文→粘土紐・棒による刺突文。55は15C区出土で49と同一個体の可能性が強い。47・50は同一個体で4B・4C区出土。内面は刷毛目状のナデ。外面は縄文施文後、粘土紐を押しつけ上側面と器面を棒の先



第119図 縄文時代の土器



第120図 縄文時代の土器

で連続的に刺突している。51は6 F区出土。内面ナデと逆C字状の爪形文。外面は縄文→幅広い波状の沈線文。石英・金色の雲母を含む。52・53は5 D区出土。V字状の粘土紐貼り付けは右側が剥落気味だが、紐の側面から器面にかかる位置に連続的な押引き文を加えている。地文は縦方向の撚糸文風である。石英と白色砂粒を多量に混入している。内面は刷毛目状のナデ。54は5 B区出土。内面は平滑にナデた後に縄文、外面は縄文後に粘土紐を貼り付けている。Y字の施文順は右上の短沈線→残りを一本で。口径は32.5cm。Ⅲ式。56は16D区出土。石英や他の砂粒を多量に含む。器面はナデで突帯を貼り付けている。外面には赤色の顔料が付着している。59と同一個体であろう。57は3 G区出土。内面ナデ。外面は縄文施文後に粘土紐貼り付け。石英・長石混入。58は12M区1号土坑より出土。内面ナデ。外面は縄文施文後、粘土紐を貼り付け片側に押し引き文をつける。石英等を多量に含む。破片の傾きは不詳。59は15D区出土。石英他の砂粒を多量に含む。口縁端は内側に折り込み粘土紐を貼り付けている。外面には赤色の顔料が少し付着している。器面はナデ。60は4 C区出土。61は14D区出土。内面ナデ。外面は縄文→突帯貼り付け。石英を少し混入。62は14D区出土。内面ナデ。外面は縄文施文後、半割りした竹管状のもので2列沈線を引いている。石英を含む。63は9 B区出土。64は10 F区出土。石英多量。内面ナデ。沈線施文後にナデ。65は10 F区出土。66 F 15D区出土。器面はナデ。上端を棒状具で押して施文。67は10 F区出土。大小の石英粒を多量に含む。波頂部の破片で、半分割れているが本来は皿状に凹んでいよう。器面はナデ調整で2列隆帯が走り、片側に円形の刺突文が並ぶ。

第115図1～7 (●) は15D区を中心に13C・15C・16D区より出土した。内面はナデ、外面は断面の丸い棒で沈線を引いた後、縄文を加えている。本遺跡では一般的であるために特に説明しない場合と同じく、胎土には角閃石・長石を含む。8～11 (△) は11E区出土。二枚貝条痕の後、ナデ、その後沈線を施文し次に縄文を加えている。12 (▲) は6 B区出土。内面はナデ。外面の口縁には短い粘土紐を縦方向に貼り付け、縄文施文後に沈線文を入れる。

第116図1～3 (▲) は3 A・4 B・5 B・5 C・6 C区出土。内面の胴上部は指で押さえた



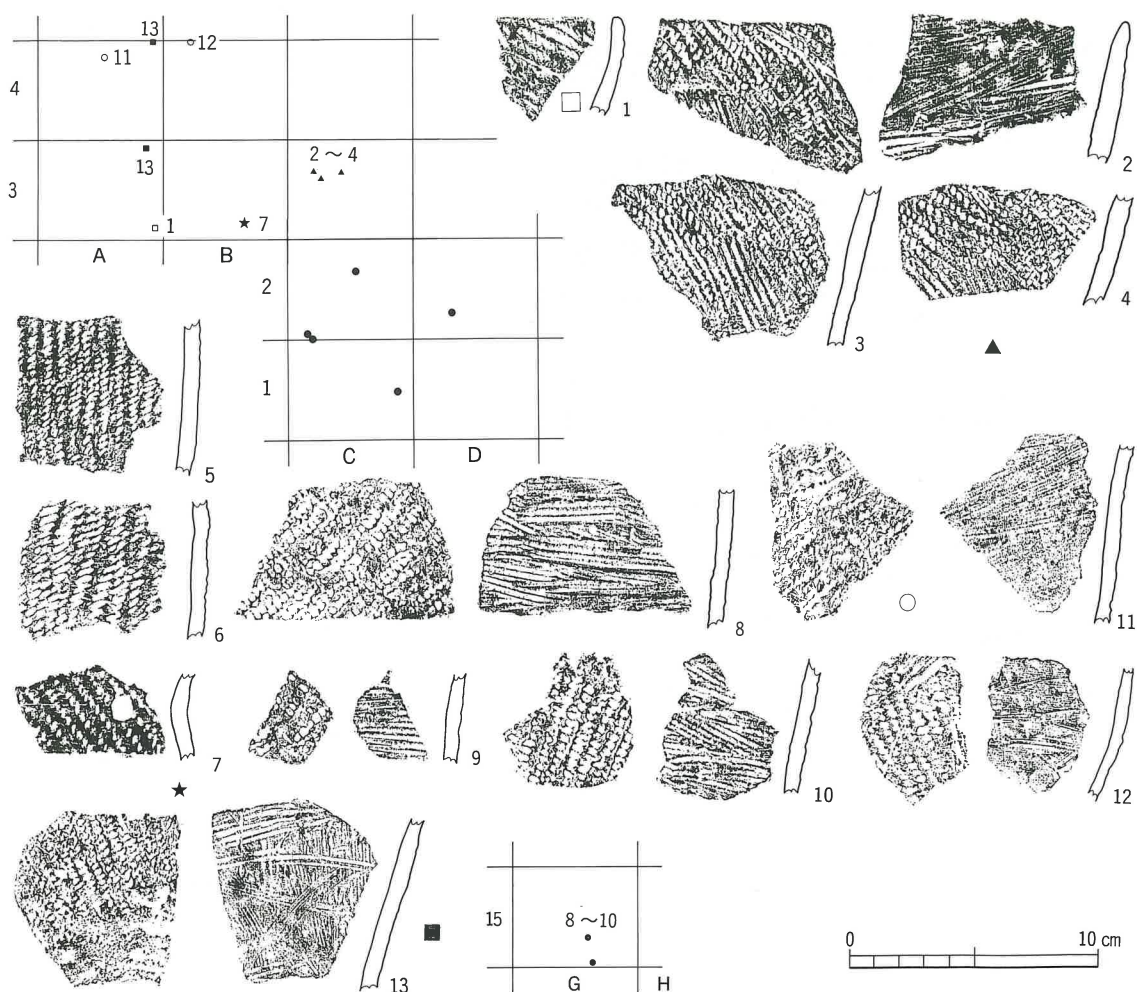
第121図 縄文時代の土器

跡がつき、以下は平滑。2は3つの粘土帯を重ねているが外面の縄文は帯の接合部で重複しており、1段づつ施文したことが分かる。4・5 (○) は4 D・5 B区出土。内面をナデ調整し口縁上部に粘土帯を積み、内面の厚い部分を下方に押さえて伸ばしながら縄文を施文。外面も縄文を施文し口唇にC字条の刺突文を並べている。石英混入。6・7 (△) は5 C区出土。石英の細粒を多量、金色の雲母を少量混入している。内面は平滑にナデている。8・9 (●) は6 C区を中心に4 C・4 D・6 D・7 C区に分布した。器面調整は両面とも二枚貝条痕で外面には縄文を加えている。石英を含む。

第117図1～5 (●) は2 C・3 A～C・4 C・4 D・5 D区出土。白色の柔らかい砂粒を多量混入し、二枚貝条痕調整の後、内面上部をナデ、外面・口唇・内面上端に縄文を施文。6～11 (▲) は4・5 C区を中心に3 C・4 D・5 D・6 C区より出土した。石英・金色の雲母を含む。器面は1等に類似するが、内面の広い範囲に縄文を加えている。

第118図1～6 (●) は4 A・5 B区を中心に出土した。器面は二枚貝による条痕調整後、口縁周辺をナデ。口唇にも縄文を施文。7～9 (○) は同一個体。7・8は4 B区、5は5 B区出土。内面上端に縄文施文後ナデ。外面は縄文のみ。大粒の石英も含む。

第119図1・2 (▲) は4 C区出土。内面はナデ調整で上端をやや厚くし、両面とも縄文を施文する。口唇には二枚貝の放射肋を押しつけている。3・4 (○) は6 C区出土。外面には粘

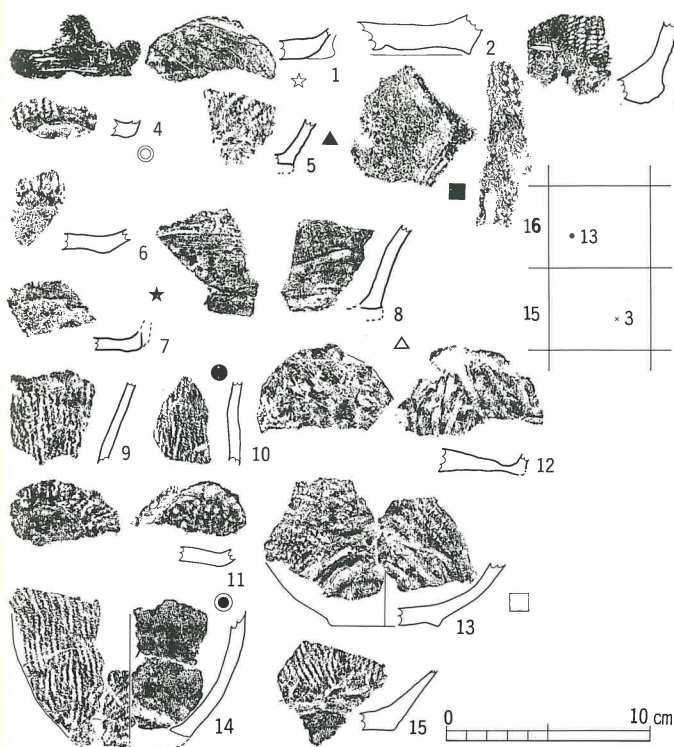


第122図 縄文時代の土器

土紐を加えた後が段条に残る。断面は内面に向かって厚くなり稜線をもち平滑なナデ仕上げ。
 5 (■) は1 E区出土。角閃石・長石の他に石英を含む。縄文施文後、内面をナデている。6 (△) は7 C区出土。ナデ調整。口唇にも縄文。7 は4 B区出土。内面は刷毛条のナデ、外面は粗いナデ、口唇には撚糸文を施文。石英その他の砂粒少量を混入。8~10 (●) は4 B・5 A区出土。内面上端に撚糸文をつけその下端をナデて段状にし、外面と口唇も撚糸文を加えている。11 (□) は3 A区出土。口唇は無文で一般的胎土をもつ。12~17 (★) は2 C区を中心に分布した。内面は縄文施文後平滑にナデるので口縁部がやや段をなし気味である。

第124図は11 C区を中心に分布した。外面は縄文で内面はナデ。胎土に石英・金色の雲母を多量に含む。

第121図1~3 (●) は3 B・3 C・3 E・4 D区出土。大粒の石英を含む。内面ナデ。上端と外面は縄文。口唇には二枚貝の放射肋を押しつけている。4・5 (△) は3 F・3 G区出土。



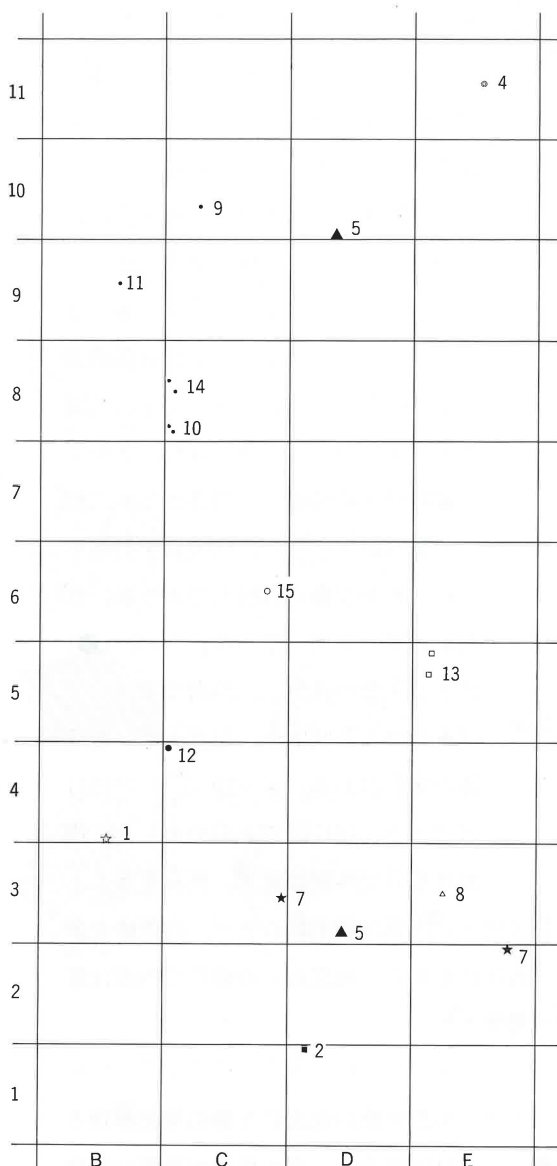
第123図 縄文時代の土器

大粒の砂を多く混入し脆い。内面は二枚貝条痕の後ナデ。6は出土区不詳ながら935と記された土器。内面ナデ。外面縄文。7・8 (○) は15G・16F・17F区出土。両面ナデ。石英・金色の雲母を混入する。文様は縄文の後に3単位の押し引き文をもつ。9 (▲) は4A区で3片出土した。二枚貝条痕調整第126図1 (□) は3A区出土。内面ナデ。金色の雲母を多く含む。2～4 (▲) は3C区出土。内外面とも二枚貝の条痕調整を行い、角閃石・長石を含む一般的な轟式の胎土であるが、外面には縄文を加えている。5・6 (●) は2C・2D区出土。内面は平滑。7 (★) は3B区出土。内面ナデ。焼成後の穿孔がある。8～10 (○) は15G区で2点、16G区で1点出土した。内面は条痕で外面は縄文。長石を多く、

金色の雲母を少し含む。11・12 (○) は4A・4B区出土。内面は刷毛状のナデ。白色砂を多量と石英を含む。13 (■) は4A区出土。ほかに3A区にもある。底部近くの破片で内面は縦方向の後に横方向の条痕、外面はナデの後に縄文を施文。

船元系土器の底部

第123図1 (☆) は3B区出土。器面はへら状具でナデ。半割状態の底面に3個の突起が残るので本来は5個であろう。白色砂粒を含む。2 (■) は1D区出土で、平面形が五角形の底部の破片である。側面には縄文をもつ。白色砂・石英を含む。3 (×) は15D区出土。白色砂粒を多量に含む。外面には粘土塊をつけて底部の突起とし外面に縄文をもつ。4 (◎) は11E区出土。5 (▲) は3D・10D区出土。6・7 (★) は同一個体で、6は3C区、7は2E区出土。石英を多量に含む。8 (△) は3E区出土。見にくいだが底面には突起が1つあり、本来は五角形であろう。白黄色の砂粒を多量に含む。9～11・14 (●) は8C区を中心に9B・10C・16P区より出土。器面はナデ。外面に縄文をもつ。石英を含む。12 (大●) は4C区出土。13 (□) は5E区出土。底部には高台状の粘土紐が巡る。器面はナデで縄文をもつ。15 (○) は、6C区出土。外面は縄文、底面は平滑で平坦、内面はナデ。



第124図

分布した。ナデ調整であり条痕は認めない。口唇には波状の刻み目がつくが、この部分のために特に粘土紐を付け加えている。口径21.7cm。12は1 D区出土。器面はナデ。施文具はヘラ状具13は10 B区出土。器面調整・胎土は9等に類似。

第127図5 (▲) は4 B区出土。長石・角閃石を多量含む。ナデ仕上げ。口縁はやや厚みがあり幅の狭い半裁竹管状具を押しつけ、短く引いている6は5 I区出土。

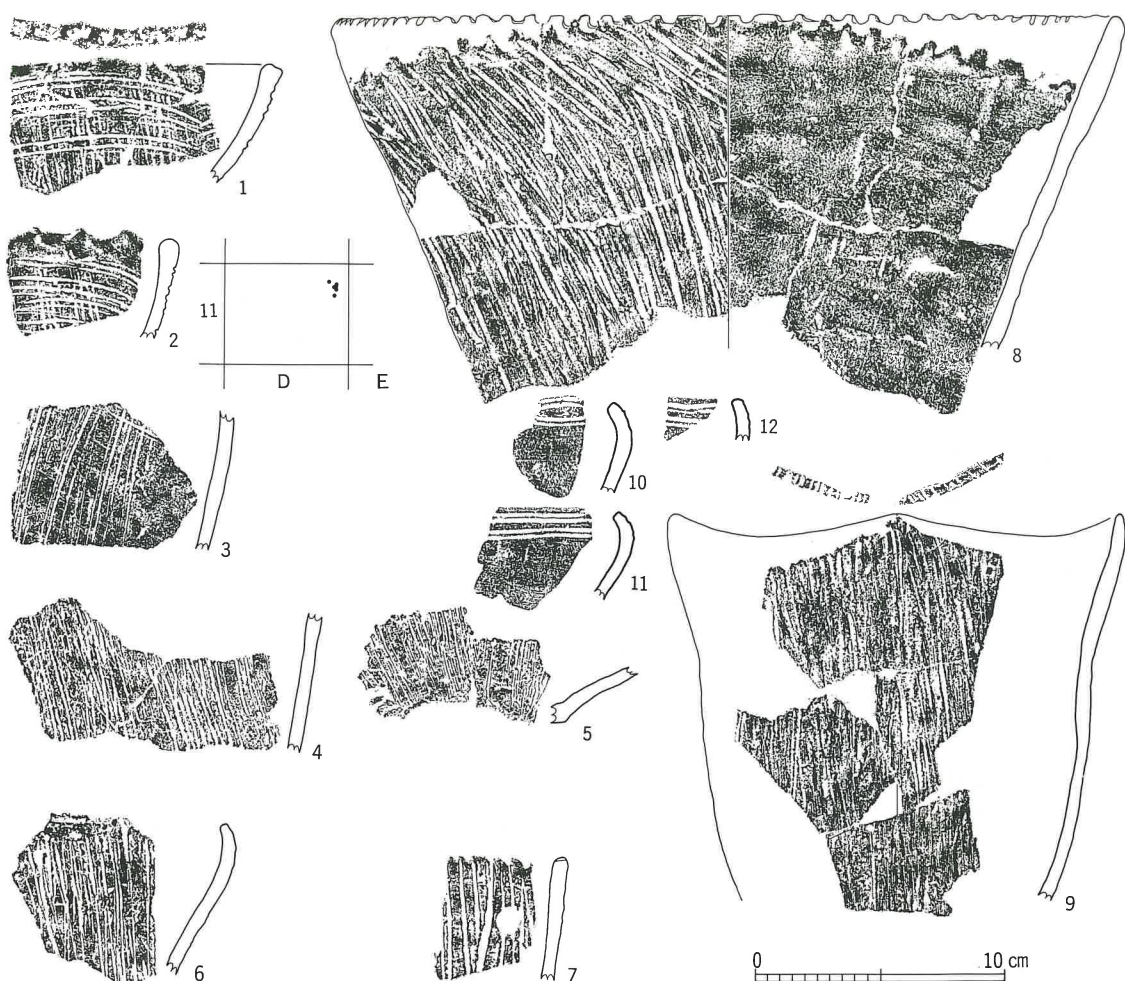
第132図5～8 (大●) は3 B区を中心に4 A区にも分布した。内面は二枚貝条痕風の調整後

条痕文土器 (第125図)

第125図1・2は4 I区、3・4は4 H区の同一個体。6は8 B区出土。8は11 D区出土。白色の細砂粒を多量含む。内面は始めからナデ、外面はナデの後に文様を意図して雑な条痕を加えている。口唇には棒状具を押しつけたような刻みがある。口径31.8cm。9は5 C区出土。内面はナデ、外面は二枚貝による縦方向のナデ。口唇には貝によるであろう刻み目をもつ。波状口縁でキャリパー形である。外面全体に煤が付着している。金色の雲母を少し含む。口径18.4cm。10～12は5 B (2点)・6 B (1点表土) 区出土。器面はナデ調整で、2条1単位の沈線文を口縁に2列もつ。

後期阿高式系土器

第126図1～5 (▲) は3 A区に分布の中心があり、4 A区にも1点出土した。内面はナデが雑で外面には少し二枚貝条痕がある程度にナデている。口縁には指先を使ったような凹線文がある。口唇には棒を上から押しつけたような刻みがある。6～8 (●) は3 B区の6号土抗から7片出土した他、その近辺に分布した。器面は二枚貝条痕後、外面を軽くナデ消す。口縁に指先によるらしい凹線文がある。長石が多い。口径30.2cm。9・10は1 E区。二枚貝条痕後、内面ナデ消し。外面には巻貝による沈線文がある。石英を多く含む。11は5 A区の小範囲に分布した。



第125図 縄文時代の土器

ナデ、外面はヘラナデ。口唇を上から押して刻む。石英を多く含む。9～12（★）は3・4 A区を中心に5 A区からも出土。角閃石・長石を少し含み、薄色で二枚貝条痕調整である。口縁に浅い凹線文がある。底径12.6cm。13・14は5 L区出土。器面は二枚貝条痕、その後外面はナデ。外面上部は突帯状になり貝肋縁で刻まれている。

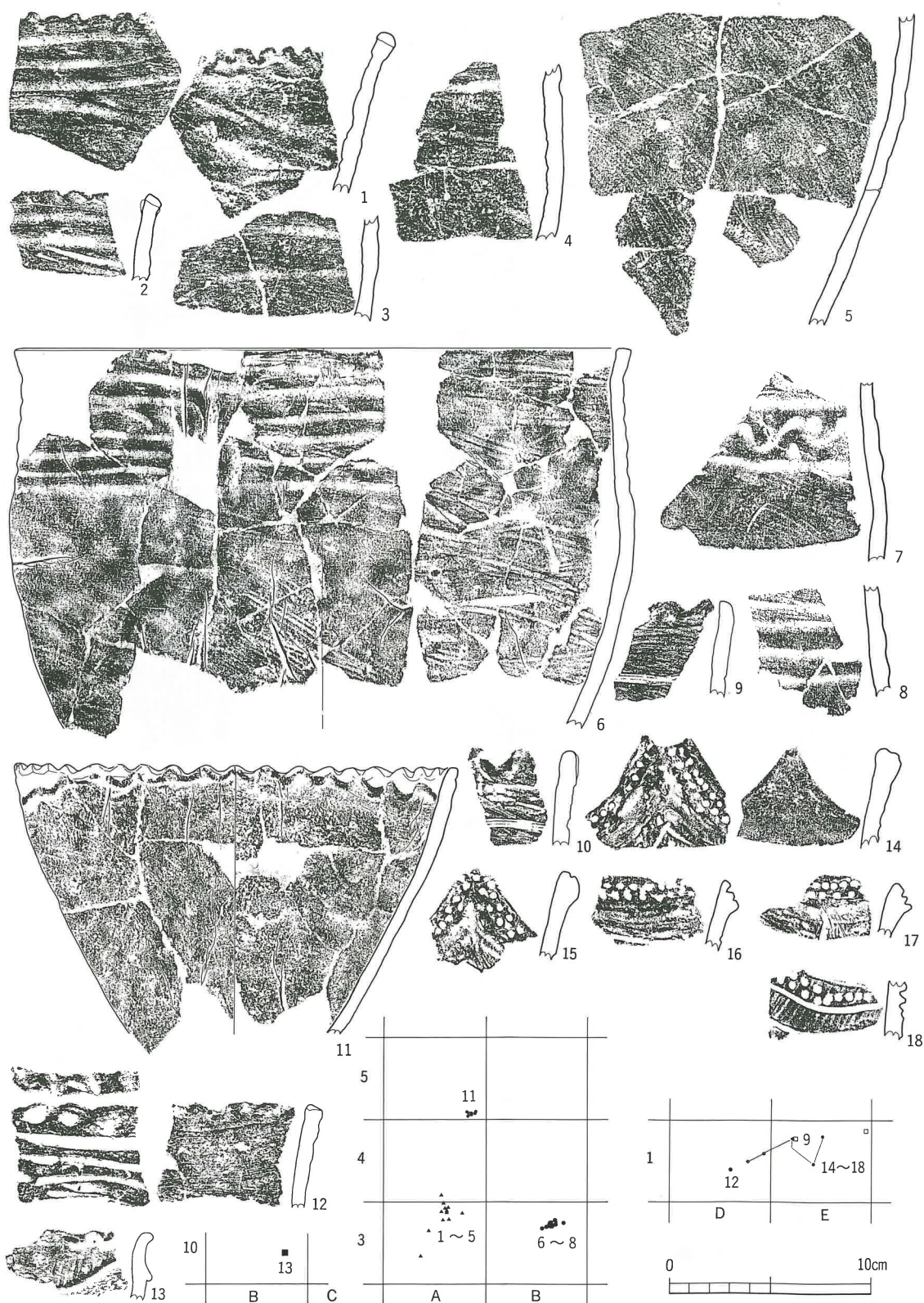
御手洗A式土器

第127図1～4は主に4 B区にあり5 B区でも1点出土した。角閃石・長石を含む。器面調整はナデで、内面は上端は横、下部は左上●右下、外面は縦の方向にナデている。文様は半裁竹管状具で列点・直線を2段描く。

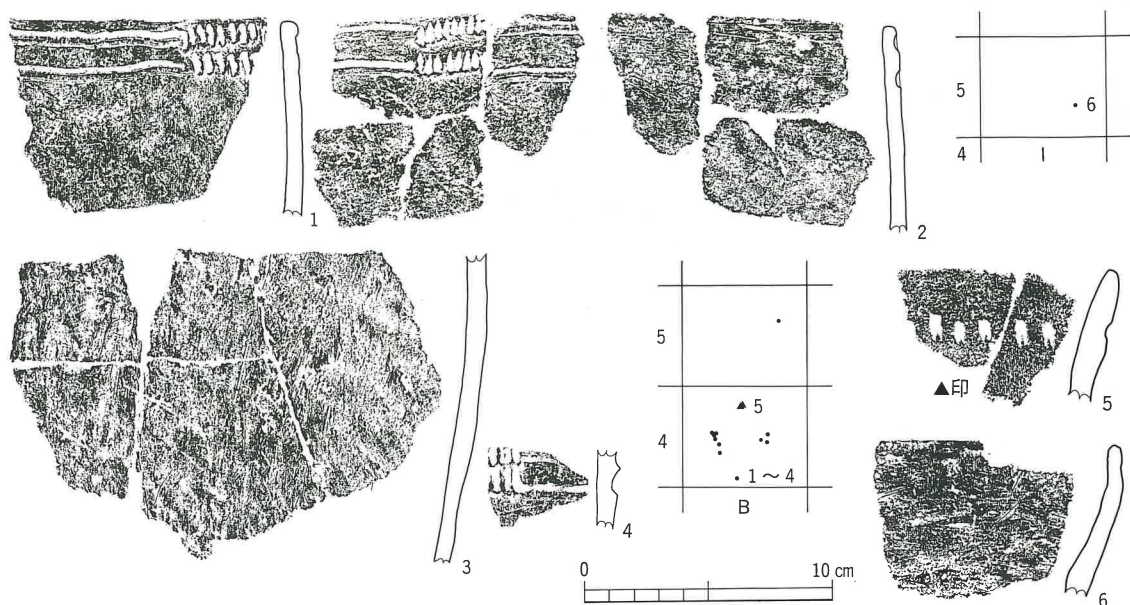
磨消縄文系の土器

中津式土器

第128図1・2（小●）は5 A区出土。縄文→区画線→器面の磨きの順。全体的によく磨いている。結晶片岩らしい砂を少量含む。口径31.8cm。高さ推定で11.8cm。3（△）は5 A区出土。



第126図 縄文時代の土器



第127図 縄文時代の土器

細粒の金色の雲母を含む。施文順は1と同じ。

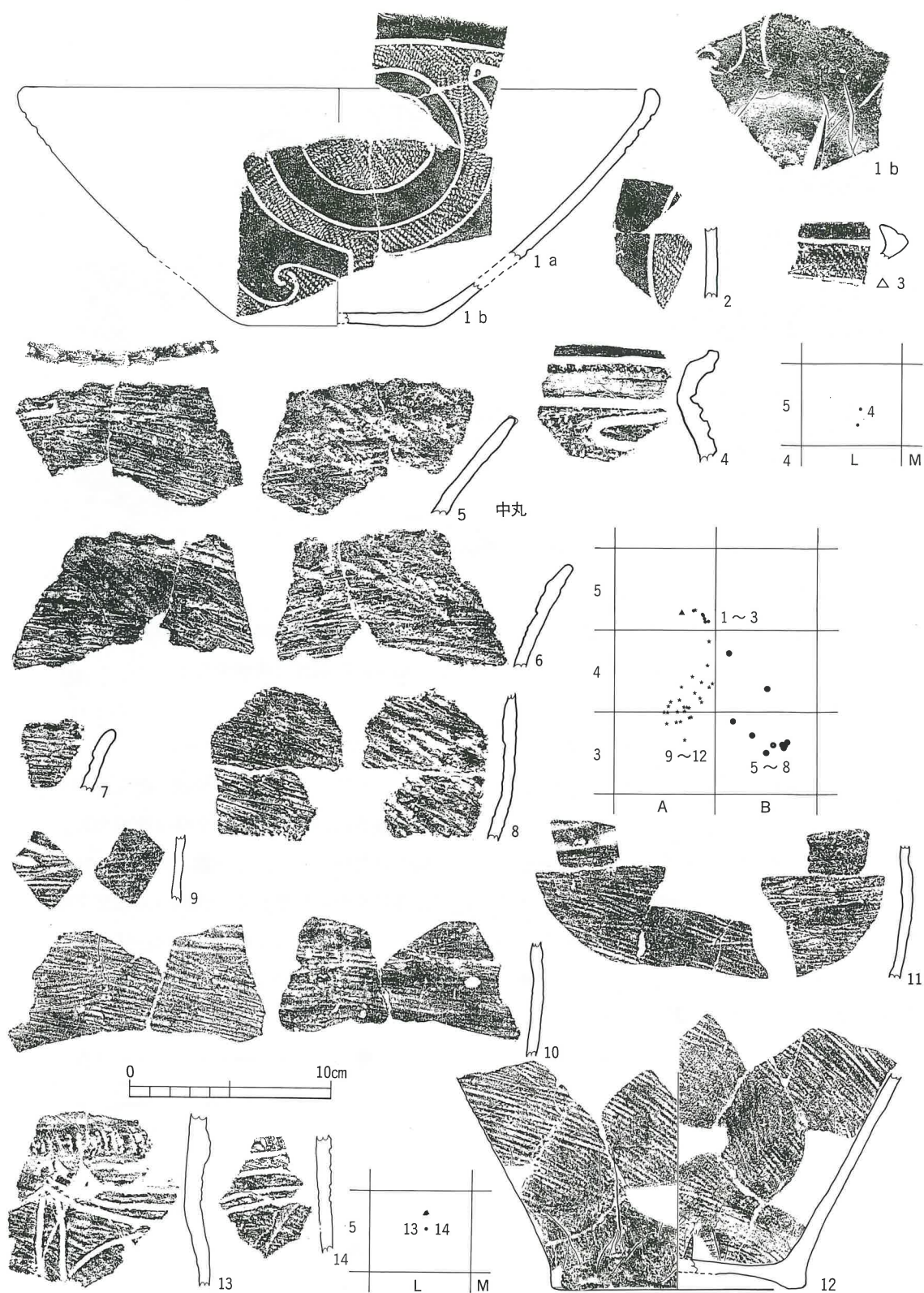
第130図14~18は1 D・1 E区出土（直線で結んだもの）。器面調整は先に二枚貝の条痕調整を行ってナデ仕上げするらしい。口縁は上方に突出し端部の断面は三角状をなす。

鐘崎式系土器

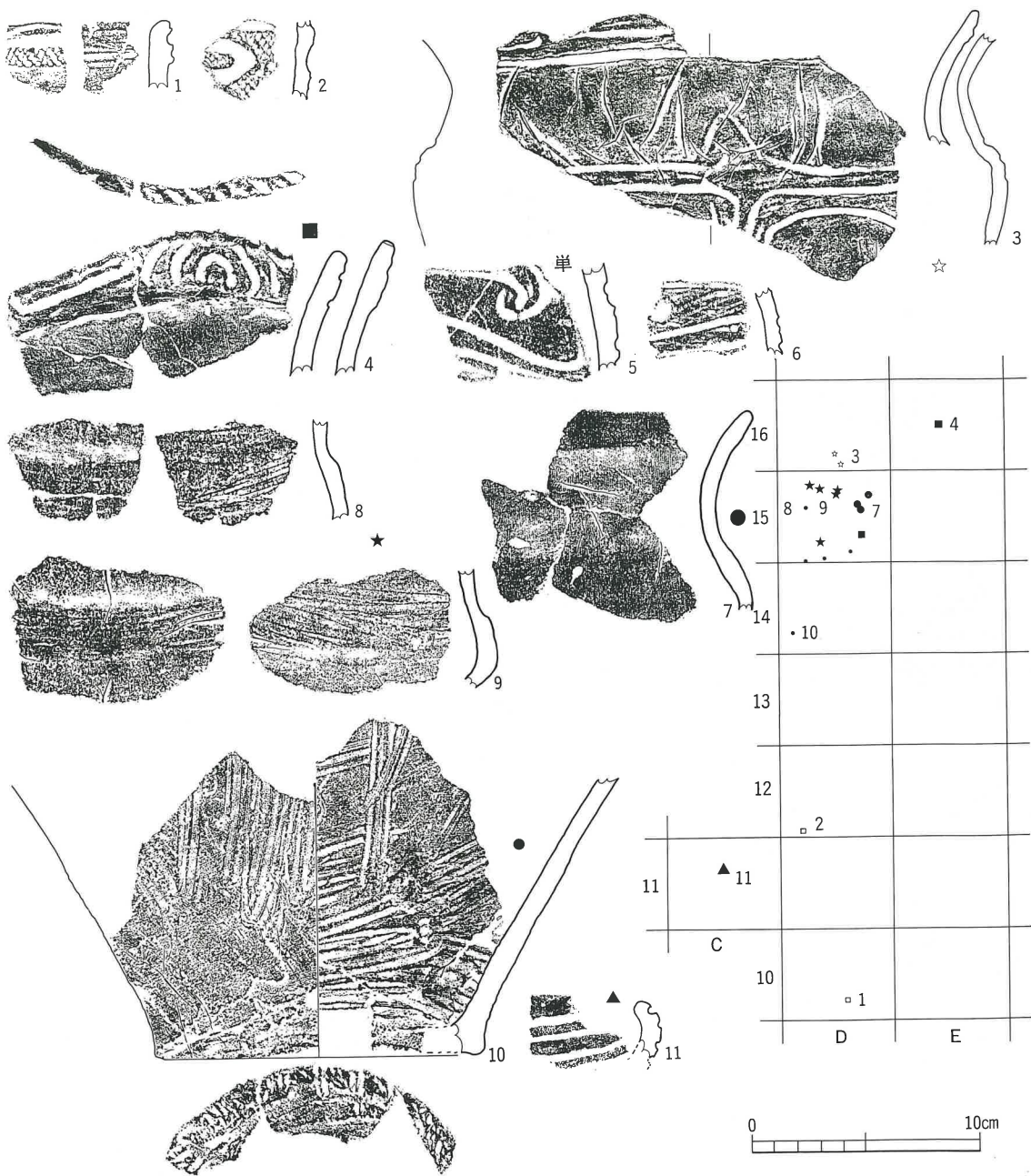
第128図4は5 L区出土。細砂を多く含む。ナデ調整し、縄文→沈線の順に施文。

第133図1・2（□）は内面は二枚貝条痕。細砂を多く、石英を少し含む。沈線→縄文の施文順。3（☆）は16D区出土。内面は横方向の外面頸部は縦方向のナデ調整。文様は沈線のみ。口縁は波状で、破片は口唇までであるが断面をとった場所は欠けている。4（■）は15D・16E区出土。内面は横、外面頸部は縦方向の磨き。口縁は波状をなしやや厚く、横線→波頂部文様の順に沈線を加えている。5は表面採集。両面とも平滑で沈線だけの文様。6は16D区の表土出土。巻貝条痕をナデ、沈線施文。7（●）は15D区出土。全面を横方向にヘラ磨きしている。口縁部が外側に厚く、幅に変化がみられるので波状口縁であろう。8・9（★）は15D区出土。全面ナデ。頸部外面だけは右下●左上方向のナデ。10（小●）は14・15D区出土。内面は巻貝条痕、外面は縦方向のヘラ削り状のナデの後上部に巻貝条痕。外底面には織物の圧痕がつく。11（▲）は11C区出土。線文のみ。

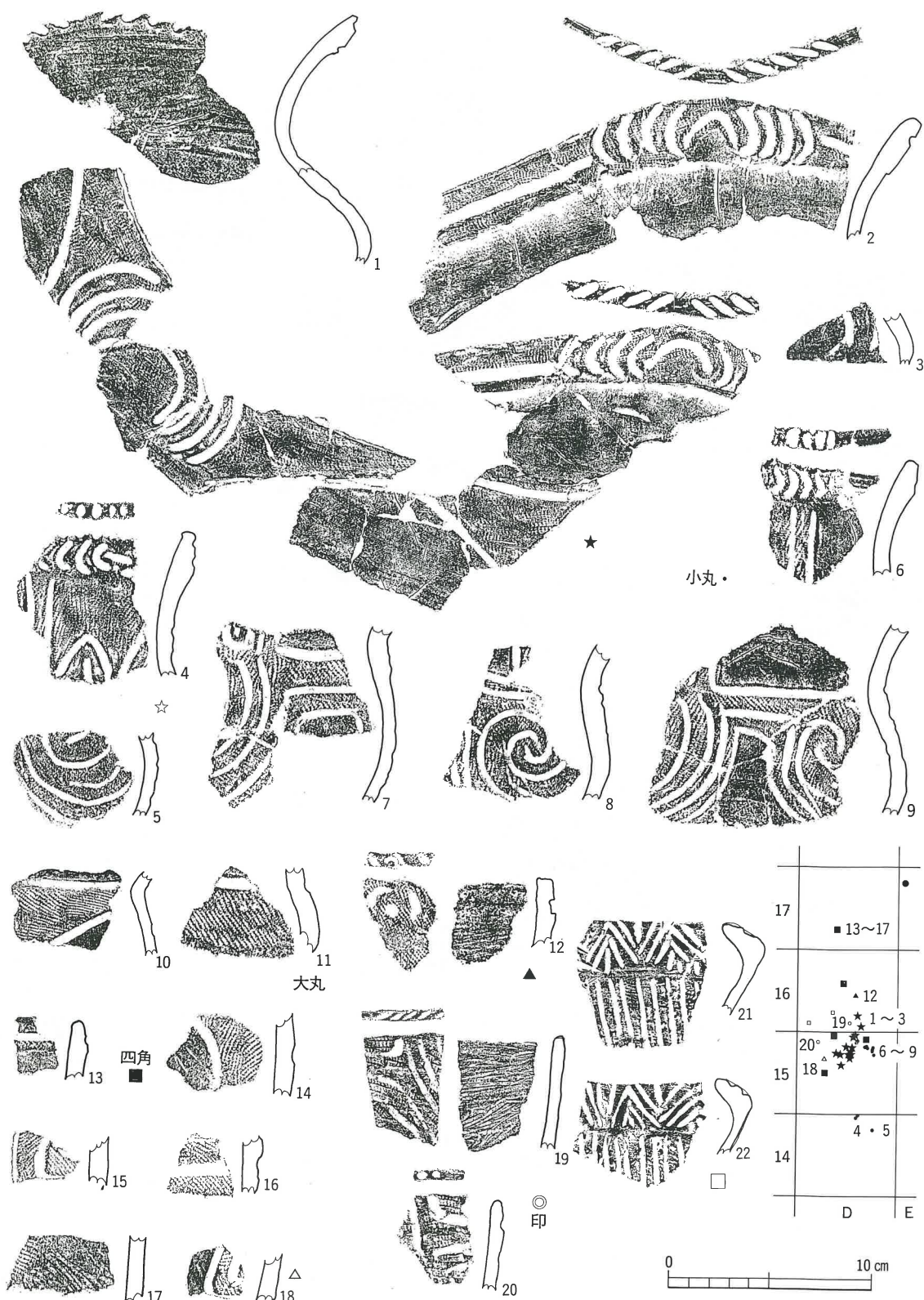
第130図1~3（★）は15D区を中心に16D区からも出土した。内面はヘラ削りし、口縁はヘラ磨きを加え、外面はナデの後に沈線文を引き巻貝で疑似縄文を行い胴部は部分的にヘラ磨きしている。有文部には赤色顔料が付着している。4・5（小●）は14D区出土、6~9（小●）は15D区出土で4~9は同一個体。胎土に微細な金色の雲母と砂粒を含む。内面胴部はヘラナ



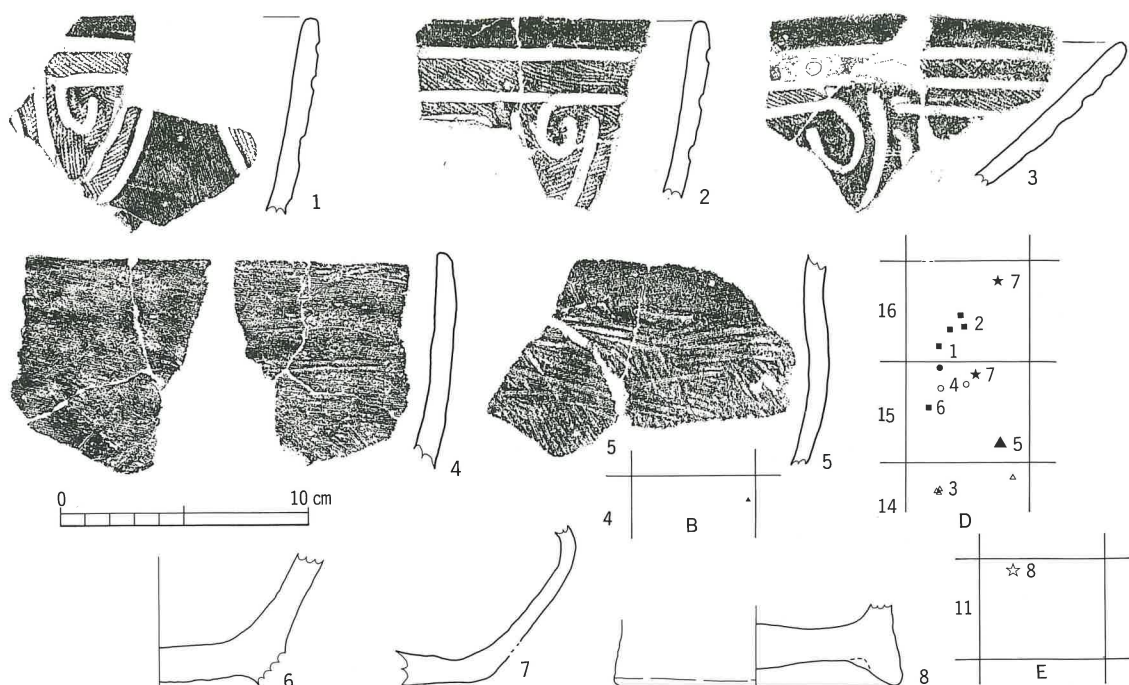
第128図 縄文時代の土器



第129図 縄文時代の土器



第130図 縄文時代の土器



第131図 縄文時代の土器

デ、シコゲが付着している。その上部と外面はナデ。沈線文を入れた後で縄文を加えている。
 10は6号土坑出土。器面はナデと磨き。11(大●)は16D区出土。石英を少し混入。内外面は縄文・沈線部以外は磨き。12(▲)は6D区出土。ナデのみ。外面は線を引いた後で縄文施文。
 13~17(■)は15~17D区出土。器面はナデ・磨きで沈線を引きいた後で縄文を施している。18(△)は15D区出土。内面ナデ。縄文→沈線→磨きの順。19・20(◎)は15・16D区出土。内面は二枚貝条痕調整らしく外面はナデ。沈線を引きいた後に巻貝を転がし縄文風になっている。21・22(□)は16D区出土。ナデ調整後に丸棒で沈線文を加えている。

第131図1~3は一見似ているが別個体である。全て角閃石・長石を混入し、器面は平滑にできている。1(■)は15・16D区出土。2(■)は16D区出土。施文順序は縄文を施文後に沈線を入れており、1・3と異なる。3(△)は14D区出土。4(○)は15D区出土。内面はヘラ削りされ部分的に二枚貝条痕もある。外面はナデ。5(▲)は4B・15B区出土。外面の下部に巻貝条痕が残るが他はヘラ磨きされている。6は15D区出土。7は14D・15D区出土。器面はヘラ磨きされている。8は11E区出土。巻貝条痕による器面調整を行っている。

4. 縄文時代の石器

出土した石器の内訳は次のとおりである。

叩石と磨石類653点・石皿39点・石錘12点・石匙49点・石鏃674点・(未製品と思われるものの点を含む)・礫器66点・削器80点・尖頭器4点・石核約50点・石斧2点・環状石斧1点・装飾加工石製品1点・蛇紋岩円礫2点・使用痕のある剥片多数。これには2ヶ所のデポを含む。

○叩石と磨石類 (第132～155図)

叩石と磨石を一括してここで扱う。同じ石で両方の用途をこなすものもあるし、あえて細かな分類は行なわない。本遺跡の調査ではすべての礫を持ち帰って水洗した結果、通常の報告書では触れないような多数のいびつな礫に使用痕が観察できた。図中のドット部は敲打痕の認められる範囲である。短線で区切られた中の直線は敲打痕の範囲、直線だけの場合は磨石として利用された範囲である。

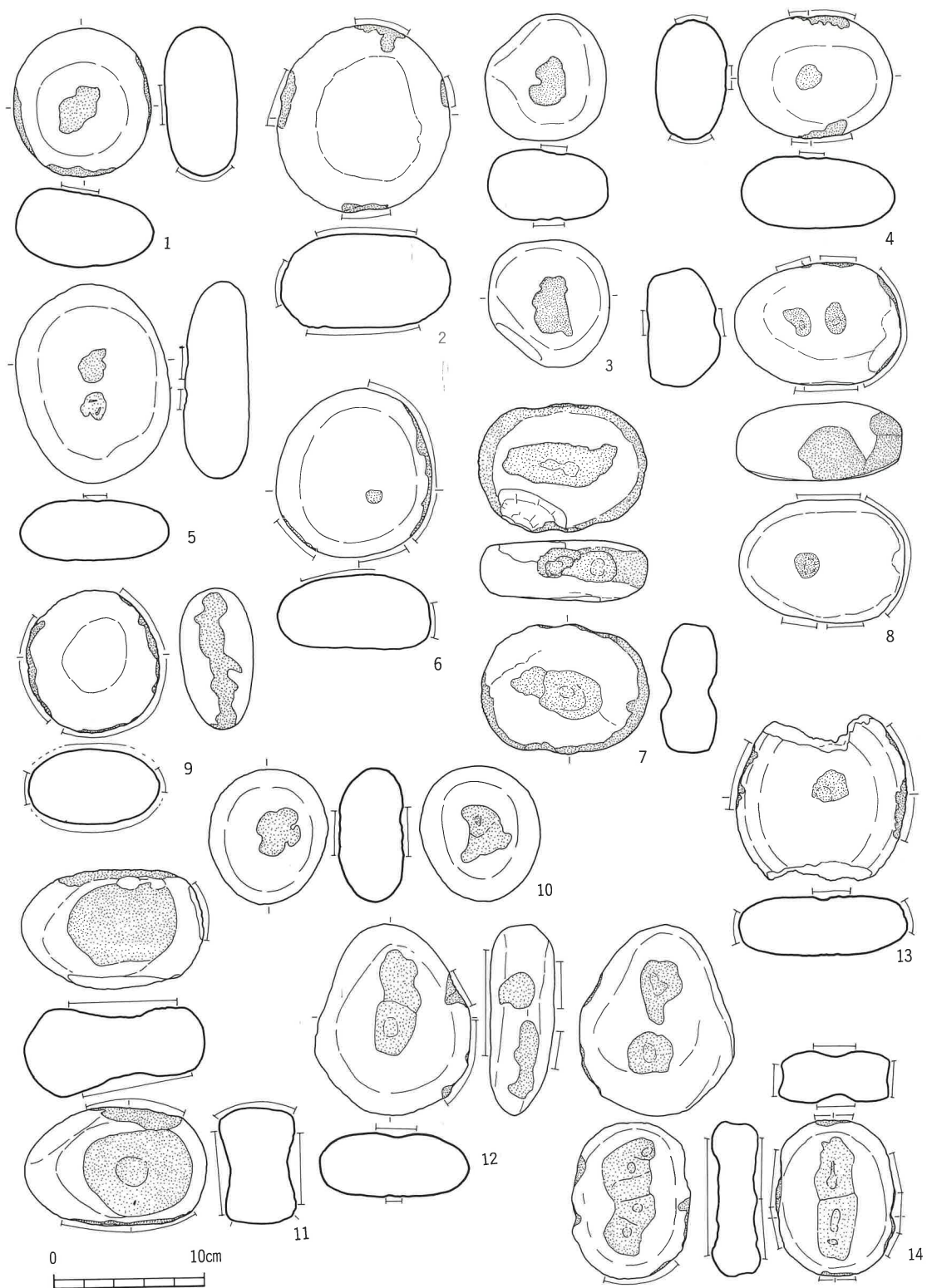
第140図4は磨石、6は左側は磨石を兼ねる。第141図10は細長く薄い円礫で、片面には両端に、反対側の面には片側にだけ敲打痕に類した傷が浅くついている。あとで述べるように叩石類というより石器の加工工具であろう。緑泥片岩製。第133図4(2層)・第135図17(2層)・第145図7(5層)・第148図11(5層)は石英礫で周縁に敲打痕があり、一部では敲打により礫面が剥落している。これら4点は70g～100gで、掌に入る程度の同規模の石英礫という点で共通する。発火具の可能性がある。



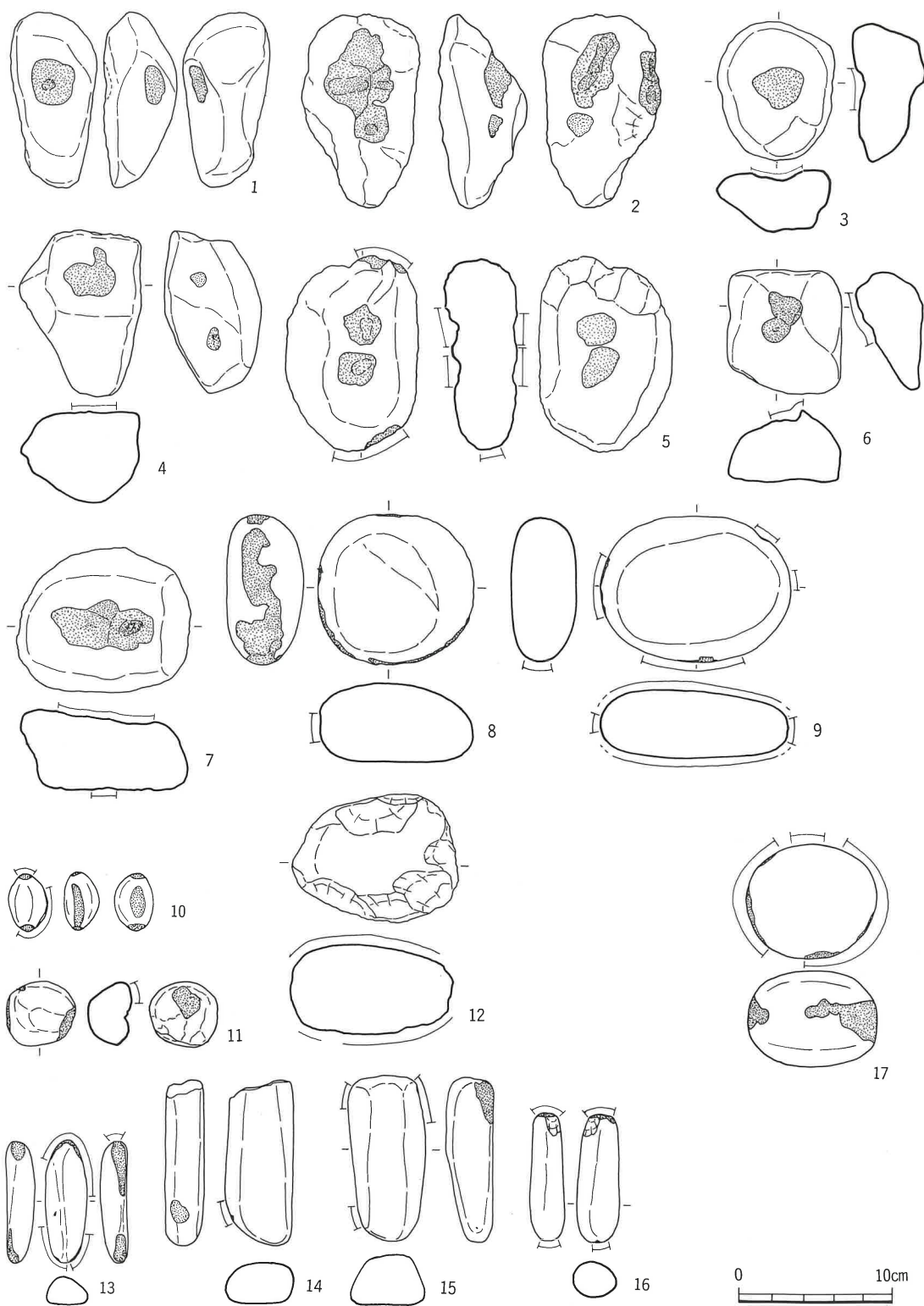
第132図 2層の磨石



第133図 2層の叩石類



第134図 2層の叩石・磨石類



第135図 2層の叩石・磨石類



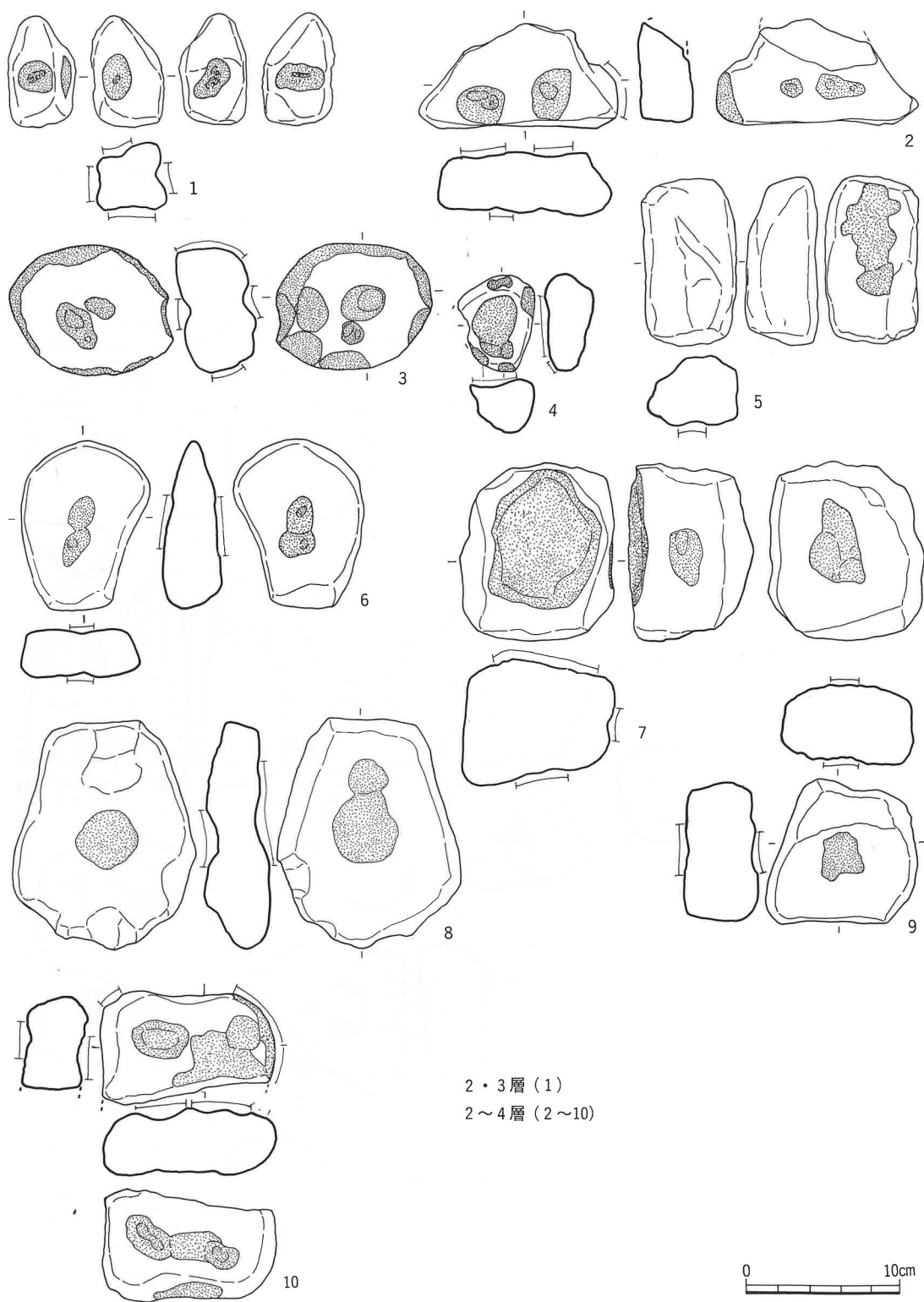
第136図 2層の叩石・磨石類



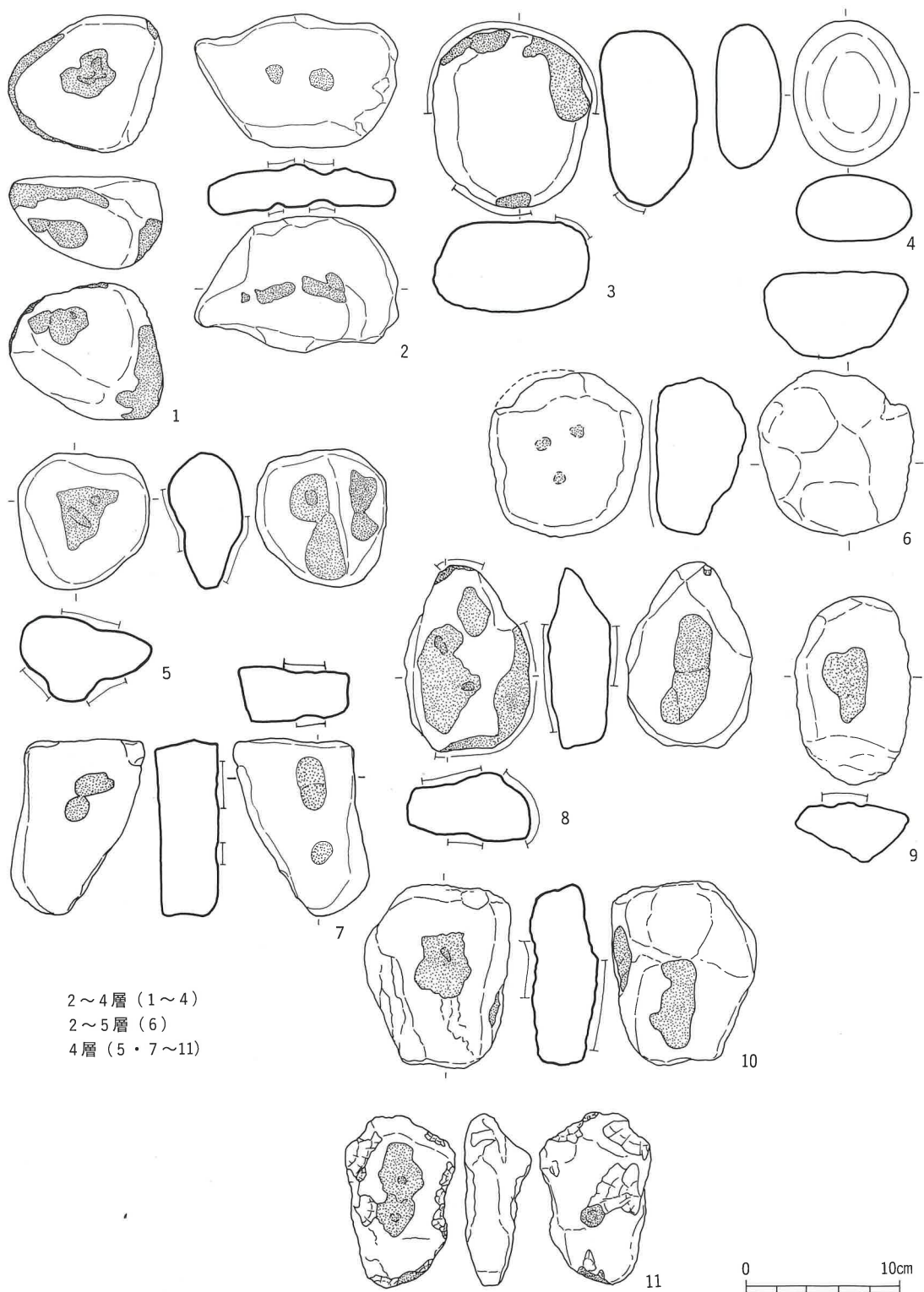
第137図 2層の叩石

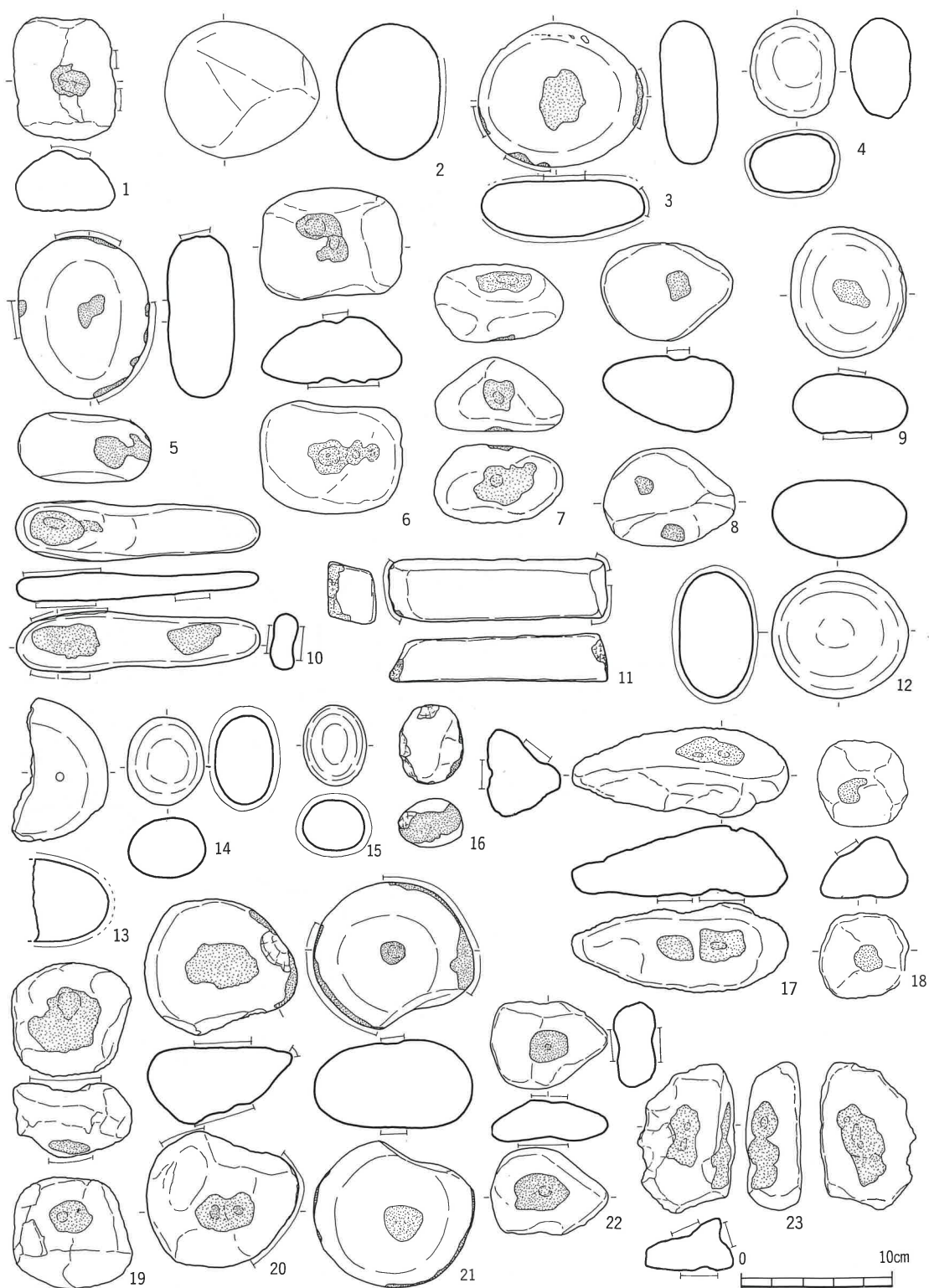


第138図 2層の叩石類

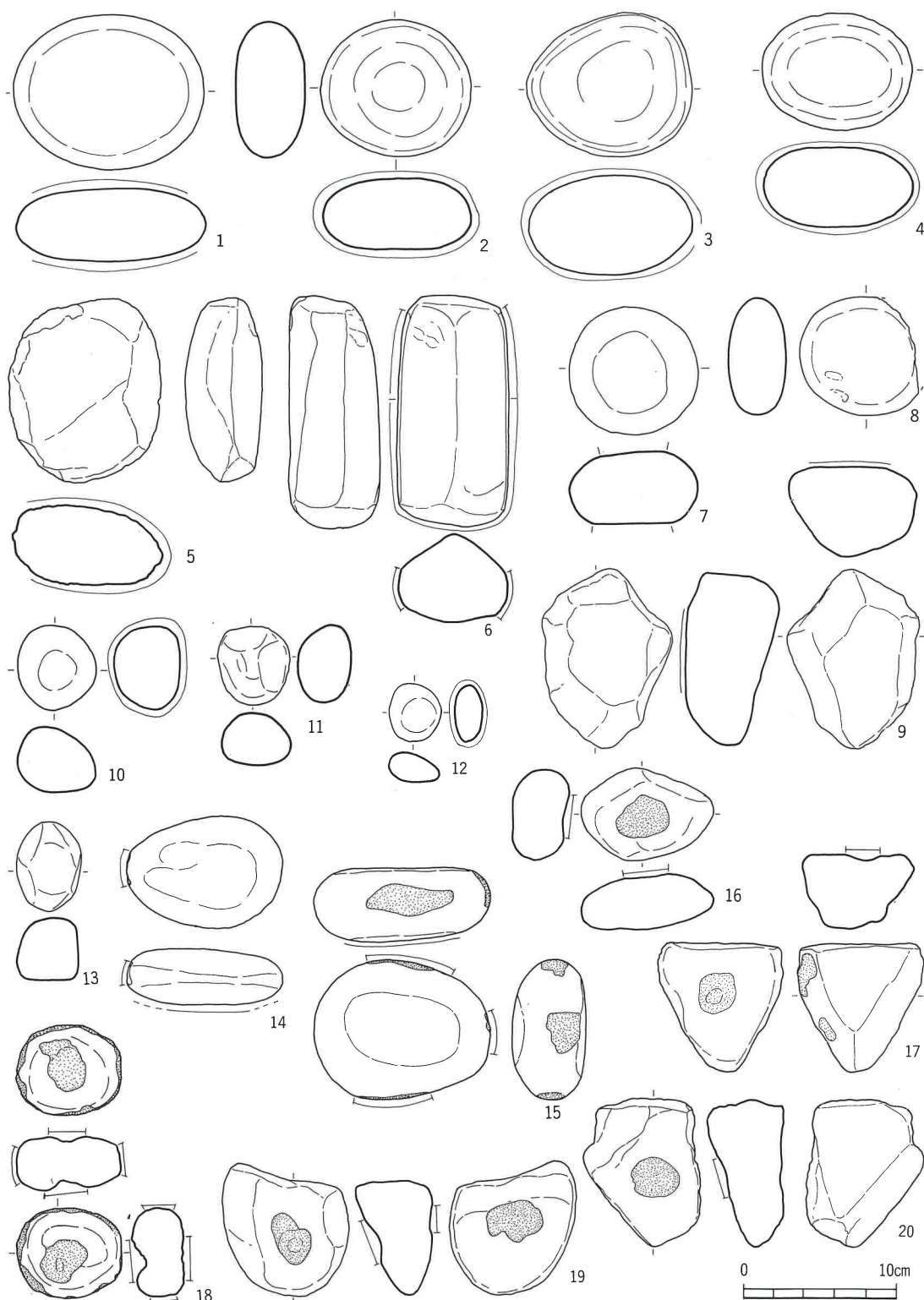


第139図 2・3層、2～4層の叩石





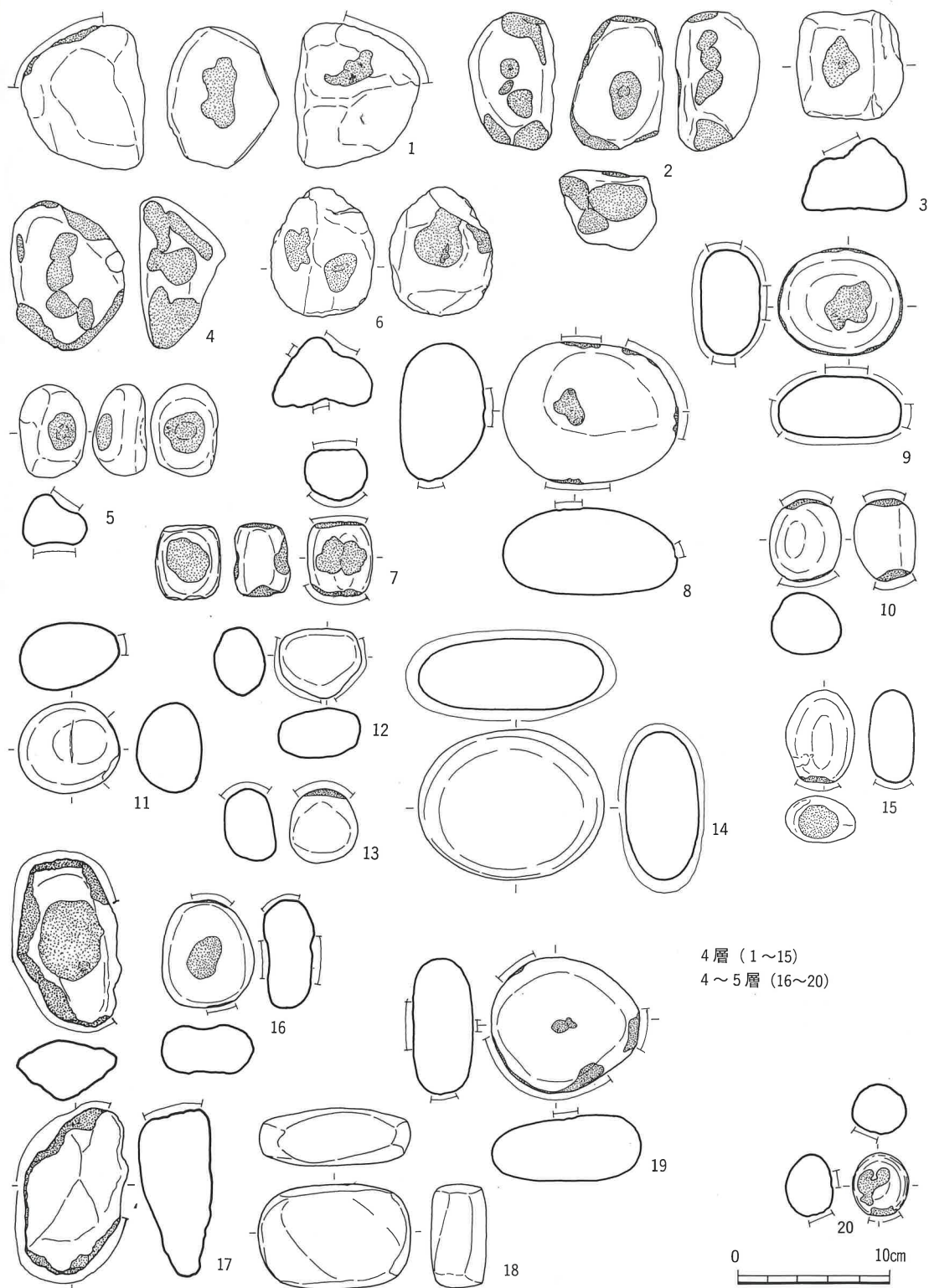
第141図 2～3層 (1)、2～4層 (2～11)、2～5層 (12～22)、4～6層 (23) の叩石類



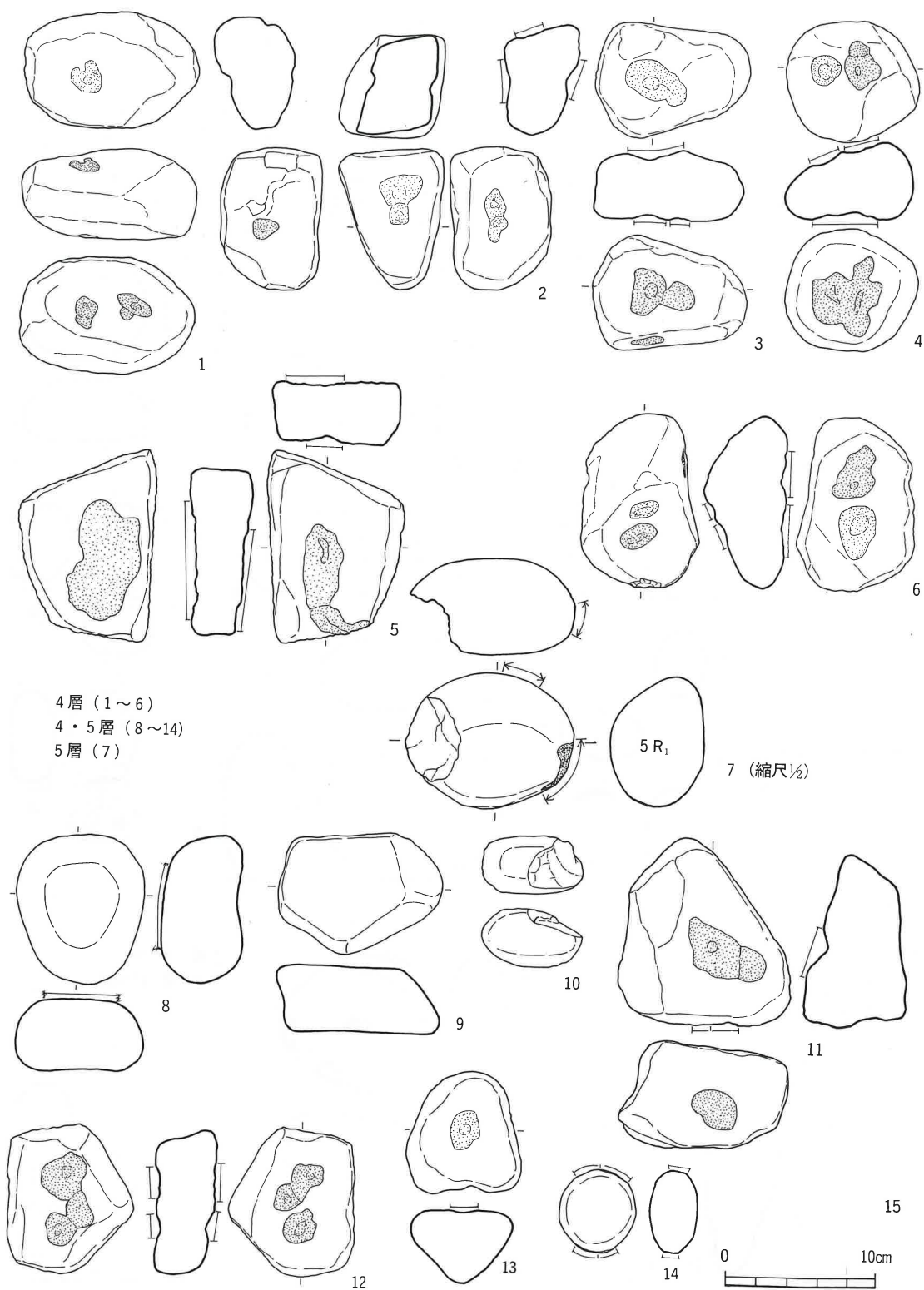
第142図 4層の叩石・磨石類



第143図 4層の叩石類



第144図 4層、4~5層の叩石・磨石類



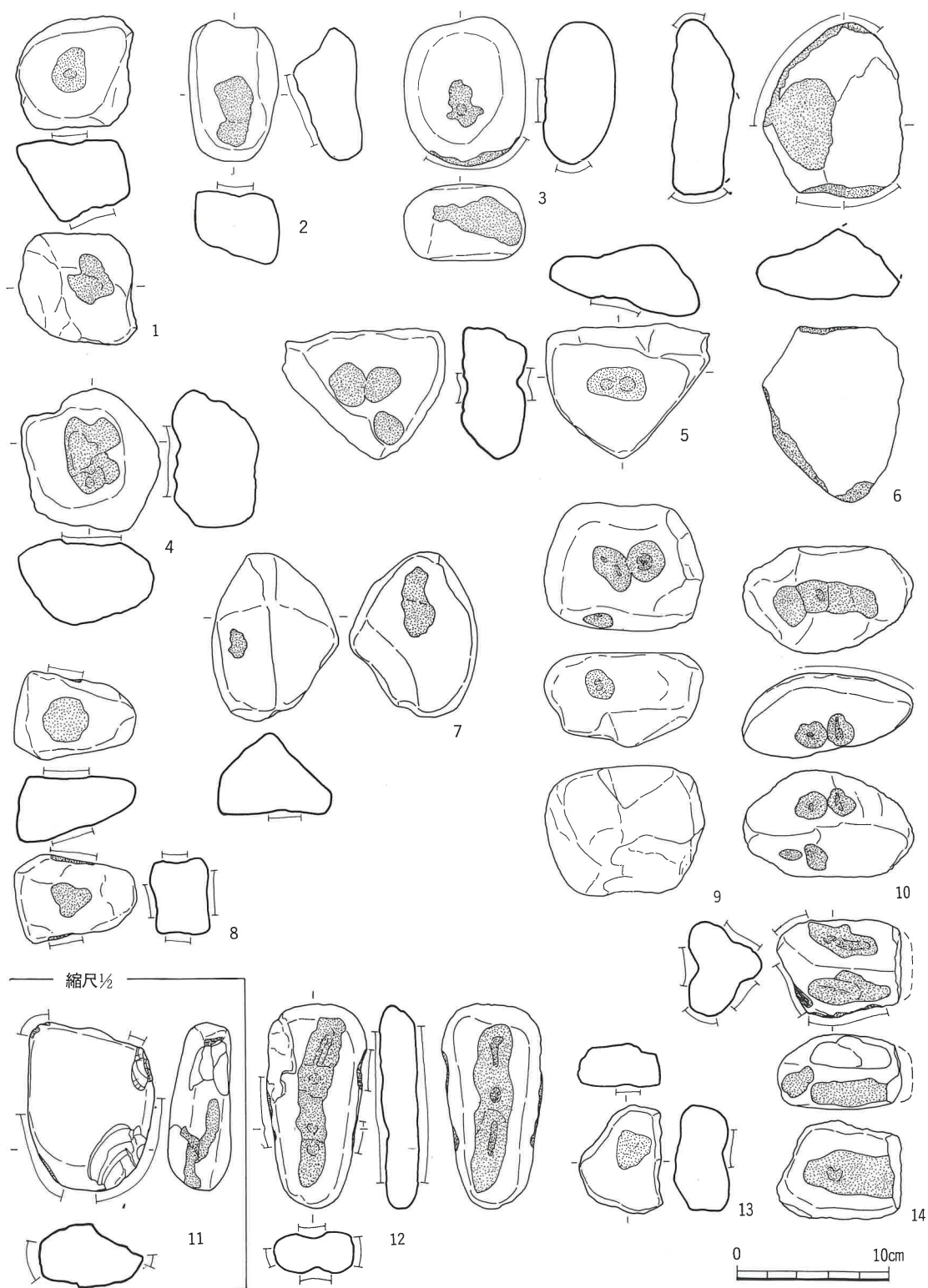
第145図 4層、4・5層、5層の叩石類



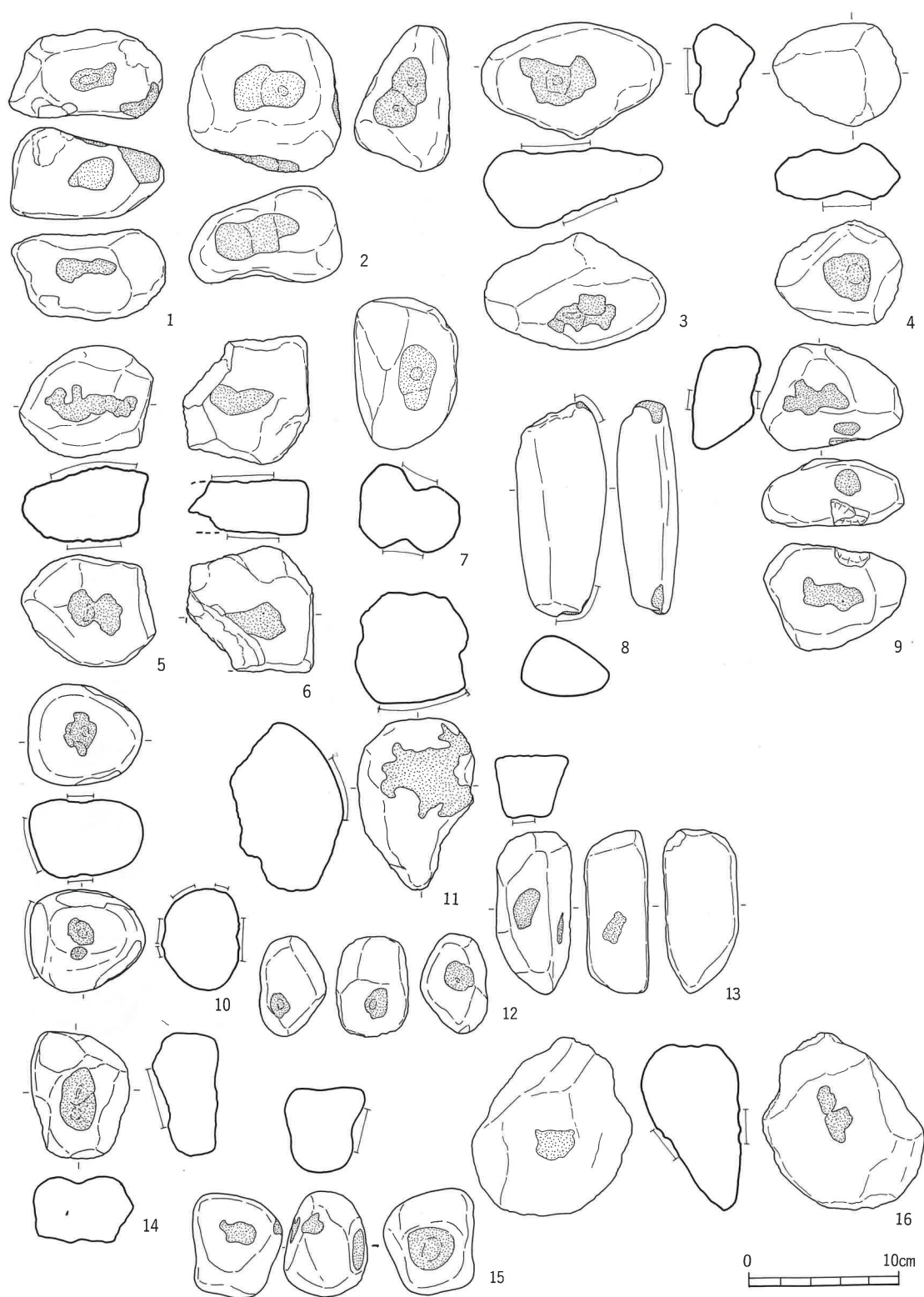
第146図 5層の叩石・磨石類



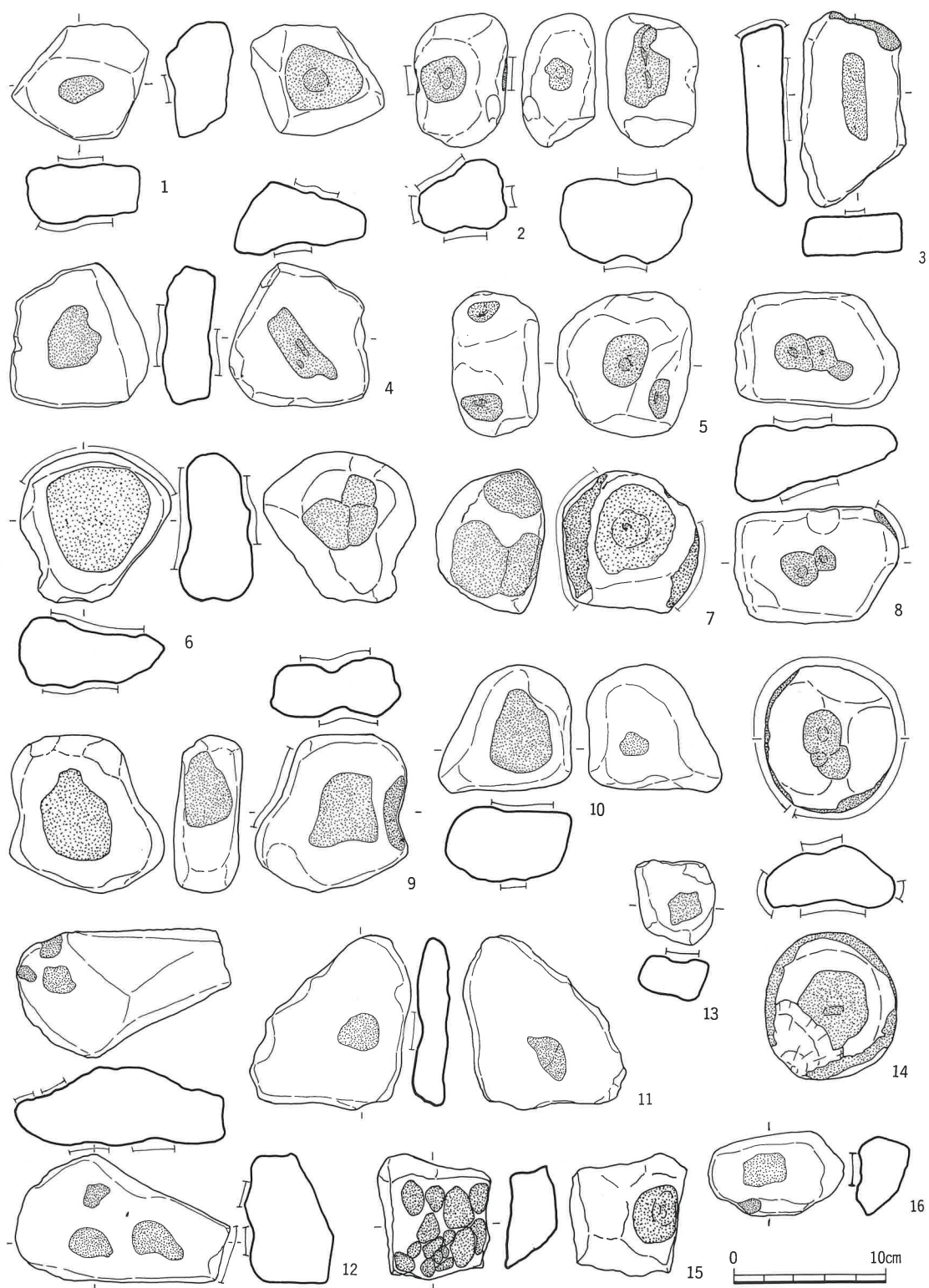
第147図 5層の叩石・磨石類



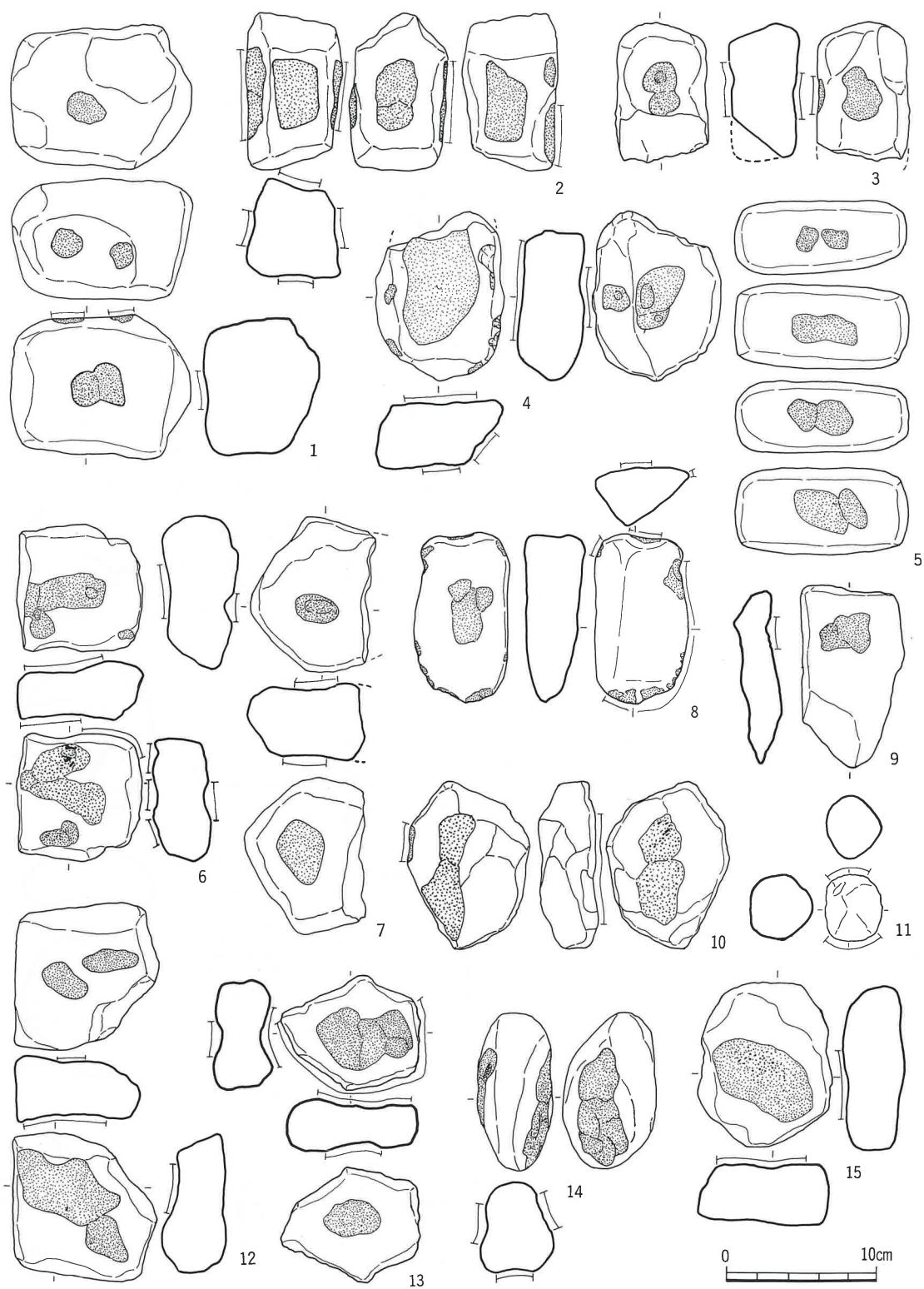
第148図 5層の叩石・磨石類



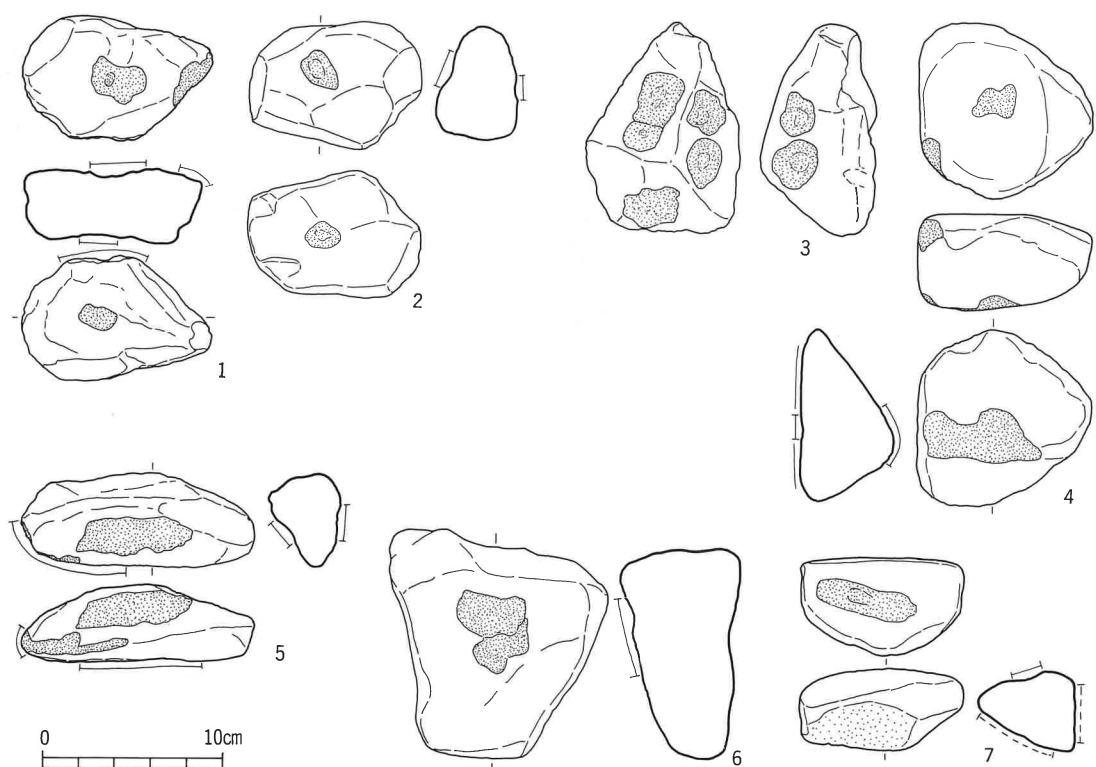
第149図 5層の叩石



第150図 5層の叩石



第151図 5層の叩石



第152図 5層の叩石

○石 皿 (第158～164図。ただし、第159図9は除外する。)

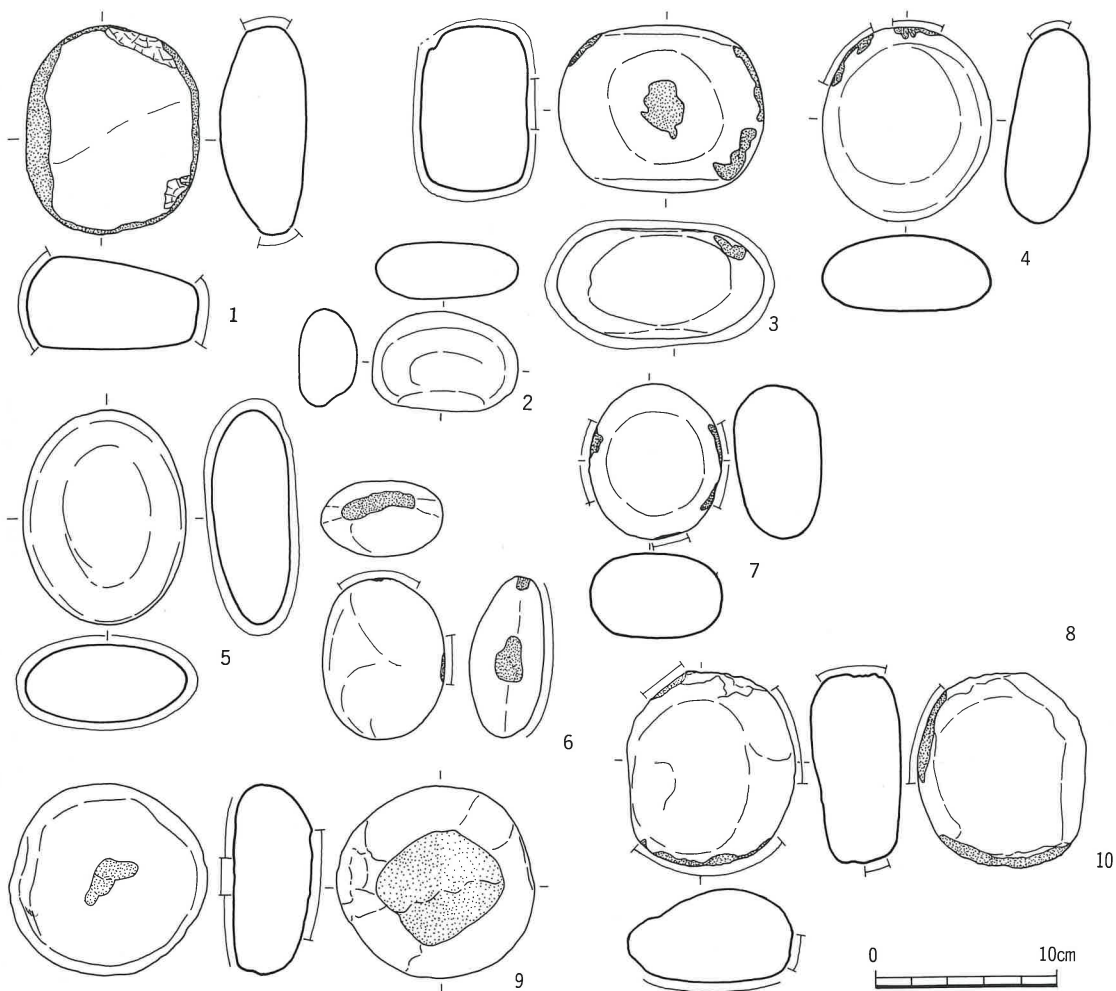
定形的な石皿はなく、摩滅した面をもつ磨石よりも大きい石器も石皿として扱う。層別の内訳は2層19点・2～4層1点・4層2点・5層17点で、平面的な分布状態は調査区内の頂上周辺とそこから北に延びた丘陵縁辺部に多い (第165図に分布図)。

第158図2は傾斜した面を作業面として利用している。3は突出した側の反対の面が摩滅し、作業面として使われたことが分かる。4は断面の四角い礫で両面を作業面として使っている。4は片面だれを作業面とし、そこは平滑になっている。6は片面が自然にやや凹むが、あまり摩滅していない。7は片面だけやや摩滅している。9は全面に摩滅痕があり、磨石的用途であろう。10は片面がやや平滑化している。第160図2は片面だけ摩滅している。3は片面を使っているが、あまり平滑ではない。4は節理で扁平に割れる石を利用し、片面が平滑である。5は欠損品で、片面を作業面として利用している。6は両面を作業面として利用している。第161図1は1面が平滑化している。2は平坦な1面を使用。第162図1は片面が平滑になっている。2も片面を使用。3は、片面の特に図の上半分を使用した結果凹んでいる。4は片面の中央部を使用した結果、凹んでいる。5は片面の三分の二を作業面にしている。第163図1は表面の1面のみ使用され、細かい凹凸をもつが頭は滑らかになっている。2は片面を作業面とし平滑である。3は両面が作



第153図 5層の叩石

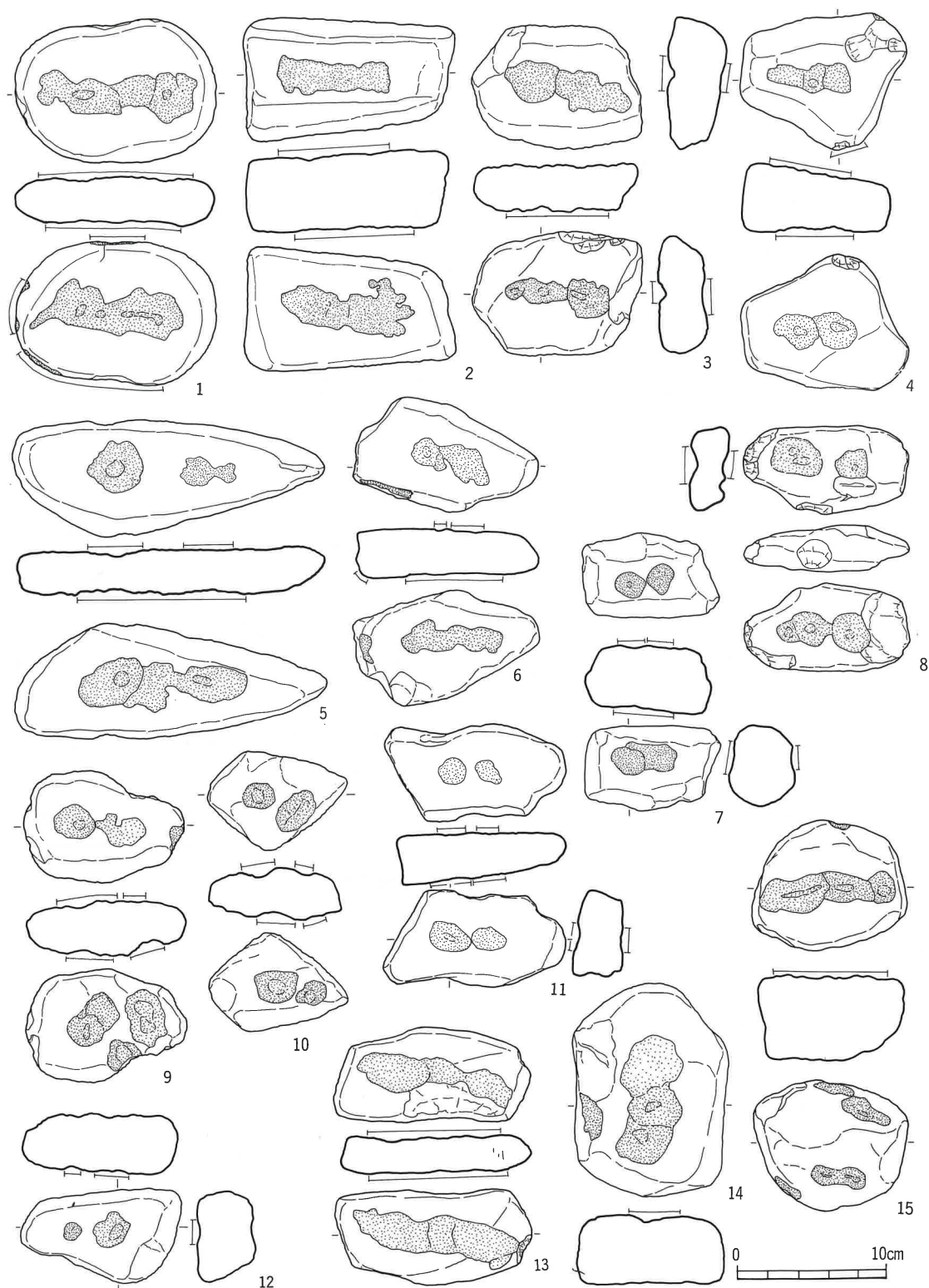
業面で、平滑になっている。5は片面を作業面とし、中央部は特に摩滅し円形に凹む。第164図
1は片面を作業面とし一部が円形にやや凹む。2も片面が作業面で平滑である。



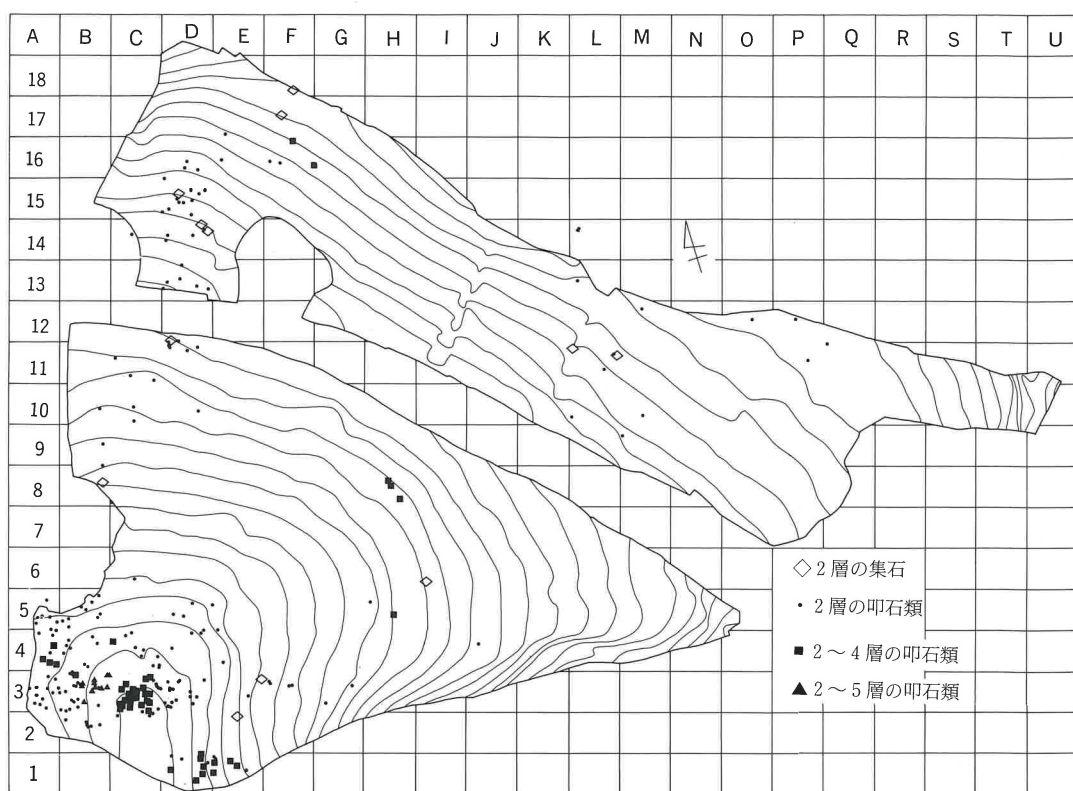
第154図 5層の叩石・磨石類

○石 錘（第166～167図）

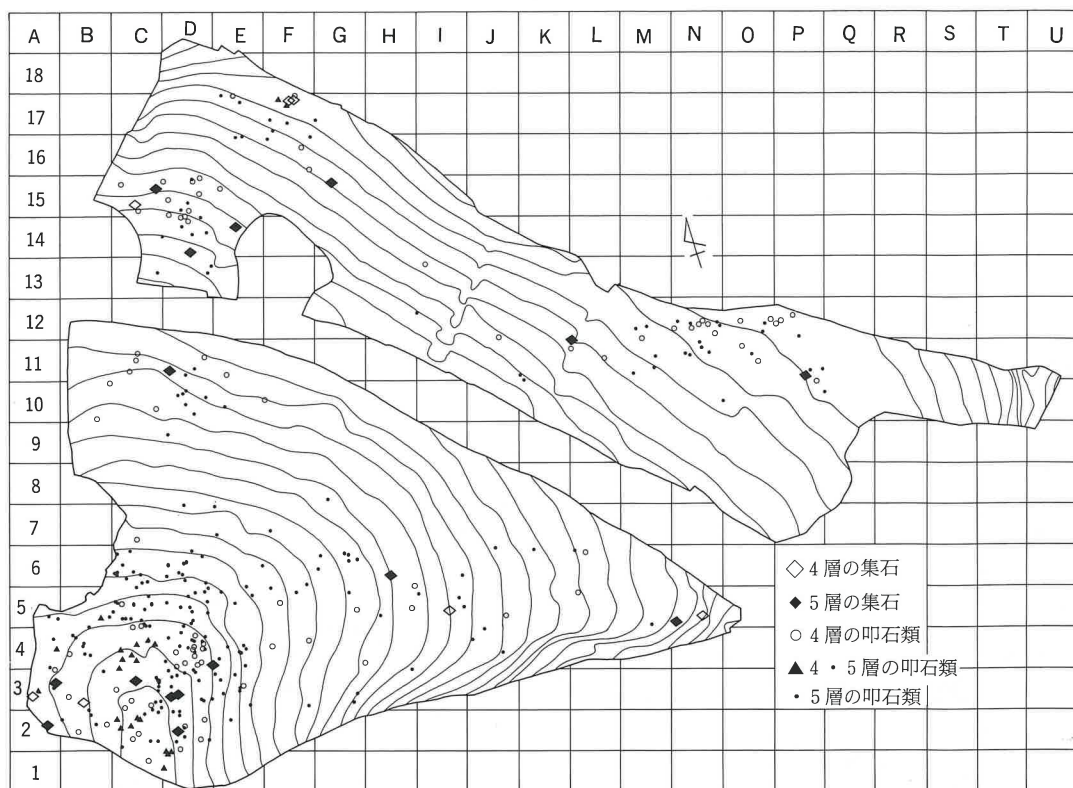
石錘は12点出土した。扁平な円礫の長軸の両端を打ち欠いただけのもので、総てアカホヤ火山灰層より上から出土した。第165図に分布図を示す。



第155図 5層の叩石



第156図 叩石類分布図(1)



第157図 叩石類分布図(2)

○石 匙 (第168～172図)

石匙は49点出土した。表土から出土した3点を除いた層毎・石材別の内訳は以下のとおりである。

		安山岩	姫島産黒曜石	ガラス質安山岩	黒曜石	チャート
2	層	24点(52.5%)	12(50 %)	9 (37.5%)	2 (8.3%)	1 (4.2%)
2 ～ 4	層	1点(2.2%)		1 (100%)		
4	層	8点(17.4%)	3 (37.5%)	5 (62.5%)		
4 ・ 5	層	1点(2.2%)	1 (100%)			
5	層	12点(26.1%)	7 (58.3%)	5 (41.7%)		
合 計		46点(100%)	23(50 %)	20(43.5%)	2 (4.3%)	1 (2.2%)

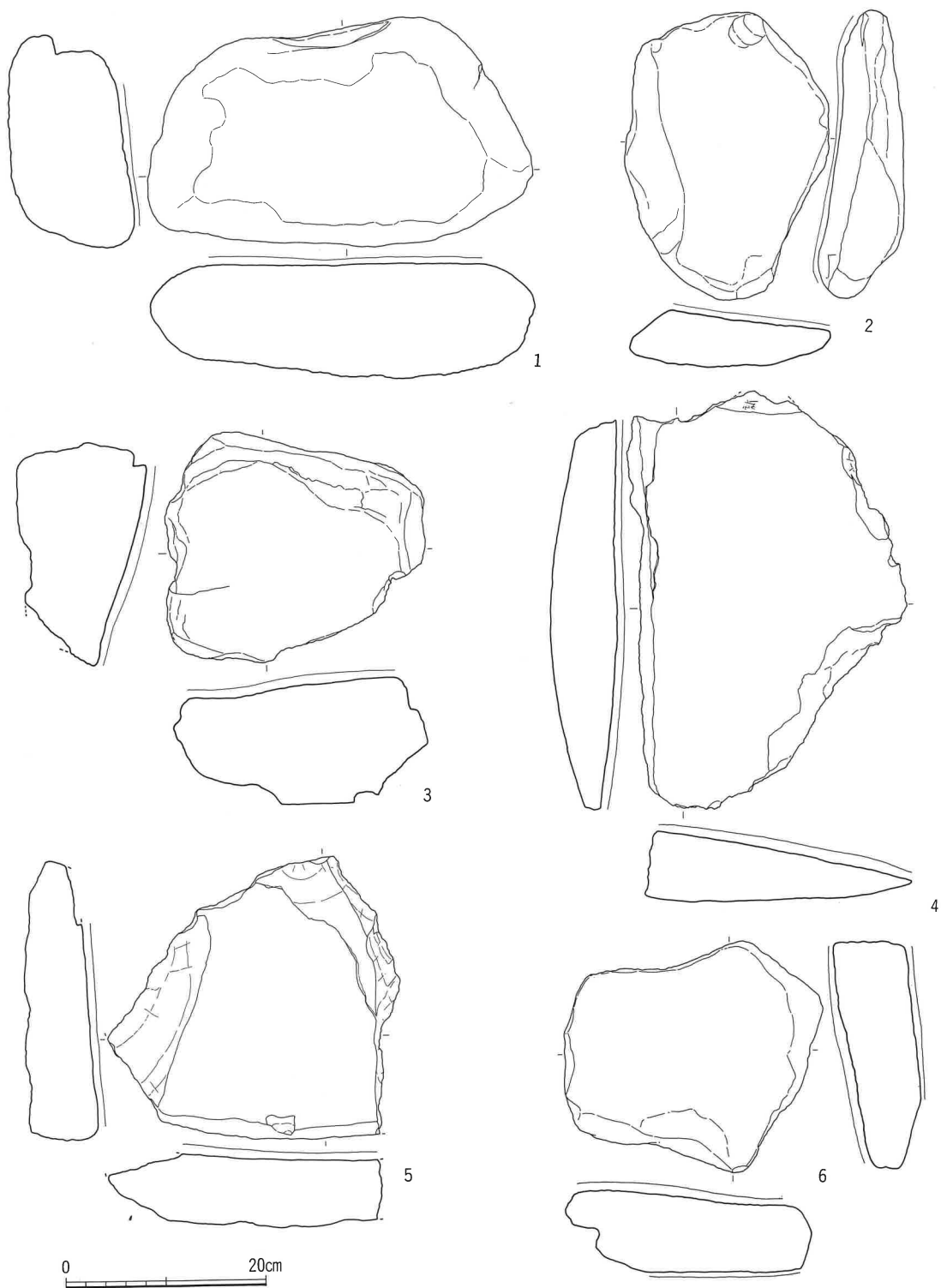
ガラス質安山岩は姫島産である。これまでの他の遺跡の調査例ではこの石材の利用は早期に限定されるようであり、本遺跡の2層に2点見られるのは早期の遺物が浮上したものであろう。その他の器種に関しても同様のことが言える。



第158図 石皿類



第159図 石皿類



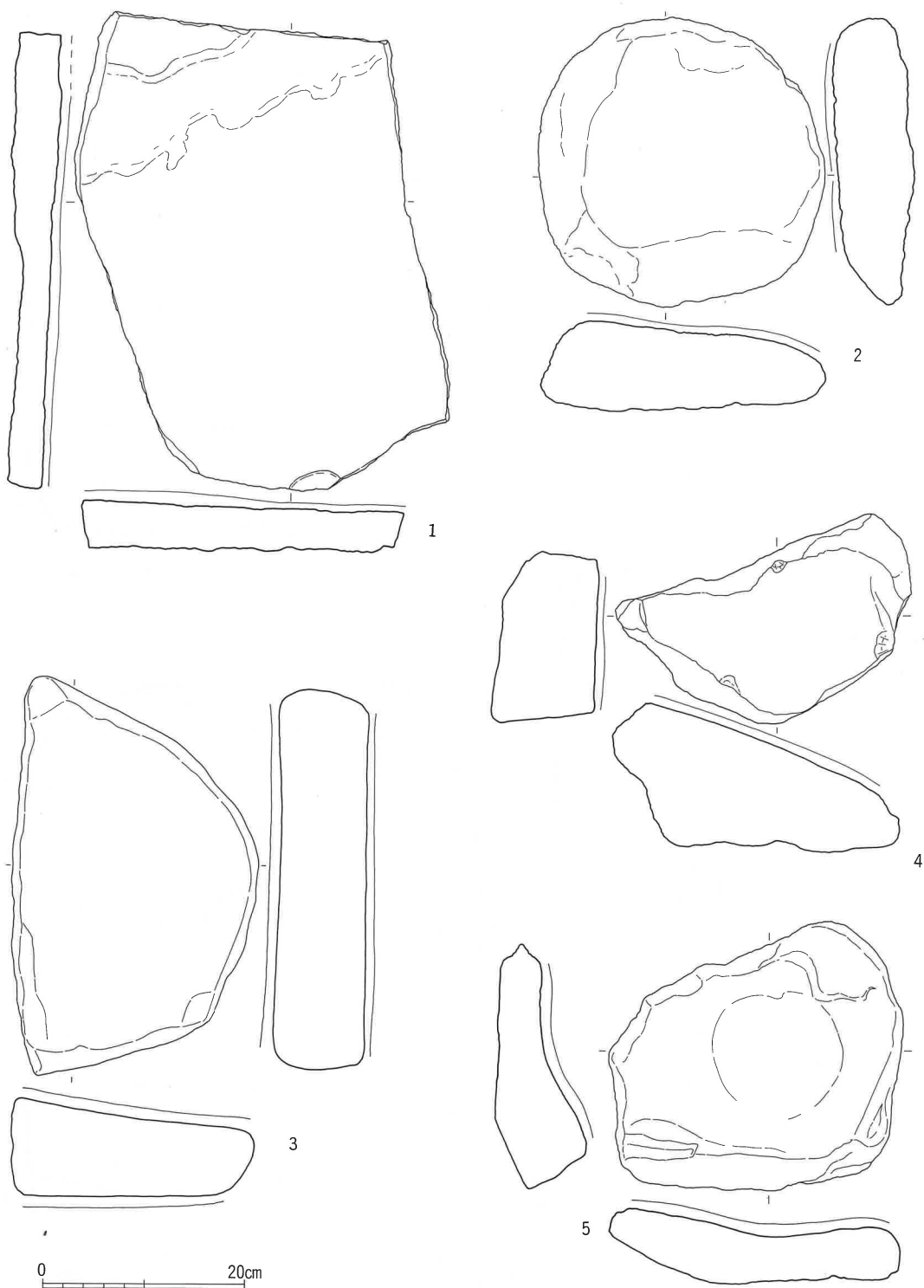
第160図 石皿類



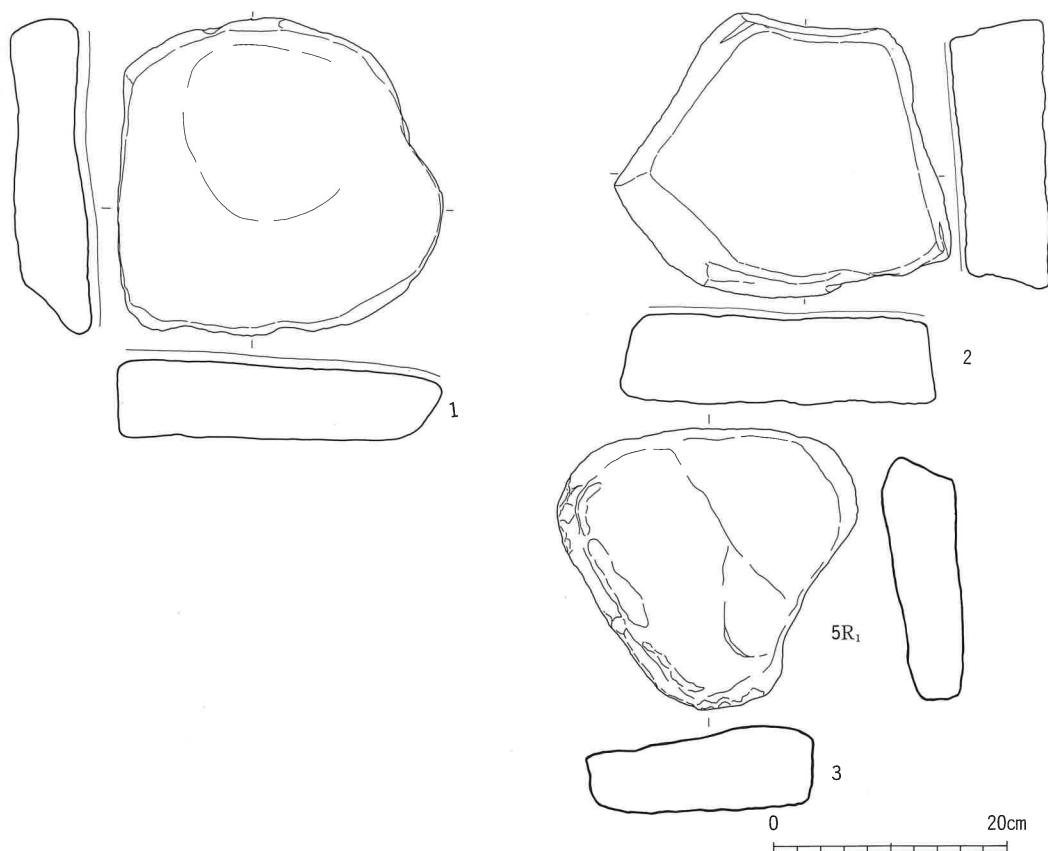
第161図 石皿類



第162図 石皿類



第163図 石皿類



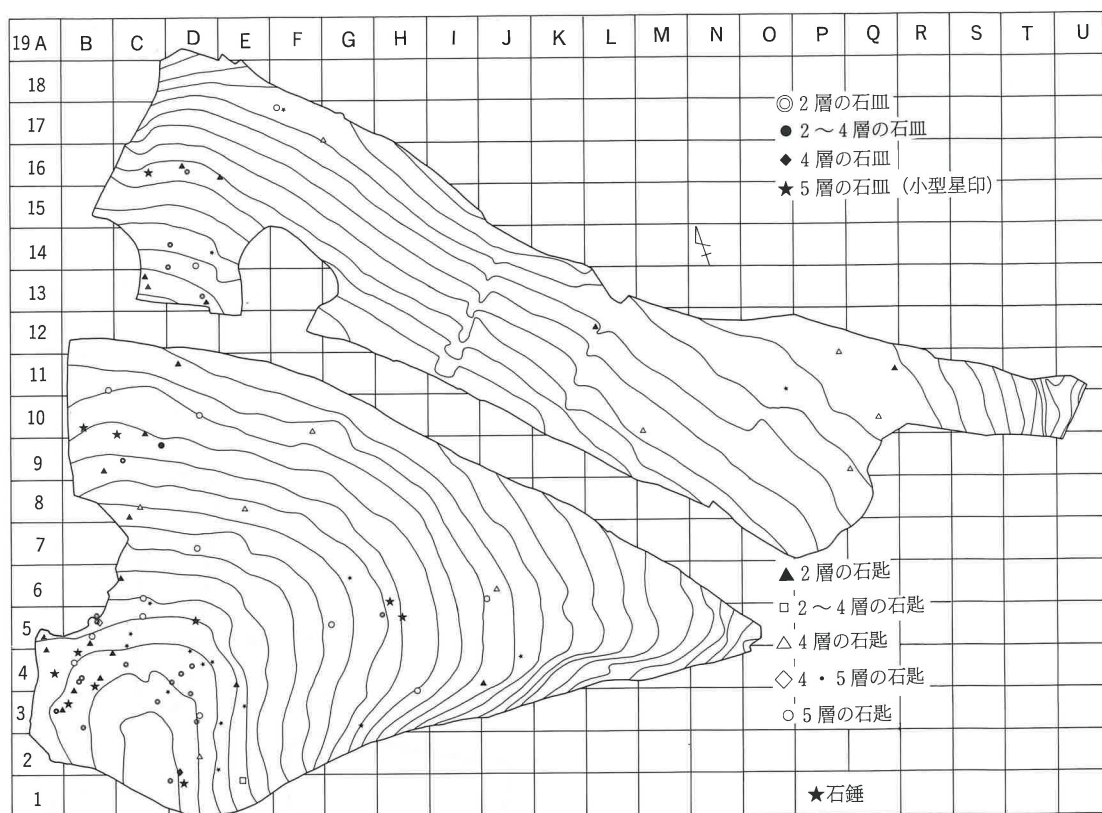
第164図 石皿類

○石 鉢 (第173～198図)

674点が出土した。その内、表土・排土等から出土した43点を除く631点の層毎の点数および石材別の内訳は以下のとおりである。

石鉢の層別・石材別構成表 (不詳のものを除く)

合計	安山岩	姫島産黒曜石	ガラス質安山岩	黒曜石	チャート
2 層266点(42.6%)	22(8.3%)	227(85.3%)	9 (3.4%)	5 (1.9%)	3 (1.1%)
2～4層 29点(4.6%)	1 (3.4%)	26(89.7%)			2 (1.1%)
2～5層 9点(1.4%)		8 (88.9%)			1 (11.1%)
4 層116点(18.4%)	12(10.3%)	96(82.8%)	5 (4.3%)	2 (1.7%)	1 (0.9%)
4・5層 22点(3.5%)	2 (9.1%)	19(86.4%)		1 (4.5%)	
5 層189点(30.0%)	16(8.5%)	155(84.2%)	7 (3.7%)	1 (0.5%)	10(5.3%)
合 計631点(100%)	53(8.4%)	531(84.2%)	21(3.3%)	9 (1.4%)	17(2.7%)

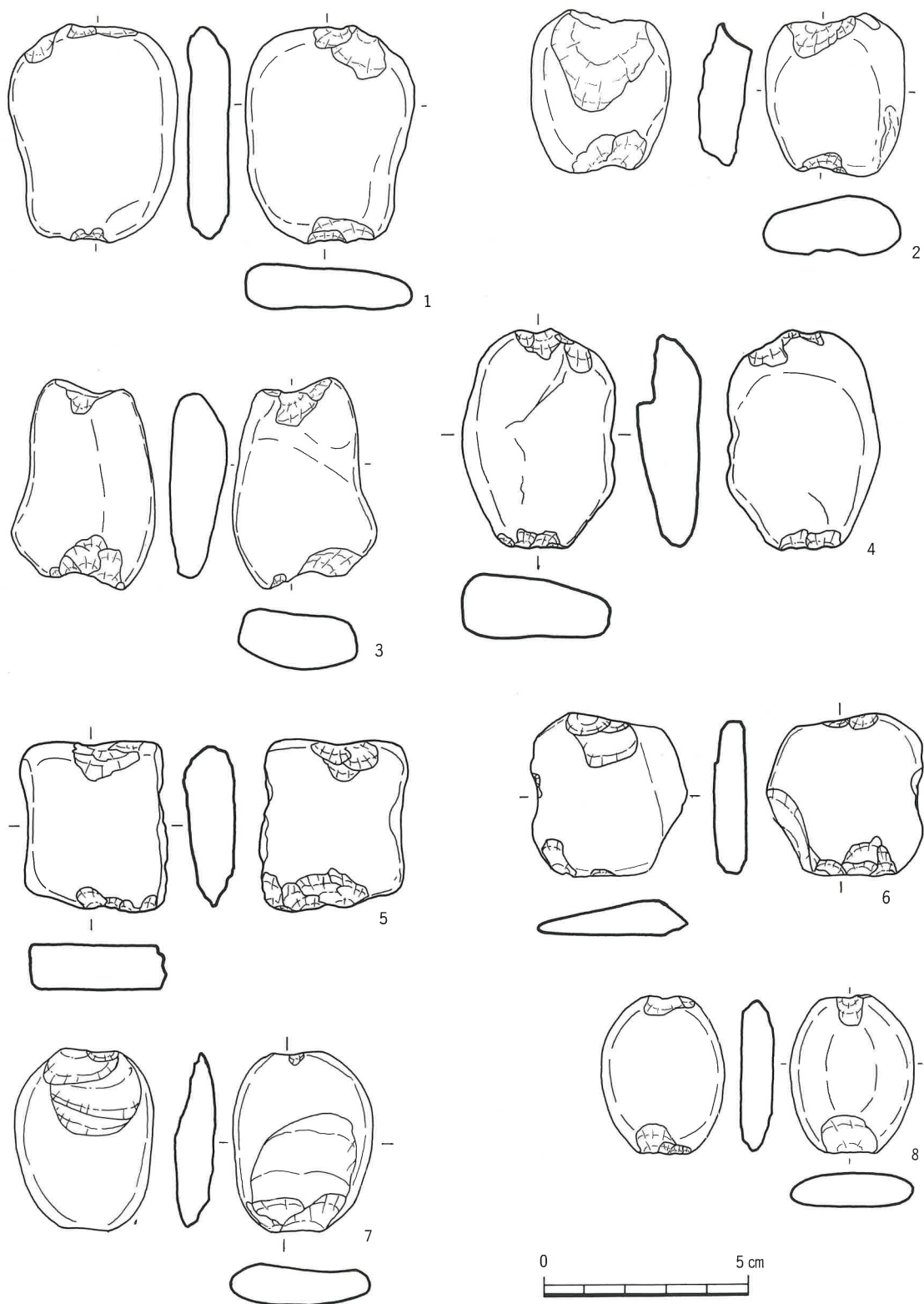


第165図 石皿・石匙・石錘分布図

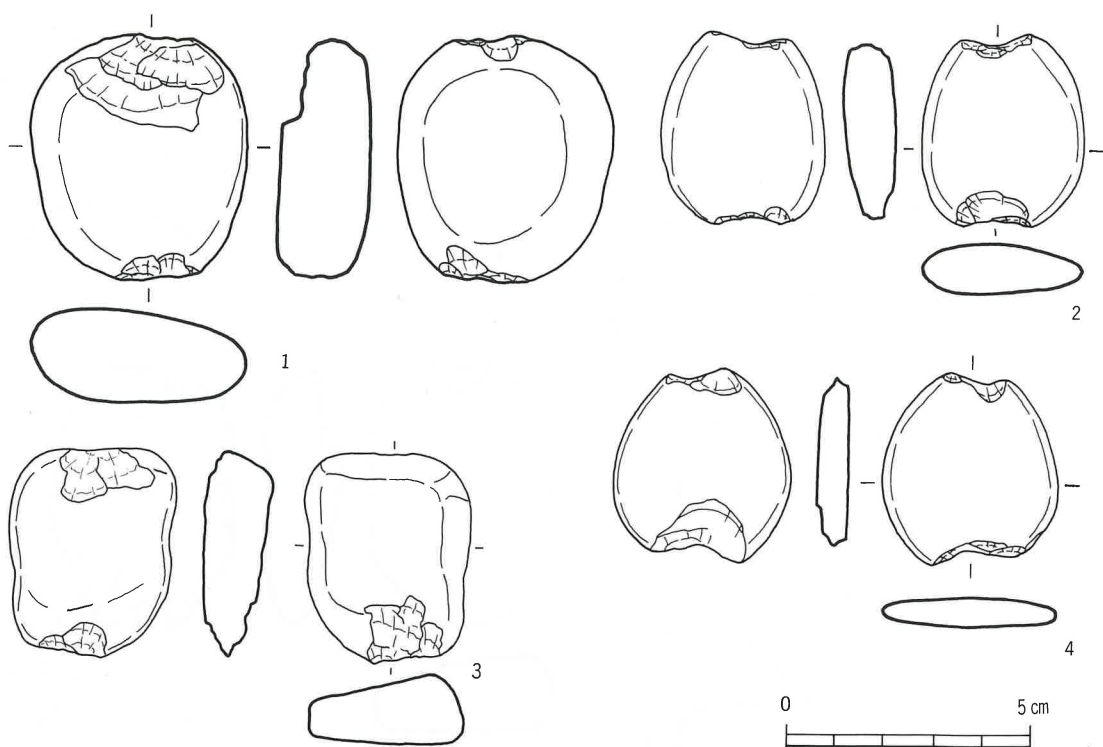
形態的には下部が凹む凹基式が大部分で、柳葉形のもの(第176図12—錐の可能性もある。第177図15・第195図1・18・第197図11・第198図4・11)・トロトロ石器(第196図14・白色のチャート)・石鏃どうか疑問のあるもの(第173図6他)も若干含んでいる。姫島産黒曜石を利用したものの中に1点、局部磨製石鏃がある(第177図3)。未完成の石鏃と思われるものは72点あり、これを除いた中に全長3cmを越えるものが(破損品の場合の推定値を含めて)39点存在する。全点から未製品を引いた残りの602点の中での割合は6.5%を占める。

○礫 器 (第199～207図)

利用素材は円礫・角礫・板状の扁平礫があり、刃部の位置は長軸の側辺に付き削器状となるものや握斧のように先端につくもの等変化に富む。4層・5層から出土したものが44点あり、他に2～4層とした中にも早期のものがあり、2層のものにも浮き上がったと考えられるものが少なからずあり、大部分は早期に属すと考え。中には完全な削器の用途をもつものもみられるが、礫を利用している場合には礫器とした。



第166図 石錘(1)



第167図 石錘(2)

○削 器 (第202・208～211・213～215・219～224・229図)

削器の層別の内訳は次のとおりである。

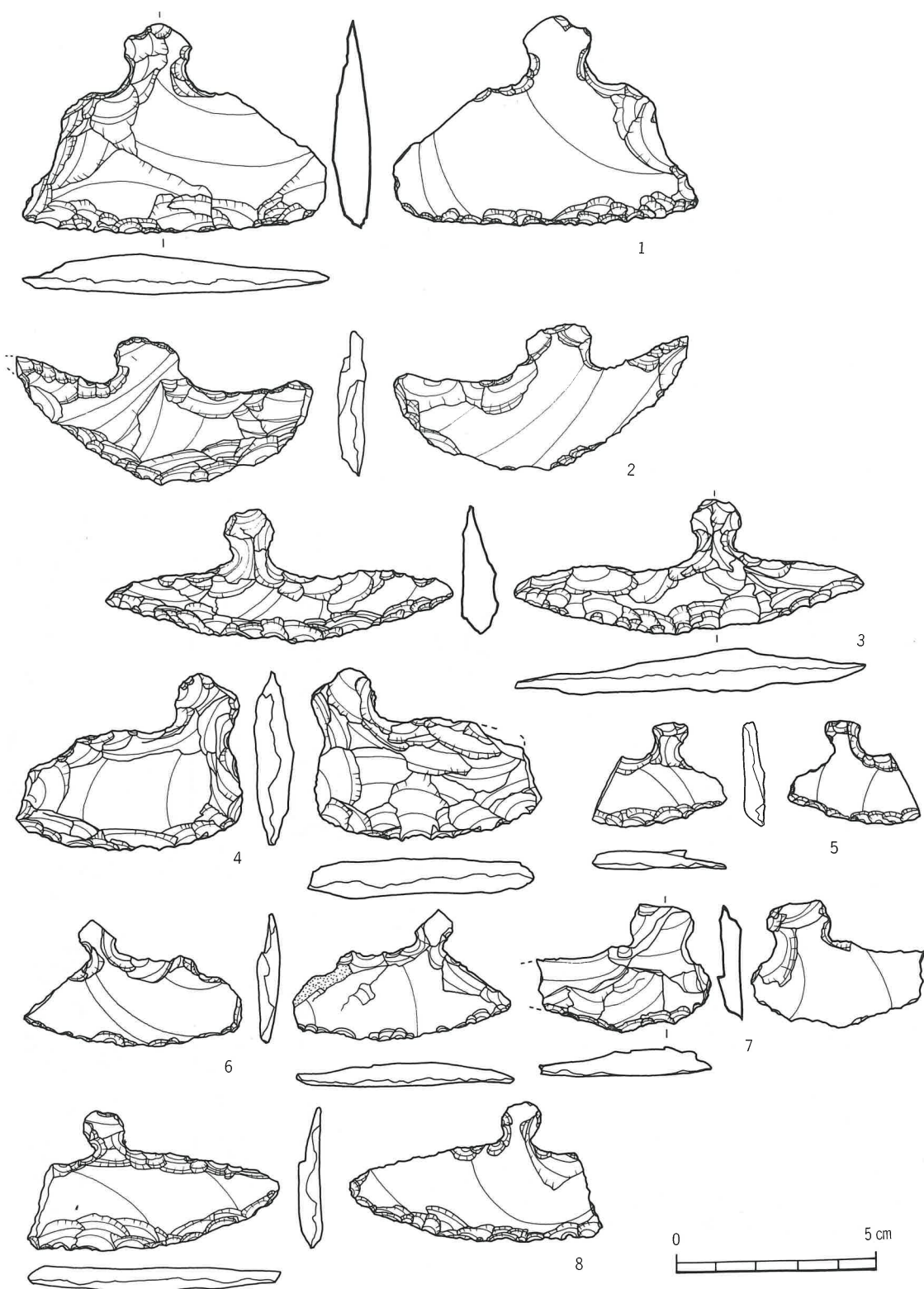
		姫島産黒曜石	ガラス質安山岩	チャート	安山岩	他
2	層	30点(37 %)	16(53.3%)	3(10 %)	2(6.7%)	9(30 %)
3	層	1点(1.2%)				1(100%)
2～4	層	5点(6.2%)	3(60 %)	2(40 %)		
2～5	層	2点(2.5%)			1(50 %)	1(50 %)
4	層	17点(21 %)	9(52.9%)			1(5.9%)
5	層	26点(32.1%)	16(61.5%)	2(7.7%)	7(41.2%)	8(30.8%)
合	計	81点(100%)	44(54.3%)	7(8.6%)	3(3.7%)	26(32.1%)

○尖 頭 器 (第211図8・9、第213'図3、第226図2)

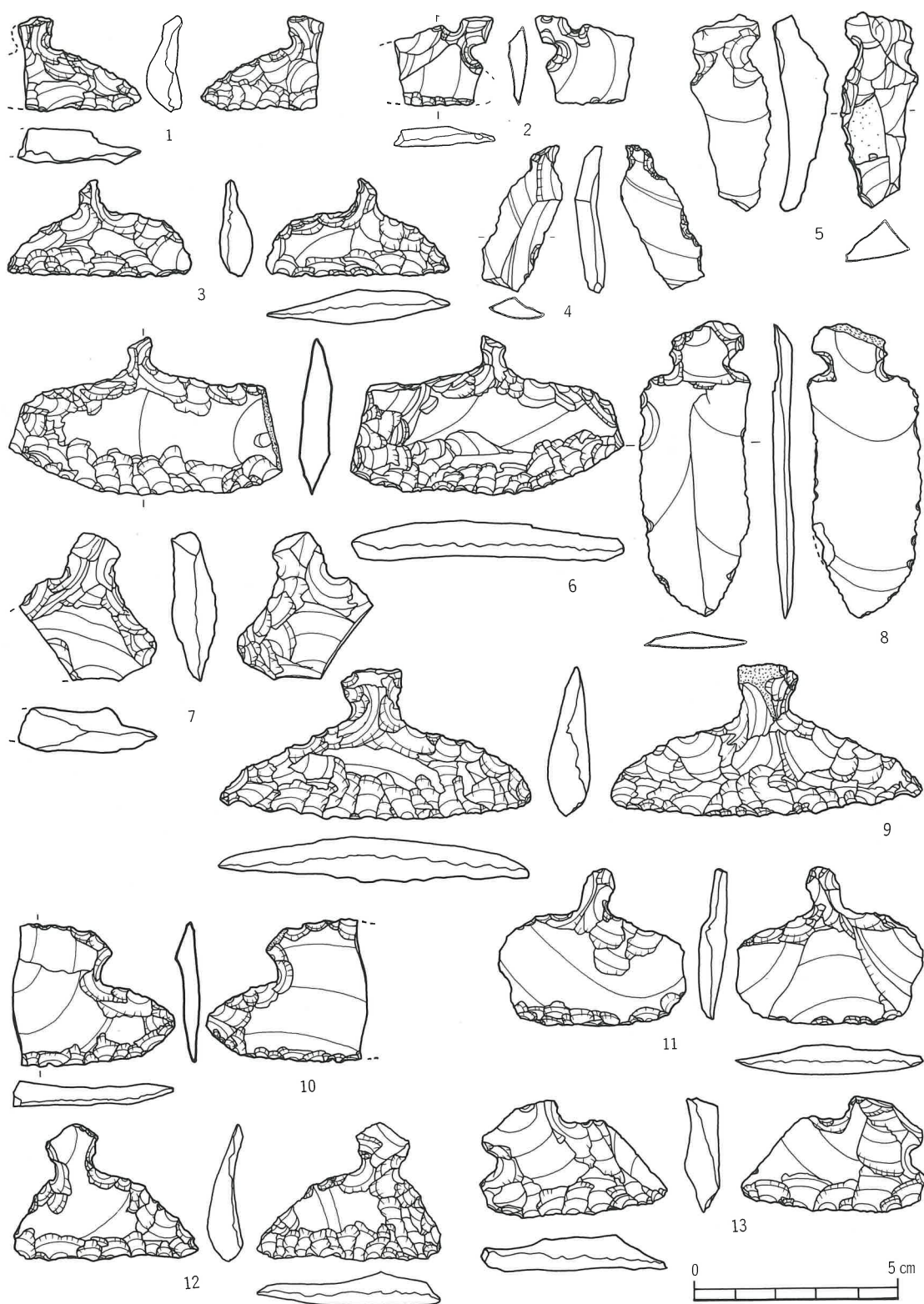
形態的に3種類の尖頭器がある。第211図8・9は似たような形態の細身の安山岩製の尖頭器である。どちらも2層出土。第213'図3は分層がはっきりできなく2～4層としか区別できない場所で出土した半月形の尖頭器で姫島産黒曜石製。第226図2は5層出土で姫島産黒曜石製。



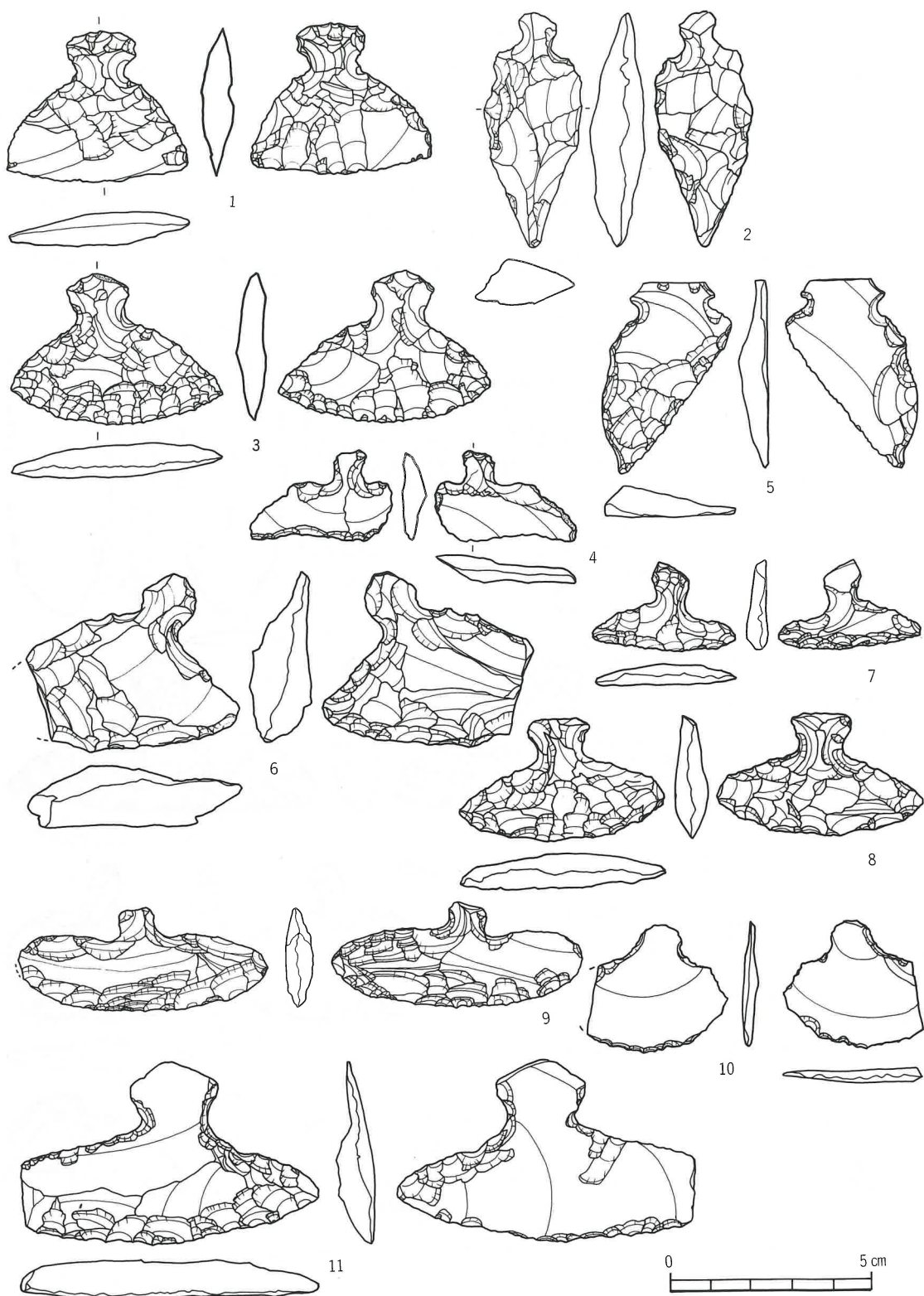
第168图 石匙



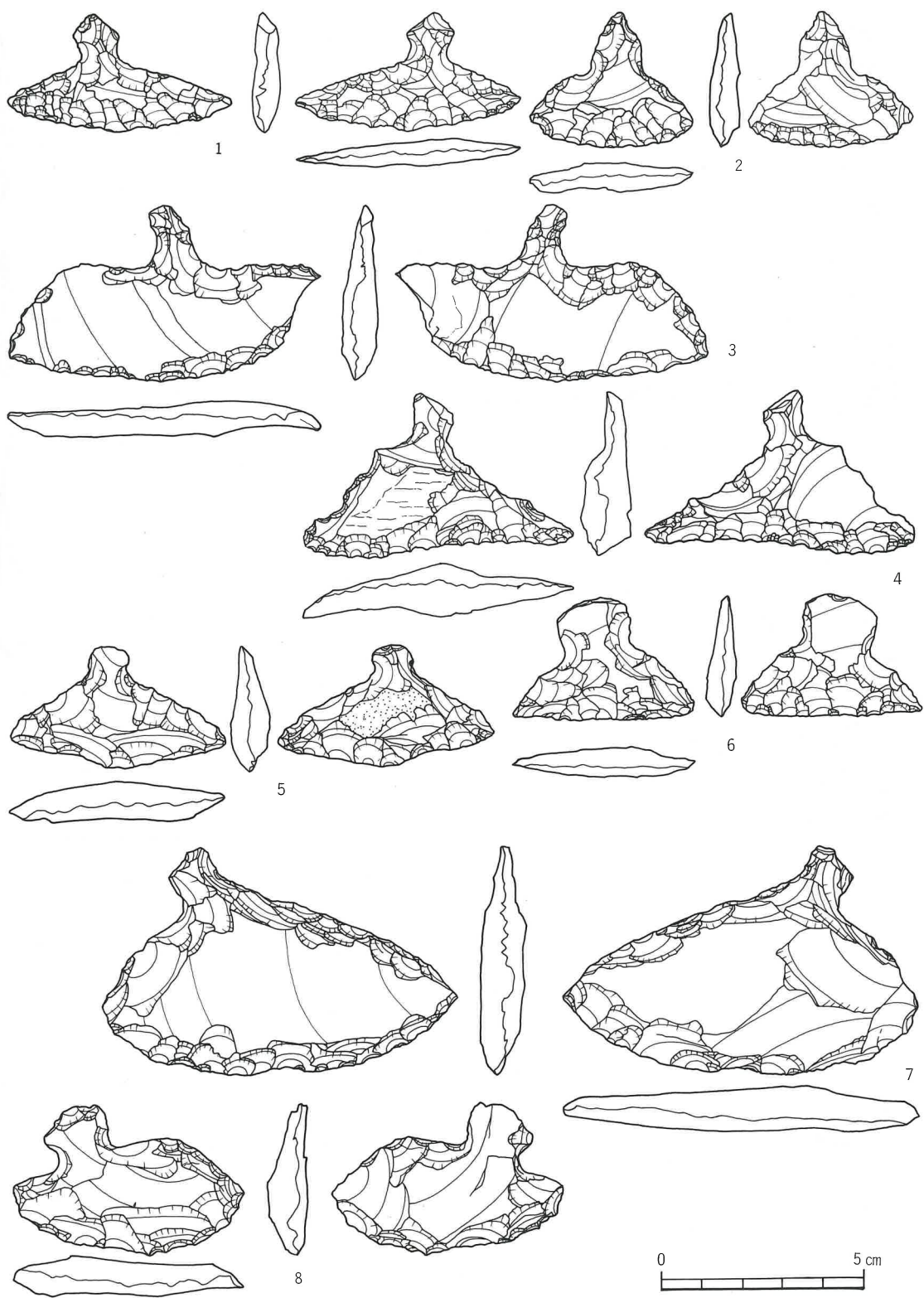
第169图 石匙



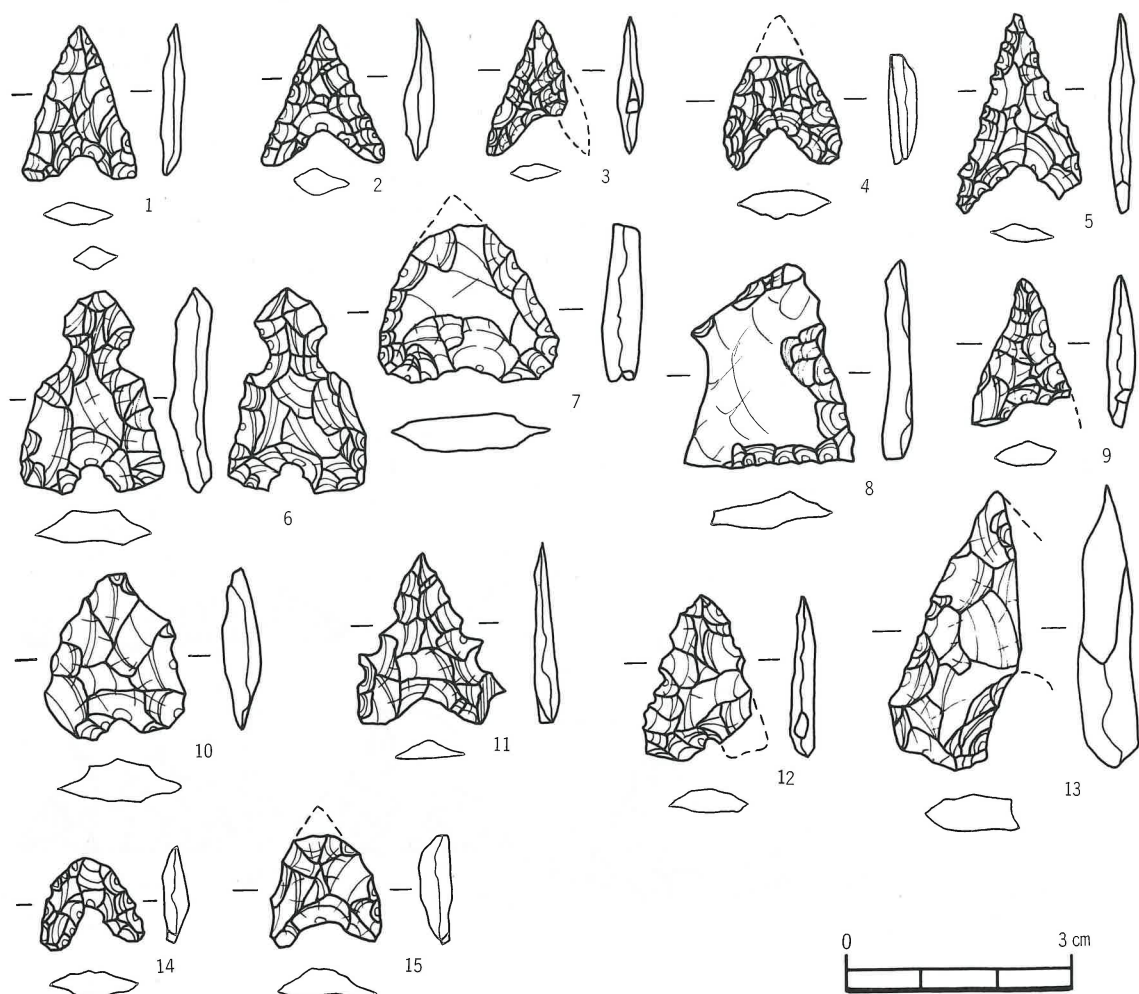
第170图 石匙



第171图 石匙



第172图 石匙

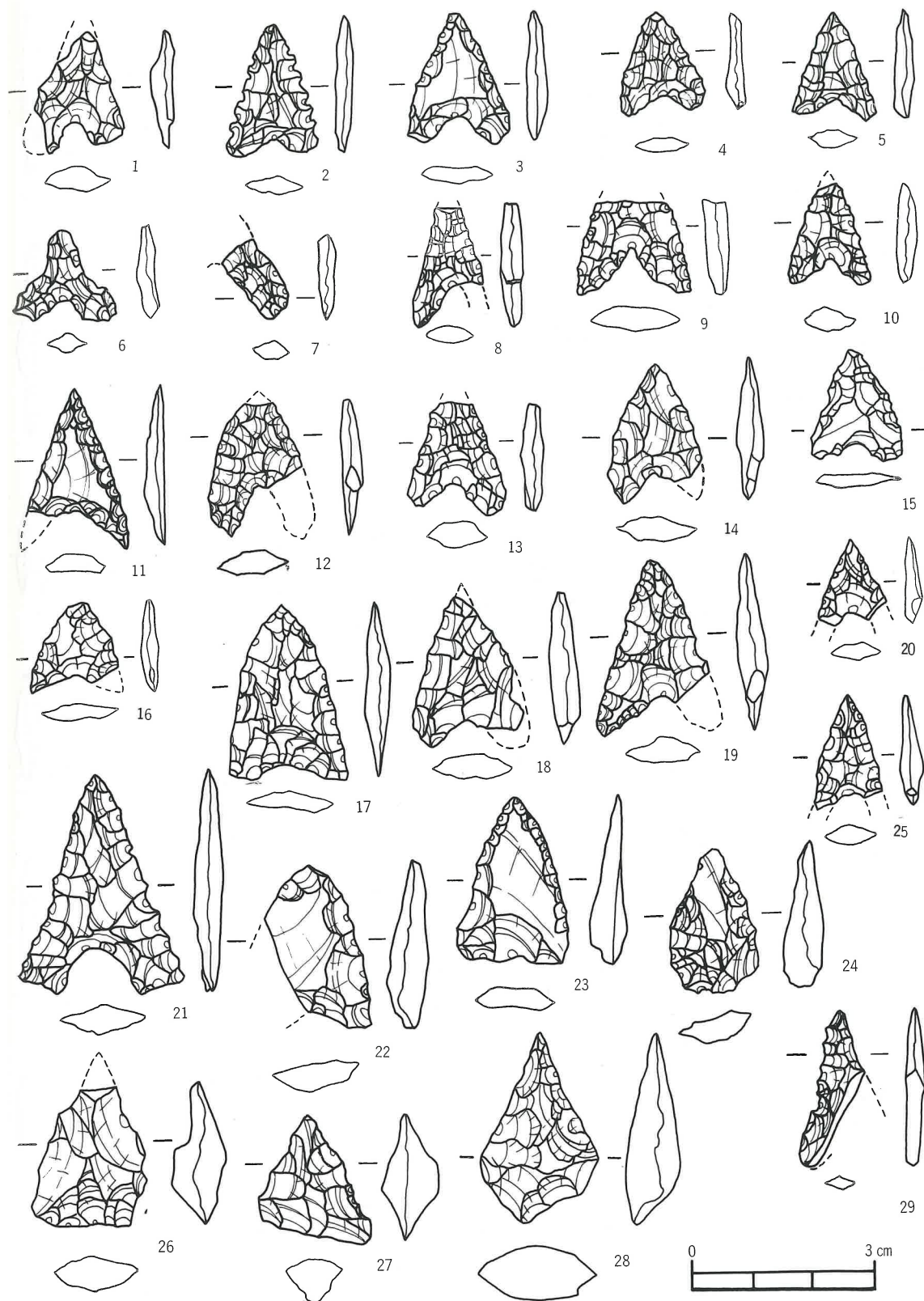


第173図 石鏃（表土・出土層不詳）

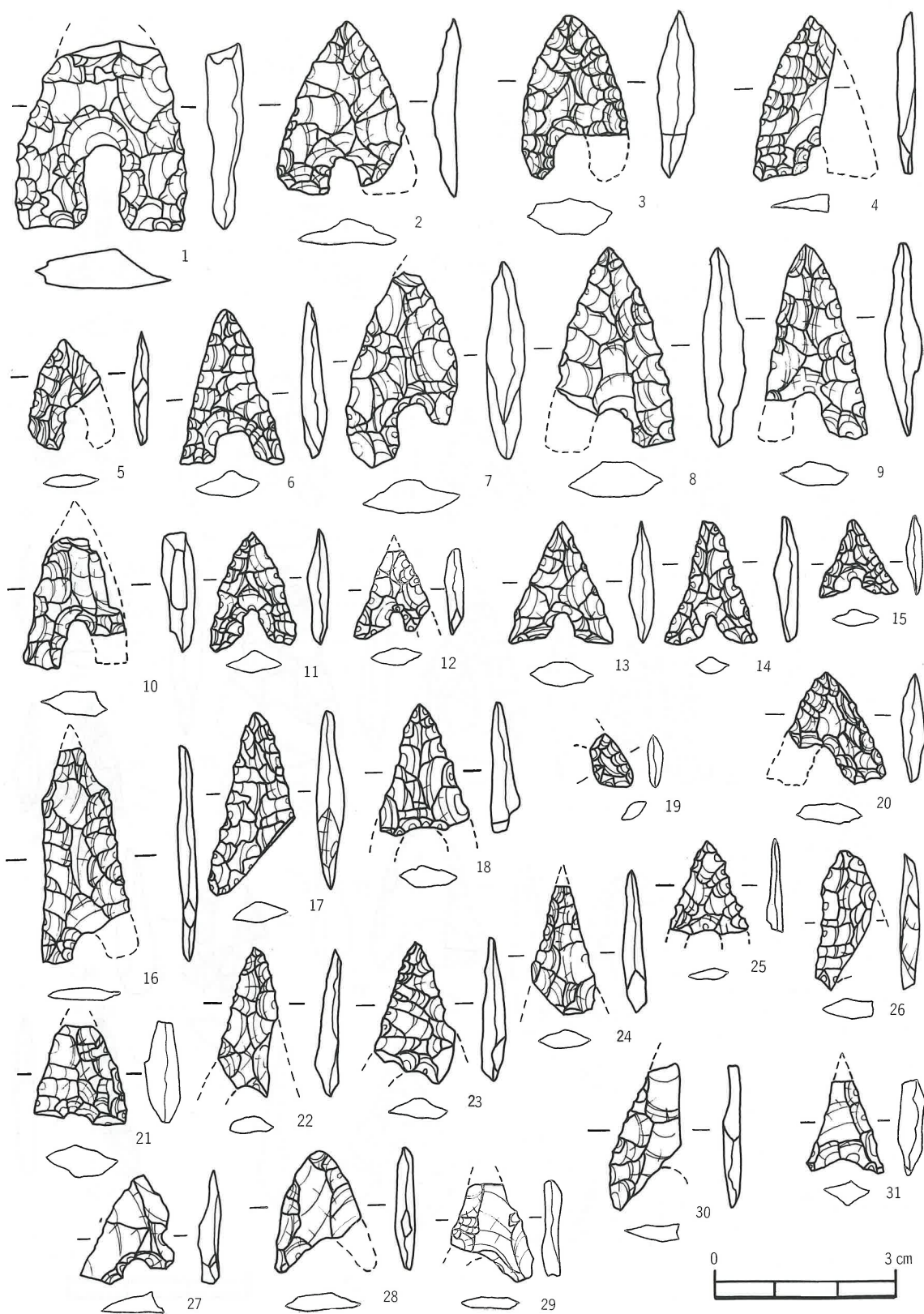
○石 核（第212～214図・第216～219図・第222図・第225図・第22・7229図）

本遺跡から出土した多数の剥片類の中には、整理時間の関係で観察不足のため提示できなかった石核が若干あるので、正確な数値として示せないが、石核の石材としては2層から出土した二ヶ所のデポを含め、全層の中で80%強を姫島産黒曜石が占める。黒い黒曜石は1点だけで、安山岩は4点、ガラス質安山岩は3点である。

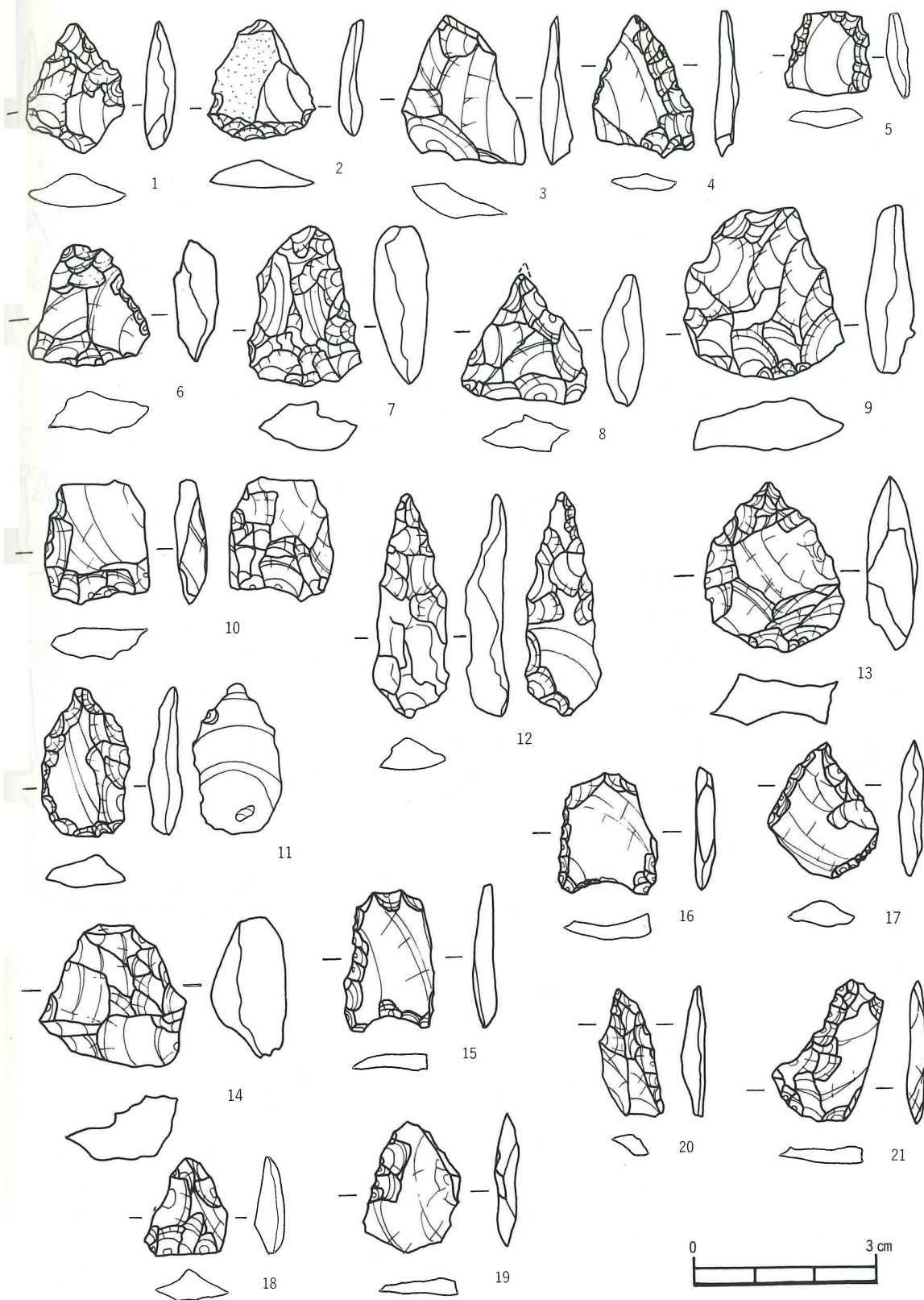
原石としての姫島産黒曜石には円礫と角礫および大型剥片がある。まず円礫には石鏃大のものしか作れないような小型品（第217図5・第220図3等は完形。第213図1のように現実に剥離作業を行なったものがある。第225図5は剥離を一度行なっている。）から、握りこぶし大のもの（第218図4）、規模不明のものがある。角礫は大ききの分かる例としては第217図1のように握りこぶし大のものがあるが、円礫のような小型品はないようである。第219図1は厚い剥片で



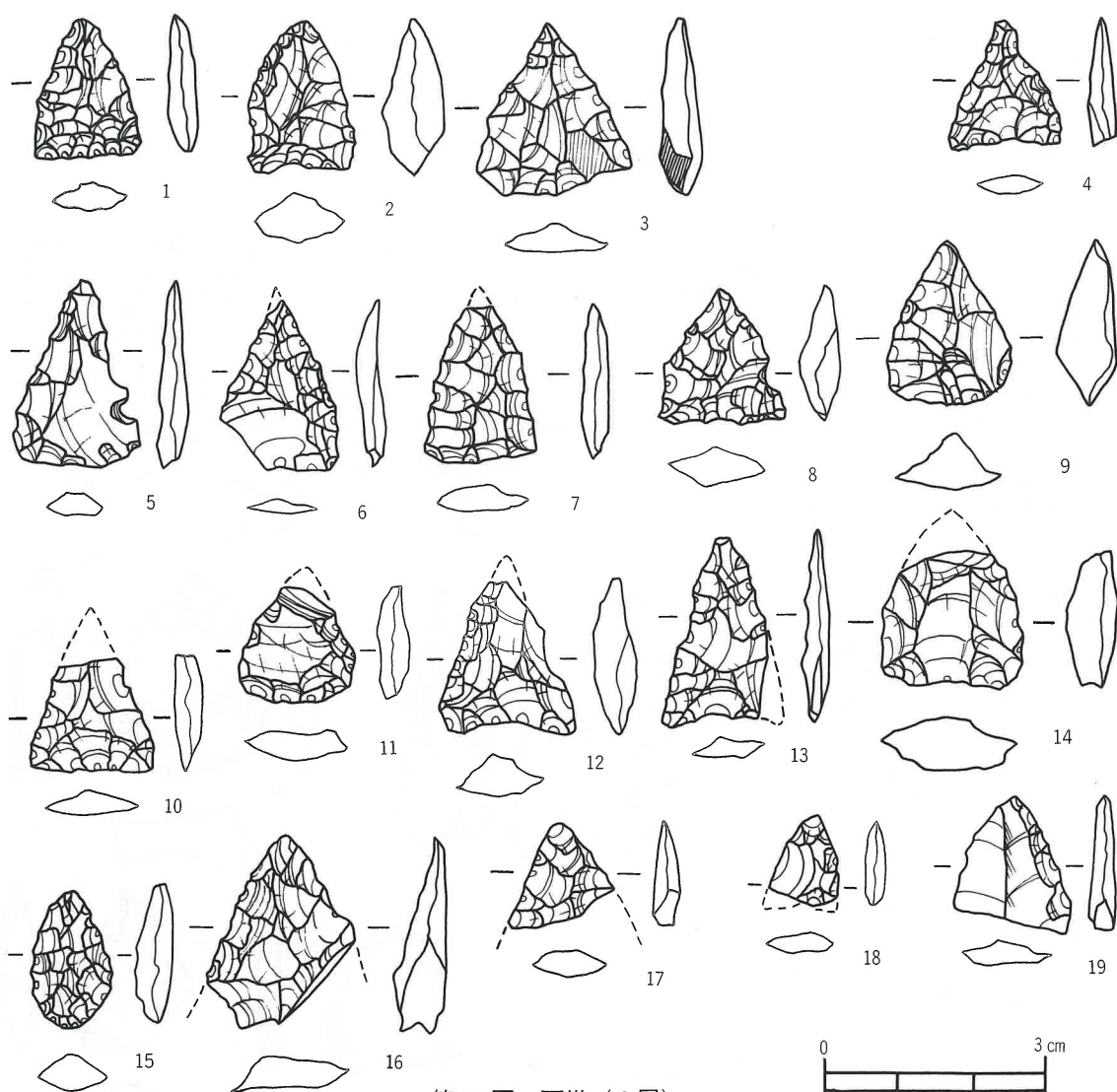
第174図 石鏃 (1~4層)



第175図 石鏃（2層）



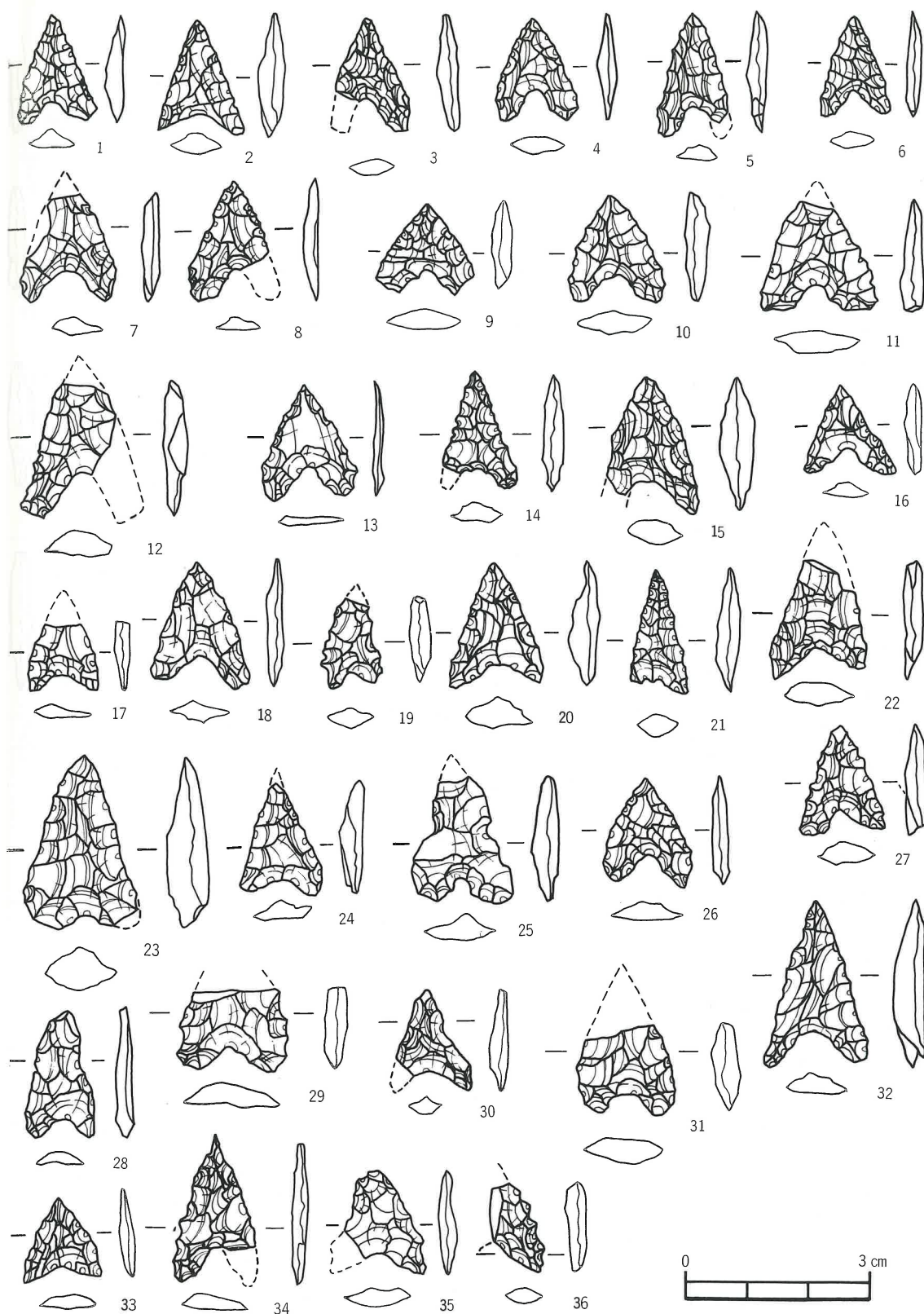
第176図 石鏃（2層）



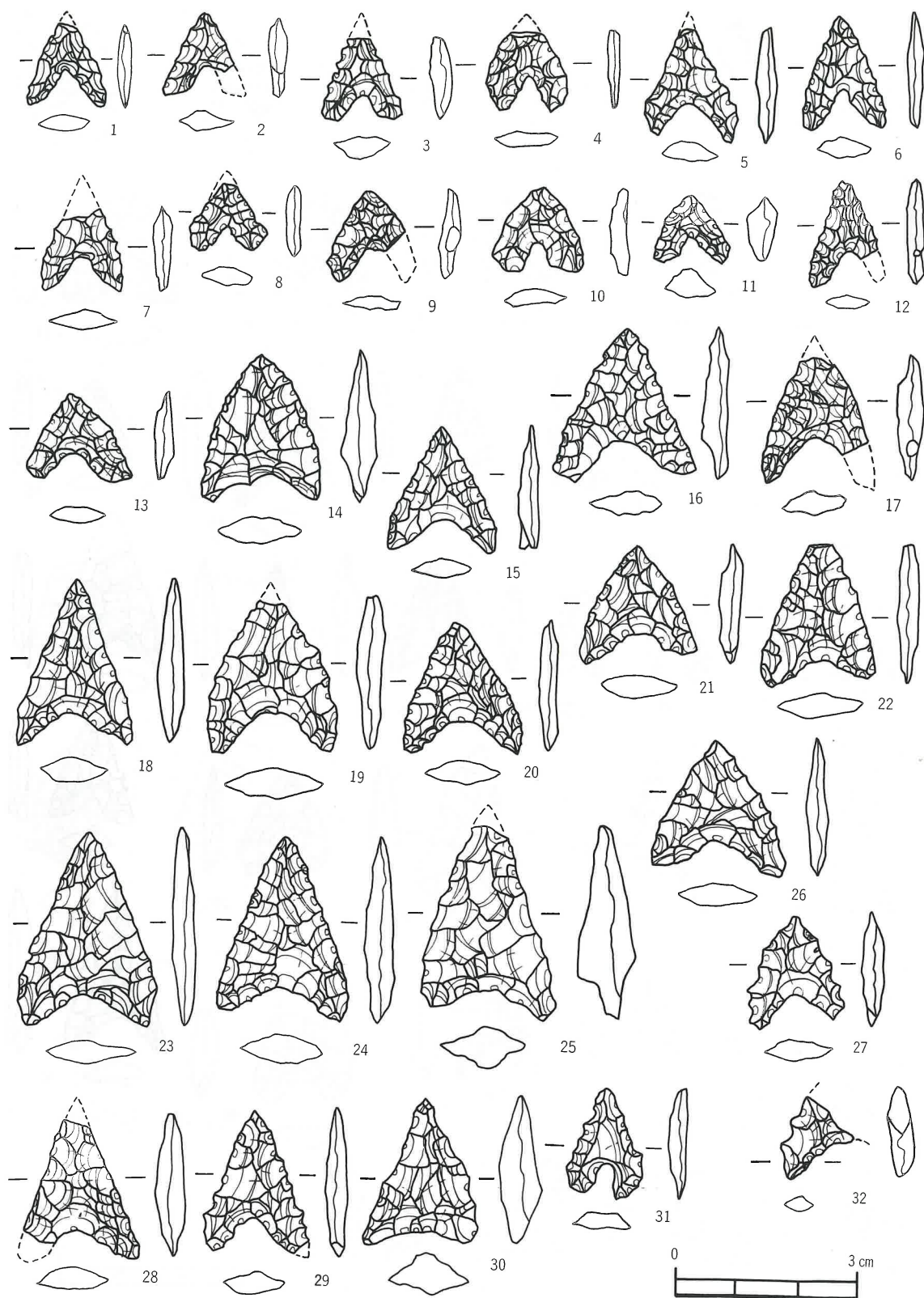
第177図 石鏃（2層）

ある。確証はないが、1側辺に使用痕の小剥離が見られるだけであり素材として持ち込まれた可能性がある。第228図は5層出土の安山岩の剥片素材である。肉眼観察では香川県金山産の石材である。

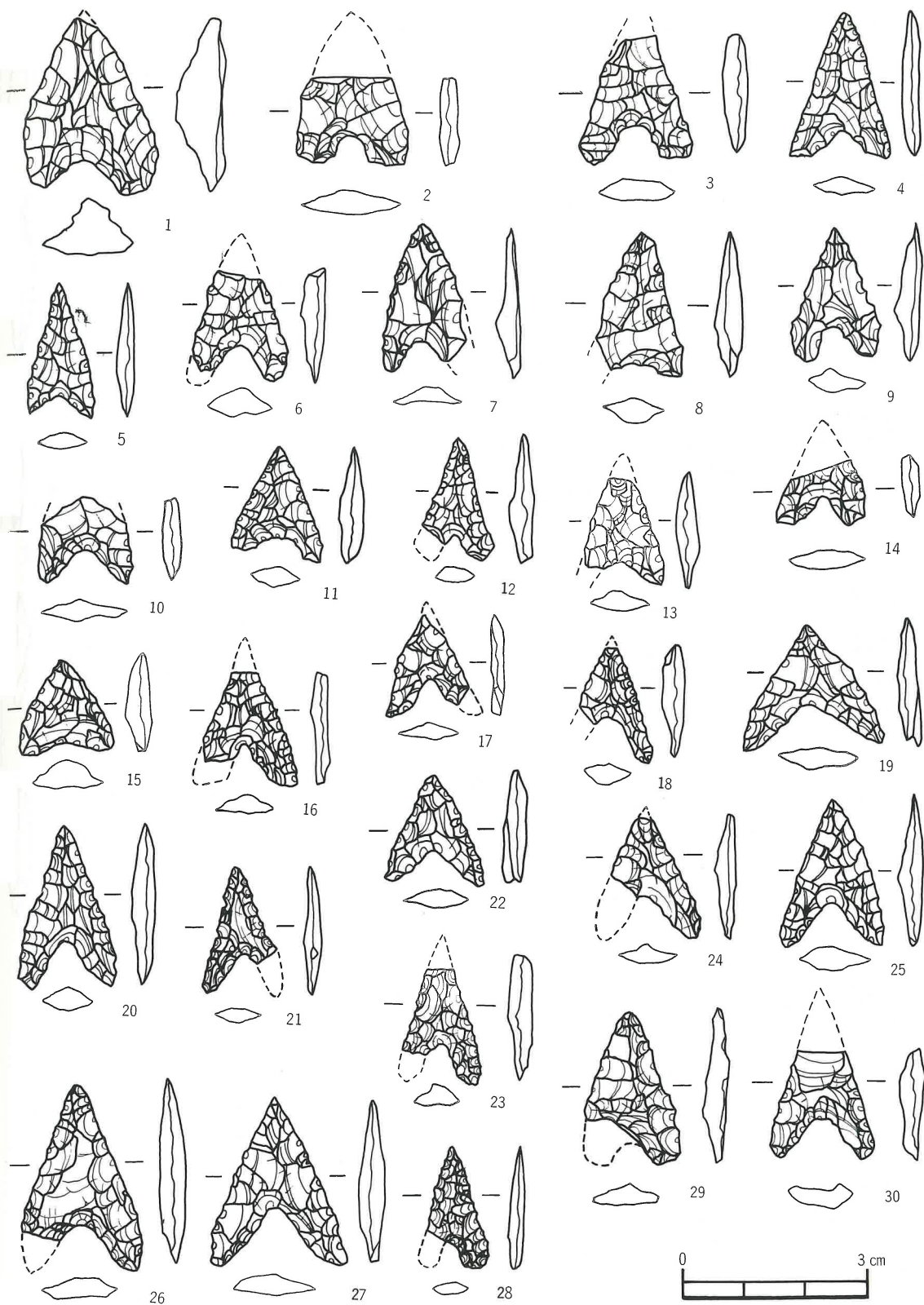
技術的に見た石核には、まず、剥片素材のもの（礫面を残すものを含む）がある。これには両面から求心的に剥離するもの（第214図4・第217図4・6・第218図3・第227図2・3）、主要剥離面側あるいは片面に求心的な剥離を加えるもの（第212図1・2・第218図4・第225図7・第227図5）、剥片の一部の側面の両面で剥離を繰り返すもの（第218図2）、剥片の1面を打面として剥離を繰り返すもの（第216図3・第222図1・第227図4）がある。次に原礫面に対し打面転移を繰り返すことにより球体状をなす石核がある（第213図3・第228図6）。この他、他の石器の未製品の疑いがあるもの（第227図6他）がある。



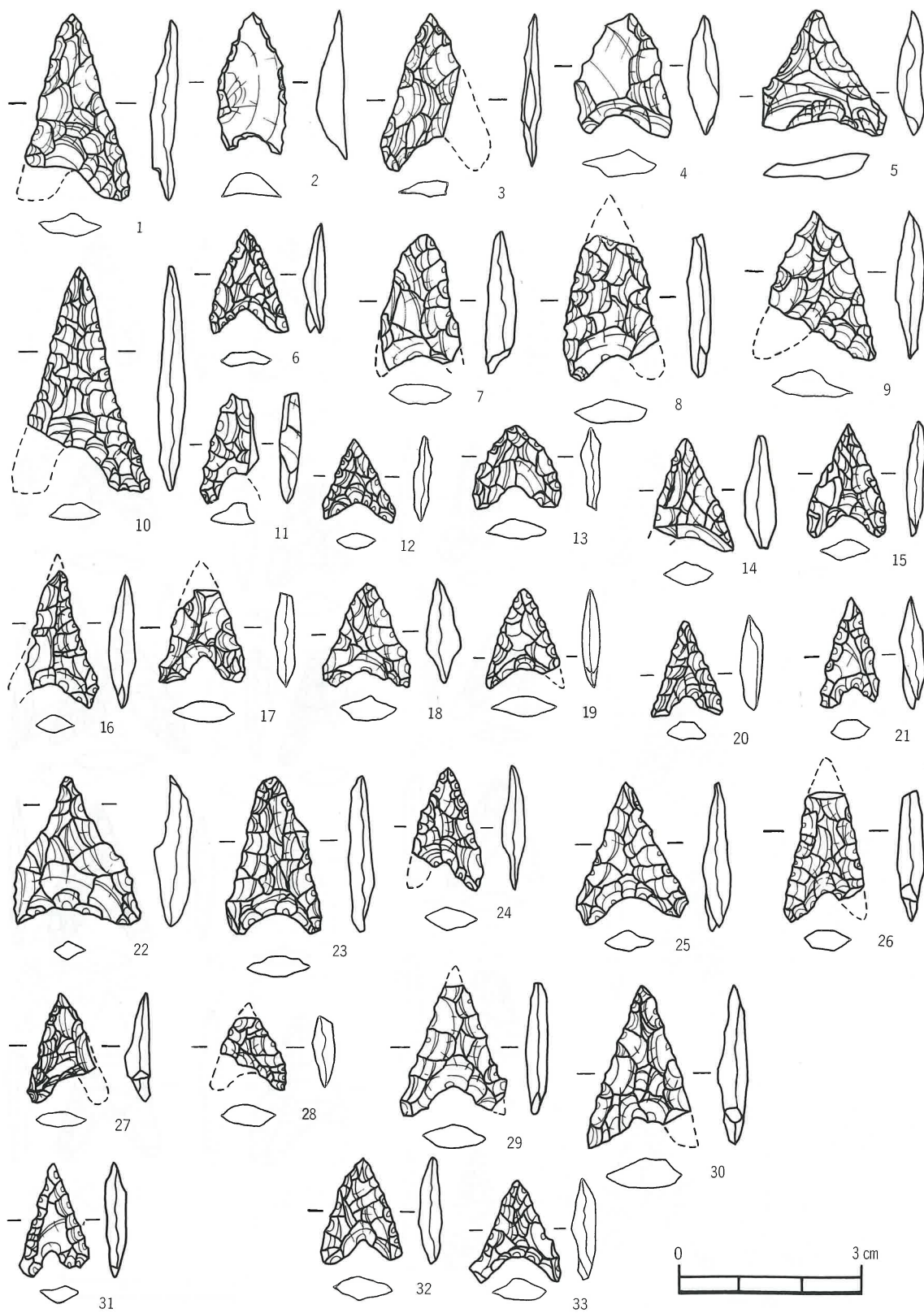
第178図 石鏃 (2層)



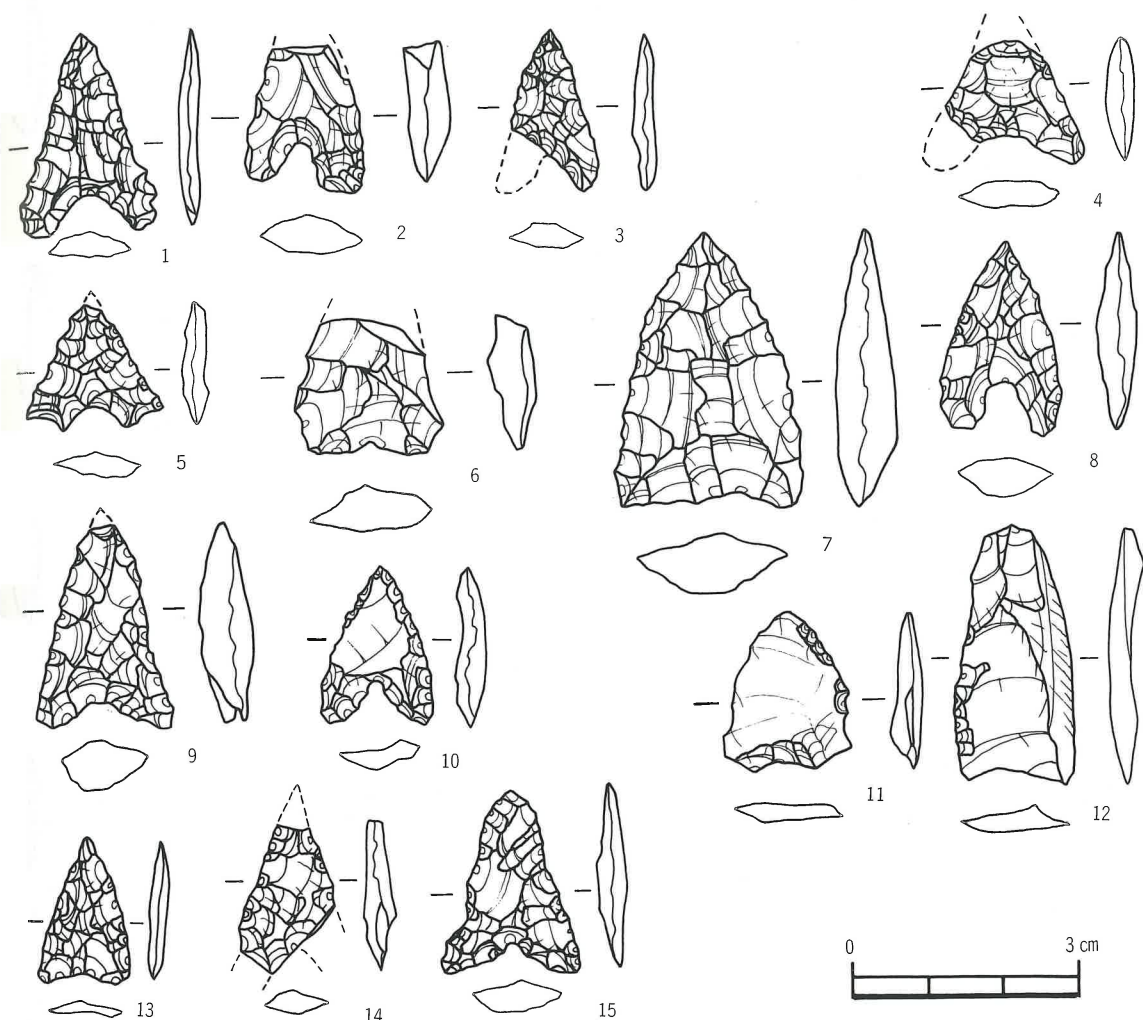
第179図 石鏃 (2層)



第180図 石鏃（2層）



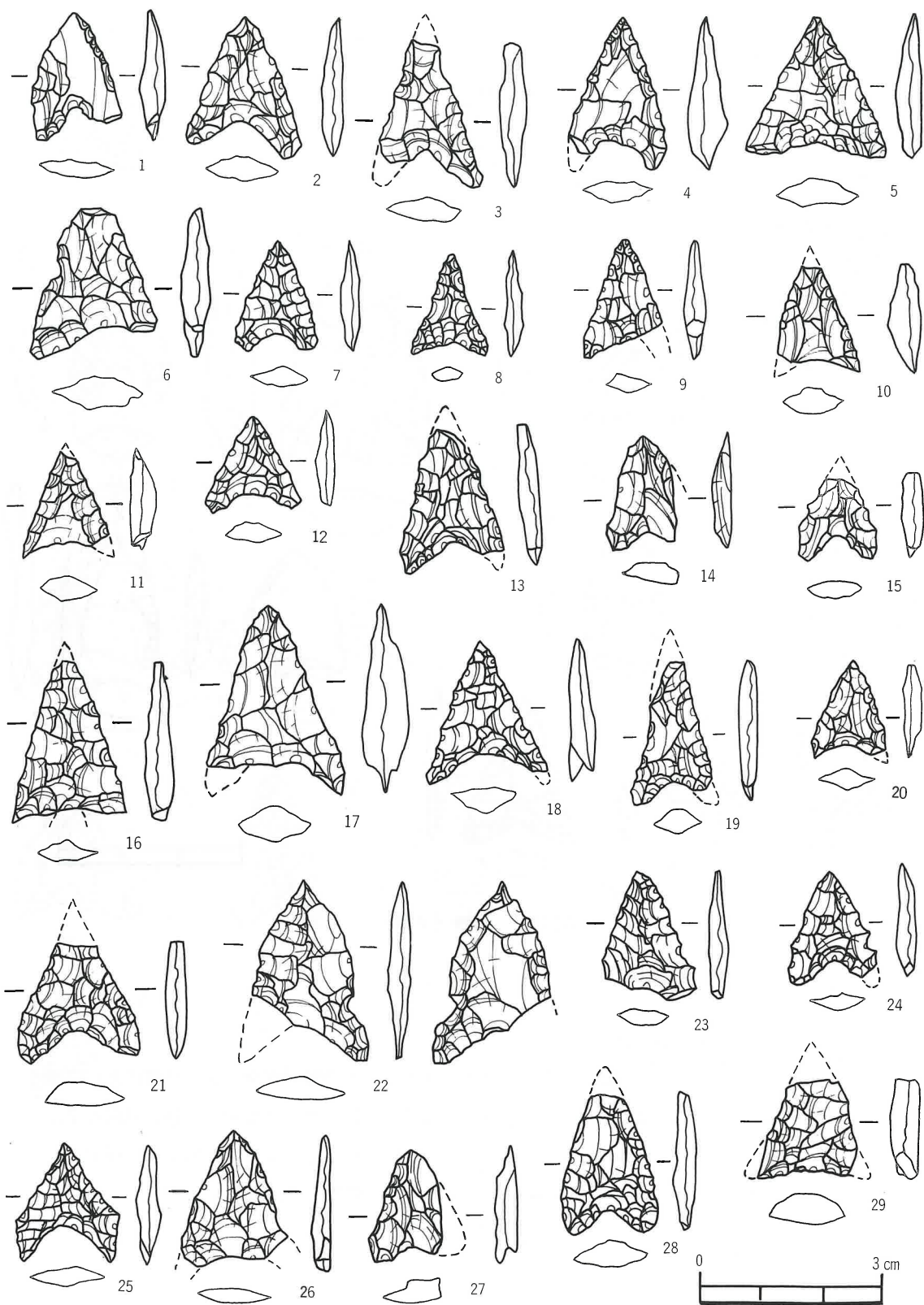
第181図 石鏃 (2層)



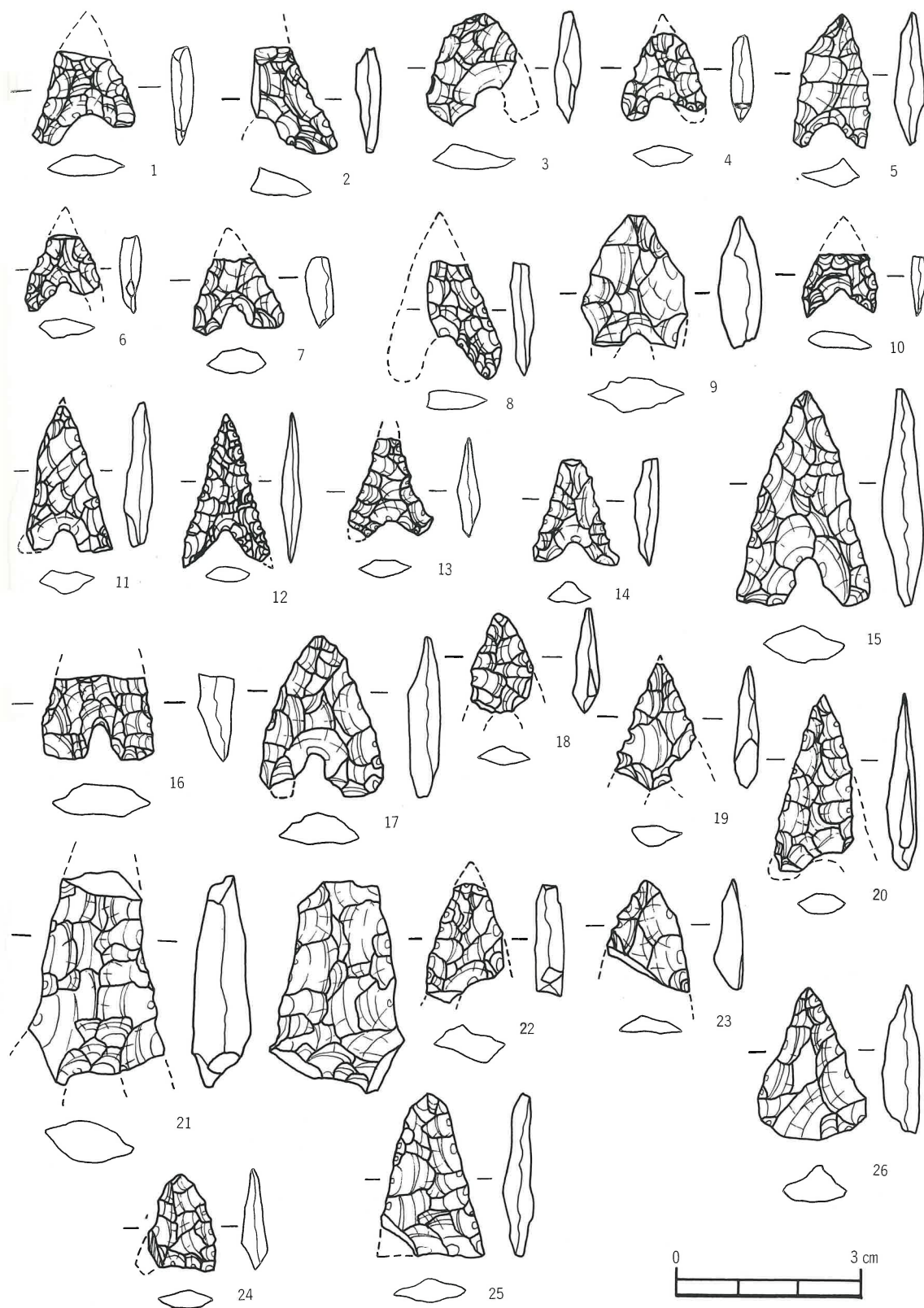
第182図 石鋏（2層）

○石 斧（第226図1・第230図）

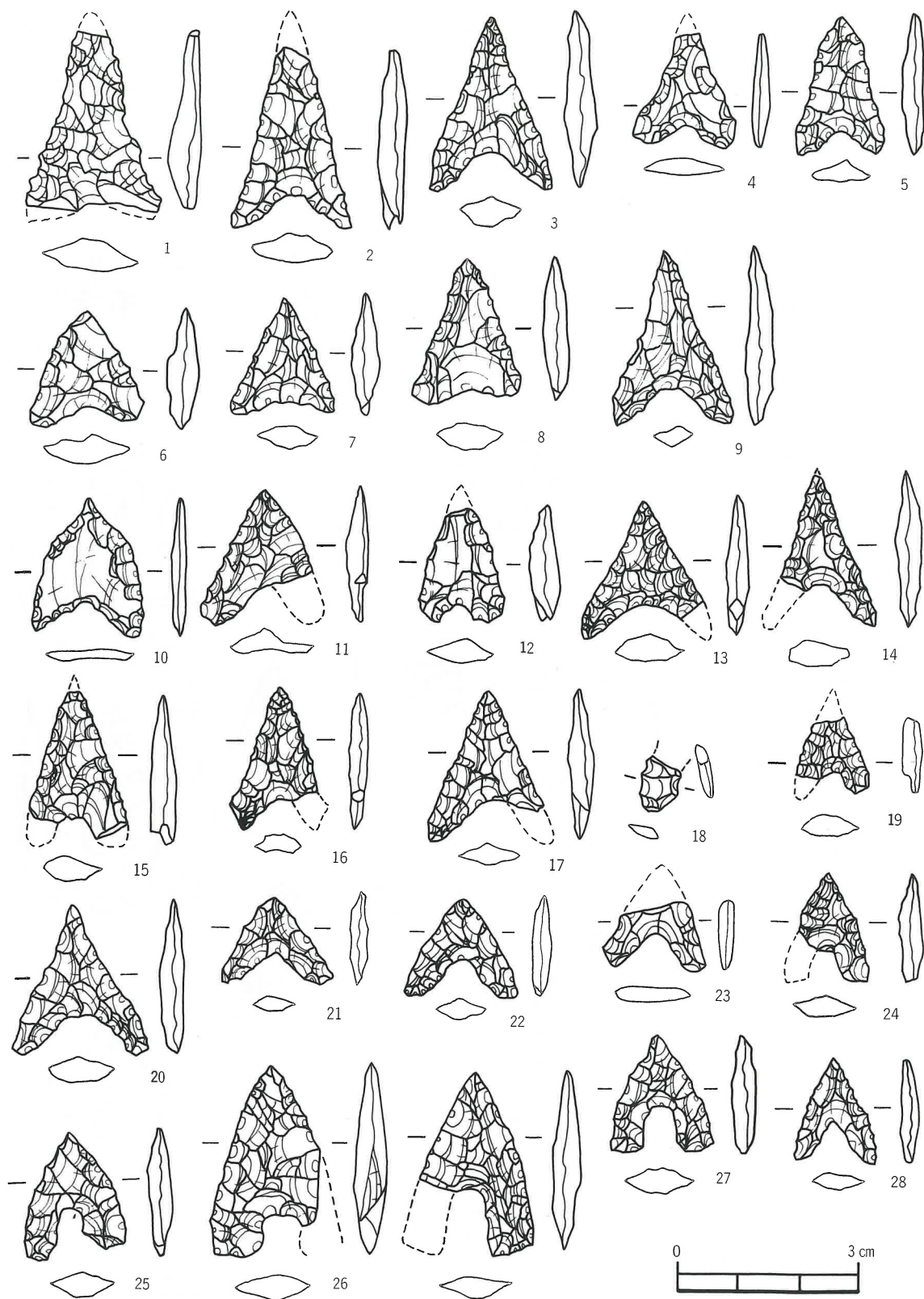
石斧は2点出土した。第230図は3 D区の2層出土で、表面の風化が激しい。刃部付近だけは研いている可能性がある。第226図1は3 C区の5層出土。打ち欠いて整形した後、刃部と平坦面を中心に研いている。敲打痕は認められない。二つに折れた後も基部を再加工して利用した片刃石斧である。これと同じ石材の石斧が早期の竹田市下菅生B遺跡他から出土している。



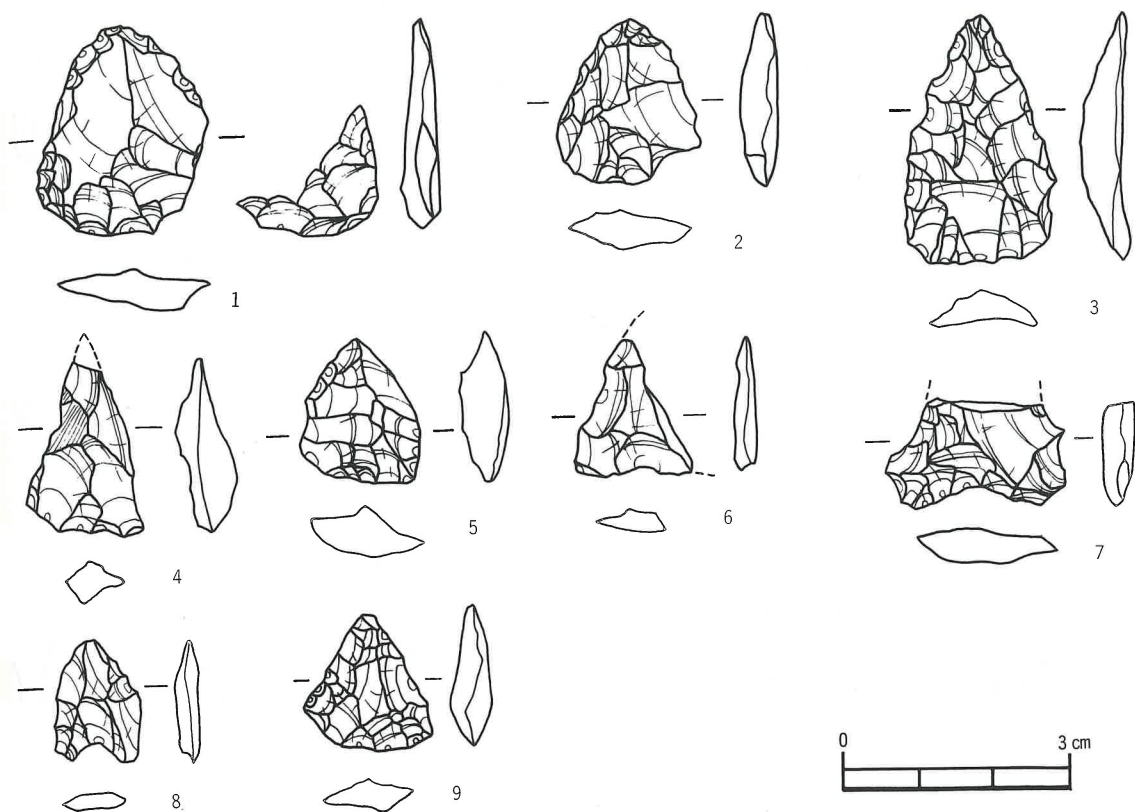
第183図 石鏃（4層）



第184図 石鏃（4層）



第185図 石鏃 (4層)



第186図 石鏃（4層）

○環状石斧（第226図）

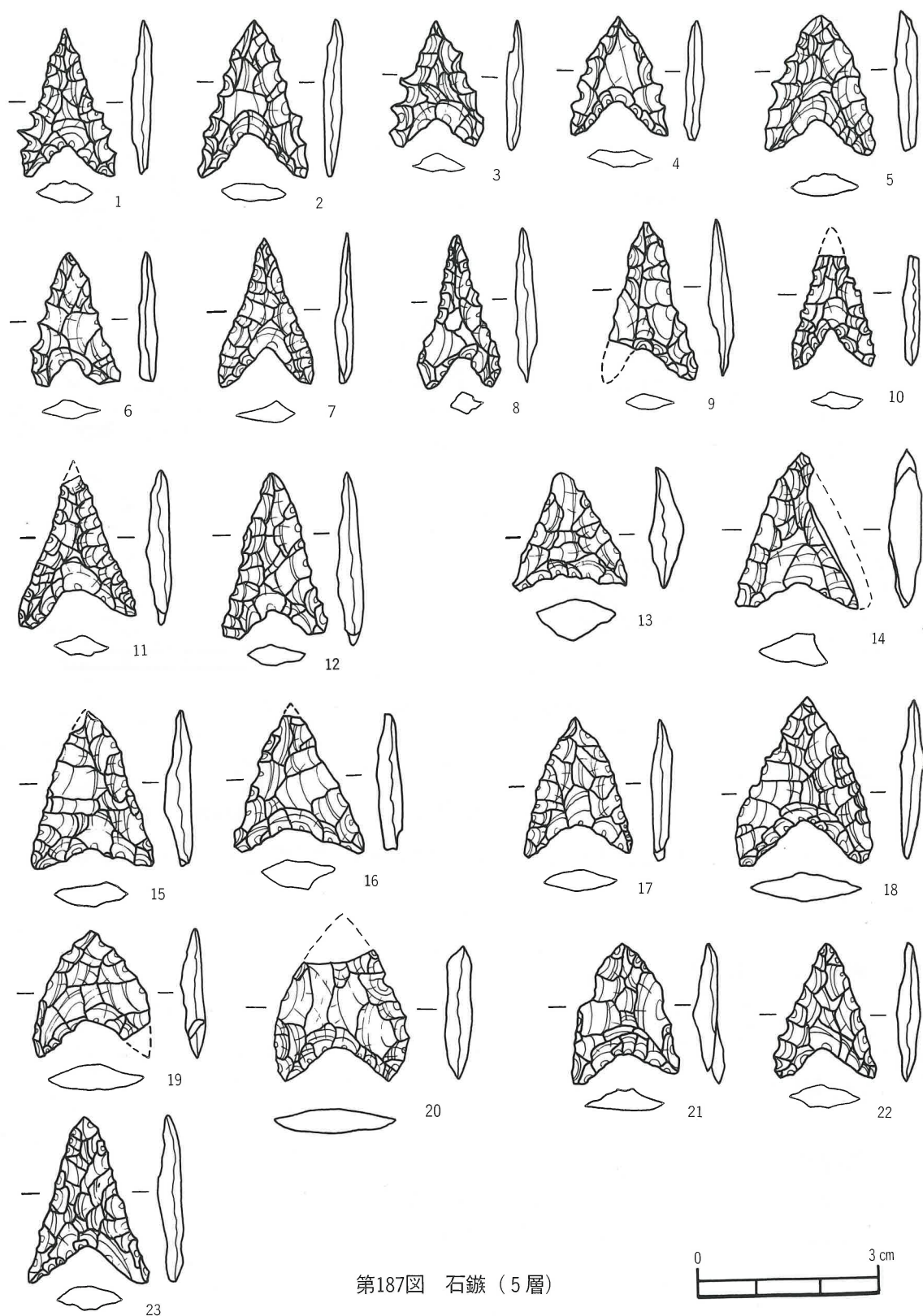
13～14・C～D区の表土から出土した。全体の半分以下の破片で、a面は新しい傷が多い。刃部周辺には使用痕の剝落が両面に認められるが、本来表面は総て磨かれていたらしい。推定直径10.6cm・厚さ2.0cm。石質は砂岩。

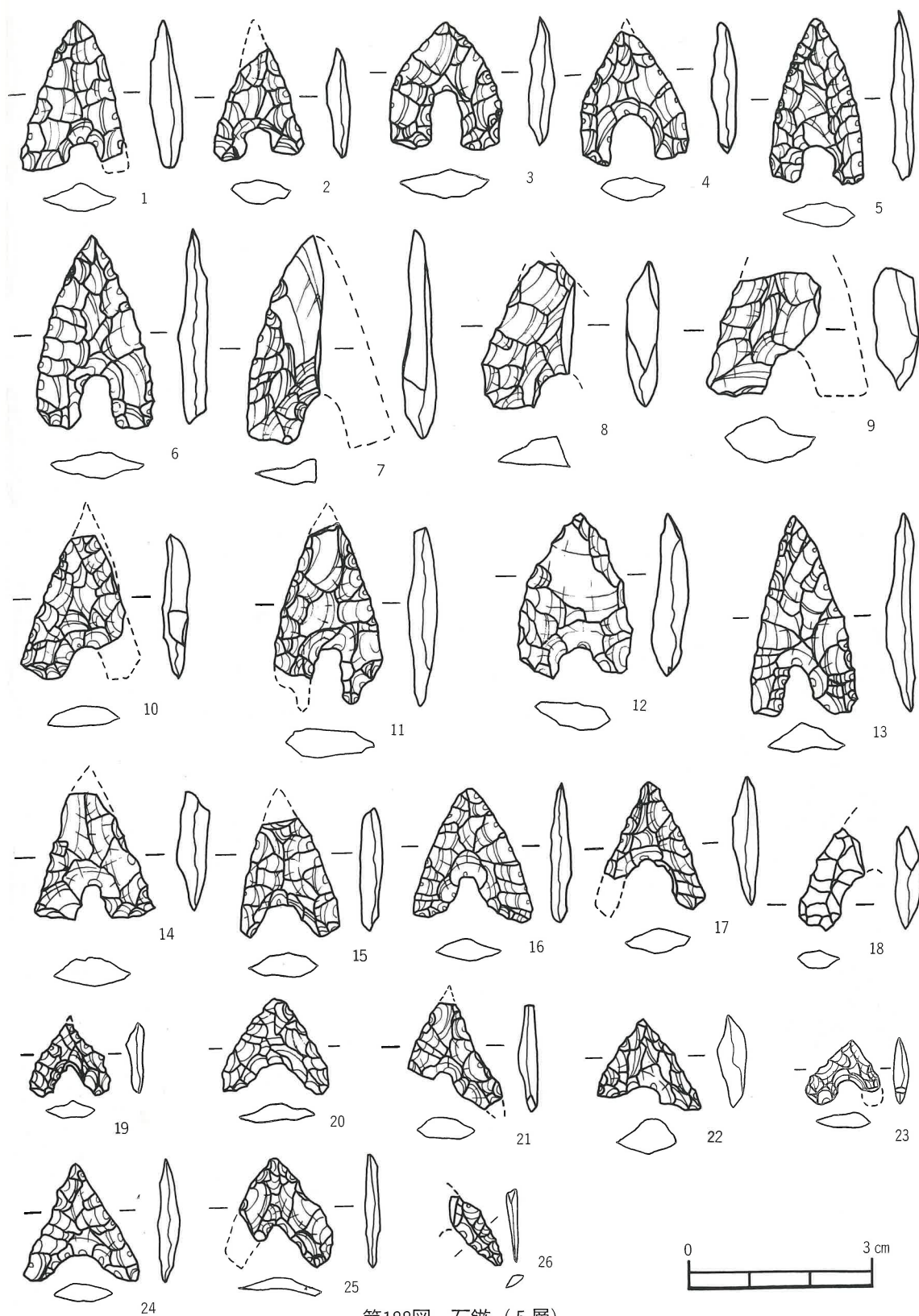
○装飾加工石製品（第238図1）

5 A区の2層から出土した。結晶片岩を平面が長半円形になるように加工した扁平な石製品である。直線部の縁に刻目を入れ、平たい面には曲線的な溝を全面に削り込んでいる。ながさ8.8cm・幅1.9cm・厚さ0.8cm・重さ18g。

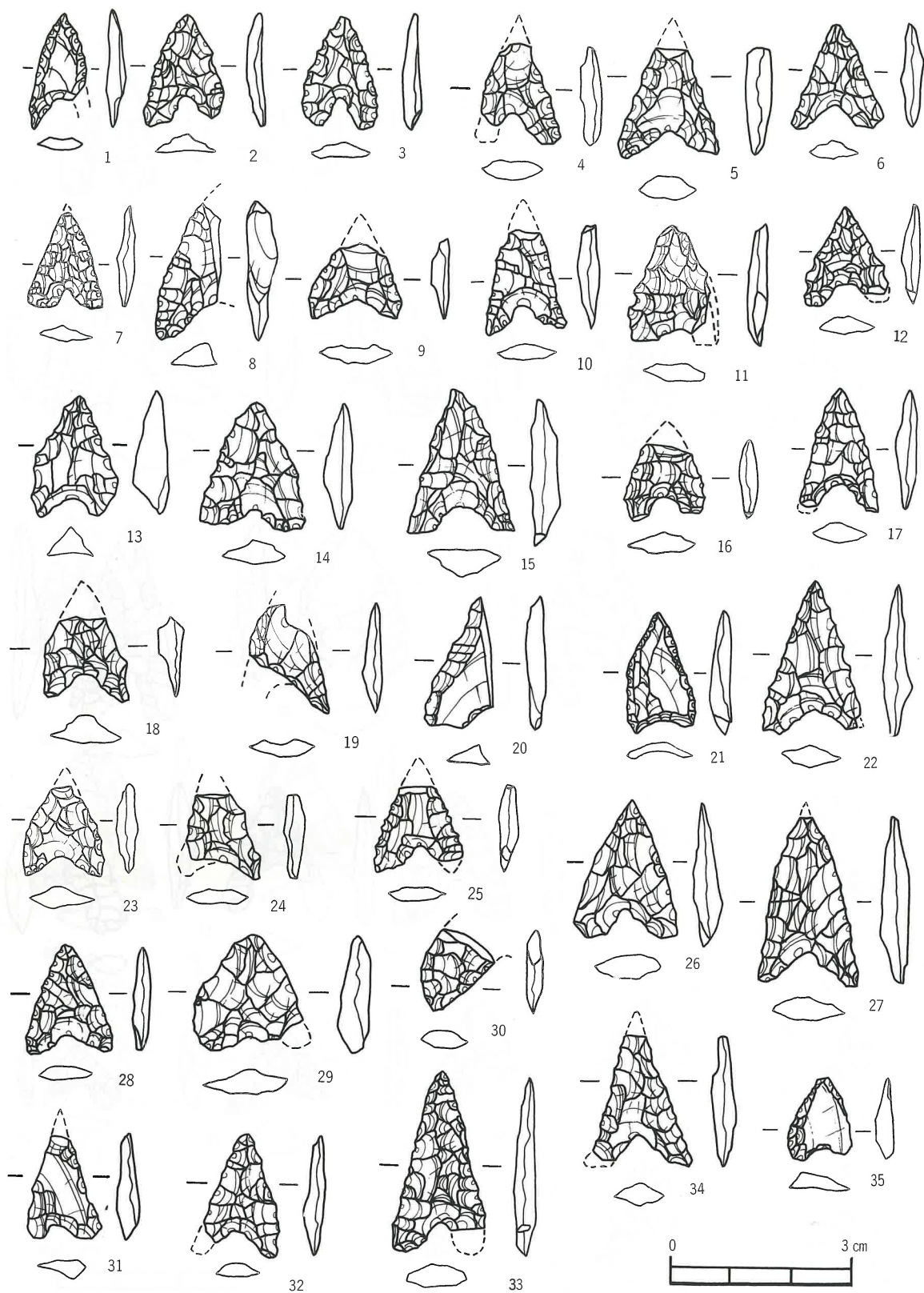
○蛇紋岩円礫（第238図2・3）

蛇紋岩の円礫が2点出土している。遺跡の周辺には蛇紋岩の産地はなく、縄文時代に持ち込まれたものである。2は6 C区2層出土で、自然のままの状態である。3は6 G区5層出土で、両側面に図の矢印の方向の線状痕がある。

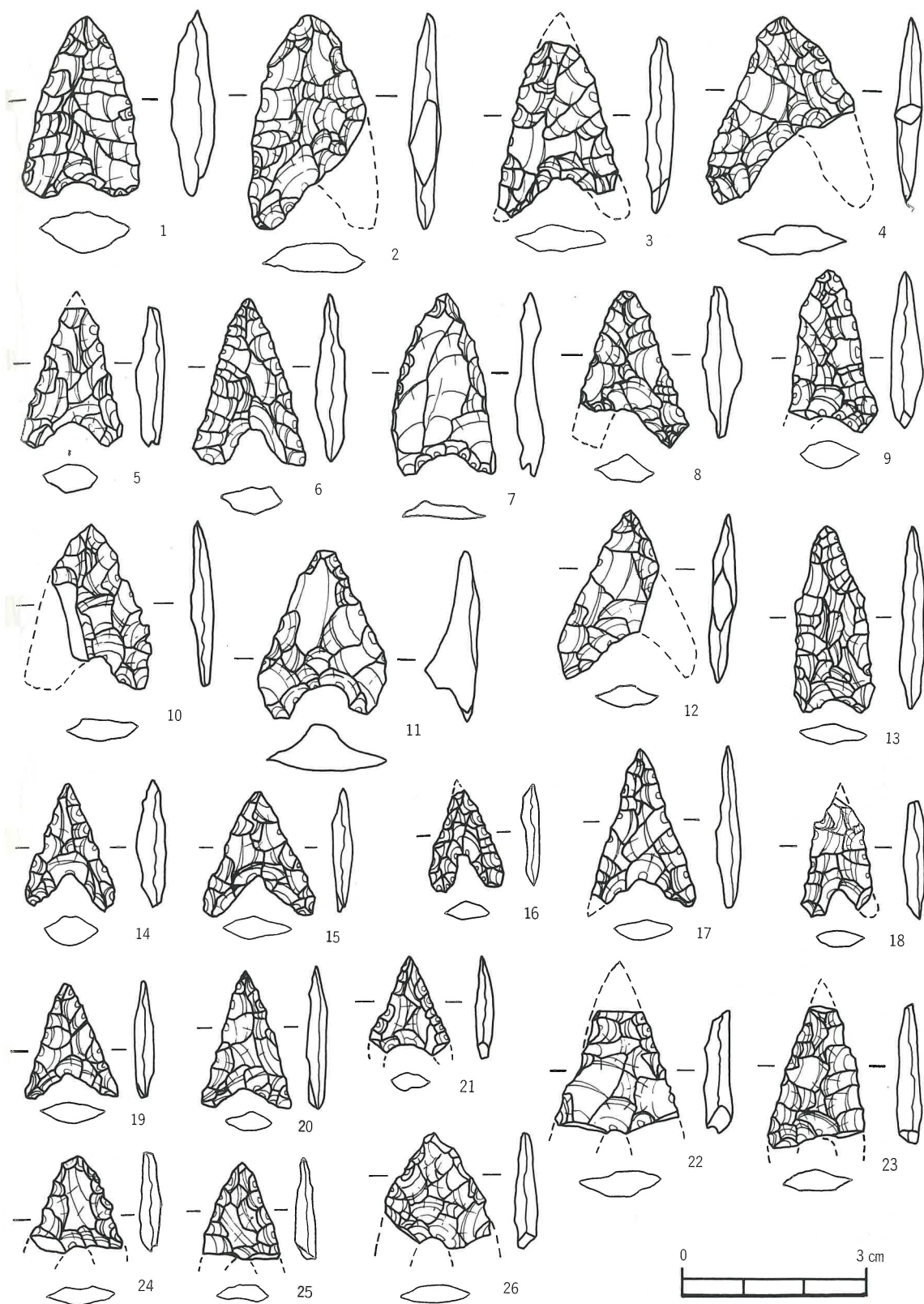




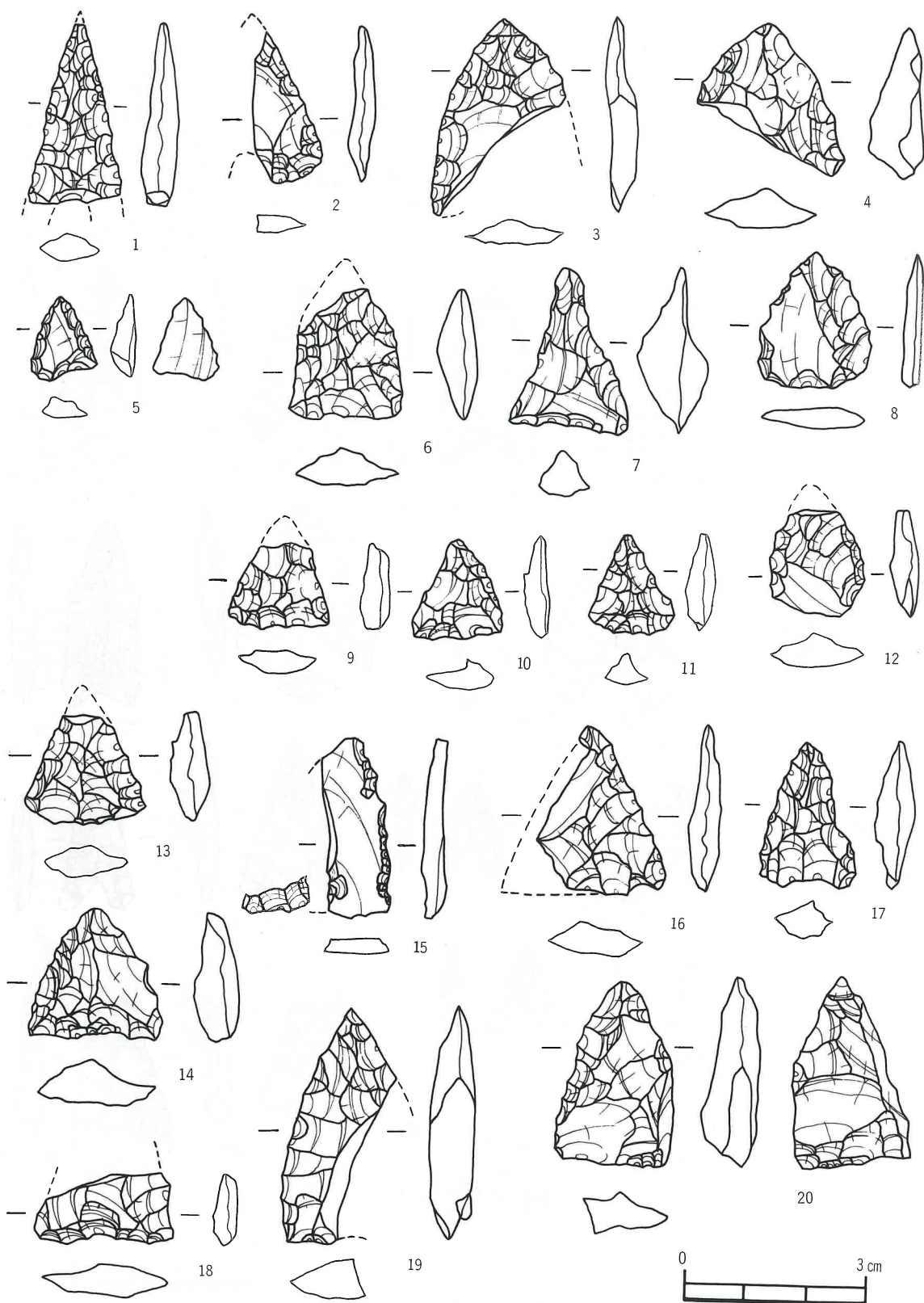
第188図 石鏃 (5層)



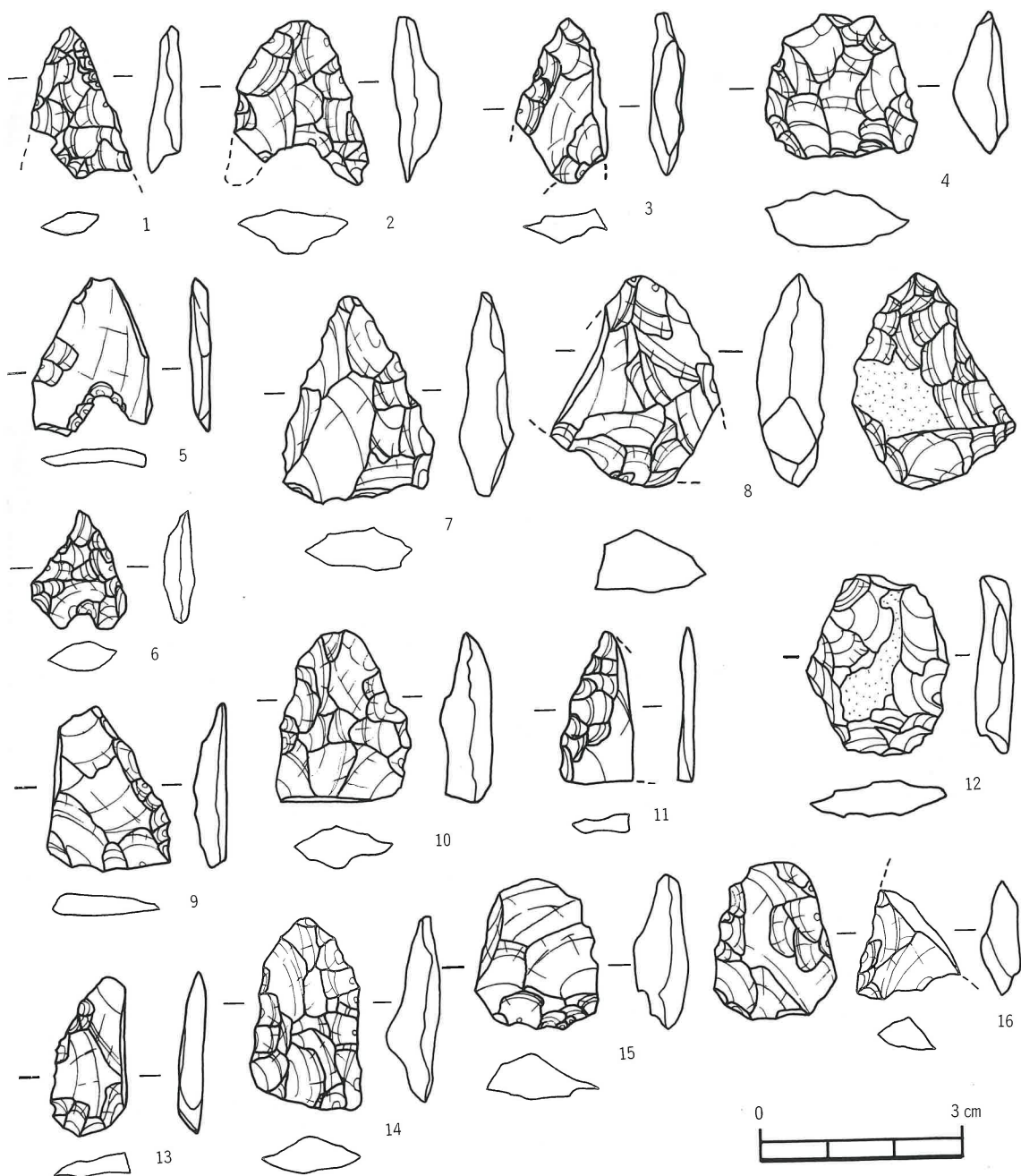
第189図 石鏃 (5層)



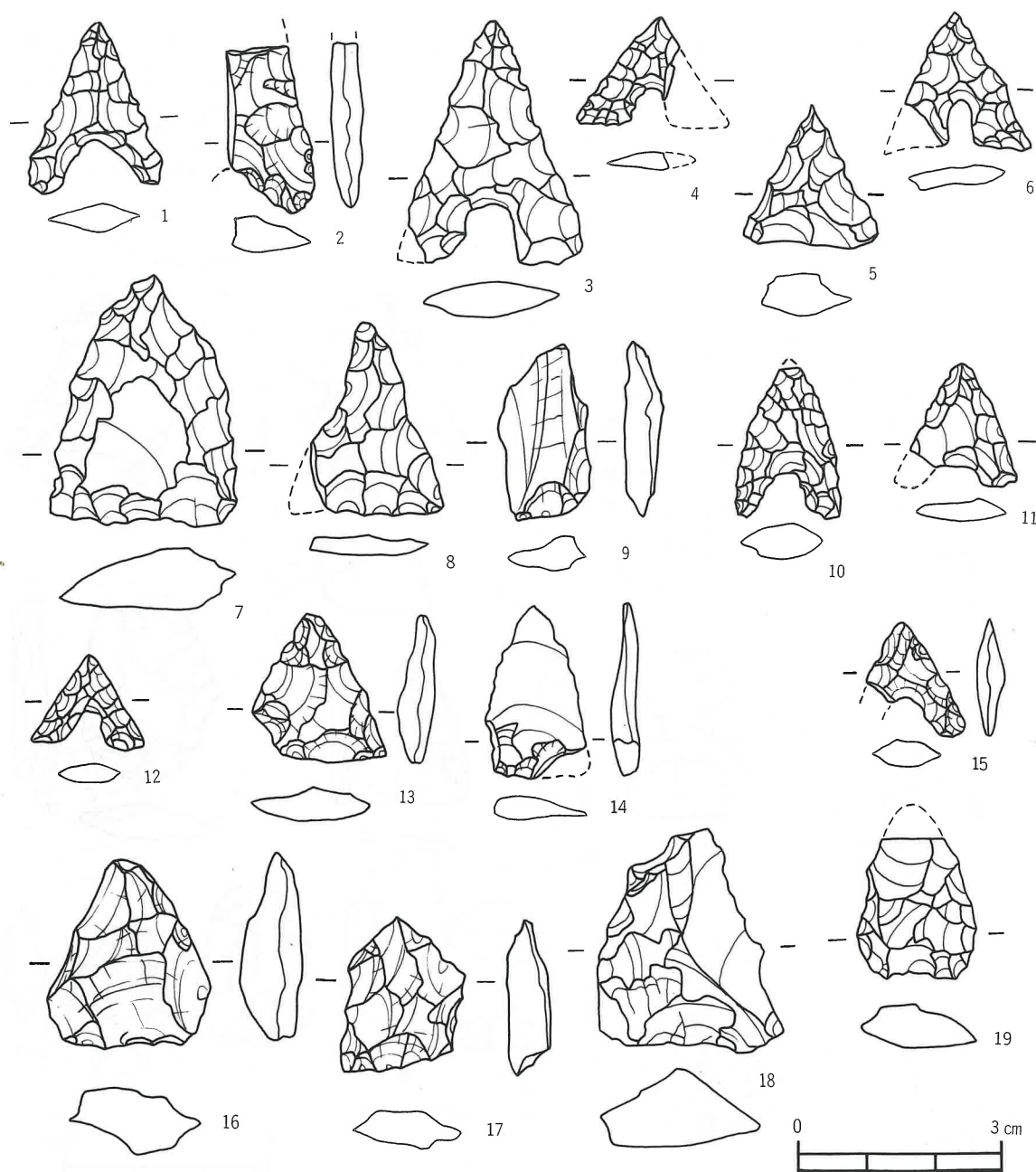
第190図 石鏃 (5層)



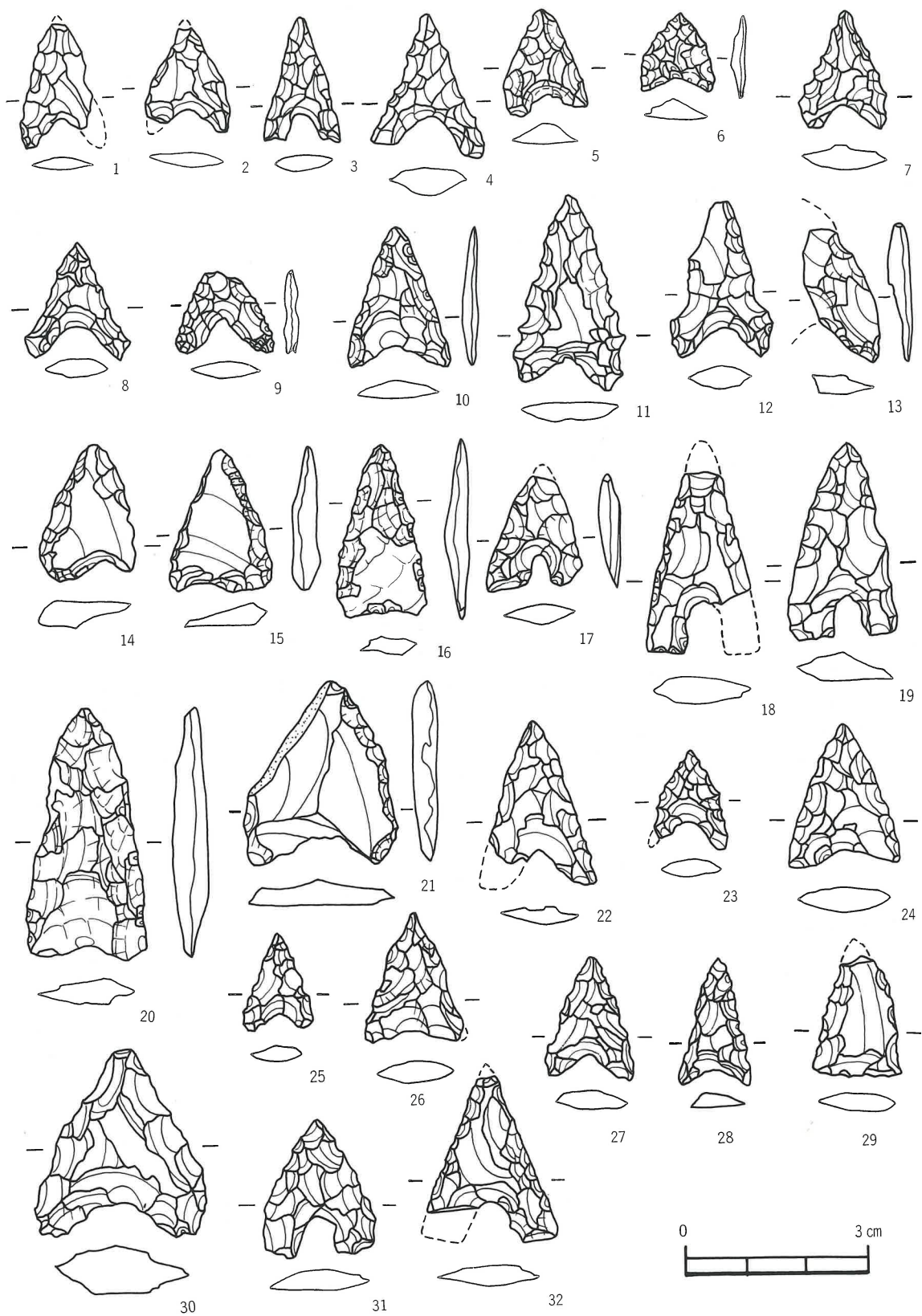
第191図 石鏃 (5層)



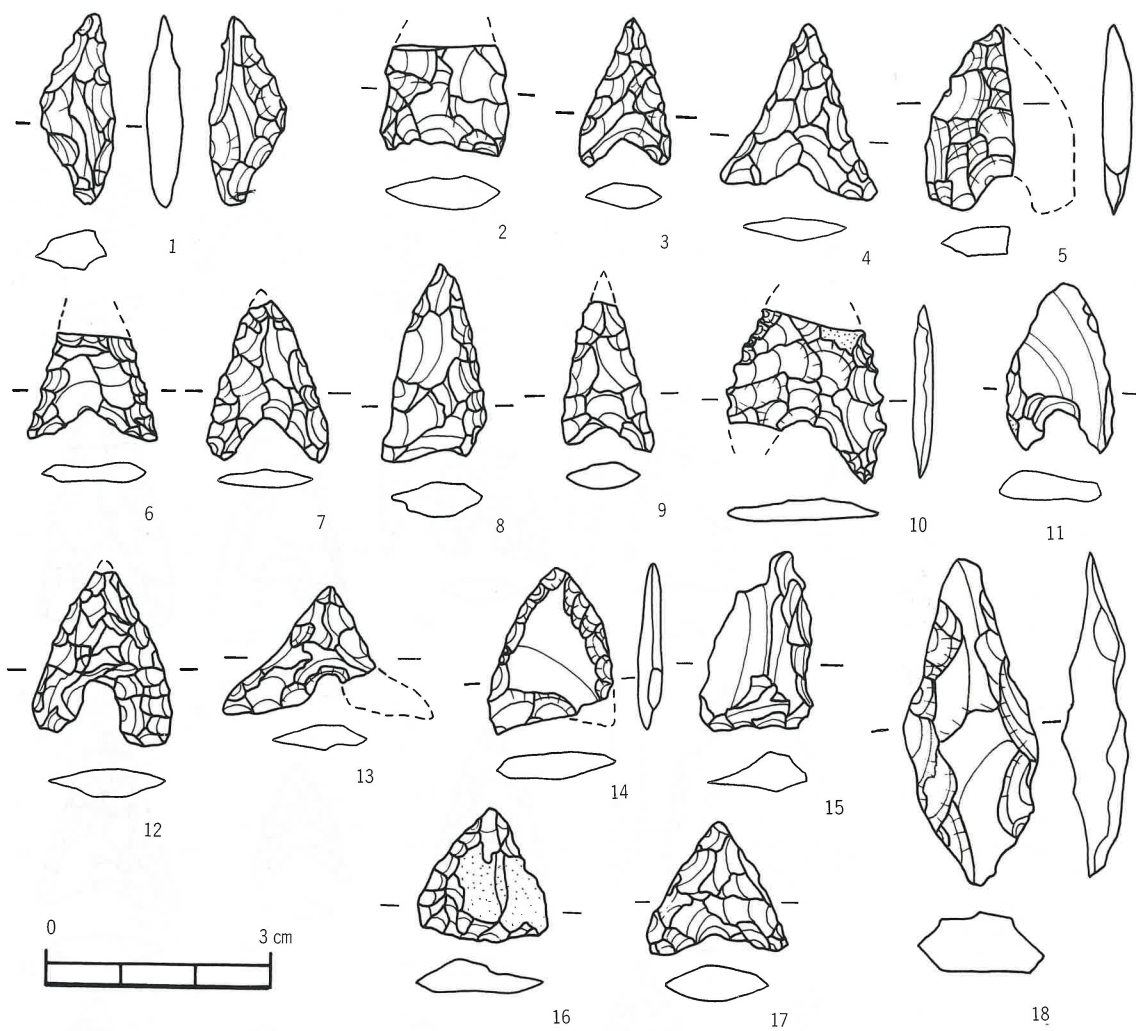
第192図 石鏃（5層）



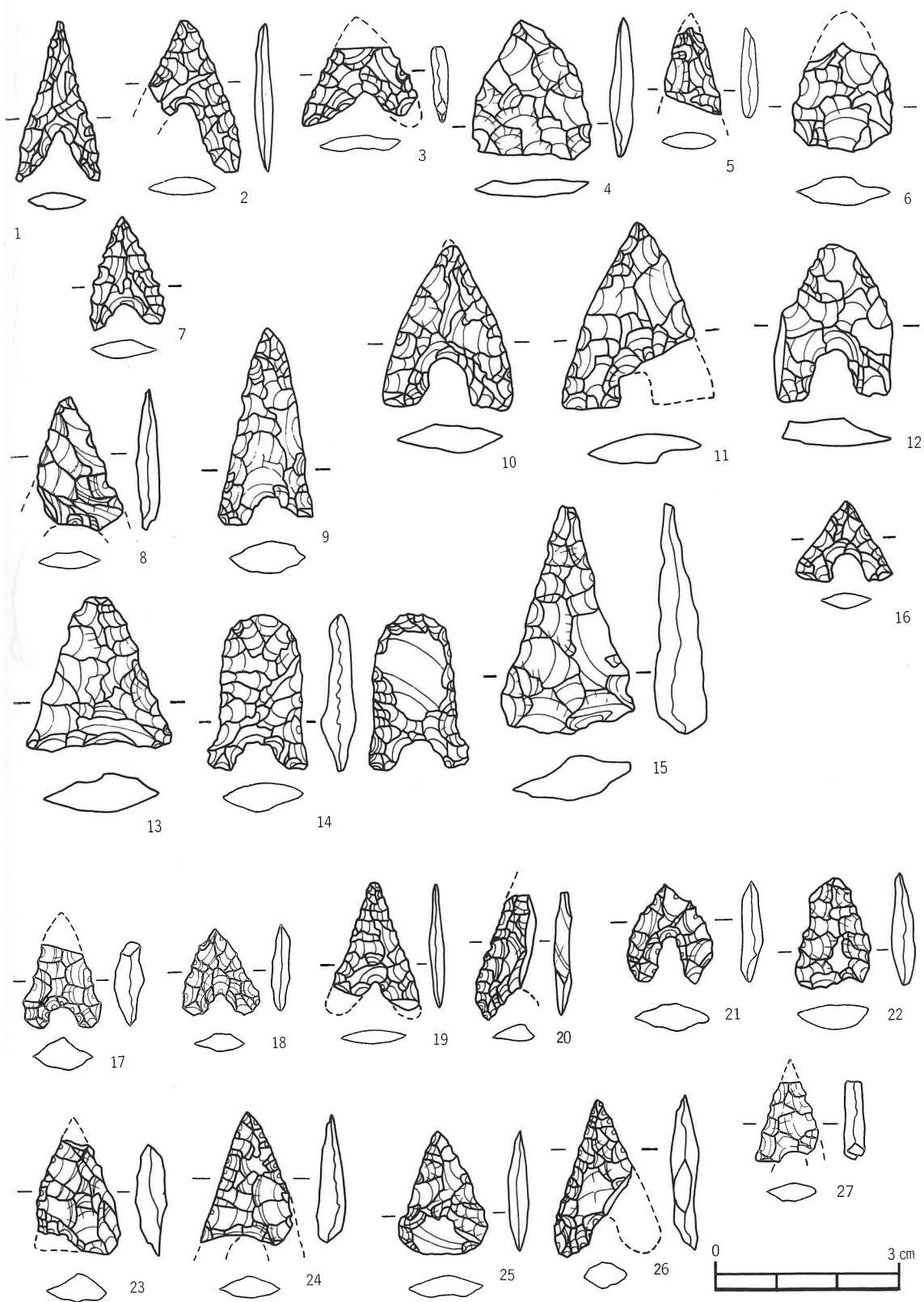
第193図 石鏃（2～5層・姫島産ガラス質安山岩）



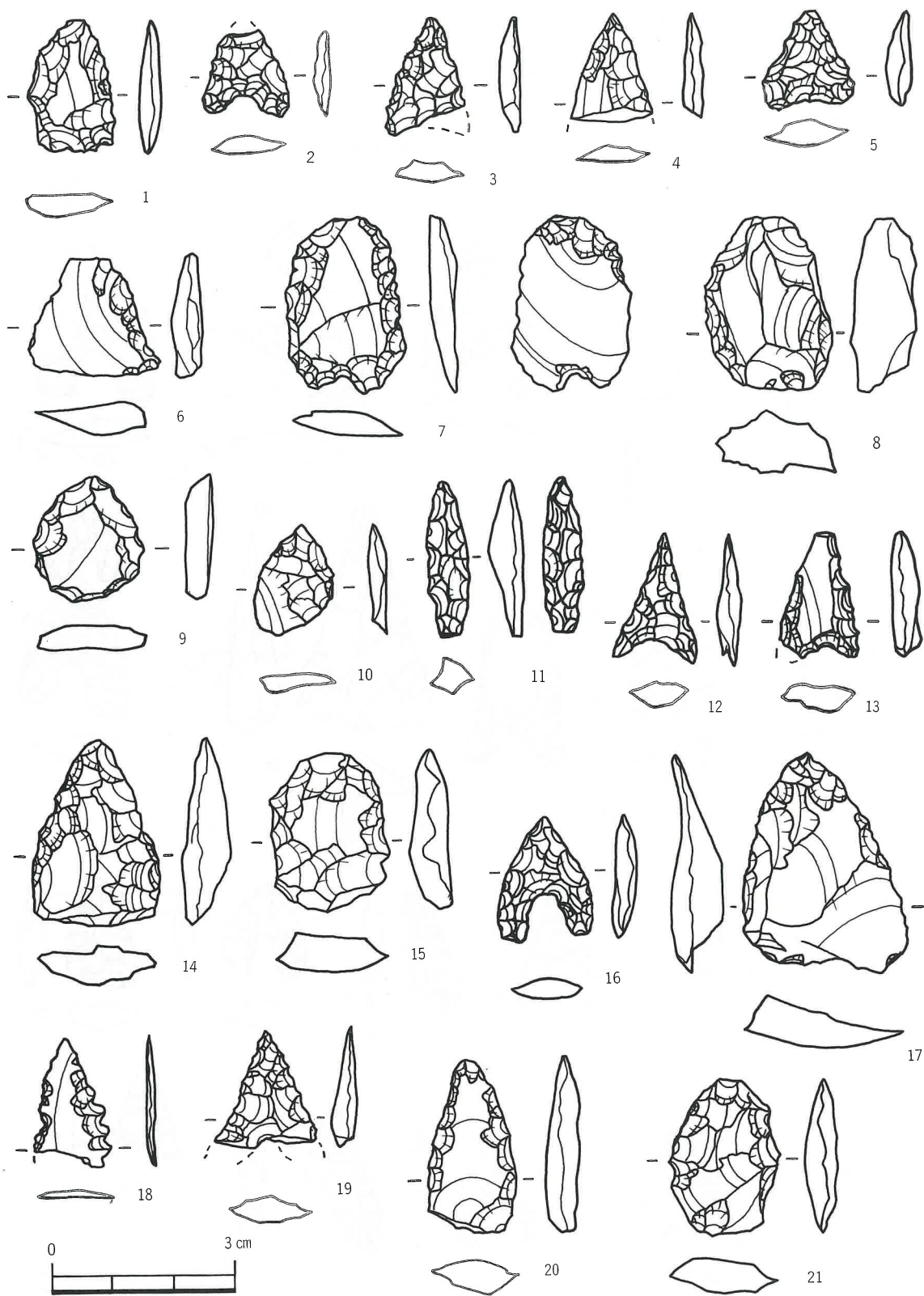
第194図 石鏃（2～4層・安山岩）



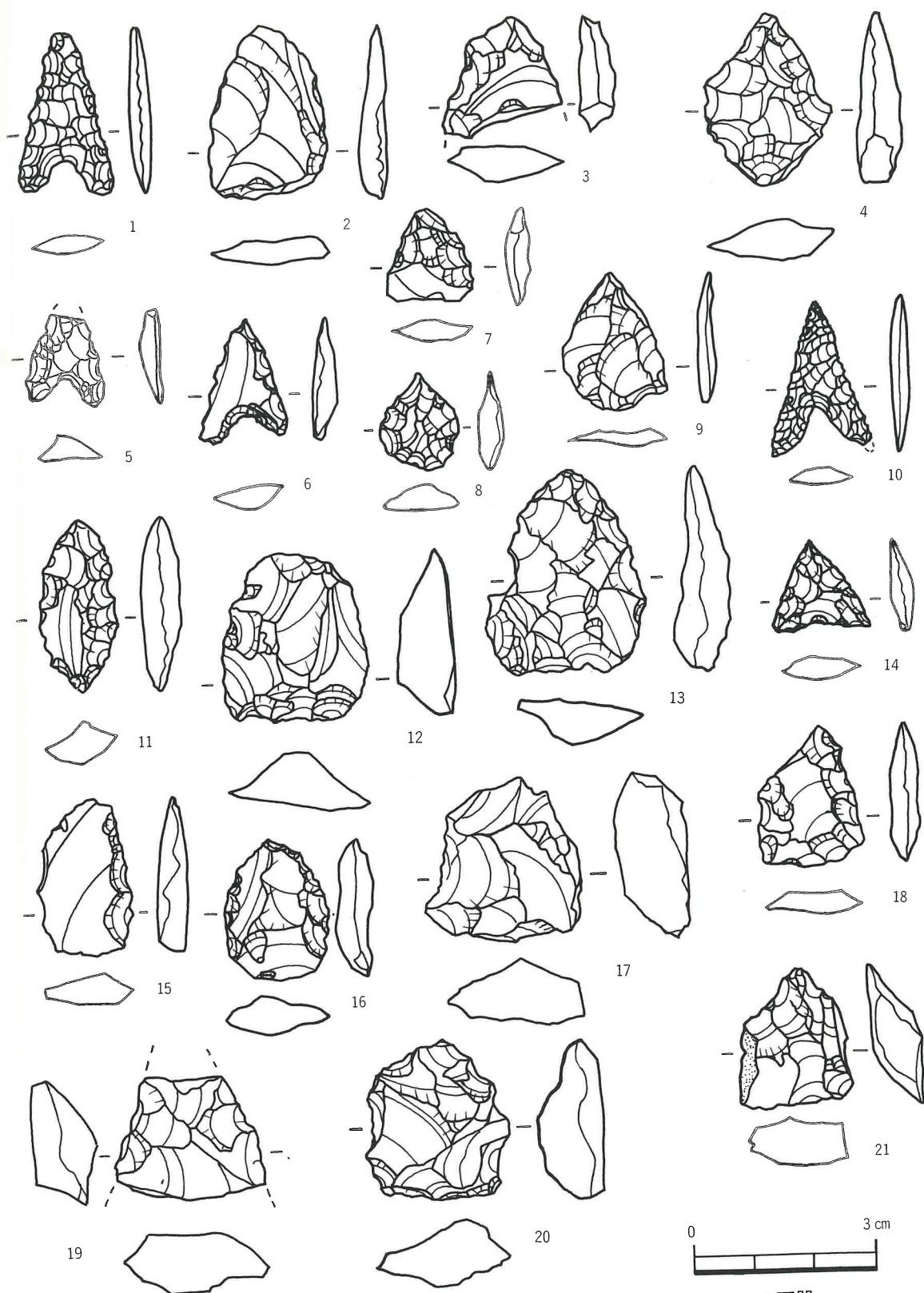
第195図 石鏃（1～5層・安山岩）



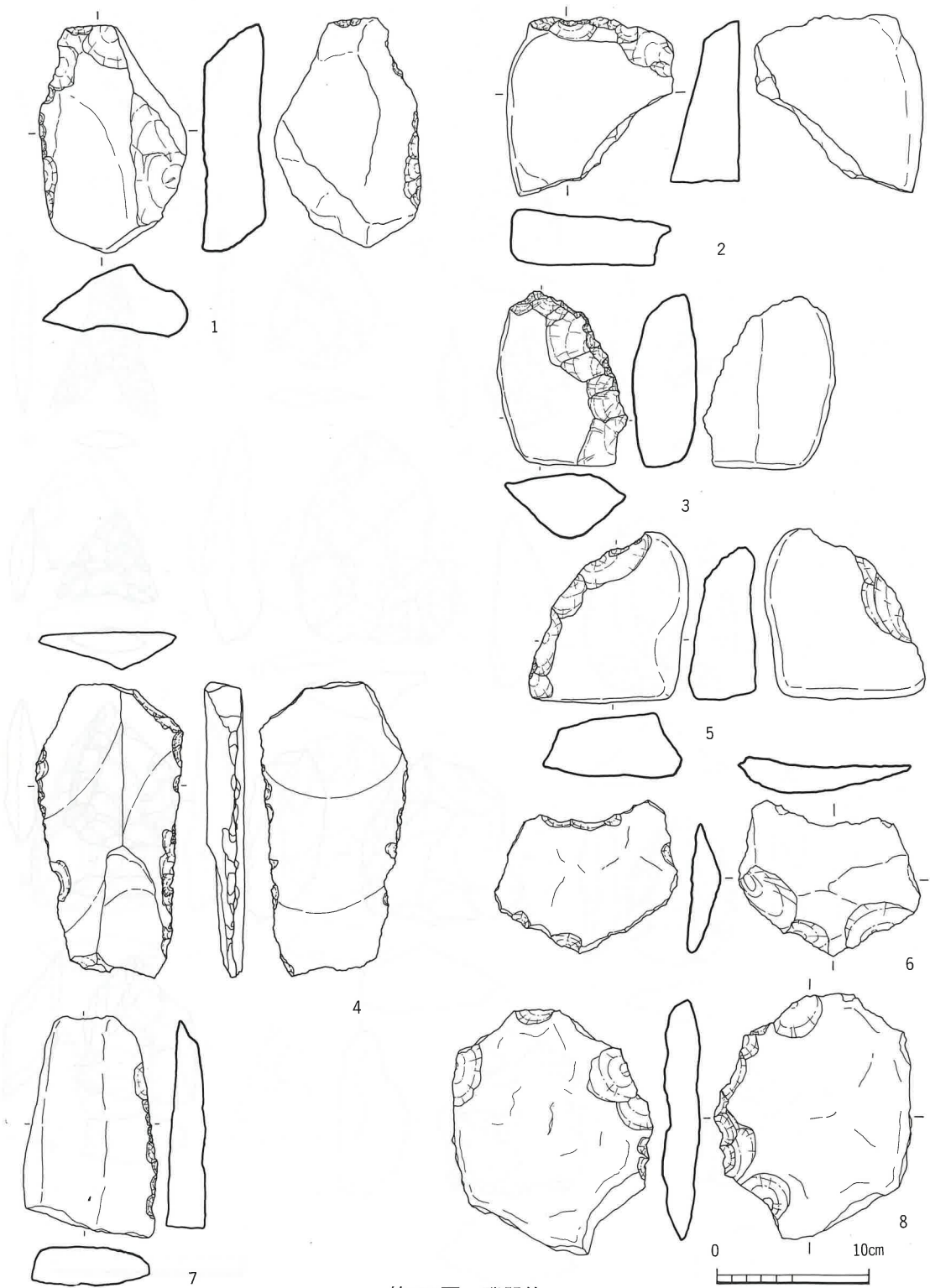
第196図 石鏃 (2～5層・チャート・黒色の黒曜石)



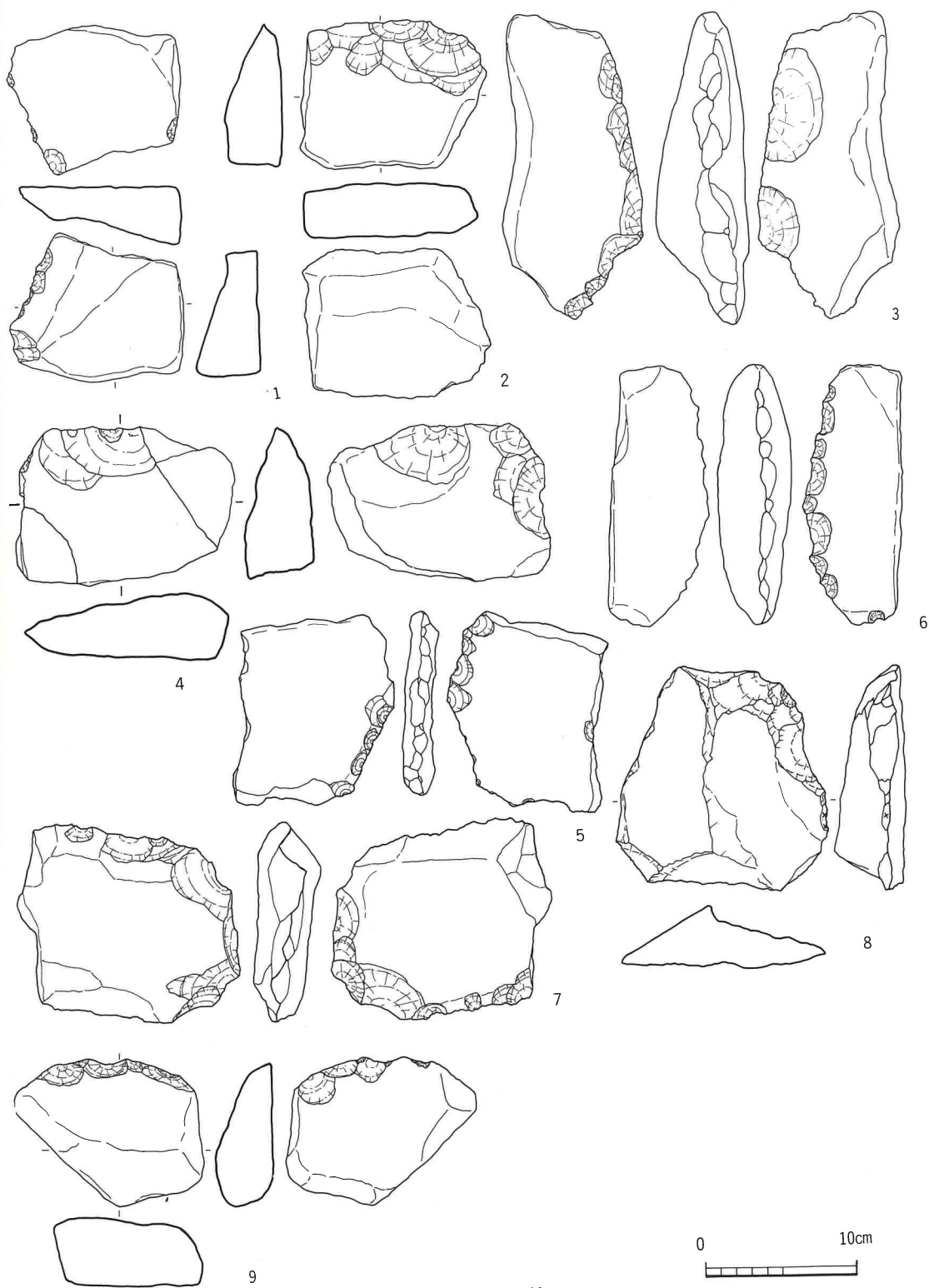
第197图



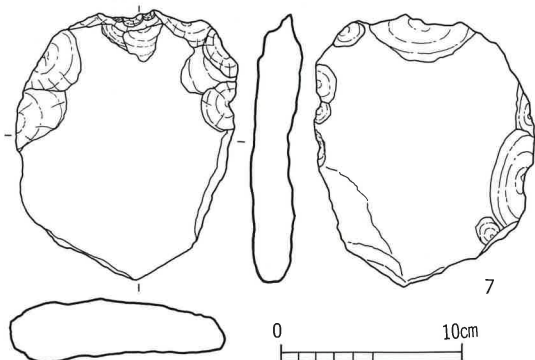
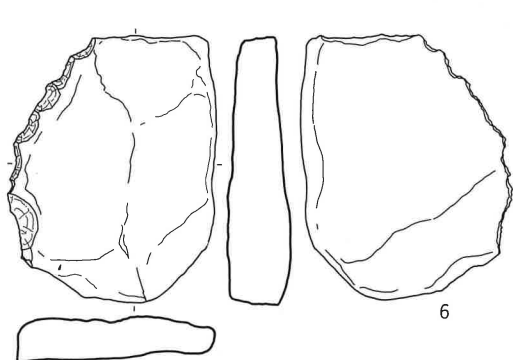
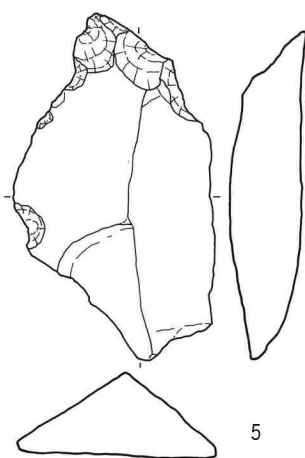
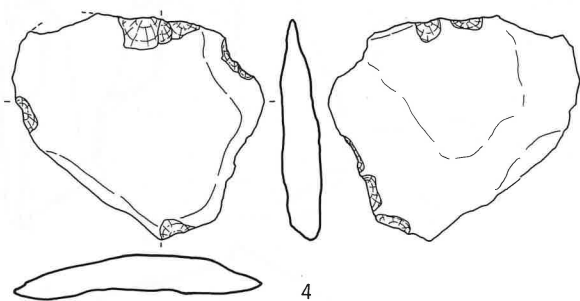
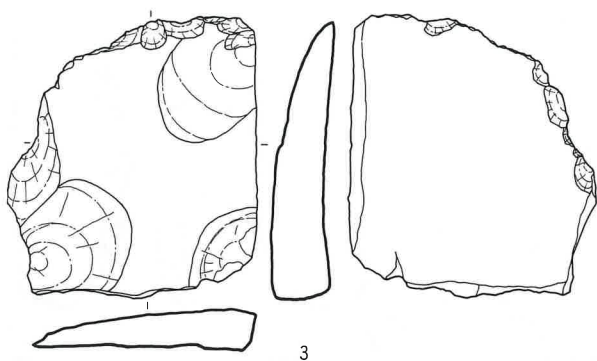
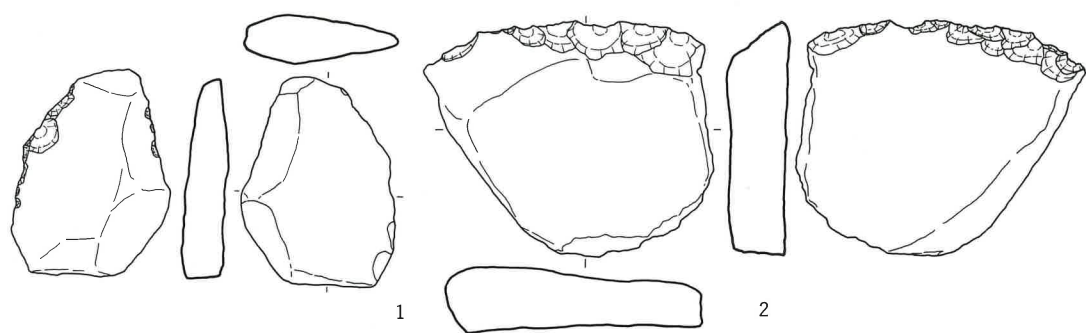
第198图 4層 (1~3)・4~5層 (4)・5層 (5~12)・不明層出土石器



第199図 礫器他

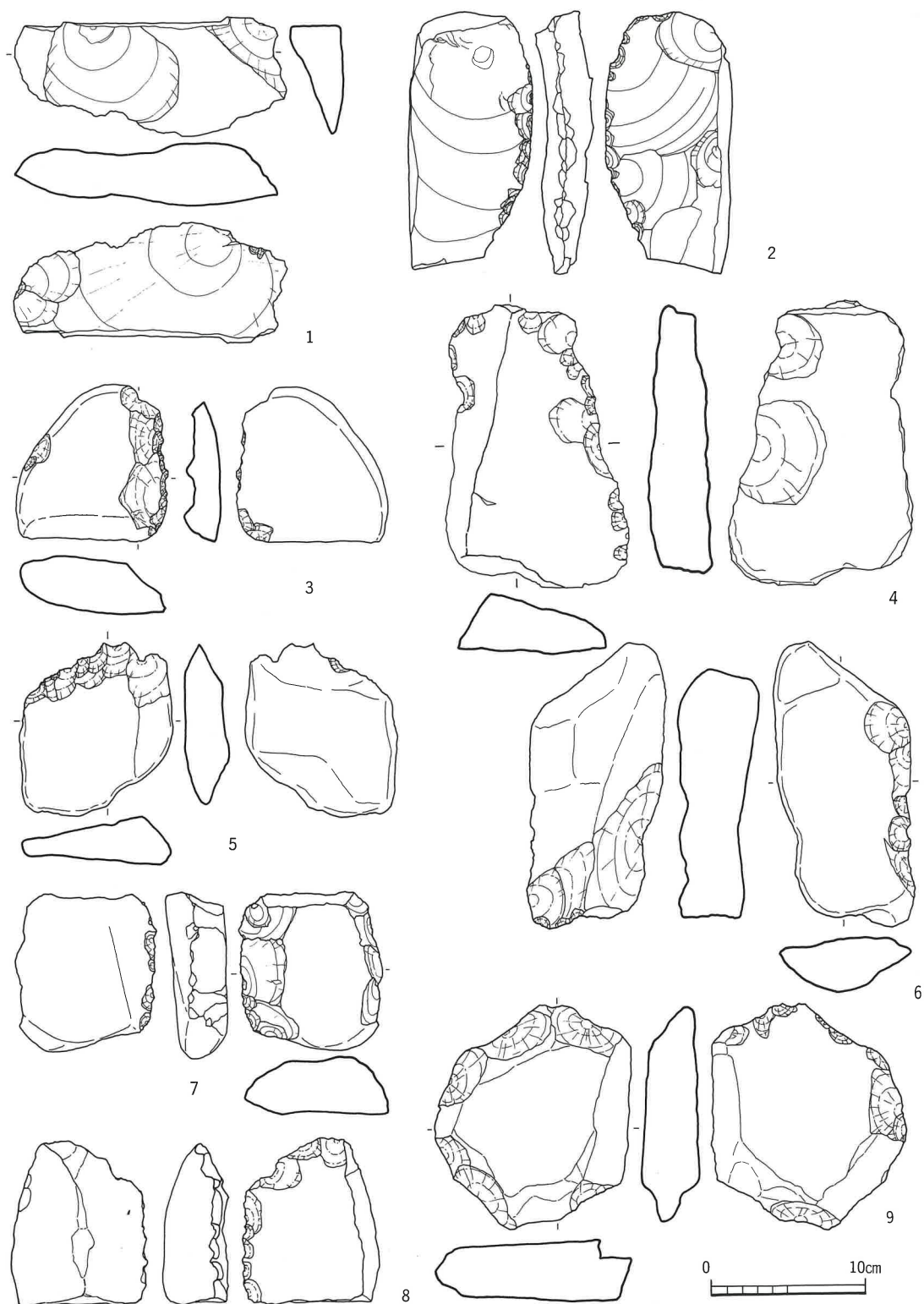


第200図 礫器他

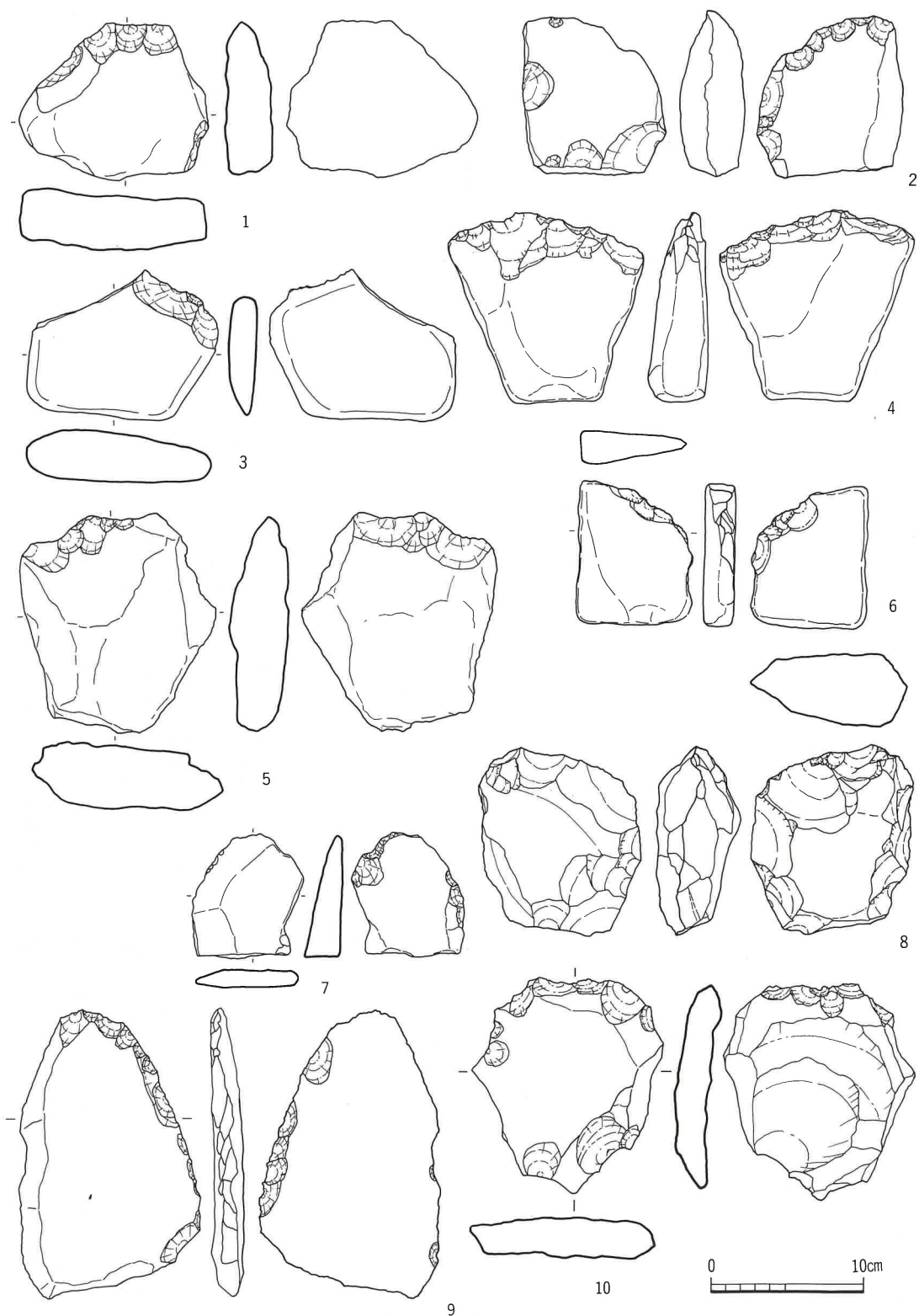


0 10cm

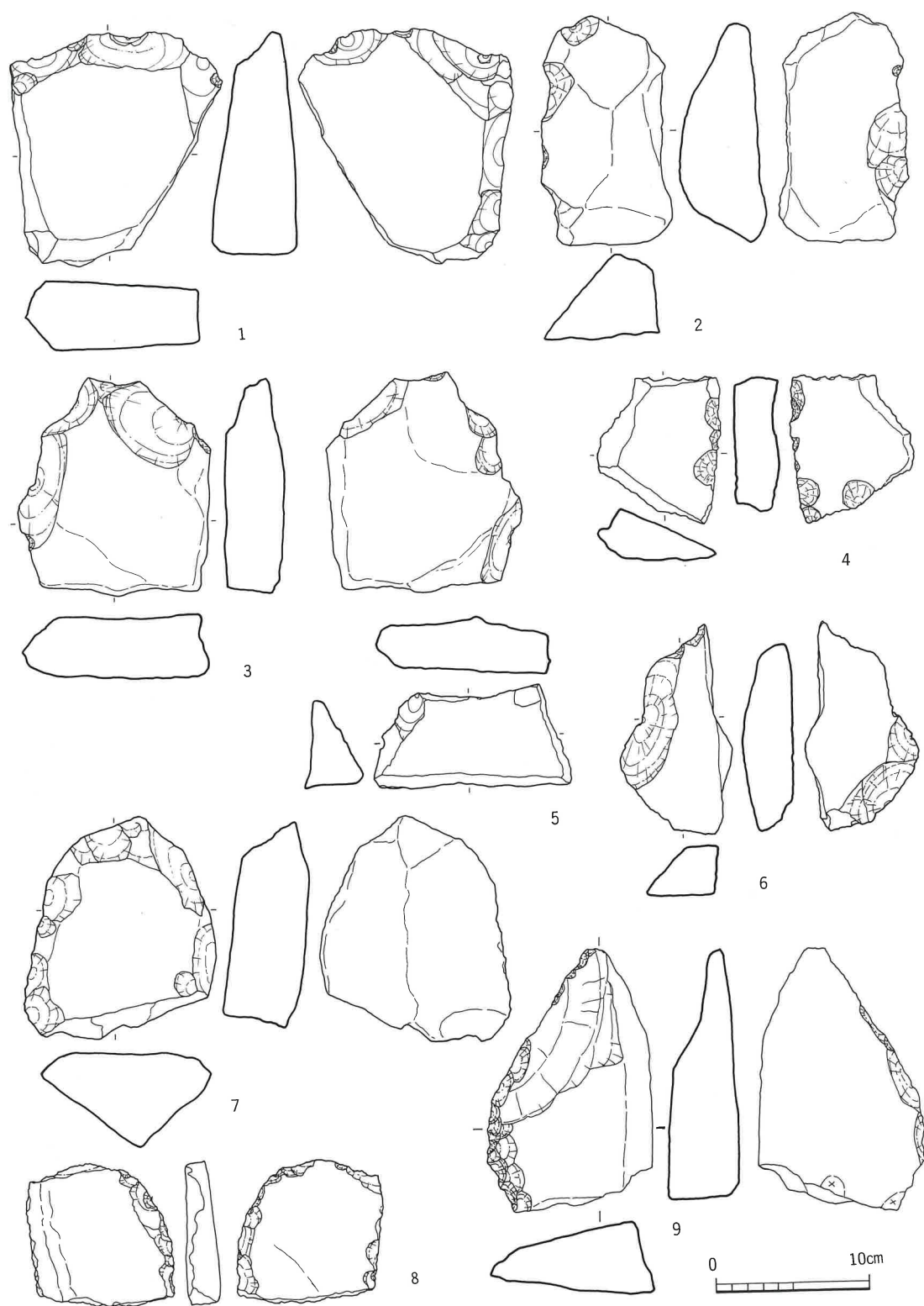
第201図 礫器他



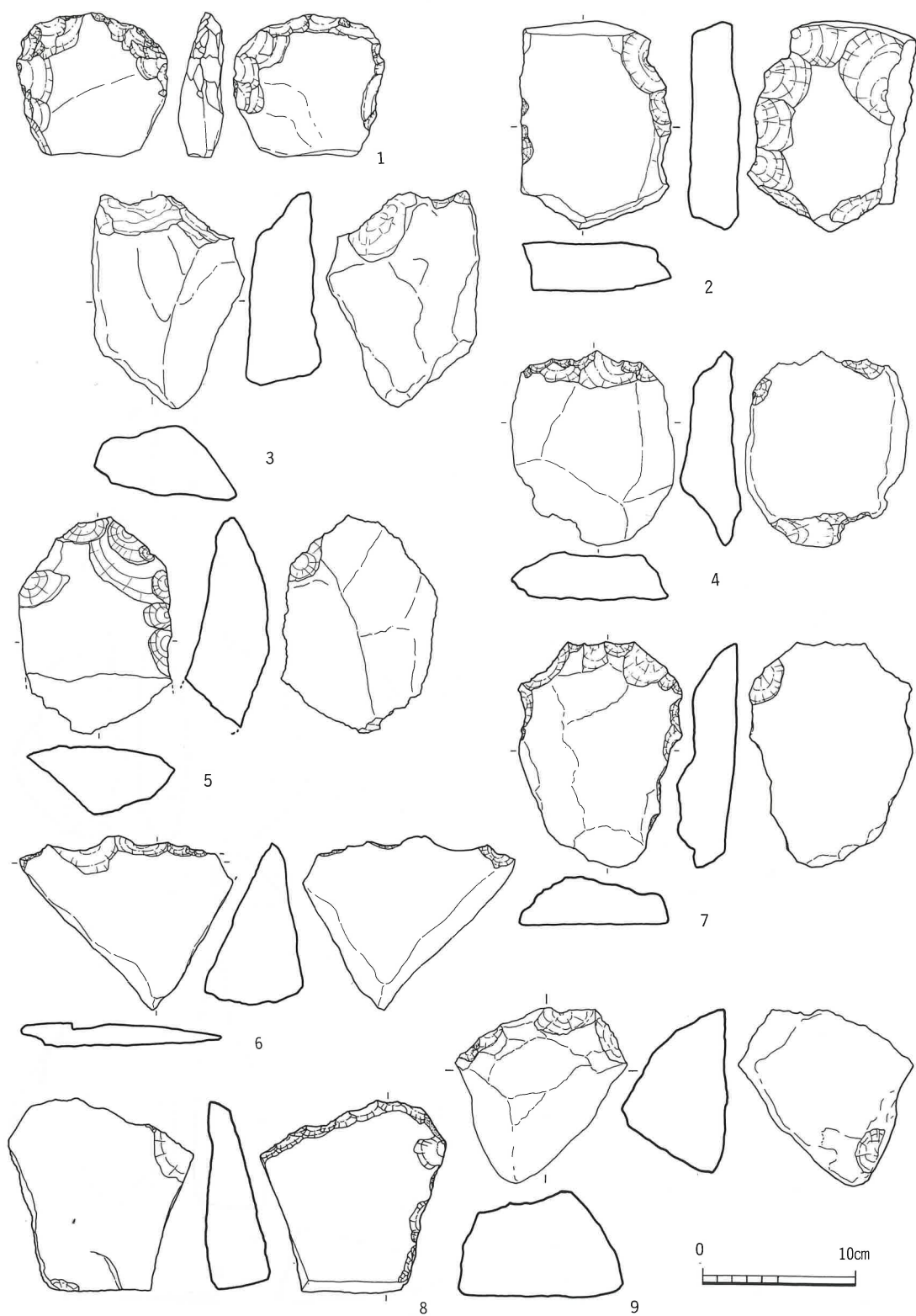
第202図 礫器（1は石核）他



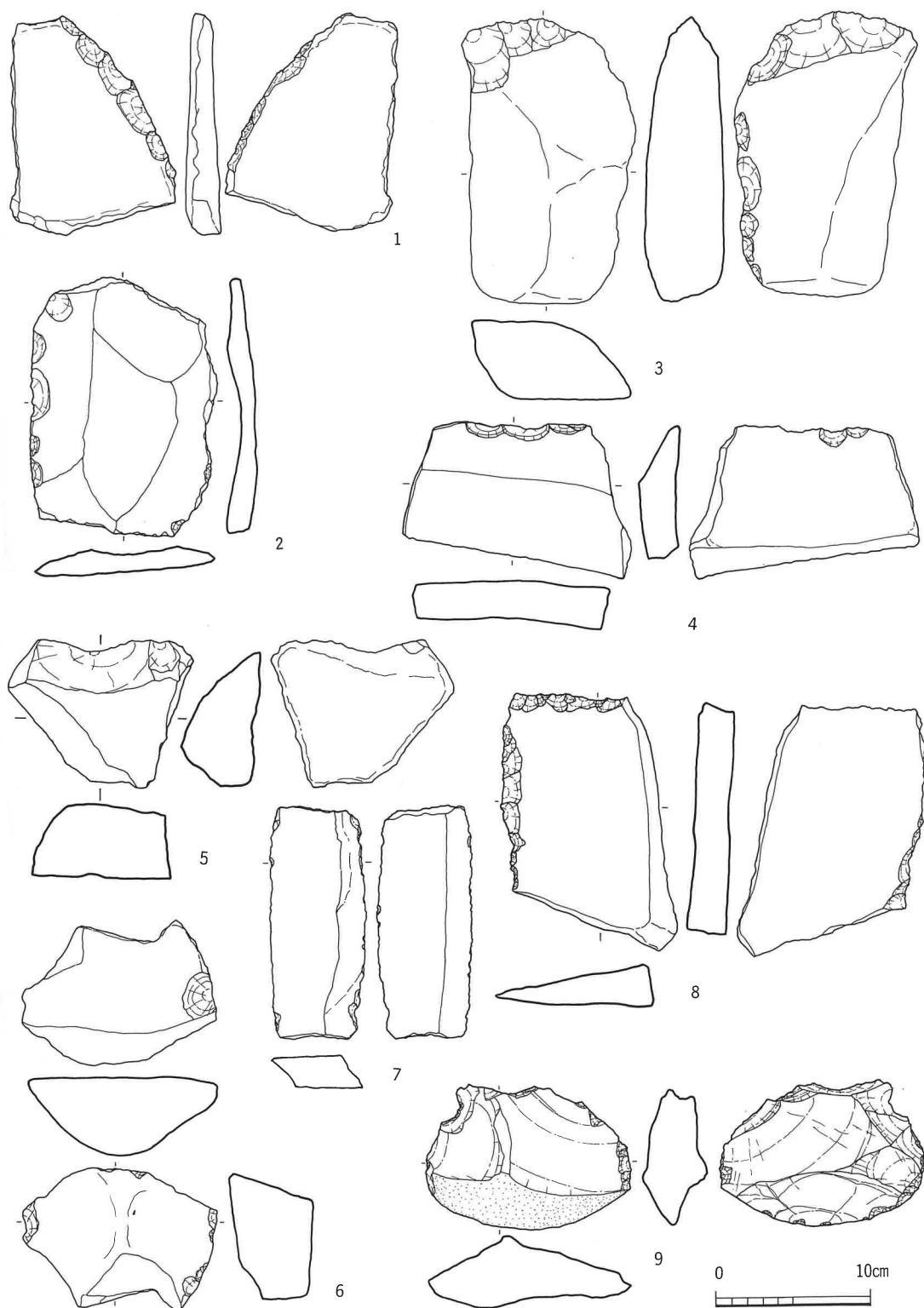
第203図 礫器他



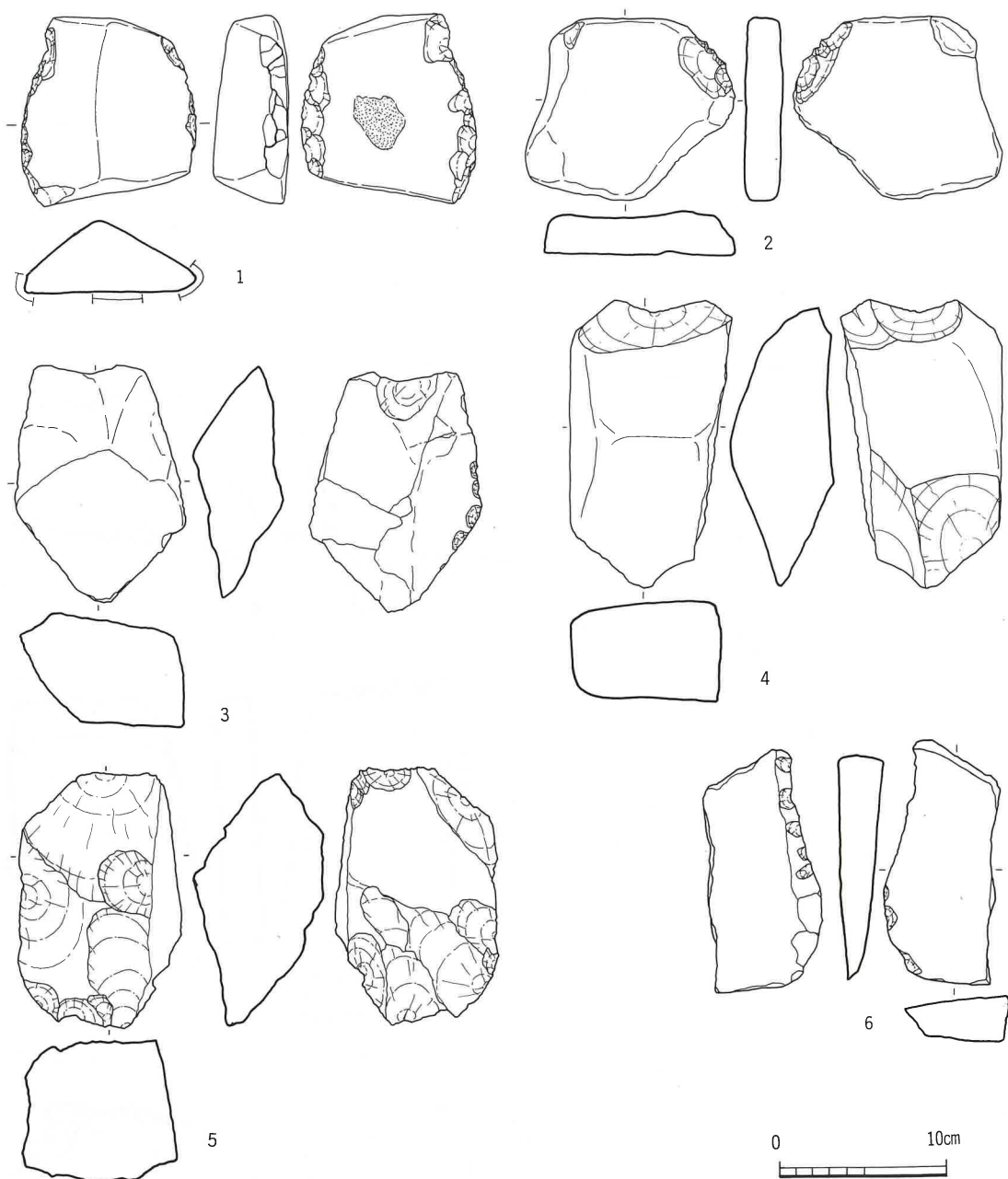
第204図 礫器他



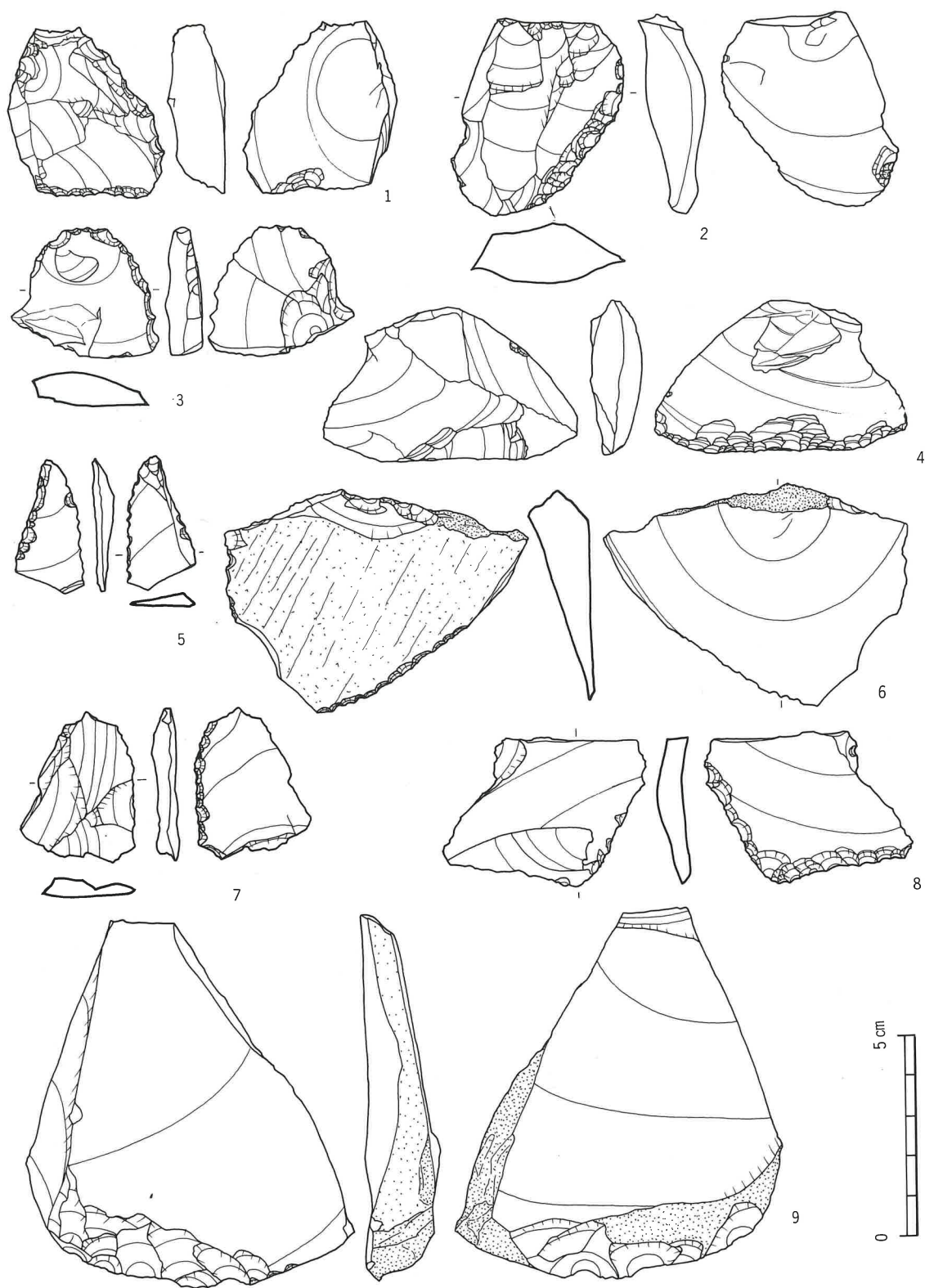
第205図 礫器他



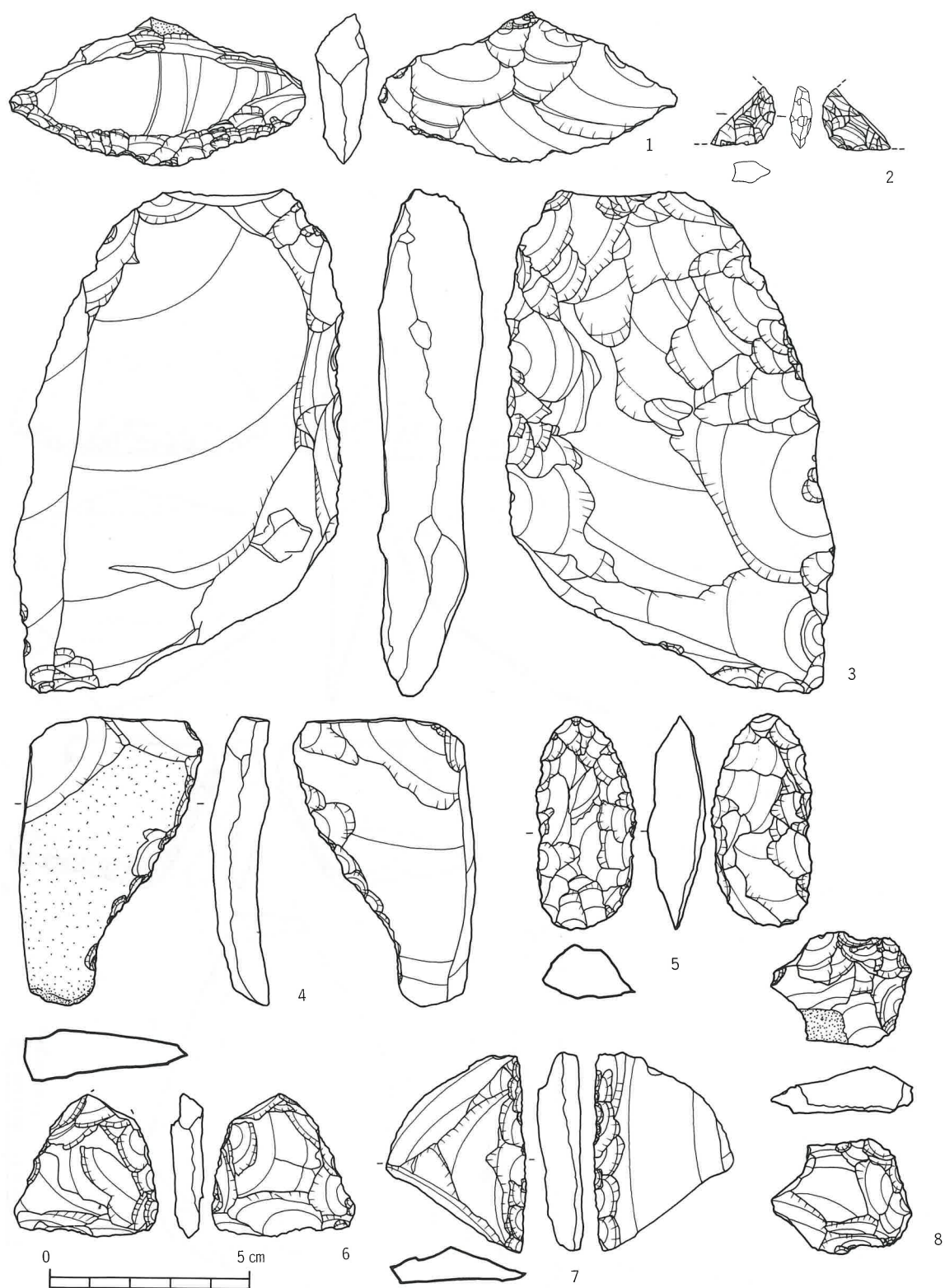
第206図 礫器他



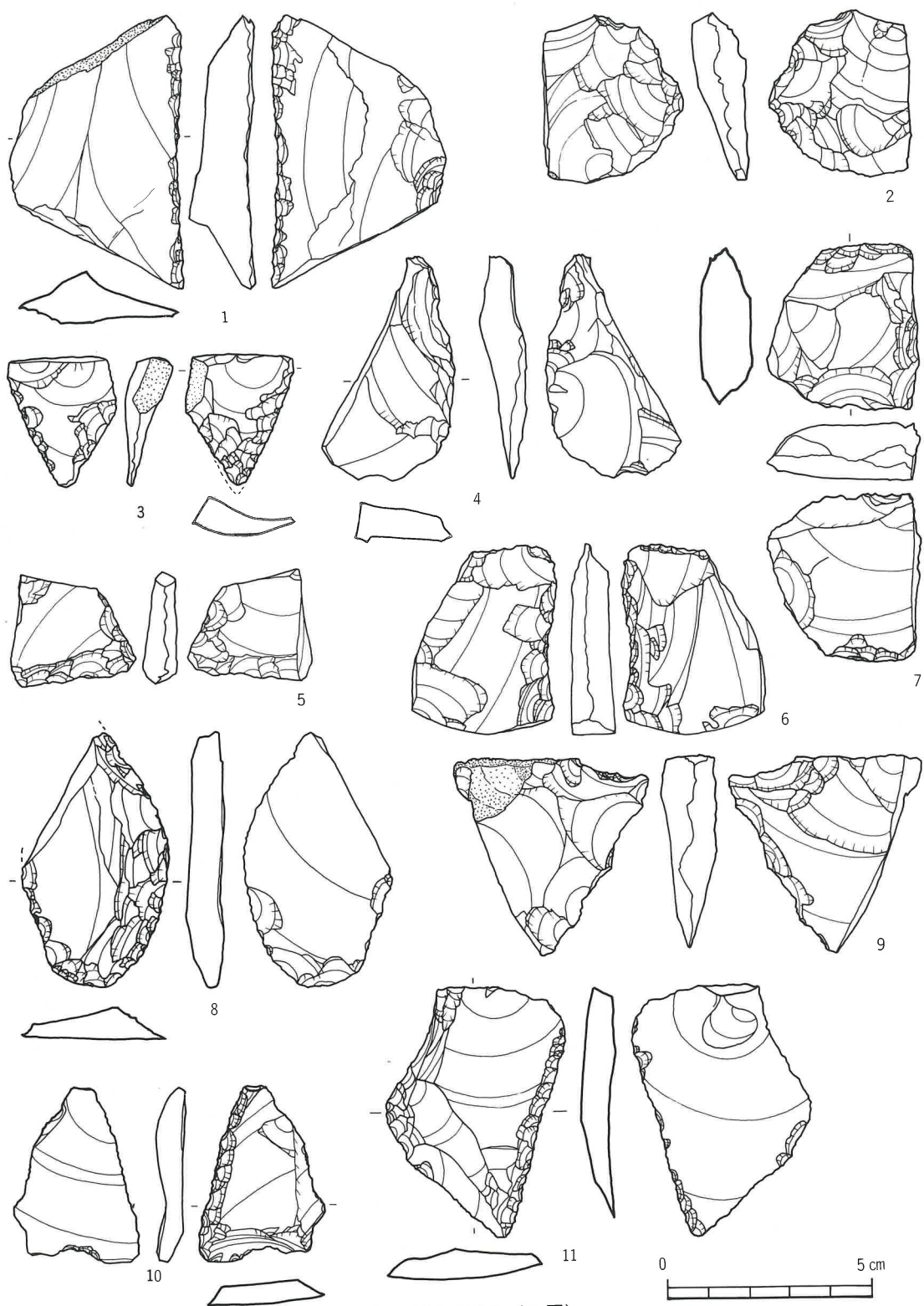
第207図 礫器他



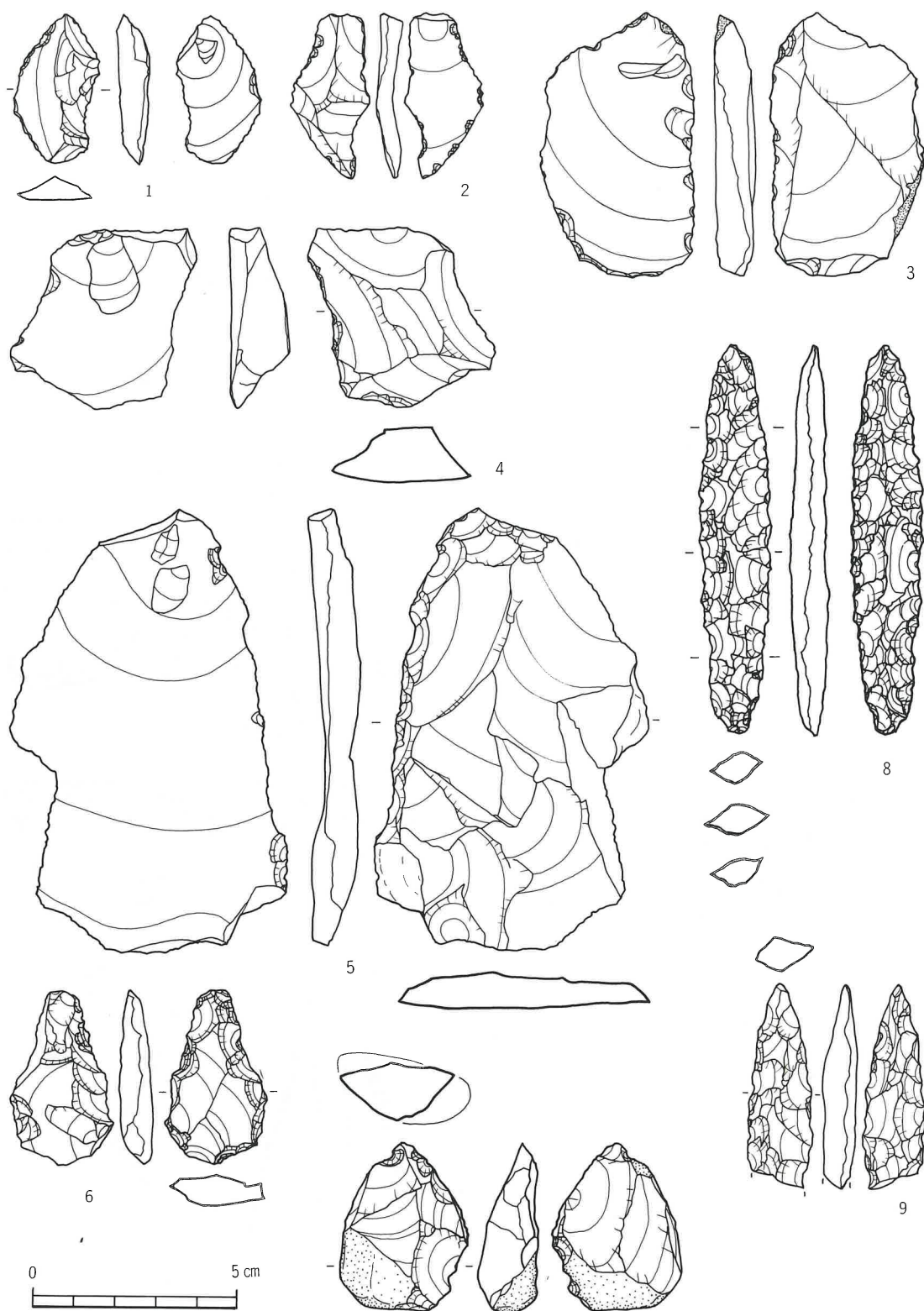
第208図 削器（2層）



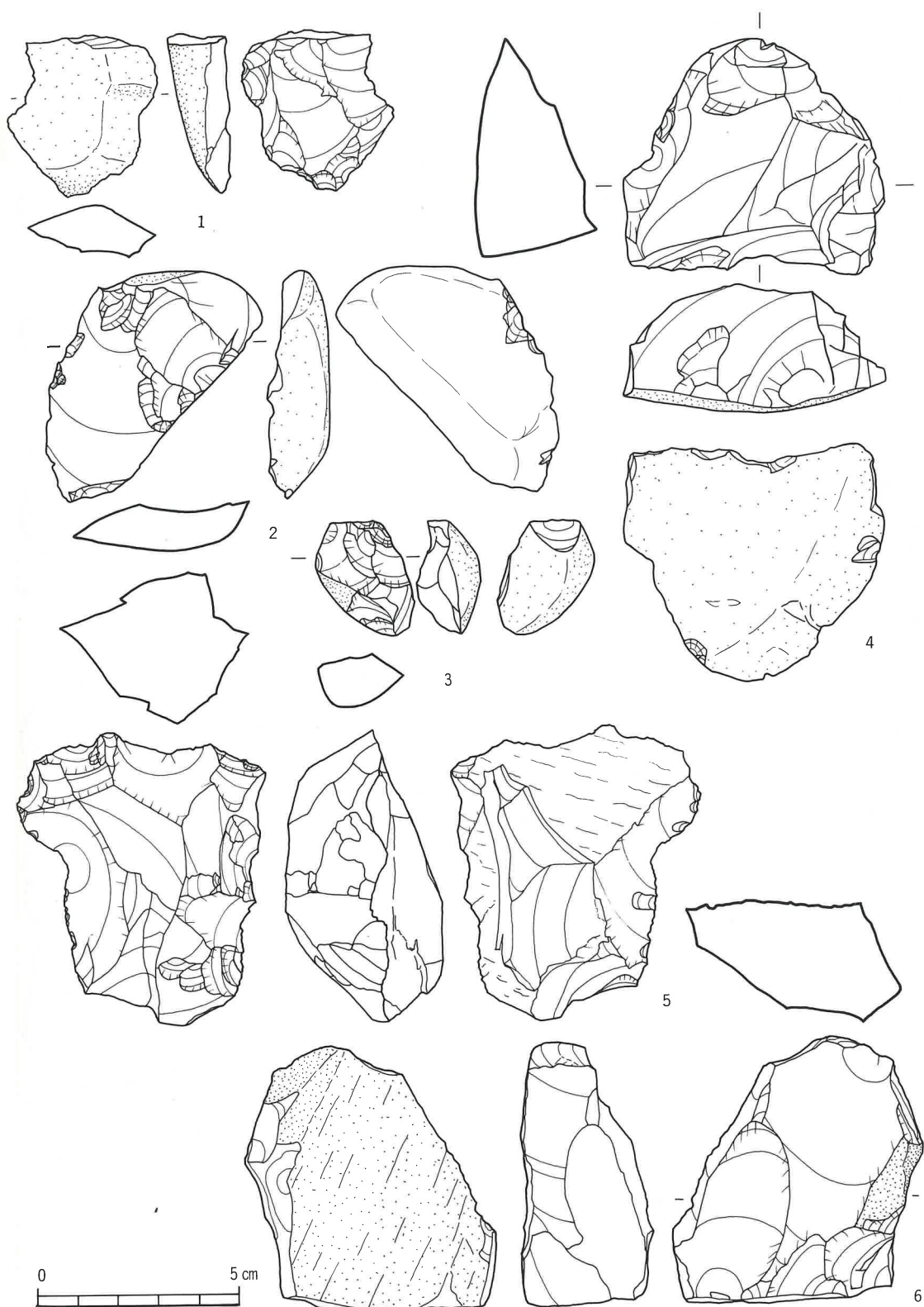
第209図 削器（2層）



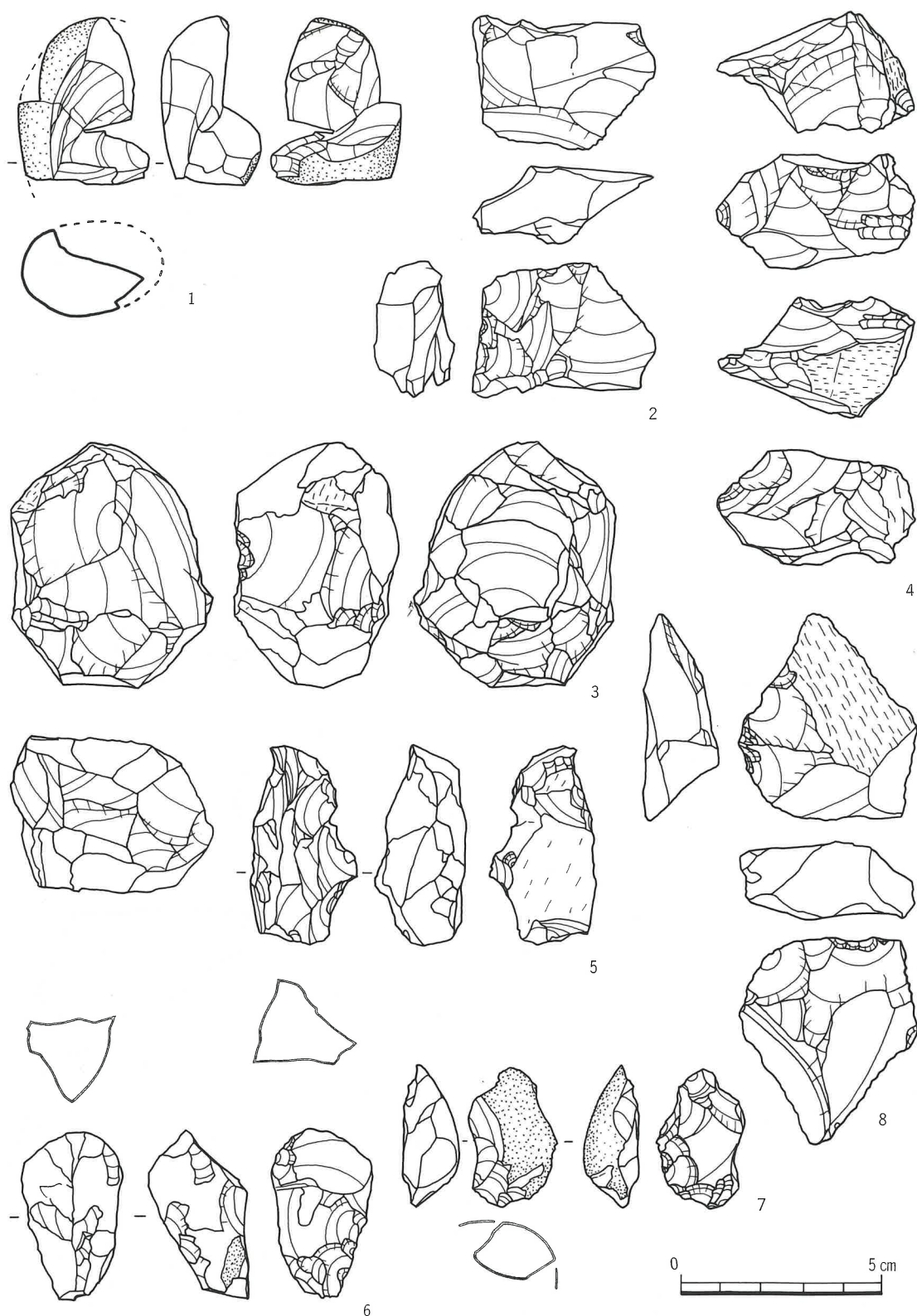
第210図 削器 (2層)



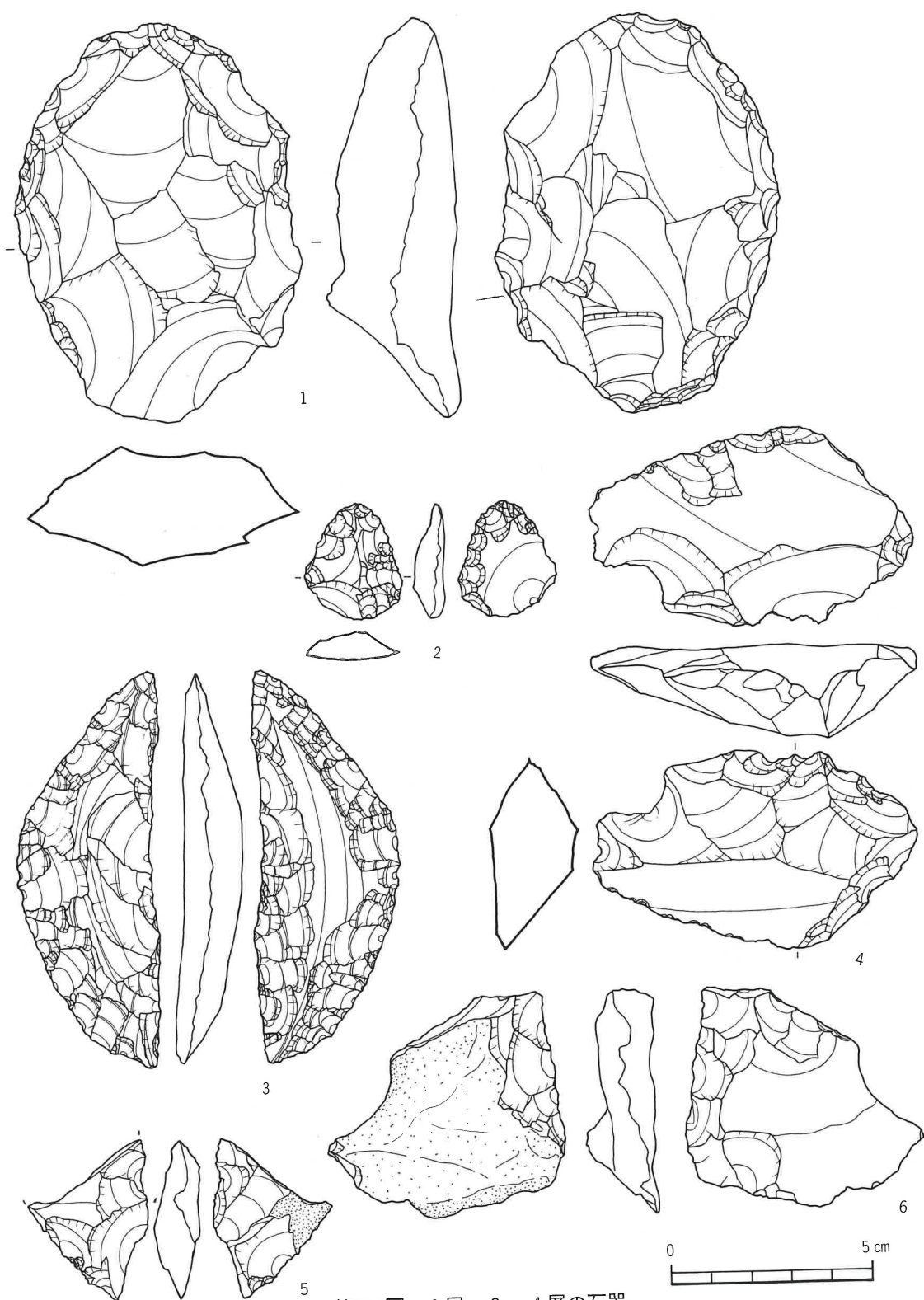
第211図 使用痕ある剥片・石槍他（2層）⁷



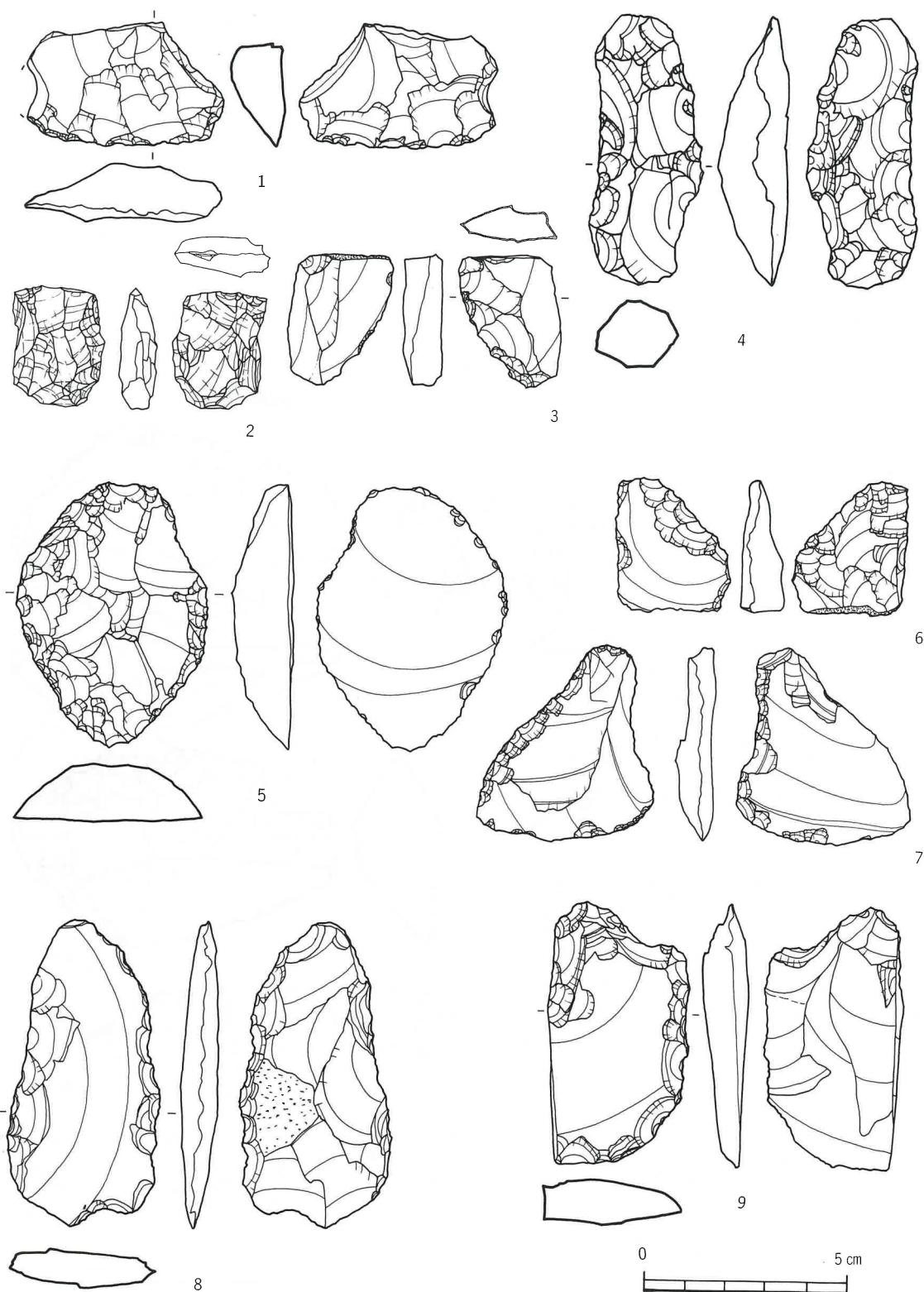
第212図 石核（2層）



第213図 石核（2層）



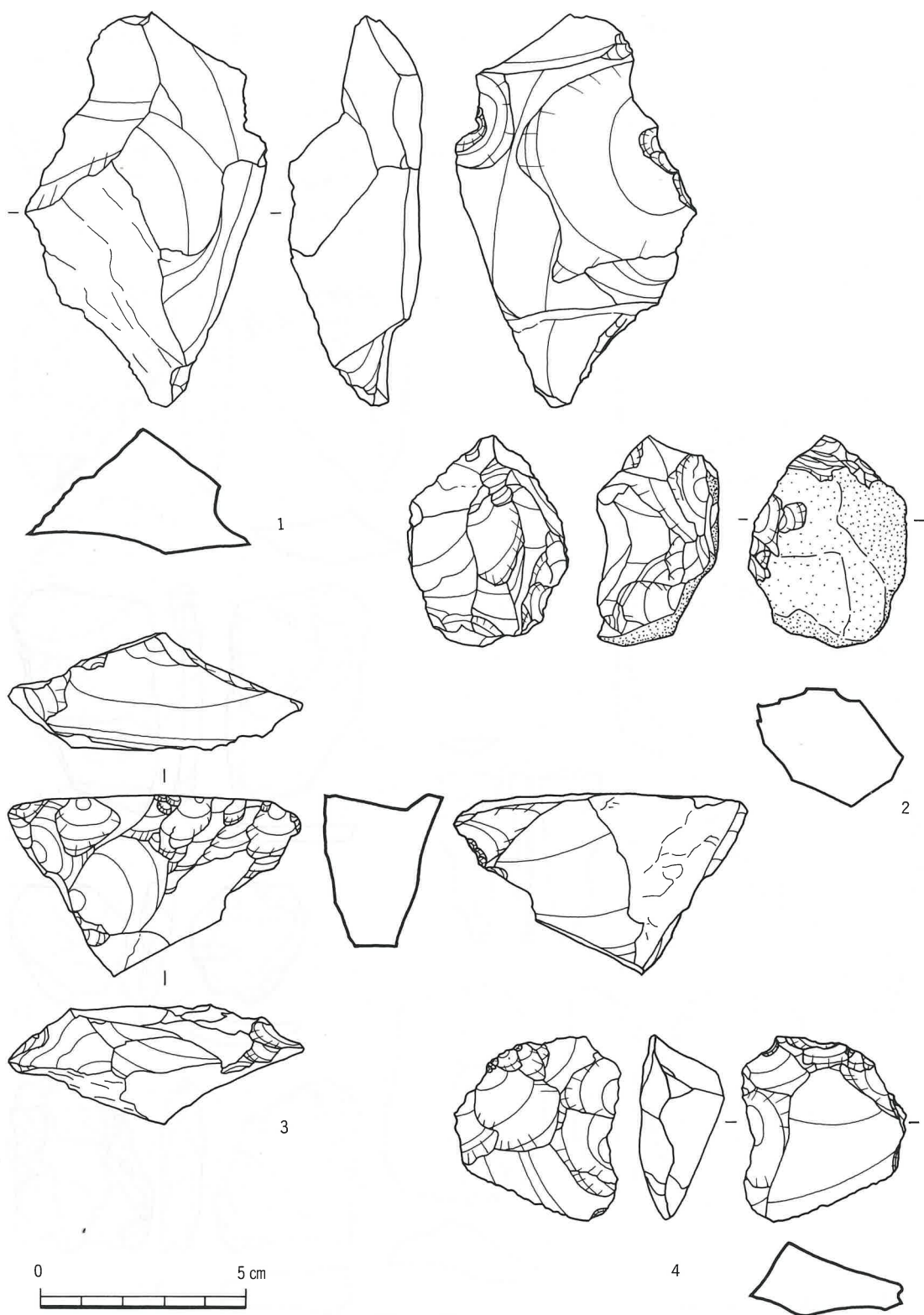
第213図 2層・2～4層の石器



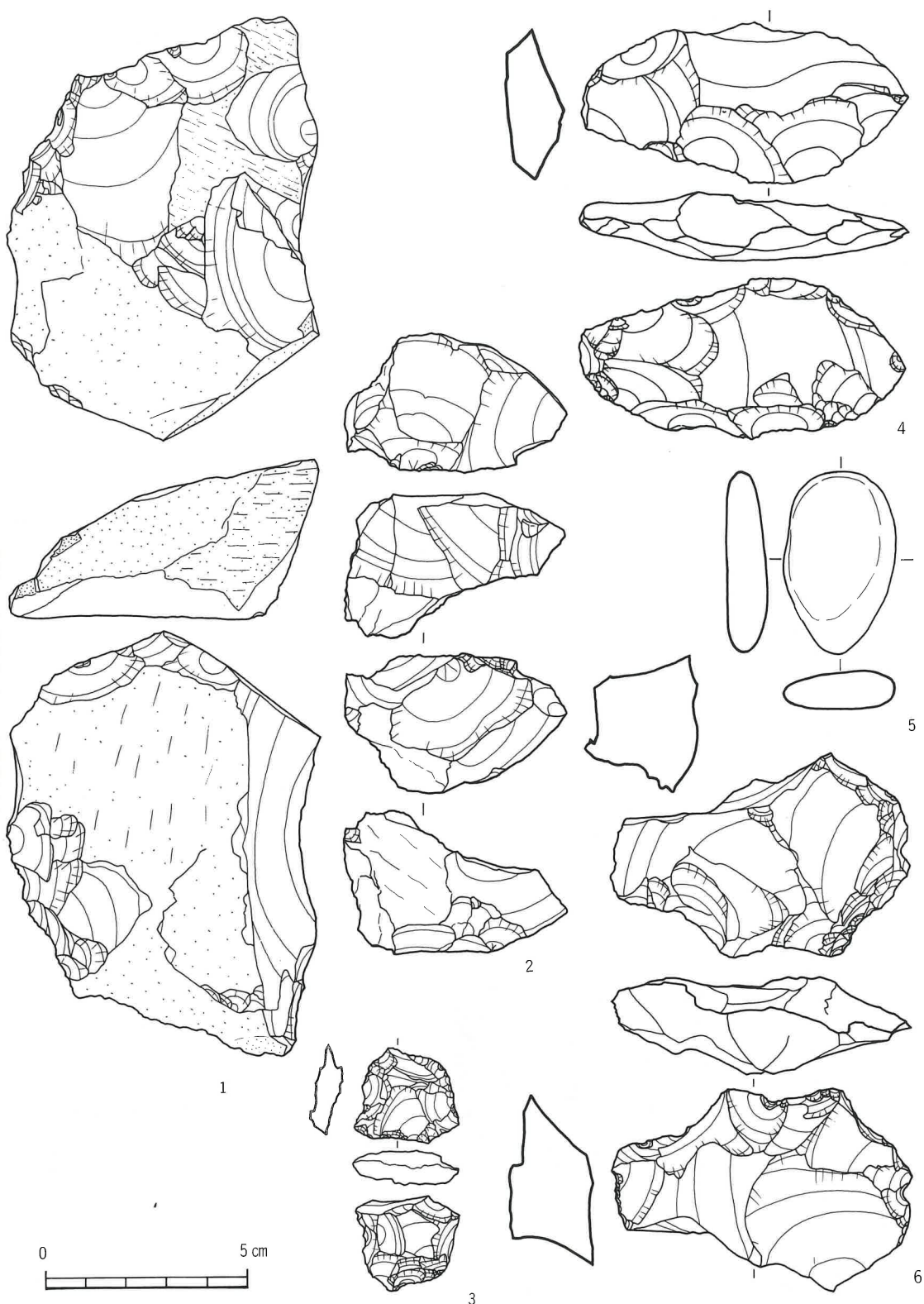
第214図 2～4層・4層の石器



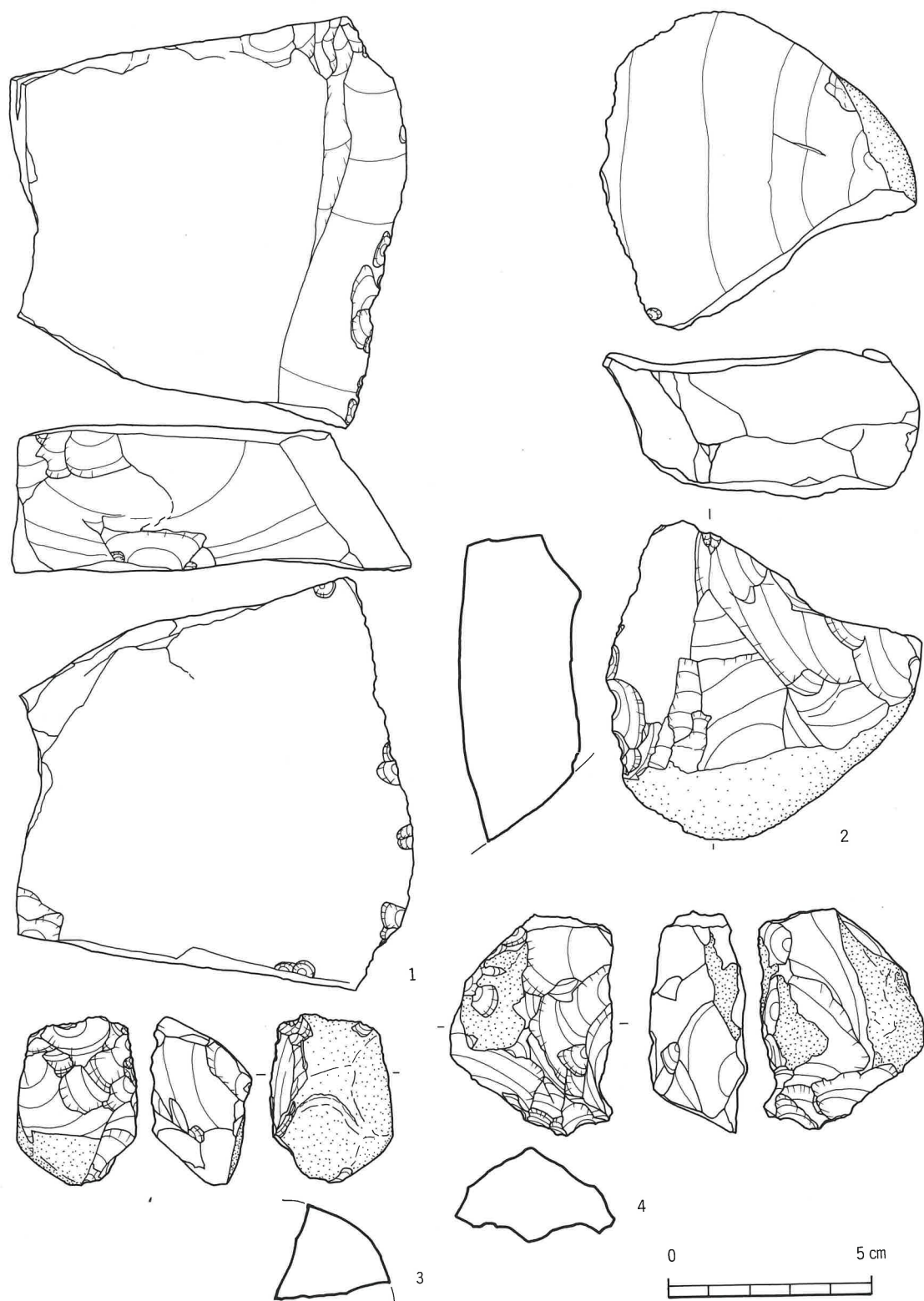
第215図 4層の石器



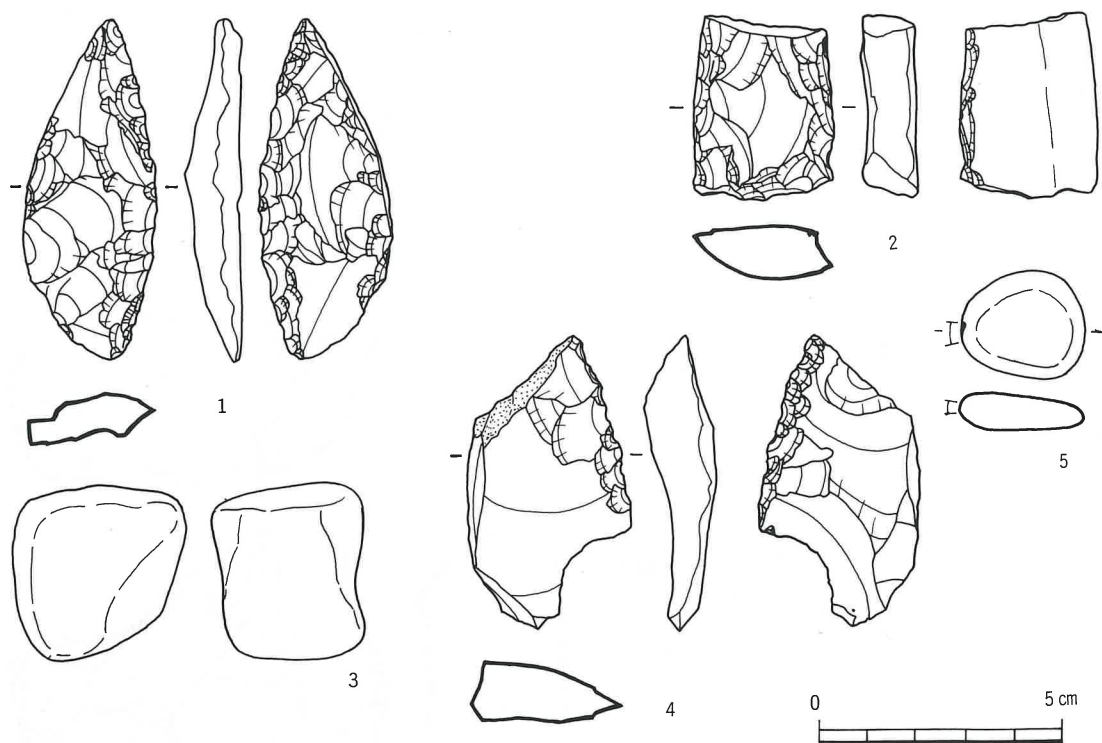
第216図 4層・5層の石器



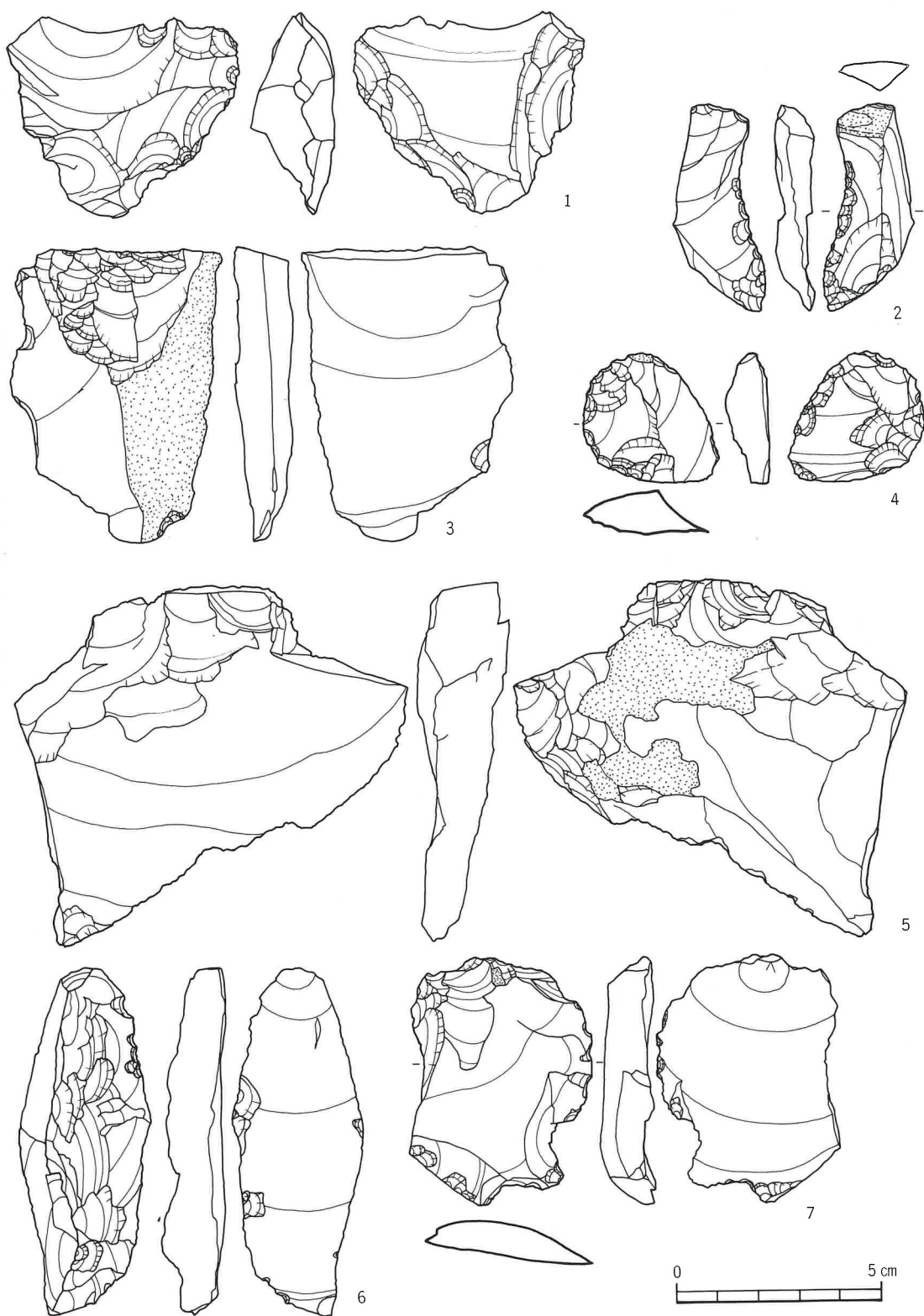
第217図 4層の石器



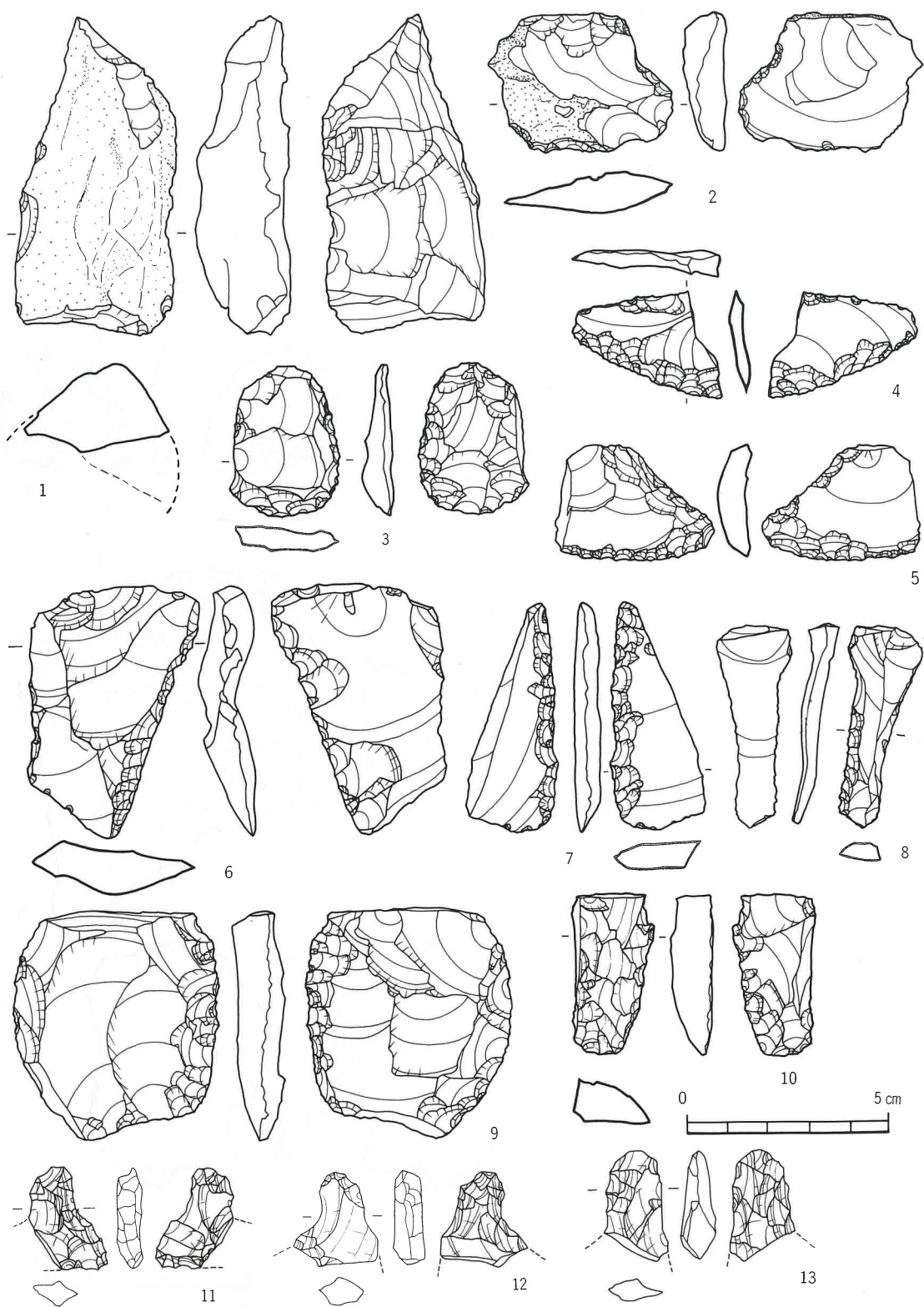
第219図 4層の石器



第220図 4層(1・2)・5層(3・4)出土石器



第221図 4層(1)、4・5層(2～7)の石器



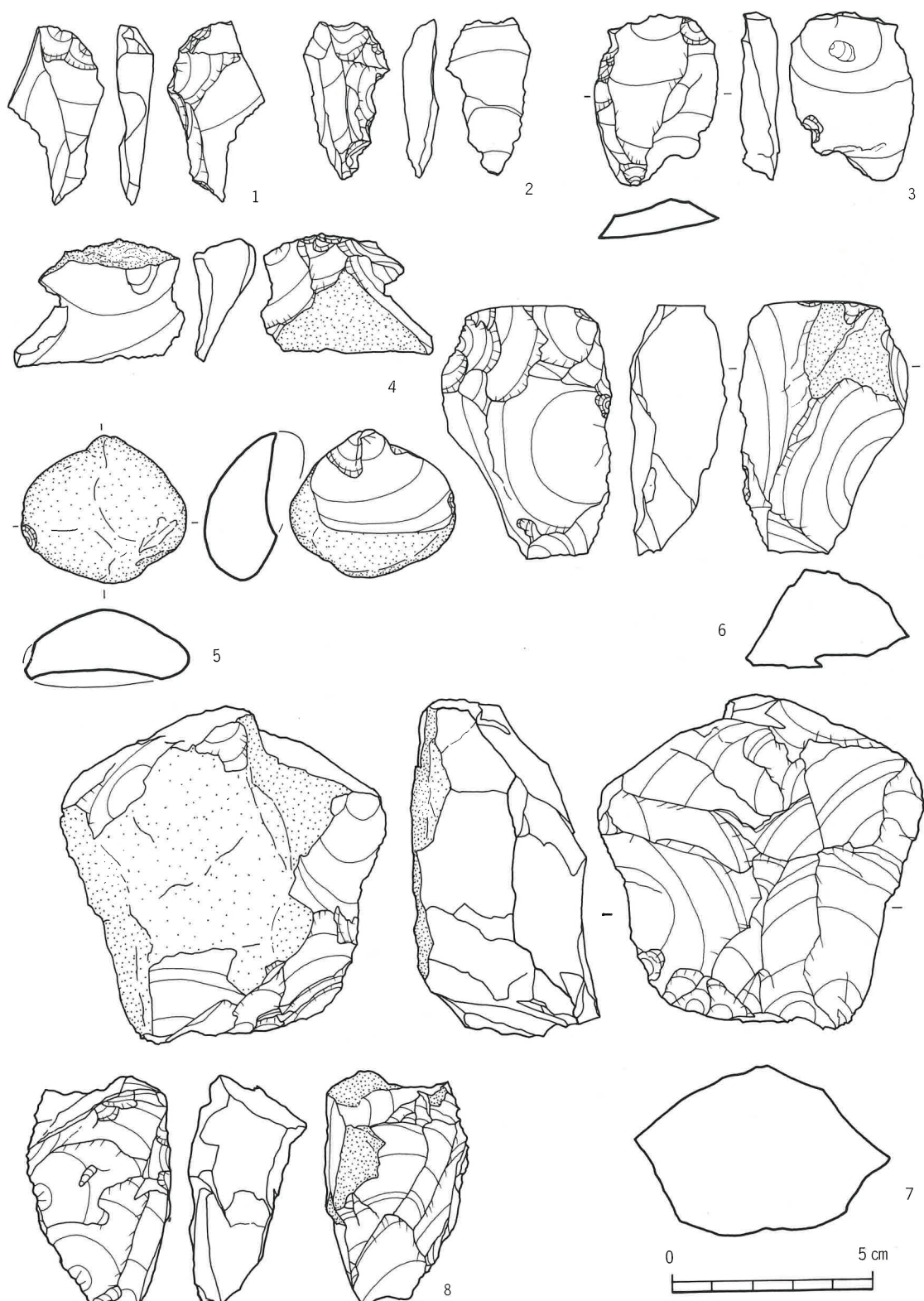
第222図 4・5層 (1)、5層 (2~13) の石器



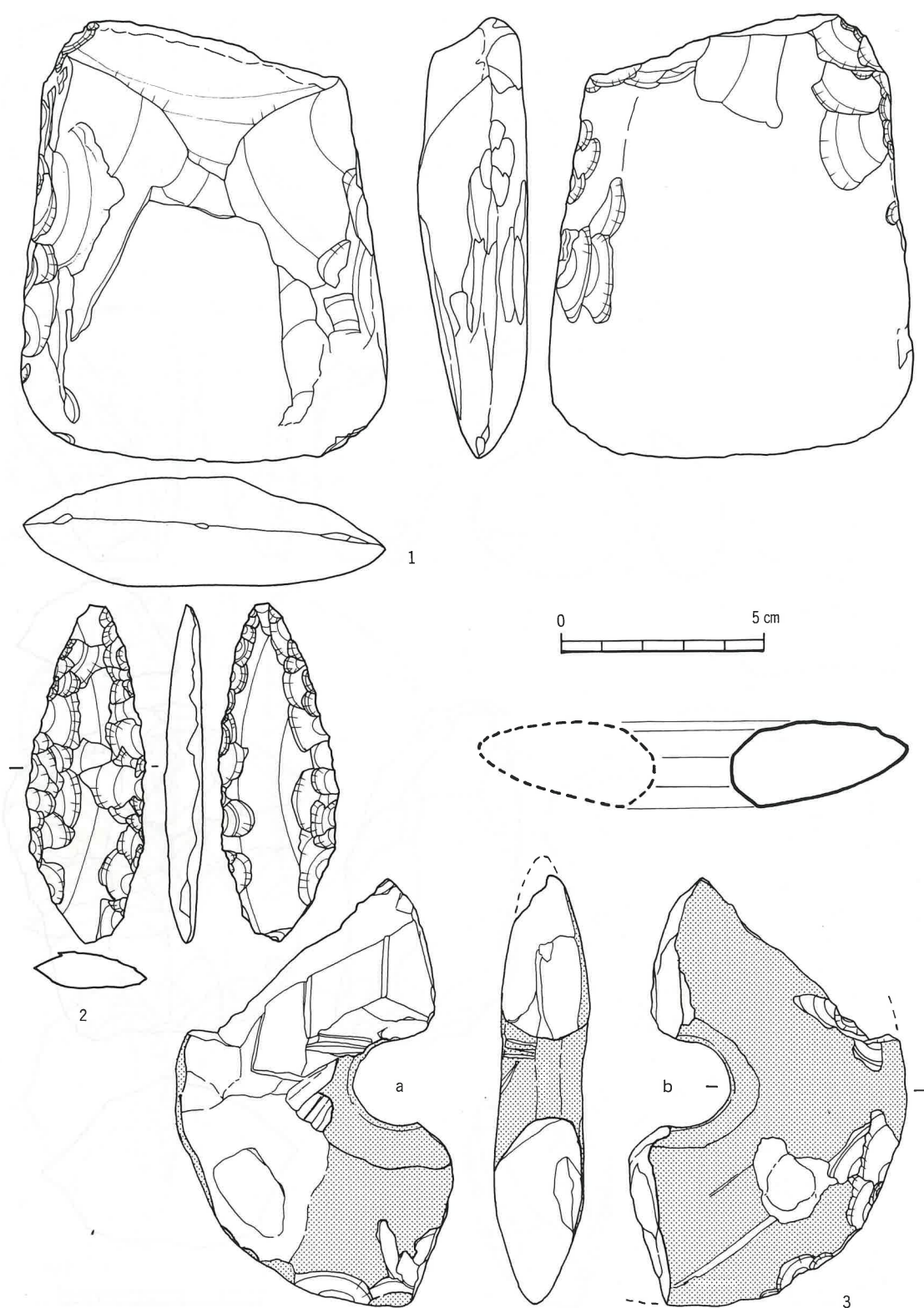
第223図 5層の石器



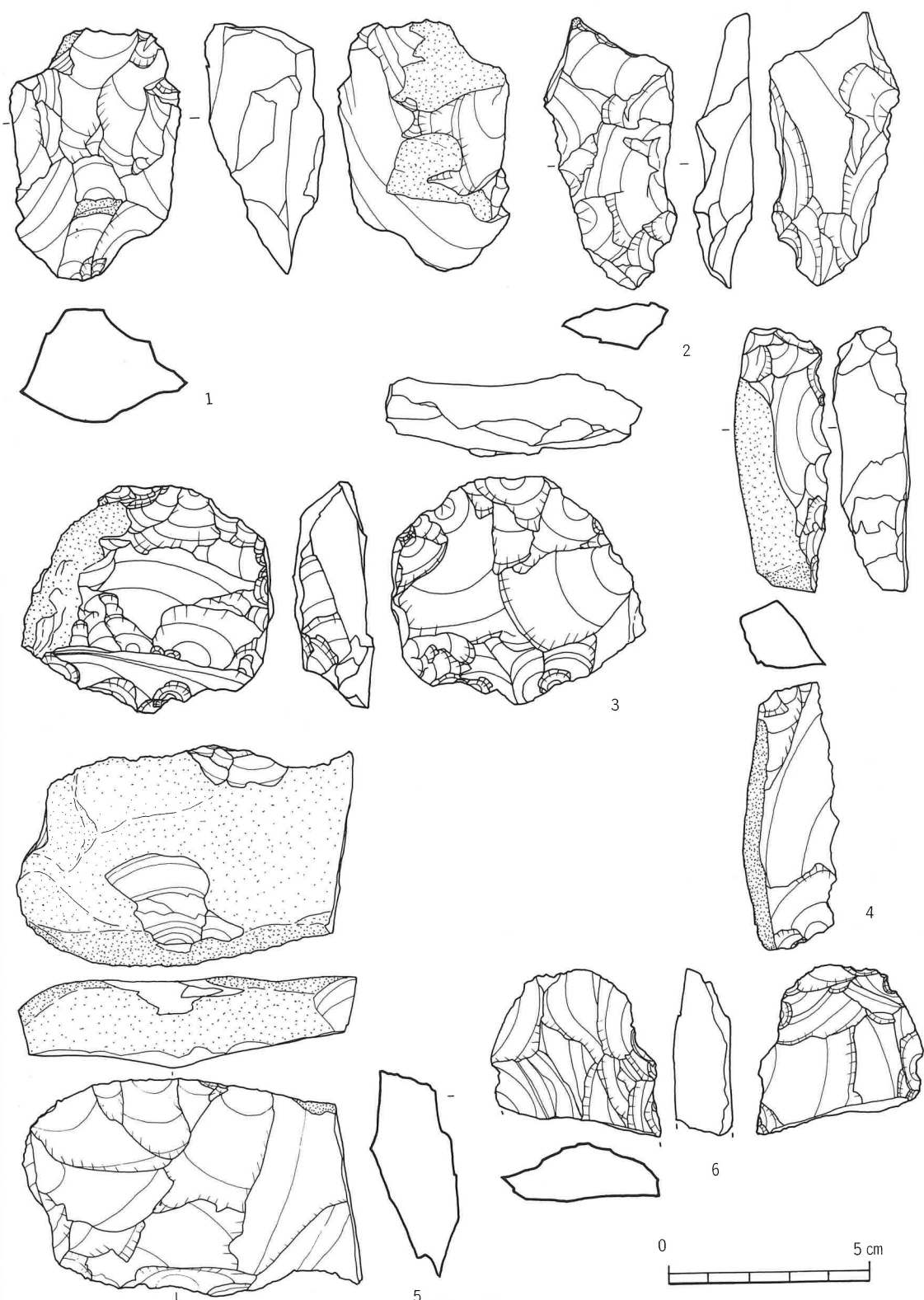
第224図 5層の石器



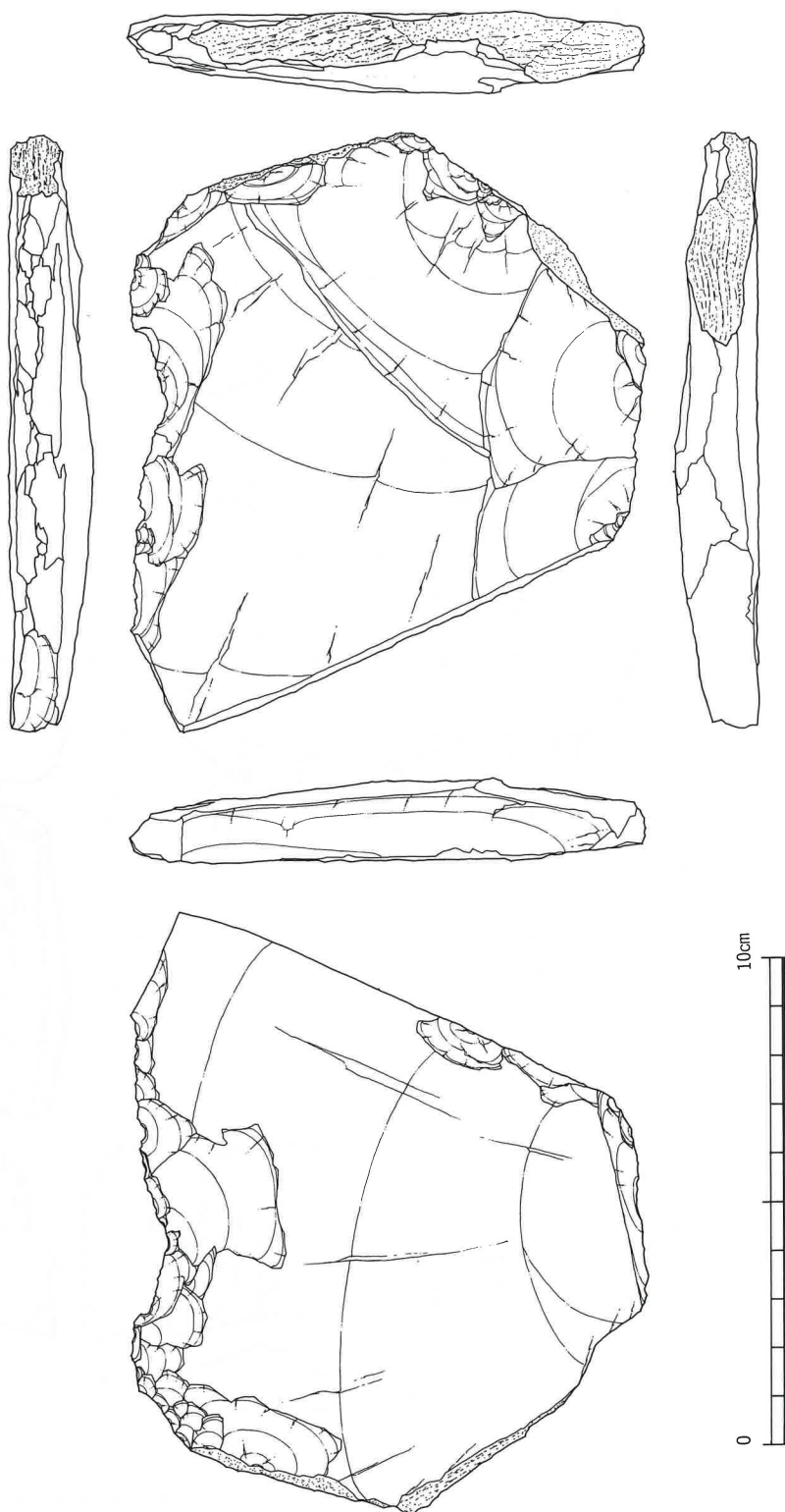
第225図 5層出土石器



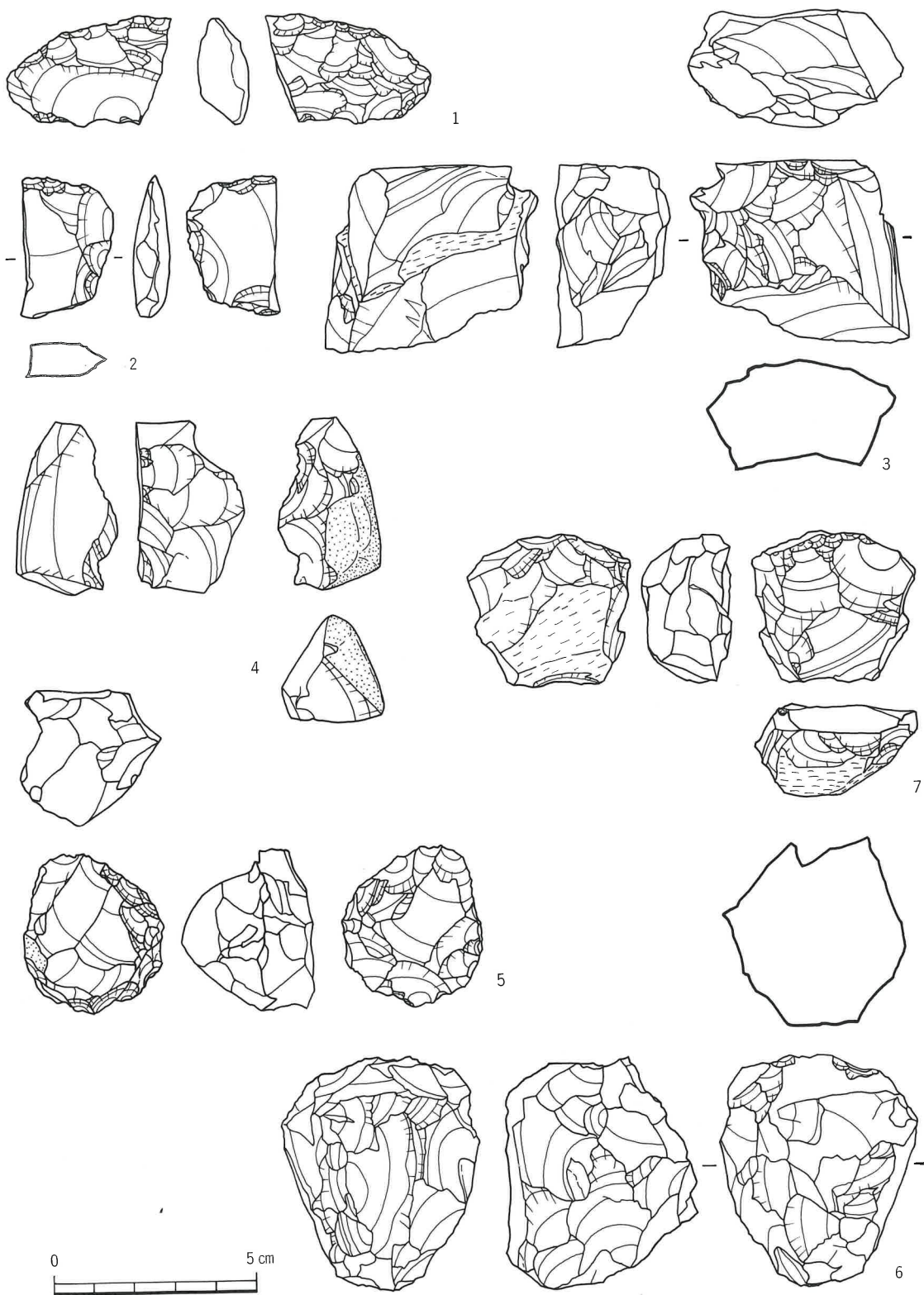
第226図 5層出土石器他



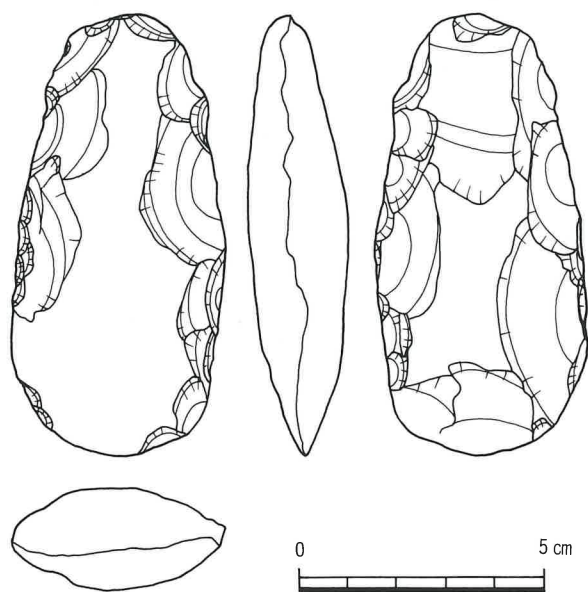
第227図



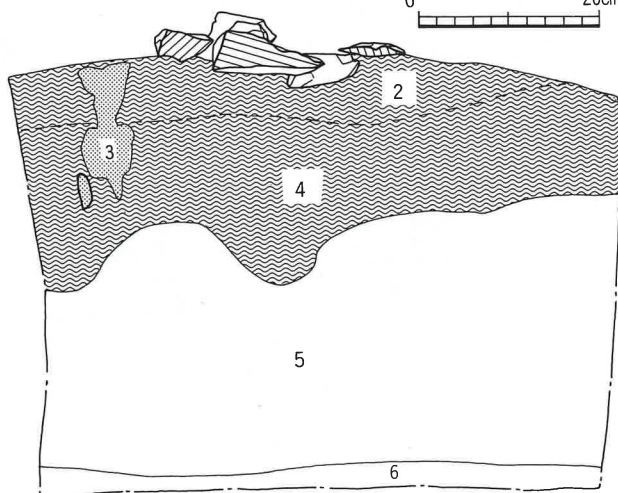
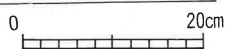
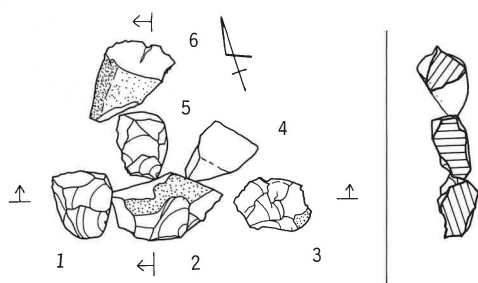
第228図 5層出土石器（サヌカイト）



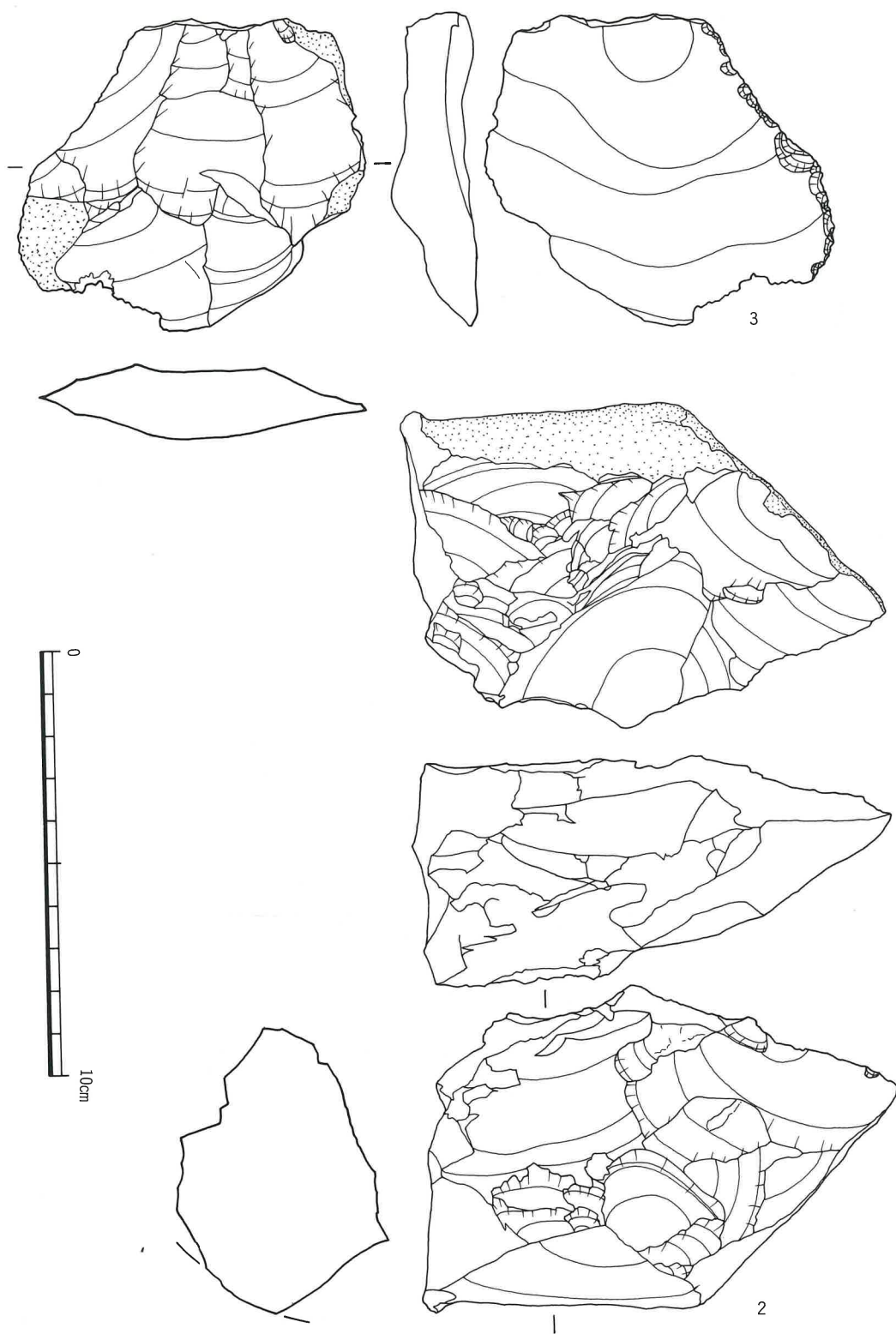
第229図 1層 (1)・2層 (3～6)・2～5層 (7) 出土石器



第230図 石斧（2層）



第231図 1号デポ



第232図 1号デポ 2・3

デ ポ

2層中で2ヶ所の石材集積箇所を検出した（第231～236図）。

○ 1 号 デ ポ（第231～233図）

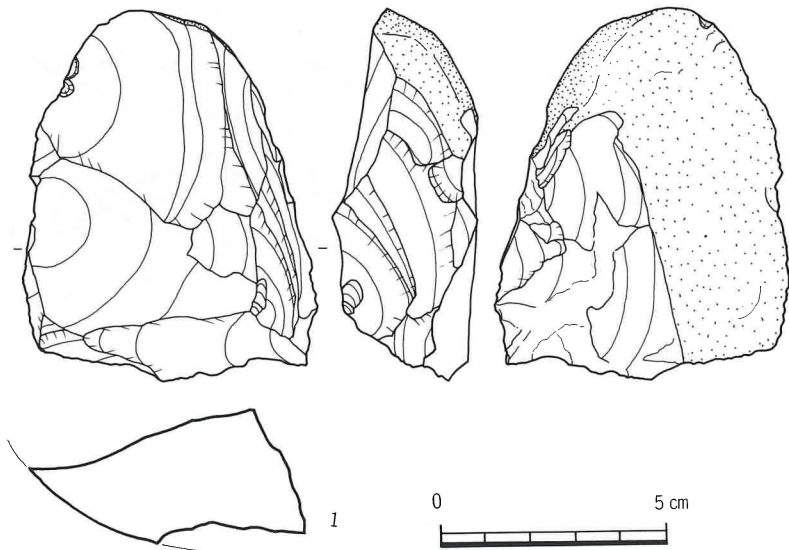
12P区に位置する。土層図でも示すとおりアカホヤ火山灰よりも上から6点の石材が出土した。黒い黒曜石（5）が1点、姫島産黒曜石（1－第233図1、3－第232図3・6）が3点、白色の珪質泥岩（2－第232図2・4）が2点である。3が剥片で、他は石核である。図示しなかった残りの3点は一時的に所在不明である。

○ 2 号 デ ポ（第234～235図）

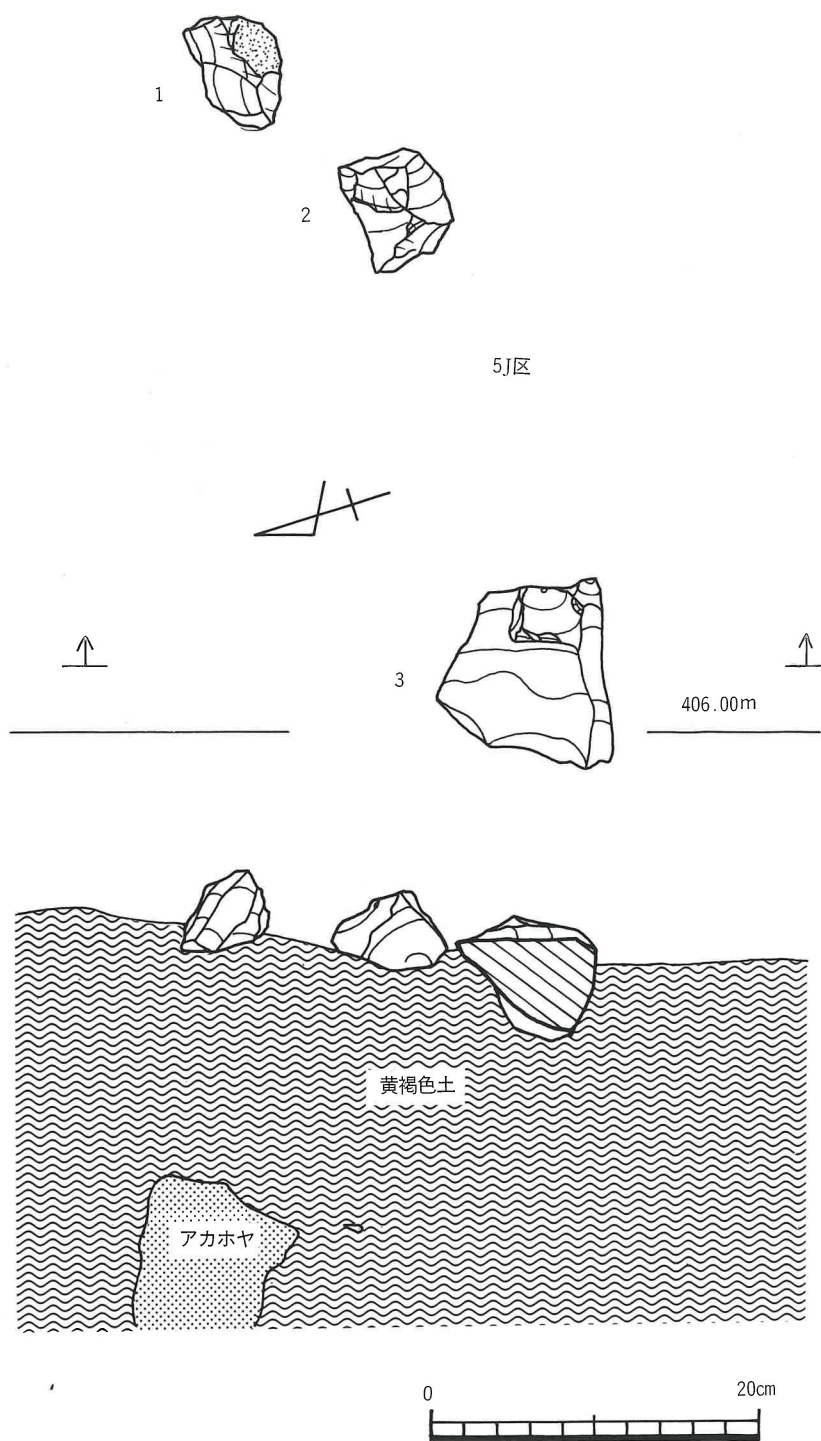
5J区に位置する。50cmの間に3点の姫島産黒曜石の石核が分布する状態であった。土坑の中に入っていたというようなことは確認できなかった。

○ 縄文時代遺物包含層の礫破片の接合状態について（第237図）

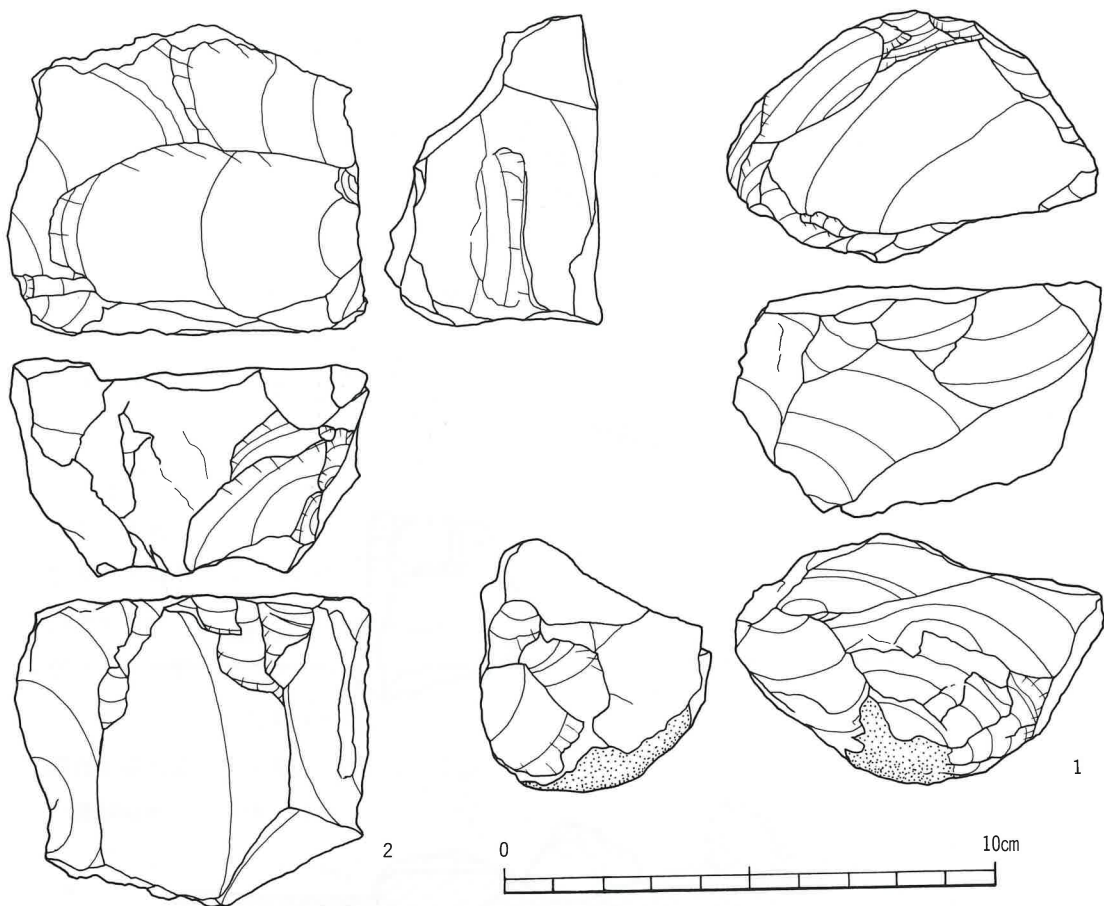
出土した礫のうち破片についてはその接合関係を調べた結果、2層（3層であるアカホヤ火山灰層の上で、時期的にはほぼ縄文前期から後の時期）内での接合は28例、2層の礫とアカホヤ火山灰層の下層の礫との接合例は24例、下層の礫同士の接合は68例であった。出土した礫は膨大な数量あり本来接合すべき点数はこれよりもはるかに多い筈であるが、同じような火山性の礫が多かったためにこの程度の接合にとどまった。接合礫の分布状態は調査区の西部と南西部に多く、東部は少なかった。2層の例は西部に偏り、早期の例よりも分布範囲が狭い。これは土器の分布と似た傾向である。集石に使われた礫が他の集石のものと接合する例はなかった。調査区中央部には北東に開いた空白域が認められるが、調査範囲を広げれば丘陵縁辺部に遺構や礫が分布し、全体で環状を呈する遺跡になるのであろう。



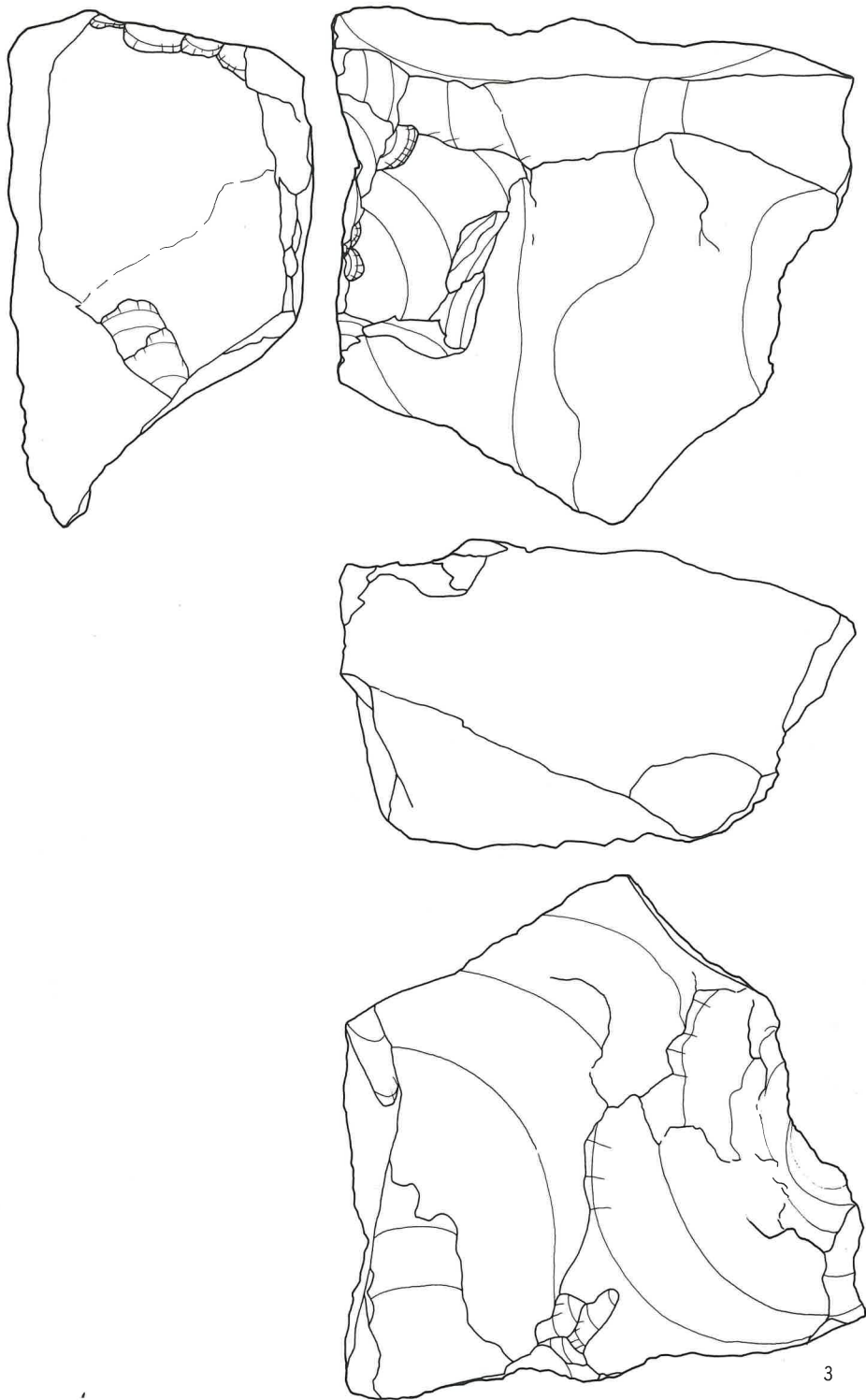
第233図 1号デポ 1



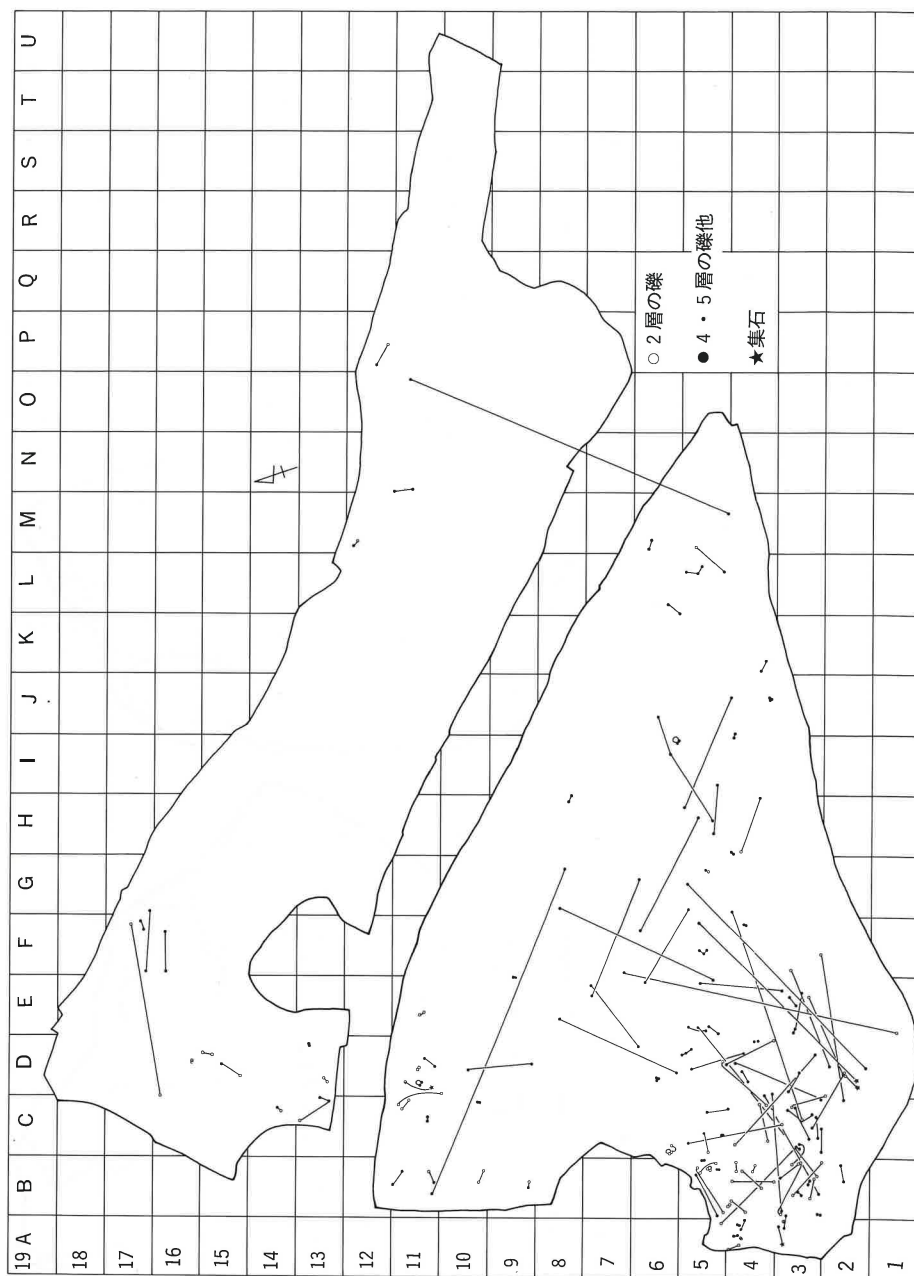
第234図 2号デボ (5 J 区)



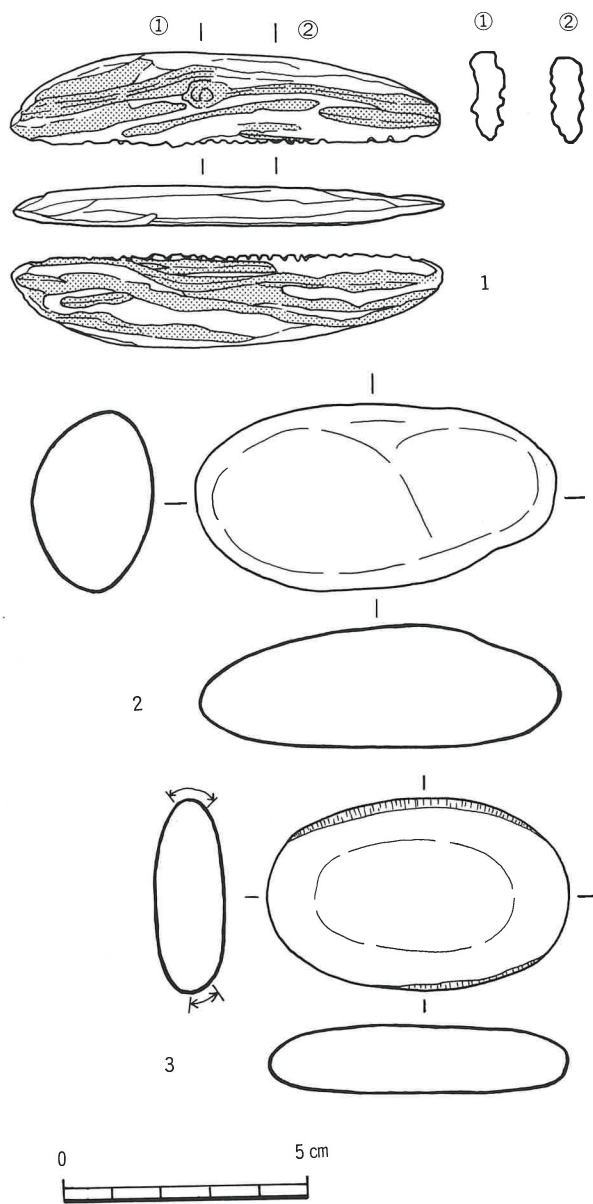
第235図 2号デボ1・2



第236図 2号デボ3



第237図 礫接合関係図



第238図 加工石製品他

表 1 叩石類観察表

番号	重さ	北から東から	長さ	巾	厚さ	層	図 NO	番号	重さ	北から東から	長さ	巾	厚さ	層	図 NO
3A-26	285.0	184 86	7.3	6.6	4.85	2	132-17	3B-1667	815	440	15	6.0		4 5	144-08
3A-92	336.0	118 248	8.85	7.4	3.65	2	136-04	3B-1708	182.0	626 525	9.85	4.8	3.3	2~5	
3A-231	315.0	353 50	9.9	6.3	4.7	2		3B-1774	92.0	419 373	5.2	4.2	3.2	2~5	141-16
3A-448	642.0	432 158	10.2	8.7	6.8	2	138-11	3B-1892	477.3	353 309	9.05	8.3	5.2	2~5	141-12
3A-523	294.0	369 256	9.15	6.0	4.15	2	132-16	3B-1906	99.0	368 181	5.3	4.1	3.3	2~5	141-15
3A-581	342.7	342 477	9.3	5.9	5.3	2	137-12	3B-1928	360.4	326 65	14.25	5.9	4.9	2~5	141-17
3A-615	556.0	443 16	9.4	8.8	4.9	2	134-09	3B-1960	124 0	5.95	5.6	4 2~5	141-18		
3A-664	185.0	561 345	8.55	4.8	4.05	2	132-12	3B-1972	754.0	74 53	10.7	10.1	5.9	2~5	140-06
3A-695	122.0	460 467	7	5.3	2.95	2	136-09	3B-1995	162.5	255 325	5.8	5.1	3.95	2~5	141-14
3A-1038	718.0	732 285	11.4	7.8	5.5	2	132-13	3B-2016	273.0	175 319	7.9	7.3	4.9	2~5	141-19
3A-1235	546.0	660 387	10.75	8.3	5.9	2	135-12	3B-2040	408.0	272 580	9.35	6.4	5.4	2~5	141-15
3A-1278		646 510	12.1	8.5	2.6	2	132-18	3B-2041		275 568	7.8	5.7	2.75	2~5	141-22
3A-1321	276.0	360 593	13.35	6.1	4.1	2	138-14	3B-2344	144.0	44 643	7.2	4.7	4.4	2~3	139-01
3A-1630	63.0	413 269	8.75	2.6	2		146-12	3B-2346	268.0	43 653	8.1	6.8	4.5	2~3	141-01
3A-1832	830.0	441 420	11	10.0	5	4~5	142-19	3B-2582	275.0	47 167	11.2	10.2	4.6	5	147-16
3A-1973	317.4	16 100	8.7	8.3	5.1	4	148-11	3B-3002	98.0		6.3+ α	3.6	2.4		
3A-2040	69.8		5.5	4.2	2	5	136-17	4B-1004	136.0	702 525	6.8	4.5	3.6	2	136-18
4A-69	69.0	66 426	4.1	3.6	3.3	2	138-02	4B-1246	415.0	484 924	12.3	7.4	5.5	2	137-04
4A-92	272.9	122 149	8.35	7.1	5.35	2	135-05	4B-1394	137.0	233 826	7.15	4.9	3.85	2	138-19
4A-593	560.0	463 193	12.6	8.6	4.8	2	136-23	4B-1403	354.1	377 800	8.85	7.5	4.1	2	133-12
4A-692	98.2	5 183	5	4.4	3.8	2		4B-1412	134.0	320 888	6.55	4.5	4.1	2	136-28
4A-736							141-05	4B-1886	145.0	160 372	8	5.1	3.8	2	136-11
4A-852	604.0	696 69	10.7	8.7	5.4	2~4	141-04	4B-1920	185.0	274 258	10.7	4.4	2.6	2	135-14
4A-958		316 117	6.65	5.7	3.9	2~4	140-04	4B-2049	630.0	208 687	10.9	9.3	5.1	5	154-10
4A-1130		663 218	9.4	7.6	4.3	2~4		4B-2203	622.0	500 543	10.5	8.4	6.2	5	148-09
4A-1253	566.0	591 348	11	7.6	7.3	2~4	153-05	4B-2299	352.0	728 459	10.2	8.5	3.3	2	
4A-1383	134.0	225 136	5.2	5.1	4.3	5	155-08	4B-2313	584.0	554 406	10	9.6	6.3	5	149-02
4A-1422	162.0	774 100	10.9	5.8	3	5		4B-2328	306.0	313 546	10.2	8.7	3.4	5	
4A-1736	348.0		9.1	7.0	4.1		145-11	4B-2731	1694.0	515 814	15.2	13.0	7	4	
4A-1808	823.5	401 79	12.3	11.4	7.05	4~5	144-19	4B-2743	254.0	161 760	8	5.8	4.4	5	148-08
4A-1961	492.0		9.9	8.9	4.4	4~5	136-27	4B-3030							147-02
5A-258	119.0	688 68	5.15	4.9	3.95	2		4B-3031	642.0	370 560	10.9	10.6	4.4	5	154-09
5A-285	251.0	234 274	7.7	5.8	5	2	138-12	5B-169	257.9	518 196	12.3	4.8	3.05	2	136-06
5A-456		547 360	9.7	6.9	3.8	2		5B-190		280 380	52	27.8	7	2	
5A-523	294.0	701 482	9.1	5.9+ α	4.2	2	136-19	5B-245	327.0	435 503	8.05	5.9	4.5	2	138-09
5A-568		557 459	7.85	6.5	4.4	2	135-16	5B-363	461.0	598 843	11.2	8.5	4.1	2	134-07
5A-585	87.0	560 204	8.3	2.9	2.2	2		5B-573	706.0	768 822	11.1	10.3	4.9	2	134-06
5A-758	351.0	614 63	9.7	7.3	5.7	5	152-04	5B-621	82.0	641 954	5	4.3	2.75	2	132-19
5A-799	503.8	578 235	9.7	9.7	5.3	5		5B-878	770.0	585 243	13	10.3	7	2	
2B-34	344.0	176 866	9.4	5.3+ α	5.45	2	138-03	5B-973	495.0	375 556	15.65	9.5	2.8	2	
2B-198	90.5	286 484	6.6	4.9	3.75	2	136-02	5B-995	352.0	604 593	11.3	7.9	3.45		134-14
2B-202	368.8	220 480	9	8.5	4	2	136-16	5B-1278	481.0	229 272	14.3	6.9	4.7		
2B-225	91.0	297 377	5.1	3.9	3.5	2	132-20	5B-1307	1090.0	539 680	12.4	12.3	7.25		
2B-247	169.0	281 211	6.75	4.8	4.4	2	145-02	5B-1480	352.0	600 202	9.65	7.8	3.4	4~5	
2B-267	477.0	270 76	9.35	6.8	6.9	4	142-17	5B-1771	614.3	160 244	11.45	9.4	5.6	2	137-11
2B-392		424 647	8.35	8.2	4.9	4		5B-1885	900.0	605 44	15	8.6	5.15	5	146-19
2B-602	536.0	306 452	11.3	8.9	4	2		5B-1972	509.8	800 430	26.5	7.7	3.1	5	155-05
2B-886	72.0	109 409	5.3+ α	4.8	2.3	5	155-01	8B-108		25 175	13.2	10.2	8.1	2	132-02
2B-895	580.0	304 300	13.3	9.5	3.7	5		9B-81	315.0	397 152	8.4	6.8	4.6	2	138-13
2B-904	97.0	208 973	4.9	4.3	3.9	5	137-09	10B-64	538.0	485 227	10.9	9.2	4.6	2	
3B-234	896.0	300 714	11.8	9.8	5.8	2	136-24	10B-218	402.0	715 261	8.45	8.3	4.7	4	
3B-312	107.0	57 759	5.6	4.4	3.7	2		10B-229	160.0	40 16	8.6+ α	5.1+ α	5.1	4	
3B-321	211.0	249 647	9.85	5.9	4.3	2	132-22	1C-35	81.0	204 257	7.1+ α	3.55+ α	2.75	4	
3B-348	108.9	796 877	9.7	3.7	2	2	137-02	2C-26	568.2	192 441	10.9	8.0	4.45	4.5	145-09
3B-381	308.0	612 732	11.5	7.6	5.6	2	138-07	2C-80	982.0		12.2	9.5	5.8		132-05
3B-469	786.3	554 768	13	10.5	5.7	2	136-22	2C-98	271.6	185 485	10.9	6.7	4.8	4.5	144-17
3B-495	134.0	432 885	5.8	5.2	4.1	2	138-15	2C-100	448.0	200 445	9.1+ α	6.1+ α	5.55	4.5	
3B-589	516.0	78 766	9.95	9.9	4.6	2	137-06	2C-169	386.0	307 630	8.1+ α	6.8+ α	5.4	4.5	
3B-693	499.0	548 652	13.65	8.3	4.2	2	136-04	2C-224	127.7	166 905	5.5	5.1	2.15	4.5	
3B-695	120.0	714 666	5.7	4.3	4	2	138-05	2C-246	285.0	355 842	8	7.7	5	4~5	145-14
3B-852	249.0	695 238	7.75	6.4	5.45	2		2C-349	786.0	47 170	10.25	10.3	6.5	2	145-13
3B-1052	426.0	354 222	11.5	7.1	5.1	2	136-10	2C-435	35.0	86 232	4.0+ α	3.1	2.5	2	
3B-1093		312 680	6.55	5.4	3.5	2	136-01	2C-481	203.0	4 383	9.6	6.4	4.6	2	
3B-1100	764.0	279 601	9.4	8.8	6.3	2	136-20	2C-630	550.0	88 871	9.8	9.2	5.2	2	141-23
3B-1130	111.0	680 980	6.1	4.1	3.15	2	133-01	2C-733	672.0	623 94	10.2	9.1	4.95	5	134-01
3B-1156	763.2	773 809	13	12.1	6.2	2	136-29	2C-808	72.3	449 674	4.9	4.3	3.7	4	
3B-1179	161.0	40 1078	6.9	4.4	4.1	2	132-23	2C-822	355.0	559 591	8.3	6.4	5.9	4	144-07
3B-1253	150.0	67 795	5.95	4.7	3.95	2	141-08	2C-865	527.3	54 91	11.5	9.3	4.7	5	
3B-1407	257.0	91 701	8.8	6.4	5	2~4	142-13	2C-892	255.0	84 358	8.2	6.4	4.9	5	148-06
3B-1481	145.0	559 830	5.75	4.3	4.1	4		2C-981	142.0	634 236	7.9	5.8	3.3	5	148-14

表2 叩石類観察表

番号	重さ	北から	東から	長さ	巾	厚さ	層	図 NO	番号	重さ	北から	東から	長さ	巾	厚さ	層	図 NO
2C-1109	554.0	726	796	12.3	9.6	4.9	5	143-12	5C-359	1357.0	288	926	12.7	11.2	7.45	5	146-11
3C- 87	401.3	746	726	11.55	7.5	4.2	4	143-07	5C-361	222.0	320	904	8.8	6.1	4.9	5	150-02
3C-144	412.8	622	597	14.35	5.2	3.7	4	142-05	5C-454	353.0	628	801	8.7	6.9	3.2	5	147-06
3C-184	604.0	716	231	11.9	9.9	5.1	4	144-10	5C-463	161.0	625	727	6.6	4.9	4.4	5	
3C-261	132.0	55	82	5.4	4.7	4.1	4		5C-468	283.8	671	723	8.8	7.3	4.6	5	153-11
3C-288	724.0	170	242	11.2	10.1	5.25	2~4		5C-500	674.7	367	555	14.1	8.4	4.95	5	150-12
3C-310	736.0	166	297	12.2	10.9	5.6	2~4		5C-540	499.0	31	516	10.5	7.5	5.3	5	
3C-389	95.0	365	259	4.3+α	4.8	3.9	2~4	141-07	5C-590	137.3	197	276	5.5	5.0	4.3	5	146-08
3C-496	191.0	451	242	8.5	5.2	4.8	2~4	140-03	5C-648	212.0	667	417	11.9	6.9	3.2	5	151-09
3C-569	824.7	680	400	11.7	10.5	5.9	2~4	139-03	5C-744	103.0	359	225	7.2+α	4.5+α	2.8	5	
3C-585	375.7	476	329	10.15	8.2	5.2	2~4		5C-901	497.5	455	277	12.2	7.8	5.65	5	146-10
3C-609	306.0	512	491	12.6	4.7	3.45	2~4	140-02	5C-1214	131.0	505	972	5.6	4.5	3.9	5	153-03
3C-695	432.0	568	521	13.3	8.8	3.4	2~4		5C-1390	253.1	743	370	9.05	7.5	5.6	5	150-01
3C-745	301.0	723	640	8.85+α	6.5	3.3	2~4		5C-1393	136.0	765	335	8	5.6	3.5	5	
3C-760	343.0	654	771	10.5	7.3	4.4	2~4	139-02	5C-1401	265.0	786	247	7.65	7.3	3.8	5	
3C-764	425.9	716	759	13.05	6.9	4.3	2~4		5C-2272	513.1			11.45	7.9	3.6	5	146-18
3C-765	123.0	624	767	5.6	5.7	3.5	2~4	141-20	6C- 26	402.0	607	539	8.5	8.1	4.8	2	134-03
3C-861									6C-111	176.0	597	892	8.85	5.6	3.6	5	150-16
3C-931	458.0	281	708	10.1	7.4	6.1	2~4		6C-161	160.0	715	301	6.4	4.6	4.55	5	146-17
3C-1018	161.0	794	253	5.75+α	4.7	4	2~4		6C-180	671.0	726	400	12.5	9.4	5.3	5	
3C-1124	346.0	549	590	7.65	7.1	5.1	2~4		6C-192	30.0	591	445	4.0+α	2.55+α	3.3	5	
3C-1139	86.0	575	639	5.2+α	4.0	2.75	2~4	139-06	6C-194	91.0			7.4	3.7	2.5		
3C-1146	411.9	745	812	10.85	8.4	3.1	2~4		6C-251	804.0	131	619	11.8	9.3	6	5	
3C-1211	395.0	626	260	10.1	7.7	4.3	2~4		6C-382	340.0	189	879	9.20+α	7.55+α	5.7	5	
3C-1214	156.0	649	215	5.5+α	5.7	3.6	2~4	139-04	6C-403	260.0	392	791	8.95	7.0	4.2	5	
3C-1299	114.8	423	486	6.35	5.1	3.5	2~4	141-03	6C-433	239.0	527	559	11.2	5.9	4.55	5	
3C-1319	584.0	622	597	10.9	9.4	3.7	2~4	141-09	6C-437	208.0	569	932	7.40+α	4.95+α	4.25+α	5	
3C-1335	372.0	380	538	8.6	7.7	3.9	2~4		6C-440	578.0	554	888	11.6	8.2	5.3	5	
3C-1342	760.0	461	637	10.85	10.5	5.9	2~4	141-10	6C-465	502.0	665	715	11.8	8.7	4.6	5	
3C-1353	177.1	592	708	16.15	4.0	2	2~4		7C- 6	70.5	759	296	4.3	3.8	3.1	2	135-17
3C-1380	154.0	380	769	8.4+α	4.2	3.6	2~4	132-21	7C- 32	155.0	695	501	5.8	5.2	4.5	4	
3C-1841									7C-328	477.0	146	610	9.05	8.1	5.6		
3C-1911	726.0	759	71	13.2	9.9	5.4	2		8C-127	656.0	718	981	11.3	9.3	5.2	2	135-07
3C-1929	167.0	383	17	7	5.5	4	2		10C- 37		471	564	12.55	11.5	6.25	2	134-02
3C-1937	558.0	355	48	10.85	10.2	5.2	2	132-04	10C- 78	722.1	751	570	11	9.6	4.95	2	132-08
3C-1973	1110.0	328	86	12.6	10.3	6.1	2	136-07	10C-371	99.0	550	128	5.2	4.7	3.6	4	143-02
3C-2006	1084.5	279	111	12.1	10.2	7.15	2	133-06	11C- 91	1004.0	671	613	15.3	11.8	6.7	2	
3C-2045	492.1	213	159	11.8	8.2	4.85	2	151-08	11C-114	570.0	306	906	11	10.1	4.85	2	134-08
3C-2085	283.4	365	68	11	6.3	3.85	5	151-01	11C-191	562.0	760	163	9.25	8.6	5.6	2	136-14
3C-2144	1184.9	245	79	11.9	9.5	7.7	5	148-07	11C-301	588.0	412	497	11.6	7.7	6.1	4	145-01
3C-2190	538.0	167	129	10.95	8.4	5.4	5	148-02	11C-310	416.6	284	484	11.5	8.5	5	4	143-16
3C-2274	318.2	437	89	9.35	6.0	4.9	5		11C-335		618	627	11.7	6.1	5.9	4	142-09
3C-2348	496.5	659	137	11.6	5.8	4.75	5	151-05	13C-133	516.0	305	87	11.7	8.7	5.1	5	
3C-2358	562.8	650	41	10.3	8.6	5.7	5	155-15	13C-140	384.4	186	20	13.5	8.2	3.5	5	155-03
3C-2394	588.0	770	16	10.4	9.2	6.3	5		14C- 88								146-14
3C-2404	274.0	806	207	8.3	6.3	4.8	5		14C-119	348.0	327	119	7.8	7.7	3.8	5	
3C-4061	357.0	273	78	9.3	7.0	3.95	5	147-10	14C-165	490.0	198	594	8.8	8.3	5.8	5	147-07
3C-4065	808.4	252	101	14.05	8.2	5.45	5	155-02	14C-210	466.0	80	406	8.9	7.9	4.4	5	
4C- 43	481.1	722	169	10.35	8.1	4.8	2	134-04	14C-176	188.5	311	606	7.7	5.7	5.1	2	138-04
4C-101	434.0	532	385	10.2	7.0	6.4	2		15C- 48	556.9	176	811	11.9	9.5	4.6	4	140-10
4C-128	554.0	401	369	10.2	8.4	6.6	2		1D- 6	458.0	3	911	9.9	6.8	3.7	4+5	144-18
4C-161	439.2	368	516	9.7	7.4	4.85	2	133-16	1D- 38	668.4	338	986	9.9	8.5	5.5	4+5	145-08
4C-255	372.0	119	714	9.4+α	8.4+α	4.2	2		1D- 78	375.2	86	892	9.8	8.3	4.2	4+5	145-12
4C-280	753.1	80	582	12.5	10.6	5.01	2	133-11	1D- 82	52.4	74	863	4.15	3.7	3.3	4+5	144-20
4C-2161		223	972	11.5	10.2	8.1	2~4	139-07	1D-142	738.7	218	750	12	10.4	5.8		
4C-2307	334.0	625	780	8.6	6.7	6	4+5		1D-242	213.0	370	553	9.2+α	5.8	3.2		
4C-2396	124.0	802	850	6.1	4.9	4.8	4+5		1D-343								146-05
4C-2443	73.0	346	511	6.35+α	3.2	3	4+5		1D-348	141.0	323	825	10	3.80+α	3.3	2~4	
4C-2657	128.0	265	268	5.85	4.5	3.45	4+5		1D-436	714.0	50	235	12.8	8.2	6.3	2~4	
4C-2671	158.0	331	162	8.0+α	5.8	3	4+5		1D-836	110.0	206	111	5.4	4.5	3.7	2	
4C-2907	235.0	633	519	7.05	6.4	4.7	4+5		1D-905	778.0	278	186	10.2	8.9	11.9	2~4	141-02
4C-3150	206.5	546	614	7	6.2	3.3	4+5	144-16	1D-942	352.0	558	313	10.1	7.10+α	5.4	2+4	
4C-3207	292.0	440	834	11.0+α	5.8	3.9	4+5		1D-985	510.0	100	136	10.7	8.7	4.1	2+4	
4C-3536	163.0	539	62	7.1	5.2	4	2		1D-1146	766.1	426	118	14.75	11.9	4.3	2+4	139-08
4C-3627	114.1	743	48	8.2	5.8	2	2	133-08	2D-626	972.0	318	538	13.3	10.8	7.2	4	
4C-3627	114.0	743	48	6.8+α	6.4	1.8	2		2D-738	169.0	213	172	6.10+α	4.8	3.6	4	
5C-196	139.0	778	424	5.5+α	5.7	3.2	4		2D-876	1254.0	573	226	13.1	11.6	5.3	4	
5C-203	298.0	802	578	8.8	7.8	3.5	4		2D-973	285.0	620	715	8.70+α	6.65+α	5.75	5	
5C-284	375.0	339	801	10.1	8.0	5.6	4		2D-1005	391.0	528	548	13	5.4	6.1	5	
5C-299	190.0	19	628	7.7+α	5.1	3.4	5		2D-1230	301.0	39	799	9.4	8.2	4.55	5	

表3 叩石類観察表

番号	重さ	北から東から	長さ	巾	厚さ	層	図 NO	番号	重さ	北から東から	長さ	巾	厚さ	層	図 NO
2D-1335	524.0	122	670	12.05	6.6	4.6	5	5D-263	1391.0	336	15	16.75	14.0	5.05	2
2D-1347	350.2	37	670	10.4	5.0	6.15	5	5D-348	698.2	305	401	11.8	9.2	5	2 133-02
2D-1457	458.3	349	583	11	7.8	3.6	5	5D-570	379.9	550	571	12.65	7.7	5.75	2 135-02
2D-1493		597	62	25.6	17.0	12.1	5	5D-617							136-05
2D-1512	438.0	876		10.1+ α	6.1	5.8	5	5D-644	411.9	680	420	11.3	7.0	5.6	5 148-10
2D-1588	498.0	790	651	13	5.7	3.7	4	5D-663	381.7	511	437	11.7	5.8	6.4	5 153-02
3D-5	738.0	710	867	12.2	9.4	5	2	5D-701	396.0	520	90	10.3	9.4	5	5
3D-108	122.2	629	942		4.6	3.3	2	5D-760	367.0	310	115	11.4	5.6	3.7	5
3D-114	73.7			4	4.0	3.3		5D-805	486.0	43	91	8.8	8.3	5.5	5
3D-338	536.0	389	840	10.7	7.9	6.3	2	5D-825	276.0	418	488	10.8	5.8	3.3	5
3D-423	922.0	550	903	11.8	8.7	6	5	5D-859		200	489	8.5	7.4	4.7	5 154-07
3D-636	844.0	400	912	11.5	9.3	5.7	4	5D-885		124	357	8	5.5	3.2	5 154-02
3D-707	137.0	369	850	6.7	5.4	4	2	5D-1011	950.0	396	630	14	10.4	4.7	5 155-14
3D-713	179.0	226	856	7.00+ α	4.9	3.5	2	5D-1984	283.8	508	768	11.35	5.7	4.75	2 135-01
3D-817	226.0	692	816	9	7.6	4.85	2	6D-234	546.4			11	10.3	4.4	5
3D-1102	198.0	196	172	8.45	5.0	4.3	2	6D-319	616.0	226	224	11.1	10.4	5.75	5
3D-1318	980.0	226	667	11.4	9.6	6.4	2	6D-525	540.0	388	879	10	8.5	5.15	5
3D-1321	1180.0	224	656	15.5	9.9	8.35	2	6D-586	92.0	749	155	6.20+ α	4.20+ α	2.55	5
3D-1441	183.0	414	446	7.85+ α	4.2	3.35	2	6D-691	317.0	136	417	8.7	7.1	5.9	5
3D-1473	202.0	514	443	8.3	6.1	4.2	2	6D-708	508.0	327	557	10.75	8.1	4.8	5
3D-1483	318.0	645	376	10.5	7.9	6.2	2	6D-709	402.6	335	558	9.4	9.2	4.8	5 150-04
3D-1487	349.5	520	319	9.75	7.2	5.8	2	6D-732							152-05
3D-1527	123.0	580	691	6.60+ α	4.0	2.7	2	6D-799	452.6	583	607	11.15	8.7	5.75	5 147-12
3D-1561	267.0	79	580	9.4	6.0	4.3	5	6D-803	64.0	537	656	6.00+ α	4.2	3.1	5
3D-1673	249.3	143	708	8.3	7.3	2.7	5	6D-843	688.0	607	900	10.6	8.6	4.2	5 146-20
3D-1710	254.8	621	758	9.2	7.8	4.05	5	6D-902	139.0	679	579	6.3	4.6	3.4	5 153-08
3D-1864	367.3	371	778	10.35	6.7	4.15	2	7D-74	371.7	42	567	12.9	7.0	3	5 150-03
3D-1867	282.4	360	852	10.65	6.3	4.1	5	9D-545	139.0	262	884	7.2	3.80+ α	3.6	5
3D-1914	600.0	68	343	9.4	7.8	5.7	5	10D-169	251.0	547	299	10.6	5.1	3.1	2 135-15
3D-1935	106.0	609	208	7.20+ α	3.6	3.55	5	10D-446	147.0	299	681	8.90+ α	3.5	2.55	5
3D-2022	78.0	41	899	4.70+ α	4.5	3.25	5	10D-453	756.0	649	358	12.9	10.8	4.5	5
3D-2065	844.5			12.4	10.7	6.2		10D-463	340.0	489	535	8.00+ α	5.9	5.3	5
3D-2235	364.1	245	302	7.95	7.5	5.4	5	10D-471	318.0	212	567	10.8	8.2	4	5 151-10
3D-2330	148.0	534	828	7.20+ α	5.3	3.5	5	10D-675	137.0	337	114	7.45	6.3	3.7	5
3D-2410	241.0	585	10	10.7+ α	5.6	3.5	5	10D-762	286.5	267	594	9.5	7.1	4.5	5 149-09
3D-2440	476.1	617	191	10.15	8.1	5.1	5	11D-54	381.3	105	329	11	7.4	4.5	2 133-07
3D-2492	397.0	42	365	13.5	6.0	4.1	5	11D-170	231.0	185	531	8.2	7.0	5	2
4D-90								11D-178	383.0	85	864	8.4	7.1	6.2	2 132-11
4D-109	286.0	708	563	8.10+ α	5.9	4	4	11D-248	986.0	119	857	14.6	11.2	4.9	2
4D-178	411.8	722	324	8.8	8.0	5.1	4	11D-460	215.0	5	867	10.25	6.3	3.6	2
4D-347	676.1	728	715	12.7	9.2	4.3	4	11D-482	365.0	373	183	8.2	7.0	4	4 144-09
4D-480	363.0	683	244	9.6	7.6	5.1	4	11D-522	288.0	590	350	9.85	6.3	4.3	5
4D-581	548.0	414	214	10.1	7.5	6.2	4	11D-610	171.0			7.2	7.2	3.4	
4D-610	560.0	323	200	9.8	7.6	5.2	4	11D-685	287.0	709	530	7.6	6.8	5.2	5 149-10
4D-765	744.0	146	363	9.30+ α	10.0	6	4	11D-757	49.0	-6	664	4.5	4.2	2.9	2 135-11
4D-795	203.0	383	375	6.7	5.9	4.3	4	13D-20	249.7	526	979	9.2	6.6	3.9	2 137-05
4D-839	87.6	440	377	4.5	4.3	3.15	4	13D-45	192.0	430	706	6.05+ α	5.3	4	2
4D-841	269.0	419	393	8.8	7.6	4.4	4	13D-84	504.0	102	611	12.3	9.6	4	2 132-07
4D-904	68.0	556	373	7.20+ α	3.5	1.9	4	13D-138		500	330	21.85	16.9	8.6	2
4D-975	291.4	459	718	8.45	6.8	4.6	4	13D-262	220.0	579	107	8.1	5.1	4.5	2
4D-1191	804.0	360	803	12.9	9.8	7.2	2	13D-434	631.1	380	663	12.05	7.8	5.15	2 134-11
4D-1274	266.0	76	421	9.9	6.1	3.8	2	13D-541	574.0	313	89	10.7	8.3	5	5 147-09
4D-1312	882.0	25	179	12	9.9	4.6	2	14D-82	313.4	424	916	8.05	6.8	5.6	2 136-12
4D-1317	140.0	81	127	6.35	5.8	4.4	2	14D-86	372.0	333	911	8.1	6.9	5.5	2 132-09
4D-1325	1614.0	193	131	14.3	12.5	8.1	5	14D-182		335	400	21.3	19.5	7.15	2
4D-1344	202.3	271	207	9.35	8.8	2.9	5	14D-252	569.0	203	210	13	10.5	4.15	2 138-17
4D-1378	426.0	442	176	8	7.9	6.2	5	14D-593		348	396	10.5	10.0	5.1	5 146-09
4D-1610		89	617	7.95	6.3	3.6	5	14D-628	165.0	27	231	6.70+ α	7.60+ α	4.4	5
4D-1688	153.0	393	511	6.5	5.7	4.15	5	14D-806	316.0	413	995	9.8	7.3	5	5
4D-1720	566.8	208	874	10.4	6.4	6.6	5	14D-850	396.0	25	631	9.6	7.6	5	4 142-20
4D-2134	99.0	357	654	5.4	4.7	3.5	5	14D-871	976.0	27	573	12.4	10.1	4.7	4 142-01
4D-2209	128.0	481	362	5.45	5.3	2.95	5	14D-883	204.0	11	208	8.6	6.0	3.8	4 142-16
4D-2316	218.0	282	160	8.85	6.2	4.9	5	14D-919	59.0	104	490	8	3.10+ α	3.0+ α	4
4D-2406	415.0	227	415	10.2	7.7	4.5	5	15D-130	582.0	613	892	10.1	9.2	4.9	2 132-06
4D-2577	502.0	672	929	11.85	8.2	6.2	5	15D-150	155.0	488	685	6	5.7	4.8	2
5D-6		775	575	7.95	6.3	3.6	5	15D-234	111.0	680	617	6	5.7	4.2	5 153-04
	5D-6は4D-1610と接合							15D-268	639.7	731	438	12.6	10.3	4.3	2 134-12
5D-44	318.0	335	928	8.9	6.7	4.2	5	15D-414	622.0	491	591	10	9.7	5	2 135-08
5D-126	556.0	709	437	10.3	8.1	5	5	15D-434	325.0	420	735	11.3+ α	4.3	4	2
5D-126'		115	177	9.6	8.2	5	5	15D-454	399.2	683	998	9.9	9.2	4.75	2 138-18

表 4 叩石類観察表

番号	重さ	北から東から	長さ	巾	厚さ	層	図 NO	番号	重さ	北から東から	長さ	巾	厚さ	層	図 NO		
15D-484	296.9	735	854	9.65	3.5	4.7	138-10	3F-309	588.0	293	433	11.2	8.30+ α	4.9	2		
15D-543	499.0	692	460	9.7+ α	7.95+ α	7.24		3F-352	459.6	219	883	9.25	9.0	5.3	2 133-05		
15D-581	179.0	592	598	7.5	6.5	4.9		3F-407	343.8	295	477	9	8.0	3.5	2 133-14		
15D-1379	439.0	222	188	8.95	8.3	4.6	2	132-10	3F-532	459.6	219	883	9.25	9.0	5.3	2	
15D-1404	290.0	315	294	9	6.2	4.9	2	3F-593									
15D-1435	60.0	448	422	7.8	2.7	1.8	2	135-13	3F-690	436.0	744	134	10.9	7.7	5	5 150-08	
15D-1589	90.0	219	453	4.60+ α	4.2	3.2	2	4F-55	364.0	345	813	11.15	5.60+ α	5.5	4		
15D-1692	91.0	8	969	8.30+ α	2.60+ α	4	2	4F-109	503.8	257	131	10.4	8.8	4.1	4 140-07		
15D-1725	176.0	372	258	5.8	5.4	4.1	4	143-01	5F-304	528.0	346	684	9.8	8.4	5.7	4	
15D-1820	1054.1	474	885	15.15	7.3	5.8	4	142-06	5F-450		135	358	6.55	4.0	3.55	5 153-12	
15D-1836	341.0	122	378	9.1	7.1	5.7	4	143-14	5F-677	582.0	43	864	8.3	8.70+ α	5.45	5	
15D-1851	474.0	56	262	11.2	8.6	6.5	4	6F-21	612.0	788	128	10.3	8.8	4.9	5 146-07		
15D-1852	267.8	59	253	11.2	7.3	4.3	4	140-11	6F-126							146-03	
15D-1964	378.0	113	977	10.4	8.1	5	4	6F-299	221.4			7	6.2	5.1			
15D-1999	76.0	559	483	4.90+ α	5.1	3.15	5	7F-66	429.3	540	883	10.6	9.1	5.3	5 153-14		
16D-214	212.5	640	324	7.7	6.0	4.45	2	133-10	7F-645	324.7		10.5	7.1	4.8			
16D-268								134-10	10F-42	453.5	379	959	9.6	7.7	5.55	4 144-04	
16D-294	470.2	600	554	13.1	7.1	4.3	2	137-03	16F-82	87.0	98	916	6.15	5.5	3.95	5 146-16	
16D-1372	578.0	472	515	10.75	8.1	6.8	2	16F-162		584	23	9.25	8.7	4	2+4		
1E-167	33.1	342	343	3.75	2.6	2.3	2	135-10	16F-190	774.0	682	100	10.8	9.4	6.5	4 142-03	
1E-182	332.2	203	983	14.5	4.1	3.15	2~4	141-11	16F-208	273.0	161	248	7.1	7.2	4.7	4 143-07?	
1E-194	317.0	88	960	8.5	5.7	5.7	2~4	16F-218	312.0	94	437	9.4	7.4	4.4	2+4	141-06	
1E-298	601.3	282	539	9.4	9.9	5.25	2~4	139-09	16F-275	375.0	517	698	9.4	7.2	5	2	
1E-397	524.0	394	997	10.1	8.9	6	2~4	140-01	16F-431	465.3	77	84	11.1	8.4	4.6	5 151-04	
1E-481	377.0	165	632	10.7	6.1	4.7	2~4	139-05	17F-118	191.0	245	564	8.2	6.6	3.1	4+5	
2E-593	407.8	410	641	13.4	6.5	3.2	5	17F-120	131.0	137	724	6.25	3.8	3.8	4+5	145-10	
2E-611	331.5	126	937	11.1	6.8	5.3	2	17F-533	400.0	760	805	9.2	7.3	3.6	5 147-05		
3E-421	168.0	340	385	6.1	5.6	4.6	4	136-21	17F-657	343.0	607	520	10.35	6.30+ α	3.65	5	
3E-593								137-08	17F-739	572.0	536	877	10.8	8.7	4.6	5 147-03	
3E-611								17F-776	547.2	39	377	9.85	9.0	4.65	4 142-02		
3E-613			9.6	6.7	4.05			3G-55	163.0	291	152	5.4	5.4	4.6	2		
3E-1052	120.0	512	301	5.6	5.6	4	2	136-08	3G-196	806.0	500	175	10.9	8.1	6.1	5	
3E-1065	428.0	428	372	10	6.9	5.8	5	149-07	3G-203	435.0	637	261	12.85	6.5	4.3	5	
3E-1126	116.0	509	813	7.80+ α	3.4	2.6	5	3G-253	143.4	635	784	7.1	4.9	4.1	2 133-09		
3E-1149	436.7	116	961	9.9	10.0	4.7	5	150-06	4G-145	42.0		5.2	4.4	1.6			
3E-1160		220	860	29.3	20.3	14.4	5	4G-203	80.0	680	8	4.70+ α	5.7	4	4		
3E-1186	378.0	370	747	9.6	8.7	4.1	5	150-14	5G-146	340.5	469	174	9.1	6.1	5.2	4 144-02	
3E-1487	445.0	117	556	10	7.5	5.5	5	5G-168	453.0	138	336	11.4	10.6	4.85	5		
3E-1563	710.2	729	272	8.55	9.2	9.15	5	150-07	5G-272	42.0		6.50+ α	1.80+ α	3.7			
3E-1651	494.0	576	699	3.7	6.8	4.6		5G-295	316.0			9.2+ α	5.60+ α	4			
4E-73	368.4	652	811	10.4	8.1	3.8	2	137-14	6G-62	662.8	482	933	10.6	9.2	4.5	5 146-01	
4E-106	310.0	25	905	11.6	6.2	4.3	2	6G-148	146.0	221	881	5.45	5.0	4	5		
4E-158	651.8	495	361	10.7	9.3	4.65	5	154-04	6G-267	331.0	178	406	10.7	7.4	3.7	5 155-09	
4E-167	281.0	415	341	10.3	5.65+ α	3.65	5	6G-312	125.0	201	329	5.85+ α	4.7	3.1	5		
4E-214	469.2	483	482	10.8	8.9	3.75	5	151-15	6G-341	373.6	287	229	8	7.3	7.7	5 153-09	
4E-286	296.0	389	708	11.5	5.8	4.5	5	6G-357	52.1	288	181	6.05	3.8	1.4	5 147-08		
4E-327	484.0	738	857	10.25	10.1	4.5	5	150-09	8G-92	77.0	712	740	4.85+ α	4.60+ α	4.10+ α	5	
4E-385	301.0	362	993	9.9	7.6	4.1	5	15G-145	322.0			9.5	7.5	4.8			
4E-415	359.6	617	893	12.1	6.4	3.4	5	155-11	15G-158	155.0		5.9	4.6	4.2			
5E-23	207.1	125	843	7.45	7.2	4.5	5	153-07	15G-181	326.0		9.7	6.4	4.85			
5E-203	265.9	342	560	8.3	7.5	2.6	5	150-15	15G-195	458.0		13.8	9.6	5.8			
5E-290	249.0	3	354	8.8	5.2	5.7	5	15G-249	472.0			9.8	8.7	5			
5E-314		184	257	9.05	5.6	4.5	5	155-07	17G-10	265.7	540	980	13.1	6.4	2.55	5 155-13	
6E-108	305.0	420	3	10.2	6.7	2.7	5	3H-42								152-01	
6E-490	248.5			8.05	5.2	5.8		148-12	3H-72	303.0	23	75	9.75	6.1	4.5	5	
7E-50	83.6	96	979	5.8	3.4	3	5	153-06	5H-34	285.0	282	906	8.1	6.4	4.7	2 133-13	
7E-80	574.0	613	944	9.25	7.5	7	5	5H-212	488.6	423	89	11.9	8.1	4.15	4 140-08		
9E-133	1122.0	64	305	12	10.2	5.4	2~4	5H-250	154.0	1	37	7.5	4.40+ α	4.1	4		
10E-12	392.7	529	790	8.2	9.8	4.95	5	150-10	5H-291	267.0	578	729	7.7	5.25+ α	4.4	5	
11E-111	89.0	702	727	7.15+ α	3.1	3	4	5H-385	398.5	492	549	8.9	7.3	5	2~4	149-05	
15E-18	175.0	265	850	5.6	5.2	4.3	4	142-10	8H-9	514.0	669	349	10	7.8	5.5	2~4	
16E-344	471.0	449	855	10	6.8	6.3	2	136-13	8H-91	482.6	388	485	11.45	7.3	4.45	2~4	139-10
16E-391	129.0			5.9	4.9	3.4		8H-94	554.0	310	562	11.3	8.4	5.5	2~4		
16E-416	694.0	53	546	11.3	9.5	4.9	5	154-01	12H-320	95.0		5.50+ α	4.6	3.45			
16E-426	389.0	66	433	12.3	7.5	3.3	5	155-06	3I-12	180.0	659	14	8.90+ α	5.0	2.5	5	
16E-560	734.0	406	511	10.65	9.6	5.75	2~5	141-21	4I-635	1051.2		13.25	13.1	4.35			
17E-19	792.0	736	748	11.2	11.0	4	2	134-13	5I-38	530.0	179	955	9.6	8.9	5.7	5 150-05	
17E-253	457.1	56	834	11.2	9.0	4.6	5	155-04	5I-184	328.9	412	55	10.75	8.7	4.8	5 148-05	
17E-285	774.0	177	461	13.1	8.9	6.6	5	5I-355	289.4	242	153	11.4	10.7	2.5	5 150-11		
17E-295	482.0	38	575	10.3	7.6	4.7	4	145-03	5I-411	538.0		11.85	6.8	6.3			

表5 叩石類・石皿觀察表

番号	重さ	北から東から	長さ	巾	厚さ	層	図	NO	番号	重さ	北から東から	長さ	巾	厚さ	層	図	NO
6I- 109	472.0			9.2	8.0	7.2			11P-2084	62.0	623	11	4.3	3.9	4.2	5	151-11
6I- 305	407.0	615	68	11.9	7.7	5.3	5	149-03	11P-2206	249.0	635	270	8.9	4.45+α	3.8	5	
12I- 4	469.0	317	984	11.5	8.5	6.3	5	152-03	12P- 54	856.0	495	943	12.2	9.8	4.7	4	144-14
13I- 2	251.0	148	816	9.2	7.1	3.75	4	143-15	12P- 72	607.6	348	563	12.1	9.7	4.95	2	136-03
4J- 29	578.0	262	781	11.2	7.1	6.4	2	137-07	12P-2115	800.0	450	863	11.5	9.0	4.8	4	142-15
4J- 87	175.0	498	314	7.8	6.1	3	5	147-15	12P-2179	782.0	493	518	10.8	9.8	5.7	5	146-21
4J- 147	403.3	256	793	9.5	9.7	4.4	5	151-12	12P-2249	236.0	370	620	11.5	5.5	3.5	4	143-11
4J- 161	540.0	46	671	11.5	8.3	5	5		10Q- 35	646.0	256	991	11.7	9.0	4.2	5	154-05
4J- 383	98.9			5.6	4.4	3.2	5	145-07	11Q- 32	257.0	45	940	9.7	8.20+α	3.7	2	
5J- 99	267.0	584	238	8.5	6.5	5.2	4	143-09	1位- 75		84	795	25.1	19.1	8.1	2	
6J- 500		78	245	9.35	7.7	4.8	5	147-01	2号集石12	298.0	313	114	8.4	6.5	4.4	5	
12J- 22	844.0	782	390	11.7	11.7	6.1	4	140-12	2号集石21	273.0	380	125	7	5.9	5.5	5	
6K- 226	321.4	96	703	10.95	5.7	4.25	5	146-13	7号集石16	219.0	169	533	8.65	8.0	3.9	6	上部
10K- 2	224.0	6	894	8.6	6.8	4.1	5	149-04	8号集石55	88.0	698	462	6.3+α	4.60+α	3.6+α	4	
5L- 9	340.0	140	819	12.1	7.5	3.8	4	140-09	11号集石15	260.7	475	905	8.9	7.3	5.2	2	
6L- 40	28.9	162	665	3.75	3.4	1.95	4	142-12	12号集石05	320.0	225	140	10	8.6	4.4	2	
6L- 72	616.0	128	895	11.95	8.5	5.45	5		18号集石04	580.1	730	950	11.3	7.7	7.4	5	
10L- 74		652	964	11	10.7	7.2	2	132-15	20号集石14		221		9.1	5.4	4.5		
11L- 31	485.0	134	140	10.7	7.2	4.9	2	137-10	23号集石42	155.0	627	792	8.8+α	3.4	3.5	2	
11L- 76	91.0	531	335	5.60+α	4.5	3.4	2	133-15	1D- 006	384.0	128	596	12+α	5.70+α	5.2	2	
11L- 151	260.0	390	315	11.45	6.4	4	4	143-17	15C 178	584.0			12.4	9.40+α	4.3		
11L- 167	536.0	203	971	11.4	7.8	5.4	4	145-06									
13L- 36								136-15									
13L- 69	618.0	401	849	13	10.2	4.4	2	134-05									
5M- 5	370.0	773	388	8.4	8.4	3.7	5	149-06									
9M- 36	566.0	118	966	12	10.6	5.3	2	138-16									
10M- 7	648.0	636	658	12.1	10.9	5.3	2	137-13									
11M- 2	375.9	-1	758	8.9	8.6	5.7	4	140-05	石皿								
11M- 221	187.7	674	756	7.1	5.5	3.75	5	148-13									
11M- 343	188.0	588	337	9.35	6.5	3.5	5	155-10	番号	重さ	北から東から	長さ	巾	厚さ	層	図	NO
11M- 383	666.0	352	310	11.6	10.7	6.7	5	149-16	3A- 748		340	150	32.3	27.6	4.2	2	158-06
12M- 52	304.0	173	586	8.35	8.0	3.8	2	138-08	5A-5680				28.6	28.2	8.9	5	163-02
12M- 160	1045.0	635	687	11.3	9.2	6.1	5	154-03	3B- 698	663	636	28.5	20.4	8.7	2	160-02	
12M- 298	315.0	572	495	9.55	7.0	4.65	5	152-02	4B-1635	515	660	33.85	25.6	11.6	2	158-02	
5N- 10	583.5			11.1	9.2	6.4			4B-2226	600	712	29.3	27.9	7.5	2	160-05	
11N- 42								146-15	4B-3117			34.75	22.5	14.3	5	162-03	
11N- 58								146-04	5B- 190	280	373	41.7	18.2	6.7	2	160-04	
11N- 156	434.0	283	145	10.1	6.1	6	5	149-01	5B- 255	157	387	25.9	22.9	12.6	2	160-03	
11N- 262	1078.0	69	451	12.6	12.0	6.7	5	152-06	3C- 291	201	211	27.6	22.7	8.5	2	159-07	
11N- 324	445.0	324	622	9.9	8.1	4.85	5	147-13	3C-2089	10	20	53.5	35.8	12.35	5	161-05	
11N- 561	447.7	301	715	9.35	9.3	5.6	5	148-04	4C- 343	1818.0	280	810	30.3	20.2	8	2	158-01
11N- 642	271.0	154	178	10	6.7	5	5		5C- 461	745	798	28.8	24.0	8.1	5	164-02	
12N- 12	90.0	601	937	5.2	4.6	3.5	4		5C- 809	1802.0	528	734	21.2	16.2	8.8	5	162-04
12N- 110	344.0	534	453	10.1	7.3	3.6	4	142-14	6C- 217	730	365	31.9	30.5	11.5	5	162-01	
12N- 188	85.0	699	139	6	4.6	3.1	4	144-15	9C- 26	118	124	26	23.0	8.6	2~4	160-06	
12N- 217	169.0	546	270	7.7	6.1	3.9	4		9C- 81	1808.0	407	847	21.8	18.8	7.2	2	159-05
12N- 229	444.7	462	378	8.9	7.2	5.8	4	140-14	1D- 75	85	795	25.3	19.2	6.8	2	159-10	
12N- 238	417.0	595	591	9.8	7.3	5.9	4	143-08	2D- 248	730	810	36.05	26.2	12.5	4	161-02	
12N- 381	362.2	564	46	8.35	8.3	4	5	151-06	2D-1493	697	62	25.5	17.0	12.6	4	161-01	
12N- 387	183.0	498	94	6	5.9	4.7	5		3D- 742	32	590	24.7	21.1	8.7	2	159-06	
12N- 531	334.7	534	617	9.25	6.2	4.7	5	151-03	3D-1478	585	470	32.1	27.1	10.9	2	158-05	
12N- 667	66.0	472	878	5.70+α	3.6	2.3	5		3D-2259	620	15	38.15	30.2	11.2	5	162-02	
3O-2065	844.5	178	830	12.35	10.6	6.1	5		4D- 40	628	931	21.95	21.5	19.35	2	159-09	
10O- 29	295.0	407	975	10.75	5.1	4.2	5	149-13	4D-1382	295	372	30	26.8	9.4	5	161-03	
11O- 118	129.0	290	367	6.10+α	5.1	2.8	5		4D-1606	40	600	39	24.2	9.65	5	163-03	
11O- 140									4D-1685	315	570	29	21.0	20	2	158-03	
11O- 429	103.0	126	593	6	4.4	3.5	4	144-05	4D-1876	455	765	22.6	22.5	8.2	2	159-01	
11O- 610	171.0			7.3	6.9	3.4			4D-2321	261	169	46.9	36.0	5.3	5	163-01	
11O- 936	616.0	416	304	9.4	8.3	7.4	4	143-07	13D- 138	500	330	21.8	16.7	8.6	2	159-08	
11O- 938	151.3	426	303	6.9	5.9	3.4	4	142-18	14D- 182	738	98.5	21.3	19.5	7.2	2	159-04	
12O- 78									14D- 89	1738.0	310	940	23.8	17.8	8	2	159-03
12O- 224	194.0	362	409	6.70+α	4.5	4	2		14D-1086	466	114	27.85	27.0	7.2	5	164-01	
12O- 263									16D- 341	530	600	38.3	22.8	12.5	2	160-01	
12O- 294	92.1	420	39	5.5	4.6	3.35	4	144-12	3E-1100	300	555	29	16.4	12.4	5	163-04	
12O- 340	112.0	531	183	8.80+α	4.3	2.5	5		17F- 121	120	748	25.7	23.7	6.5	5		
12O- 443	233.0	457	630	10.9	5.7	2.7	4	143-13	3G- 205	685	325	34.6	30.6	7.4	5	162-05	
12O- 520	254.0	781	200	9.65	6.7	4.85	5		6G- 218	272	520	23.5	18.0	8.6	5		
10P- 4	84.0	31	67	4.8	4.6	3.6	4	144-13	5H- 36	165	895	15.1	11.2	11.2	2	158-04	
10P- 244	405.0			10.35	7.2	5			4J- 68	180	250	31.1	26.6	9	5	163-05	
11P-2030	280.0	351	329	7.9	7.4	4.8	2	135-06	11O- 137	737	173	38.7	33.3	6.1	5	161-04	

表6 石錘・石匙・石鏃観察表

石錘

番号	北から東から 2層上部	長さ	巾	厚さ	層
3A-		4	3.4	1.5	2
4A-591	36.2	440 179	5.3	4.2	1.1 2
3B- 69		234 915	5.1	3.6	1.5 2
4B- 843		55 712	5.3	3.7	1.6 2
4B- 971		698 418	4.1	3.6	1.3 2
10B- 61	16.2	601 601	4	3.8	0.9 2
10C- 106		742 958	3.9	3.0	0.8 2
16C- 582	21.6	547 336	4.3	3.4	1 4
1D- 117		147 713	5	4.4	1.9 2
5D- 870		253 487	4.3	3.4	1.4 ? 2
5H- 62	13.9	223 503	3.9	3.6	0.7 2
6H- 54	22.1	726 756	3.9	3.3	1.1 2

石鏃

番号	重さ	北から東から	長さ	巾	厚さ	層	石材	図 NO
2A- 144	0.4	213 53	1.5	1.3	0.4	2	H	175-31
2A- 181	0.6	76 113	2	1.1	0.4	5	H	189-21
2A- 177	1.0	228 506	2.4	1.5	0.4	2	H	181-01
3A- 212	0.4	235 235	1.5	1.8	0.3	2	H	179-13
3A- 220	0.4	257 491	1.6	1.0	0.4	2	H	181-21
3A- 370	0.4	500 30	1.9	1.2	0.3	2	H	178-14
3A- 819	1.5	235 268	2.8	2.0	0.3	2	HG	193- 8
3A-1016	0.9	9 115	2.3	1.6	0.4	2	H	177-06
3A-1040	0.7	670 56	1.45	1.8	0.4	2	H	180-02
3A-1146	0.5	774 101	1.8	1.4	0.4	2	H	181-32
3A-1214	0.4	740 347	1.4	1.5	0.3	2	H	179-10
3A-1405	0.2	102 379	1.35	1.2	0.3	2	H	179-02
3A-1481	2.0	415 241	3	2.2	0.6	4	H	185-01
3A-1533	0.8	282 17	2.5	1.6	0.45	2	H	180-29
3A-1583	1.0	711 30	2.2	1.3	0.5	2	H	181-07
3A-1704		488 553	2.7	1.7	0.2	5	C	198-10
3A-2118		298 328	1.2	0.8	0.2	5	H	188-26
4A- 65	0.5	135 286	1.95	1.4	0.35	2	H	175-11
4A- 83		166 479	1.2	0.9	0.3	2	H	177-18
4A- 469		379 121	2.3	1.9	0.4	2	C	196-04
4A-1288	0.4	431 341	1.8	1.1	0.4	2~4	H	174-25
4A-1313	0.8	187 464	1.5	1.9	0.4	2~4	H	174-09
4A-1440	0.7	739 408	2.1	1.5	0.4	4.5	H	182-10
4A-1445		770 384	3	1.9	0.9	2.4	H	174-28
4A-1518	0.9	474 118-	2.1	1.7	0.45	4.5	H	182-11
4A-1707	0.4	675 71	1.6	1.4	0.3	5	H	189-12
4A-1855	1.9	466 42	2.65	1.8	0.7	4.5	H	182-09
4A-1909	1.4	440 308	1.4	1.7	0.45	4.5	An	195-02
4A-4548	0.9	474 118	2.1	1.7	0.45	4.5	H	
5A- 82	0.3	682 200	1.7	1.4	0.3	2	H	180-17
5A- 132	0.7	753 245	1.1	1.5	0.4	2	H	197-05
5A- 175	0.7	794 244	1.6	1.4	0.55	2	H	176-18
5A- 227	0.6	675 27	1.35	1.3	0.5	2	BO	193-17
5A- 230	0.4	615 70	1.9	1.6	0.2	2	H	178-13
5A- 243	0.9	600 109	2	1.5	0.4	2	An	194-07
5A- 457	0.7	543 345	1.5	1.7	0.35	2	H	177-10
5A- 748	1.7	696 153	2.4	1.9	0.7	2	H	179-30
2B- 32	0.7	76 927	2.2	1.2	0.4	2	An	194-13
2B- 189		217 518	1.6	1.2	0.3	2	H	181-19
2B- 417	0.5	184 942	2.1	1.6	0.3	2	An	178-18
2B- 574	2.5	241 669	3.15	1.4	0.65	2	H	175- 07
2B- 785	0.4	168 276	1.7	1.0	0.45	5	H	188-18
3B- 82	0.6	216 883	2.2	1.2	0.4	2	H	181-16
3B- 111	0.6	286 774	1.9	1.2	0.4	2	C	197-04
3B- 195		201 832	1.4	0.9	0.3	2	C	196-05
3B- 364	0.5	708 812	1.75	1.4	0.4	2	H	
3B- 366		630 800	1.8	1.6	0.4	2	H	179-27
3B- 564		319 978	1.8	1.7	0.5	2	H	178-27
3B- 698	0.8	664 636	1.9	1.5	0.3	2	An	194-17
3B-1030	0.4	200 289	1.4	1.4	0.35	2	H	177-17
3B-1308	0.8	542 603	1.8	1.9	0.4	2	H	178-11
3B-1380	0.4	163 960	1.6	1.7	0.4	2~4	H	174-10
3B-1427	0.4	135 957	1.95	1.1	0.4	2~4	H	174-08
3B-1522	0.3	594 674	1.3	1.2	0.3	2~4	An	194-06
3B-1577	0.5	796 877	1.7	1.4	0.35	5	H	189-10
3B-1578	1.0	650 733	2.9	1.5	0.4	5	H	189-33
3B-1617	0.5	49 530	1.45	1.4	0.4	5	H	189-23
3B-1735		592 434	1.1	1.7	0.2	4	H	185-23
3B-1827	0.8	725 113	2.65	1.8	0.35	2~5	H	
3B-2174		31 161	2	1.8	0.4	2	H	177-02
3B-2188	3.9	3 440	4.1	2.0	0.55	2	An	194-20
3B-2296		13 295	2.6	1.9	0.9	2	H	176-07
3B-2332		22 580	2.1	2.0	0.4	2	H	181-05
3B-2333	2.1	15 585	2.1	2.1	0.7	2	H	176-08
3B-2368	0.3	40 934	1.4	1.5	0.3	2	H	178-16
3B-2643	0.8	202 941	2.15	1.6	0.3	5	An	195-07
3B-2670	1.7	762 480	2.9	1.6	0.6	5	H	191-01
4B- 77	3.8	412 776	3	2.0	0.7	2	An	197-14
4B- 93	0.4	619 987	1.7	1.3	0.3	2	H	178-04
4B- 237	0.3	685 471	1.6	1.2	0.3	2	H	178-30
4B- 285	0.5	606 311	1.8	1.4	0.25	2	An	194-02
4B- 298		24 406	1.5	1.4	0.3	2	H	174-16
4B- 314	0.7	508 264	2.65	1.4	0.3	2	H	175-04
4B- 415	0.8	602 55	2.3	1.6	0.5	2~4	H	174-14
4B- 437	1.1	786 172	2.1	1.4	0.4	2~4	H	197-13
4B- 472		520 17	2.6	1.1	0.3	2~4	H	174-29
4B- 475	0.4	510 216	2.6	1.1	0.3	2~4	H	

石匙

番号	北から東から	長さ	巾	厚さ	層	石材	図NO
3A- 248	6.5	369 15	4.8	2.4	0.7 2	An	168-02
4A- 28	2.6	10 320	3.6	2.0	0.8 2	H	170-04
5A- 610	14.9	559 358	7.3	3.7	0.7 2	An	169-02
4B- 13		797 801	2.6	2.5	0.6 2	H	168-05
4B-1834	3.5	575 305	3.3	2.6	0.5 2	An	169-05
4B-2587	2.2	91 59	2.5	2.2	0.5 2	H	170-02
4B-2685	8.8	260 795	6.2	2.5	0.7 5	An	171-09
5B- 385	5.5	716 501	4.5	2.4	0.9 2	HG	170-03
5B-1740	7.9	287 319	4.6	3.2	0.8 4~5	An	171-05
5B-2052	19.3	565 453	7.7	4.3	0.9 5	H	172-03
9B- 55	22.1	619 201	5.6	4.3	0.9 2	An	169-04
11B- 185	13.5	699 116	6.7	4.0	1.3 5	H	172-04
6C- 194	26.8	629 470	5.3	4.3	1.6 5	An	171-06
6C- 322	6.7	267 897	4.3	3.1	0.7 2	An	169-07
8C- 144	14.6	692 708	5.9	2.5	1.1 2	An	168-09
8C- 287	11.3	518 539	5.8	2.4	1.4 4	H	171-02
10C- 30	8.9	713 425	5.6	2.9	0.9 2	H	168-06
13C- 39	36.6	327 356	9.8	4.7	1 2	An	168-08
13C- 47	28.0	157 407			2	An	
2D- 915	10.4	461 408	4.6	3.8	0.7 4	An	170-11
7D- 180	3.5	512 444	3.5	2.2	0.7 5	An	171-04
10D- 500	10.3	381 394	5.1	3.0	0.9 5	An	171-08
11D- 376	24.3	195 787	7	3.9	1 2	An	168-03
13D- 254	12.3	644 244	6.2	3.5	0.7 2	An	169-08
14D- 956	6.1	740 451	5.6	2.9	0.7 5	H	172-01
16D- 1層	16.8		5.7	3.7	1 1	An	172-08
16D-1387	14.1	442 724	8.7	3.3	1 2	An	169-03
1E- 297	18.6	108 579	7.6	3.7	1.1 2or4	H	170-09
4E- 121	17.6	690 710	6.7	4.9	0.5 2	An	169-01
8E- 195	9.7	561 524	7.2	2.8	0.5 4	An	170-08
16E- 42	11.0	644 985	4.7	3.4	0.9 2	H	168-04
10F- 115	7.6	696 204	4.5	3.4	0.9 4	H	170-12
17F- 713	3.9	97 850	3.5	3.1	0.4 5	An	171-10
5G- 40	6.8	365 875	4.1	3.3	0.8 5	H	172-02
17G- 2	9.6	762 983	4.6	2.8	0.9 4	H	170-13
3H- 67		5 238	5.3	3.0	1 5	H	172-05
4J- 512	7.0	690 950	5.4	3.2	0.6 2	An	196-06
6J- 80	2.6	692 898	3	2.2	0.5 5	An	171-07
6J- 82	9.6	453 692	4.4	3.7	0.8 4	H	171-01
12L- 76	6.6	342 794	4.8	2.0	1.3 2	H	170-05
9M- 1層	7.1		4.5	3.0	0.8 1	An	172-06
10M- 193	3.4	270 703	3	2.3	0.9 2	H	170-01
12N- 3	10.8	735 914	5.2	3.7	0.9 4	H	171-03
11O- 433	9.1		5.3	2.9	0.9 2	H	168-07
11P-2111	8.0	59 160	4	3.5	0.6 4	An	170-10
7Q- 1	22.6	36 24	7.3	4.5	1 5	An	171-11
9Q- 29	21.1	695 959	6.7	3.9	1 2	淀姫	170-06
10Q- 25	9.1	461 381	3.4	3.6	1.1 2	HG	170-07
13-14CD	48.0		8.8	5.6	1.1 1	An	172-07

表7 石鋸観察表

番号	重さ	北から東から	長さ	巾	厚さ	層	石材	図 NO	番号	重さ	北から東から	長さ	巾	厚さ	層	石材	図 NO
4B-641	1.8	640 654	2.9	2.0	0.45	2~4	H	174-17	2C- 94	1.0	163 520	2.3	1.4	0.45	4	H	184-11
4B-644	0.3	595 677	1.4	1.1	0.25	2~4	H	174-20	2C- 616	2.2	269 666	2.1	1.9	0.65	5	H	196-06
4B-648	0.6	628 704	1.85	1.6	0.4	2~4	H	174-13	2C-1004	0.5	735 283	1.75	1.8	0.4	5	H	188-21
4B-800	0.4	99 926	1.3	1.6	0.2	2	An	194-09	2C-1180	2.6		2.3	1.7	0.6		H	198-16
4B-817	0.5	144 894	2	1.2	0.4	2	H	180-12	3C- 1	0.9	660 31	2.25	1.6	0.45	4	H	183-29
4B-1266	1.2	499 849	2.85	1.5	0.45	2	An	194-16	3C- 218	0.4	786 18	1.6	1.3	0.4	4	H	183-20
4B-1347	0.9	165 704	2.2	1.8	0.4	2	H	176-17	3C- 255		719 482	2.5	1.5	0.3		C	196-02
4B-1609	0.4						H		3C- 529	1.6	554 316	2.35	1.5	0.7	2~4	H	174-24
4B-1616	0.7	656 881	1.8	1.6	0.5	2	H	180-06	3C- 626	3.5	259 180	2.6	1.9	0.7	2~4	H	197-15
4B-1620	1.9	711 884	3.2	2.3	0.4	2	H	179-23	3C-1032	2.3	562 329	3.6	2.7	0.45	2~4	H	174-21
4B-1760	0.4	710 622	1.8	1.3	0.3	2	H	178-01	3C-1548	1.2	246 509	2.85	1.9	9.5	2~4	H	174-19
4B-1800	1.6	688 280	3.65	2.0	0.45	2	H	181-10	3C-1565	1.4	410 568	2.4	1.8	9.5	2~4	H	174-18
4B-1861	0.7	746 54	1.3	1.4	0.45	2	H	181-14	3C-1577	1.6	262 599	2.1	1.9	0.95	2~4	H	174-27
4B-1956	1.4	214 172	3.5	1.5	0.3	2	H	175-16	3C-1591	1.0	22 270	2.6	1.7	0.35	2~4	H	174-11
4B-2279	1.0	612 500	2.3	1.9	0.5	2	H	181-25	3C-2067	0.7	88 8	1.7	1.5	0.4	2	H	177-04
4B-2340	0.5	795 657	1.75	1.3	0.35	5	H	189-31	4C- 55	1.2	762 240	2.2	1.5	0.4	2	H	177-01
4B-2342	0.6	719 894	2.1	1.3	0.4	2	H	197-12	4C- 90	0.3	515 291	2	0.8	0.25	2	H	180-28
4B-2532	0.9	317 117	2	1.6	0.55	2	H	178-20	4C- 480	0.6		1.6	1.6	0.4		H	198-14
4B-2588	1.0	94 45	2	2.0	0.4	2	H	179-21	4C-2016	9.6	501 721	3.7	2.8	0.9	2	HA	193-07
4B-2683	0.7	200 883	2	1.4	0.4	5	H	189-17	4C-2099	0.8	88 692	2.6	0.9	0.6	2	H	177-11
4B-2704			2.4	1.8	0.4	4	H	185-08	4C-2099	0.7	88 692	2.6	0.6	0.6		H	
4B-2740	0.9	224 782	2	1.5	0.4	5	H	189-13	4C-2167	0.6	25 818	0.7	1.6	0.4	2	H	180-22
4B-2741		188 740	2.6	2.1	0.5	5	H	192-12	4C-2127	0.5	182 796	1.4	1.4	0.3	2	H	197-02
4B-2795	2.0	252 348	2.8	2.1	0.55	5	H	191-15	4C-2346	0.5	406 651	1.5	1.4	0.3	2	H	181-17
4B-2816			1.6	1.3	0.45	5	H	198-08	4C-2648	2.0	165 310	3.1	1.8	0.5	2	HG	197-09
4B-2828	0.3	148 180	1.15	1.4	0.3	5	H	188-19	4C-2762	1.8	578 252	2.85	2.1	0.4	2	H	175-02
4B-3171	0.7	490 709	1.85	1.5	0.4	5	H	188-02	4C-3153	0.7	600 627	2.1	1.5	0.3	4~5	H	
4B-3189	0.7	280 598	1.6	1.4	0.5	5	H		4C-3206	1.5	426 800	2.6	1.6	0.55	4~5	H	182-08
4B-3231	-5.0	610	1.7	1.6	0.5	5	H	191-12	4C-3321	0.9	61 921	2.6	1.3	0.45	4~5	H	196-26
4B-3242	1.0	21 930	2.3	1.6	0.5	5	H	190-05	4C-3460	4.7	415 115	3.65	2.5	0.8	2~5	H	182-07
5B- 150	0.5	414 247	1.8	1.3	0.4	2	H	180-13	4C-3475	0.5	527 3	2.1	1.2	0.95	2~5	H	182-03
5B- 170		535 162				2	BO	196-19	4C-3572	0.7	512 21	1.9	1.3	0.3	2	H	197-03
5B- 173	0.7	557 131	1.8	1.4	0.35	2	An	194-5	5C- 1		40 186	1.2	1.9	0.3	2~4	C	196-03
5B- 293	0.4	528 418	1.5	1.3	0.25	2	H	175-25	5C- 69	0.7	417 73	1.95	1.6	0.4	2	H	178-22
5B- 315	1.1	585 509	2.4	1.7	0.4	2	H	176-04	5C- 198	1.6	775 465	2.2	1.9	0.5	4	H	186-02
5B- 343	0.3	579 752	1.4	1.2	0.3	2	H	181-12	5C- 207	1.2	668 598	2.3	1.8	0.35	4	H	194-31
5B- 499	1.4	541 124	2	1.8	0.55	2	H	177-12	5C- 397	0.4	230 662	1.6	1.4	0.3	5	H	190-21
5B- 631	0.5	695 915	1.95	1.6	0.3	2	H	179-05	5C- 403	1.0	280 646	2.1	2.0	0.4	5	H	188-16
5B- 723	0.3	439 161	1.3	1.4	0.25	2	H	179-04	5C- 884	1.8	788 756	2.8	1.4	0.6	5	H	198-11
5B- 873	0.5	585 187	2	1.2	0.3	2	H	178-05	5C-1372	0.7	698 457	2	1.2	0.35	5	H	195-09
5B- 913	0.4	401 452	1.5	1.3	0.35	2	H	179-09	5C-1520	1.9	153 69	3.2	2.0	0.5	5	H	188-06
5B-913'	0.3	401 452	2	1.1	0.3	2	H	180-21	6C- 110	0.7	597 792	2.3	1.1	0.55	5	H	189-08
5B- 930	0.3	487 469	1.35	1.4	0.3	2	H	179-07	6C- 123		4 418	3.7	1.3	0.6	2	H	176-12
5B-1058		755 452	2.8	2.6	0.8	2	H	176-09	6C- 137	1.4	696 476	2.7	1.7	0.55	2	H	178-32
5B-1263	0.8	365 309	1.9	1.1	0.5	2	H	177-15	6C- 152	0.4	702 258	1.9	1.3	0.35	5	H	189-03
5B-1273	0.8	258 346	2.4	1.7	0.4	2	H	180-25	6C- 211	0.6	665 592	2.6	1.5	0.4	5	H	187-09
5B-1295	0.5	371 631	1.9	1.6	0.35	2	H	180-16	6C- 252	1.8	162 623	2	1.8	0.55	2	H	176-10
5B-1300	0.4	488 684	1.85	1.3	0.3	2	H	181-15	6C- 257	0.6	250 672	2.45	1.6	0.3	5	H	187-07
5B-1359	1.5	582 140	2.5	1.3	0.5	2	HG	193-02	6C- 288	1.2	350 188	2.5	1.1	0.5	4	An	195-01
5B-1392	0.6	723 193	2	1.3	0.4	4~5	H	182-14	6C- 387	0.5	207 784	1.9	1.4	0.3	5	H	189-02
5B-1651	0.3	409 515	1.9	1.2	0.2	4~5	H	182-13	6C- 482	10.9	758 928	3.7	2.9	1.2	5	An	
5B-1737	1.9	272 417	3.4	1.6	0.5	4~5	H	182-12	6C- 503	1.9	568 104	1.45	1.7	0.5	5	H	191-09
5B-1753	0.5	222 273	1.6	1.4	0.3	2	H	175-29	6C- 513	1.7	444 13	2.4	1.9	0.5	5	HG	192-09
5B-1763	1.1	151 260	1.8	1.7	1.55	2	H	177-08	6C- 531	1.0	132 28	2.3	1.8	0.5	5	H	187-21
5B-1780		2 93	2.1	1.7	0.5	2	H	176-01	6C- 557	2.1	29 179	2.25	1.8	0.65	5	HG	193-17
5B-1821	0.9	303 157	1.95	1.4	0.6	4	H	184-22	6C- 596	2.3	77 415	2.65	2.0	1.2	5	H	191-07
5B-1912	0.9	470 366	2.3	2.0	0.4	4	H	183-18	7C- 7	0.5	702 397	2.4	1.4	0.3	2	H	178-34
5B-1940	1.2	580 480	2.65	1.7	0.45	4	H		7C- 15	1.0	661 181	1.65	1.5	0.55	2	H	
5B-1988	1.6	637 971	2.1	2.0	0.5	4	HG	143-13	7C- 28	0.6						H	178-02
5B-2014	3.1	705 220	2.55	2.4	0.7	5	C	196-13	7C- 50	1.6	68 494	2.5	2.0	0.55	2	H	176-03
5B-2093	0.4	676 800	1.3	1.1	0.35	5		196-27	7C- 68	0.5	253 666	2.1	1.1	0.3	2	H	178-28
5B-2119	1.0	636 647	2.2	1.4	0.35	5	C	196-08	7C- 82	0.8	388 163	2.1	1.4	0.4	2	H	
5B-2120	0.5	630 640	1.35	1.4	0.45	5	H	189-18	7C- 85	0.5	466 762	2.2	1.2	0.3	2	H	175-26
5B-2127	1.5	519 625	3.3	1.7	0.5	5	H	188-13	7C- 87		391 719	2.15	1.5	0.45	2	H	175-18
5B-2740			2	1.5	0.6		H		7C- 94	0.2	543 838	1.1	1.1	0.2	2	H	178-17
6B- 19	1.1	764 137	2.6	2.2	0.4	2	H	180-27	7C- 97	0.5	632 793	1.65	1.5	0.4	2	H	181-33
6B- 53		461 10				2	H	179-01	7C-140	0.8	607 574	2.1	1.7	0.4	4	H	185-25
6B- 1層	0.7		0.2	1.5	0.4	1	H	174-01	7C-156	0.8	570 387	1.8	1.5	0.4	4	H	184-03
9B- 240	0.5	373 360	1.85	1.5	0.3	4	H	183-24	7C-188	0.7	77 601	1.7	1.4	0.5	4	H	184-02
9B- 254	0.8	72 543	2.55	1.6	0.45	4	H	185-14	7C-234	1.2	579 165	1.95	1.8	0.5	4	H	185-06
10B- 68	1.5	436 252	2.3	1.7	0.5	2	An	194-15	7C- 283	1.0		1.9	1.7	0.45	7	H	197-19
10B- 179	1.3	595 77	3	1.9	0.45	4	H	185-27	7C-293	0.7	670 529	1.45	1.7	0.25	5	An	195-06
10B- 195	3.0	107 0	3.3	2.0	0.6	4	H	186-03	7C- 331	0.6	217 883	2.1	1.5	0.5	5	H	190-14
11B- 16	0.9	571 226	2.3	1.7	0.3	2	An	194-10	7C- 448	1.5	706 195	2.5	2.0	0.45	5	H	187-15
11B- 112	0.5	194 125	2.5	1.4	0.3	4	H	184-12	7C- 497	1.4	774 247	2.5	2.0	0.55	5	H	187-14
11B- 149	0.2	473 568	1.2	1.3	0.25	2	H	175-15	8C- 35	1.7	209 926	3.2	1.9	0.3	2	An	194-11
1C- 105	1.4	174 118	2.3	1.5	0.8	4	H	186-04	8C- 51	0.5	352 638	2.05	0.9	0.4	2	H	178-21

表 8 石鏃観察表

番号	重さ	北から東から	長さ	巾	厚さ	層	石材	図 NO	番号	重さ	北から東から	長さ	巾	厚さ	層	石材	図 NO	
90-132	1.8	228 523	2.7	1.8	0.6	2	H	175-03	4D-1311	1.0	17 173	2.3	1.8	0.35	5	H	187-05	
90-156	0.3	678 455	1.35	1.4	0.55	4	H	185-12	4D-1340	1.7	260 239	2.95	1.7	0.5	5	H	190-07	
90-165	0.7	410 408	1.2	1.2	0.3	4	H	184-06	4D-1457	6.0			2.7	2.4	1.1	H	198-20	
100-19	4.7	31 26	3.1	2.8	0.6	2	H	175-01	4D-1466	0.4	514 601	1.4	1.4	1.1	0.4	5	H	191-05
100-212		341 120	1.7	1.3	0.3	2	H	178-35	4D-1669	0.5	335 607	1.6	1.3	0.35	5	H	190-25	
100-219		67 526	0.9	0.7	0.2	2	H	175-19	4D-1952	0.6	427 805	2.2	1.2	0.35	5	H	189-20	
100-221		91 750	1.4	1.4	0.3	2	H	176-05	4D-2095	2.1	630 543	3.2	1.6	0.5	5	C	196-09	
100-293	0.7	507 2.3	1.35	0.4			H	183-19	4D-2114	1.1	401 475	1.9	1.7	0.4	5	H	190-26	
100-342		215 588	1.9	1.7	0.3	4	H	185-04	4D-2335	1.2	182 436	2.7	1.5	0.4	5	H	188-05	
110-30	0.5	77 732	1.5	1.6	0.4	2	H	178-09	4D-2456	5.3	139 769	4.3	1.8	0.9	5	An	195-18	
110-158		595 905	2.4	1.4	0.5	2	H	176-11	5D-122	0.6	123 288	1.8	1.3	0.3	5	C	196-07	
110-210	0.3	583 4	1.35	1.2	0.4	2	H	179-32	5D-219	4.3	41 272	3.05	1.9	0.95	5	H	191-20	
110-244	1.4	152 979	2.3	2.3	0.45	4	H	183-05	5D-462	0.9	685 163	2.2	2.0	0.4	2	H	179-20	
110-266	1.9	306 795	2	2.0	0.6	4	H	198-03	5D-733	4.7	217 279	3.5	2.3	1	4	H		
110-373	1.1	672 24	2.9	1.5	0.4	2	H	175-17	5D-773			5.4	2.3	1	4	H	184-21	
110-417		470 315	2	1.5	0.3	4	H	196-25	5D-944	1.7	500 618		3	1.8	0.5	5	H	188-11
120-445	3.5	8 413	3	2.6	0.4	2	An	194-21	6D-426	0.6	484 484	1.5	1.4	0.3	5	H	198-05	
130-152	1.3	428 183	2.6	1.5	0.5	5	H	190-09	6D-465	2.4	607 712	3	2.3	0.5	5	C	196-11	
130-254	0.6	478 209	1.8	1.5	0.3	2	H	178-07	6D-785	0.3	267 981	1.35	1.2	0.3	5	H		
140-54		247 313	1.8	1.2	0.4	2	BO	196-22	6D-857	1.4	661 800	2.4	1.6	0.65	5	H	191-16	
140-555	0.7	119 496	1.65	1.5	0.5	5	An	191-10	6D-864	4.3	586 711	2.7	2.4	1	5	HG	193-16	
150-63	0.9	52 856	2.2	1.5	0.5	4	BO	196-24	7D-3	1.0	718 920	1.9	2.0	0.35	4	H	183-21	
150-111	0.6	720 407	1.7	1.7	0.4	4	H	183-25	7D-193	0.8	637 575	1.6	1.4	0.4	5	H	198-07	
150-119	0.8	781 382	2.45	1.9	0.4	4	H	185-17	9D-4	1.0	680 345	1.5	1.6	0.4	2	H	177-11	
150-199	1.3	799 144	2.3	2.2	0.3	5	An	195-10	9D-540	1.0	279 746	2.55	1.6	0.5	5	H	189-22	
150-520	1.2	56 -8	2.6	1.7	0.4	2	An	194-12	10D-13	1.1	696 471	2.5	1.5	0.4	4	HG	193-14	
150-1044	2.3	155 74	2.1	2.4	0.5	4.5	H	173-07	10D-462	0.5	553 443	1.6	1.3	0.35	5	H	189-04	
150-1層	0.8		2.1	1.7	0.3	1	H	174-03	10D-604	1.4	5 272	2.5	2.0	0.5	4	H	183-06	
160-30	1.0	611 926	1.8	1.7	0.55	4	H	186-09	10D-834	1.6		2.1	1.5	0.6		H		
160-122	0.6	420 398	2.05	1.2	0.25	2	An	194-01	11D-427	0.6	534 533	2.2	1.8	0.2	4	H	185-10	
160-590	0.4	579 312	1.6	1.2	0.25	4	An	194-25	11D-712	1.2	536 558	2.2	2.1	0.5	5	H	187-16	
160-591	1.4	575 305	1.8	1.6	0.5	4	C	196-06	11D-48	4.8		2.5	2.5	1		H	198-19	
160-638	1.3	602 338	2.3	1.8	0.5	5	H	189-15	11D-759	0.3	19 581	1.45	0.9	0.3	2	H	178-36	
160-681	1.3	370 196	2	2.0	0.45	5	H	190-22	13D-223	0.4	461 495	1.9	1.2	0.4	2	H	180-18	
160-685	0.9	318 274	2.6	1.8	0.3	5	H	187-02	13D-232	0.3	447 506	1.4	1.3	0.3	2	H	175-12	
160-702	6.2		3.3	2.7	1		H	198-13	13D-251	0.9	77 619	2.6	1.8	0.5	2	H	175-06	
160-717	2.2	195 55	2.7	2.1	0.45	5	C	196-10	13D-333	0.7	60 904	2	1.9	0.4	5	H	190-15	
1D-11	0.4	100 938	1.75	1.0	0.4	2	H	181-11	13D-361	0.4	81 724	1.55	1.3	0.3	5	H	189-07	
1D-138	1.6	249 752	1.8	2.0	0.7	2~5	H	182-06	13D-363	0.6	15 700	1.8	1.5	0.25	5	H	175-14	
1D-233	0.4	60 448	2	1.4	0.3	2~5	H	183-08	13D-368	0.5	97 680	1.7	1.5	0.4	5	HG	193-15	
1D-269	1.3	303 457	1.85	1.6	0.6	2~5	H	182-02	14D-178		320 521	1.8	1.4	0.45	2	H	178-24	
1D-466	0.7	354 339	1.7	1.8	0.4	2~5	H	182-04	14D-258	0.4	159 372	1.4	1.5	0.3	2	H	181-13	
1D-489	0.6	385 72	1.7	1.8	0.35	2~5	H	182-05	14D-268	0.7	153 234	1.75	1.3	0.4	2	H	180-23	
1D-513	6.3	476 24	2.9	2.3	0.95	2~5	C		14D-374	0.9	480 514	2.3	1.8	0.3	5	H	192-05	
1D-563	1.2	112 338	2.55	1.6	0.6	5	H	190-08	14D-436	1.1	673 585	2.2	1.7	0.3	5	An	195-14	
1D-722	0.5	113 348	2	1.3	0.35	5	H	189-32	14D-623		139 203	1.1	1.2	0.25	5	H	188-23	
1D-731		269 305	1.6	1.8	0.3	5	H	188-20	14D-624	0.4	133 240	1.35	1.5	0.35	5	H	189-25	
1D-945	0.7	497 245	2.15	1.6	0.4	2~4	H	174-12	14D-678	0.6						H	173-02	
1D-1047		258 14	1.8	1.5	0.2	2~4	H	174-15	14D-946	0.6	328 294	1.8	1.7	0.4		H		
2D-233	0.3	794 889	1.7	1.2	0.3	4	H	183-08	14D-978	2.0	767 65	2.65	2.0	0.6	5	H	188-12	
2D-288	0.6	726 627	2.2	0.9	0.4	4	H	185-11	14D-1026	0.3		1.8	1.1	0.35		H	173-03	
2D-306	0.3	746 551	1.35	1.7	0.25	4	HG	193-12	14D-1027	0.6	735 732	1.85	1.3	0.4	4	H	183-14	
2D-348	0.5	615 704	2.1	1.2	0.25	4	An	194-28	15D-208		657 876	1.9	1.6	0.3	5	H	187-04	
2D-408	0.4	528 706	1.6	1.4	0.35	4	H	184-13	15D-238	1.6	619 635	2.65	2.3	0.4	5	H	187-18	
2D-632	0.5	273 462	1.6	1.1	0.4	4	H		15D-338	0.6	731 715	1.9	1.2	0.35	4	H	184-08	
2D-653	1.3	97 58	2.85	1.3	0.5	4	H	184-20	15D-392	0.7	702 274	1.55	1.5	0.45	2	H	180-15	
2D-698	3.7		2.3	1.9	0.9		BO	198-21	15D-1176	0.3	206 626	1.45	1.0	0.35	2	H	178-19	
2D-833	0.6	359 148	1.7	1.4	0.5	4	H	183-11	15D-1429	0.3	434 340	1.35	1.3	0.3	2	H	178-33	
2D-1268	0.6	13 427	1.5	1.7	0.55	5	H	188-22	15D-1640	0.3	50 719	1.3	1.3	0.4	2	H	179-03	
3D-173	0.7	647 682	1.85	1.6	0.35	2	H	177-19	15D-1701	0.1	570 166	1	1.2	0.25	4	H	184-10	
3D-412	0.6	623 986	1.9	1.3	0.35	4	H	183-09	15D-1724	0.4	352 318	1.6	1.6	0.3	4	H	183-12	
3D-491	0.5	507 522	1.8	1.4	0.3	5	H	187-10	15D-1861	0.5	73 196	2.1	1.3	0.2	4	H	197-18	
3D-607	1.9	159 912	3.15	1.8	0.65	4	H	185-26	15D-1900	0.9	200 775	2.3	1.9	0.4	4	H	183-02	
3D-681	0.3	458 926	1.35	1.1	0.3	5	H	189-35	15D-2082	0.7	458 171	2.2	1.7	0.4	5	H	187-22	
3D-1572	2.0	73 460	2.5	1.7	0.55	5	C	196-14	15D-2083	0.5	524 173	1.9	1.5	0.2	5	H		
3D-2230	1.5	220 207	2.15	2.2	0.4	5	H	187-20	16D-205	0.4	783 123	1.75	1.2	0.4	2	H	181-27	
3D-2433	3.0	389 258	3.85	2.0	0.8	5	H	191-19	16D-447	0.3	244 779	1.85	1.2	0.4	2	H	181-31	
4D-116	1.7	560 923	2.1	1.5	0.9	2	H	177-02	16D-463	0.8	381 967	2.4	1.7	0.3	2	H	180-04	
4D-117	0.5	702 644	2	1.2	0.4	2	H	181-24	16D-550	0.7	417 448	1.5	1.6	0.5	2	H		
4D-319	0.6	728 800	1.65	1.8	0.35	4	H	185-22	16D-592	0.5	131 366	2.35	1.2	0.3	2	H	175-30	
4D-574	3.9	563 312	2.7	2.2	0.7	4~5	H	198-04	16D-619	0.4	127 579	2	1.4	0.3	2	H	178-08	
4D-590	0.6	600 593	2	1.3	0.35	4~5	An	195-03	16D-631	0.3	205 662	1.1	1.3	0.5	2	H	179-11	
4D-884	0.4	259 477	1.6	1.2	0.3	4	H	186-08	16D-1326			2.3	1.9	0.5		H	179-28	
4D-1027			1.8	1.2	0.4	4	H	183-27	16D-1443	0.9	513 899	1.9	1.4	0.4	2	H	177-01	
4D-1202	1.8	117 782	2	2.0	0.7	2	H	176-06	16D-1467	0.9	760 738	2.3	1.3	0.4	2	H	175-23	
4D-1205	2.4	234 626	3.25	1.9	0.75	2	H	175-08	17D-26	1.0	769 578	2.2	2.2	0.35	2	H	179-26	
4D-1257		204 285	2.7	1.3	0.5	2	H	181-26	1E-11	1.7	377 697	2.35	2.1					

表 9 石鏃観察表

番号	重さ	北から東から	長さ	巾	厚さ	層	石材	図 NO	番号	重さ	北から東から	長さ	巾	厚さ	層	石材	図 NO
80- 75	0.4	120 994	2	1.5	0.35	2	H	180-24	16E- 431	0.7	99 307	2.5	1.4	0.4	5	H	187-08
80- 83	0.3	522 882	1.4	1.3	0.3	2	BO	196-18	17E-	0.3		1.2	1.4	0.35		H	173-14
80- 88	0.3	527 596	1.9	1.2	0.35	2	H	178-03	3F- 5	4.1	58 597	2.8	2.3	0.85	2	H	176-13
80- 295	1.0	577 681	2.4	1.9	0.45	3	H	182-15	3F- 26	0.8	26 763	2.3	1.2	0.5	2	H	181-02
80- 337		305 445	0.9	0.7	0.2	4	H	185-18	3F-240	0.4	686 883	1.9	1.4	0.35	2	H	179-06
90- 57	0.9	529 512	2.6	1.5	0.35	2	H	177-13	3F- 274	1.0	444 259	2.35	1.4	0.45	2	H	180-08
90- 119	0.5	8 949	2.1	1.3	0.3	2	An	194-03	3F- 392	1.6	466 525	3.2	1.7	0.6	2	H	175-09
1E- 47	1.5	121 577	2.2	2.4	0.8	2	H	177-09	3F- 461	1.6	262 54	3.05	2.1	0.5	2	H	179-19
1E- 52	0.3	259 393	1.7	1.1	0.3	2	H	179-12	3F- 563	0.3	773 217	1.15	1.1	0.35	2	H	181-28
1E- 55	0.9	186 190	2.1	1.4	1.35	2	H	177-07	3F- 578	1.1	41 200	2.7	1.7	0.45	5	H	187-12
1E- 120	0.5	118 486	1.8	1.5	0.3	2	H	178-26	3F- 648	0.6	524 692	1.9	1.5	0.4	2	H	180-11
1E- 123	1.0	92 457	1.8	1.4	0.5	2	H	196-23	4F- 21	2.0	214 760	1.8	1.9	0.7	2	H	177-14
1E- 145	2.4	342 633	2.9	2.1	0.5	2	H	197-07	4F- 42			1.8	1.4	0.3	4	H	185-29
1E- 197	0.6	120 913	1.8	1.6	0.4	2	H	175-20	4F- 103	0.3	139 376	1.2	1.2	0.3	4	H	185-19
1E- 253	0.7	465 645	1.35	1.8	0.4	2	H	178-29	4F- 119	0.6	741 507	2.4	1.8	0.4	4	An	194-24
1E- 270	0.6	398 437	2.55	1.4	0.35	2	H	181-03	4F- 134	1.0	653 102	2.8	1.7	0.3	4	An	194-22
1E- 535	2.2	294 330	2.3	1.9	0.9	2~4	H	174-26	5F- 98	0.7	569 661	1.5	1.7	0.35	4	H	198-01
2E- 614	1.0	298 866	2.4	1.8	0.45	2	H	181-09	5F- 179	2.7	441 97	2.5	2.5	0.95	5	H	191-04
2E- 666	1.6	467 781	2.1	2.0	0.6	2	H		5F- 311	0.6	184 705	1.75	1.6	0.3	4	H	186-06
2E- 667	0.3	464 766	1.05	1.4	0.3	2	H		5F- 516	1.4	378 703	2	1.6	0.6	5	H	190-12
2E- 669	1.0	468 738	2.05	1.6	0.5	2	H		5F- 516	1.0	378 703	2.75	1.7	0.4	5	H	190-08
2E- 689	0.6	622 468	2	1.8	0.3	2	An		6F- 45	1.0	121 56	2.2	1.5	0.5	5	H	192-01
2E- 734	0.5	54 86	1.4	1.6	0.4	2	H		6F- 119	0.6	739 359	1.8	1.5	0.35	5	H	190-19
2E- 771	0.3	173 380	2	1.0	0.3	2	H	196-20	7F- 7	0.6	225 906	1.75	2.0	0.3	5	An	197-06
2E- 799	0.8	103 441	2.6	1.6	0.35	2	H	180-20	15F- 11	5.8	692 9	2.8	2.1	1.1		H	197-08
2E- 805	1.2	142 456	2.6	1.7	0.5	2	H		17F- 7	2.3	674 70	1.7	2.0	0.3	5	An	195-13
2E- 857	1.0	698 407	2.5	1.7	0.4	2	H		17F- 37	2.5	226 981	2.1	2.0	0.5	5	C	196-12
2E- 873	0.6	486 162	2.4	1.0	0.4	2	H		17F- 101	0.3	34 912	1.65	1.3	0.3	5	H	190-16
2E- 972	0.2	697 194	1.35	1.1	0.3	2~4	H	174-07	17F- 116	1.0	289 609	2.7	1.7	0.35	5	H	190-10
2E- 993	1.9	753 300	2.7	1.8	0.65	2~4	H	174-23	17F- 187	1.5	765 488	2.7	2.1	0.35	4	An	194-32
2E- 999	2.1	791 245	2.7	1.7	0.7	2~4	H	174-22	2G- 22	3.5	99 747	3.6	2.6	0.55	2	HG	193-03
2E-1198	0.4	535 450	1.5	1.5	0.35	2~4	H	174-06	3G- 69	0.8	629 682	2.65	1.4	0.3	2	C	196-01
3E- 61	1.4	390 819	2	1.6	0.65	4	H	186-05	3G- 238	1.4	544 742	2.6	1.4	0.55	2	HG	193-09
3E- 64	1.0	98 697	1.9	1.5	0.3	4	An	194-29	3G- 268	1.1	650 473	2.2	1.5	0.35	5	An	195-11
3E- 121	0.8	148 262	1.75	1.4	0.5	5	H	192-06	4G- 250	0.9	190 335	2.2	1.3	0.5	4	H	184-15
3E- 278	1.2	574 174	2.85	2.0	0.6	4	H	185-03	4G- 254	0.9	238 416	2.5	2.3	0.4	4	H	185-20
3E- 357			2.5	1.7	0.4	2	H	177-05	4G- 261	0.8	115 56	2	1.5	0.3	4	An	194-27
3E- 379	0.9	602 731	2	1.6	0.3	4	H	197-16	4G-3153			2.05	1.5	0.3		H	173-01
3E- 428	0.6	196 572	1.8	1.4	0.45	4	H	184-23	5G- 17	1.2	639 757	3.05	1.3	0.45	5	H	190-13
3E- 436	0.5	181 1.2	1.5	0.4	4	4	H	184-07	5G- 44	2.3	504 695	2.05	1.8	0.65	5	HG	193-19
3E- 437	0.4	175 475	1.4	1.9	0.3	4	H	185-21	6G- 20	0.3	788 468	1.9	1.0	0.3	5	H	189-01
3E- 498	0.6	247 771	2	1.3	0.35	4	H	184-19	6G- 86	1.2	172 959	2.4	1.4	0.6	5	H	192-03
3E- 511	0.7	88 738	2.1	1.5	0.45	4	H	183-23	6G- 263	1.0	118 349	2	1.9	0.7	5	H	187-13
3E- 517	0.8	7 765	1.7	1.9	0.5	4	H	183-10	6G- 268	0.6	177 462	2.2	1.1	0.3	5	H	192-11
3E- 582	2.3	89 913	2.8	1.9	0.7	2	H	178-23	6G- 269	1.0	230 464	2.2	1.8	0.5	5	H	188-04
3E- 666			2.1	2.0	0.6	2	HG	193-05	6G- 358	2.5	335 166	2.75	2.1	0.9	5	H	190-11
3E- 667			1.1	1.5	0.3	2	H	180-14	7G- 15			1.6	1.5	0.5	2	H	175-21
3E- 689			2	1.7	0.3	2	H	178-25	15G- 23	1.8	161 16	2.4	2.0	0.6	2	H	179-14
3E- 689			1.9	1.8	0.3	2	An	194-08	15G- 52	1.7	400 396	2.45	1.8	0.7	4	H	184-26
3E- 734			1.4	1.6	0.3	2	H	180-10	15G- 63	1.3	59 396	2.2	1.1	0.5	4	HG	193-10
3E- 805			3.6	1.7	0.4	2	H	181-30	16G- 3	0.8	715 943	2.3	1.1	0.45	5	H	192-13
3E- 857			2	1.7	0.3	2	H	176-16	17G- 15	0.5	450 968	1.6	1.4	0.45	2	BO	196-21
3E- 873			2.4	1.0	0.4	2	H	175-22	17G- 21	0.4	342 964	1.8	1.2	0.3	2	H	179-31
3E- 987	0.4	655 256	1.8	1.7	0.25	2	H	175-05	3H- 42	0.3	457 850	1.75	1.4	0.3	4		
3E-1089	0.9	95 549	2.05	1.9	0.4	5	H	187-19	4H- 102	0.7	72 671	2.4	1.4	0.4	2	H	180-07
3E-1124	1.7	492 814	3.45	1.3	0.6	5	H	188-7	4H- 119	4.3	661 594	2.3	2.5	1.2	2	H	176-14
3E-1264	1.0	631 398	2	1.6	0.5	2	H	181-04	5H- 352	1.1	138 406	2.1	1.9	0.5	5	H	188-03
3E-1325	0.4	476 508	1.6	1.5	0.2	2	HG	193-04	6H- 57	0.7	191 14	2.15	1.7	0.4	5	H	189-34
3E-1353	1.5	133 441	2.4	1.1	0.5	5	An	195-15	6H- 130	1.8	609 502	3.1	2.4	0.45	5	H	190-04
3E-1402	0.9	116 49	2.3	2.1	0.3	5	An	195-04	6H-130*	0.4	609 502	1.8	1.6	0.3	5	H	188-25
3E-1425	1.9	498 573	3.2	2.2	0.5	5	H	191-03	6H- 224	1.0	362 57	2.1	1.8	0.45	5	H	189-14
4E- 23	0.5	765 838	1.45	1.4	0.35	4	H	184-04	6H- 270	6.3	730 423	2.8	2.5	1	5	H	198-12
5E- 80	0.5	280 614	1.6	1.6	0.4	5	H	190-24	6H- 289	0.4	657 15	1.8	1.4	0.35	5	H	189-19
5E- 145	2.9	341 686	2.15	2.3	0.85	5	H	192-04	6H- 337	1.7		2.7	1.9	0.55		H	173-06
5E- 385	6.0	562 40	3.1	2.5	1	5	H	192-08	6H- 46	0.9	286 150	2.25	2.0	0.4	4	H	185-13
5E- 423	0.4	493 343	1.3	1.3	0.4	5	H	189-16	15H- 17	0.9	621 971	1.5	1.6	0.5	2	H	178-31
5E- 424	1.8	494 340	2.9	2.0	0.45	5	H	190-03	3I- 6	0.7	72 623	1.8	1.3	0.3	2	H	197-10
6E- 96	0.5	673 844	1	1.2	0.4	5	H	190-18	5I- 39	0.6	165 857	2.1	1.1	0.4	2	H	176-20
6E- 595	1.5		2.65	1.4	0.5	5	An	195-08	5I- 80	3.0	709 250	3.5	2.2	0.6	4	H	184-15
7E- 1	7.9	298 122	3.2	2.7	1.15	5	HG	193-18	5I- 134	1.1	109 895	2.2	1.9	0.35	5	H	191-08
7E- 65	1.1	171 847	2.5	1.2	0.4	5	An	195-05	5I- 208	1.9	451 435	2	1.9	0.75	5	H	188-09
7E- 129	0.6	524 560	2.15	1.5	0.3	5	H	187-06	6I- 224	1.6	366 278	2.4	1.5	0.5	5	H	188-08
9E- 62	1.7		2.6	1.6	0.5		H	198-15	6I- 263	0.8	608 308	2	1.4	0.4	5	H	189-11
11E- 365	1.2	337 716	2.7	2.0	0.45	5	H	187-23	6I- 350	0.9	739 347	1.2	2.3	0.55	5	H	191-18
16E- 75	0.9	692 512	2	1.7	0.4	2	H	175-13	6I- 351	1.3	672 474	2.45	1.7	0.55	5	H	188-01
16E- 112	1.7		2.3	1.7	0.5		H	198-18	13I- 15	2.5	682 906	3.1	2.2	0.8	4	H	183-17
16E- 320	0.7	246 835	1.7	1.6	0.45	2	H	178-10	4J- 84	1.1	338 607	2.3	1.9	0.4	2	H	179-22

表10 石鏃観察表

番号	重さ	北から東から	長さ	巾	厚さ	層	石材	図 NO	番号	重さ	北から東から	長さ	巾	厚さ	層	石材	図 NO
4J- 451	1.8		2.65	2.2	0.45	2	H	173-03	110- 357	0.9	465	788	2.2	1.5	0.55	2	H 178-15
4J- 488	0.8	102	946	1.75	1.7	0.4	2	H 180-30	110- 362	1.2	277	732	2.1	1.7	0.55	2	H 175-10
5J- 28	1.8	797	789	3.2	1.8	0.5	2	An 194-19	110- 477	0.9	54	490	2.2	1.8	0.3	4	H 183-26
5J- 135	0.5	367	855	1.75	1.2	0.4	4	H 185-24	110- 989	1.1	300	185	2.4	1.6	0.4	4	H 185-15
6J- 337	1.4	476	267	2.25	1.6	0.4	5	H 190-23	120- 137	1.2	725	854	2.4	1.9	0.5	2	An 194-04
6J- 405	1.0	660	595	2.3	1.7	0.4	4	H 183-13	120- 155	1.7	507	208	2.4	2.1	0.6	2	H 181-22
6J- 422	0.5	695	754	1.7	1.4	0.4	4	H 184-14	120- 180	0.4	443	256	1.8	1.6	0.4	2	H 175-27
6J- 447	1.0	475	372	1.95	1.6	0.4	5	H 188-15	120- 189	0.7	348	268	2	1.5	0.3	2	H 175-28
6J- 502	2.0	61	306	2.8	1.6	0.8	5	H 192-14	120- 265	1.1	585	20	2	1.9	0.4	2	H 180-03
6J- 518		271	292	3.7	2.2	0.9	5	C 196-15	120- 313	9.7	245	223	2.1	1.6	0.45	5	H 188-17
6J- 527	0.8	256	499	2.2	1.8	0.35	5	H 187-17	120- 326	0.7	619	140	1.9	1.7	0.4	4	H 185-28
6J- 587	0.8	517	719	2.4	1.6	0.35	5	H 187-01	120- 356	1.4	723	383	2.9	2.0	0.5	4	H 185-09
7J- 11	1.1	568	406	1.6	1.6	0.5	4	H 183-29	120- 432	0.6	640	480	2	1.6	0.2	4	H
12J- 掲	1.2		2.7	1.6	0.4	4	BO	198-01	120- 506	0.4	548	773	1.35	1.3	0.35	4	H 183-15
5K- 15	0.8	338	866	2.2	1.5	0.5	2	H 180-09	120- 544	0.6	576	95	2	1.5	0.4	5	H 198-06
5K- 526	1.6	146	488	2.55	1.9	0.5	4	H 183-16	9P- 20	3.3	55	861	3.2	2.3	1	2	H 179-25
6K- 8	0.8	359	327	2	2.3	0.4	2	H 180-19	11P-2020	1.2	227	437	2.5	1.9	0.4	2	HG 193-01
6K- 15	0.8	408	592	1.95	1.8	0.45	4	H 185-07	11P-2156	2.6	11	384	3.5	1.9	9.55	5	H 190-02
6K- 28	1.2	13	625	1.35	1.8	0.6	4	H 184-16	11P-2163	3.1	288	334	2.5	2.0	0.8	5	H 192-10
6K- 107	1.0	326	755	2.3	1.5	0.35	2	H 176-15	11P-2224	1.0	138	839	1.8	1.7	0.4	5	H 189-05
6K- 181	0.7	517	887	3	1.5	0.35	4	H 181-05	11P-2244	1.3	445	823	2.3	1.2	0.5	5	H 188-10
6K- 222	2.6	88	744	3	2.0	0.7	5	H 190-01	12P- 94	2.0	628	846	2.55	2.0	0.7	2	H 177-16
6K- 272		523	740	2.1	1.6	0.3	5	H 187-03	12P-1182	0.6			1.45	1.5	0.4		H 173-04
6K-272*	1.3	523	740	2.75	1.7	0.5	5	H 189-27	12P-2117	0.4	388	823	1.6	1.2	0.3	4	An 194-23
6K- 278	2.2	562	629	2.8	1.5	0.6	4	H 197-20	12P-2155	0.8	478	292	1.8	1.6	0.3	4	HG 193-11
6K- 322	0.7	489	286	2.5	1.2	0.45	5	H 191-02	12P-2186	0.7	482	571	2.3	1.5	0.3	5	H 190-20
6K- 338	0.7	232	553	2.05	1.5	0.45	4	H 183-01	12P-2273	1.3	421	870	2.9	2.0	0.4	4	H 183-22
6L- 18	1.1	427	764	2.15	1.7	0.35	4	An 194-26	8Q- 3	0.8	435	970	1	1.5	0.6	5	H 192-16
6L- 141	0.9	616	581	2.3	1.8	0.3	5	H 198-09	10Q- 1	2.9	362	998	2.8	2.2	0.9	2	H 180-01
7L- 28	0.6	795	320					H	11Q- 4	2.0	750	978	2.95	1.7	0.5	2	An 194-18
11L- 49	0.3	193	465	1.65	1.2	0.3	2	H 178-06	11Q- 26	1.1	438	942	2.5	1.6	0.05	4	H 183-04
11L- 100	1.1	419	66	2.15	1.5	0.4	2	H 176-19	12Q- 6	1.6	580	948	2.3	1.6	0.5	2	An 194-14
11L-1048	1.4	56	20	2	2.0	0.55	5	H 188-14	10R- 1	0.5	340	929	2.1	1.1	0.4	2	H 175-24
12L- 48	0.5	104	504	1.8	1.4	0.35	4	H 183-07	10R- 34	0.9	90	527	2.05	1.8	0.45	2	H 179-17
12L- 54	2.6	97	431	2.5	1.8	0.5	4	H 197-21	11R- 2	1.3	687	946	3.05	2.0	0.45	2	H 180-26
12L- 155	4.8	212	168	3.1	2.9	0.8	4	An 194-30	10S- 11	0.9	2	113	2.1	1.6	0.4	2	H 181-29
12L- 157	4.8	304	104	3.6	2.7	0.9	4	H 197-17	11S- 55	0.6	607	649	1.9	1.9	0.3	5	H 188-24
13L- 17	1.1	686	693	2.55	1.5	0.45	2	H 181-23	11S- 66	1.7	687	744	1.75	2.0	0.7	5	H 191-13
6M- 116	0.5	539	49	1.6	1.0	0.4	4	H 184-18	11S- 74	0.4	685	850	1.3	1.6	0.3	5	H 189-09
6M- 121	2.7	778	8	2.7	2.3	0.55	4	H 186-01	1号土壌13	0.6			2.2	1.6	0.3		H
10M- 80	2.0	420	556	2.6	2.0	0.55	4	H 184-17	13・14CD	0.8			2.6	1.7	0.35		H 173-05
10M- 102	1.0	701	498	2.95	1.2	0.4	5	H 191-14	13・14CD	2.1			2.3	1.9	0.6	An	
10M- 124	2.9	740	716	2.9	2.0	0.5	4	H 198-02	13・14CD	1.4			2.2	1.9	0.55	H	173-10
10M- 128	1.5	543	919	3	1.9	0.5	4	H 185-02	1D- 27	0.7			2	1.8	0.3	HG	193-06
10M- 136	1.5	395	718	3	1.7	0.4	2	H 181-01	17集石19	0.2	348	775	1.1	1.2	0.3	2	H 179-08
10M- 185	0.4	13	418	2.2	1.1	0.3	2	H 180-05	5号土壌22	0.7			1.85	1.8	0.4		H
11M- 87	7.1	431	450	2.7	2.6	1.2		H 198-17	表 採	0.7			2.2	1.5	0.3		H 174-02
11M- 95	1.3	406	658	2.3	1.9	0.4	5	An 195-12	排土	0.9			1.5	1.5	0.45		H 173-15
11M- 1層	1.2			1.8	1.9	0.45	1	An 195-17	排土	0.4			1.65	1.4	0.3		H 174-04
12M- 47	1.7	251	643	3	2.2	0.5	2	H 179-24	排土	0.4			1.3	1.6	0.25	C	196-16
12M- 49	0.8	195	620	1.7	1.5	0.55	2	H 181-18	表土	0.7			2.3	2.0	0.3		H 173-11
12M- 58	0.7	539	177	2.1	1.8	0.35	2	H 179-15	表土	0.8			2.1	1.5	0.35		H 173-12
12M- 62	0.4	523	60	1.7	1.3	0.4	2	H 181-06	表土	0.6			1.95	1.3	0.4		H 173-09
12M- 196	3.8	363	908	3.1	2.2	0.8	5	H 192-07	表土	3.9			3.7	1.8	0.8		H 173-13
12M- 381	1.8	425	788	2.4	2.0	0.75	5	H 192-02									
12M- 394	1.5	401	642	2.7	1.9	0.55	5	H 190-06									
5N- 25	1.0	25	851	2.4	1.7	0.45	4	H 183-03									
5N- 30	0.8	151	800	2.35	1.7	0.4	2	H 179-29									
5N- 42	0.5	173	529	1.7	1.6	0.4	5	H 189-06									
5N- 51	1.9	303	852	2.1	1.7	0.7	4	H 184-09									
5N- 53	1.3	343	767	1.5	2.4	0.5	4	H 186-07									
6N- 32	2.3	786	900	2.3	1.8	0.8	5	H 192-15									
9N- 1	1.0	63	970	2.25	1.7	0.5	5	H 189-26									
11N- 17	0.8	209	925	2.3	1.9	0.95	2	H 176-21									
11N- 226	0.9	8	579	2.5	2.0	0.4	5	H 187-11									
11N- 1層	1.2			1.7	1.4	0.35		An 174-05									
11N- 1層	0.5			1.7	1.7	0.45		An 195-16									
12N- 48	1.3	512	921	1.9	1.9	0.6	5	H									
12N- 108	0.6	500	527	2.25	1.5	0.3	4	H 185-16									
12N- 508	0.4	590	896	1.4	1.2	0.35	5	H 189-24									
12N- 586	0.9	643	622	2.6	1.7	0.35	5	H 190-17									
40-1257	0.7			2.1	1.3	0.45		H									
100- 27	2.7	393	968	2.1	2.2	0.95	5	H 191-17									
100- 108	1.4	382	27	2.5	2.4	0.5	2	H 179-16									
110- 39	0.4	966	609	1.6	1.2	0.4	2	H 181-20									
110- 174	0.9	601	20	2.2	1.6	0.4	2	H 178-12									
110- 322	1.3	165	456	2.7	1.9	0.5	2	H 179-18									

表11 礫器・剥片石器・石核観察表

番号	重さ	北から東から	長さ	巾	厚さ	層	図NO.	番号	重さ	北から東から	長さ	巾	厚さ	層	図 NO
3A-689	343.2	433 389				2		6D-550	319.0	549 366				5	
4A-1404	362.9	39 514	14.5	8.7	2.5	2	199-07	6D-682	575.8	218 435	11.9	9.5	4.7	5	206-05
4A-1801						5	206-03	7D-192	1073.2	784 595	14.3	12.7	4.2	5	204-03
3B-705	632.3	718 582	11.2	10.5	4.5	2	199-05	10D-508		245 400	12.5	10.3	3.6	4	203-01
3B-1804		710 198	18.4	11.9	4	4・5	202-04	11D-491	217.6	191 5	12	10.0	2.35	2	199-06
3B-1974	979.3	81 42	14.6	13.1	4.65	2~4	200-07	11D-644	829.6	452 816	11.4	11.4	7	5	205-09
4B-2693		628 899				4	207-03	13D-551		36 400	12.5	12.3	4	5	205-08
1C-144	395.0	82 228	10.8	6.2	4.85	6		13D-632	310.0	23 161	14.5	7.0	2.8	5	207-06
2C-102		187 440	12.5	10.7	5.6	4	203-08	14D-764	569.9	108 400	12.7	10.6	4.1	5	205-04
2C-441	698.7	49 265	15.95	13.1	2.7	2	199-08	14D-1092	741.9		18.5	9.2	5.4	5	202-06
2C-1075	337.1	740 569	13.6	7.4	3.45	5	204-06	3E-1100	278.8	407 606	9.6	8.1	3.4	5	204-04
2C-1076	539.6	764 578	14	11.4	6.45	5	205-06	4E-136	432.0	650 485	14.8	9.8	2.5	5	206-04
2C-1160	859.3	709 265	14.95	8.6	5.6	5	204-02	4E-166	575.6	435 294	10.25	9.4	4.05	5	202-07
3C-424	799.7	209 654	15.5	13.8	3.3	2~4	201-03	4E-342	1300.0	568 928	15.2	9.8	8.55	5	207-05
3C-569	962.1	680 399	14.2	10.5	4.6	2~4	200-04	5E-170	438.3	547 812	9.5	10.6	4.3	5	
3C-1123	644.0	546 583	14.6	16.5	2.2	2~4	201-06	7E-234	546.4	125 223	11.1	10.3	4.4	2	
3C-1213	223.9	647 246	11.4	8.4	2.8	2~4	201-01	8E-208		629 662	13.8	10.0	4.8	5	205-03
3C-1662	575.6	478 265	14.7	12.0	3.4	2~4	201-07	9E-104	579.1	696 920	12.9	9.8	4.5	2~4	200-09
3C-2092	407.9	330 73	13.3	9.2	4.7	5	206-09	9E-138	440.0	92 510	14.1	11.8	2	2~4	201-04
3C-2098	407.9	319 83	13.3	9.4	4.7	5		16E-428	636.6	105 325	14.6	10.8	3.7	5	205-07
4C-662			11.4	10.5	4.5	2	207-01	3F-396	722.9	-4 560	12.35	9.8	3.95	2	200-02
4C-2158	543.5	193 929	17.1	6.6	4.9	2	200-06	4F-355	1250.0		16.1	9.7	6.3		207-04
4C-2885	422.1	790 483	10.2	9.9	3.8	4・5	202-03	2G-118	381.0	50 430	12.8	6.8	3.8	5	204-05
4C-3154	663.6	600 634	18.8	12.0	2.2	4	203-09	4G-184	247.0	27 406	11.5	11.0	2.2	5	
5C-229	131.5	788 861	8.2	7.2	2.3	4	203-07	15G-117	694.3	440 712	11.6	11.0	4.6	2	199-02
5C-1330	621.5	356 307	16.7	11.0	2.1	5	206-02	4H-118	434.0	650 585	13	10.5	2.3	2	200-05
5C-1447		583 113	12.6	9.0	5	5	206-06	6H-15	813.4	771 238	13.7	9.9	3.45	5	205-02
8C-45	836.0	363 996	16	13.0	3.4	2~4	201-02	8H-61	264.9	203 299	16.9	8.3	3.9	4	202-02
8C-62	658.5	423 798	18.6	11.4	4.5	2~4	201-05	5I-260	408.0	612 319				5	
2D-47		204 966	19.1	9.6	2.4	2	199-04	6J-499		104 219				5	204-08
2D-814	479.0	407 269	10.5	9.2	4.3	4	203-02	6K-26	547.7	16 415	11.6	9.9	4.2	2	200-01
2D-942	635.9	714 266	14	12.6	2.8	4	203-10	6K-295	430.8	316 606	11.2	10.0	2.9	5	202-05
3D-149	625.0	776 841	17.7	7.9	4.05	5	202-01	6L-38	859.5	143 757	14.4	13.0	4	4	203-05
3D-1393		251 412	14.2	14.0	4.4	2	200-08	6L-194	440.3	442 183	10.65	8.9	4.25	5	202-08
3D-1413	754.6	260 385	15	9.6	4.5	2	199-01	4M-8		182 644	9.8	9.3	3	5	205-01
3D-1456	453.8	455 572	11.3	8.7	4.3	2	199-03	6M-87	481.2	578 609	12.5	9.8	3.55	4	203-03
3D-1804	798.8	601 847				5		11M-275	667.7	444 936	16.2	11.7	2.8	5	206-08
4D-725	313.0	115 245	11.6	11.2	2.7	2	207-02	11D-829	836.3	640 50	17.1	10.8	4.6	5	204-09
4D-1522	408.1	422 23	14.2	10.7	2.3	5	206-01	11P-2059		417 333	12.8	12.4	3.8	4	203-04
5D-585	1053.9	25 672	14.5	12.8	3.9	5	202-09	11P-2218		6 646	14.8	6.2	2	5	206-07
5D-877	150.0	184 349	15.3	14.9	5.7	5	204-01	9Q-4		103 975	9.3	7.5	2	4	203-06
6D-335	1500.0	256 58	14.4	12.6	6	5	204-07	12P子木-1	140.1	508 613	7.9	6.8	2.8	2	
6D-356	671.1	427 52	14.1	10.0	5.6	5	205-05	11号集石16	941.6	492 894	20	9.3	6.2	2	200-03

番号	g	北～東～	長さ	巾	厚さ	層	石材	図NO	備考
2A-24	10.1	22 929				2	H		削器の一部のみ
3A-594	1.2	359 63				2	H		きり
3A-1432	1.8	100 272				2	H		石鏃未?
3A-1620	0.7	196 0				5	H		?
3A-1690	23.9	570 548	4.5	4.0	2	4	H	216-04	石核
3A-1751	18.6	449 248	3.8	2.9	1.1	4	An	220-02	削器
4A-4	0.3	25 26				2	H		あし
4A-1041	37.8	62 222	9.6	3.7	1.8	2~4	H	213-03	削器
4A-1521	160.4	510 149	9.6	8.6	2.3	4・5	An	221-05	素材?
4A-1694	1.8	717 370				5	H		削器?同NO.
5A-610		560 358				2	An		
5A-687	8.6	608 168				2	H		剥片
5A-737	22.3	644 163	6.4	3.8	1.3	2	H	208-04	削器
5A-804	2.6	567 274				5	H		石鏃未製品
5A-816	23.5	741 21				4	H		剥片
5A-835	53.6	779 557				4	H		Uf
3B-379	42.7	657 715					H		石核
3B-399	34.0	697 925	4.1	3.8	2.2		H	228-05	石核
3B-1046	32.7	348 128	6.6	4.2	1.2	2	An	210-01	削器
3B-1580	4.2						H		石鏃未製品
3B-1772	24.5	433 146	6.7	2.8	1.7	2~5	?H	214-04	削器未?or尖
3B-2015	35.7	263 300	4	3.5	3.3	2~5	H	228-07	石核

表12 剥片石器・石核観察表

番号	重量	北から	東から	長さ	巾	厚さ	層	石材	図 NO	
5B-1227	182.8	345	29	7.7	5.8	3.6	4?	H	219-02	石核
5B-1870	375.0	778	401				4	H		剥片
8B- 46	24.9	529	228				2	H		石核
9B- 204	358.0	544	601	9	7.2	5.7	4	H	218-01	石核
10B- 219	4.7	717	478	3.1	2.2	0.6	6	C	223-06	石核直上剥片
11B- 72	6.1	283	327				4	An		石鏃
1C- 84	67.9	28	555				4	An		?
2C- 337	127.4	14	55	5.9	5.0	4.1	2	H	213-03	石核
3C- 167	46.5	739	247	5.4	4.1	2.4	4	H	219-04	石核
3C- 338	401.3	10	350				2~4	H		石核残品→
3C- 540	3.7	557	378	2.8	2.4	0.8	2~4	H	213-02	石鏃未製品
3C- 686	33.1	525	785	5.3	3.9	1.7	4	C	215-08	Uf
3C- 862	6.0	225	535	2.9	2.9	0.8	4	H	215-07	Uf
3C-1438	8.1	213	370	3.9	3.0	1.1	2*4	HG	213-05	削器
3C-1569		404	562	5.5	5.9	1.7	2*4	HG	213-06	削器
3C-1785	110.0	537	60	7.2	6.2	3.9	2	H	212-05	石核
3C-2298	23.1	497	92	6.1	4.3	1.4	5	H	222-06	削器
4C- 127	42.9	405	356	6.5	4.9	1.6	4	H	214-05	削器
4C- 236	12.8	200	602	5.1	3.7	0.8	2	H	208-08	削器
4C- 368	8.5	469	802	4.2	2.6	0.8	2	C	211-06	石鏃未製品
4C-2026	14.4	578	683	4.9	3.5	1.1	2	An	209-07	削器
4C-2391	8.5	657	727	3.2	2.6	1	2~5	An	214-03	削器
4C-2698	2.1	774	434				4*5	HG		石鏃未
4C-3203	59.0	394	781	7.8	4.0	2.3	4*5	H	222-01	石核
4C-3316	8.5	784	86	3.3	3.2	1.1	4*5	H	221-04	削器
5C- 456	11.0	650	800	3.6	3.1	1.5	5	H	223-04	削器
5C- 845	22.7	629	805	4.1	3.6	1.8	5	H	225-05	石核
5C-1041	350.9	286	11				2	H		石核
5C-1251			40	2.2	2.3	0.8			222-12	石鏃?
5C-1525	50.6	702	6	5.5	3.4	3.6	4	H	217-02	石核
6C- 1	25.0	338	919	6.4	3.7	1	2	HG	200-03	削器(6Bに入)
6C- 26	25.4	338	920	6.7	3.3	1.5	5	HG	227-02	石核
6C- 96	5.9	471	593	3.8	1.5	0.8	5	An	224-08	削器
6C- 358	19.3	40	598	4.7	3.7	1.4	5	H	224-01	削器
6C- 582	1.3	134	276				2	H		石鏃
7C- 71	57.0	614	845	7.6	4.2	1.8	4	An	218-03	石核
7C- 125	24.1	239	687				4	H		剥片
7C- 142	39.2	647	619				4	H		
7C- 408	9.0	358	370	3.9	2.8	0.9	5	H	222-05	削器
8C- 23	10.6	77	739	3.5	3.6	0.8	2	An	209-06	削器
8C- 71	13.3	191	961				2	H		剥片
8C- 92	72.8	529	518	10.7	6.8	1.2	2	An	211-05	削器
8C- 95	2.8	566	483	4	1.9	0.7	2	H	211-02	Uf
8C- 226	180.6	107	490				2	H		剥片
8C- 268	180.6	721	71				4	H		剥片37.5gも有
9C- 4	3.2	224	430				2	An		削器
10C- 30		712	426				2	H		
10C- 233	110.9	696	936	7.1	5.4	3	4	HG	218-02	石核
10C- 403	442.5	166	145	10	9.7	3.6	4	H	219-01	素材
10C- 407	38.6	3	212				4	H		
11C- 174	21.4	665	404	4.9	2.7	2.2	2	H	213-05	石核
11C- 214	15.4	695	74	4	3.1	1.5	2	H	211-07	石核
11C- 342	18.5	633	339				4	H		剥片
13C- 39		327	357				2	An		
13C- 41	43.5	366	389				2	H		剥片
13C- 48	69.4			5.3	4.5	2.9	2	H	228-03	石核
13C- 284	16.6	544	103	4.4	3.4	1.3	5	C	283-11	
14C- 62	19.0	72	217	4.2	2.5	2.5	2	H	213-06	石核
14C- 124		488	13				5	H		
14C- 211	6.1	140	262	3.8	3.0	0.4	5	HG	224-05	削器
15C- 4	13.1	235	981	5.5	3.6	0.8	4	H	215-06	Uf
15C- 38	21.6	452	771	4.9	3.9	1.3	4	An	215-03	削器
15C- 211	26.4	714	997				5	H		剥片
15C- 406	16.2	737	78	4.8	4.4	1	4	H	214-07	削器
15C- 523	82.0	37	581	6.4	5.8	3.2	2	H	212-04	石核
15C- 632	16.8	6	94	4.4	4.3	0.9	?5	HG	224-02	削器
15C-1096		480	108					H	213-01	16E- 133と接
1D- 221	66.0	78	507	8	4.9	2.3		H	213-04	石核

表13 剥片石器・石核観察表

番号	重さ	北から東から	長さ	巾	厚さ	層	石材	図 NO	
1D- 502	19.1	601 142	5	3.1	1.5	2~4	H	214-01	削器
1D- 513							C	214-02	クサビ
1D-1041	27.4	122 185				2or4	H		
1D1住139	2.7	39 549				2	H		削器?
1D1住1612	13.1						H		クサビ?
2D- 444	29.7	577 818	4.1	3.0	2.5	4	H	219-03	石核
2D- 720	4.5	400 518	2.6	2.4	0.8	4~5	H	217-03	石鏃未製品?
3D- 62	263.3	783 746	12.4	8.2	2.6	2	H	209-03	削器
3D- 153	16.1		9.3	1.8	1	2	An	211-08	尖頭器
3D- 385	46.7						C		
3D- 866	126.6	461 73	6.5	6.2	3.3	2	H	212-06	石核
3D-1098	30.0	219 179				2	H		剥片
3D-1244	18.5	157 746	6.1	4.4	0.9	2	H	210-11	削器
3D-1350	58.2	146 720				2	H		石核
3D-1408	18.6	319 482	9.8	7.1	3.3	2	HG	213-01	石核
3D-2102	32.0	595 779				5	H		剥片
3D-2132	13.3	293 683	5.6	2.9	1.1	5	H	223-09	Uf
3D-2415	11.0	583 90				5	H		
3D-2429			2.5	1.9	0.6		H?	222-11	石匙?
4D- 103	29.3	768 613	6.4	3.4	1.2	4	An	214-09	削器
4D- 612	29.6	282 963	8.3	3.2	1.5	4~5	H	221-06	石核
4D- 990	34.9	382 805				4			石核
4D-1367	768.5	380 308				5			素材・角状
4D-1394	37.5	487 301	5.5	5.1	1.3	5	H	222-09	削器
4D-1402		447 361	3.6	3.1	0.9	5	H	224-03	
4D-1601	15.7	67 597	5.9	3.3	1.5	5	H	220-04	削器
4D-1765	1.2	374 990	2.8	1.6	0.4	5	H	223-05	Uf
4D-2441								222-13	石匙?
5D-1083	12.0	253 801	4.4	3.0	1.6	5	C	225-04	剥片
6D- 355	6.5	352 50	4.4	2.4	0.9	5	H+G	225-01	剥片
7D- 31	20.3	447 811	7.2	3.8	0.9	5	An	224-09	削器
7D- 183	25.8	442 478	4.1	4.1	1.5	5	An	227-06	削器
8D- 128	150.5	443 879				4	An		石核
10D- 34	48.1	374 1014				4	H		剥片(10C区入)
10D- 165	14.3	554 247	3.2	2.7	1.2	2	An	210-03	削器
10D- 555	62.4	461 911				5	H		石核
10D- 834	1.7	312 724				5	H		石鏃
11D- 189	34.6	313 418	5.6	5.4	1.6	2	H	212-02	石核
11D- 232	15.9	85 165	4.1	3.4	1.3	2	H	210-02	削器
11D- 413	18.5	100 634	6.1	3.6	0.9	2	An	210-08	削器
11D- 542	16.8	562 190	4.5	3.4	1.1	5	H	222-02	削器
11D- 968	7.3	546 650	3.7	2.7	0.8	5	H	222-03	削器
13D- 1	23.5	34 99.3	7.4	3.7	1.3	2	H	209-01	削器
13D- 115	7.2	387 150	3.1	2.7	0.8	2	An	210-05	削器
13D- 218	20.8	357 425	4.5	3.3	1.9	2	H	213-02	石核
13D- 285	79.7	88 979				5	H		剥片
13D- 300	1.0	135 906				5	H		キリ
13D- 385	46.7	418 682	5.9	3.9	2.3		C	223-03	削器 薄緑色
13D- 531	81.5	17 179				5	H		削器
13D- 545	3.0	136 313				5	H		剥片
13D- 546		150 299				5	H	227-03	
13D- 601	26.1	691 633	6.3	3.8	1.4	5	H	223-08	Uf
14D- 458	14.1	615 655				5	H		剥片
14D- 607	9.9	226 468				5	H		礫面有剥片
14D- 664	7.8	81 995	5.5	1.3	0.7	5	H	222-07	削器
14D- 894	21.4	740 914				4	H		剥片
14D- 979	41.0	696 157				5	H		Uf
15D- 420	117.7	473 576	9.1	8.2	1.9	2	HG	208-09	削器
15D- 495	8.8	582 750	2.8	2.4	1.6	2	H	212-03	石核
15D- 502	11.0	730 711				2	H		剥片
15D- 548	11.7	596 306				4	H		剥片
15D-1288	52.1	36 401				2	H		削器
15D-1423	29.9	396 412	4.1	3.7	1.4	2	An	210-07	削器?
16D- 215		640 324				2	An		
16D- 248	13.1	603 382	5.4	3.3	1.1	2	An	210-04	削器
16D- 534	10.0	227 245	3.3	3.7	1.1	2	H	208-03	削器
16D- 550			1.5	1.5	0.5			209-02	石匙?
16D- 564	7.9	331 360				2	H		礫面有剥片

表14 剥片石器・石核観察表

番 号	重さ	北から東から	長さ	巾	厚さ	層	石材	図 NO
16D-1336		327 814				2	H	
1E- 34	150.6	376 609	5.7	4.9	4.8	2	An	228-06 石核
2E- 615	1.8	297 850				2	H	削器
2E- 774	22.3	107 396	4.8	4.8	1.4	2	An	210-09 石核?・削器
2E-1194	52.7	555 416				4	H	石核
2E-1199	52.4		5.1	4.0		3 4		216-02 石核
3E- 615	35.0		4.9	2.8		3 2	H	213-04 石核
3E-1525	5.2	754 -3	3.8	2.9	0.6	2	H	208-07 削器
3E-1558	2.6	172 207	3	1.8	0.7	5	An	224-10 削器
4E- 358	4.8	383 852	2.7	3.9	0.9	5	An	224-04 削器
5E- 240	19.9	571 461				5	H	石核
7E- 124	9.4	453 664	3.5	2.8	1.1	2	C	209-08 削器?
8E- 202		392 545	7.5	3.8		1 4	An	214-08 削器
9E- 81	27.0	658 712	6	4.5	1.4	4・5	H	221-07 削器
9E- 119	43.3	527 841	7.1	5.2	1.4	4・5	H	221-03 剥片
9E- 148	8.7	217 544	7.1	4.5	1.5	4・5	H	221-02 削器
11E- 148	33.8	362 857	5	2.2		1 2	H・G	209-04 削器
11E- 242	6.2	318 955	3.9	2.1	0.9	5	H・G	225-02 削器
16E- 133		45 323				2	H	接14D-1096
16E- 217	257.7	473 65	10.4	7.8	3.9	4	H	217-01 石核
16E- 376	16.9	310 509	4	3.7	1.5	2	H	212-01 石核
16E- 521	12.9	349 803					H	石核?
4F- 135	8.9	521 125	3.3	2.3	1.1	4	H	214-06 削器
13F- 588	8.5		3.9	3.6	1.3		H・G	削器
16F- 296	384.9	548 399				2	H	
17F- 156	130.9	749 21	10.8	7.4		2 4	An	215-04 削器
17F- 520		752 411				5	BO	
17F- 709	15.6	54 805				5	H	石核
17F- 751	28.5	418 153	6.5	2.4	1.8	5	H・G	227-04 石核
6G- 159	13.3	365 886				5(5上半	H	剥片
6G- 193	61.1		3.6	3.6	4.1	5	H	220-03 礫そのもの
8G- 47	28.6	177 419	6.7	3.8	1.3	5	An	224-07 削器
8G- 58	21.0	83 613	6.8	5.0		1 5	H	223-07 Uf
15G- 1層	18.9		5.8	3.6		1 1	H	削器
15G- 82	4.1	125 742				2	H	削器
17G- 16	4.5	415 948	3.6	2.1	0.8	2	H	211-01 Uf
3H- 84		331 994				5	H	
3H- 69	8.8	42 214	3.9	2.1	1.1	5	H	222-10 削器
4H- 40	2.1	300 706	3.3	1.2	0.5	2	H	208-05 削器
4H- 80	28.3	253 493	5	4.4	1.9	2	H	213-08 石核
5H- 48	12.4	272 6				2	H	Uf
5H- 55	15.5	73 556	4.4	2.8		1 4	H	217-05 礫・原石
5H- 233	21.5	234 253				5	H	
5H- 263	58.9	134 307	7.4	5.0	2.4	4	H	217-06 石核
5H- 397	2.3	650 197	4.1	1.1	0.5	4	H	215-05 Uf
5H- 409	10.6	674 34				5	H	frake
5H- 421	16.6	721 495	4.4	3.5	1.1	4	An	215-02 削器
14H- 4	28.2	17 800				2	H	石核
5I- 119	0.5	345 560				5	H	石鏃未
12I- 表土	25.8		7.5	4.1		1	An	削器
15I- 8	18.0	908 196	5	3.3	1.3	1	H	削器
4J- 229	21.6		6.5	3.1	1.4		An	削器
4J- 448	16.7		5.8	3.2	1.3		H	削器
4J- 471							An	
6J- 251	42.1	124 104				2	H	削器?
6J- 580	47.9	690 434	5.7	3.6	2.9	5	H	225-08 石核
7J- 13	4.7	453 370	3.5	3.2	0.6	4	H	215-01 Uf
10J- 表土	15.7						H	剥片
4K- 265	20.7						H・G	ヤリ
6K- 236	56.0	264 763	6.2	4.3	2.9	5	H	227-01 石核
6K- 378	15.8		6.9	2.7	1.2	4		220-01 削器
11K- 1層			4.1	3.7	1.3		H	228-01
12K- 5	39.4	426 929	8.1	3.9	1.7	4	H	217-04 削器・尖器の
12K- 12	17.0	737 904	4.2	3.6	1.1	4	H	215-09 削器
5L- 111	21.9	651 169				5	H	剥片
5L- 112	23.0	654 162				5	H	剥片
6L- 12	13.1	611 716				4	H	
6L- 51	81.7	50 593	7.6	5.0	3	4	An	218-04 石核

表15 剥片石器・石核観察表

番号	重さ	北から東から	長さ	巾	厚さ	層	石材	図 NO	石核？
6L- 85	0.6	329 859				5			石核未？
6L- 243	99.1	423 456	9.5	5.8	3.3	5		216-01	石核
11M- 175	3.7	133 207	3.6	2.6	0.7	5	H	222-04	削器
11M- 284		343 916				5	H		
11M- 315	29.0	171 886				4	H		削器
12M- 28	25.3	405 547				2	H		Uf
12M- 136	35.5	528 375	7.6	5.5	1.6	2	H	208-06	Uf
12M- 281	6.0	208 764				5	H		削器
12M- 294	11.0	599 573	5.9	3.8	0.7	5	H		Uf
12M- 334	15.8	551 290	4.3	3.6	0.9	5	An	223-01	削器
10N- 18	21.9	35 349	4.3	2.7	2.5	2	H	228-04	石核
11N- 1層	9.1						H		石匙片？
11N- 78	14.6	291 837				4	H		石核
11N- 141	19.8	365 191	4.3	3.9	1.5	2	H	208-01	削器
11N- 422	11.4	294 534	4.5	3.8	1	5	H	223-02	削器
12N- 500	2.0	651 860				5	H		石核未
4O- 16	15.1								
9O- 16		29 65	3.2	3.0	1.3		An	224-11	削器
11O- 353	25.7	475 707	4.9	4.4	1.7	2	H	208-02	削器
11O-1020	2.7	24 225				5	H		石匙片or削器
8G- 58	21.0	83 613	6.8	5.0	1	5	H	223-07	Uf
15G- 1層	18.9		5.8	3.6	1	1	H		削器
15G- 82	4.1	125 742				2	H		削器
17G- 16	4.5	415 948	3.6	2.1	0.8	2	H	211-01	Uf
3H- 84		331 994				5	H		
3H- 69	8.8	42 214	3.9	2.1	1.1	5	H	222-10	削器
4H- 40	2.1	300 705	3.3	1.2	0.5	2	H	208-05	削器
4H- 80	28.3	253 493	5	4.4	1.9	2	H	213-08	石核
5H- 48	12.4	272 6				2	H		Uf
5H- 55	15.5	73 556	4.4	2.8	1	4	H	217-05	礫・原石
5H- 233	21.5	234 253				5	H		
5H- 263	58.9	134 307	7.4	5.0	2.4	4	H	217-06	石核
5H- 397	2.3	650 197	4.1	1.1	0.5	4	H	215-05	Uf
5H- 409	10.6	674 34				5	H		frake
5H- 421	16.6	721 495	4.4	3.5	1.1	4	An	215-02	削器
14H- 4	28.2	17 800				2	H		石核
5I- 119	0.5	345 560				5	H		石核未
12I- 表土	25.8		7.5	4.1	1		An		削器
15I- 8	18.0	908 196	5	3.3	1.3	1	H		削器
4J- 229	21.6		6.5	3.1	1.4		An		削器
4J- 448	16.7		5.8	3.2	1.3		H		削器
4J- 471							An		
6J- 251	42.1	124 104				2	H		削器？
6J- 580	47.9	690 434	5.7	3.6	2.9	5	H	225-08	石核
7J- 13	4.7	453 370	3.5	3.2	0.6	4	H	215-01	Uf
10J- 表土	15.7						H		剥片
4K- 265	20.7						H・G		ヤリ
6K- 236	56.0	264 763	6.2	4.3	2.9	5	H	227-01	石核
6K- 378	15.8		6.9	2.7	1.2	4		220-01	削器
11K- 1層			4.1	3.7	1.3		H	228-01	
12K- 5	39.4	426 929	8.1	3.9	1.7	4	H	217-04	削器・尖器の
12K- 12	17.0	737 904	4.2	3.6	1.1	4	H	215-09	削器
5L- 111	21.9	651 169				5	H		剥片
5L- 112	23.0	654 162				5	H		剥片
6L- 12	13.1	611 716				4	H		
6L- 51	81.7	50 593	7.6	5.0	3	4	An	218-04	石核
6L- 85	0.6	329 859				5			石核未？
6L- 243	99.1	423 456	9.5	5.8	3.3	5		216-01	石核
11M- 175	3.7	133 207	3.6	2.6	0.7	5	H	222-04	削器
11M- 284		343 916				5	H		
11M- 315	29.0	171 886				4	H		削器
12M- 28	25.3	405 547				2	H		Uf
12M- 136	35.5	528 375	7.6	5.5	1.6	2	H	208-06	Uf
12M- 281	6.0	208 764				5	H		削器
12M- 294	11.0	599 573	5.9	3.8	0.7	5	H		Uf
12M- 334	15.8	551 290	4.3	3.6	0.9	5	An	223-01	削器
10N- 18	21.9	35 349	4.3	2.7	2.5	2	H	228-04	石核

表16 剥片石器・石核・石斧他観察表

番 号	重さ	北から東から	長さ	巾	厚さ	層	石材	図 NO
11N- 1層	9.1						H	石匙片？
11N- 78	14.6	291	837			4	H	石核
11N- 141	19.8	365	191	4.3	3.9	1.5	2	H 208-01 削器
11N- 422	11.4	294	534	4.5	3.8	1	5	H 223-02 削器
12N- 500	2.0	651	860			5	H	石鏃未
40- 16	15.1							
90- 16		29	65	3.2	3.0	1.3	An	224-11 削器
110- 353	25.7	475	707	4.9	4.4	1.7	2	H 208-02 削器
110-1020	2.7	24	225			5	H	石鏃片or削器
120- 55	8.3	549	47	4.3	3.1	0.7	2	H 210-10 削器
120- 523	22.2	704	54	4.6	3.6	1.1	2	An 210-06 削器
7P- 7	52.0	481	932	6.1	4.2	2.4	5	H 225-06 石核
8P- 40	31.0	70	192	7.3	4.0	1.1	5	An 224-06 削器
10P- 33	14.3	61	977			4・5	H	？
11P-2230	4.1	165	717	4.9	1.9	0.8	5	H 222-08 削器
11P-2245	41.5	434	877	5.6	4.9	2.1	4	An 221-01 石核？
12P-2236	0.8	704	833			5	H	石鏃未？
8Q- 13	117.0	9	925	8.4	5.3	2.2	5	An 227-05 石核
10R- 7	7.2	102	918	3.5	2.3	0.9	2	H 228-02 削器
3B-2022	12.1	208	342			2~5	H	礫面がある
3B-2121	6.3	694	146	306		4	H	原礫面flake
3B-2156	293.2	829	248	170		4	H	素材
3B-2528	263.0	210	337	8.2	8.0	4.6	5	H 225-07 石核
3B-2598	11.0	568	812	4.2	3.1	1	5	C 225-03 flake→剥片石
4B- 368		689	41			2	C	
4B- 545	8.9	597	468	3.4	2.2	1.4	2	H 213-07 石核
4B- 868	6.6	386	979	4.9	1.5	0.8	2	An 211-09 尖頭器
4B-1410	13.8	312	850	5.2	2.5	1.4	2	H 209-05 削器
5B- 292	24.3	530	424			2	H	石核
5B- 769	61.5	520	177	7.2	4.4	2.9	H	216-03 石核

番 号	重さ	北から東から	長さ	巾	厚さ	層	石材	図 NO
石斧								
3C-1972	364.9		10.8	9.0	2.7	5		226-01
3D-1299	89.3		9	4.3	2.1	2		230
環状石斧								
13・14CD	152.3		9.5	5.8	2	表土		226
裝飾加石製								
5A- 543	17.8		8.8	2.0	0.8	2		237-01
蛇紋岩								
6C- 194	91.0		7.4	3.8	2.5	2		237-02
6G- 357	52.2		6.2	3.9	1.5	5		237-03

5. 細石刃文化期

分布（第239図）：エゴノクチ遺跡における細石刃文化期に属する遺物は10例に満たない。しかも特別集中分布域を形成するわけでもなく、散漫な分布状況である。しかし広大な発掘調査区の中では、南西部から細石刃文化に属する遺物のすべてが出土した。発掘調査区の南西部は、調査区内でも最も標高の高い尾根状地形である。遺物はこの尾根部を囲むように分布する。

出土層：第241図5（3B-1418）・第241図4（4B-3112）・第241図6（3B-1417）の遺物はクロボク層下の第6層（ソフトローム層）上部から出土した。ほぼ同じ層位からは終末期ナイフ形石器群も出土している。その他の細石刃文化期に属する遺物は、縄文時代早期の遺物を包含する第5層（クロボク）から出土している。クロボク層から出土した細石刃文化期に属する遺物は混在だと考えられる。

出土遺物（第240・241図）

細石刃：エゴノクチ遺跡からは4点の細石刃が出土した。いずれも黒曜石を石材に用いていた。図示した3点のうち第240図1が中部で、2・3が頭部という構成である。

細石刃核：第241図4～6は腰岳・牟田産黒曜石を石材とする細石刃核である。3のa・c面は下縁・背縁からの剥離痕が見られる。加えてa面には打面部方向からの大小の調整痕で構成される。打面は細石刃剥離作業面方向からの5回の剥離によって形成される。a面に認められる打面方向からの側面調整剥離痕は、打面部でも高い縁からの作業である。なおe面側打面部に認められる最終の剥離面は、b面側の古い細石刃剥離痕を切っていることから打面再生剥離痕と推定できる。

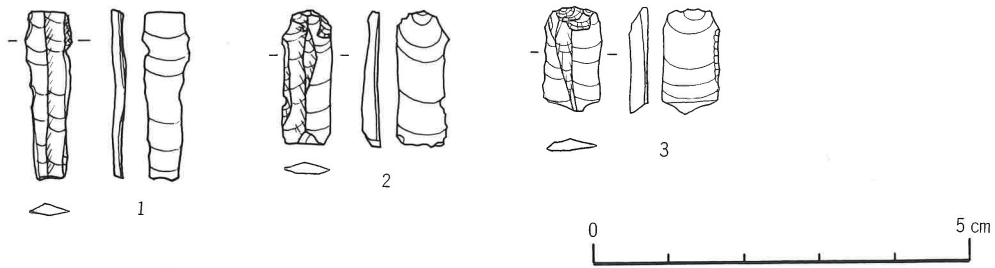
5は、おそらく両面調整の細石核原形を用いていると考えられる。打面作出が縦方向であるのか、横からであるのか判断つかないが、それを打面としてd面で細石刃剥離が行なわれる。その後、b面側の小口方向からの打面作出（再生）を行なうことと、a面・c面に下縁調整を行なうことによってd面の細石刃剥離痕を切る。その後、e面を打面としてb面で細石刃剥離作業が行なわれる。

6は、両面調整の原形を用いる。その後、横方向～縦方向からの削片剥離で打面を作出したと考えられ、それを打面としてb面側で細石刃剥離作業が行なわれている。その後、背縁小口方向から縦方向の打面再生を行い、さらにこれを打面として打面奥部の高い部分からb面側へ側面調整が施される。打面再生剥離によって生じた打面部は、c面側へつよく傾斜している。このため、細石刃剥離が困難となり廃棄されたのだろう。

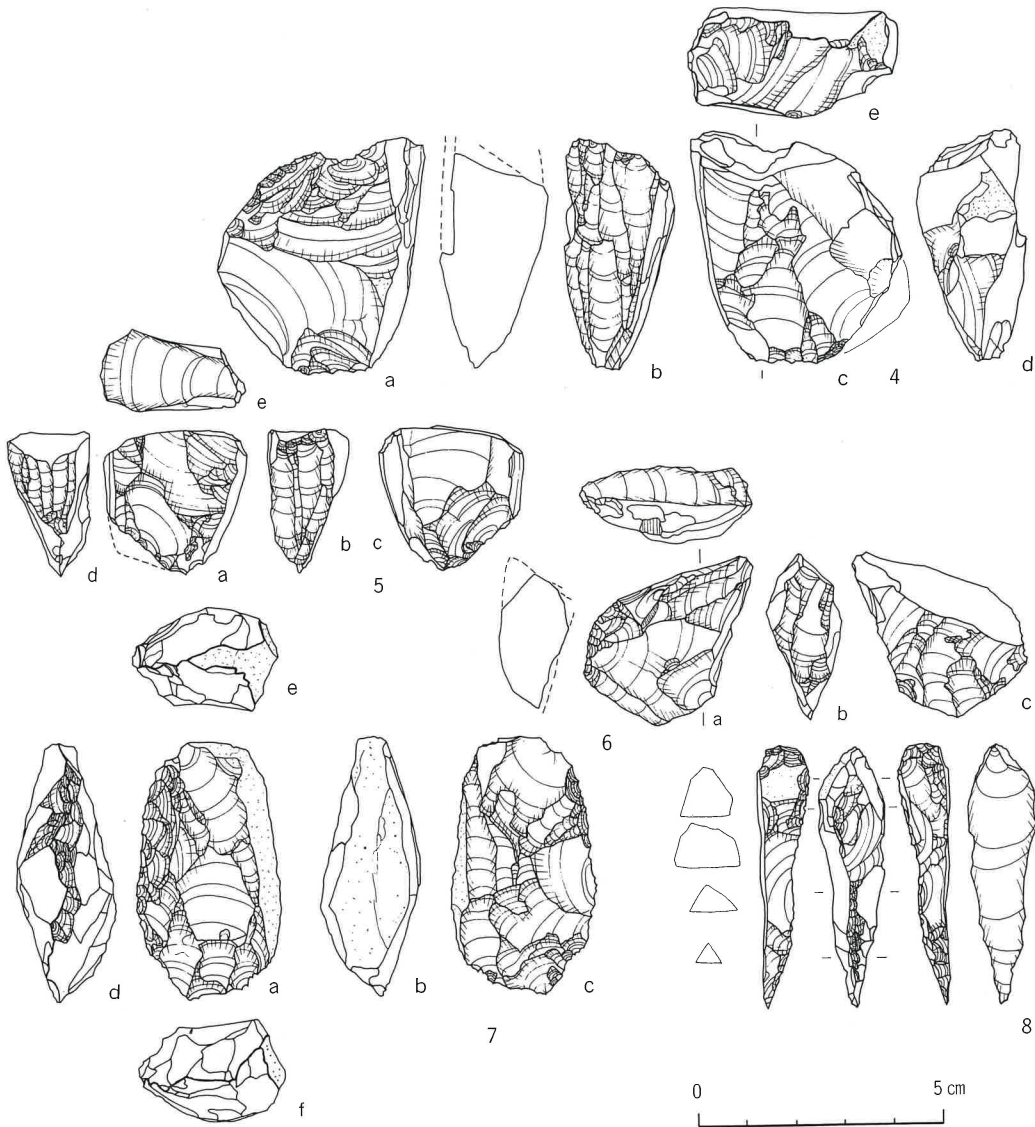
細石核原形：7は角礫の表面であるb面を除いて、周囲からの調整によって形造られている。打面作出削片：8は細石核原形から稜をとって打面を作出した際にできた断面三角削片である。このため、原形を作出する際にできた調整剥離痕が残っている。



第239図 細石刃文化の遺物分布図



第240図 エゴノクチ遺跡の細石刃



第241図 エゴノクチ遺跡の細石刃文化遺物

以上、エゴノクチ遺跡の細石刃文化遺物を観察してきた。この中で重要な点は、打面作出や打面再生の為の剥離が小口方向からの打撃に由来していることである。これらは細石刃剥離に至る過程が湧別技法に類似した削片系技術との関係も考慮の一端に入れる必要を示している。長軸方向に削片を剥離する技術自体は長崎県福井洞穴・同泉福寺洞穴においても見つかった。ただし、それらの技術は側方打面調整を主体とする「福井型細石刃核」の技法体系中に見られる要素でもある。福井型細石刃核に見られるその要素は主体的ではなく、客体的な存在であることは福井・泉福寺の報告から判断できるのである（橋本1983、麻生1984）。

上記のいきさつの中でエゴノクチ遺跡の細石刃技法を湧別技法との関係が深い北方系と見るか、福井型細石核のヴァリエーションとするか議論の分かれるところである。前者と見れば、旧石器時代終末に位置し、後者となれば縄文時代草創期初頭に位置付けられる。北方系で確実な例が見つかった遺跡で地理的に近いのが岡山県恩原遺跡群である。ここでは北方系の細石核に伴うことの多い「荒屋型彫刻刀形石器」が共伴している。

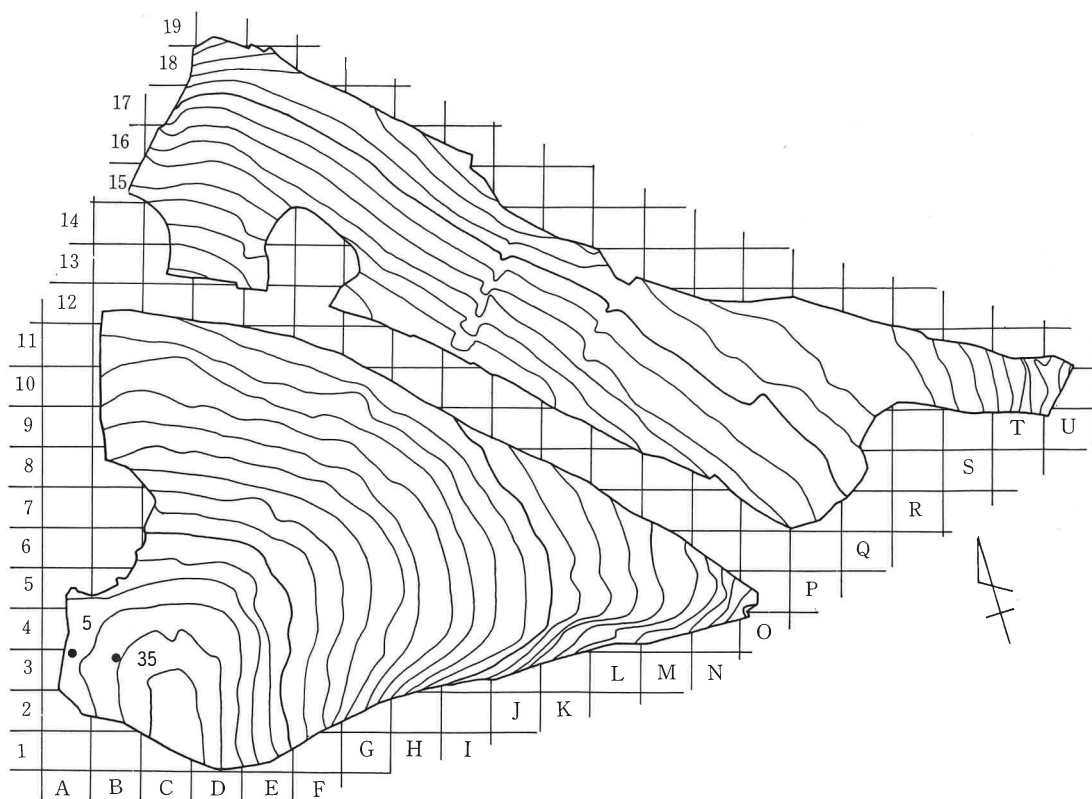
エゴノクチ例に荒屋型彫刻刀が伴っていないことと、石材として用いられたのが腰岳・牟田産黒曜石であることからみて、西北九州域との結びつきが強いことがわかる。西北九州地方における遺跡中、福井岩陰や泉福寺洞穴などの細石器文化層群の堆積中に荒屋型彫刻刀を含む北方系細石刃石器群は含まれていない。これらのことからエゴノクチ例は泉福寺5層で縦形削片が増加していることからみて、縄文時代草創期の押引文（刺突文）等の細石刃文化終末に位置付けておきたい

（綿 貫）

6. 旧石器時代

① 旧石器包含層調査に至る経過と発掘区画及び深度

5層より上位の縄文以降の調査時において、既に浮き上がったと見られる、旧石器の遺物が多数出土していたため、遺跡で最も高く、台地上部の平坦地に当たる3D区の南側隅に東西1m×10mのトレンチ調査を8層まで実施。6・7層である程度まとまった石器の出土を見たため、3D区全体に拡張した。また、6層上位で5号・35号集石が検出された3A・B区を中心に、幾つかの各グリッドでも6層上位までの調査を実施した。



第242図 6層の集石遺構の分布

② 石器群の概要

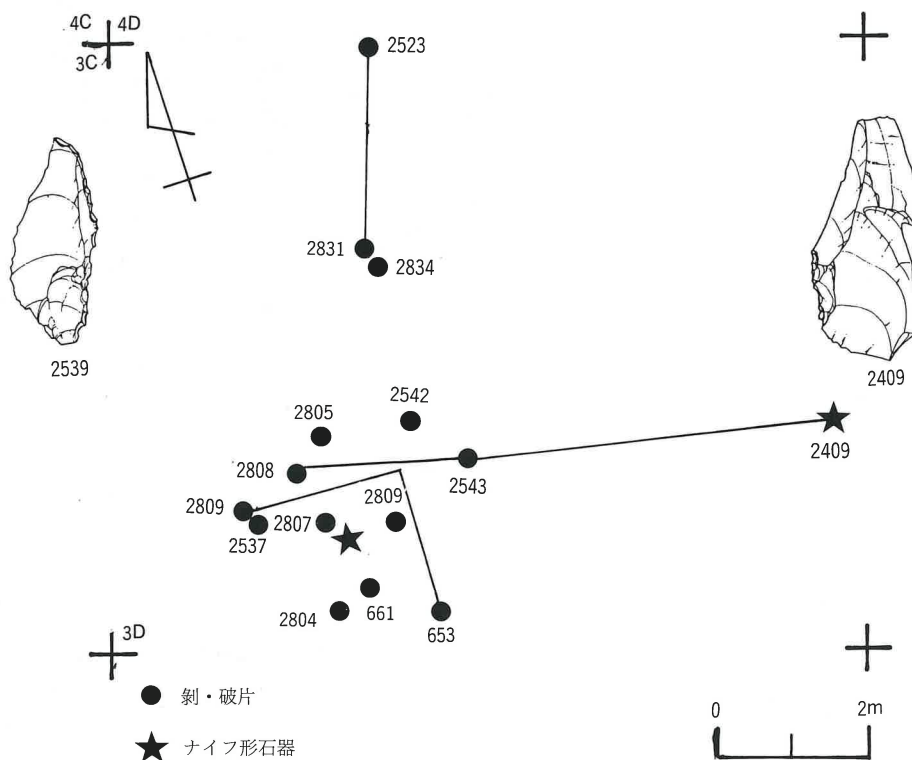
黒茶褐色の6層、黒褐色の7層をプライマリーな包含層とし、1～5層の浮き上がりも含め、全18,3点の石器・剥片類・石核が出土した。器種・石材の組成を出土層位ごとに整理したものが下記の第17表及び第18表である。

第17表 全石器の他器種組成

	剥・破片	U・F	I R・F	I	削器	掻器	ナイフ形石器	剥片尖頭器	三稜尖頭器	楔形石器	石核	合 計
1~5層	90	10	5	5	1		20	2	1	1	5	140
6層	18	3	0	0	0		5	0	0	0	3	29
7層	12	1	0	0	0		1	0	0	0	0	14
合計	120	14	5	5	1		26	2	1	1	8	183

第18表 全石器の石材組成

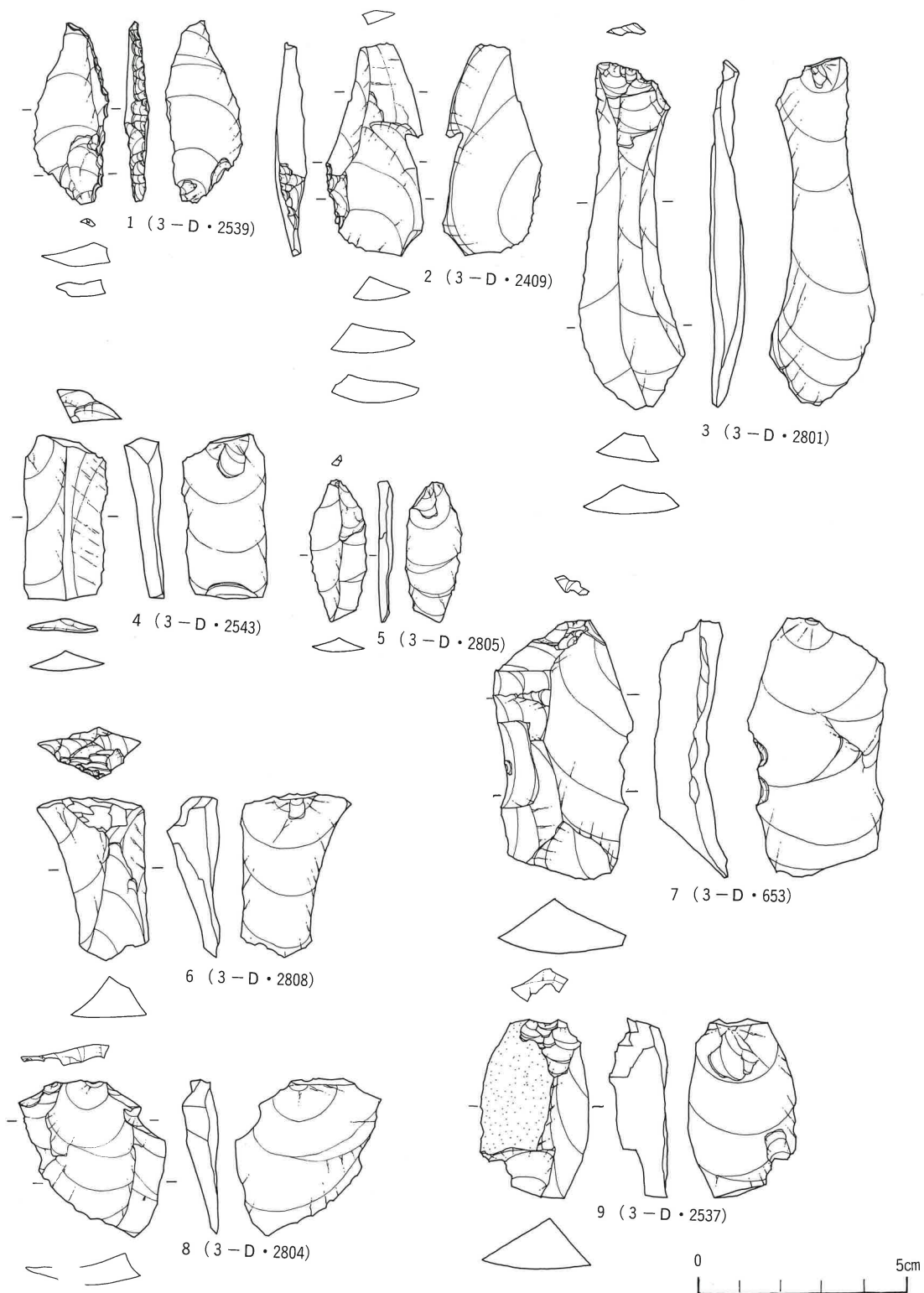
	流紋岩	砂岩	安山岩	サヌカイト	角安山岩	泥岩	腰岳Ob	チャート	不明	合 計
1~5層	93	11	14	3	2	7	1	1	8	140
6層	27	1	1		0	0	0	0	0	29
7層	12	0	1	0	0		0	0	1	14
合計	132	12	16	3	2	7	1	1	9	183



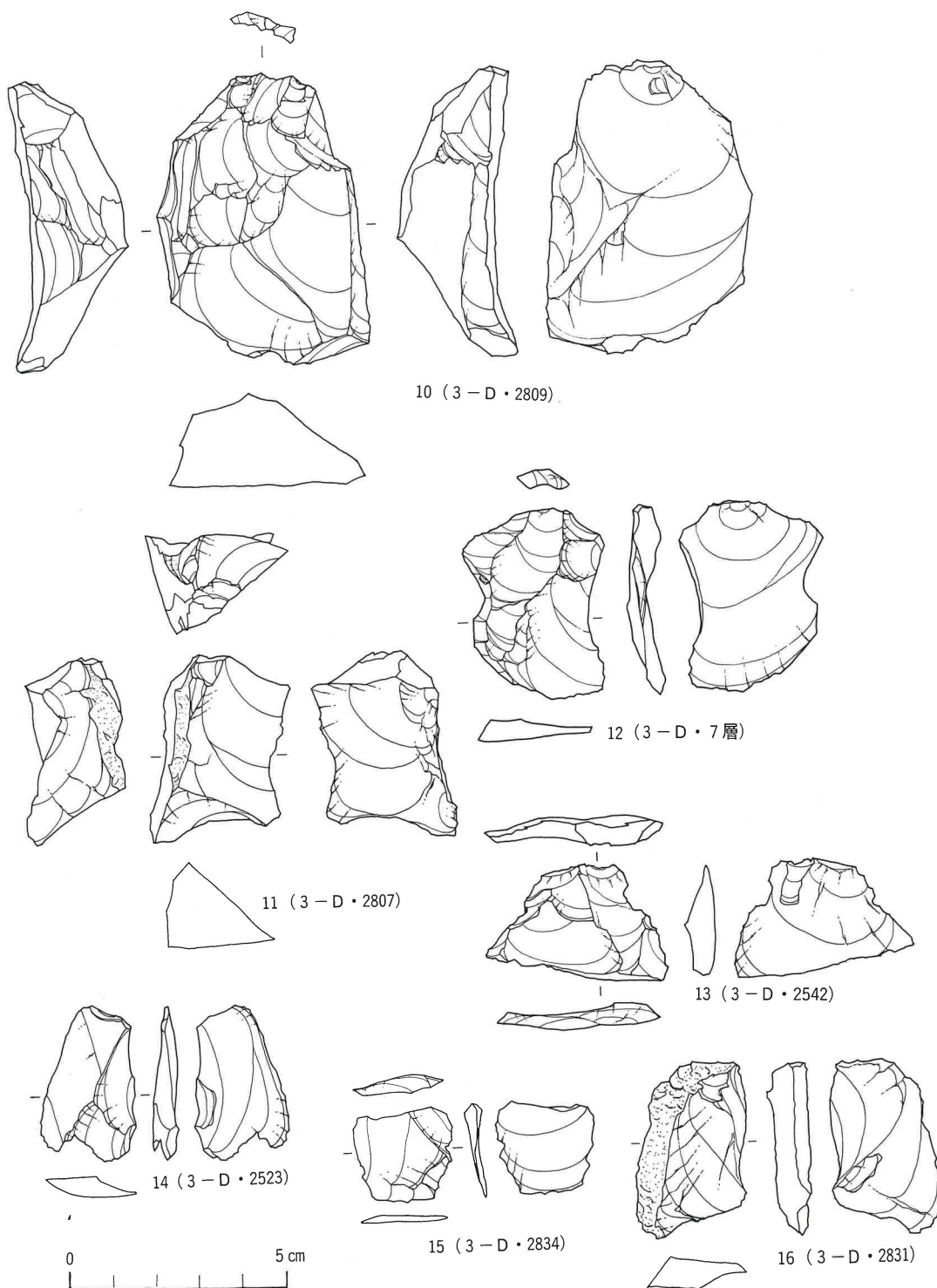
第19表 7層組成

器種	剥片	UF	Kr	計
点数	14	1	1	217
石材	Ry	An	不明	
点数	15	1	1	

第243図 7層・3D区の分布



第244図 7層の石器群 その1 ナイフ形石器及び剥片



第245図 7層の石器群 その2 剥片

③ 7層石器群

i) 分布…7層まで掘り下げたのは3D区のみであり、その分布は下図の如くである。

なお、この層の石器群として、7層の遺物と接合している6層のものも含めた。

3D区中央やや南西よりに集中が見られ、径4mほどのブロックを形成。剥片同士の2、ナイフ形石器と剥片の1の、計3母岩の流紋岩が接合した。

ii) 石器…第244図1・2がナイフ形石器である。

1(3D-2539)は、流紋岩の縦長剥片を素材とし、一側縁にのみ加工を施しているが、明らかに二側縁加工ナイフを意識したもので、駒方古屋遺跡に類似品が存在する。加工のない左側縁の裏面には装着痕が見られる。2(3D-2409)は左側縁下半に加工した部分加工のナイフである。

3～5は縦長剥片で、特に4・5はナイフ形石器を製作するための目的剥片と思われる。以下は、石核調整のための剥片であろう。

第表で分かるように、総点数16点で、その殆どが流紋岩製で、安山岩が1点のみ存在する。

④ 6層石器群…深掘りした3D区を中心に幾つかのグリッドで、剥・碎片類の他、ナイフ形石器や石核などが出土している。

i) 分布…便宜上、3D区とその他のグリッドに分けて呈示する。

○3D区…7層に比し、分布の中心はグリッドの北半

で集中を見せる。その集中は疎らながら、8m×5mの楕円を成すブロックと言ってよからう。ナイフ形石器が3点、北東部に集中している。

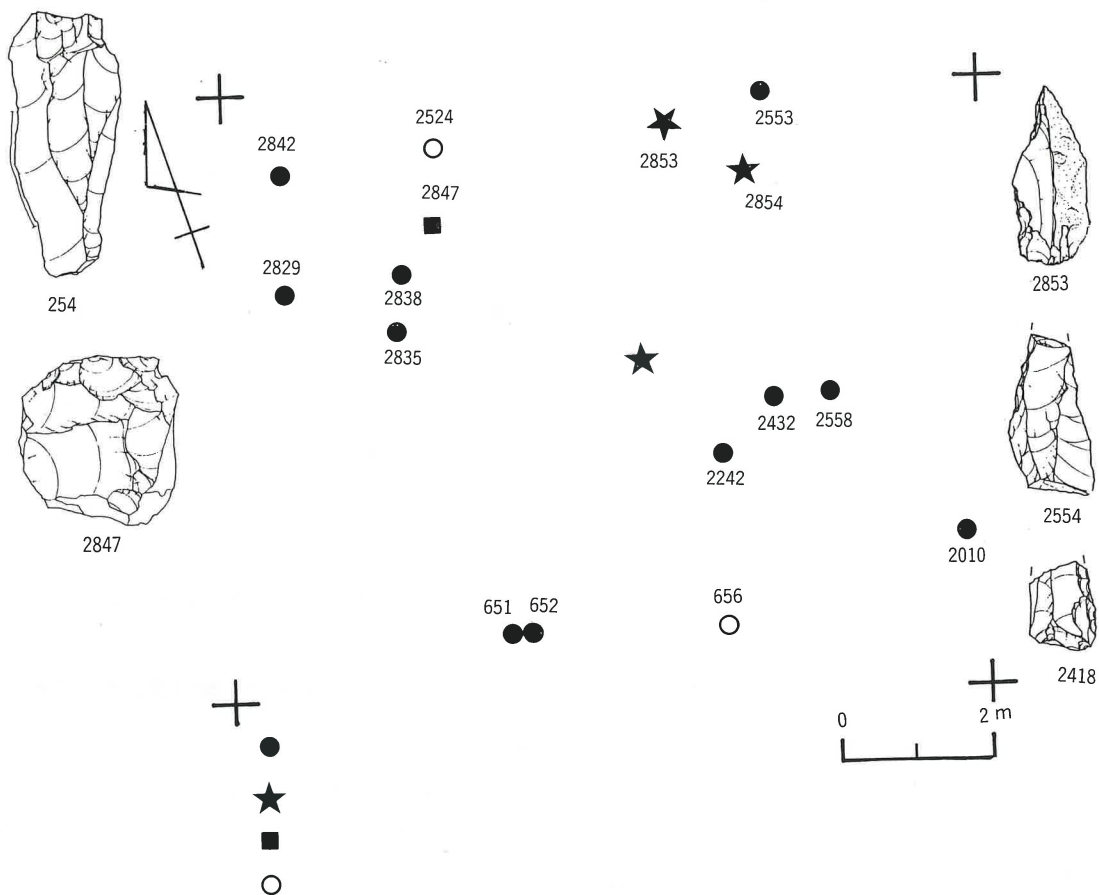
石材組成は、殆どが流紋岩で、1点のみ安山岩が存在する。石器組成的には、石核2-剥片11-ツール5と至って一般的な割合を示している。総点数18点。

○3D区以外…3D区に近い、台地上の平坦地を中心に疎らな分布が見られるだけで、ブロックを形成するような集中は存在しない。

石材は流紋岩が殆どで、砂岩が1点のみ存在する。石材組成的には、3D区とほぼ同様である。総点数は8点。

第20表 6層3D区の組成

器種	剥片	U F	K n	石核	合計
点数	11	2	3	2	18
石材	流紋岩	安山岩		合計	
点数	17	1		18	



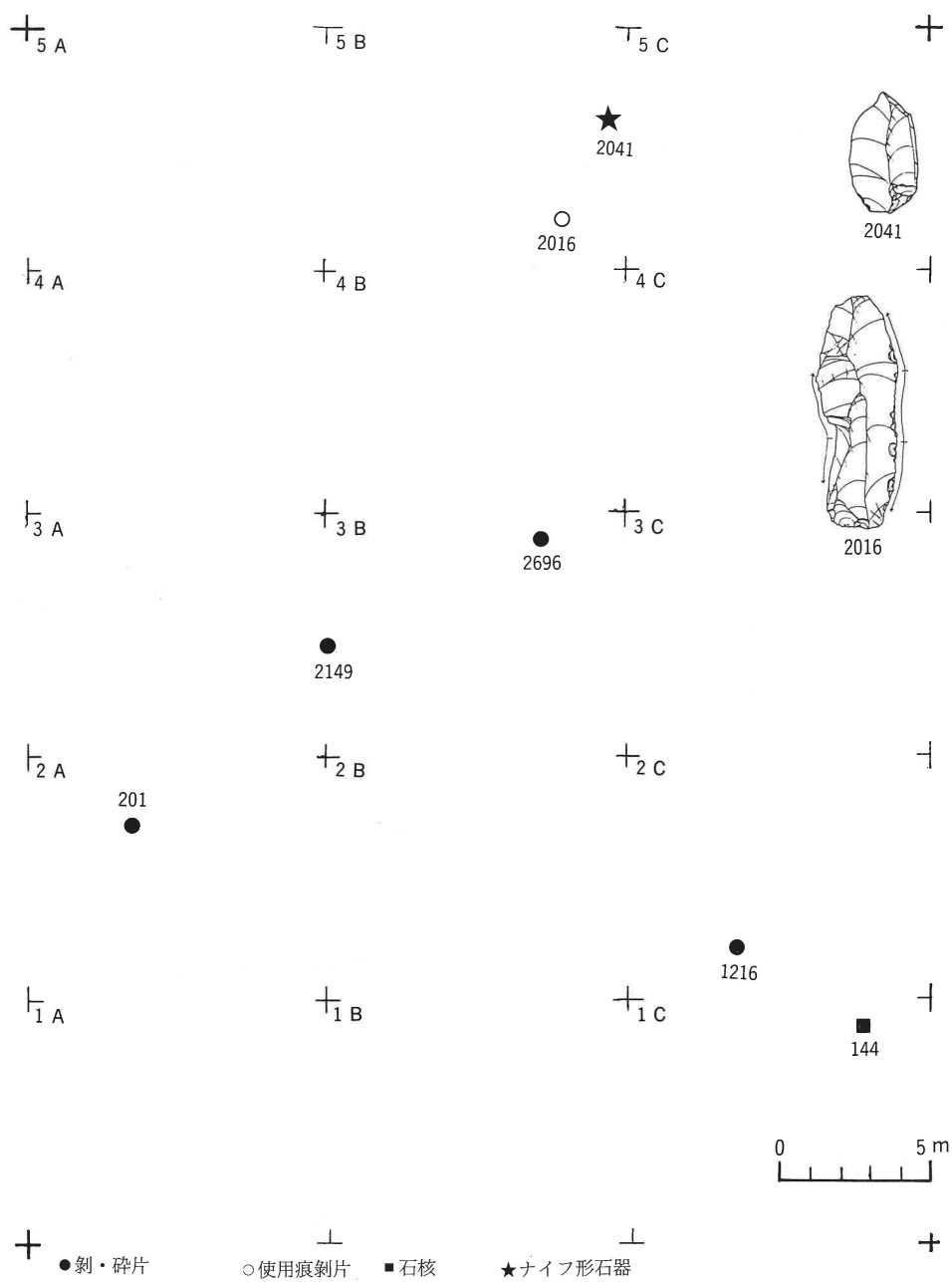
第246図 6層・3D区の分布

ii) 遺構…前述の如く、6層上部で2基の集石が検出されている。

○5号集石…3A区の中央北隅に位置する。22個の焼礫で構成されており、中央部に空間が存在し、その中央から西部にかけて、10cm×40cmほどの瓢箪形に、焼成によるものか、土壌が硬化しており、左図に破線で示している。

第21表 6層3D区以外組成

器種	剥片	UF	K	n	石核	合計
点数	5	1	1	1	1	8
石材	流紋岩		砂岩		合計	
点数	7		1		8	



第247図 6層・3D区以外の分布

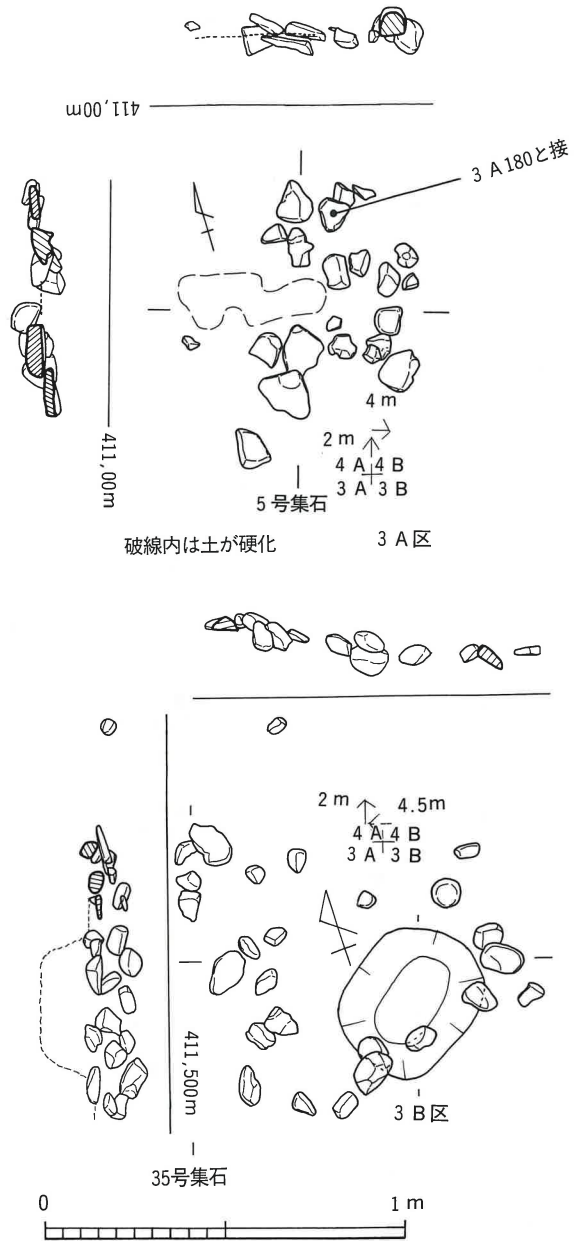
断面を見ると、地形の傾斜に沿って南から北方向の傾きが観取される。礫の1点は3A-1809の礫と接合している。

○35号集石…3B区中央北隅に位置する。26点の礫とその下部に存する土坑から構成されている。土坑は、40cm×35cmの楕円形で、15cm程の深さを有する。覆土は、6層の土に比して緊りがないのが特徴。旧石器の集石としては、土坑を伴う非常に稀な例である。

断面からはやはり、地形の傾斜に沿って北から南方向の傾きが見て取れる。

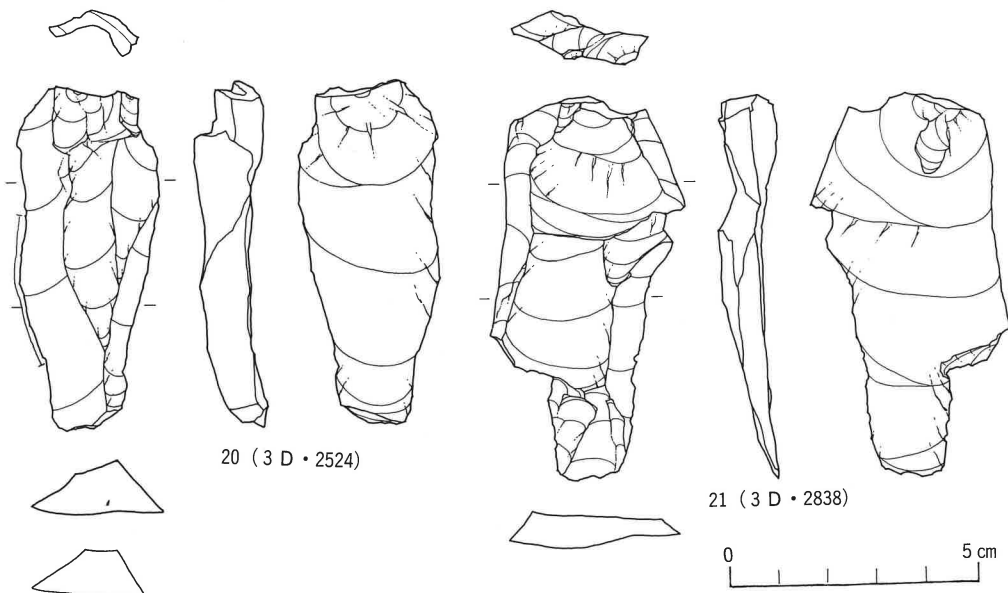
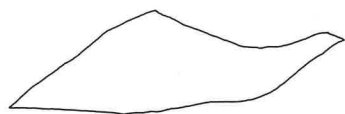
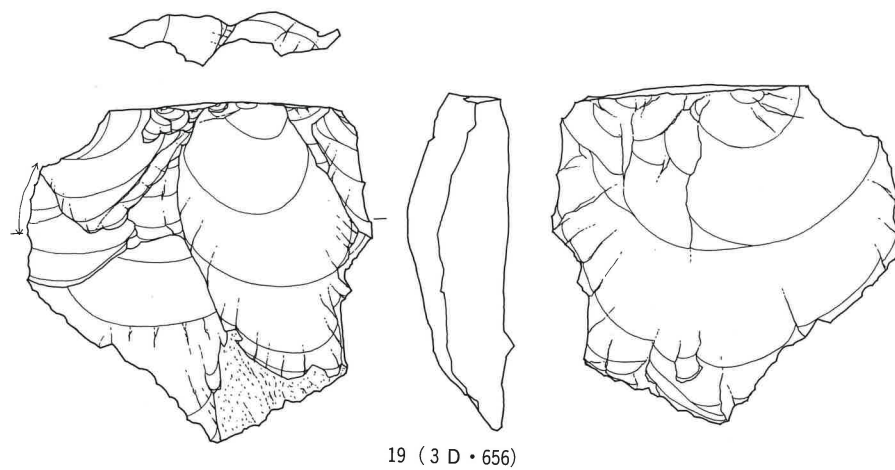
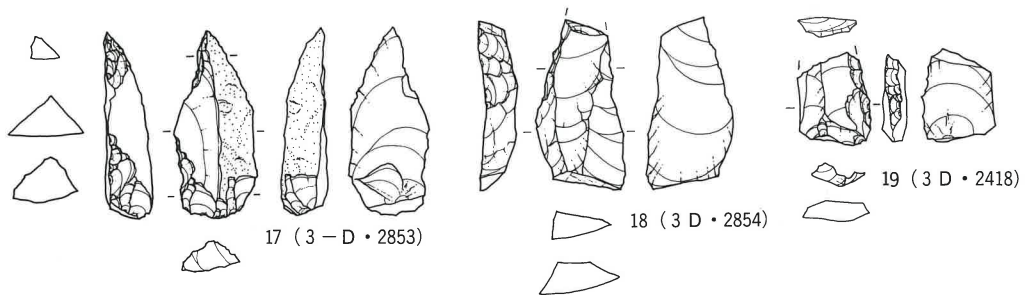
第22表 6層の組成

器種	剥片	UF	Kn	石核	計
点数	16	3	4	3	26
石材	流紋岩	砂岩	安山岩	計	
点数	24	1	1	2	26



第248図 6層の集石

iii) 石器…第249図の17・18・19、第252図の29がナイフ形石器である。そのうち、17・29は基部加工のナイフ形石器で、前者は基部及び先端に加工が施されており、後者は基部のみだが、左側縁は微細な加工か、或いは装着痕である。両者とも、岩戸二次・

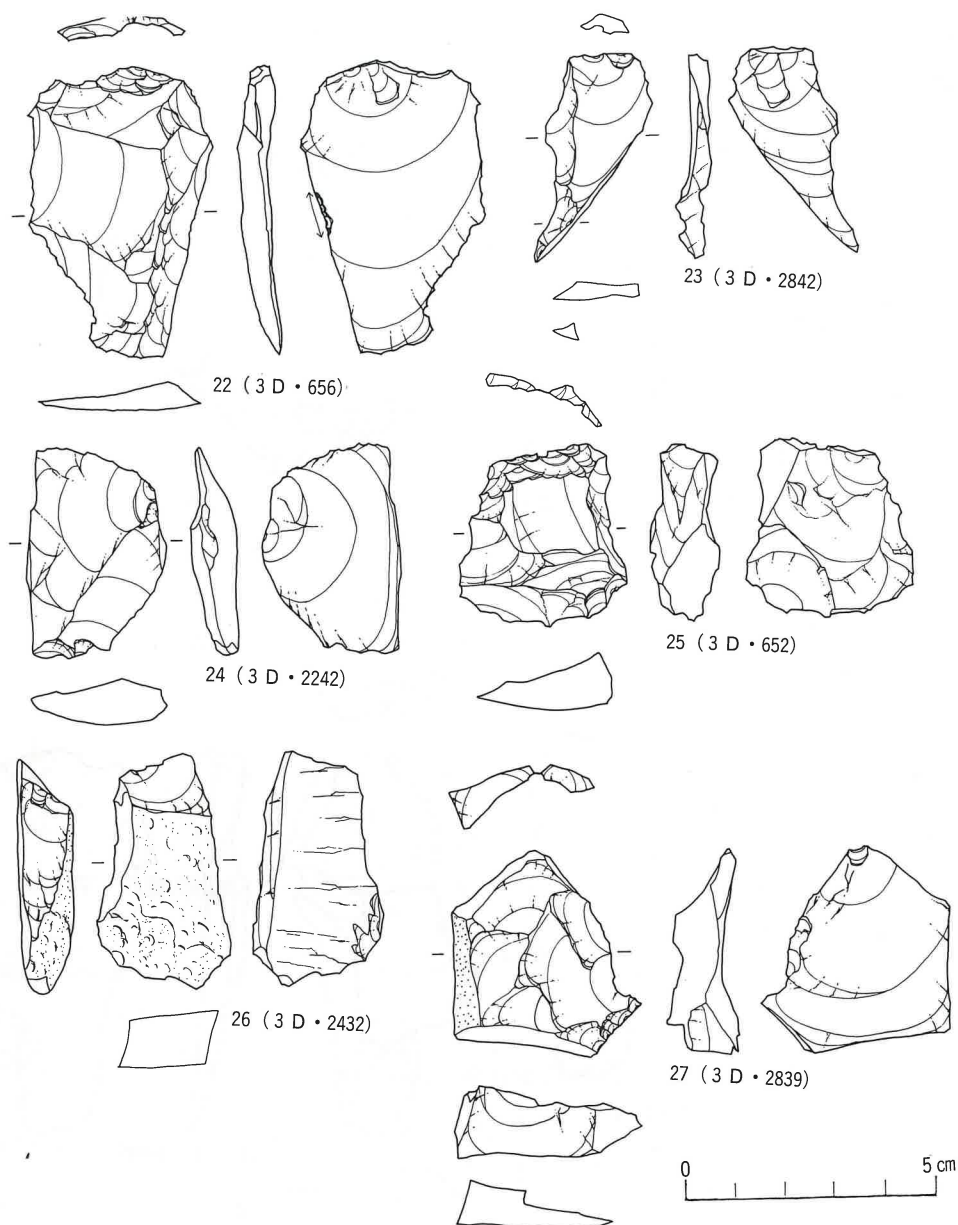


0 5 cm

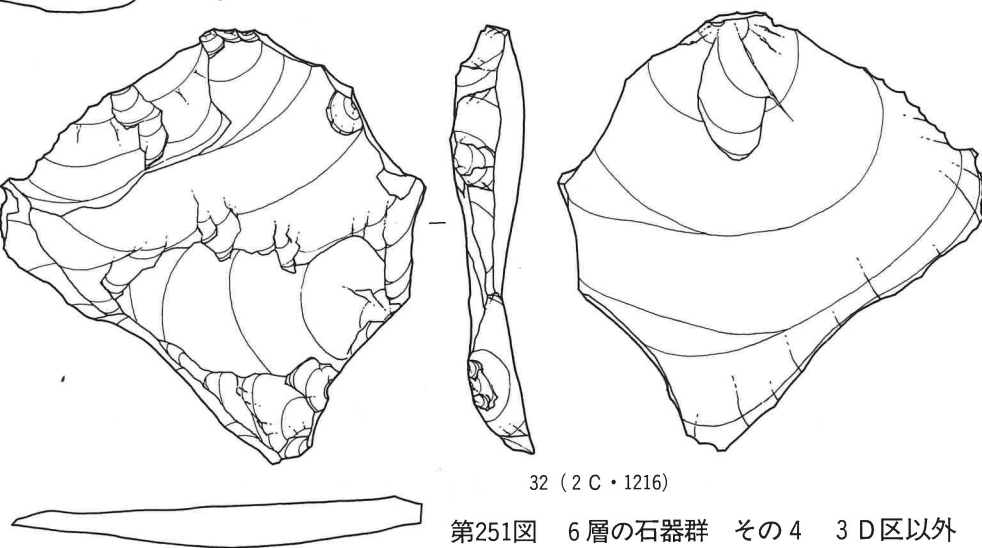
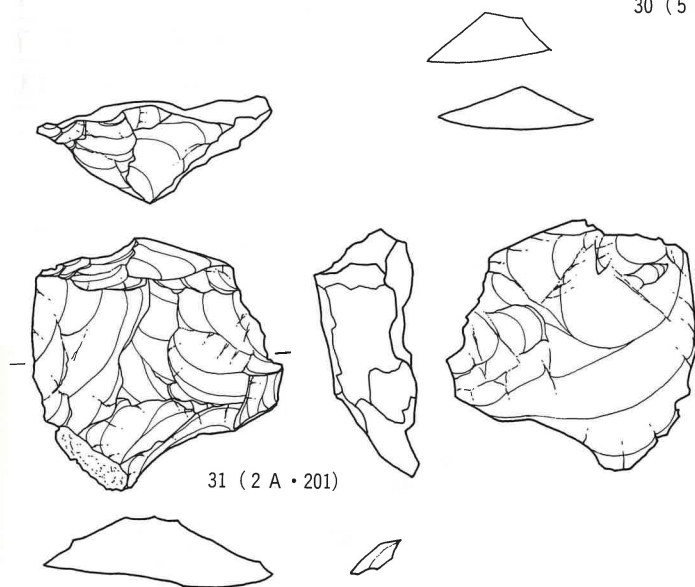
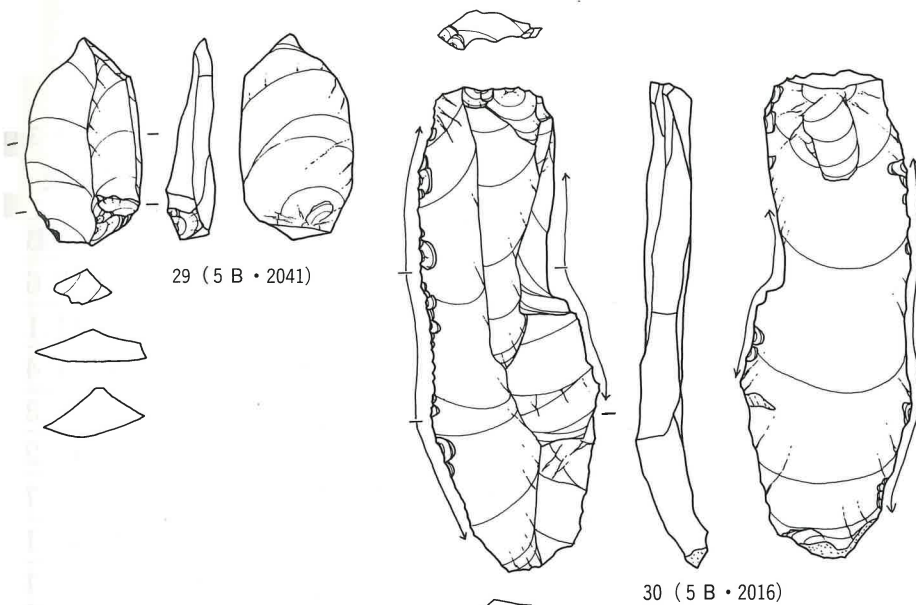
第249図 6層の石器群 その1 3-D区①

三次調査で出土している典型的なものに比べると、やや幅広で不格好であり、どちらかと言えば、宮崎県船野遺跡のものに類似する。18は部分加工で、19は上半を欠落しているため判然としないが、一側縁加工か。ナイフ形石器は全て流紋岩製である。

20・21・30は、ナイフ形石器製作のための目的剥片を利用したと考えられ、使



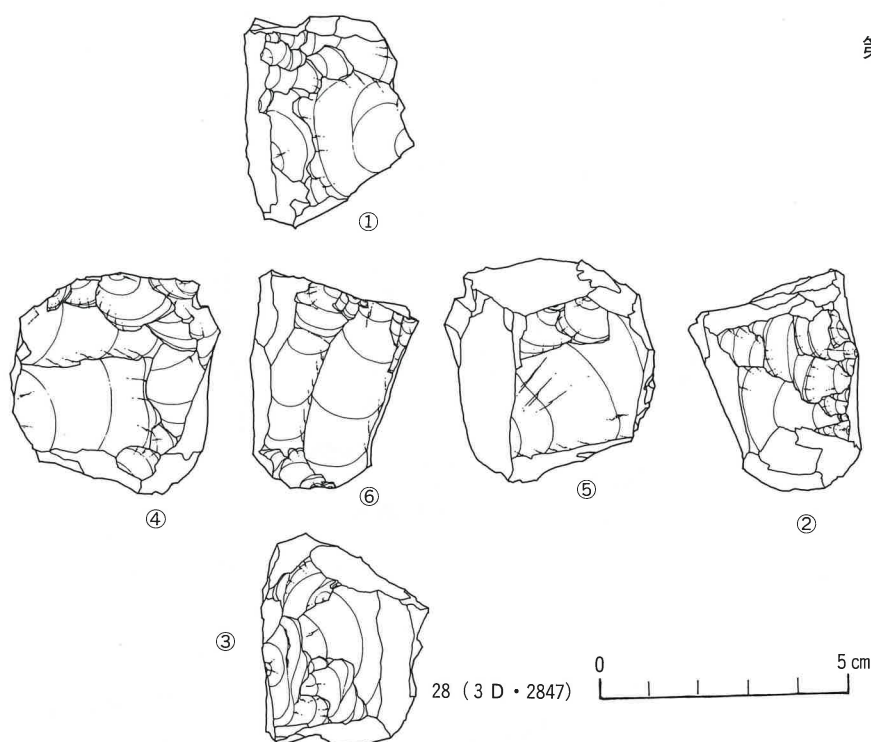
第250図 6層の石器群 その2 3D区②



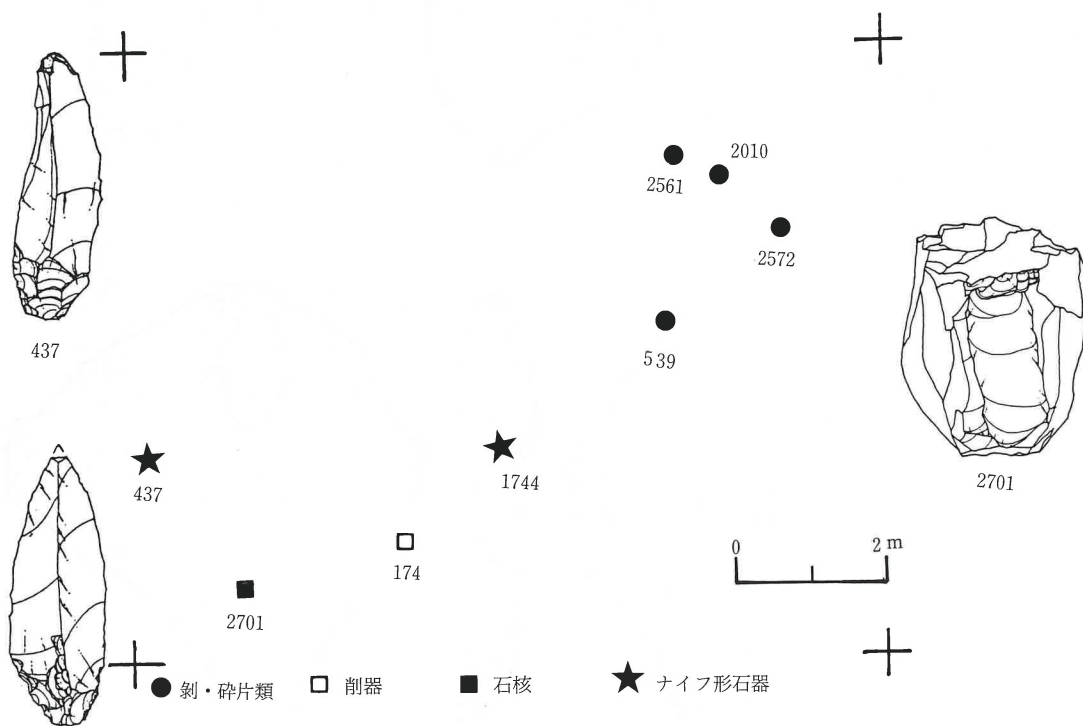
第251図 6層の石器群 その4 3D区以外

第23表 5層以外・3D
区以外組成

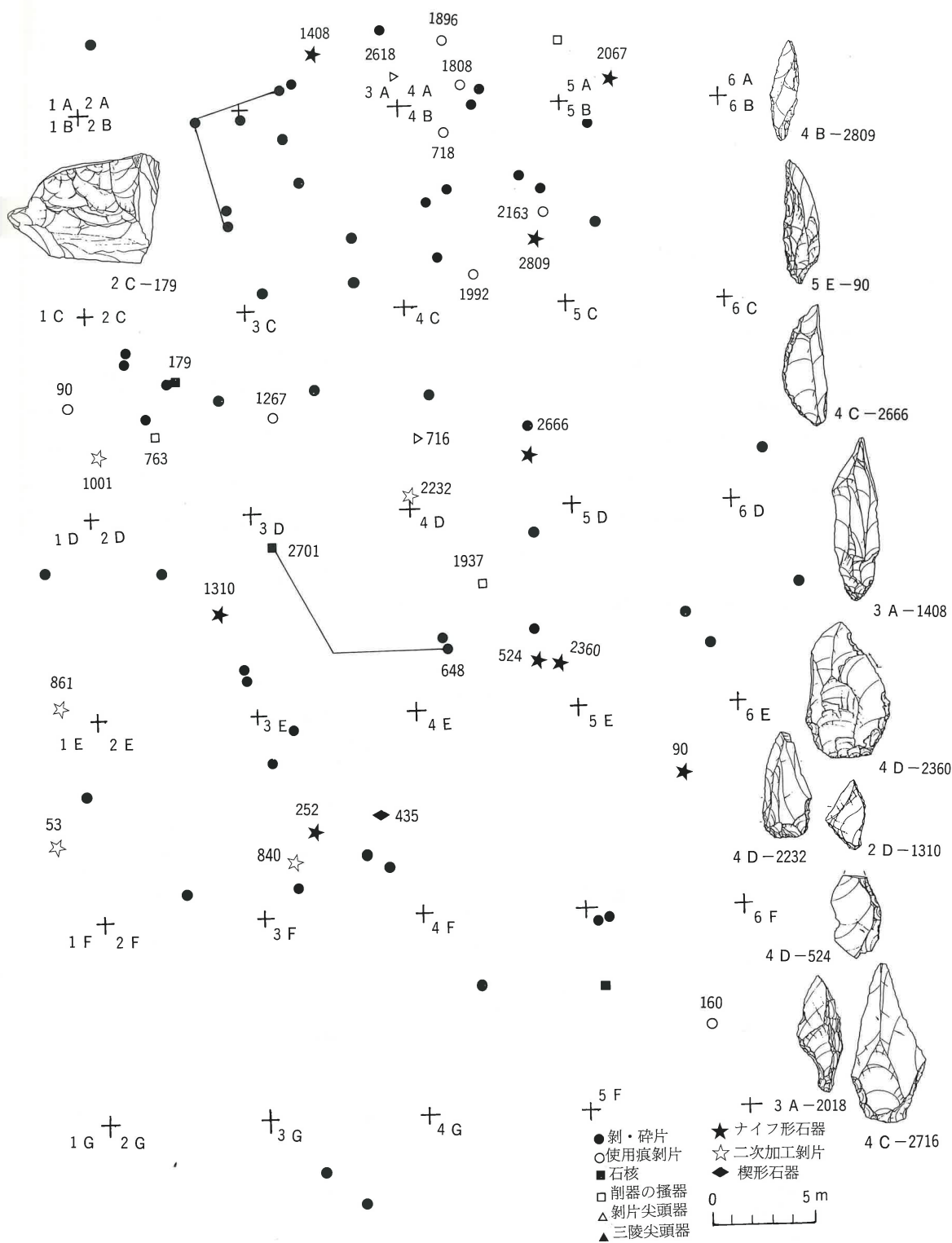
器種	点数	石材	点数
剥片	86	Ry	86
UF	10	砂岩	11
RF	5	An	14
削器	4	サヌ	3
搔器	1	角An	2
Kn	18	泥岩	7
剥尖	2	腰Ob	1
三尖	1	Ch	1
礫石	1	不明	7
石核	4	合計	132
合計	132		



第252図 6層の石器群 その3 3D区以外③



第253図 5層以上・3D区分布図



第254図 5層以上・3D区以外分布図①

用痕を有する剥片である。20のみ安山岩製で、他は流紋岩製。

第251図28は流紋岩製の石核である。最初、④を打面として、①→②→③の順で作業面を移動しながら剥片を剥離。続いて、⑤に石核調整を加えた後、90度転回して打面を①とし、⑥を最終作業面としている。②や③の作業面では、頭部調整がかなり顕著である。④・①ともに、相当回数の打面調整剥離を持つ打面といっている。

基本的に縦長剥片を剥離した石核である。

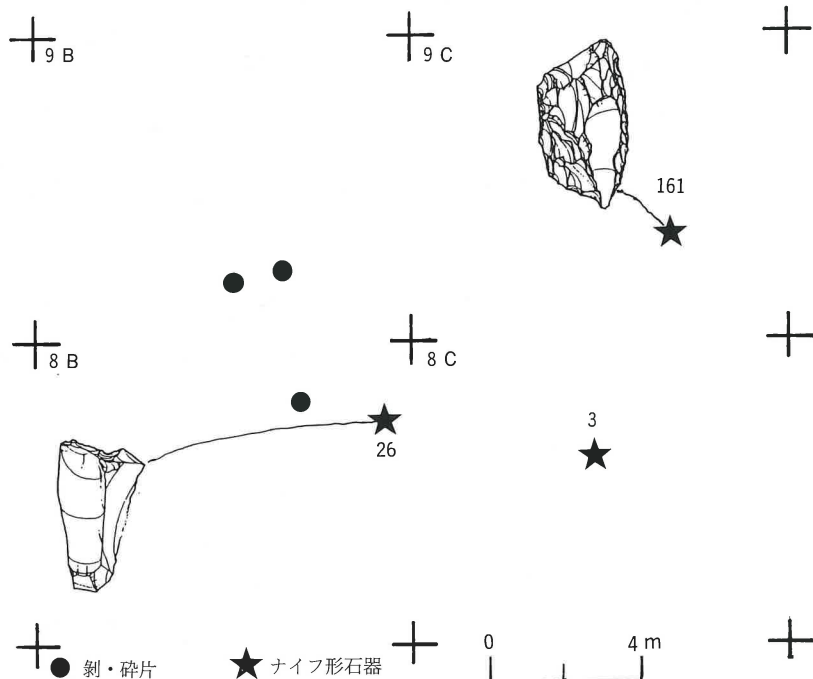
⑤ 5層以上出土の石器

- i) 分布…前項同様に便宜上、3 D区とそれ以外に分けて呈示する。

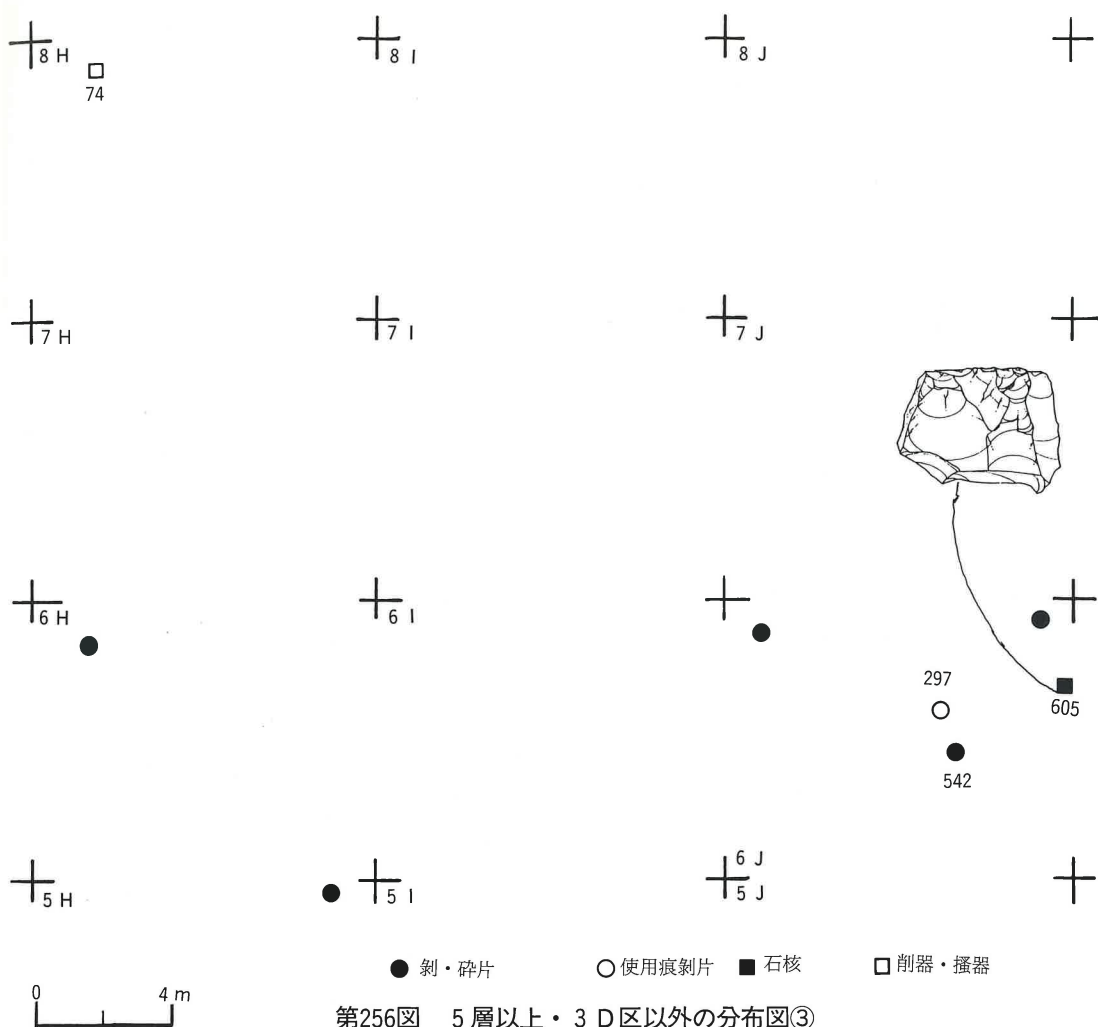
○ 3 D区…北東から南西にかけて、疎らに分布(第 253 図)。ブロックと呼べるものではないが、6層石器群のブロック周辺を囲むように分布しており、出土したツールの内容からも、6層石器群を補完する関係にあるか。石材的には1点の不明を除き、全て流紋岩。

第24表 5層以外・3 D区組成

器種	剥片	削器	K n	石核	合計
点数	4	1	2	1	8
石材	流紋岩	不明	合計		
点数	7	1	8		



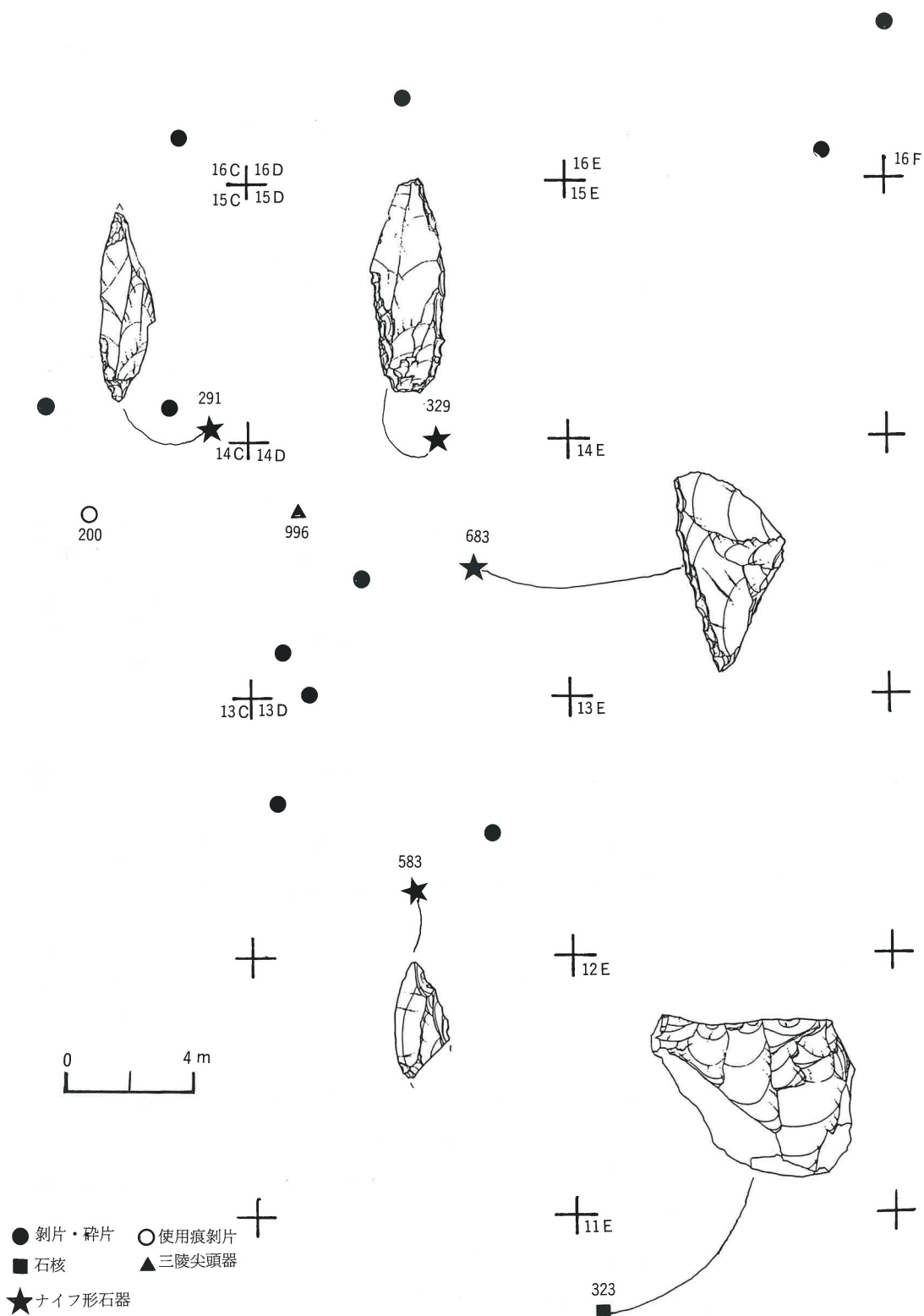
第255図 5層以上・3 D区以外の分布図②



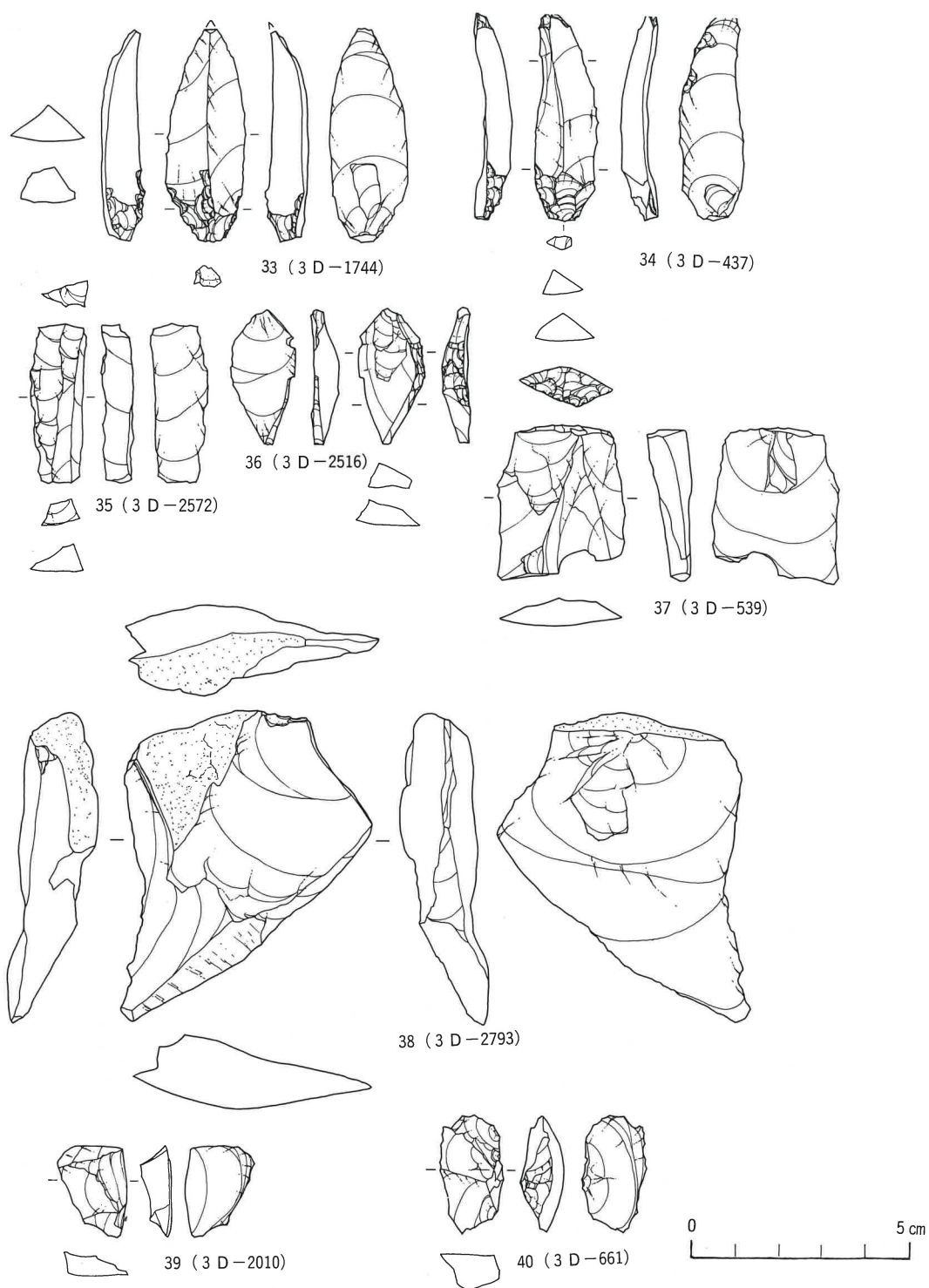
第256図 5層以上・3D区以外の分布図③

○ 3D区以外…遺跡全体に広がるため全てを1枚の図にするのは不可能なので、一定のまとまりごとに、4枚の図面を作成(第254～257図)。それぞれについて記述してゆく。

- ・ 遺跡南西部…台地上の最も立地のよい地点。さほど密集しないが、40m×60mの範囲で80余点が一定のまとまりが見られる。北半にナイフ形石器が偏在する。また、2種の接合が認められる。一方は、剥片が3点、最大8m余を隔てて接合している。他方は、石核に剥片1点が約10mを隔てて接合した例である。両者とも流紋岩である。剥片・石核の他、ナイフ形石器・切出形石器、剥片尖頭器、三稜尖頭器などの多様な器種が存在する。



第257図 5層以上・3D区以外分布図④

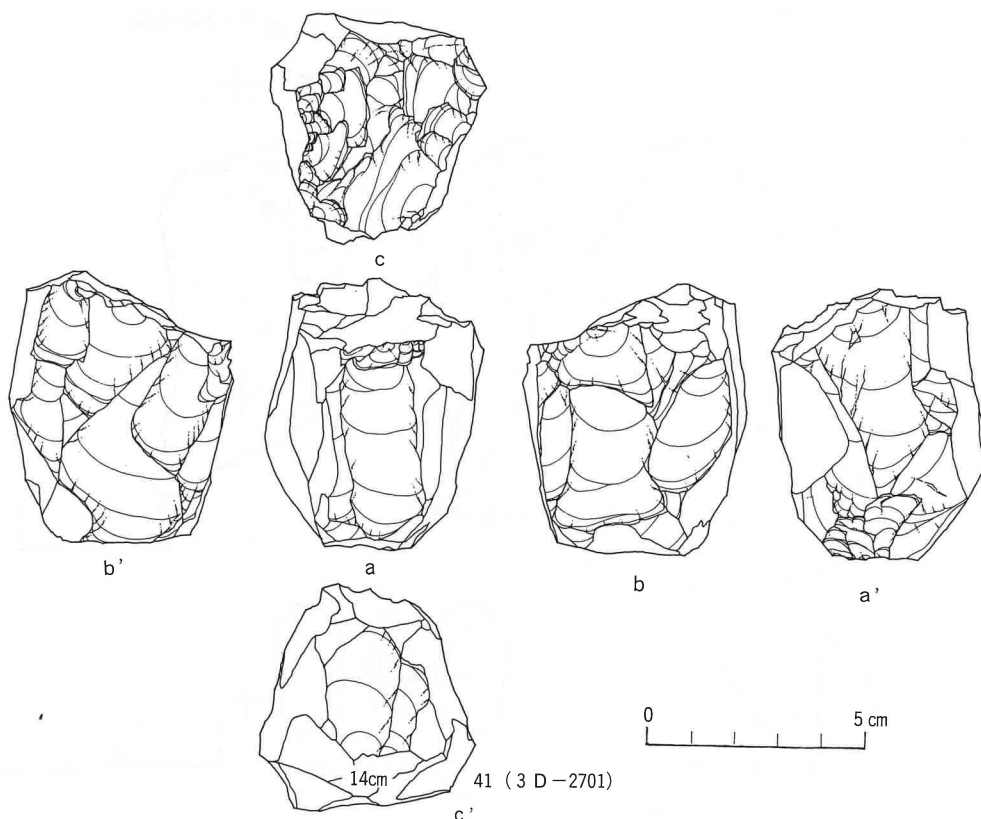


第258図 5層以上の石器群 その1・3D区①

- ・遺跡中央北側…北斜面のテラス状のやや平坦地。大したまとまりでも点数でもないが、
12×8 mの範囲で6点が存し、うち3点がナイフ形石器という、分布
の偏りを示す。
- ・遺跡中央部…東斜面のやや傾斜が緩い地点。6 J 区を中心に疎らな分布を呈する。
- ・遺跡北西部…中央北側のテラスに続く、やや傾斜の緩い地点。13・14D区のおよそ24×
15mの範囲を中心に、18点が疎らに分布。分布の中央に、2点のナイフ
形石器と2点の切出形石器、1点の三稜尖頭器が偏在を見せる。
- ・器種組成…86点の剥片類、4点の石核に比してナイフ形石器の18点は、全体の14%と
高い数値を示すのが特徴。
- ・石材組成…大半が流紋岩だが、6・7層の石器群と比べて、砂岩、安山岩泥岩などが
一定の比率を示すと共に、多様な石材が見られる。

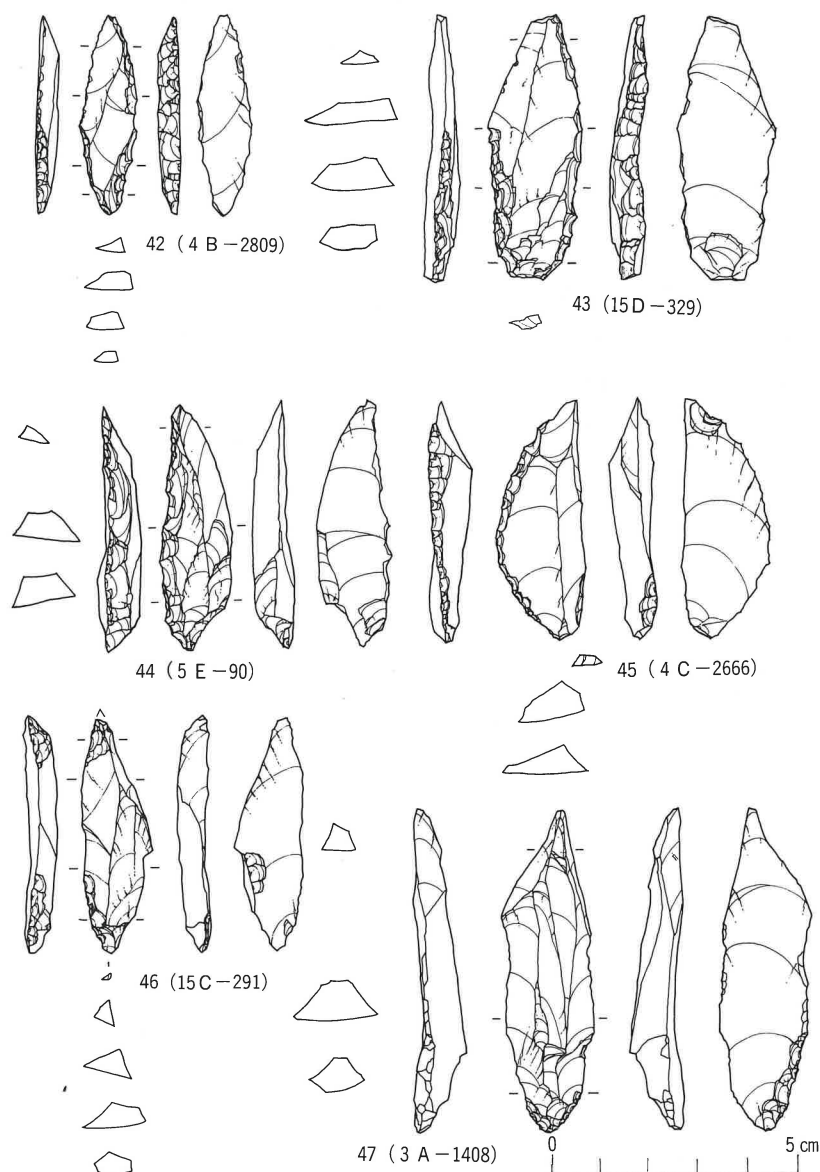
ii) 石器…器種ごとに呈示・記述してゆく。

○ナイフ形石器…第258図の33・34、第260図の42～47、第 261図の48～57、第 262図の58・
59がナイフである。これらは、I～V類に分類される。



第259図 5層以上の石器 その2・3 D区②

- ・ I 類…縦長剥片を素材とし、二側縁に加工を施す、いわゆる茂呂系ナイフ形石器と呼ばれるものである。そのうち、一側縁全体と他側縁下半に加工が施され、素材の形を大きく変えるものを I_aとした。最終的な形態は柳葉形を呈する。42がこれに当り、流紋岩製。基部が欠損していて判然としないが、44もそうか。また、打面を基部側に残置して、基部を平形にするものを I_bとした。素材の形を余り変えないタイプ。43が典型例だが、45もこの型に入れていいだろう。両者とも、流紋岩製。

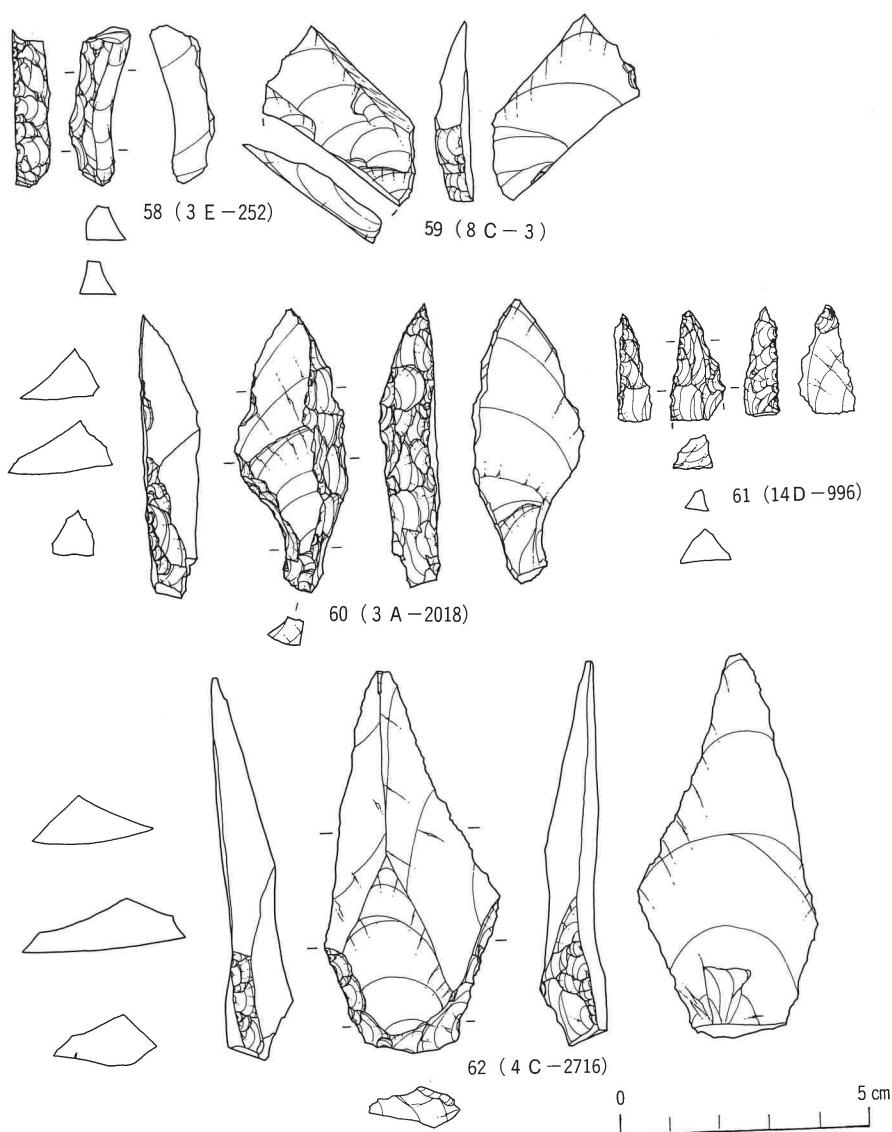


第260図 5層以上の石器 その3・3D区以外①



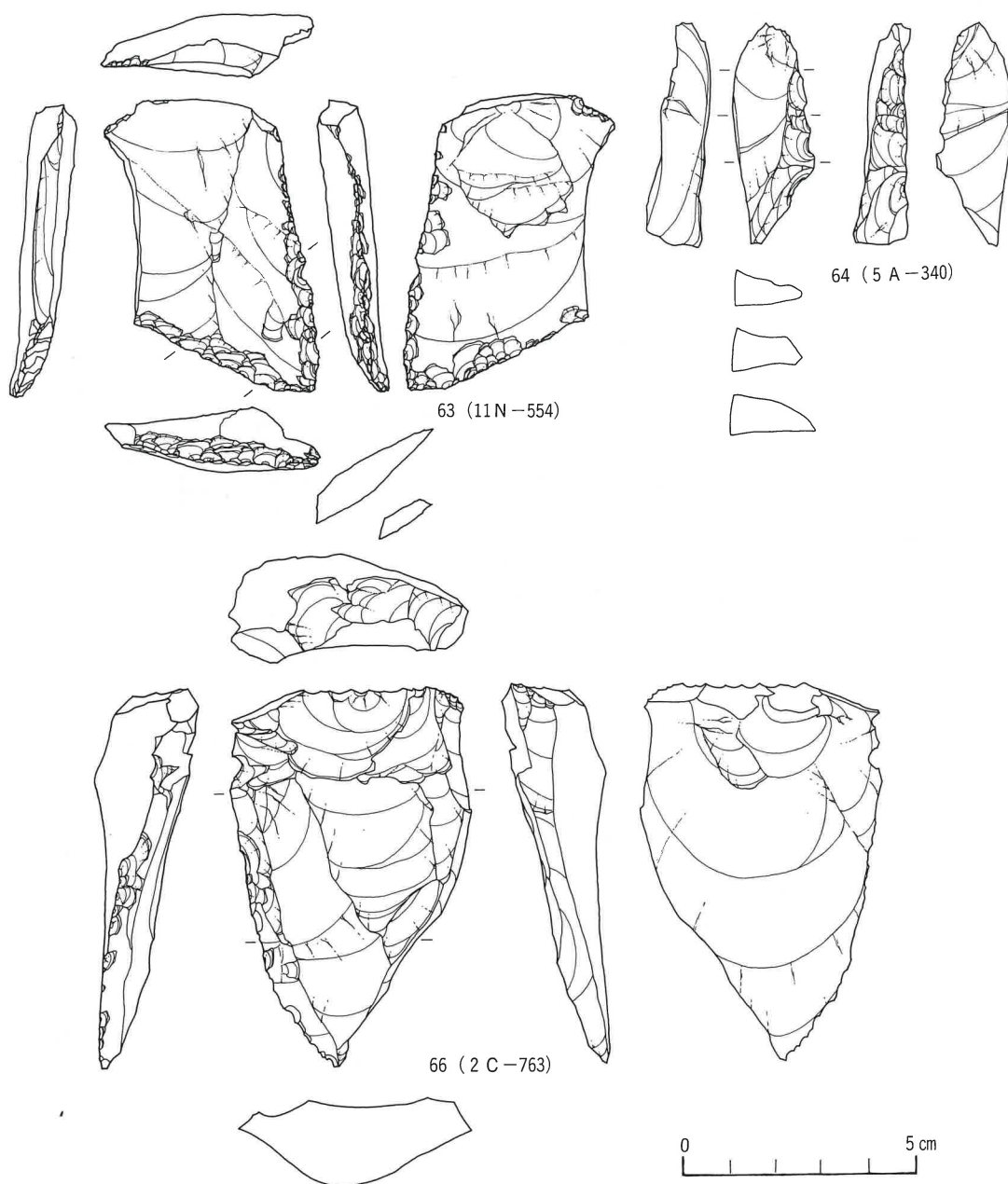
第261図 5層以上の石器 その4・3D区以外②

- ・Ⅱ類…縦長剥片を素材とし、打面を基部側に残置し、基部両側縁に加工を施すタイプ。
 典型例はシルエットが柳葉形を呈する。そのうち、加工部位が基部のみのものをⅡaとした。33・47・48がこの型に入る。ただ、48のみは幅広で、木の葉形を呈している。3点とも流紋岩製。また、加工が先端部に及ぶものをⅡbとした。34・46・49がこの型に入る。34・46は典型例だが、49は幅広で木の葉形。34・49は流紋岩製だが、46は安山岩製。
- ・Ⅲ類…横長剥片を素材とし、打面側の一侧縁に加工を施す、いわゆる国府型ナイフ形石器。やや小振りだが、50がこれに入れられる。

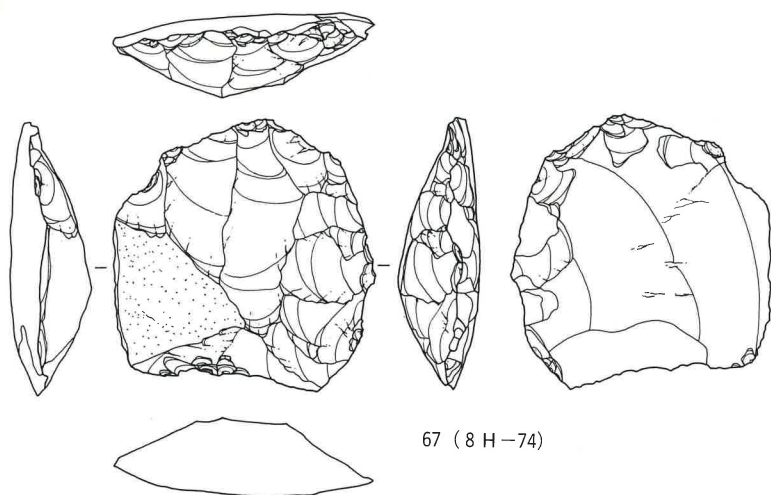


第262図 5層以上の石器 その5・3D区以外③

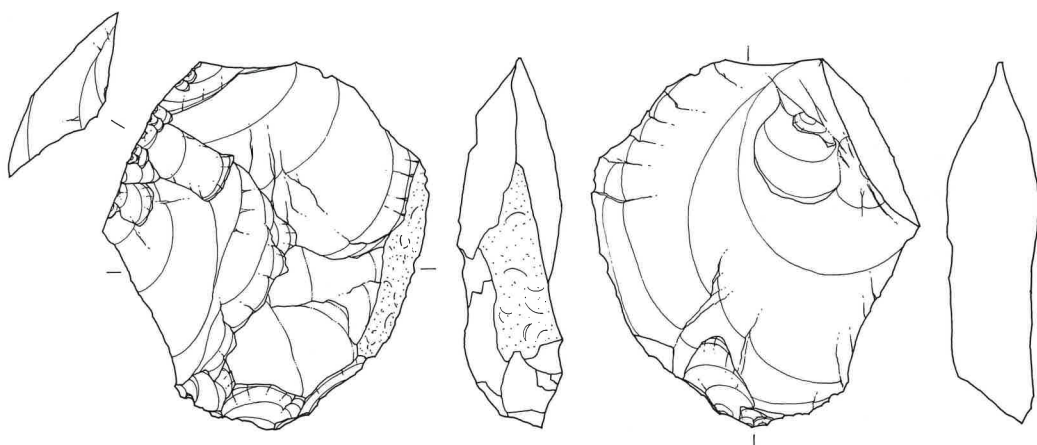
- ・IV類…不定剥片を素材とし、両側縁に調整を加え、切出し状に整形する、いわゆる切出形ナイフ形石器。51～53がこれに入る。51と53は典型例だが、52は台形様石器の範疇に入れられるかもしれない。全て流紋岩製。



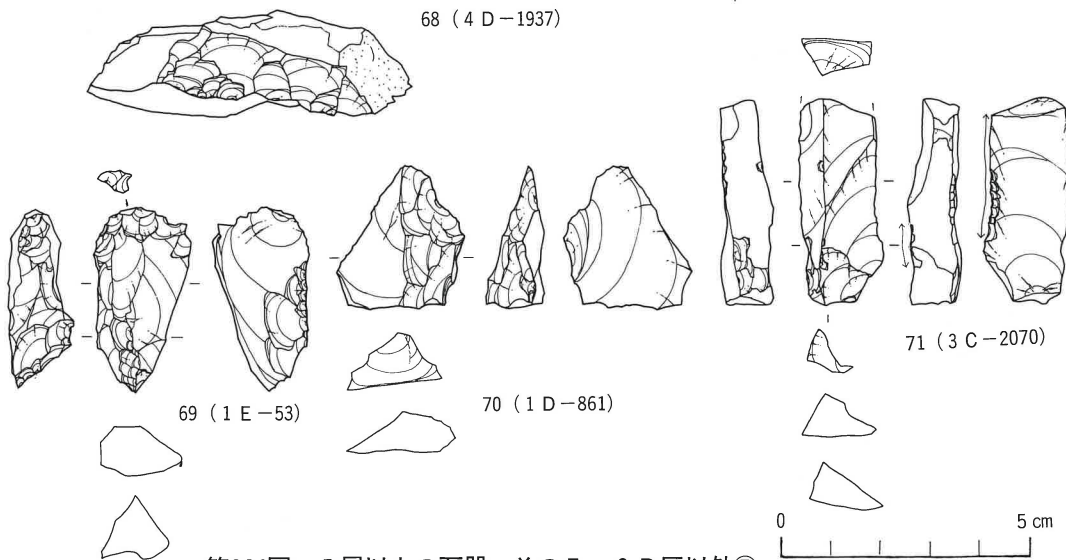
第263図 5層以上の石器 その6・3D区以外④



67 (8 H-74)



68 (4 D-1937)

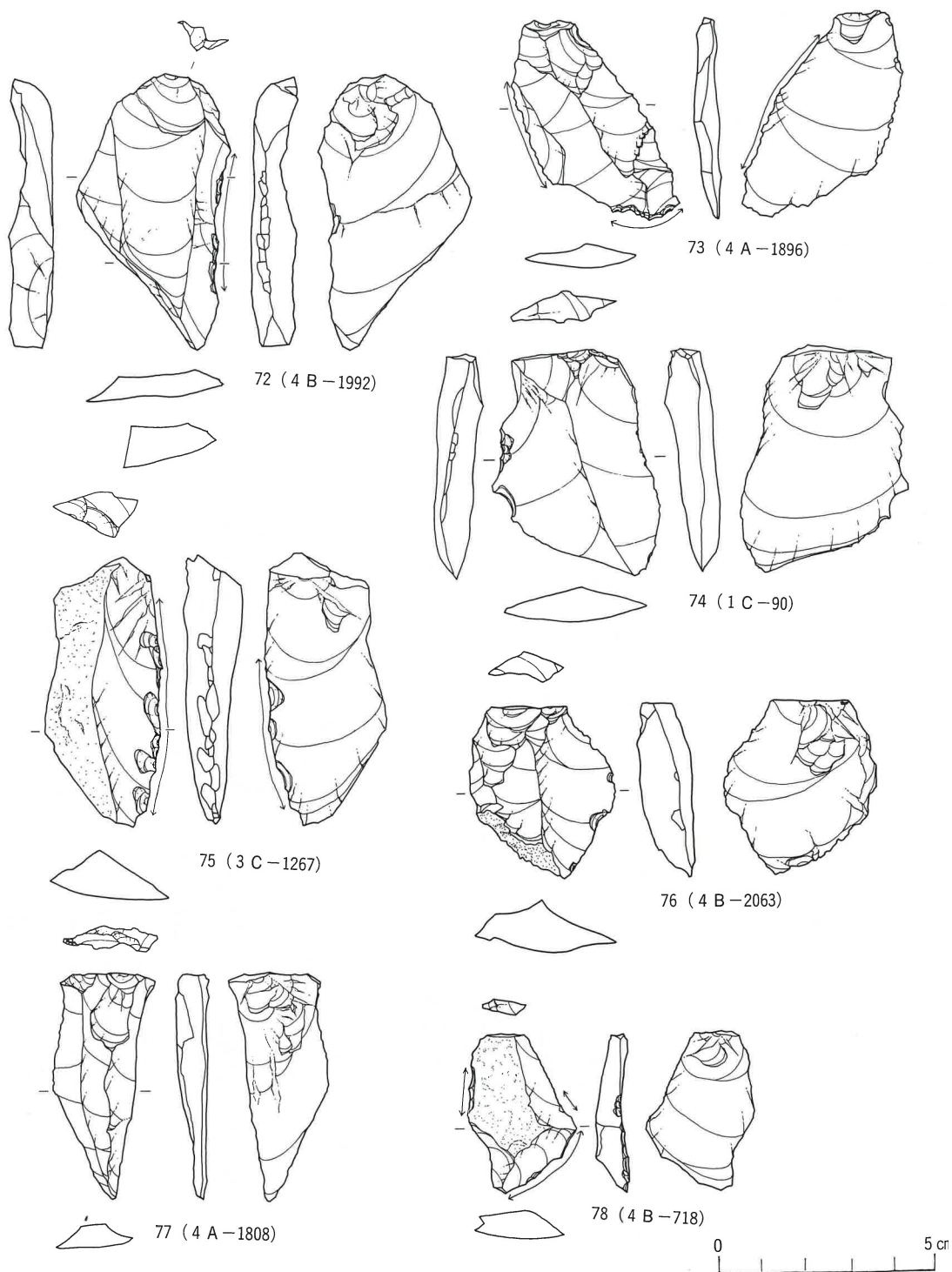


69 (1 E-53)

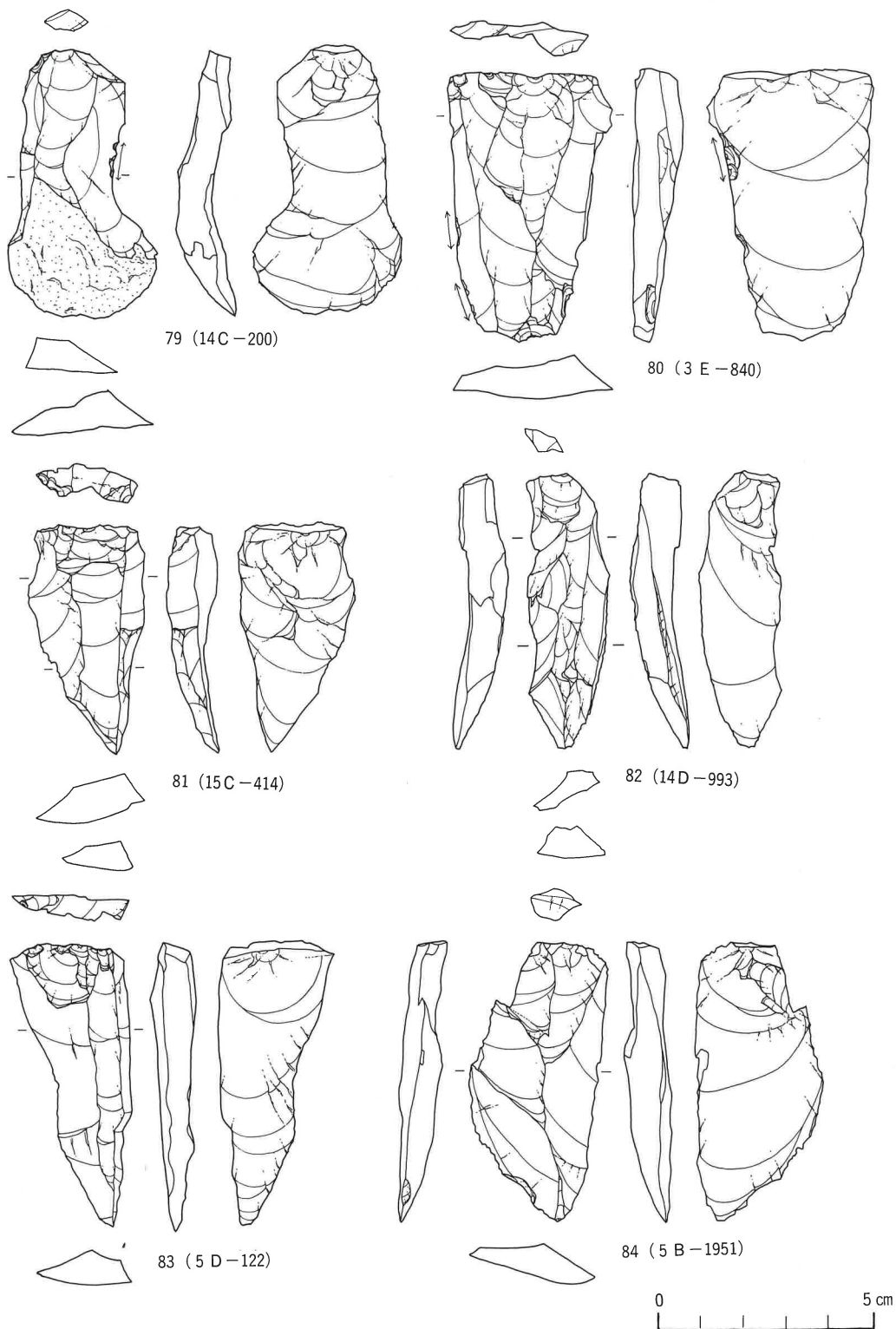
70 (1 D-861)

71 (3 C-2070)

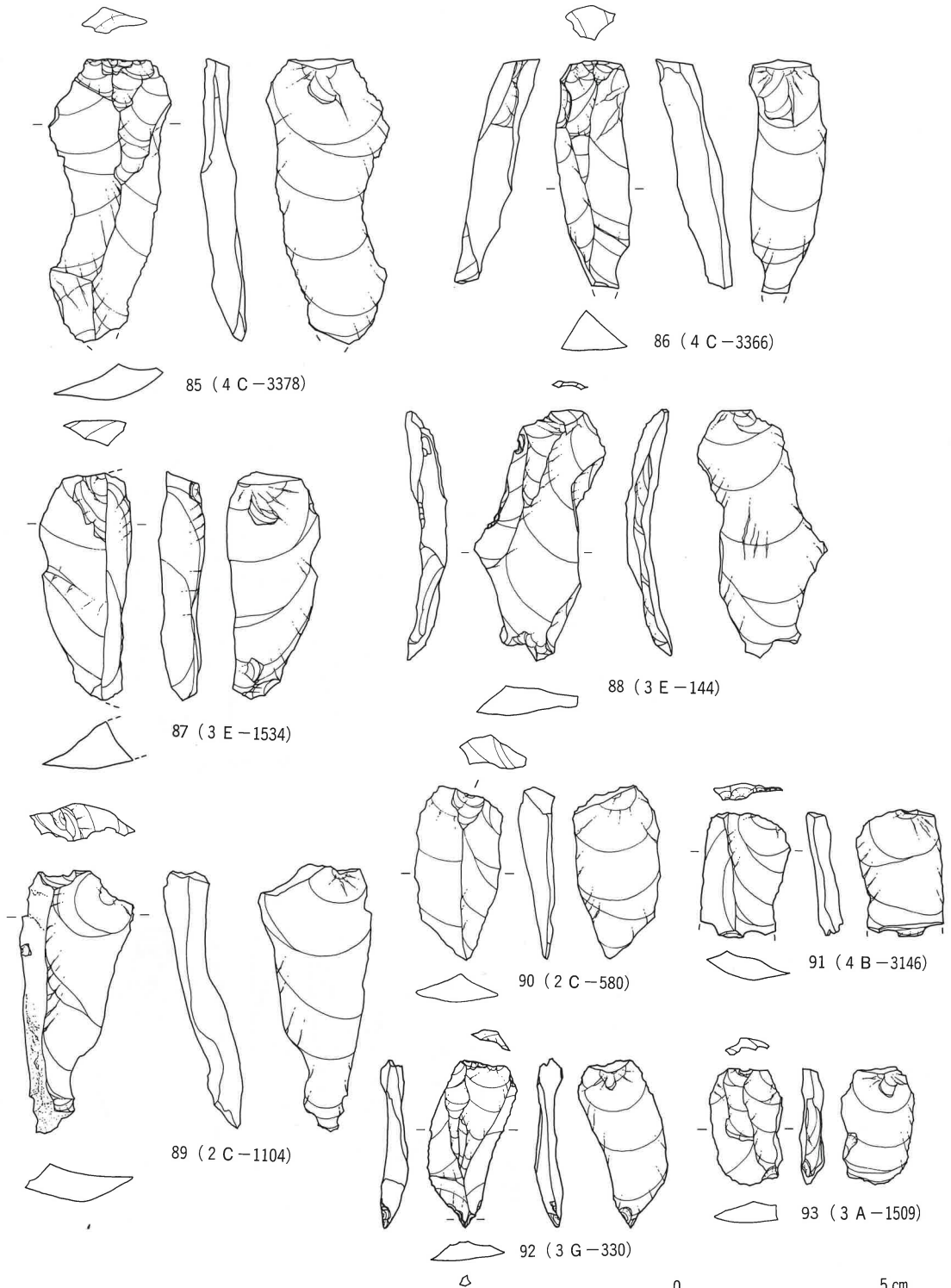
第264図 5層以上の石器 その7・3D区以外⑤



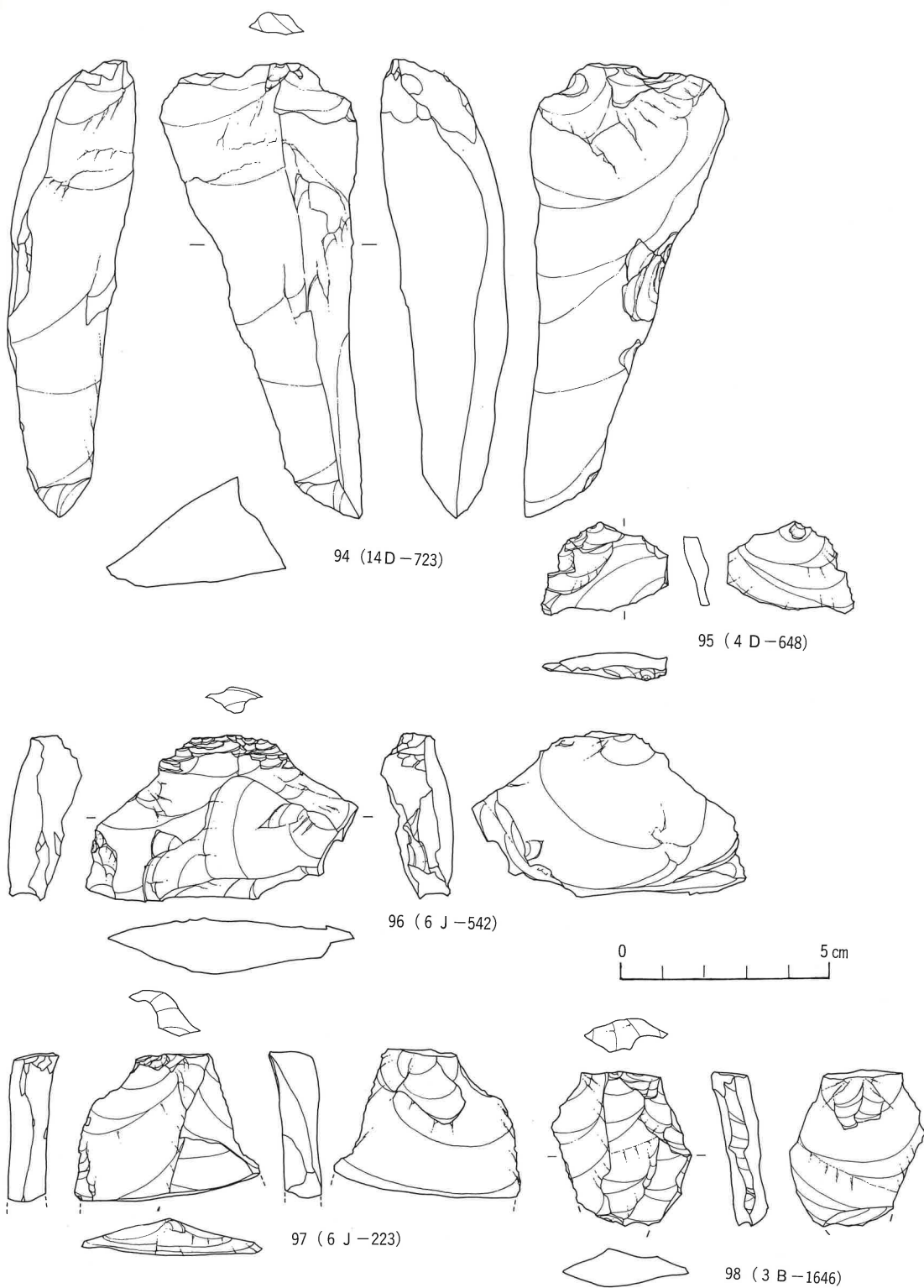
第265図 5層以上の石器 その8・3D区以外⑥



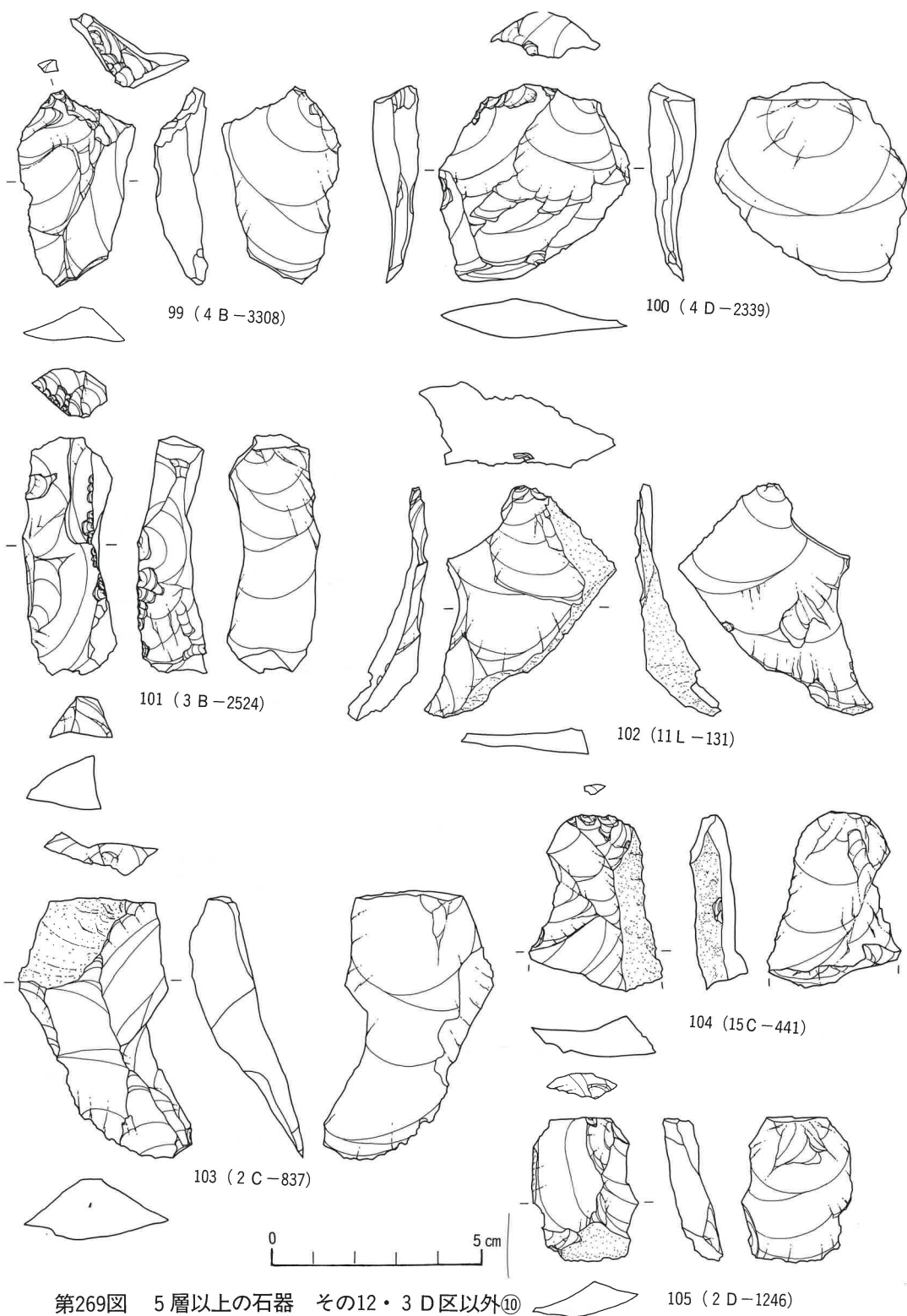
第266図 5層以上の石器 その9・3D区以外⑦

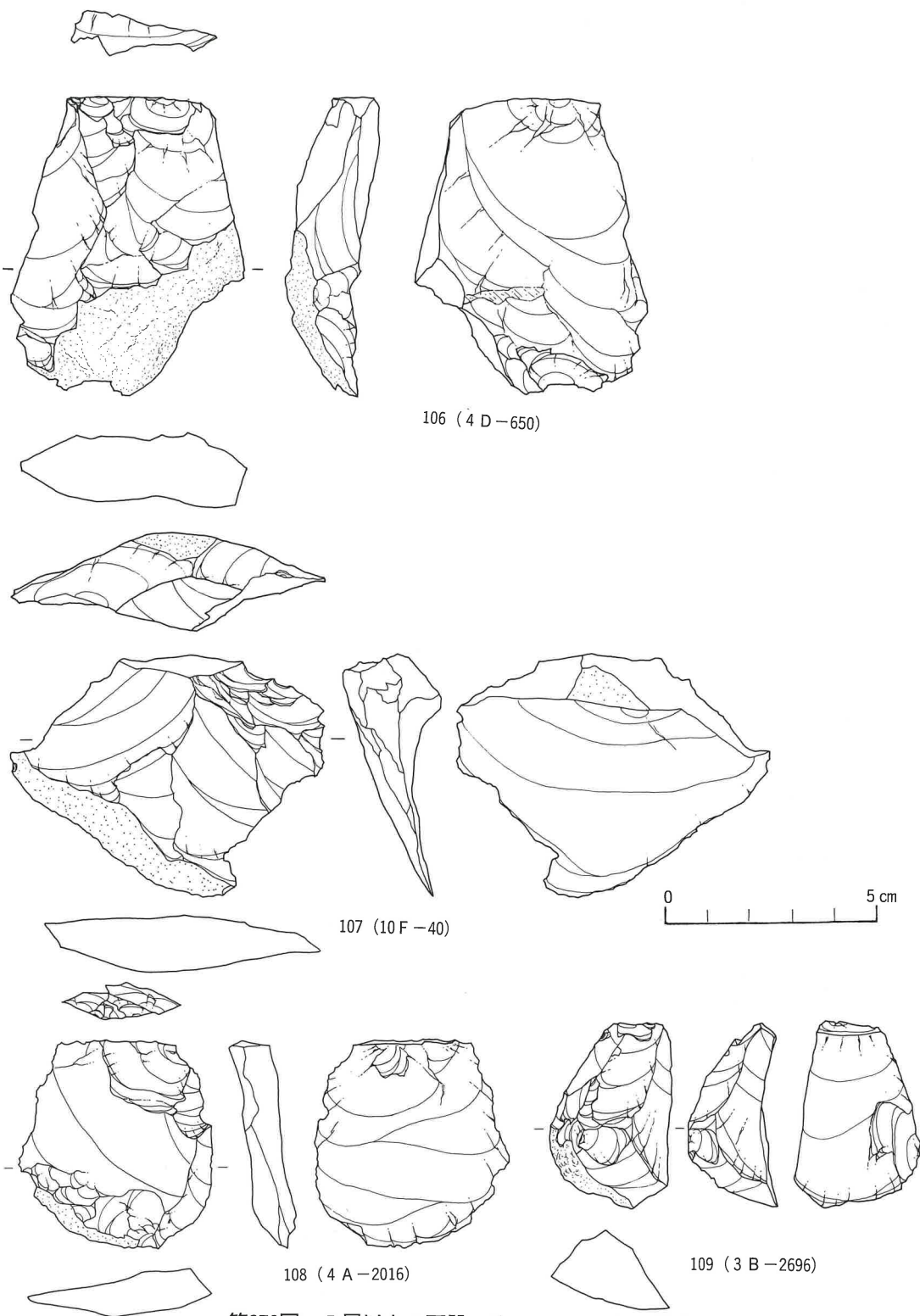


第267図 5層以上の石器 その10・3 D区以外⑧

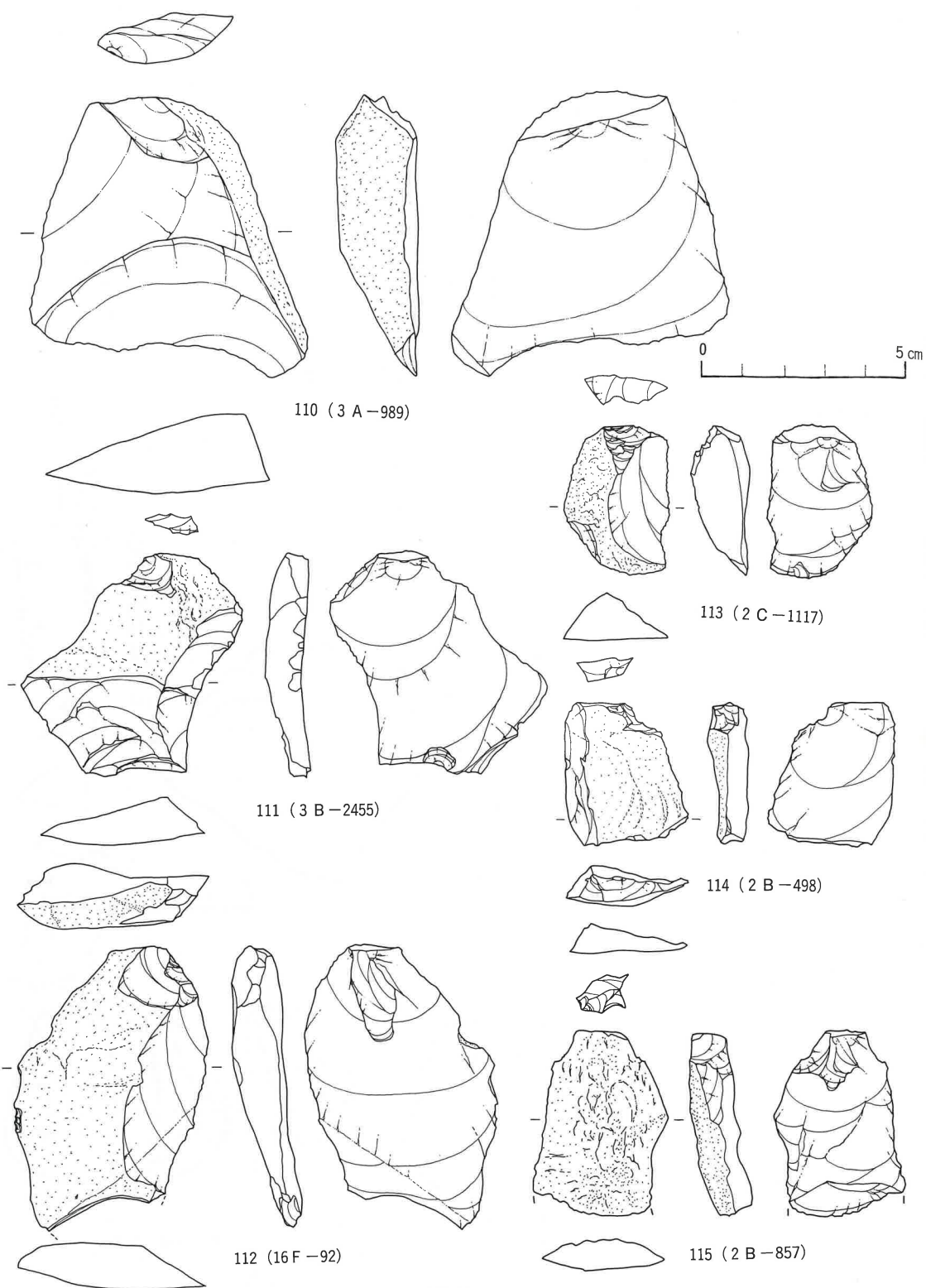


第268図 5層以上の石器 その11・3D区以外⑨





第270図 5層以上の石器 その13・3D区以外⑪



第271図 5層以上の石器 その14・3 D区以外⑫

- ・V類…素材は一定せず、片側縁もしくは先端部に部分的に加工の施される、切削用といわれるタイプ。54～57がこれに分類される。後二者は欠損品。4点とも流紋岩製である。

- ・その他…58と59はプランティング加工が施されており、ナイフ形石器であることは間違いないが、欠損が甚だしく、分類不能。

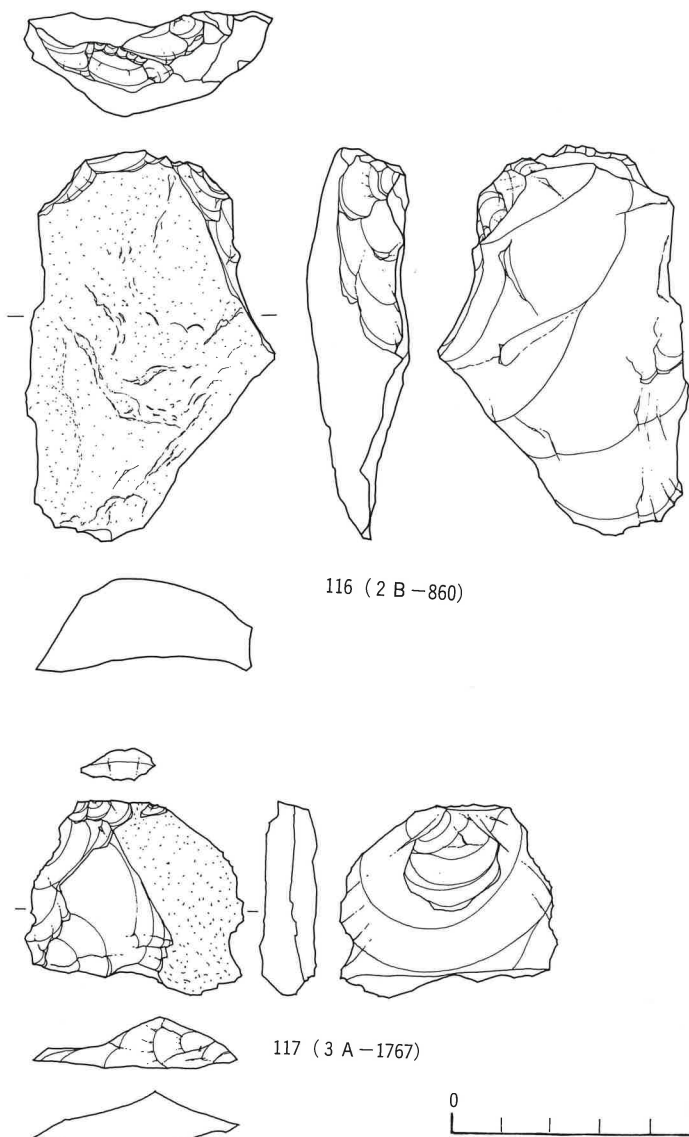
○剥片尖頭器…基部加工のナイフ形石器と分類が難しいが、60・62をこの器種に入れた。

62は、一側縁全体と、他方の基部に加工が施され、明確な挟りは、左側縁のみ。63は、明確な挟りはないが、大きさや素材の形状から本器種に入れる

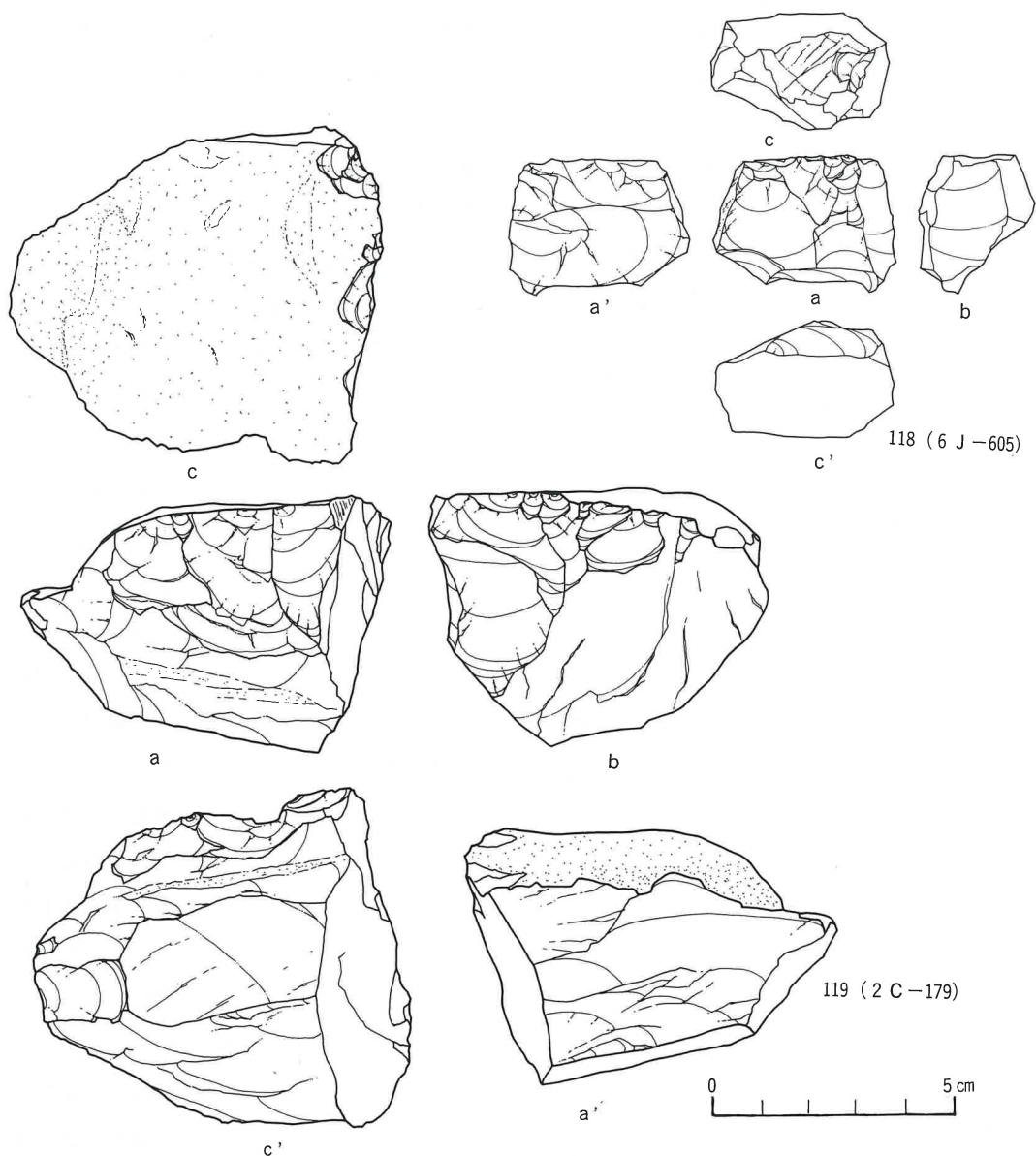
のが妥当だと考えられる。前者は砂岩製で、後者は角閃石安山岩製である。

○三稜尖頭器…先端以外欠損しているが、61は当器種に入れられるだろう。二面加工と思われるが、存在しない基部に裏面加工があった可能性はある。

○搔器…第264図68の1点のみである。大形不定剥片の末端左寄りに急斜度の加工を施し、搔器に仕上げている。安山岩製。



第272図 5層以上の石器 その15・3D区以外⑬



第273図 5層以上の石器 その16・3D区以外⑭

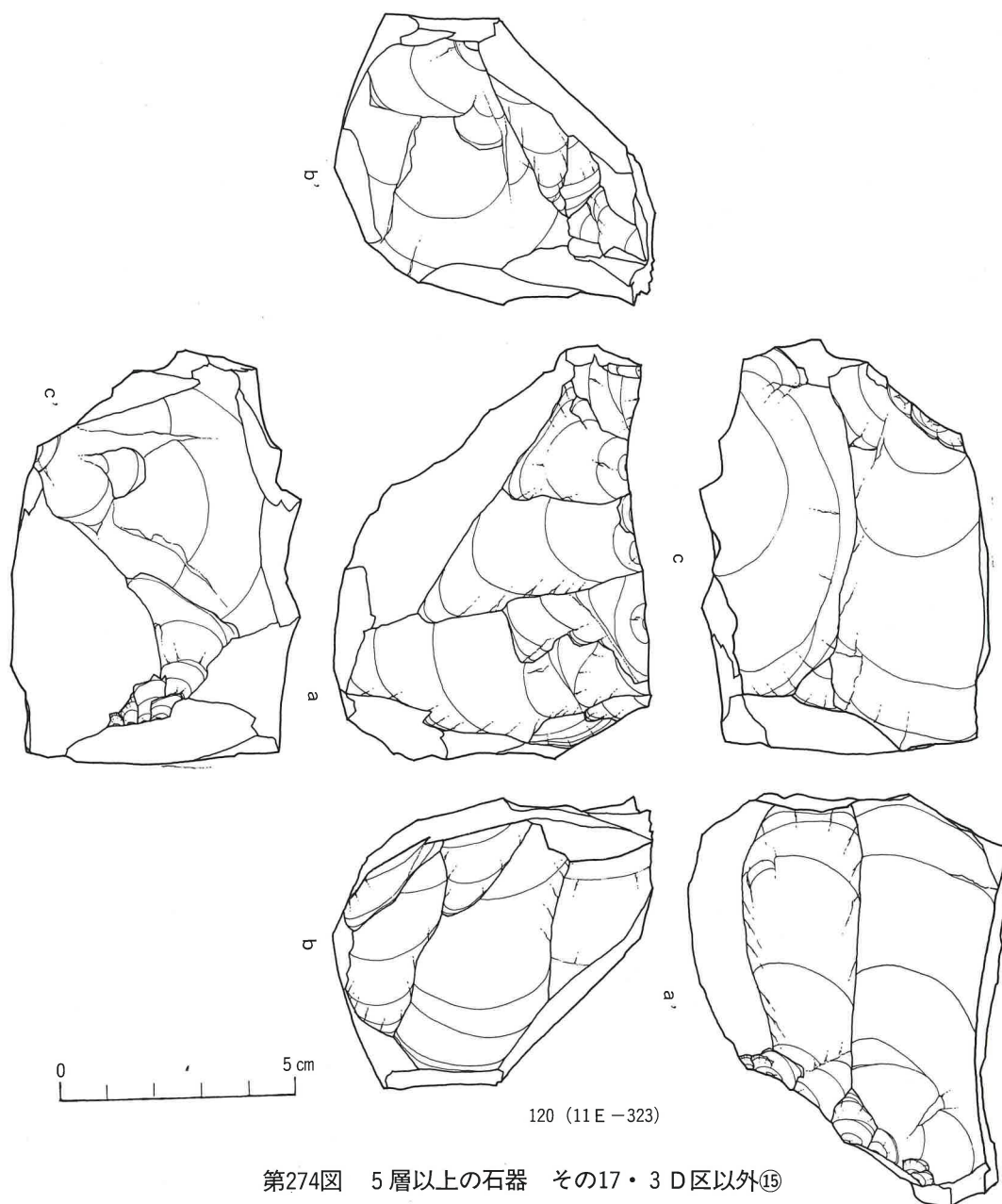
○削器…63～67が当器種に入れられる。64・66は一侧縁に加工を入れて削器に仕上げた単純なものである。63は、縦長剥片の右側縁と末端に念入りな加工を施し、加工が交差する部分を尖るように整形している。67は、大形不定剥片の打面部に表裏両側から加工して刃をつくったもの。全て流紋岩製。

○使用痕剥片…71～80が当器種のものである。大部分が縦長剥片ないしは石刃を素材としている。

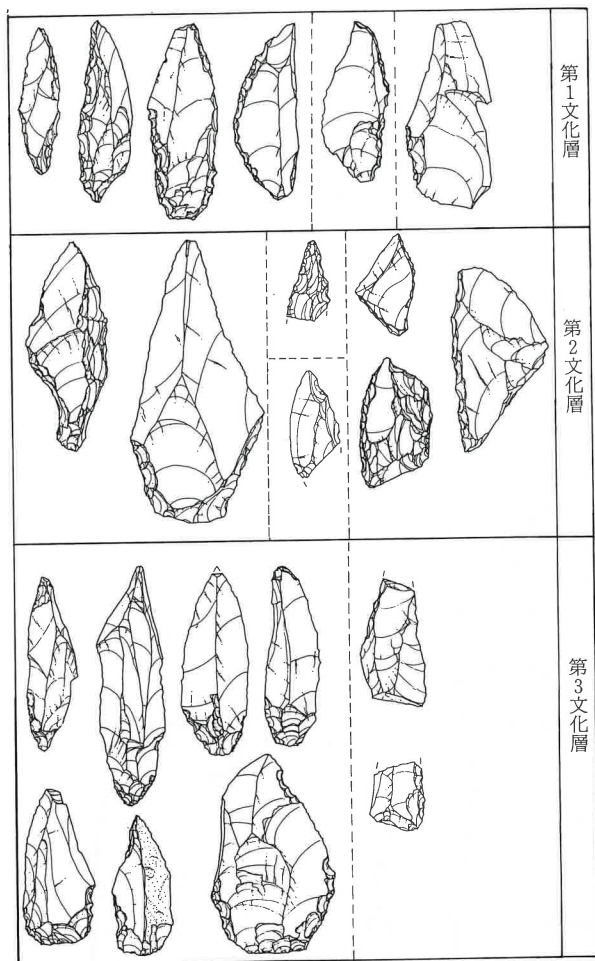
○石刃…81～94で、中形～大形の石刃。

○石核…第259図41、第273図118・119、第274図120が石核である。

- ・41…cを打面とし、b→a'→b'右半→b'左半→aへと石核を回転させながら作業面を移動させている。打面調整は非常に顕著で、最終作業面のaのみ念入りの頭部調整が残されている。基本的に、縦長剥片を剥離している。流紋岩製。

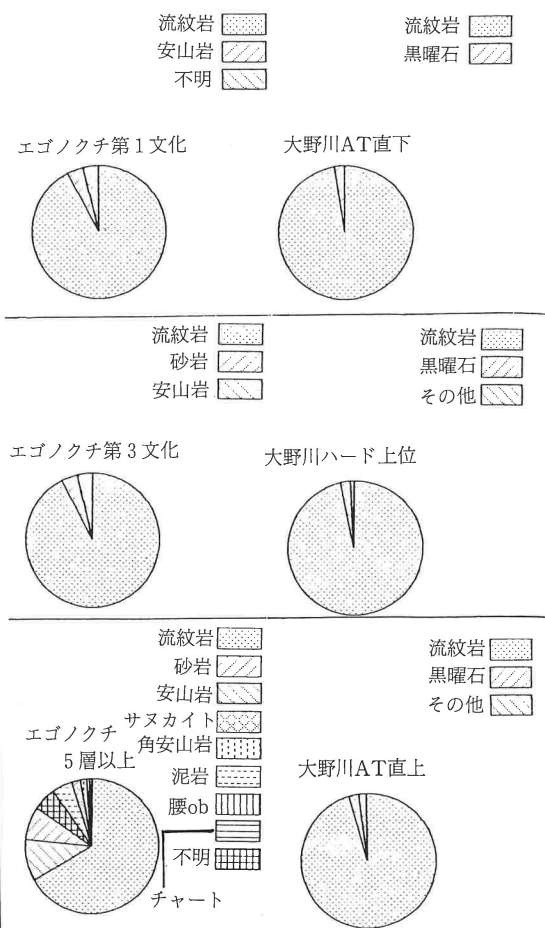


第274図 5層以上の石器 その17・3D区以外⑮



第275図 本遺跡主要石器の編年

第25表 大野流域との石材利用の差

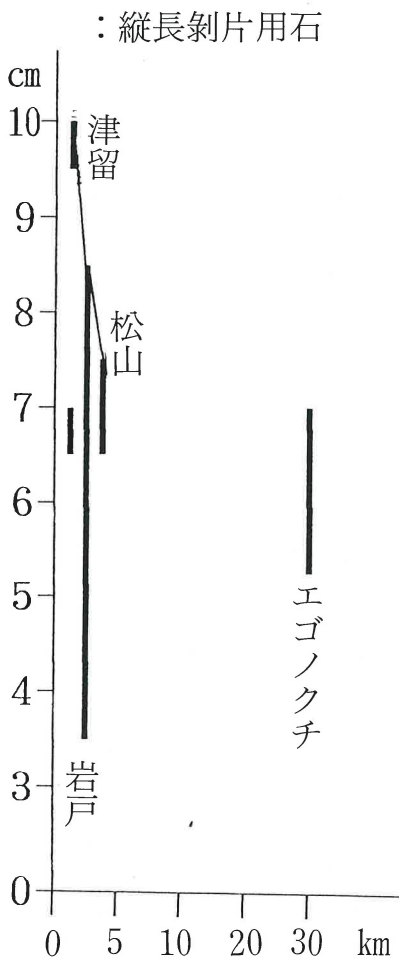


第26表 大分県下の略編年

ハードローム	前田 岩戸B 岩戸6層上部	エゴノクチ第3文化
	五島・大坪	
AT	百枝C第二文化 駒方C上層 駒方古屋上層 岩戸I 岩戸D 岩戸6層下部	エゴノクチ第2文化
黒岩帯	百枝C第一文化 駒方C下層 駒方古屋下層	宇土 エゴノクチ第1文化
	百枝B下層 岩戸2次F~J	
	大野川中流域	筑後川流域 十文字原

- ・118…かなり剥離作業が進行した後に、a面を作業面として剥離した後、下半部が欠損したために放棄したらしい。念入りの頭部調整見られる。打面は平坦な節理面を利用し、作業面に近い位置に若干の打面調整が施されている。不定剥片が剥離されたようである。流紋岩製。
- ・119…礫の下半部、前半部を分割した後、自然面のcを打面に設定し、b'→aと作業面を移動されて剥離を進行させている。b'面にも見られるが、殊にa面は、頭部調整が顕著である。a面に接する位置に僅かな打面調整も施されている。不定剥片が剥離されている。安山岩製。
- ・120…まず、aを打面とし、bを作業面として剥離→a下半を打面とし、cを作業面に剥離→打面を90度転回して、cを打面、aを作業面として最終的に剥離。下面に自然面を残す。a面を見る限り、頭部調整はかなり顕著。流紋岩製。

第27表 原産地からの距離と大きさ



・使用痕剥片…第265図72～78、第266図79・80がこれに当る。このうち、72(安山岩)・75(砂岩)・77(流紋岩)・79(流紋岩)・80(泥岩)は縦長剥片もしくは石刃を利用したものである。

⑥ 小 結

i) 編年の予察

第6・7層が旧石器時代の包含層であるが、編年の示準となるナイフ形石器を見てゆくと――

第7層は、部分加工を除くと、二側縁加工を意識した一側縁のナイフ形石器(第244図1)が出土している。このナイフの駒方古屋遺跡のものとの類似、及び第7層の土層が黒色帯であることを考慮に入れるATは検出されていないが、AT直下の駒方遺跡群(大分県教育委員会 1984, 別府大学博物館 1985・87)や百枝遺跡C地点第一文化層(三重町教育委員会 1985)と併行する石器群だと予測される。従って、5層以上の二側縁ナイフ(第260図42～45)も、この石器群の所産だと考えられる。

第28表 旧石器時代の石器リスト①

グッド	番号	器 種	石 材	層 位	長さcm	幅cm	厚みcm	重量g	完・欠	備 考
1 C	90	使用痕剥片	流紋岩	4	5.24	3.93	1.26	16.10	○	
	144	石 核	砂 岩	6	4.60	5.95	10.30	349.80	○	
1 D	595	礫 片	流紋岩	5	4.00	3.10	2.60	31.30	○	
	861	二次加工剥片	砂 岩	2~4	2.90	2.60	1.05	5.50	○	
1 E	53	二次加工剥片	流紋岩	2	3.60	1.90	1.60	6.40	○	
	107	剥 片	流紋岩	2	2.12	1.30	0.65	1.00	先端欠	
2 A	193	剥 片	流紋岩	5	2.15	2.72	1.00	2.80	上半欠	
	201	剥 片	流紋岩	5~6	3.10	3.70	1.55	16.5	○	
2 B	498	剥 片	流紋岩	2	3.60	3.00	0.90	10.7	末端欠	接合①
	673	剥 片	流紋岩		1.35	1.85	0.20	0.50	○	
	857	剥 片	流紋岩	5	4.50	2.90	0.95	15.90	末端欠	接合①
	860	剥 片	流紋岩	5	5.50	7.40	2.05	70.60	○	
	924	剥 片	流紋岩		7.80	5.00	1.70	3.30	○	
2 C	179	石 核	安山岩	4	5.30	7.80	6.95	307.80	○	
	276	剥 片	砂 岩	4	3.45	1.10	0.65	0.80	○	
	580	剥 片	角安山岩	4	4.00	1.90	0.75	4.80	○	
	763	削 器	流紋岩	4	8.10	5.20	1.90	69.4	○	
	837	剥 片	流紋岩	4	6.40	3.30	1.30	22.1	○	
	1101	二次加工剥片	流紋岩	5	3.45	4.45	1.45	27.90	○	
	1104	剥 片	流紋岩	5	6.10	2.70	0.80	12.00	○	
	1117	剥 片	流紋岩	5	3.67	2.58	1.47	11.50	○	
	1216	剥 片	流紋岩	6	6.30	6.70	1.20		○	
2 D	254	礫 片	泥 岩	4				6.90	○	
	293	礫 片	砂 岩	4				1.90	○	
	1246	剥 片	流紋岩	5	3.40	2.50	0.60	5.90	横畔欠	
	1248	剥 片	流紋岩	5	1.02	1.35	0.20	0.20	下半欠	
	1248	剥 片	砂 岩	5	5.42	6.12	1.15	35.10	○	
	1310	切出形石器	流紋岩	5	1.95	2.25	0.50	2.00	○	
30号點	39	剥 片	流紋岩	5	2.12	3.40	0.45	1.20	○	2 D内
2 E	937	碎 片	流紋岩	4	2.00	0.88	0.40	0.40	打面欠	
3 A	989	剥 片	砂 岩	2	6.20	6.90	2.00	81.40	○	
	1408	ナイフ形石器	流紋岩	2	6.55	1.75	0.88	9.50	○	
	1509	剥 片	流紋岩	2	2.70	1.80	0.50	2.60	右側欠	
	1769	剥 片	流紋岩	4	3.90	4.20	1.10	18.30	末端欠	接合①
	2018	剥片尖頭器	砂 岩	5	5.70	2.20	1.25	11.10	○	
	2148	碎 片	サ ヌ		1.60	1.90	0.20	0.30	○	
	2149	剥 片	流紋岩	6	1.25	1.70	0.45	0.60	○	
3 B	457	剥 片	流紋岩	2	1.20	1.10	0.25	0.10	○	
	1557	剥 片	サ ヌ		2.10	1.75	0.45	1.50	下半欠	
	1646	剥 片	流紋岩		3.70	3.40	0.70	9.70	末端欠	
	1942	剥 片	流紋岩	4	1.75	0.90	0.20	0.40	○	
	2455	剥 片	流紋岩	5	5.40	5.45	1.10	25.90	○	
	2455	剥 片	腰岳Ob	5	1.65	1.20	0.20	0.40	○	
	2524	稜付剥片	流紋岩	5	5.70	2.20	1.90	18.70	○	
	2696	稜付剥片	流紋岩	6	4.40	2.90	1.85	20.80	○	
	2704	剥 片	サ ヌ		2.15	3.30	0.65	3.20	末端欠	
3 C	1267	使用痕剥片	砂 岩	2~4	6.30	2.70	1.30	18.20	○	
	1341	剥 片	砂 岩	2~4	1.90	2.60	0.60	2.30	○	
	2070	二次加工剥片	流紋岩	2	4.15	1.55	1.10	7.10	○	使用痕有
3 D	一括	石 核	流紋岩	6					○	

第29表 旧石器時代の石器リスト②

カテゴリー	番号	器 種	石 材	層 位	長さcm	幅cm	厚みcm	重量g	完・欠	備 考
3 D	174	削 器		2					○	
	437	ナイフ形石器	流紋岩	4	4.80	1.45	0.90	4.90	○	
	539	剥 片	流紋岩	4	3.60	2.90	0.95	8.90	○	
	651	剥 片	流紋岩	6	6.90	7.00	2.05	80.60	○	
	652	剥 片	流紋岩	6	3.50	3.40	1.25	11.60	○	
	653	剥 片	流紋岩	6	6.20	3.20	1.35	25.60	○	接合②
	656	使用痕剥片	流紋岩	6	5.90	3.60	0.60	12.30	○	
	661	剥 片	流紋岩	7	1.40	2.80	0.95	3.40	○	
	1744	ナイフ形石器	流紋岩	5	4.90	1.80	0.95	7.30	先端欠	
	2010	剥 片	流紋岩	5	1.60	2.10	0.55	2.00	○	
	2242	剥 片	流紋岩	6	2.80	4.20	0.90	10.70	○	
	2409	ナイフ形石器	流紋岩	5～6	5.10	2.20	0.80	8.10	燹・擦	接合④
	2418	ナイフ形石器	流紋岩	5～6	1.85	1.40	0.45	1.60	上半欠	
	2432	碎 片	流紋岩	5～6	4.70	2.70	1.10	14.70	○	
	2523	剥 片	流紋岩	6	2.20	3.60	0.55	3.80	○	接合⑤
	2524	使用痕剥片	安山岩	6	6.90	2.20	1.10	23.50	○	
	2537	剥 片	流紋岩	7	4.30	2.60	1.40	13.50	末端欠	
	2539	ナイフ形石器	流紋岩	7	4.40	1.75	0.60	4.00	○	
	2542	剥 片	流紋岩	7	2.70	4.10	0.65	6.00	下半欠	
	2543	剥 片	流紋岩	7	3.90	2.00	0.80	5.50	末端欠	接合④
	2553	剥 片	流紋岩	6	1.90	2.10	0.40	1.10	○	
	2558	剥 片	流紋岩	6	3.05	2.60	0.55	4.20	末端欠	
	2561	剥 片		5	3.10	1.50	0.55		○	
	2572	剥 片	流紋岩	5	3.70	1.20	0.70	4.00	末端欠	
	2701	石 核	流紋岩	5	6.20	5.00	5.25	197.30	○	接合③
	2793	剥 片	砂 岩		7.18	5.82	2.09	53.10	○	
	2801	剥 片	安山岩	7	8.40	2.30	0.70	12.60	○	
	2804	剥 片	流紋岩	7	4.00	3.00	0.65	6.70	○	
	2805	使用痕剥片	流紋岩	7	3.40	1.30	0.35	1.30	○	
	2807	剥 片		7	4.30	2.30	2.00	24.30	○	
	2808	剥 片	流紋岩	7	3.90	2.60	1.20	7.60	○	接合④
	2809	剥 片	流紋岩	7	6.80	4.70	2.20	74.60	○	接合②
	2831	剥 片	流紋岩	7	2.30	4.10	0.80	8.70	○	接合⑤
	2834	剥 片	流紋岩	7	2.20	2.30	0.35	1.30	打面欠	
	2835	剥 片	流紋岩	6	8.90	4.00	1.10	34.00	○	
	2838	剥 片	流紋岩	6	7.80	3.60	1.05	22.20	○	
	2839	剥 片	流紋岩	6	3.90	3.80	1.30	15.20	○	
	2842	剥 片	流紋岩	6	4.10	1.90	0.50	3.00	○	
	2847	石 核	流紋岩	6	5.20	3.35	4.30	76.50	○	
	2853	ナイフ形石器	流紋岩	6	3.35	1.70	1.00	5.20	○	
	2854	ナイフ形石器	流紋岩	6	3.45	1.70	0.65	4.00	打面欠	
	7層	剥 片	流紋岩	7	4.35	3.30	0.60	8.60	○	
3 E	144	剥 片	流紋岩	5	5.90	2.60	0.55	8.70	燹・擦	
	252	ナイフ形石器	流紋岩	4	3.20	0.85	0.75	2.60	燹・擦	
	318	碎 片	流紋岩	4	1.05	2.00	0.45	0.70	○	
	435	楔形石器		4					○	
	746	碎 片	泥 岩	2	1.00	1.82	0.40	0.80	○	
	782	剥 片	安山岩	2	2.05	3.70	0.85	5.20	末端欠	
	840	二次加工剥片	泥 岩	2	6.30	3.80	1.10	25.90	○	
	1514	剥 片	流紋岩	5	5.30	2.20	1.10	10.50	末端欠	

第30表 旧石器時代の石器リスト③

グッド	番号	器 種	石 材	層 位	長さcm	幅cm	厚みcm	重量g	完・欠	備 考
3 E	1534	剥 片	安山岩	5	5.30	2.20	1.10	10.50	○	
3 G	139	剥 片	流紋岩	4	3.30	2.15	0.45	2.50	○	
	330	剥 片	安山岩	5	3.80	1.60	0.55	3.20	○	
4 A	1806	剥 片		4					○	
	1808	使用痕剥片	流紋岩	4	5.20	2.40	0.65	6.00	○	
	1896	使用痕剥片	流紋岩	4	4.70	3.90	0.45	6.10	○	
	2016	剥 片	流紋岩	5	4.90	4.50	0.80	20.50	○	
4 B	718	使用痕剥片	流紋岩	2	3.60	2.40	0.60	5.10	○	
	1822	剥 片	泥 岩	4	2.20	3.15	0.60	4.00	○	
	1992	使用痕剥片	安山岩	4	6.40	3.30	1.00	19.40	○	
	2163	使用痕剥片	流紋岩	2	4.00	3.40	1.05	13.10	○	
	2329	剥 片	安山岩	4	3.40	4.55	0.45	5.60	○	
	2809	ナイフ形石器	流紋岩	5	4.00	1.10	0.42	2.00	○	使用痕有
	3146	剥 片	流紋岩	5	2.90	2.00	0.50	3.00	下半欠	
	3294	剥 片	泥 岩	5	2.60	2.55	0.65	4.60	○	
	3308	剥 片	流紋岩	5	4.60	2.70	0.90	9.90	○	
4 C	2666	ナイフ形石器	流紋岩	2	4.80	1.75	0.90	6.00	○	
	2716	剥片尖頭器	角安山岩	2	7.75	3.40	1.10	23.20	○	
	3366	剥 片	流紋岩	4	5.60	1.70	1.00	9.40	○	
	3378	剥 片	泥 岩	2	6.60	2.70	0.75	11.30	○	
4 D	524	ナイフ形石器	流紋岩	5	3.35	1.75	0.50	3.00	先端欠	
	648	剥 片	流紋岩	2	2.00	3.20	0.60	3.00	末端欠	接合③
	650	剥 片	流紋岩	2	7.10	5.60	1.65	68.60	○	
	1937	搔 器	安山岩	5	7.40	6.65	1.75	90.50	○	
	2232	ナイフ形石器	流紋岩	5	4.20	1.90	0.90	6.80	先端欠	
	2339	剥 片	角安山岩	5	4.75	4.63	1.24	15.20	○	
	2360	ナイフ形石器	流紋岩	5	5.40	3.30	0.90	15.50		使用痕有
	2537	剥 片	流紋岩	5	1.95	1.70	0.30	1.10	○	
4 F	72	剥 片		4	3.10	3.40	1.20	11.30	○	
5 A	340	削 器	流紋岩	2	4.80	1.70	1.10	8.40	○	
	2067	ナイフ形石器	流紋岩	5	3.60	2.35	1.10	9.30	○	
5 B	174	剥 片	流紋岩		2.06	1.85	0.50	1.00	○	
	1951	剥 片	流紋岩	4	6.50	3.00	0.90	15.50	○	
	2016	使用痕剥片	流紋岩	6	7.60	2.60	0.70	14.10	○	
	2041	ナイフ形石器	流紋岩	6	3.25	1.80	0.75	3.50	○	
	2163	剥 片	流紋岩	5				1.20	○	
5 D	122	剥 片	流紋岩	5	6.50	2.70	1.05	14.10	○	
	862	剥 片	流紋岩	4	1.35	1.45	0.20	0.40	○	
5 E	90	ナイフ形石器	流紋岩	5	4.95	1.40	0.70	7.00	基部欠	
5 F	79	剥 片	流紋岩	4	1.80	1.80	0.45	1.60	○	
	160	使用痕剥片	流紋岩	5	3.20	4.45	0.75	7.20	○	
	253	剥 片	流紋岩	4	1.10	1.30	0.40	0.30	○	
	473	石 核	砂 岩		6.50	8.50	9.80	474.80	○	
5 H	254	剥 片	安山岩	5	2.15	4.15	0.80	6.90	○	赤化
6 C	511	剥 片	安山岩	5	1.40	1.80	0.50	1.10	○	
6 D	788	剥 片	安山岩	5	4.25	4.75	1.75	19.80	○	
6 E	1層	ナイフ形石器	流紋岩	1	4.60	2.50	1.30	15.20	下半欠	使用痕有
6 H	197	剥 片	流紋岩	5				0.60	下半欠	
6 J	62	剥 片	流紋岩	4	2.80	3.15	0.70	6.10	○	
	223	剥 片	流紋岩	5	3.51	4.57	1.23	12.30	○	

第31表 旧石器時代の石器リスト④

グッド	番号	器 種	石 材	層 位	長さcm	幅cm	厚みcm	重量g	完・欠	備 考
6 J	297	使用痕剥片	流紋岩	5	3.55	1.60	0.85	3.70	○	
	542	剥 片	流紋岩	5	4.05	6.64	1.73	36.00	○	
	605	石 核	流紋岩	5	2.60	3.80	2.80	25.60	○	
7 E	98	剥 片	砂 岩	5	6.20	7.00	1.15	40.10	下半欠	白濁赤化
7 F	86	剥 片	流紋岩	5	2.45	3.15	0.75	4.10	○	
7 G	40	剥 片	流紋岩	6	3.80	4.90	1.35	13.20	○	
8 B	26	ナイフ形石器	流紋岩	2	3.20	1.85	0.80	3.10	右側欠	
	174	剥 片		4					○	
8 C	3	ナイフ形石器	流紋岩	2	3.70	3.00	0.60	5.60	先端・基部欠	
8 H	74	削 器	流紋岩	5	5.57	5.34	1.63	47.00	○	
9 B	46	剥 片	流紋岩	2	1.50	2.35	0.40	1.20	○	
	177	剥 片	流紋岩	4	2.10	1.90	0.95	1.80	○	
9 C	161	切出形石器	流紋岩	4	1.93	3.57	0.82	5.20	○	
10 F	40	剥 片	安山岩	4	5.76	7.54	2.37	45.60	○	
11 E	323	石 核	流紋岩	5	6.95	8.95	6.30	414.00	○	
11 L	131	剥 片	流紋岩	5	5.50	4.63	1.90	13.90	○	
11 N	554	削 器	流紋岩	5	6.40	4.60	0.98	29.60	○	
12 K	10	剥 片	安山岩	4	3.95	5.60	1.05	11.30	○	
13 D	47	剥 片	安山岩	2	1.40	2.02	0.80	2.90	上半欠	
	450	砕 片	流紋岩	2	1.50	1.90	0.65	0.80	○	
	583	ナイフ形石器		5	2.42	1.38	0.80		○	
	200	使用痕剥片	流紋岩	2	6.20	3.50	0.90	18.10	○	
14 D	683	切出形石器	流紋岩	5	5.00	2.60	1.00	10.90	○	
	723	剥 片	泥 岩	5	11.98	4.92	3.21	99.10	○	
	899	砕 片		4					○	
	993	剥 片	安山岩		6.41	1.93	1.27	10.00	○	
	996	三稜尖頭器	チャート		2.20	1.15	0.70	1.40	中部・下欠	
15 C	291	ナイフ形石器	安山岩	2	4.70	1.40	0.70	3.60	○	
	414	剥 片	流紋岩	4	5.30	2.70	1.00	13.00	○	
	441	剥 片	流紋岩	4	4.00	3.20	1.20	13.90	○	
	483	稜付剥片	流紋岩	6	1.55	3.05	1.05	2.20	○	
15 D	329	ナイフ形石器	流紋岩	2	5.35	1.90	0.70	7.82	先端欠	
16 C	54	剥 片	流紋岩	2	2.35	0.85	0.60	0.60	先端欠	
16 D	290	剥 片	流紋岩	2	2.30	3.20	0.95	5.40	○	
16 E	162	剥 片	流紋岩	2	2.70	2.65	0.50	2.40	末端欠	
16 F	92	剥 片	流紋岩	5	6.94	4.80	1.60	34.70	先端欠	赤化

第6層からは、基部加工ナイフ（第249図17、第251図29）が出土している。この型式のナイフ形石器は県下では、岩戸遺跡2次B文化層（坂田邦弘 1980）や岩戸遺跡3次6層上部（清川村教育委員会 1986）の石器群で見出される。両石器群とも、下層のAT直上段階に、三稜尖頭器・剥片尖頭器・国府型ナイフなどに特徴づけられる、D文化及び6層下部の石器群を有している。これは、大野川流域の遺跡では一般的なことといっている。本遺跡でも、5層以上の浮き上がった石器の中に、三稜尖頭器などが見受けられ、確かにそれに対応する石器群が存在したと思われる。

してみると、6層は上部・下部の2石器群に分れ、6層上位で検出された集石は、上部の石器群に属すると考えるのが妥当であろう。よって、下層から第1・第2・第3石器文化と称することにする。それに従い、主要な石器を石器文化ごとに整理したのが第275図であり、県下の編年に組み込んだのが第26表である。基部加工ナイフは、県下では既述の2遺跡、県外でも宮崎県船野遺跡(橘昌信 1975)、熊本県伊野遺跡(熊本県教育委員会 1986)など数える程しかなく、本遺跡の例は基部加工ナイフの編年における地位を高めるものとなるだろう。

ii) 石材に関する小考察

本遺跡で使用されている石材には、安山岩・砂岩・サヌカイト・腰岳産黒曜石・泥岩などがあるが、大半は流紋岩である。とはいっても、その比率は文化層ごとに若干の差異がみられるので、グラフ化して比べていてみたい。同時に、同時期の大野川中流域の遺跡群の石材利用との差も見えてゆくことにする(表25)。

第1・第2文化には、石材利用にさほどの差は見られず、殆どが流紋岩である。しかし、5層以上の時期になると、急に多様な石材が表れ、流紋岩の比率が約3分の2に激減する。しかし、この5層以上の石器は既述の如く浮き上がりで、殆どは第2・第3文化に分離される。従って、流紋岩の利用率の低下は、第2文化=A T直上段階で既に現れていたと考えられる。これは、遺跡付近の河原に流紋岩の原石を有する大野川中流域では、殆ど流紋岩の利用率が変化しないのとは比べ、大きな差である。その理由としては、十文字原が、流紋岩原産地と予測される大野川下流域から隔たっていることと、第2文化の段階では、剥片尖頭器・三稜尖頭器といった、大形の石器を多用するため、原産地では流紋岩を使用するが多くても、当遺跡では安山岩や砂岩に頼ったことが想定される。

次いで、原産地からの距離と流紋岩製石器の大きさを比較して見たい。それによって、流紋岩が原産地から遺跡へ直接流入したものか、それとも、原産地から移動の途中で幾度か剥離された後に搬入されたものか判ると考える。なお、エゴノクチ遺跡に搬入された流紋岩の原産地は、大野川中流域よりも距離的にも近く、山系などの障害物の少ない大野川下流域の大分平野(註1)を想定しておく。また、エゴノクチのものは6層以上の石核を呈示。それに従って作成したのが第k表である。大野川中流域の原産地とほぼ同位置と考えられる津留(大分県教育委員会 1982)、岩戸(芹沢長介 1978)、松山(別府大学博物館 1990)などの遺跡に比して、エゴノクチのものは距離に応じて小形化しており、移動・剥離の後に当遺跡に搬入されたことを証し立てており、十文字原一帯が原産地からの二次的な供給地域だと思われる。

註1 流紋岩は専ら大野川中・上流域が原産地だと考えられてきたが、大分県のスポーツ公園内の一方平Ⅰ遺跡の調査により、その礫層に流紋岩の原石が多数含まれていることが判明。

◎参考引用文献

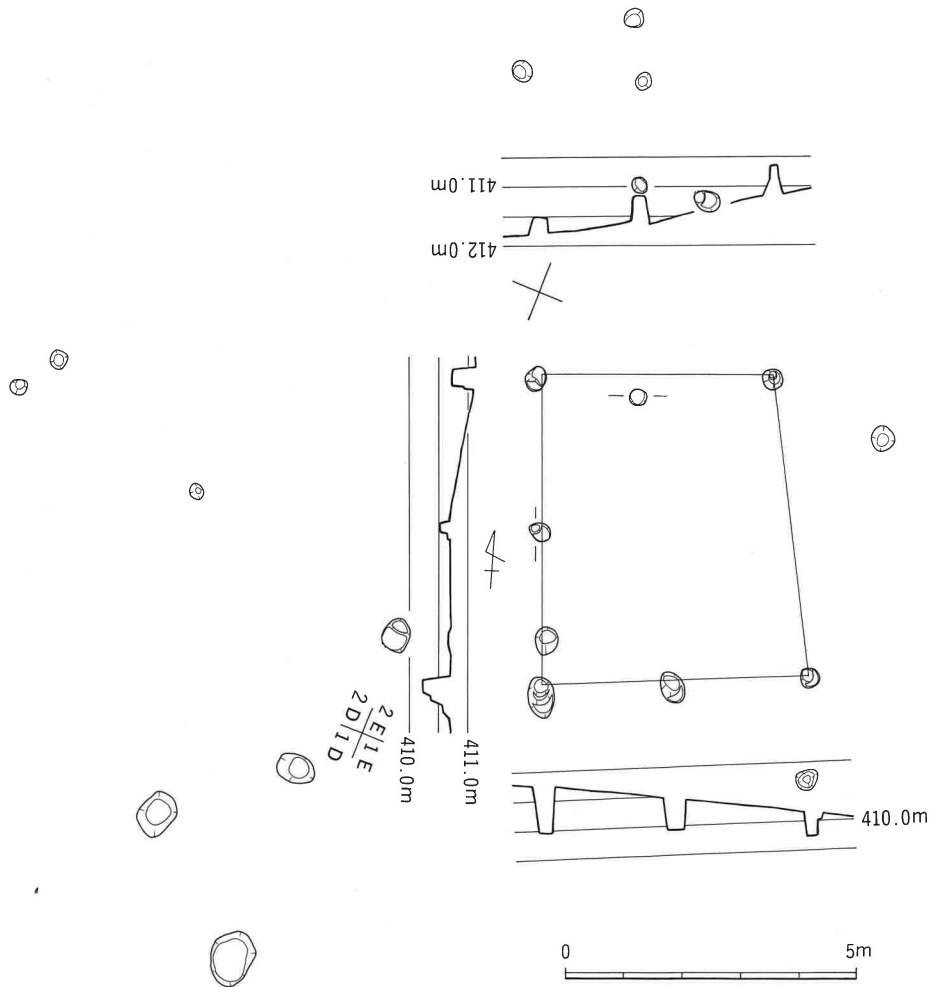
- 天瀬町教育委員会 『宇土遺跡発掘報告書』 1986
天瀬町教育委員会 『五馬大坪遺跡』 1989
大分県教育委員会 『都留遺跡発掘調査概報』 1982
大分県教育委員会 「駒方C遺跡の調査」『大野原の先史遺跡』 1984
坂田 邦弘 『大分県岩戸遺跡』 1980
芹沢長介編 「岩戸」『東北大学文学部考古学研究会考古学資料2冊』 1978
橘 昌信「宮崎県船野遺跡における細石器文化」『考古学論叢』3 別府大学考古学研究会 1975
別府大学付属博物館 『駒方古屋遺跡』 1985
別府大学付属博物館 『駒方古屋遺跡第2次・第3次発掘調査報告書』 1987
別府大学付属博物館 『松山遺跡』 1990

7. 弥生時代以降の遺構と遺物

弥生時代・古墳時代の遺物、中世の遺構と遺物が表土を剥いだ段階で認められた。弥生時代の遺物に関しては次に述べるが、古墳時代の遺物は陥し穴の項目で扱ったように8号陥し穴から出土したものとその接合例のみである。中世は掘立柱建物跡を2基・土坑を2基・柱穴若干を検出した。中世の遺構は主に頂上部周辺、調査区を二分する現水路の北側の3ヵ所、に小さくまとまって分布していた。

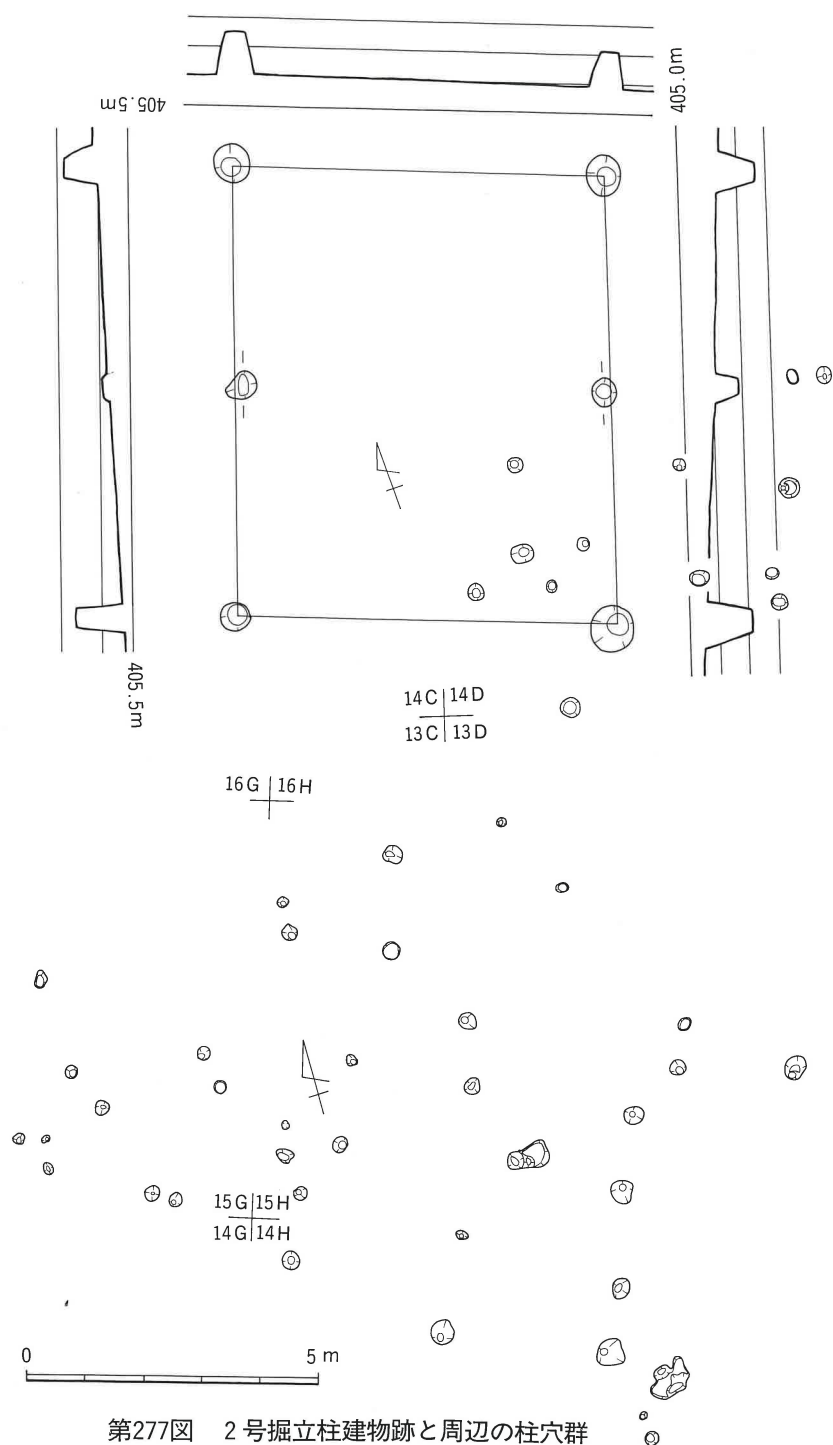
(1) 検出遺構

表土下で検出した地形についてここで簡単に述べておく。調査区を南北に二分する現水路の北側では、ほぼ中央部において南西から北東に走る溝状のものを検出した。これより20mほど



第276図 1号掘立柱建物跡と周辺の柱穴群

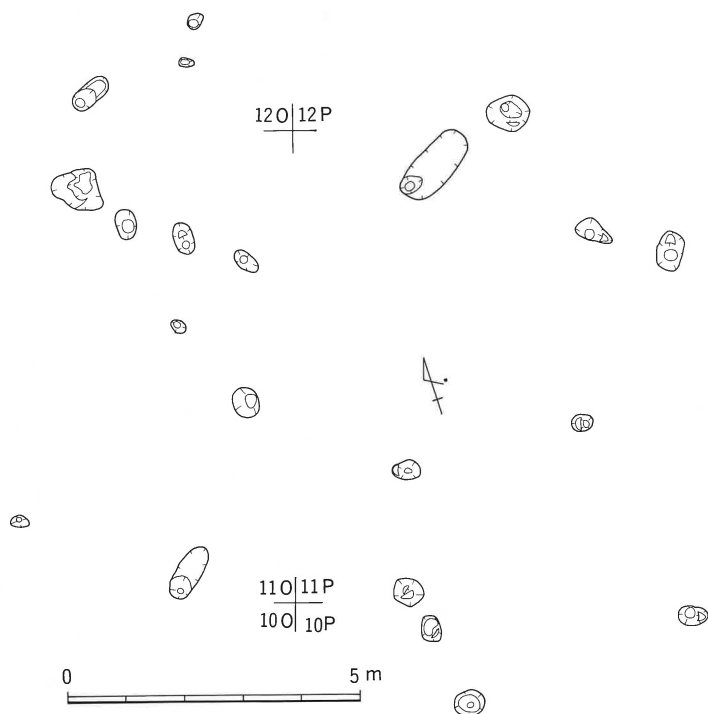
東側では溝と平行する段、段と直交する段を検出した。これらは現代に近い時期の畑の跡か所有の境界を示すものではないかと考えており、中世段階に遡るものではない。



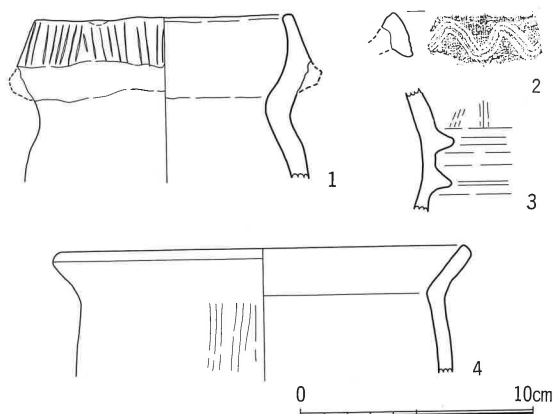
第277図 2号掘立柱建物跡と周辺の柱穴群

1号掘立柱建物跡（S B 1：第276図）

2 E 区で検出した。本遺構や付近に分布する柱穴は、調査区頂上部のやや東斜面に位置する。エゴノクチ遺跡周辺、すなわち別府湾西側の丘陵地帯は冬期に強い西風が吹くので、頂上部の居住を避けたのであろう。1号掘立柱建物跡は南北5.2m、東西4.6mとほぼ南北に主軸をとる建物跡である。



第278図 11P 区周辺の柱穴群



第279図 エゴノクチ遺跡出土弥生土器

2号掘立柱建物跡（S B 2：第277図）

14・15C D区に位置する。南北7.6m、東西6.5mを測り、桁行きの内部にある柱穴はどちらもやや内側に位置する。柱穴の規模を比べると、周辺に分布する柱穴類はこの建物のもより小さく、もともと1基しか存在しなかった可能性が強い。

3号土坑（第280図）

調査区南西の2 A区に位置する。南側と西側が大きく削平を受けており、全形はうかがい知れないが、深さ30cmほどの土坑である。床面には厚さ5cmほどに炭を敷いており、土坑墓である可能性が高い。出土遺物は3点ある（後述）。

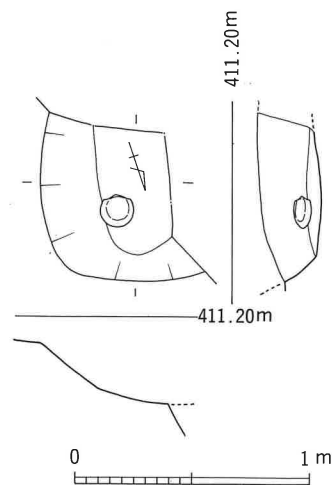
その他の柱穴分布地区（第277～278図）

以上述べた地区の他に柱穴が集中する場所が二ヵ所ある。15H区周辺には12m×9mの範囲に小型の柱穴が集中する。11O区・11P区周辺にも12m四方の範囲に小型の柱穴が分布する。いずれも掘立柱建物跡を推定復元できなかったが、何らかの施設が存在した場所であると考えている。

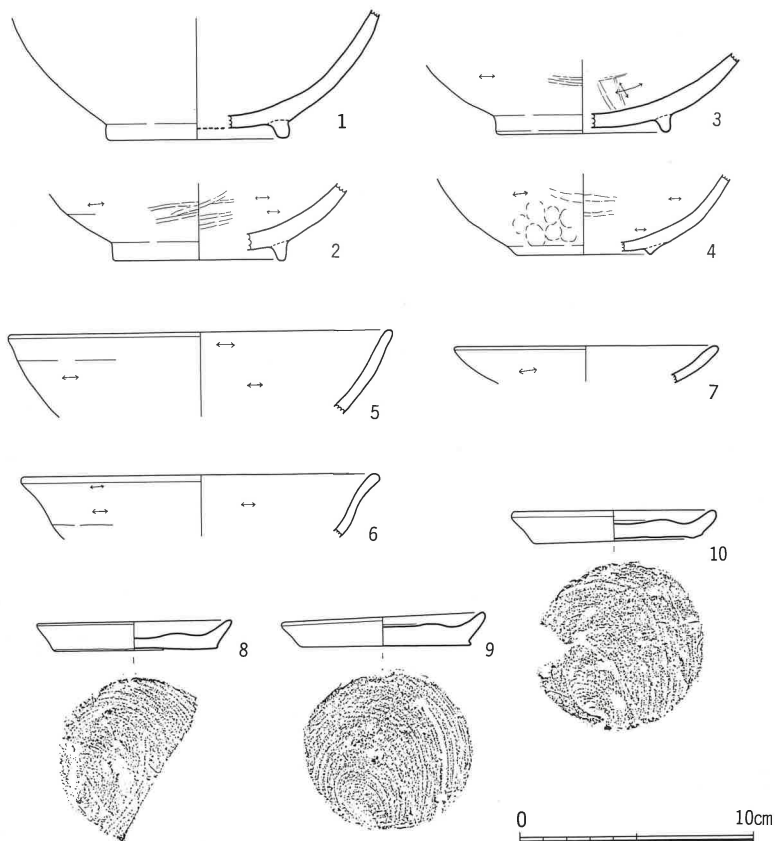
（2） 遺 物

弥生土器（第279図）

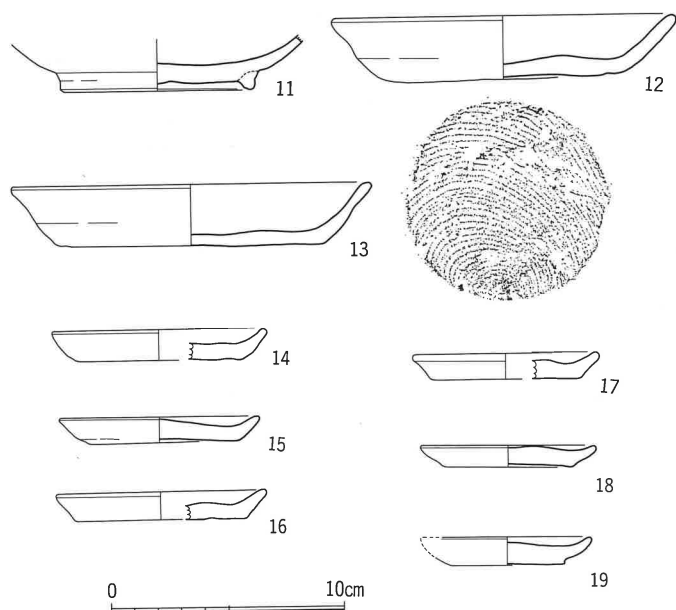
図示できる破片は4点である。いずれも調査区南西部の頂上部周辺から出土している。1から3は弥生時代後期のいわゆる安国寺式土器の壺形土器で、時期は後期中葉である。1はへら描きで山形文を描くやや特異な土器、2は櫛描き波状文を描く。4は口縁部が「く」字形に折



第280図 エゴノクチ遺跡 3号土坑（1/30）



第281図 エゴノクチ遺跡出土石器



第282図 エゴノクチ遺跡出土石器

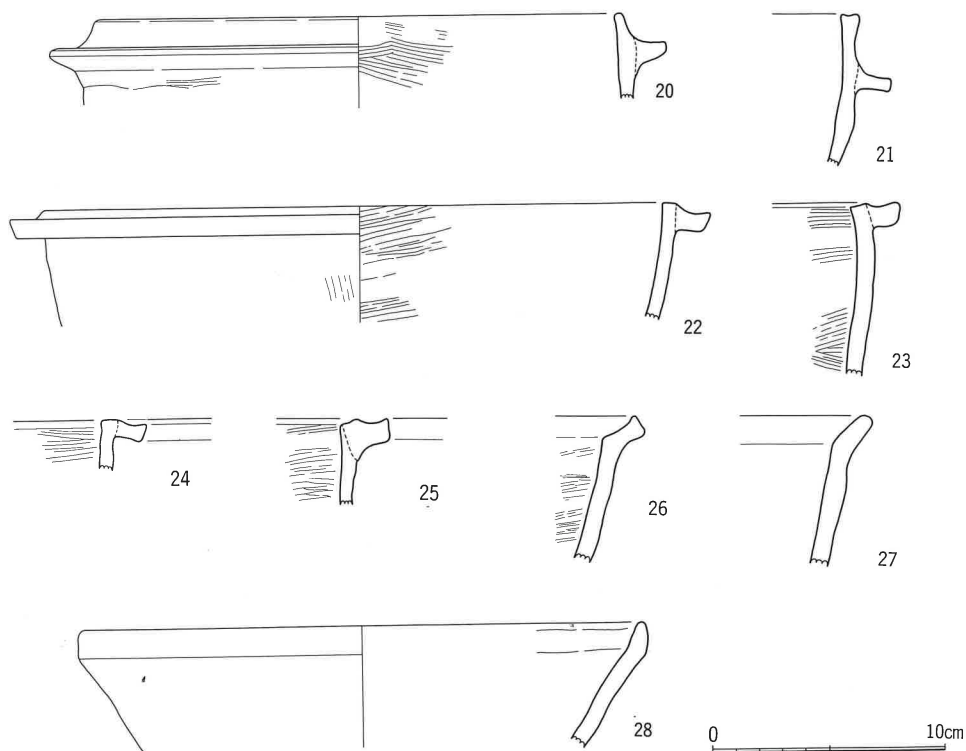
れる、長胴の壺形土器である。

中世の土器（第281～282図）

第284図のように3箇所にとまって出土している。1から10は瓦器である。1から6が椀で、いずれも比較的丁寧にへら磨きがなされている。特に高台のしっかりした1から3は丁寧である。高台は断面台形を呈し、12世紀代の特徴を有する。4は断面三角形の低いもので、時期は13世紀まで下る。7は器高の低い小型の杯。丁寧に磨かれている。8から10の小皿は口縁部径8.4cmから8.8cmで、形態からも13世紀にまで下るものであろう。

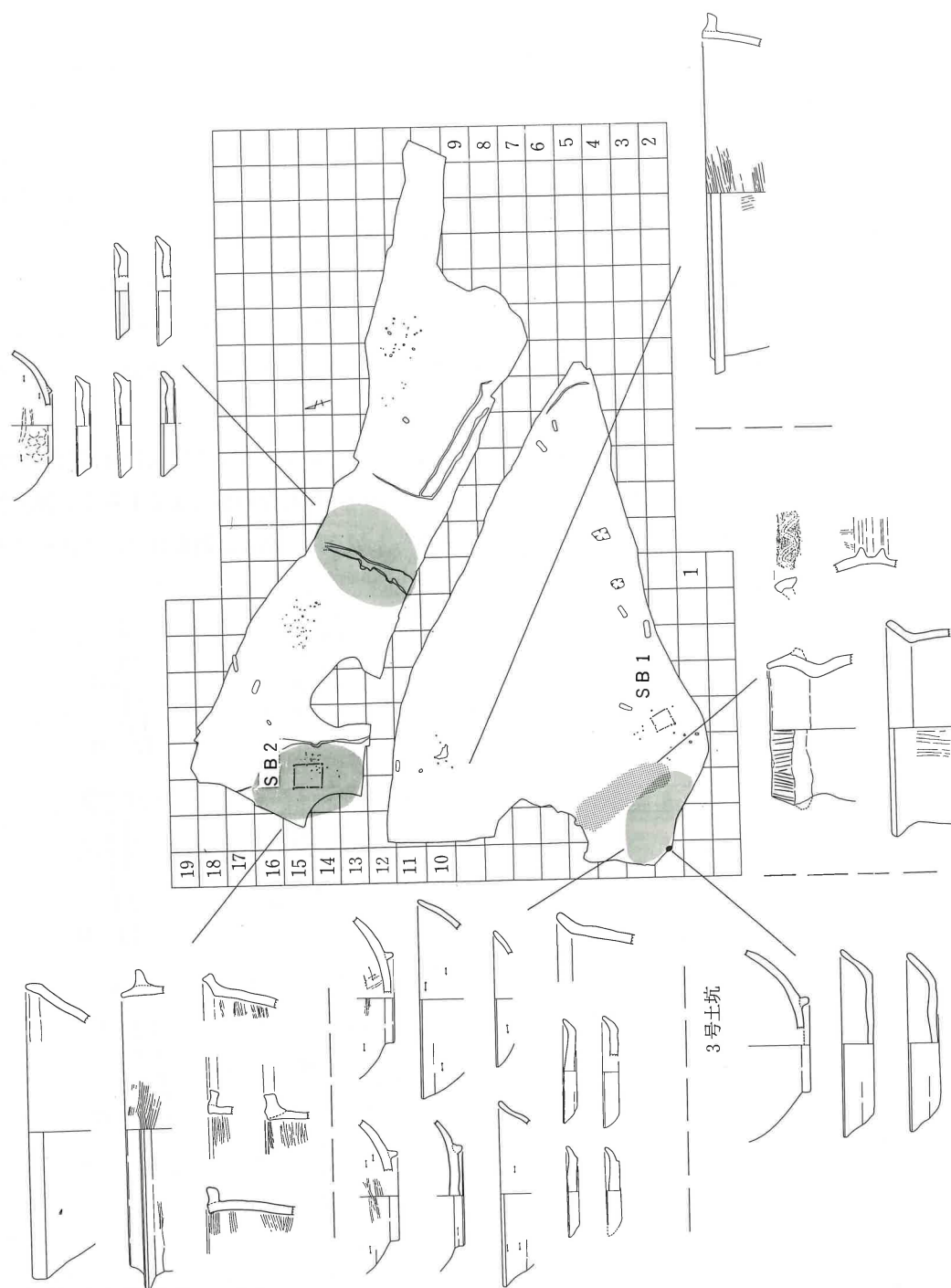
11から19は土師質土器。11は高台を有する椀。12と13は杯。口径はそれぞれ14.8cmと15.5cmで、形態から12世紀代のものである。14から19は小皿で、口径と形態は様々である。口径が8.5cm以上と大きい14から16と、8cm以下の17から19に分けられよう。前者は12世紀代まで遡る可能性が高い。

20から28は鍋、釜などの雑器類である。いずれも土師質である。20から25は口縁部に鐙状の大きく突出する部分を持つもので、いずれも全形はうかがい知れないが、釜であろう。26、27は口縁部が小さく折れる鍋。28は口縁部が小さく立ち上がる鉢である。時期は県内で比較でき



第283図 エゴノクチ遺跡出土釜、銅、鉢類

る資料が少ないが、いずれも12から13世紀である。



第284図

以上を出土地点別にまとめ、時期をみると、3号土坑出土の1、12、13は12世紀代、その土坑を含むS B 1の周辺は他も12世紀代が中心である。S B 2の周辺では雑器類しか出土しておらず、現状では細かな年代の詰めはできない。その東側の4、8、9、10などのまとまりは、13世紀代である。この他図示しなかったが、龍泉窯系青磁碗等の輸入陶磁器類の小片が若干出土している。

これらからすると、中世のエゴノクチ遺跡では12世紀から13世紀にかけての大きくは2時期の生活痕が確認できたとすることができる。

第3節 ま と め

エゴノクチ遺跡からは旧石器時代・縄文時代・弥生時代・中世の遺構や遺物が出土した。旧石器時代には2.1000年前のA T火山灰を含んだ黒色帯の上下からナイフ形石器の一群が出土し、この時期の三段階の石器群の一端を示す資料を得た。これまで、県南の大野川流域では旧石器時代の遺跡の調査はある程度行なわれてきたが、別府湾の西北側の地域でも同じく流紋岩を主体にした石材利用を行なう遺跡が存在したことが分かった。

西北九州産の黒曜石を使った楔形の細石核が出土したが、大分県内では荻町政所馬渡遺跡で出土し無文土器片が伴ったとされている。エゴノクチ遺跡ではその時期の土器は出土していない。

縄文時代は早期～後期の土器が出土した。個体毎に出土地点を調べた結果は、色々な情報をもたらすはずだがここでは簡単に触れるに止める。

(早期) 早期には押型文土器群(早水台式・下菅生B式・田村式・手向山式・撚糸文土器・無文土器・貝殻文土器)と平椀式土器・塞ノ神A式土器・塞ノ神B式土器・鎌石橋式土器・轟1～2式土器・刻目突帯をもつ条痕文土器があり、中期とともに縄文時代のエゴノクチ遺跡

押型文土器群の分布状態は調査区内の頂上付近とそれに続く北側一帯と、調査区を北西から南東に分断する水路の西側で、かつ丘陵の縁辺部に偏る。数点の撚糸文と無文の土器が外れているだけである。平椀式土器は頂上付近と南東部の2ヶ所に別れて分布する。塞ノ神A式土器は押型文土器と似た分布を示す。塞ノ神B式土器はこれとはやや異なり、頂上付近から北側に広がり分布している。従って調査区北部の4・5層に検出した集石遺構は押型文土器あるいは塞ノ神B式土器の頃に属す可能性が高い。なお、第66図の円筒形の塞ノ神式土器式土器はこれだけ1個体が離れた場所にあり、付近に他の塞ノ神式土器式土器が存在しない点は土器編年の面で注目しておきたい。鎌石橋式土器も1個体しかないが、頂上付近に広く散乱していた。轟1式土器は北部に1個体出土しただけであるが、5個体出土した轟2式土器の1個体と分布が重なる状態であった。轟2式土器は3ヶ所にそれぞれ狭く分布しており、その内の1ヶ所で重

複するという事は1式の中には2式の時期まで残るものがあることを示すものであろうか。以上は大分県地方における早期中頃から後半の土器の地域色を、具体的に1遺跡で示すものである。

早期のエゴノクチ遺跡では石斧2点に対して礫器が44点出土した。九州では早期に礫器が存在することが知られている⁽¹⁾。押型文の分布する以前の南九州でも存在し、土器の地域色とは異なるあり方を示す石器である。静岡県富士宮市若宮遺跡は早期前半の表裏縄文土器から押型文土器を主体とした遺跡であるが⁽²⁾、石器組成をエゴノクチ遺跡の早期包含層から出土した石器と比較し礫器の用途を考えてみたい（叩石類の数値は図示したもの）。

	石鏃	尖頭器	石皿	叩石類	石匙	石斧	礫器
エゴノクチ	327	1	19	235	21	2	44
若 宮	1,908	13	35	318	5	101	0

ふたつの遺跡を比べるとエゴノクチ遺跡では石斧が少なく、若宮遺跡には礫器が存在しないことに気付く。エゴノクチにおける礫器のうちの多くは若宮の石斧の機能を肩代わりしていたのであろう。

遺跡の頂上付近で大小の礫を集積した配石遺構を検出した。大分県内では配石遺構は十文字原第1遺跡に次いで2例目である。十文字原第1遺跡はエゴノクチ遺跡の東南約1.2kmにある早期の遺跡で、下部に土坑をもつ配石遺構3基が1ヶ所にかたまって出土した。土坑内から副葬品と考えられる石鏃が出土しており、配石遺構の性格は埋葬施設だと思われる。エゴノクチ遺跡の場合も下部に土坑が検出できるのではないかと思い、注意したが検出できなかった。層位的にみて押型文土器に伴うものであろう。

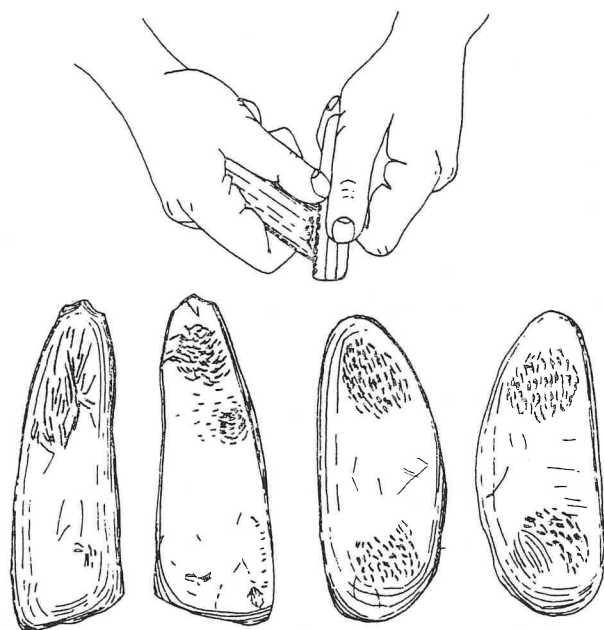
熊本県大津町瀬田裏遺跡でも早期の礫を使った遺構が調査され、円形に礫を並べた円形配石遺構や長大な長方形配石遺構が散在して分布していた。エゴノクチ遺跡の例はこの2遺跡とは似ていないが、1～4号としたように小さなまとまりの集まりと見ることもでき、そうであれば十文字原第1遺跡との類似性を指摘できよう。鳥取県上福万遺跡でも早期中頃から後半の土坑を伴う配石遺構群があり、大部分は集中して存在し十文字原第1遺跡やエゴノクチ遺跡の様子と似ている。ただ、下部に土坑をもたない点は異なるが、エゴノクチ1号配石のように周囲に壁のように石を立てたものは内部の空間に埋葬が可能である。ところで、早期の配石遺構についての研究は資料の少なさもあってあまり行なわれていない。それでも家根祥多氏は早期の押型文期の後半には九州地方および中国地方において、配石墓・埋葬に関わる配石遺構・埋葬以外の祭祠に関わる配石遺構が出現していたと考えている⁽³⁾。エゴノクチ例の性格は断定できないが、数少ない早期の配石遺構に類例を加えたことになる。

(前期) 砲弾形の器形の轟3～5式は塞ノ神B式土器に似た分布態である。屈曲する形の山陰系土器は南東部に1個体だけ単独に分布し(第92図)、他に西部で1点(第82図15)あるのが全てである。第102図2には轟5式の段階に他の遺跡に類例のある竹管による二本単位の孤状文と爪形文が同じ土器に描かれており、第99・100・102図の竹管文土器は共伴するらしい。曾畑式土器は調査区西部中央部の狭い範囲から1個体が出土した。

(中期) この時期は瀬戸内系の土器によって占められる。前期末～中期初頭の大蔵山式土器、初頭の鷹島式土器に続き船元式土器が見られる。船元式土器の細分についてはよく理解していないが、エゴノクチ遺跡から出土したものは船元Ⅰ・Ⅱ式が多く、Ⅲ式土器が少し見られるようである。中期後半は空白である⁽⁴⁾。

第141図10は2～4層から出土し、早期から後期のものである可能性がある。扁平で薄い形は他の叩石類と異なった特徴であり、通常の叩石類とは別の機能をもつと考えられる。第285図はドイツの旧石器時代末期の剥片石器を二次加工する際の調整工具である⁽⁵⁾。地域も時代も遠く離れているが、握りやすい大きさと両面の両端に使用痕がある点はよく似ており、エゴノクチ例も調整工具であろう。

(後期) 初頭・前葉の遺物が調査区西部から出土した。初頭は阿高式土器と中津式土器が見られ、分布状態からみても共伴するようである。前葉の土器は鐘崎式土器よりも少し前のものである。



第285図 調整工具(ゲナスドルフ遺跡)

(その他) アカホヤ火山灰層より上の層から掘り込まれたり、古墳時代の土器が入っている陥し穴の存在は、陥し穴の所属年代を考える上で示唆的である。陥し穴は一般的には縄文時代早期のものとされがちだが、エゴノクチ遺跡の場合にはほとんどのものが早期の層の上にあるアカホヤ火山灰層を切る状態であった。これについては紙数の関係で、別稿(九州の陥し穴の変遷)を予定している。

広谷遺跡



広谷遺跡全景



調査風景

広谷遺跡



遺構近景



土墳墓

須久保遺跡



第1地区空中写真（東から）



第1～3地区（上が東）

須久保遺跡

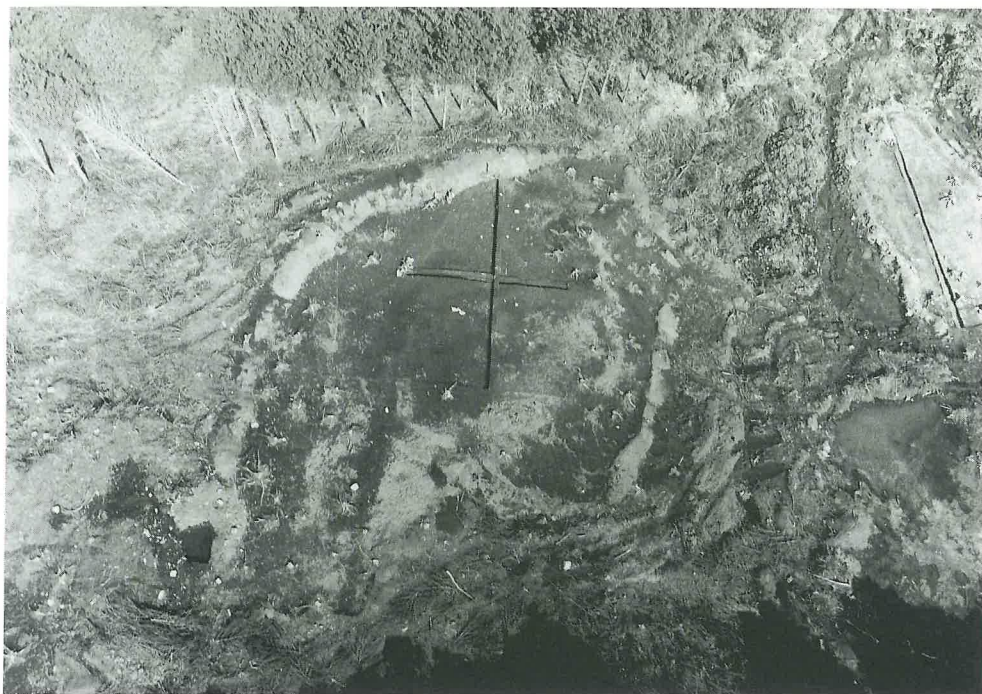


第1地区を西から望む

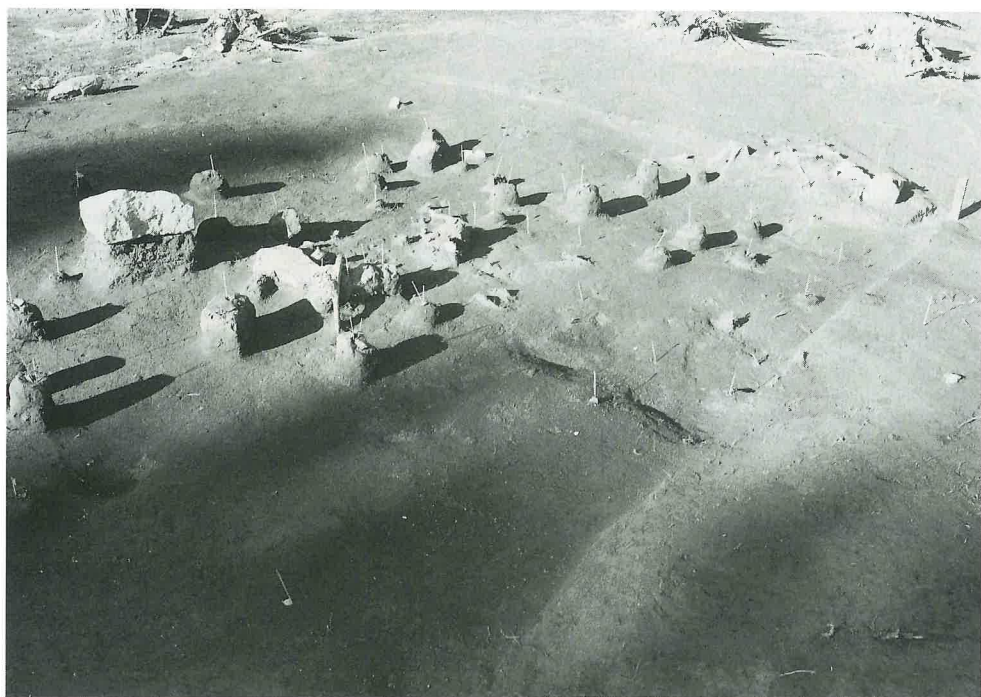


第1地区遺物出土状態

須久保遺跡



第 5 地区空中写真



第 5 地区遺物出土状況

須久保遺跡

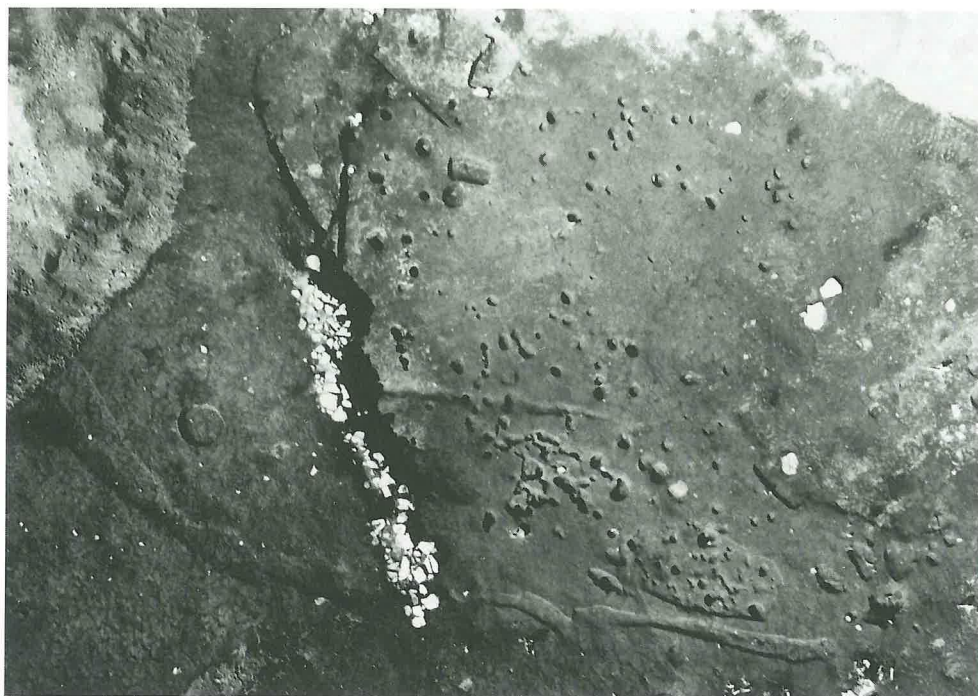


第5地区大型石核出土状況



第6地区空中写真（上が西）

須久保遺跡



第6地区中世遺構空中写真

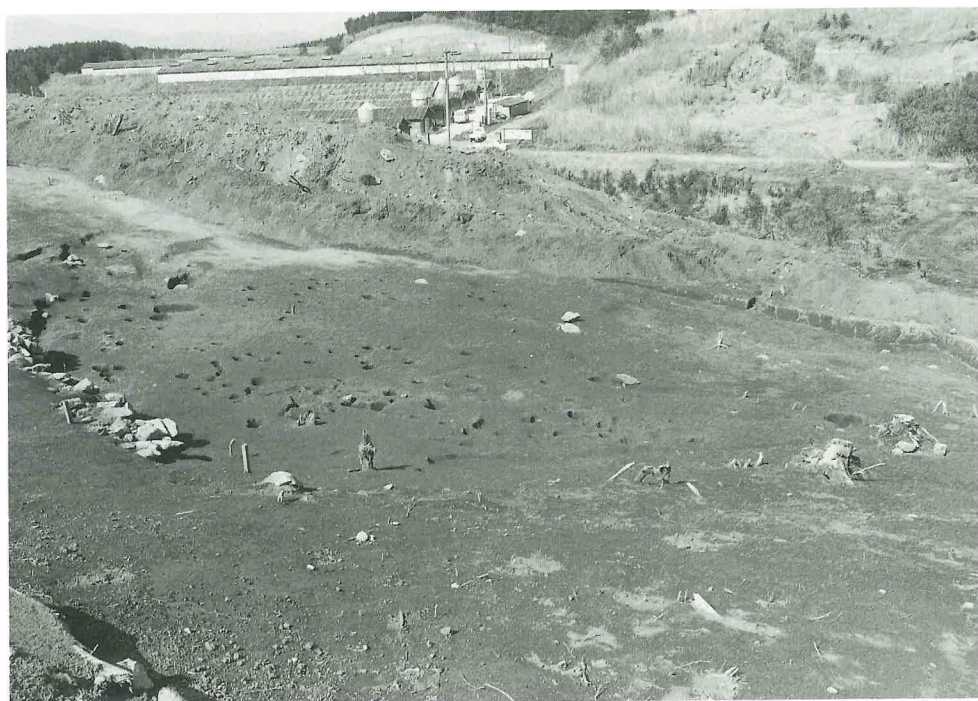


第6地区調査風景（西から）

須久保遺跡



第6地区中世遺構（北から）



第6地区中世遺構（南から）

須久保遺跡



第6地区中世石垣近景



第6地区第2号掘立柱建物

須久保遺跡



第6地区堅穴遺構

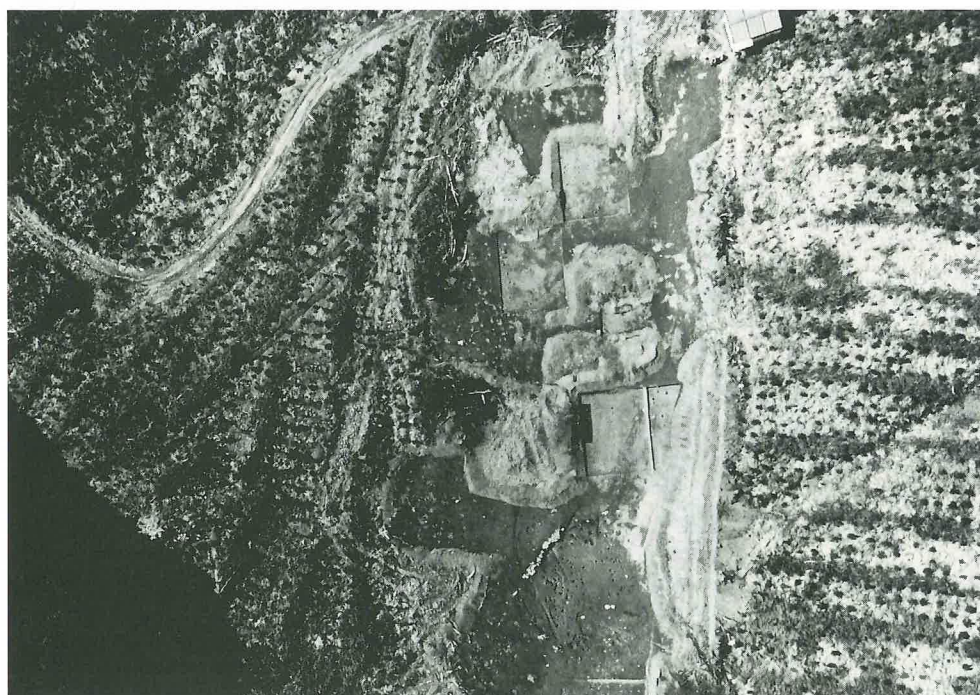


第6地区1号土坑

須久保遺跡

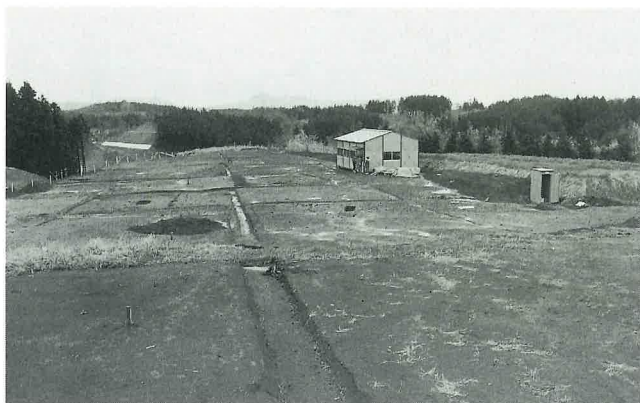


第6地区2号土坑



第7地区空中写真

口野尾遺跡



東から見た遺跡



東半部調査状況



5号陥し穴

口野尾遺跡

1号陥し穴



2号陥し穴



近景

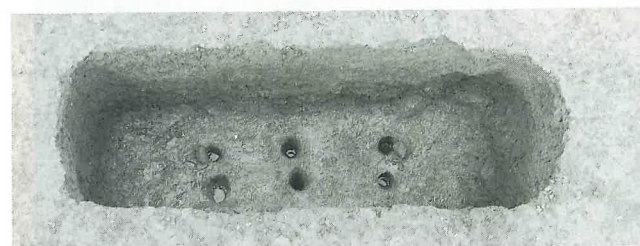
口野尾遺跡



3号陥し穴



3号陥し穴



4号陥し穴



5号陥し穴



炭焼遺構



集石

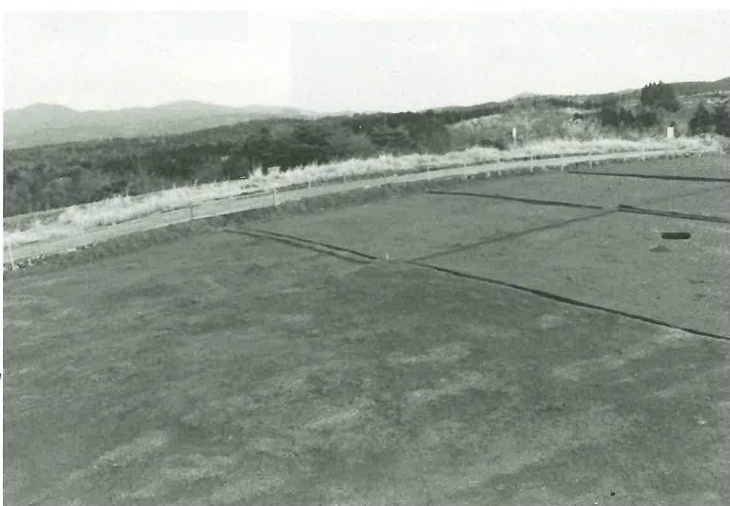
目久保第1遺跡



調査区南部の
陥し穴群



調査区南部
(5～7号陥し穴)



調査区中央部
(東部)

目久保第 1 遺跡



調査区南部



有舌尖頭器(2)出土状況



調査区北部



隆起線文土器

有舌尖頭器(2)



5 号土坑

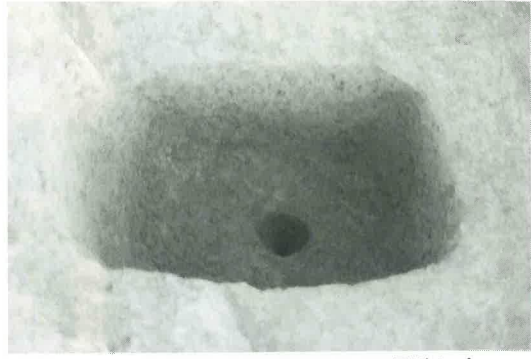


有舌尖頭(1)出土状況

目久保第1遺跡



1号陥し穴



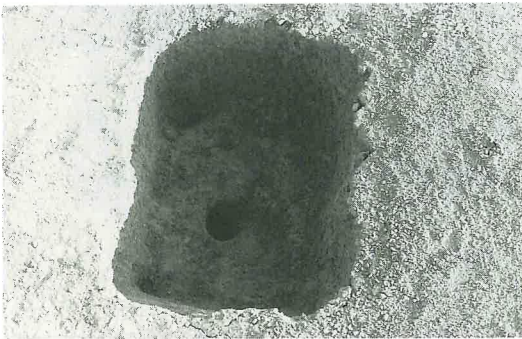
7号陥し穴



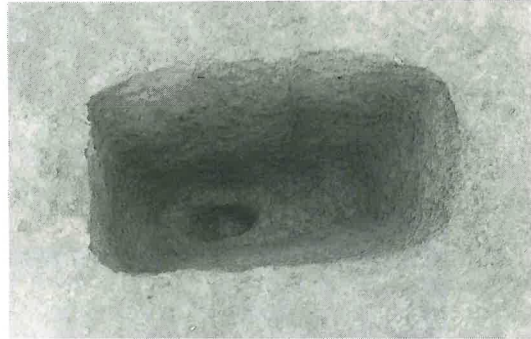
4号陥し穴



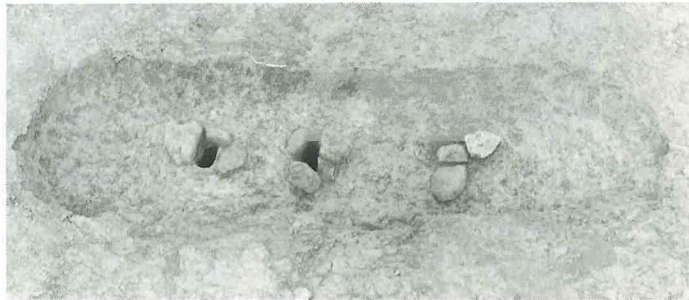
同上出土隆起線文土器



6号陥し穴



9号陥し穴

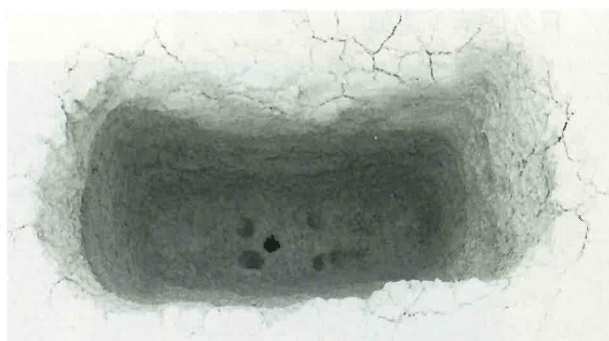


11号陥し穴

目久保第1遺跡



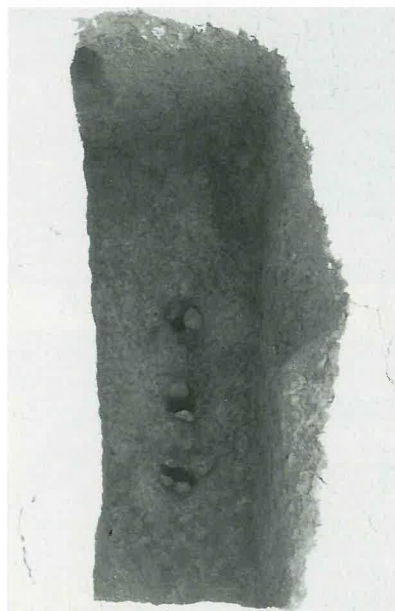
10号陥し穴



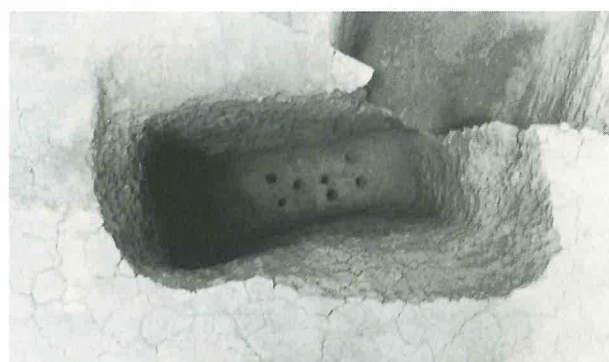
15号陥し穴



13号陥し穴



12号陥し穴

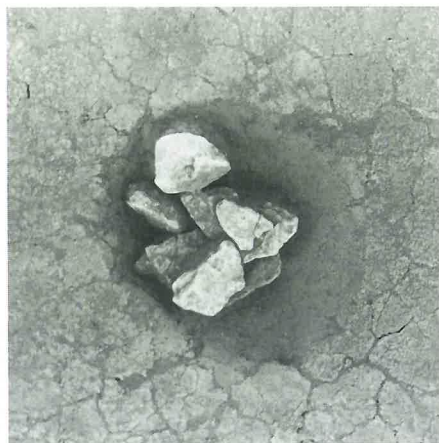


16号陥し穴



3号陥し穴

目久保第1遺跡



(上左) 4層の礫

(上右) 1号集石



竪穴遺構

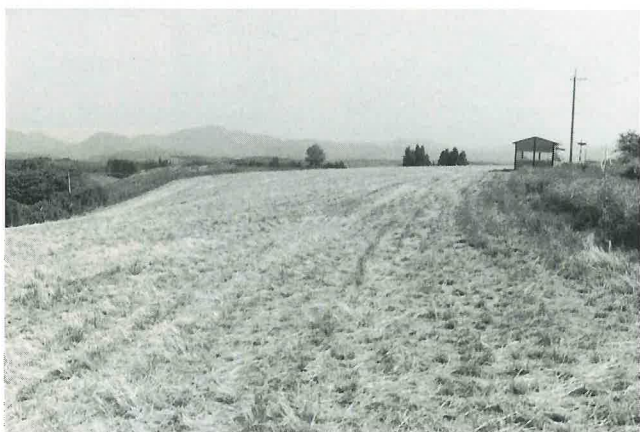


1号土坑

目久保第2遺跡



西から見た遺跡



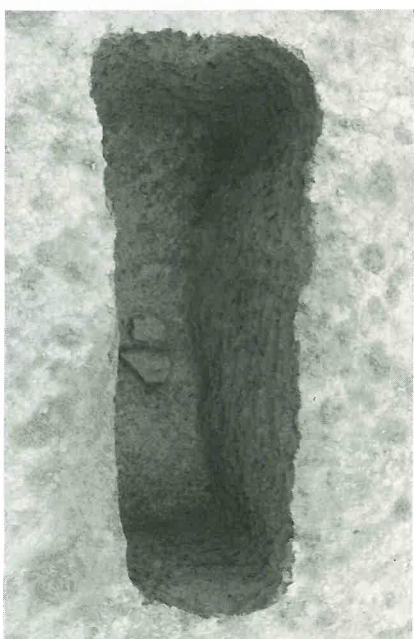
東から見た調査前の状況



12D 3 b 層



1号陥し穴



2号陥し穴

目久保第2遺跡



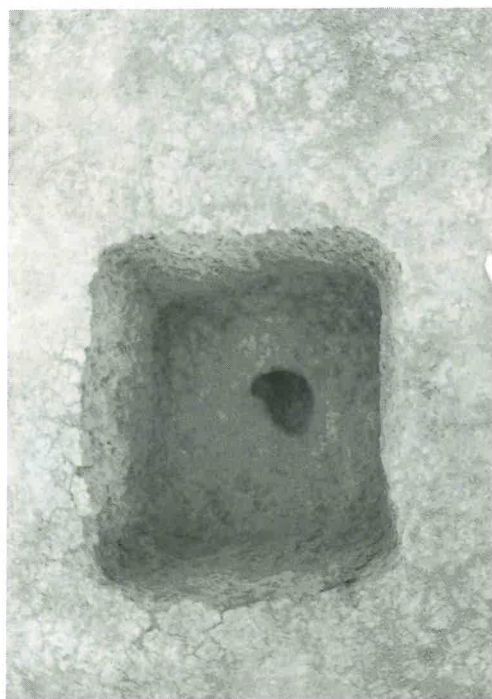
3号陥し穴



4号陥し穴



5号陥し穴

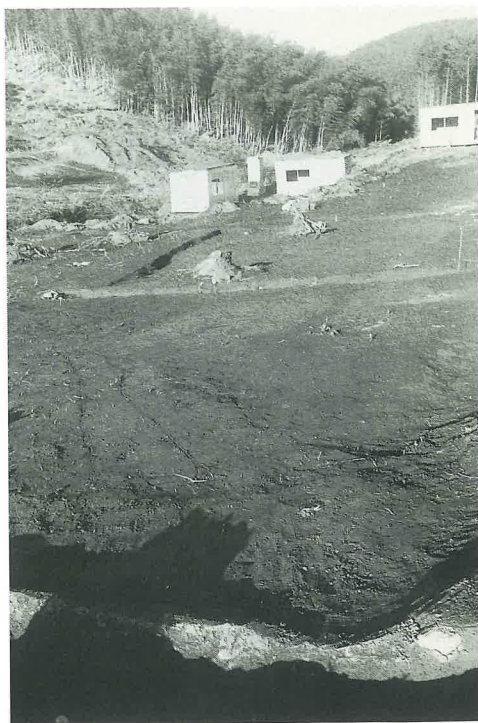


6号陥し穴

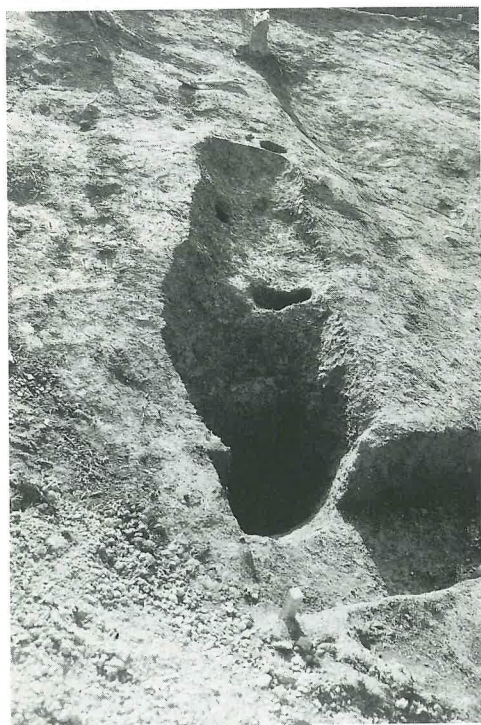
尾形第1遺跡



東から見た調査前の状況

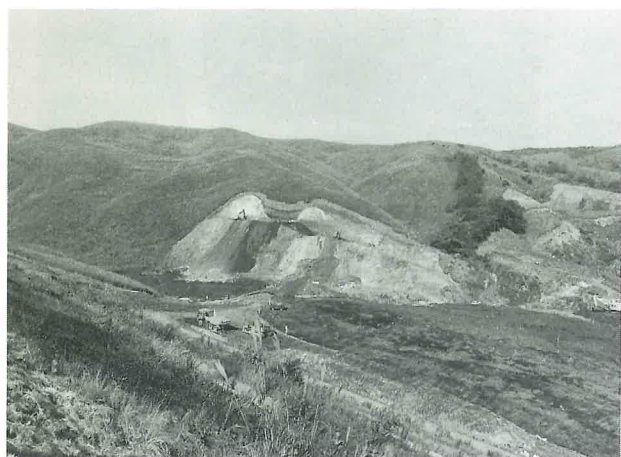


近景

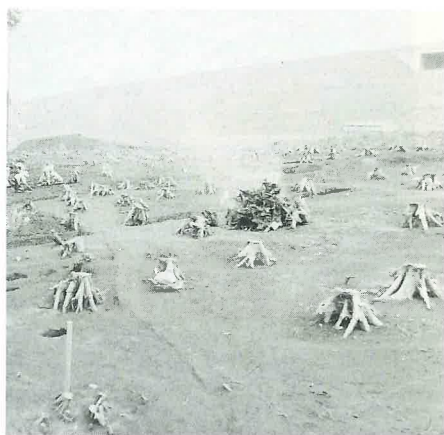


北から見た遺跡

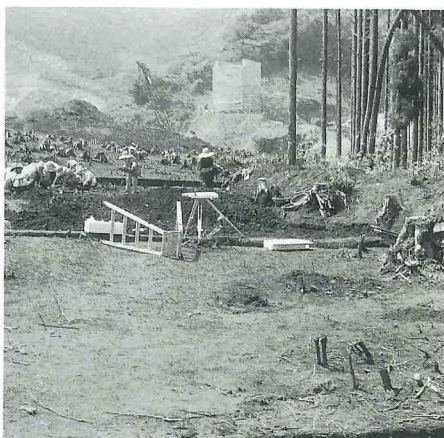
エゴノクチ遺跡



調査区西部



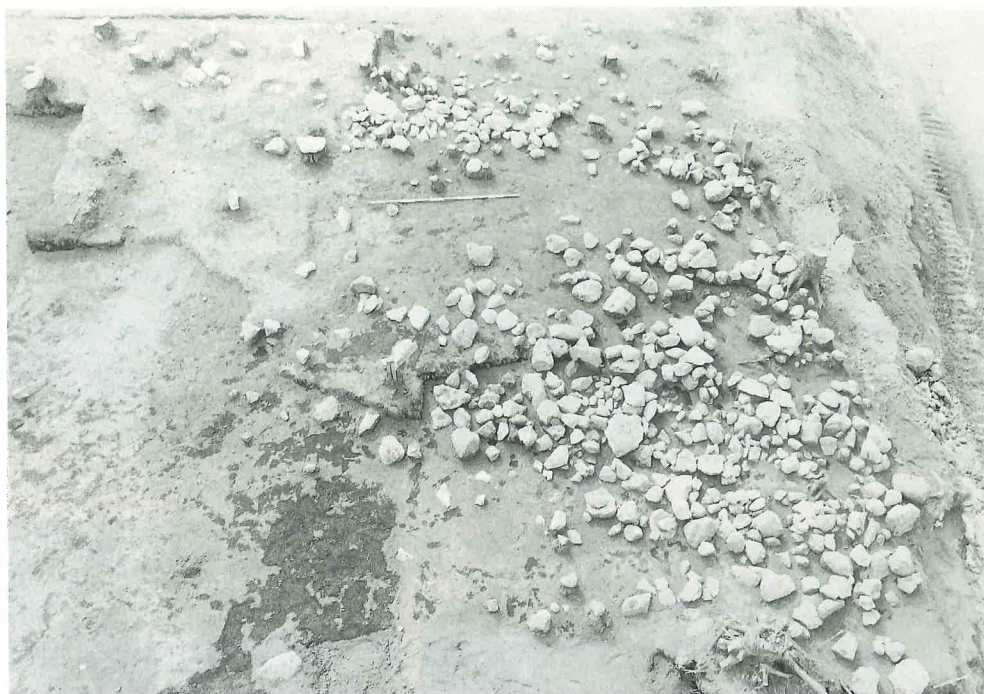
調査区東部



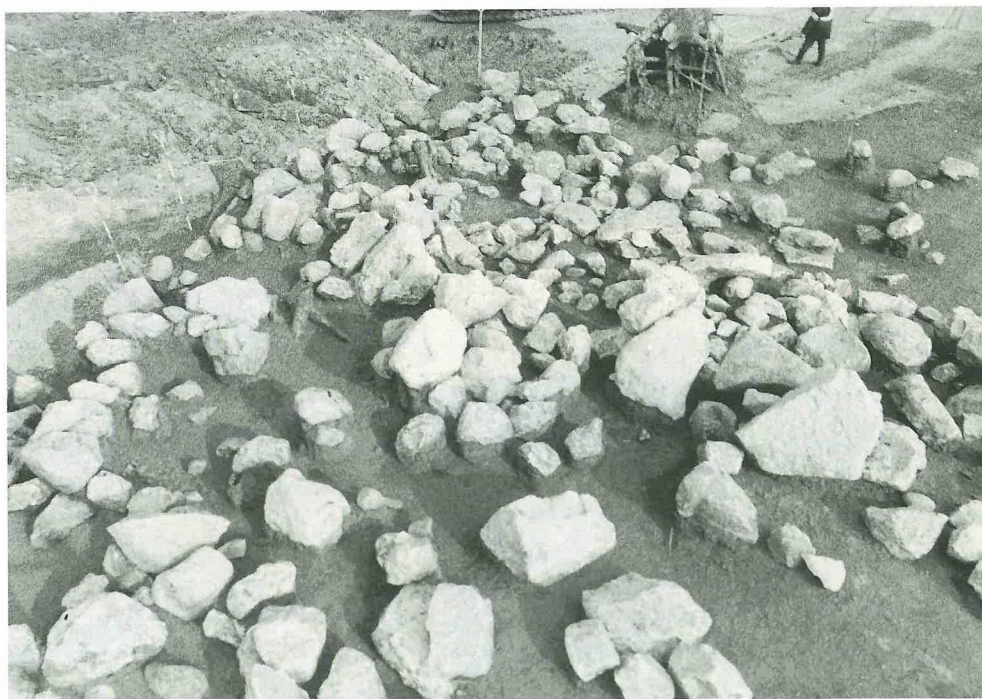
他は調査風景



エゴノクチ遺跡



配石遺構



同上

エゴノクチ遺跡



配石遺構

包含層の状況



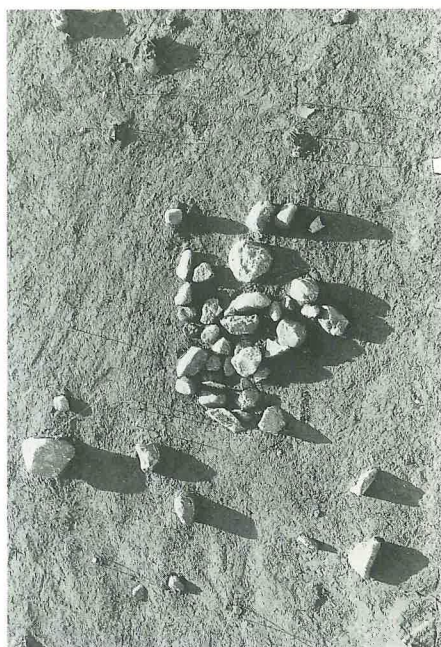
中世の柱穴

中世の掘立柱建物跡

エゴノクチ遺跡



4号集石



2号集石



7号集石



8号集石

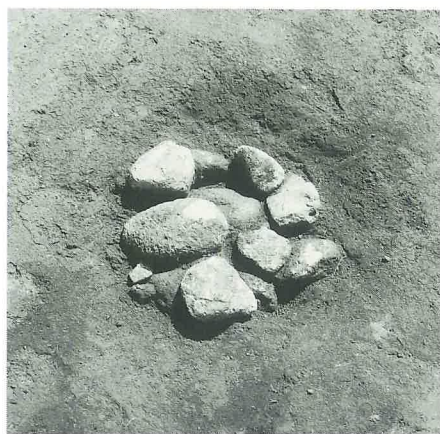


8号集石下部

エコノクチ遺跡



9号集石



10号集石



15号集石 a・b



16号集石

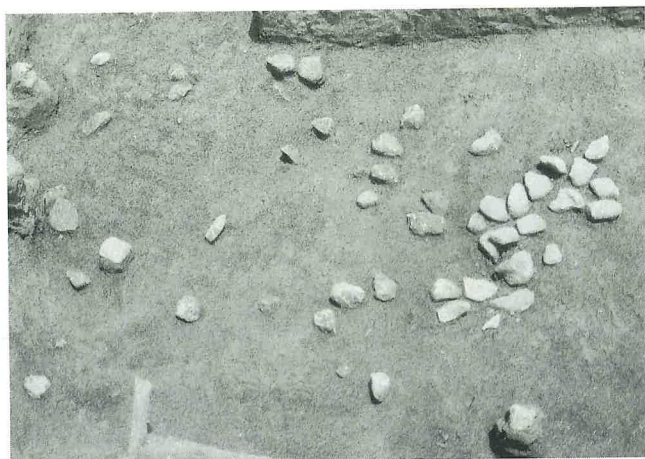


12号集石



22号集石

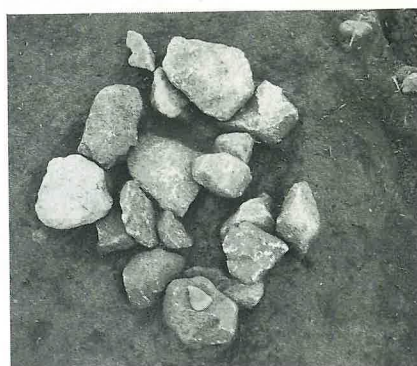
エゴノクチ遺跡



18号集石



28号集石



29号集石



9号陥し穴

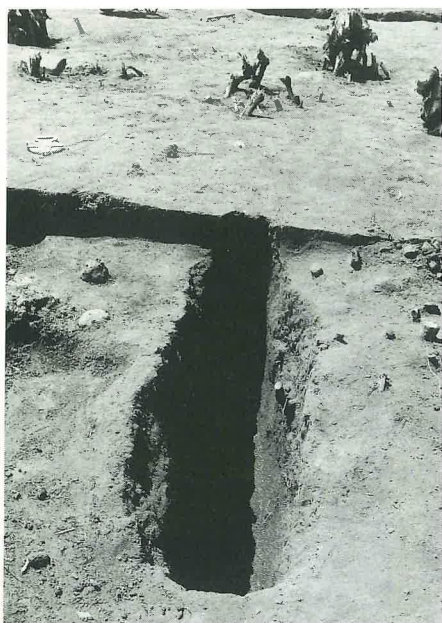


9号陥し穴



10号陥し穴

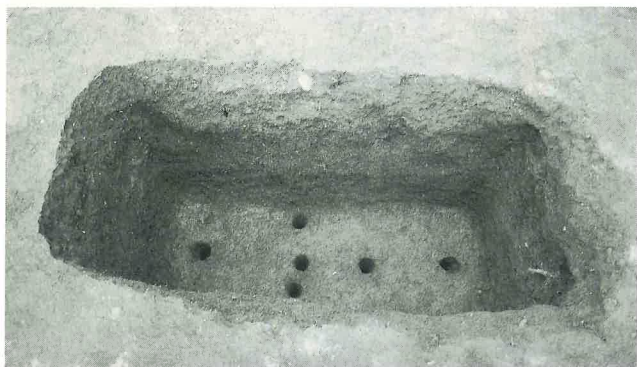
エゴノクチ遺跡



1号陥し穴



2号陥し穴



3号陥し穴

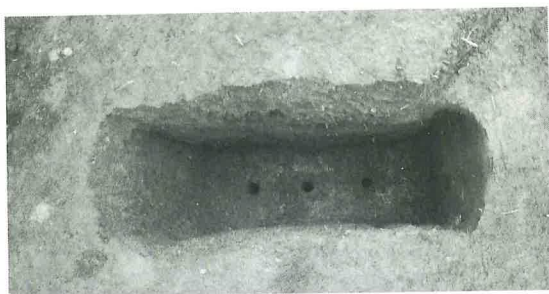


5号陥し穴



4号陥し穴

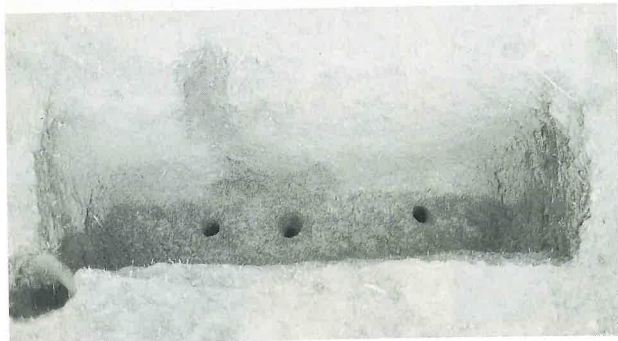
エゴノクチ遺跡



6号陥し穴



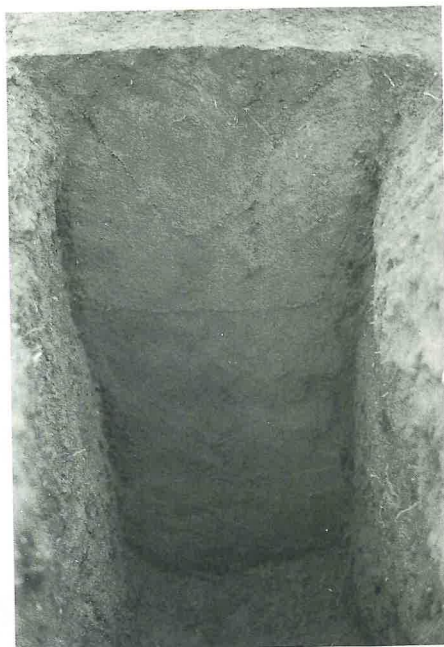
6号陥し穴埋立中位での小穴検出



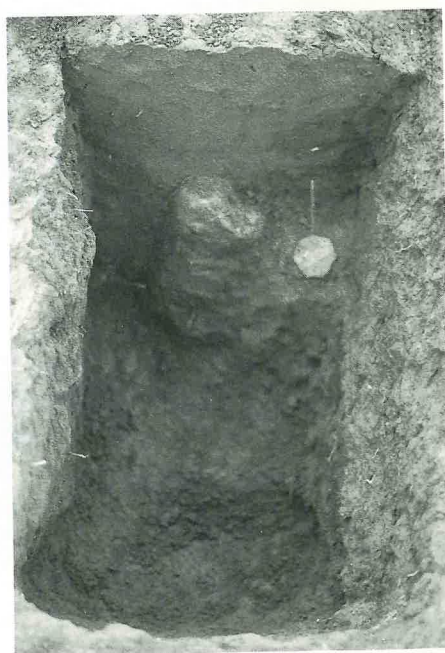
7号陥し穴



8号陥し穴



6号陥し穴



8号陥し穴遺物出土状況

エゴノクチ遺跡



旧石器出土状況



甕式土器



装飾石製品



5号土坑



石材の集積

おわりに

調査前には三ヶ月程度で発掘を終了する予定だったが、予想外に大規模な遺跡であったため延長を重ね最終的に一年二ヶ月を要した。出土遺物も多く、発掘調査終了後も事実報告するだけの整理作業に時間がかかった。まとめとしては不十分だが、別の機会に本調査から得た成果をもとに考察したい。

引用文献

- (1) 賀川光夫1971「西日本における礫器の問題」『第四紀研究』10巻4号
- (2) 馬飼野行雄・伊藤晶光1983「若宮遺跡」静岡県教育委員会・富士宮市教育委員会他
- (3) 家根祥多1990「西日本の配石遺構」シンポジウム「縄文時代屋外配石の変遷―地域的特色とその画期―」山梨県考古学協会
- (4) 船元式土器については千葉 豊氏のご教示を得た。
- (5) G.ボジンスキー 小野 昭訳1991「ゲナスドルファー氷河時代狩猟民の世界」六興出版

宇佐別府道路・日出ジャンクション関係
埋 蔵 文 化 財 調 査 報 告 書

1993 年 3 月

編 集 大 分 県 教 育 庁 文 化 課
発 行 大 分 県 教 育 委 員 会
〒870 大分市府内町3-10-1
印 刷 佐 伯 印 刷 株 式 会 社
